岩手県総合計画審議会

令和３年度第１回県民の幸福感に関する分析部会

日時：令和３年５月 20 日(木) 9：30～12：00

場所：岩手県水産会館　大会議室

次　　第

１　開　会

２　委員紹介

３　議　題

(1)　県民の幸福感に関する分析部会について（審議内容等）

(2)　分析方針について

(3)　分野別実感の分析について

(4)　その他

４　閉　会

配付資料一覧

○資料１　　県民の幸福感に関する分析部会について

○資料２　　県民の幸福感に関する分析方針（案）

○資料３　　令和３年県の施策に関する県民意識調査結果（速報）

○資料４　　令和３年県の施策に関する県民意識調査に係る補足調査について

○資料５　　属性別平均点一覧表

○資料６　　県民意識調査に係る統計的分析について

○参考資料１　県民の幸福感に関する分析部会運営要領

○参考資料２　県の施策に関する県民意識調査　調査票

○参考資料３　県の施策に関する県民意識調査　調査結果

○参考資料４　県の施策に関する県民意識調査（補足調査）調査票

○参考資料５　県の施策に関する県民意識調査（補足調査）調査結果

資料1

県民の幸福感に関する分析部会について

1　部会の役割

県民の幸福に着目して策定した**「いわて県民計画（2019～2028）」を着実に推進**していくため、**県民の主観的な幸福感の変動要因を把握し政策立案に反映していく必要**があることから、**県民意識調査等で把握した県民の主観的な幸福感を専門的かつ県民目線で分析**するとともに、定期的に総合計画審議会に審議状況を報告する。

2　部会委員等部会の構成

別紙の名簿のとおり

3　審議内容案

令和３年度は、①の分析結果等を取りまとめた**年次レポート**を**作成・公表**し、**総合計画審議会に報告**する。

令和４年度には、①の分析に加え、政策推進プラン期間中の実感の動向等を踏まえて②の分析を行い、年次レポートを作成する予定である。

①　分野別実感の変動要因の分析

県民意識調査や、別途実施する補足調査結果を踏まえた、県民意識の変動要因の分析（結果の解釈等）。

②　分野別実感と「いわて幸福関連指標」との関連性

分野別実感といわて幸福関連指標の推移の比較

4　今年度の審議日程及び主な審議内容

月日	審議内容等
第１回部会開催 **５月 20 日（木）**	(1)分析方針の決定 (2)分野別実感の変動要因検討①
第２回部会開催 **５月 27 日（木）**	（第１回で検討が行えなかった部分） ・分野別実感の変動要因検討②
第３回部会開催 **６月 17 日（木）**	・分野別実感の変動要因検討③
第４回部会開催 **７月 29 日（木）**	(1)分野別実感の変動要因検討④ (2)年次レポート素案
第５回部会開催 **９月 13 日（月）**	(1)年次レポート確定 (2)補足調査内容等について
総合計画審議会 11 月頃	・年次レポートの報告

※　８月から実施する政策評価については、年次レポート素案により実施

別紙

県民の幸福感に関する分析部会委員等

【委員】　（敬称略）

氏　名	現所属	備考
吉野　英岐 **（総合計画審議会委員）**	岩手県立大学総合政策学部 教授	部会長
若菜　千穂 **（総合計画審議会委員）**	いわて地域づくり支援センター 常務理事	副部会長
竹村　祥子	浦和大学社会学部 教授	
谷藤　邦基	株式会社イーアールアイ 取締役 （岩手県立大学客員教授）	
Ｔｅｅ　Ｋｉａｎ　Ｈｅｎｇ	岩手県立大学総合政策学部 教授	
山田　佳奈	岩手県立大学総合政策学部 准教授	
和川　　央	岩手県立大学研究・地域連携本部 特任准教授	**新任**

【オブザーバー】

氏　名	現所属
広井　良典	京都大学こころの未来研究センター 副センター長

資料２

県民の幸福感に関する分析方針（案）

Ⅰ　分析目的

政策推進プランの進捗状況を把握するために行う政策評価に、県民意識調査の結果を通じて県民の実感を反映し、政策等の検討材料とすることを目的として実施する。

Ⅱ　基本的考え方

本部会における分析とは、県民意識調査により得られた分野別実感について、その変動した要因等を分析することを指し、県は、この分析によって得られた結果を政策評価の仕組みに基づくマネジメントサイクルに活用する。

詳細分析の対象は、政策推進プランの推進において設定された 10 の政策分野に係る分野別実感のうち、実感が低下した分野を優先的に分析することを基本とする。

Ⅲ　分析手順

１　県民意識調査結果より分野別実感の時系列変化の有無をｔ検定で検証

２　分析対象を選定（実感が低下した分野に加え、上昇した分野も必要に応じて選定）

３　２で選定した対象分野の属性差の有無（対基準年）を一元配置分散分析で検証

４　新型コロナウイルス感染症の影響に対する実感を県民意識調査結果より把握

５　２で選定した対象分野の属性差の有無（対前年調査）を一元配置分散分析で検証

６　分野別実感の変動要因について、以下の手法により推測

①　分野別実感の変動に影響を与えた属性に係る補足調査の回答理由から変動要因を検証

②　補足調査で得られた分野別実感の回答理由から変動要因を推測

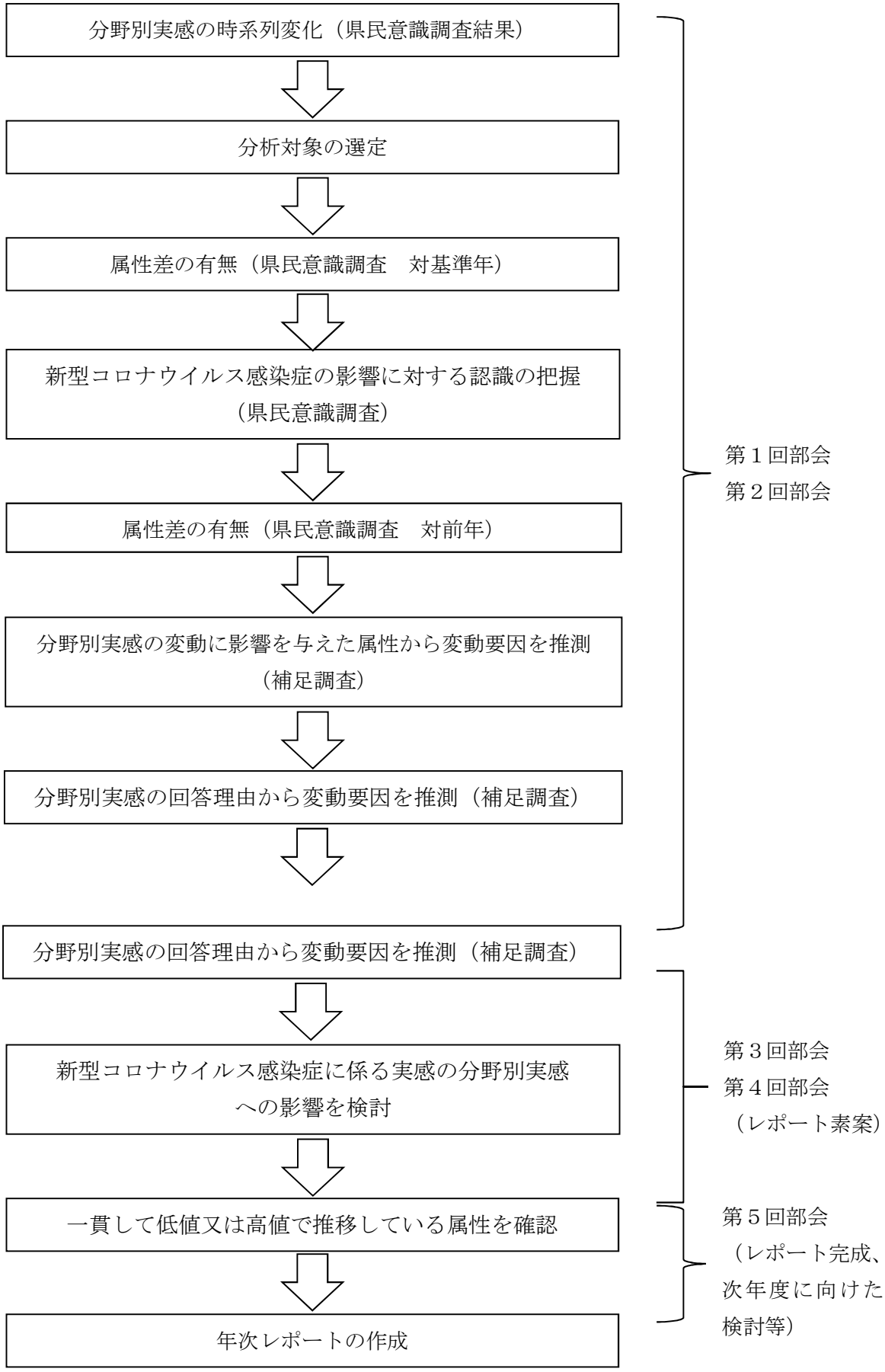
③　新型コロナウイルス感染症に係る影響の実感に係る回答理由から分野別実感への影響について検討

７　平成 28 年から令和３年までの県民意識調査で得られた分野別実感で、一貫して低値（３点未満）又は高値（４点以上）で推移している属性を確認

８　７に該当する属性については、補足調査結果より低値又は高値で推移している要因を推測

９　以上の結果について、年次レポートとして作成

【分析フロー】


分野別実感の時系列変化（県民意識調査結果）
分析対象の選定
属性差の有無（県民意識調査　対基準年）
新型コロナウイルス感染症の影響に対する認識の把握
（県民意識調査）
属性差の有無（県民意識調査　対前年）
分野別実感の変動に影響を与えた属性から変動要因を推測
（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
新型コロナウイルス感染症に係る実感の分野別実感
への影響を検討
一貫して低値又は高値で推移している属性を確認
年次レポートの作成
第１回部会
第２回部会
第３回部会
第４回部会
（レポート素案）
第５回部会
（レポート完成、
次年度に向けた
検討等）

資料２

県民の幸福感に関する分析方針（案）

Ⅰ　分析目的

政策推進プランの進捗状況を把握するために行う政策評価に、県民意識調査の結果を通じて県民の実感を反映し、政策等の検討材料とすることを目的として実施する。

Ⅱ　基本的考え方

本部会における分析とは、県民意識調査により得られた分野別実感について、その変動した要因等を分析することを指し、県は、この分析によって得られた結果を政策評価の仕組みに基づくマネジメントサイクルに活用する。

詳細分析の対象は、政策推進プランの推進において設定された 10 の政策分野に係る分野別実感のうち、実感が低下した分野を優先的に分析することを基本とする。

Ⅲ　分析手順

１　県民意識調査結果より分野別実感の時系列変化の有無をｔ検定で検証

２　分析対象を選定（実感が低下した分野に加え、上昇した分野も必要に応じて選定）

３　２で選定した対象分野の属性差の有無（対基準年）を一元配置分散分析で検証

４　新型コロナウイルス感染症の影響に対する実感を県民意識調査結果より把握

５　２で選定した対象分野の属性差の有無（対前年調査）を一元配置分散分析で検証

６　分野別実感の変動要因について、以下の手法により推測

①　分野別実感の変動に影響を与えた属性に係る補足調査の回答理由から変動要因を検証

②　補足調査で得られた分野別実感の回答理由から変動要因を推測

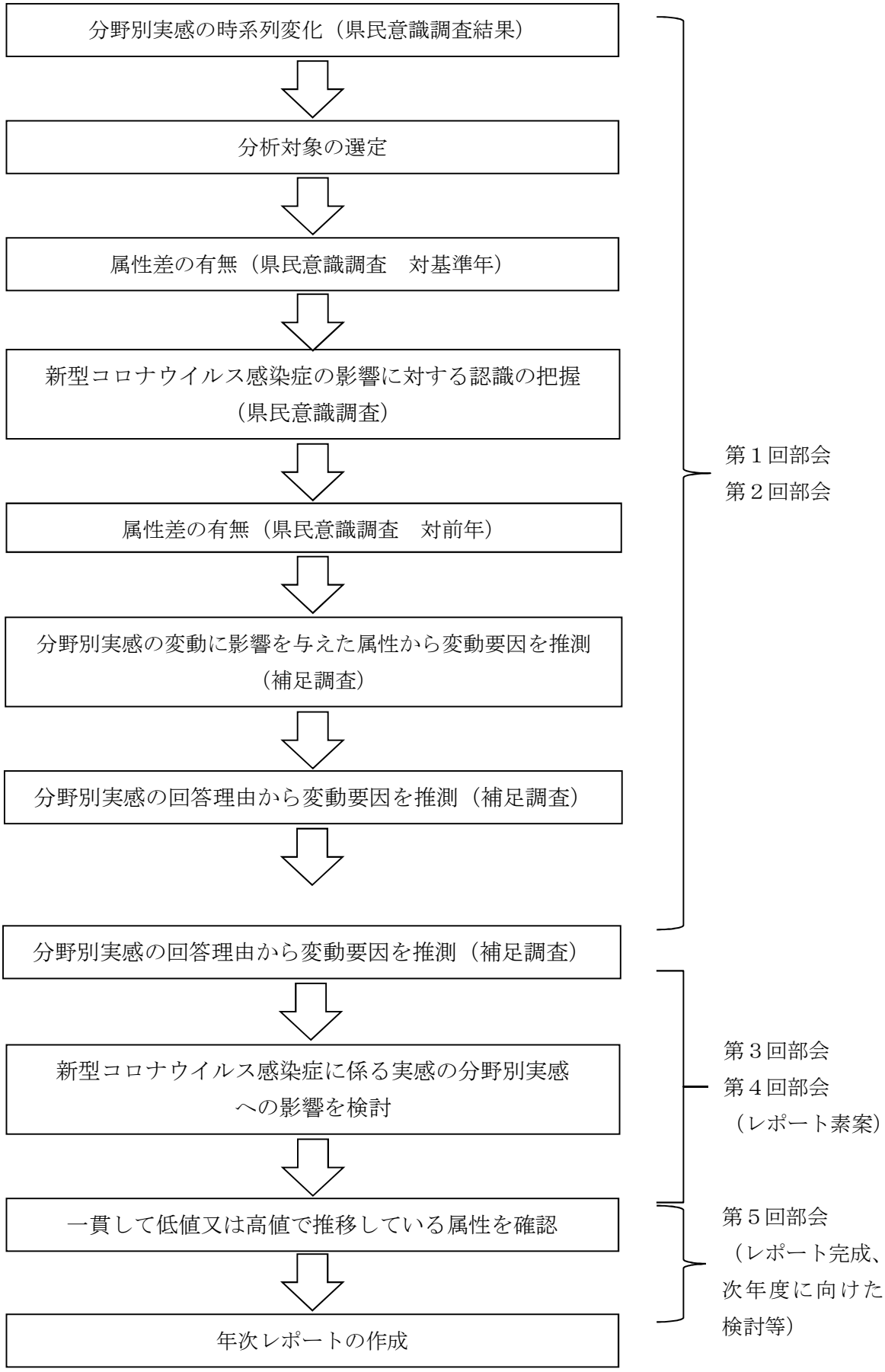
③　新型コロナウイルス感染症に係る影響の実感に係る回答理由から分野別実感への影響について検討

７　平成 28 年から令和３年までの県民意識調査で得られた分野別実感で、一貫して低値（３点未満）又は高値（４点以上）で推移している属性を確認

８　７に該当する属性については、補足調査結果より低値又は高値で推移している要因を推測

９　以上の結果について、年次レポートとして作成

【分析フロー】


分野別実感の時系列変化（県民意識調査結果）
分析対象の選定
属性差の有無（県民意識調査　対基準年）
新型コロナウイルス感染症の影響に対する認識の把握
（県民意識調査）
属性差の有無（県民意識調査　対前年）
分野別実感の変動に影響を与えた属性から変動要因を推測
（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
新型コロナウイルス感染症に係る実感の分野別実感
への影響を検討
一貫して低値又は高値で推移している属性を確認
年次レポートの作成
第１回部会
第２回部会
第３回部会
第４回部会
（レポート素案）
第５回部会
（レポート完成、
次年度に向けた
検討等）

資料２

県民の幸福感に関する分析方針（案）

Ⅰ　分析目的

政策推進プランの進捗状況を把握するために行う政策評価に、県民意識調査の結果を通じて県民の実感を反映し、政策等の検討材料とすることを目的として実施する。

Ⅱ　基本的考え方

本部会における分析とは、県民意識調査により得られた分野別実感について、その変動した要因等を分析することを指し、県は、この分析によって得られた結果を政策評価の仕組みに基づくマネジメントサイクルに活用する。

詳細分析の対象は、政策推進プランの推進において設定された 10 の政策分野に係る分野別実感のうち、実感が低下した分野を優先的に分析することを基本とする。

Ⅲ　分析手順

１　県民意識調査結果より分野別実感の時系列変化の有無をｔ検定で検証

２　分析対象を選定（実感が低下した分野に加え、上昇した分野も必要に応じて選定）

３　２で選定した対象分野の属性差の有無（対基準年）を一元配置分散分析で検証

４　新型コロナウイルス感染症の影響に対する実感を県民意識調査結果より把握

５　２で選定した対象分野の属性差の有無（対前年調査）を一元配置分散分析で検証

６　分野別実感の変動要因について、以下の手法により推測

①　分野別実感の変動に影響を与えた属性に係る補足調査の回答理由から変動要因を検証

②　補足調査で得られた分野別実感の回答理由から変動要因を推測

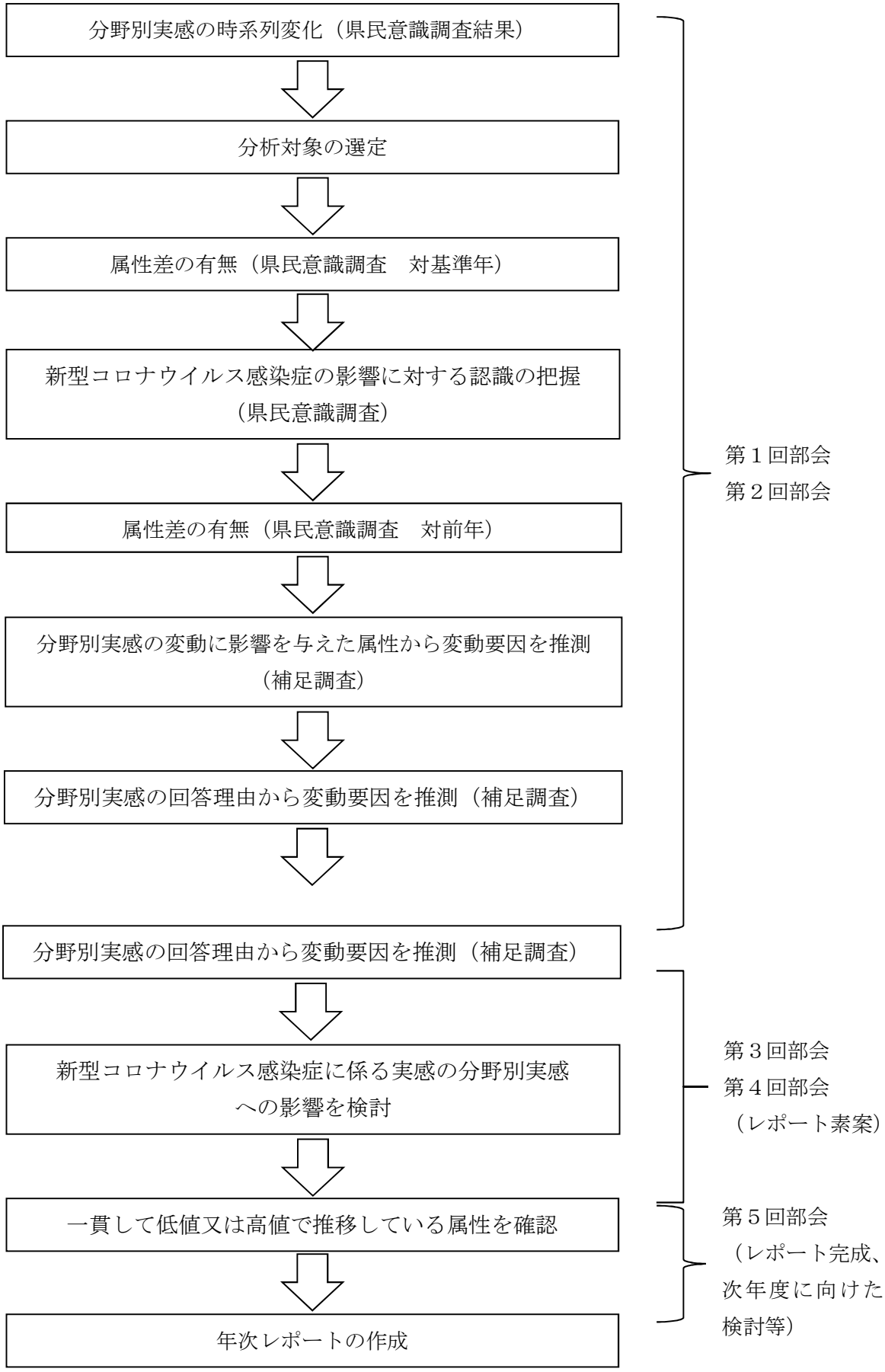
③　新型コロナウイルス感染症に係る影響の実感に係る回答理由から分野別実感への影響について検討

７　平成 28 年から令和３年までの県民意識調査で得られた分野別実感で、一貫して低値（３点未満）又は高値（４点以上）で推移している属性を確認

８　７に該当する属性については、補足調査結果より低値又は高値で推移している要因を推測

９　以上の結果について、年次レポートとして作成

【分析フロー】


分野別実感の時系列変化（県民意識調査結果）
分析対象の選定
属性差の有無（県民意識調査　対基準年）
新型コロナウイルス感染症の影響に対する認識の把握
（県民意識調査）
属性差の有無（県民意識調査　対前年）
分野別実感の変動に影響を与えた属性から変動要因を推測
（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
新型コロナウイルス感染症に係る実感の分野別実感
への影響を検討
一貫して低値又は高値で推移している属性を確認
年次レポートの作成
第１回部会
第２回部会
第３回部会
第４回部会
（レポート素案）
第５回部会
（レポート完成、
次年度に向けた
検討等）

資料２

県民の幸福感に関する分析方針（案）

Ⅰ　分析目的

政策推進プランの進捗状況を把握するために行う政策評価に、県民意識調査の結果を通じて県民の実感を反映し、政策等の検討材料とすることを目的として実施する。

Ⅱ　基本的考え方

本部会における分析とは、県民意識調査により得られた分野別実感について、その変動した要因等を分析することを指し、県は、この分析によって得られた結果を政策評価の仕組みに基づくマネジメントサイクルに活用する。

詳細分析の対象は、政策推進プランの推進において設定された 10 の政策分野に係る分野別実感のうち、実感が低下した分野を優先的に分析することを基本とする。

Ⅲ　分析手順

１　県民意識調査結果より分野別実感の時系列変化の有無をｔ検定で検証

２　分析対象を選定（実感が低下した分野に加え、上昇した分野も必要に応じて選定）

３　２で選定した対象分野の属性差の有無（対基準年）を一元配置分散分析で検証

４　新型コロナウイルス感染症の影響に対する実感を県民意識調査結果より把握

５　２で選定した対象分野の属性差の有無（対前年調査）を一元配置分散分析で検証

６　分野別実感の変動要因について、以下の手法により推測

①　分野別実感の変動に影響を与えた属性に係る補足調査の回答理由から変動要因を検証

②　補足調査で得られた分野別実感の回答理由から変動要因を推測

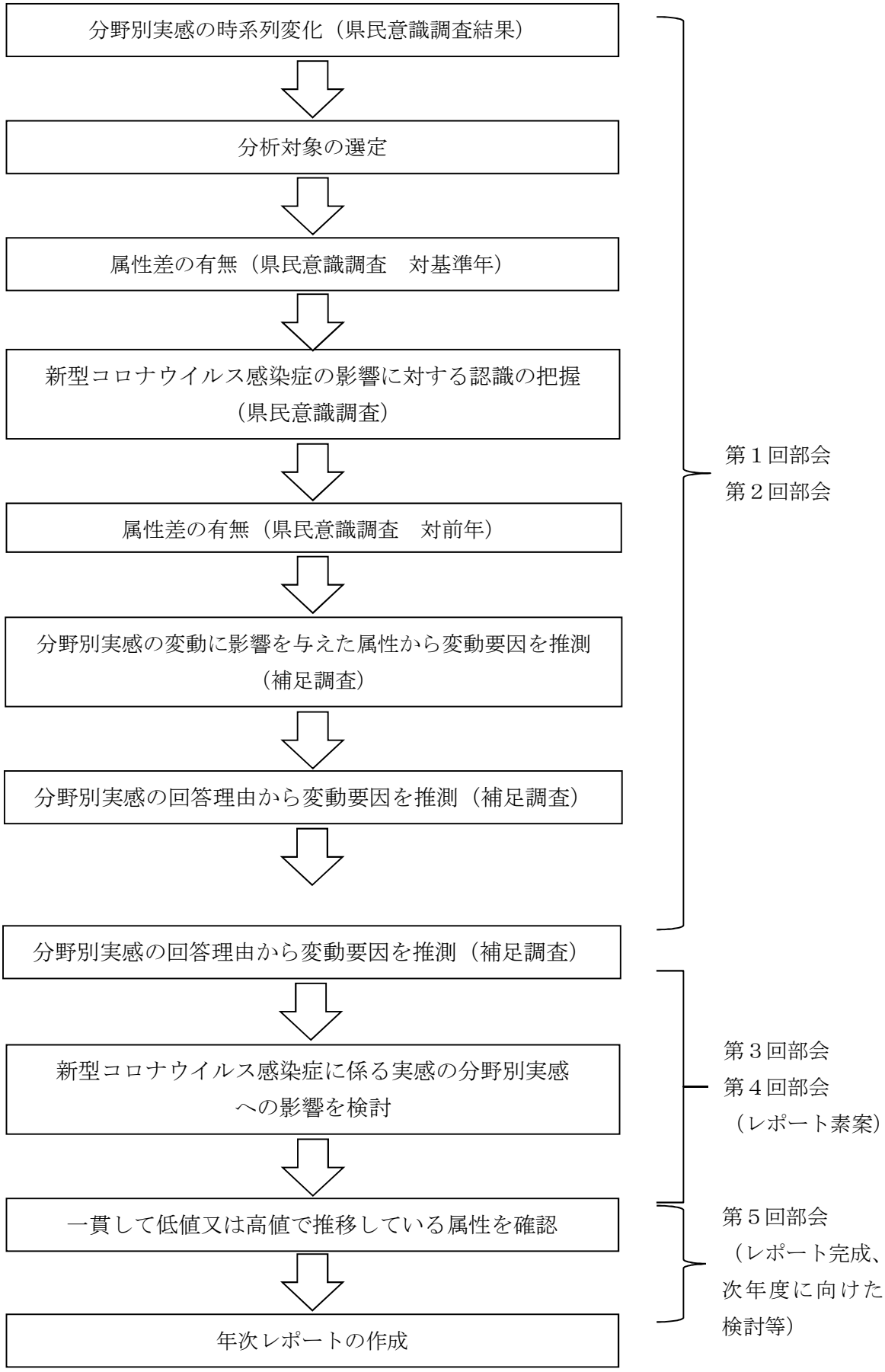
③　新型コロナウイルス感染症に係る影響の実感に係る回答理由から分野別実感への影響について検討

７　平成 28 年から令和３年までの県民意識調査で得られた分野別実感で、一貫して低値（３点未満）又は高値（４点以上）で推移している属性を確認

８　７に該当する属性については、補足調査結果より低値又は高値で推移している要因を推測

９　以上の結果について、年次レポートとして作成

【分析フロー】


分野別実感の時系列変化（県民意識調査結果）
分析対象の選定
属性差の有無（県民意識調査　対基準年）
新型コロナウイルス感染症の影響に対する認識の把握
（県民意識調査）
属性差の有無（県民意識調査　対前年）
分野別実感の変動に影響を与えた属性から変動要因を推測
（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
新型コロナウイルス感染症に係る実感の分野別実感
への影響を検討
一貫して低値又は高値で推移している属性を確認
年次レポートの作成
第１回部会
第２回部会
第３回部会
第４回部会
（レポート素案）
第５回部会
（レポート完成、
次年度に向けた
検討等）

資料２

県民の幸福感に関する分析方針（案）

Ⅰ　分析目的

政策推進プランの進捗状況を把握するために行う政策評価に、県民意識調査の結果を通じて県民の実感を反映し、政策等の検討材料とすることを目的として実施する。

Ⅱ　基本的考え方

本部会における分析とは、県民意識調査により得られた分野別実感について、その変動した要因等を分析することを指し、県は、この分析によって得られた結果を政策評価の仕組みに基づくマネジメントサイクルに活用する。

詳細分析の対象は、政策推進プランの推進において設定された 10 の政策分野に係る分野別実感のうち、実感が低下した分野を優先的に分析することを基本とする。

Ⅲ　分析手順

１　県民意識調査結果より分野別実感の時系列変化の有無をｔ検定で検証

２　分析対象を選定（実感が低下した分野に加え、上昇した分野も必要に応じて選定）

３　２で選定した対象分野の属性差の有無（対基準年）を一元配置分散分析で検証

４　新型コロナウイルス感染症の影響に対する実感を県民意識調査結果より把握

５　２で選定した対象分野の属性差の有無（対前年調査）を一元配置分散分析で検証

６　分野別実感の変動要因について、以下の手法により推測

①　分野別実感の変動に影響を与えた属性に係る補足調査の回答理由から変動要因を検証

②　補足調査で得られた分野別実感の回答理由から変動要因を推測

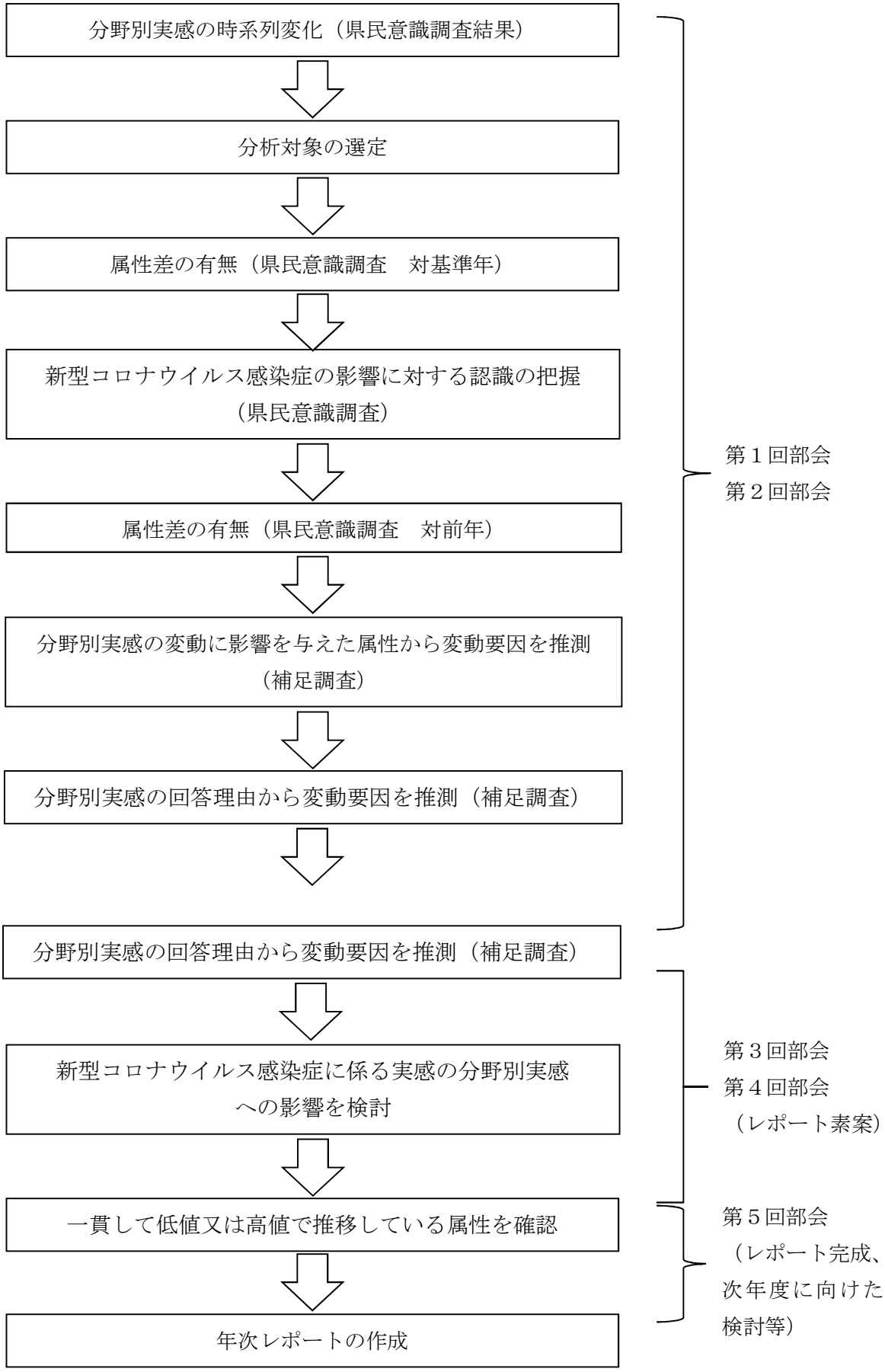
③　新型コロナウイルス感染症に係る影響の実感に係る回答理由から分野別実感への影響について検討

７　平成 28 年から令和３年までの県民意識調査で得られた分野別実感で、一貫して低値（３点未満）又は高値（４点以上）で推移している属性を確認

８　７に該当する属性については、補足調査結果より低値又は高値で推移している要因を推測

９　以上の結果について、年次レポートとして作成

【分析フロー】


分野別実感の時系列変化（県民意識調査結果）
分析対象の選定
属性差の有無（県民意識調査　対基準年）
新型コロナウイルス感染症の影響に対する認識の把握
（県民意識調査）
属性差の有無（県民意識調査　対前年）
分野別実感の変動に影響を与えた属性から変動要因を推測
（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
新型コロナウイルス感染症に係る実感の分野別実感
への影響を検討
一貫して低値又は高値で推移している属性を確認
年次レポートの作成
第１回部会
第２回部会
第３回部会
第４回部会
（レポート素案）
第５回部会
（レポート完成、
次年度に向けた
検討等）

資料２

県民の幸福感に関する分析方針（案）

Ⅰ　分析目的

政策推進プランの進捗状況を把握するために行う政策評価に、県民意識調査の結果を通じて県民の実感を反映し、政策等の検討材料とすることを目的として実施する。

Ⅱ　基本的考え方

本部会における分析とは、県民意識調査により得られた分野別実感について、その変動した要因等を分析することを指し、県は、この分析によって得られた結果を政策評価の仕組みに基づくマネジメントサイクルに活用する。

詳細分析の対象は、政策推進プランの推進において設定された 10 の政策分野に係る分野別実感のうち、実感が低下した分野を優先的に分析することを基本とする。

Ⅲ　分析手順

１　県民意識調査結果より分野別実感の時系列変化の有無をｔ検定で検証

２　分析対象を選定（実感が低下した分野に加え、上昇した分野も必要に応じて選定）

３　２で選定した対象分野の属性差の有無（対基準年）を一元配置分散分析で検証

４　新型コロナウイルス感染症の影響に対する実感を県民意識調査結果より把握

５　２で選定した対象分野の属性差の有無（対前年調査）を一元配置分散分析で検証

６　分野別実感の変動要因について、以下の手法により推測

①　分野別実感の変動に影響を与えた属性に係る補足調査の回答理由から変動要因を検証

②　補足調査で得られた分野別実感の回答理由から変動要因を推測

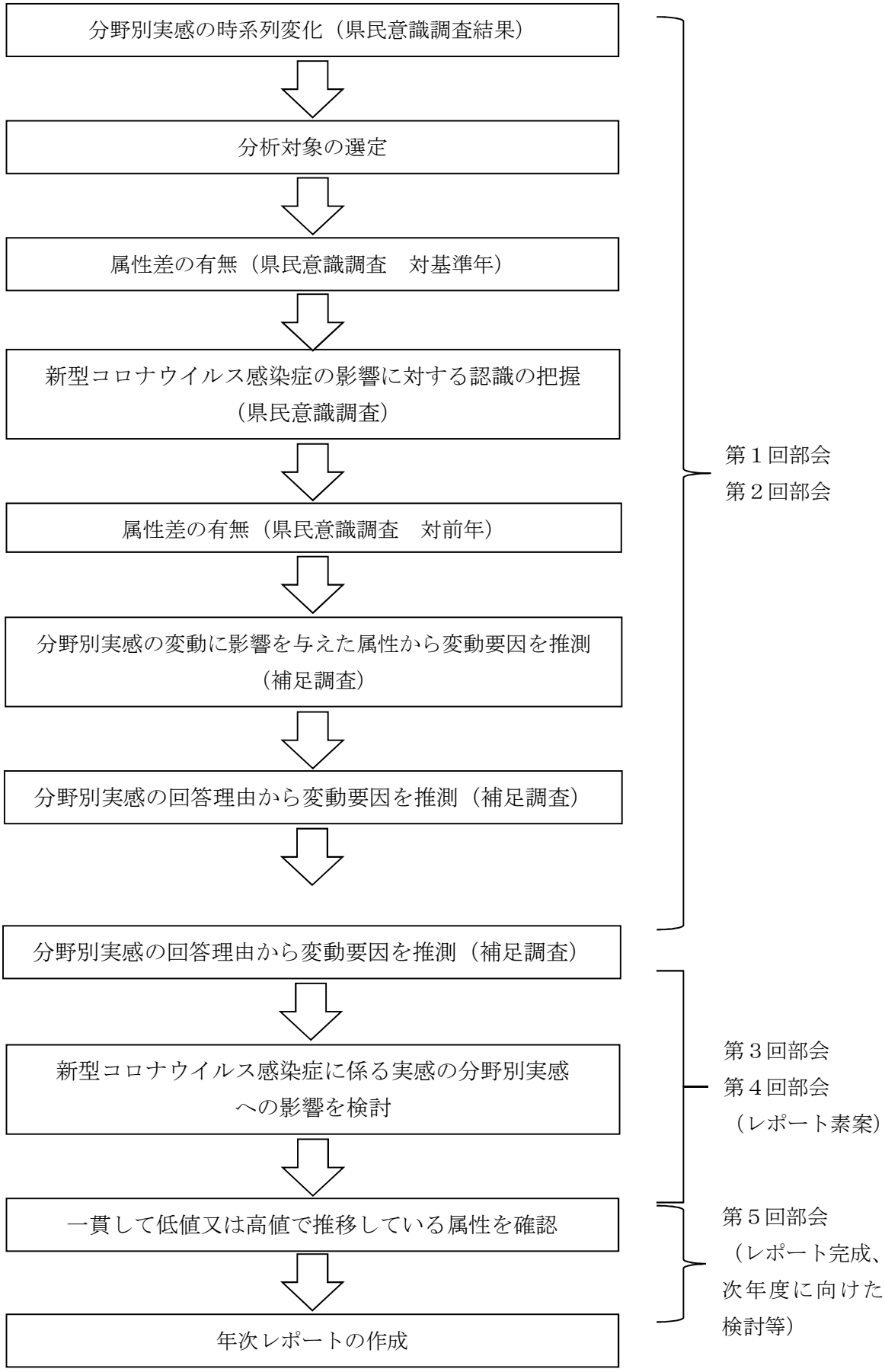
③　新型コロナウイルス感染症に係る影響の実感に係る回答理由から分野別実感への影響について検討

７　平成 28 年から令和３年までの県民意識調査で得られた分野別実感で、一貫して低値（３点未満）又は高値（４点以上）で推移している属性を確認

８　７に該当する属性については、補足調査結果より低値又は高値で推移している要因を推測

９　以上の結果について、年次レポートとして作成

【分析フロー】


分野別実感の時系列変化（県民意識調査結果）
分析対象の選定
属性差の有無（県民意識調査　対基準年）
新型コロナウイルス感染症の影響に対する認識の把握
（県民意識調査）
属性差の有無（県民意識調査　対前年）
分野別実感の変動に影響を与えた属性から変動要因を推測
（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
新型コロナウイルス感染症に係る実感の分野別実感
への影響を検討
一貫して低値又は高値で推移している属性を確認
年次レポートの作成
第１回部会
第２回部会
第３回部会
第４回部会
（レポート素案）
第５回部会
（レポート完成、
次年度に向けた
検討等）

資料２

県民の幸福感に関する分析方針（案）

Ⅰ　分析目的

政策推進プランの進捗状況を把握するために行う政策評価に、県民意識調査の結果を通じて県民の実感を反映し、政策等の検討材料とすることを目的として実施する。

Ⅱ　基本的考え方

本部会における分析とは、県民意識調査により得られた分野別実感について、その変動した要因等を分析することを指し、県は、この分析によって得られた結果を政策評価の仕組みに基づくマネジメントサイクルに活用する。

詳細分析の対象は、政策推進プランの推進において設定された 10 の政策分野に係る分野別実感のうち、実感が低下した分野を優先的に分析することを基本とする。

Ⅲ　分析手順

１　県民意識調査結果より分野別実感の時系列変化の有無をｔ検定で検証

２　分析対象を選定（実感が低下した分野に加え、上昇した分野も必要に応じて選定）

３　２で選定した対象分野の属性差の有無（対基準年）を一元配置分散分析で検証

４　新型コロナウイルス感染症の影響に対する実感を県民意識調査結果より把握

５　２で選定した対象分野の属性差の有無（対前年調査）を一元配置分散分析で検証

６　分野別実感の変動要因について、以下の手法により推測

①　分野別実感の変動に影響を与えた属性に係る補足調査の回答理由から変動要因を検証

②　補足調査で得られた分野別実感の回答理由から変動要因を推測

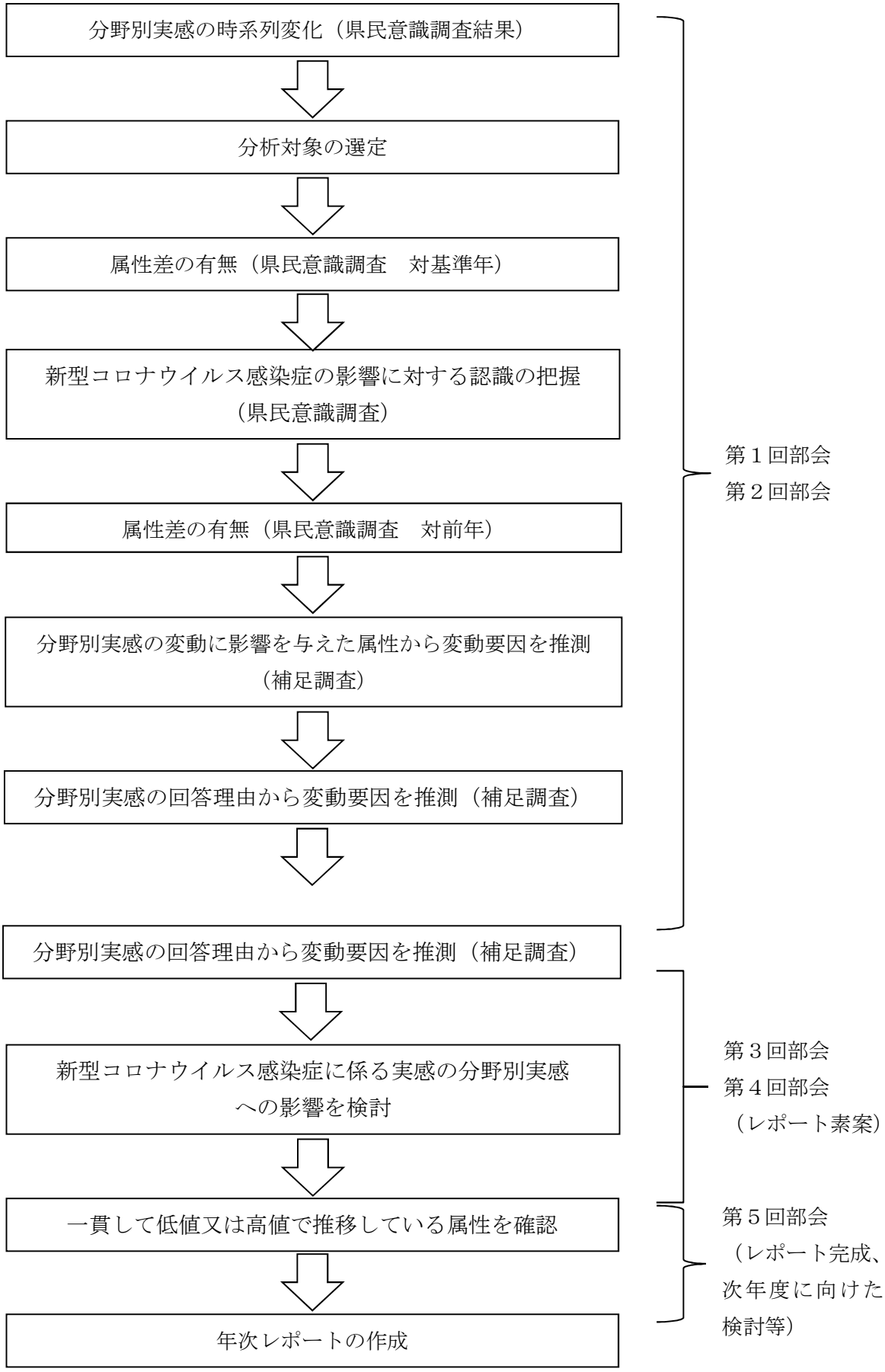
③　新型コロナウイルス感染症に係る影響の実感に係る回答理由から分野別実感への影響について検討

７　平成 28 年から令和３年までの県民意識調査で得られた分野別実感で、一貫して低値（３点未満）又は高値（４点以上）で推移している属性を確認

８　７に該当する属性については、補足調査結果より低値又は高値で推移している要因を推測

９　以上の結果について、年次レポートとして作成

【分析フロー】


分野別実感の時系列変化（県民意識調査結果）
分析対象の選定
属性差の有無（県民意識調査　対基準年）
新型コロナウイルス感染症の影響に対する認識の把握
（県民意識調査）
属性差の有無（県民意識調査　対前年）
分野別実感の変動に影響を与えた属性から変動要因を推測
（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
新型コロナウイルス感染症に係る実感の分野別実感
への影響を検討
一貫して低値又は高値で推移している属性を確認
年次レポートの作成
第１回部会
第２回部会
第３回部会
第４回部会
（レポート素案）
第５回部会
（レポート完成、
次年度に向けた
検討等）

資料２

県民の幸福感に関する分析方針（案）

Ⅰ　分析目的

政策推進プランの進捗状況を把握するために行う政策評価に、県民意識調査の結果を通じて県民の実感を反映し、政策等の検討材料とすることを目的として実施する。

Ⅱ　基本的考え方

本部会における分析とは、県民意識調査により得られた分野別実感について、その変動した要因等を分析することを指し、県は、この分析によって得られた結果を政策評価の仕組みに基づくマネジメントサイクルに活用する。

詳細分析の対象は、政策推進プランの推進において設定された 10 の政策分野に係る分野別実感のうち、実感が低下した分野を優先的に分析することを基本とする。

Ⅲ　分析手順

１　県民意識調査結果より分野別実感の時系列変化の有無をｔ検定で検証

２　分析対象を選定（実感が低下した分野に加え、上昇した分野も必要に応じて選定）

３　２で選定した対象分野の属性差の有無（対基準年）を一元配置分散分析で検証

４　新型コロナウイルス感染症の影響に対する実感を県民意識調査結果より把握

５　２で選定した対象分野の属性差の有無（対前年調査）を一元配置分散分析で検証

６　分野別実感の変動要因について、以下の手法により推測

①　分野別実感の変動に影響を与えた属性に係る補足調査の回答理由から変動要因を検証

②　補足調査で得られた分野別実感の回答理由から変動要因を推測

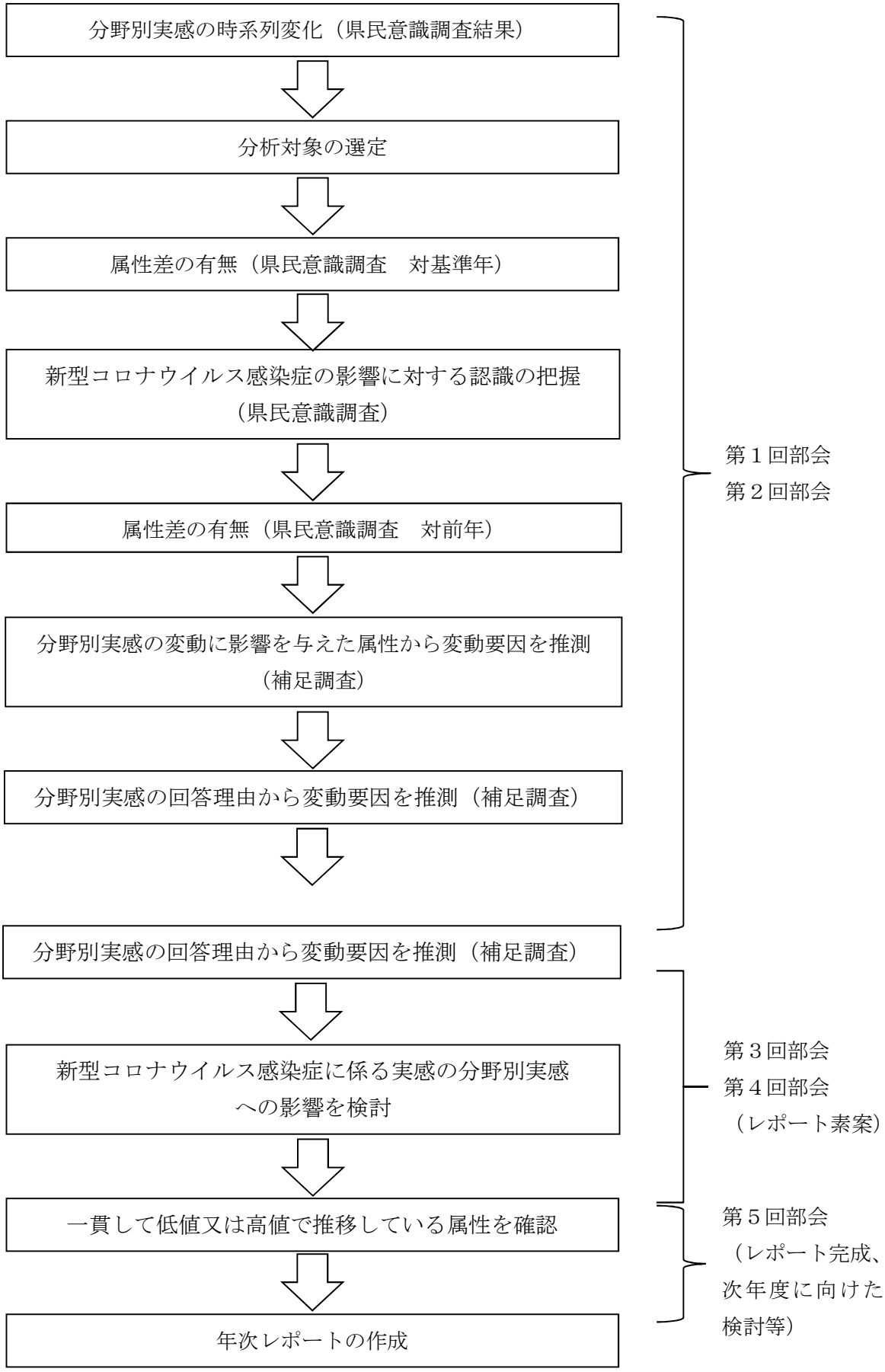
③　新型コロナウイルス感染症に係る影響の実感に係る回答理由から分野別実感への影響について検討

７　平成 28 年から令和３年までの県民意識調査で得られた分野別実感で、一貫して低値（３点未満）又は高値（４点以上）で推移している属性を確認

８　７に該当する属性については、補足調査結果より低値又は高値で推移している要因を推測

９　以上の結果について、年次レポートとして作成

【分析フロー】


分野別実感の時系列変化（県民意識調査結果）
分析対象の選定
属性差の有無（県民意識調査　対基準年）
新型コロナウイルス感染症の影響に対する認識の把握
（県民意識調査）
属性差の有無（県民意識調査　対前年）
分野別実感の変動に影響を与えた属性から変動要因を推測
（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
新型コロナウイルス感染症に係る実感の分野別実感
への影響を検討
一貫して低値又は高値で推移している属性を確認
年次レポートの作成
第１回部会
第２回部会
第３回部会
第４回部会
（レポート素案）
第５回部会
（レポート完成、
次年度に向けた
検討等）

資料２

県民の幸福感に関する分析方針（案）

Ⅰ　分析目的

政策推進プランの進捗状況を把握するために行う政策評価に、県民意識調査の結果を通じて県民の実感を反映し、政策等の検討材料とすることを目的として実施する。

Ⅱ　基本的考え方

本部会における分析とは、県民意識調査により得られた分野別実感について、その変動した要因等を分析することを指し、県は、この分析によって得られた結果を政策評価の仕組みに基づくマネジメントサイクルに活用する。

詳細分析の対象は、政策推進プランの推進において設定された 10 の政策分野に係る分野別実感のうち、実感が低下した分野を優先的に分析することを基本とする。

Ⅲ　分析手順

１　県民意識調査結果より分野別実感の時系列変化の有無をｔ検定で検証

２　分析対象を選定（実感が低下した分野に加え、上昇した分野も必要に応じて選定）

３　２で選定した対象分野の属性差の有無（対基準年）を一元配置分散分析で検証

４　新型コロナウイルス感染症の影響に対する実感を県民意識調査結果より把握

５　２で選定した対象分野の属性差の有無（対前年調査）を一元配置分散分析で検証

６　分野別実感の変動要因について、以下の手法により推測

①　分野別実感の変動に影響を与えた属性に係る補足調査の回答理由から変動要因を検証

②　補足調査で得られた分野別実感の回答理由から変動要因を推測

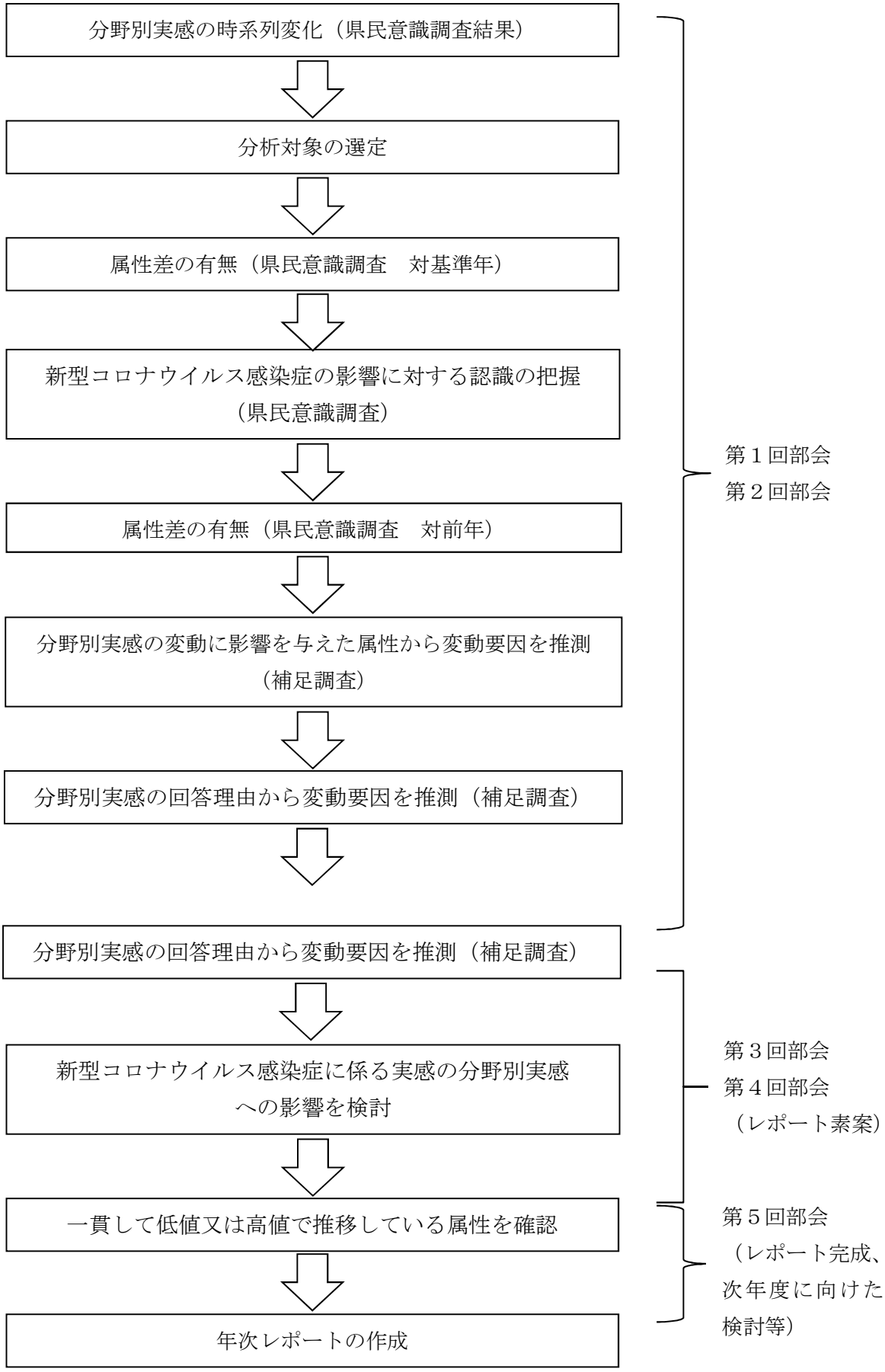
③　新型コロナウイルス感染症に係る影響の実感に係る回答理由から分野別実感への影響について検討

７　平成 28 年から令和３年までの県民意識調査で得られた分野別実感で、一貫して低値（３点未満）又は高値（４点以上）で推移している属性を確認

８　７に該当する属性については、補足調査結果より低値又は高値で推移している要因を推測

９　以上の結果について、年次レポートとして作成

【分析フロー】


分野別実感の時系列変化（県民意識調査結果）
分析対象の選定
属性差の有無（県民意識調査　対基準年）
新型コロナウイルス感染症の影響に対する認識の把握
（県民意識調査）
属性差の有無（県民意識調査　対前年）
分野別実感の変動に影響を与えた属性から変動要因を推測
（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
新型コロナウイルス感染症に係る実感の分野別実感
への影響を検討
一貫して低値又は高値で推移している属性を確認
年次レポートの作成
第１回部会
第２回部会
第３回部会
第４回部会
（レポート素案）
第５回部会
（レポート完成、
次年度に向けた
検討等）

資料２

県民の幸福感に関する分析方針（案）

Ⅰ　分析目的

政策推進プランの進捗状況を把握するために行う政策評価に、県民意識調査の結果を通じて県民の実感を反映し、政策等の検討材料とすることを目的として実施する。

Ⅱ　基本的考え方

本部会における分析とは、県民意識調査により得られた分野別実感について、その変動した要因等を分析することを指し、県は、この分析によって得られた結果を政策評価の仕組みに基づくマネジメントサイクルに活用する。

詳細分析の対象は、政策推進プランの推進において設定された 10 の政策分野に係る分野別実感のうち、実感が低下した分野を優先的に分析することを基本とする。

Ⅲ　分析手順

１　県民意識調査結果より分野別実感の時系列変化の有無をｔ検定で検証

２　分析対象を選定（実感が低下した分野に加え、上昇した分野も必要に応じて選定）

３　２で選定した対象分野の属性差の有無（対基準年）を一元配置分散分析で検証

４　新型コロナウイルス感染症の影響に対する実感を県民意識調査結果より把握

５　２で選定した対象分野の属性差の有無（対前年調査）を一元配置分散分析で検証

６　分野別実感の変動要因について、以下の手法により推測

①　分野別実感の変動に影響を与えた属性に係る補足調査の回答理由から変動要因を検証

②　補足調査で得られた分野別実感の回答理由から変動要因を推測

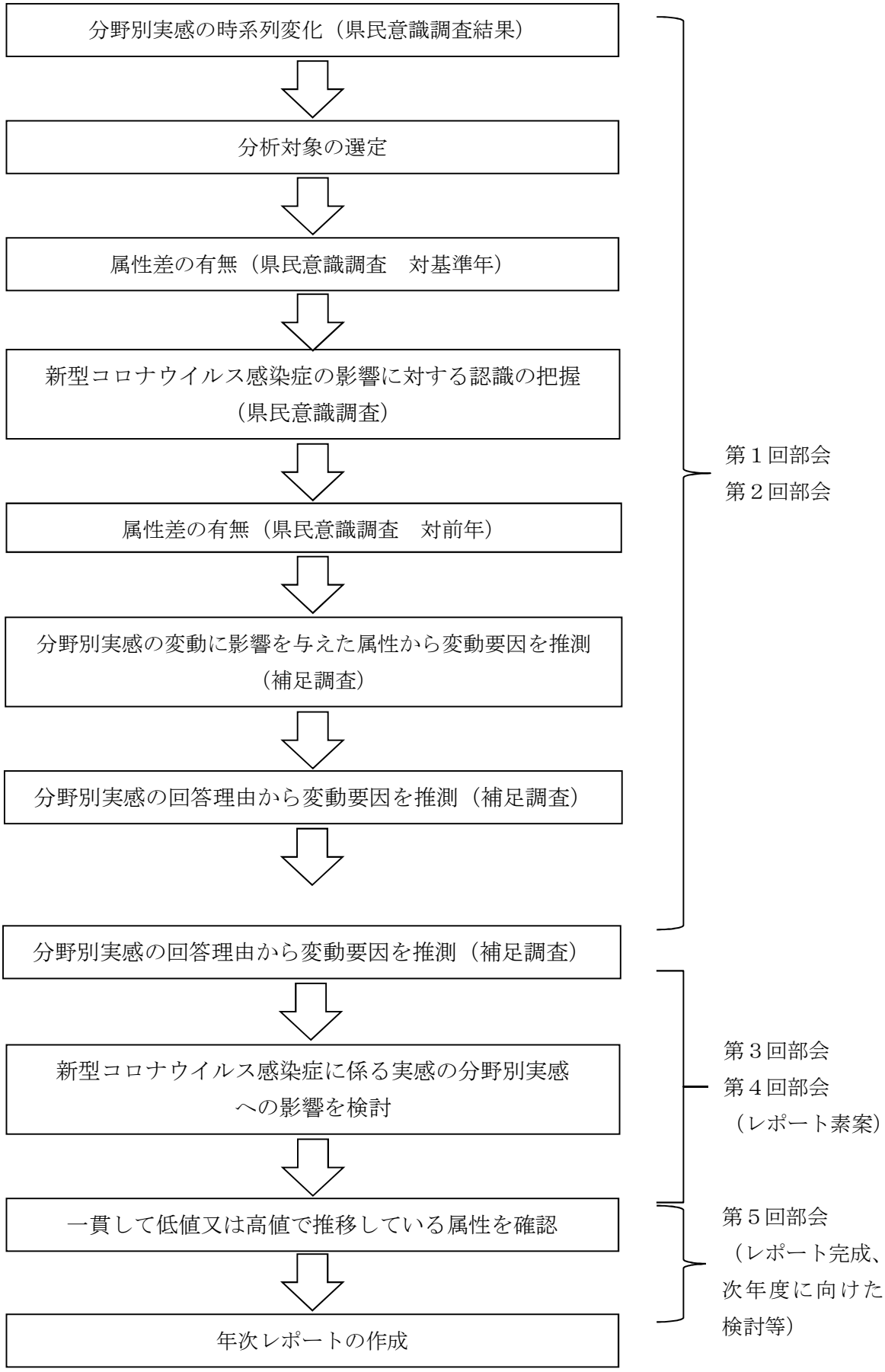
③　新型コロナウイルス感染症に係る影響の実感に係る回答理由から分野別実感への影響について検討

７　平成 28 年から令和３年までの県民意識調査で得られた分野別実感で、一貫して低値（３点未満）又は高値（４点以上）で推移している属性を確認

８　７に該当する属性については、補足調査結果より低値又は高値で推移している要因を推測

９　以上の結果について、年次レポートとして作成

【分析フロー】


分野別実感の時系列変化（県民意識調査結果）
分析対象の選定
属性差の有無（県民意識調査　対基準年）
新型コロナウイルス感染症の影響に対する認識の把握
（県民意識調査）
属性差の有無（県民意識調査　対前年）
分野別実感の変動に影響を与えた属性から変動要因を推測
（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
分野別実感の回答理由から変動要因を推測（補足調査）
新型コロナウイルス感染症に係る実感の分野別実感
への影響を検討
一貫して低値又は高値で推移している属性を確認
年次レポートの作成
第１回部会
第２回部会
第３回部会
第４回部会
（レポート素案）
第５回部会
（レポート完成、
次年度に向けた
検討等）

資料３

令和3年県の施策に関する県民意識調査結果（速報抜粋）

「県民の幸福感に関する分析部会」用

１　調査の目的

「いわて県民計画(2019～2028)」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

２　調査の概要

(1) 調査対象　　県内に居住する18歳以上の男女
(2) 調査対象者数　5,000人
(3) 抽出方法　　選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
(4) 調査方法　　設問票によるアンケート調査（郵送法）
(5) 調査時期　　令和３年１～２月（毎年調査）
(6) 調査項目　　幸福度について他
(7) 回収者数　　3,549人
(8) 有効回収率　71.0%（3,549人/5,000人）
(9) 回答者の属性

【性別】	回答者数	割合
男性	1,561	(44.0)
女性	1,949	(54.9)
その他	6	(0.2)
不明	33	(0.9)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	1,011	(28.5)
県南広域振興圏	1,080	(30.4)
沿岸広域振興圏	833	(23.5)
県北広域振興圏	625	(17.6)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	53	(1.5)
20～29歳	200	(5.6)
30～39歳	320	(9.0)
40～49歳	499	(14.1)
50～59歳	604	(17.0)
60～69歳	766	(21.6)
70歳以上	1,009	(28.4)
不明	98	(2.8)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	282	(7.9)
家族従業者	119	(3.4)
会社役員・団体役員	240	(6.8)
常用雇用者	1,025	(28.9)
臨時雇用者	440	(12.4)
学生	68	(1.9)
専業主婦(主夫)	403	(11.4)
無職	775	(21.8)
その他	51	(1.4)
不明	146	(4.1)

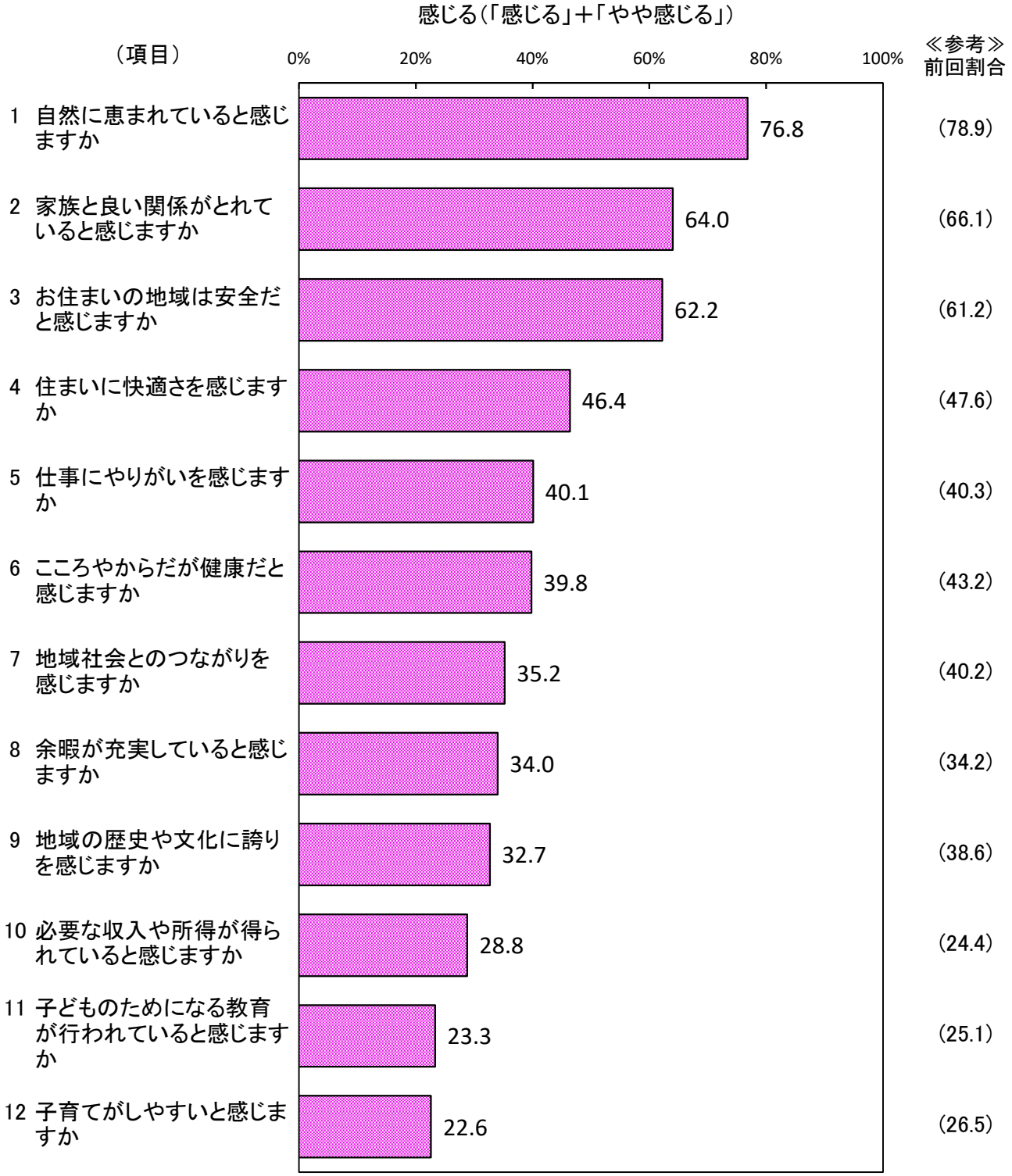
（　　）内は%

（注） 小数点第1位未満四捨五入の関係から、内訳の計が100%にならない場合があります。

問4　県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問4－1　現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

○「感じる」（「感じる」＋「やや感じる」）の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の76.8%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の64.0%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の62.2%となっている。

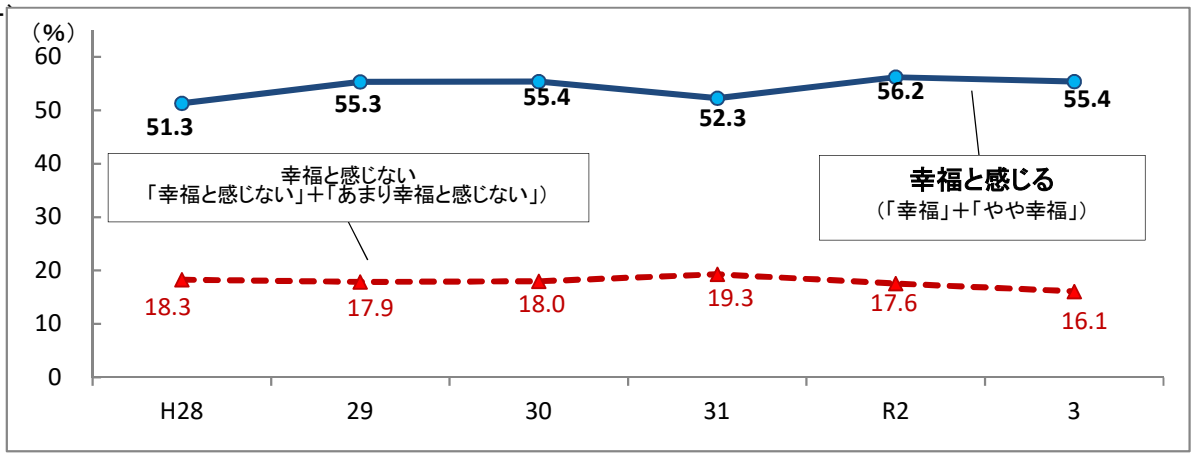


問４－２　あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

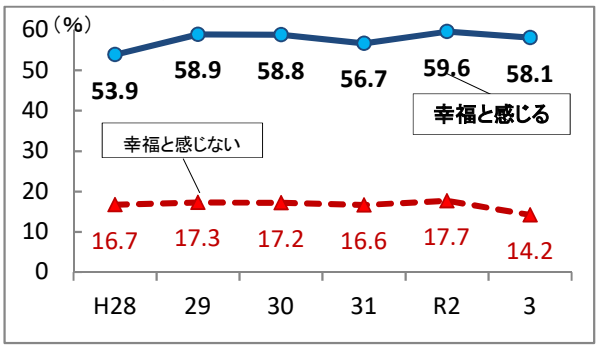
幸福と感じる割合が約55%（55.4%）、全ての広域振興圏で50%以上

○　県計では、幸福と感じる割合は55.4%となっており、前回と比較すると0.8ポイント減少している。幸福と感じない割合は16.1%となっており、前回と比較すると1.5ポイント減少している。
○ 広域振興圏別に前回と比較すると、幸福と感じる割合は県央及び県南で減少し、沿岸及び県北では増加している。幸福と感じない割合は、県央及び沿岸で減少し、県南及び県北で増加している。

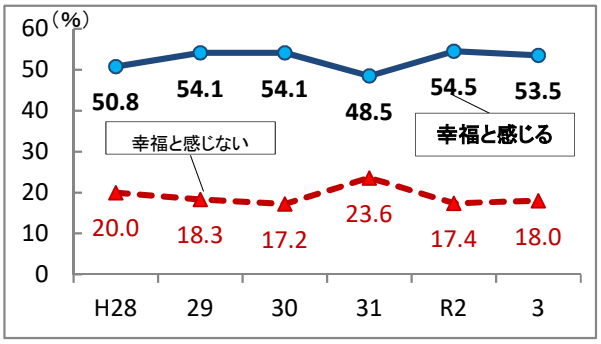
（県計）



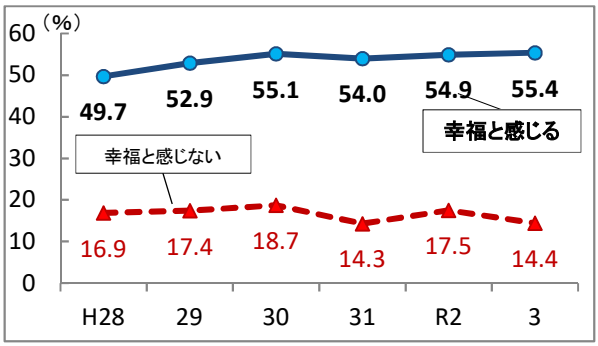
（県央広域振興圏）



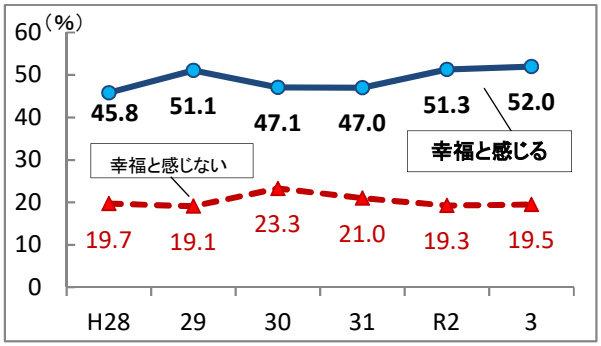
（県南広域振興圏）



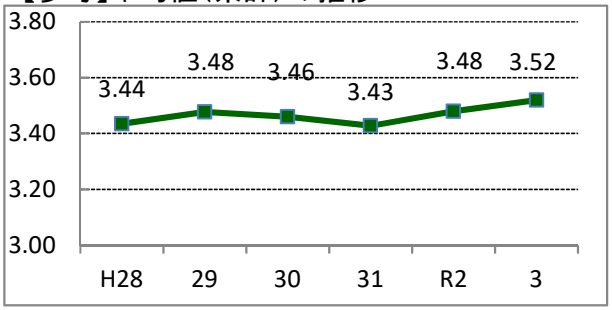
（沿岸広域振興圏）



（県北広域振興圏）



【参考】平均値（県計）の推移



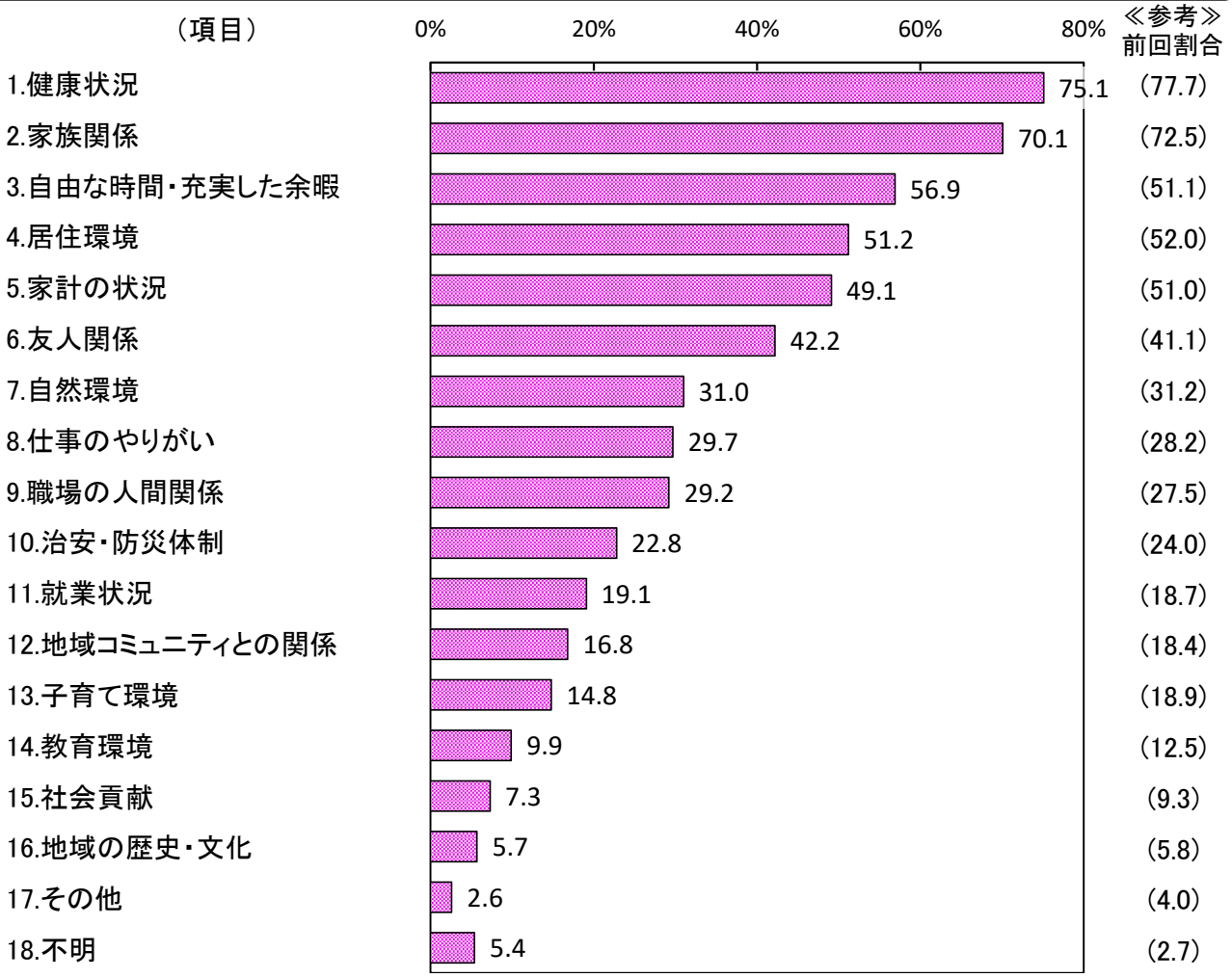
・平均値について

岩手県総合計画審議会「県民の幸福感に関する分析部会」で活用している主観的幸福感の平均値のこと。

「幸福だと感じる」から「幸福だと感じない」までの５段階の選択肢に応じて５点から１点を配点すると、県全体の平均値は５点満点中3.52点となりました。

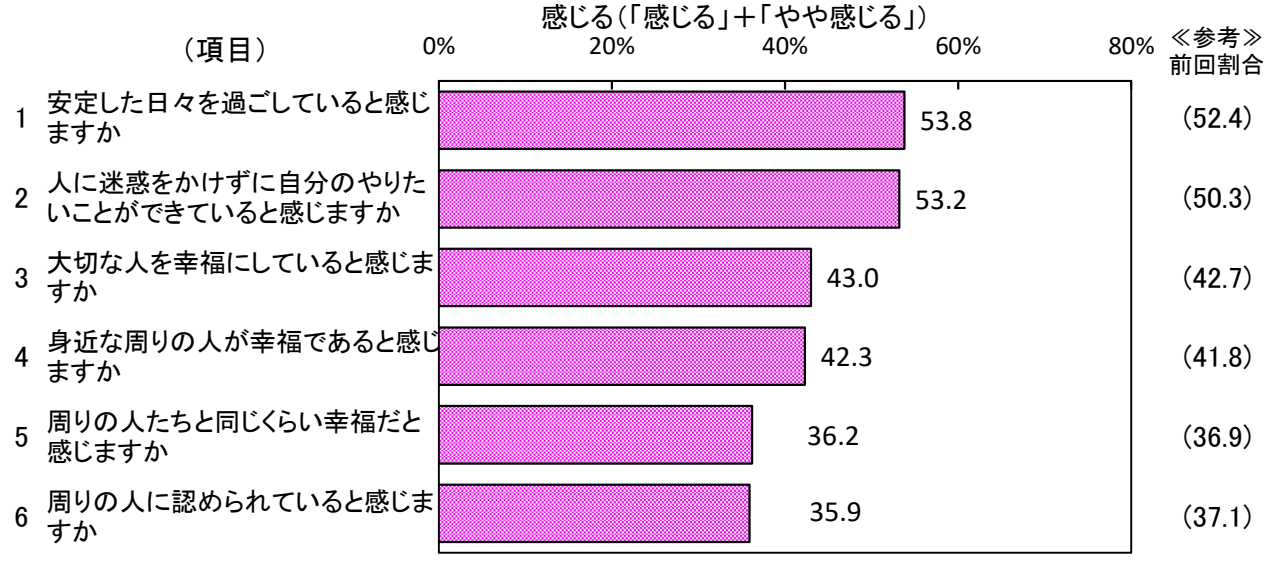
問４－３　あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

○　幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「健康状況」の75.1%、「家族関係」の70.1%となっている。



問４－４　身近な周りの人の幸福等について、あなたの実感をおたずねします。

○　「感じる」（「感じる」＋「やや感じる」）の割合が高いのは、「安定した日々を過ごしていると感じますか」の53.8%、「人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていると感じますか」の53.2%となっている。

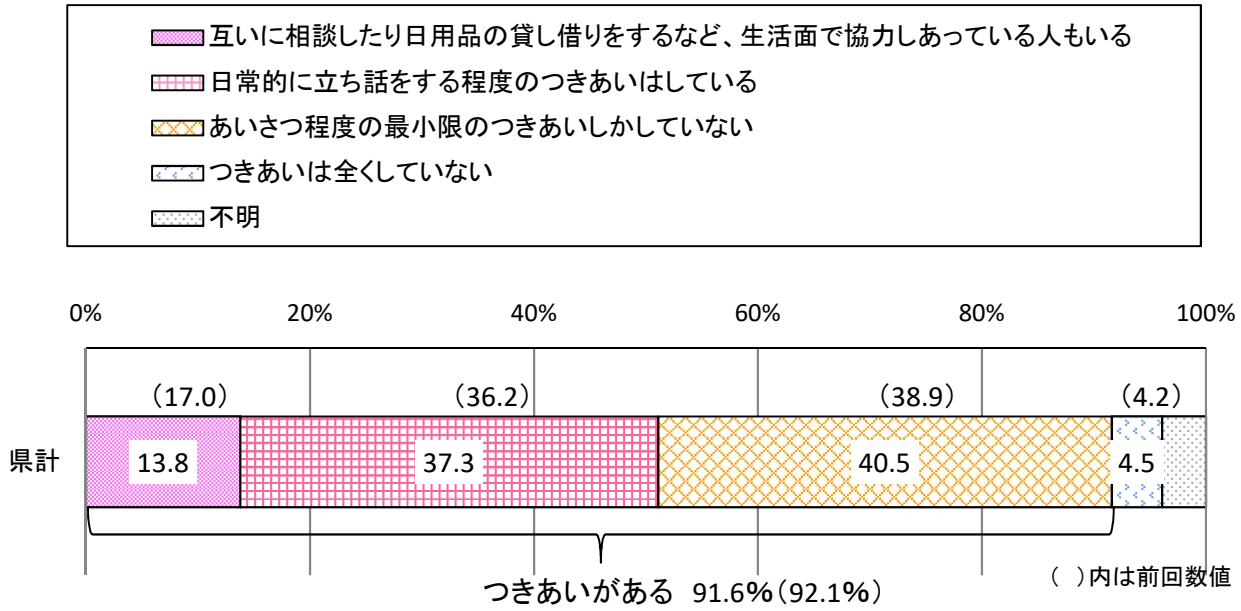


問5　県では、幸福に関連する項目として、「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」といった「つながり」に注目しており、ここからはあなたの「つながり」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問5－1　あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。

○ ご近所づきあいがある（「生活面での協力」、「立ち話程度のつきあい」、「あいさつ程度のつきあい」）と回答した人の割合は、91.6%となっている。

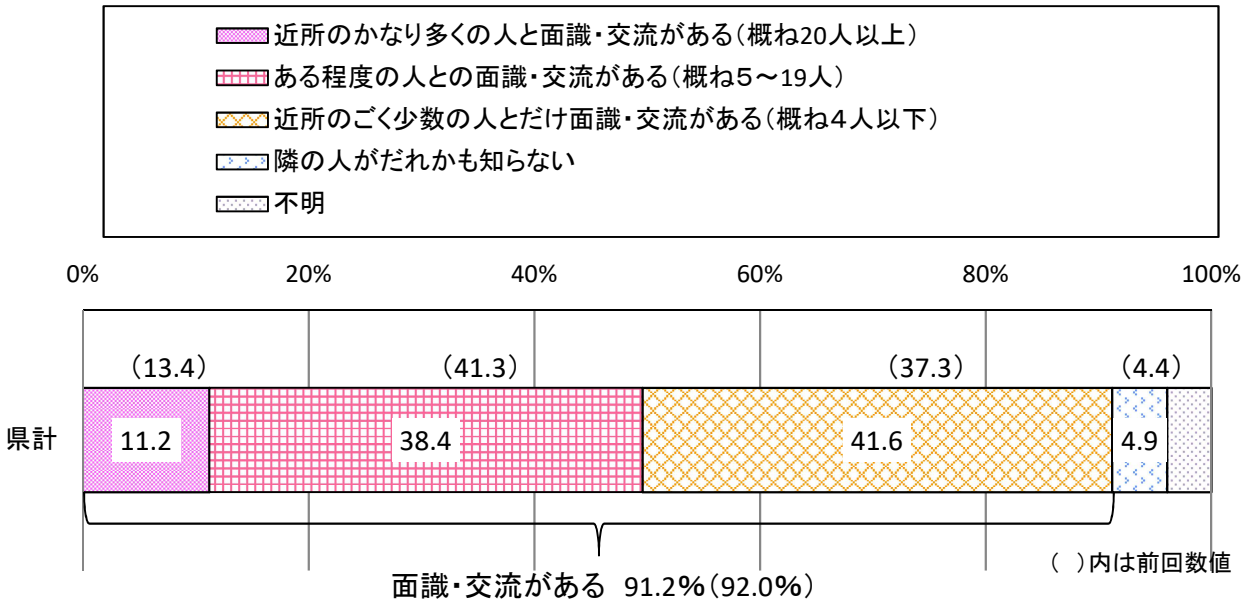
○ 一方、「つきあいは全くしていない」は4.5%となっている。



問5－2　つきあっているご近所の方の数は、どのくらいですか。

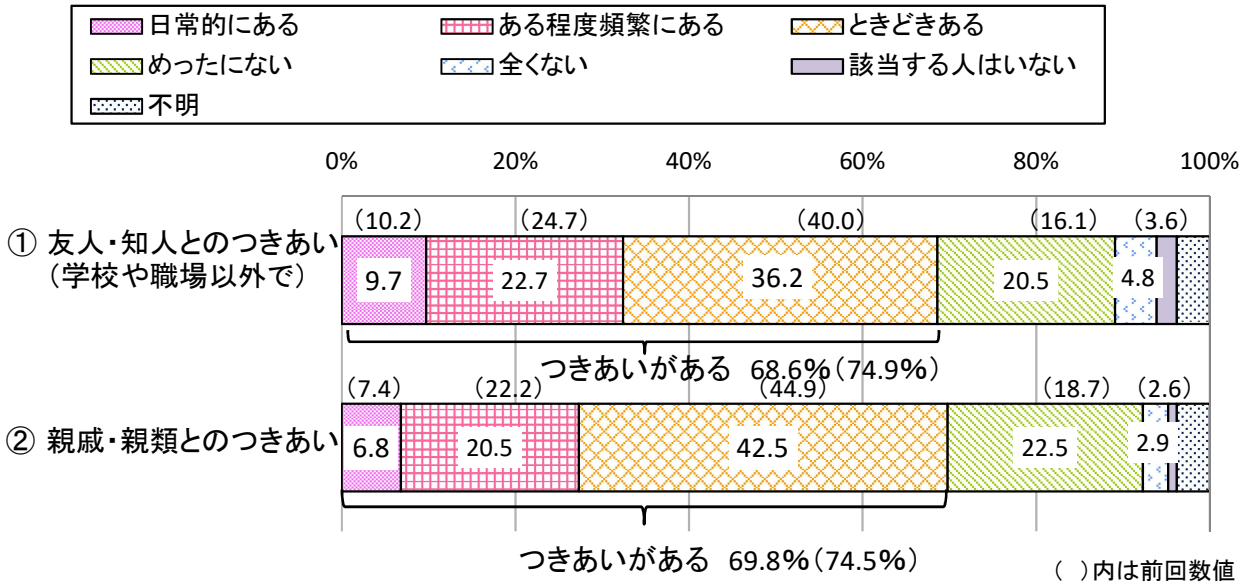
○ 面識・交流がある（「近所のかなり多くの人」、「ある程度の人」、「近所のごく少数の人とだけ」）と回答した人の割合は、91.2%となっている。

○ 一方、「隣の人がだれかも知らない」は4.9%となっている。



問５－３　あなたは、①友人・知人、②親戚・親類とどのようなおつきあいをされていますか。

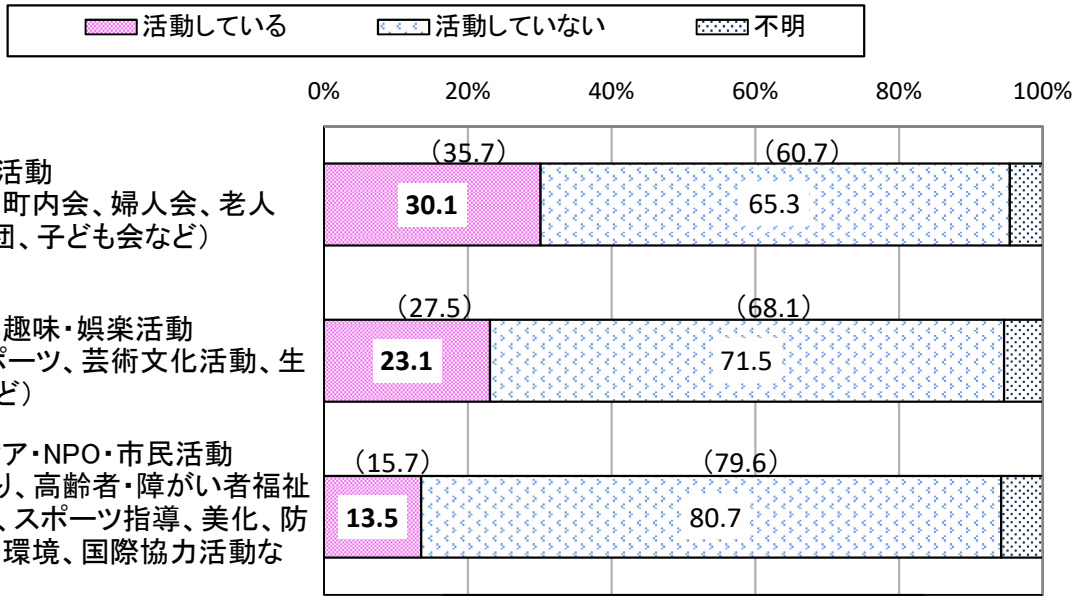
○ 友人・知人等とのつきあいがある（「日常的にある」、「ある程度頻繁にある」、「ときどきある」）と回答した人の割合は、「友人・知人」では68.6%、「親戚・親類」では69.8%となっている。
○ 最も割合の高いつきあいの程度は、「友人・知人」では「ときどきある」の36.2%、「親戚・親類」では「ときどきある」の42.5%となっている。



（ ）内は前回数値

問５－４　あなたは現在、①地縁的な活動、②スポーツ・趣味・娯楽活動、③ボランティア・NPO・市民活動をされていますか。

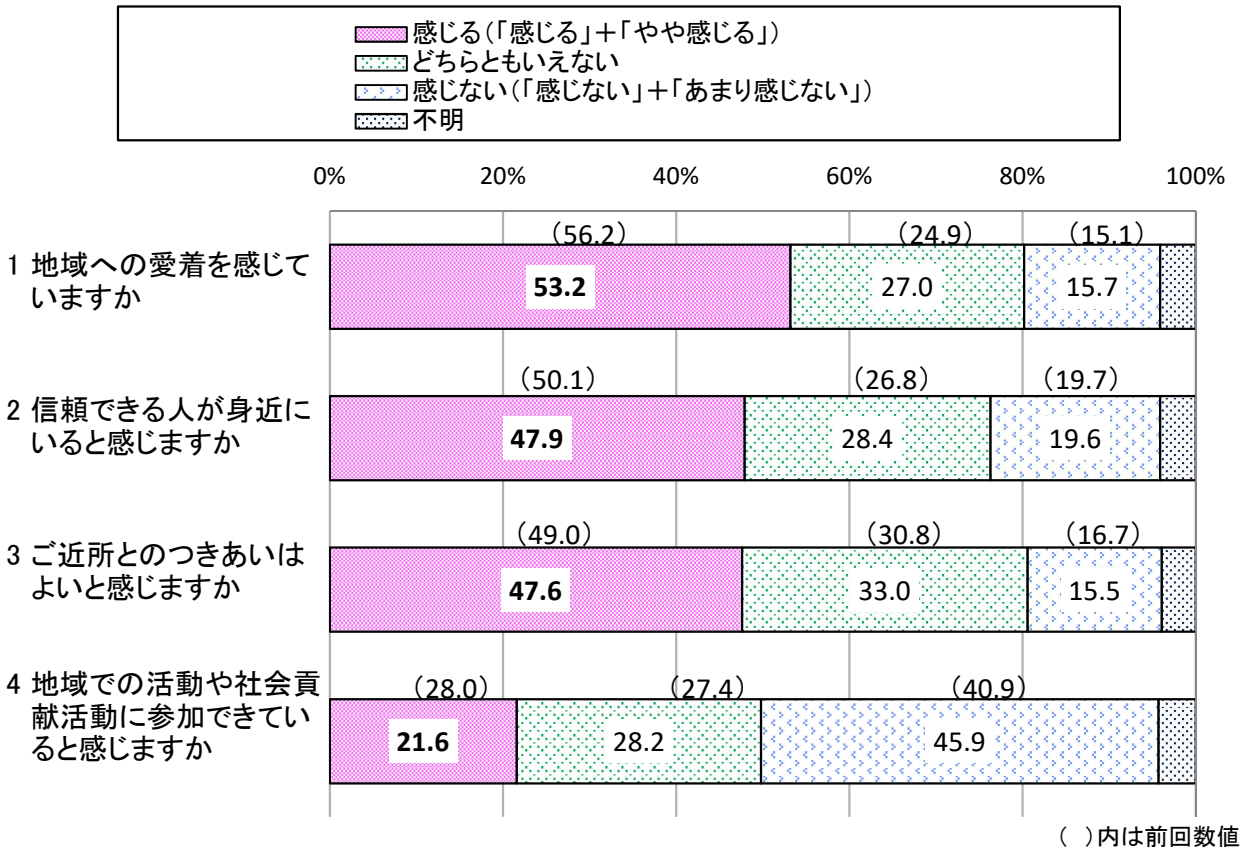
○ 地縁的な活動をしている人は30.1%、スポーツ・趣味・娯楽活動をしている人は23.1%、ボランティア・NPO・市民活動をしている人は13.5%となっている。



（ ）内は前回数値

問5－5　あなたのお住まいの地域（小・中学校区から市町村の範囲）に対する実感をおたずねします。

○　地域への実感は、割合の高い順に、「地域への愛着を感じていますか」は53.2%、「信頼できる人が身近にいると感じますか」は47.9%、「ご近所とのつきあいはよいと感じますか」は47.6%、「地域での活動や社会貢献活動に参加できていると感じますか」は21.6%となっている。



（　）内は前回数値

問6　あなたは新型コロナウイルス感染症の影響についてどのように感じていますか。

○ 分野別実感について、よくない影響を感じる（「よくない影響を感じる」＋「あまりよくない影響を感じる」）割合が高いのは、「こころの健康への影響」の62.7%、「余暇の充実への影響」の60.6%、「からだの健康への影響」の56.8%となっている。

よくない影響を感じる割合
（「よくない影響を感じる」＋「あまりよくない影響を感じる」）

（項目）	順位（よくない影響を感じる割合）	0% 20% 40% 60% 80% 100%
①-1 からだの健康への影響	3	56.8
①-2 こころの健康への影響	1	62.7
② 余暇の充実への影響	2	60.6
③ 家族関係への影響	9	43.7
④ 子育てへの影響	10	42.8
⑤ 子どもの教育への影響	7	46.2
⑥ 住まいの快適さへの影響	12	39.6
⑦ 地域社会とのつながりへの影響	4	52.2
⑧ お住まいの地域の安全への影響	8	44.4
⑨ 仕事のやりがいへの影響	11	42.2
⑩ 必要な収入や所得への影響	5	48.3
⑪ 歴史や文化に触れる機会や場所への影響	6	48.0
⑫ 自然の恵みを感じる機会への影響	13	39.5

※問6は、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化に伴う、政策分野に関連する実感（分野別実感）への影響を把握するため設けた新規設問である。
　分野別実感は、①心身の健康、②余暇の充実、③家族関係、④子育て、⑤子どもの教育、⑥住まいの快適さ、⑦地域社会とのつながり、⑧地域の安全、⑨仕事のやりがい、⑩必要な収入や所得、⑪歴史・文化への誇り、⑫自然の豊かさに対する実感であり、①については、”からだ”の健康と”こころ”の健康に分けて調査した。

「県民意識調査」分野別実感の時系列分析結果（基準年比較）

政策分野	分野別実感	平均値の推移		
		H31 （基準年）	R2	R3 （当該年度）
Ⅰ健康・余暇	(1) 心身の健康	3.00	3.15	3.07
			↑ (0.15)	↑ (0.07)
	(2) 余暇の充実	3.05	2.93	2.97
			↓ (△0.12)	↓ (△0.08)
Ⅱ家族・子育て	(3) 家族関係	3.84	3.86	3.85
			- (0.02)	- (0.01)
	(4) 子育て	3.08	3.07	3.16
			- (△0.01)	↑ (0.08)
Ⅲ教育	(5) 子どもの教育	3.10	3.09	3.20
			- (△0.01)	↑ (0.10)
Ⅳ居住環境・コミュニティ	(6) 住まいの快適さ	3.34	3.29	3.31
			- (△0.04)	- (△0.02)
	(7) 地域社会とのつながり	3.35	3.16	3.09
			↓ (△0.19)	↓ (△0.25)
Ⅴ安全	(8) 地域の安全	3.82	3.66	3.76
			↓ (△0.16)	↓ (△0.06)
Ⅵ仕事・収入	(9) 仕事のやりがい	3.54	3.38	3.49
			↓ (△0.16)	- (△0.05)
	(10) 必要な収入や所得	2.65	2.56	2.77
			↓ (△0.09)	↑ (0.13)
Ⅶ歴史・文化	(11) 歴史・文化への誇り	3.28	3.25	3.18
			- (△0.03)	↓ (△0.11)
Ⅷ自然環境	(12) 自然のゆたかさ	4.21	4.16	4.18
			↓ (△0.05)	- (△0.03)

(注) ①（ ）は基準年との差。
なお、小数点第３位を四捨五入しているため、当該年と前年の差が必ずしも一致しない。
② ｔ検定の結果、5%水準で有意な変化が確認できたものは、網掛けと矢印で表記。

「県民意識調査」分野別実感の時系列分析結果（前年比較）

政策分野	分野別実感	平均値の推移	
		R2 （前年）	R3 （当該年度）
Ⅰ健康・余暇	(1) 心身の健康	3.15	3.07
			↓ (△0.08)
	(2) 余暇の充実	2.93	2.97
			- (0.04)
Ⅱ家族・子育て	(3) 家族関係	3.86	3.85
			- (△0.01)
	(4) 子育て	3.07	3.16
			↑ (0.09)
Ⅲ教育	(5) 子どもの教育	3.09	3.20
			↑ (0.11)
Ⅳ居住環境・コミュニティ	(6) 住まいの快適さ	3.29	3.31
			- (0.02)
	(7) 地域社会とのつながり	3.16	3.09
			↓ (△0.06)
Ⅴ安全	(8) 地域の安全	3.66	3.76
			↑ (0.10)
Ⅵ仕事・収入	(9) 仕事のやりがい	3.38	3.49
			↑ (0.11)
	(10) 必要な収入や所得	2.56	2.77
			↑ (0.21)
Ⅶ歴史・文化	(11) 歴史・文化への誇り	3.25	3.18
			↓ (△0.08)
Ⅷ自然環境	(12) 自然のゆたかさ	4.16	4.18
			- (0.02)

(注) ①（ ）は前年との差。
なお、小数点第３位を四捨五入しているため、当該年と前年の差が必ずしも一致しない。
② ｔ検定の結果、5%水準で有意な変化が確認できたものは、網掛けと矢印で表記。

県民意識調査の属性別平均点について

〇主観的幸福感

あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

		H31	R２	R3	R3−H31（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−H31（寄与度）	参考 R3−R2（対前年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−R2（寄与度）
県計（3,549）		3.43	3.48	3.52	0.09	0.00	**	0.09	0.04	0.16		0.04
性別	男性(1,561)	3.33	3.39	3.42	0.08	0.04	**	0.04	0.03	0.53		0.01
	女性(1,949)	3.52	3.56	3.60	0.08	0.02	**	0.05	0.05	0.18		0.03
	その他(参考)(6)		2.50	3.20					0.70	0.26		0.00
年代	18～19歳(参考)(53)	3.36	3.67	4.14	0.78	0.00	**	0.01	0.47	0.02	**	0.01
	20～29歳(200)	3.45	3.42	3.43	▲ 0.02	0.85		▲ 0.00	0.01	0.91		0.00
	30～39歳(320)	3.37	3.31	3.40	0.03	0.78		0.00	0.09	0.34		0.01
	40～49歳(499)	3.37	3.46	3.45	0.08	0.32		0.01	▲ 0.01	0.93		▲ 0.00
	50～59歳(604)	3.33	3.50	3.40	0.07	0.32		0.01	▲ 0.10	0.11		▲ 0.02
	60～69歳(766)	3.44	3.47	3.60	0.17	0.00	**	0.04	0.13	0.01	**	0.03
	70歳以上(1,009)	3.53	3.53	3.59	0.06	0.19		0.02	0.06	0.20		0.02
職業	自営業主(282)	3.41	3.45	3.51	0.10	0.26		0.01	0.07	0.50		0.01
	家族従業者(119)	3.56	3.77	3.62	0.06	0.67		0.00	▲ 0.15	0.23		▲ 0.00
	会社役員・団体役員(240)	3.59	3.54	3.67	0.09	0.42		0.01	0.13	0.22		0.01
	常用雇用者(1,025)	3.38	3.47	3.45	0.07	0.15		0.02	▲ 0.02	0.69		▲ 0.01
	臨時雇用者(440)	3.46	3.48	3.40	▲ 0.06	0.42		▲ 0.01	▲ 0.08	0.28		▲ 0.01
	学生＋その他(119)	3.55	3.45	3.80	0.25	0.06		0.01	0.35	0.01	**	0.01
	専業主婦・主夫(403)	3.62	3.59	3.79	0.17	0.03	**	0.02	0.20	0.01	**	0.02
	60歳未満の無職(参考)(77)	2.64	2.71	2.67	0.03	0.90		0.00	▲ 0.04	0.87		▲ 0.00
	60歳以上の無職(697)	3.37	3.44	3.50	0.13	0.03	**	0.03	0.06	0.28		0.01
世帯構成	ひとり暮らし(431)	3.08	3.25	3.19	0.11	0.17		0.01	▲ 0.06	0.45		▲ 0.01
	夫婦のみ(718)	3.60	3.66	3.75	0.16	0.00	**	0.03	0.09	0.07		0.02
	2世代世帯(1,437)	3.48	3.48	3.46	▲ 0.02	0.70		▲ 0.01	▲ 0.02	0.66		▲ 0.01
	3世代世帯(548)	3.58	3.57	3.67	0.09	0.19		0.01	0.09	0.15		0.01
	その他(184)	3.19	3.19	3.44	0.25	0.02	**	0.01	0.25	0.02	**	0.01
子の数	1人(450)	3.49	3.55	3.54	0.05	0.51		0.01	▲ 0.00	0.99		▲ 0.00
	2人(1,270)	3.56	3.56	3.68	0.11	0.01	**	0.04	0.11	0.01	**	0.04
	3人(682)	3.53	3.58	3.63	0.11	0.06		0.02	0.05	0.39		0.01
	4人以上(159)	3.37	3.47	3.53	0.17	0.19		0.01	0.07	0.57		0.00
	子どもはいない(802)	3.12	3.23	3.18	0.07	0.27		0.02	▲ 0.05	0.46		▲ 0.01
居住年数	10年未満(100)	3.37	3.72	3.65	0.28	0.08		0.01	▲ 0.07	0.67		▲ 0.00
	10～20年未満(145)	3.66	3.48	3.86	0.19	0.15		0.01	0.37	0.01	**	0.02
	20年以上(3,174)	3.42	3.47	3.50	0.07	0.01	**	0.07	0.02	0.40		0.02
広域振興圏	県央(1,011)	3.53	3.52	3.59	0.06	0.21		0.02	0.07	0.13		0.02
	県南(1,080)	3.31	3.49	3.48	0.17	0.00	**	0.05	▲ 0.01	0.84		▲ 0.00
	沿岸(833)	3.52	3.48	3.55	0.03	0.56		0.01	0.08	0.16		0.02
	県北(625)	3.34	3.40	3.41	0.07	0.30		0.01	0.01	0.88		0.00

（　）は、R３調査のサンプル数

資料4

令和3年県の施策に関する県民意識調査(補足調査)結果

1 調査の目的

県民の幸福に着目して策定した「いわて県民計画（2019～2028）」を着実に推進していくため、「県の施策に関する県民意識調査」で把握した分野別実感の変動要因を把握し、政策評価に反映していくことを目的に、調査対象者を固定し複数年継続して調査を行うパネル調査を実施するもの。

2 調査の概要

(1) 調査対象　　県内に居住する18歳以上の男女
(2) 調査対象者数　598人（各広域振興圏約150人）
(3) 調査方法　　設問票によるアンケート調査（郵送法）
(4) 調査時期　　令和３年１～２月
(5) 有効回収率　95.5%(571人/598人)
(6) 回答者の属性

【男女別】	回答者数	割合
男性	281	(49.2)
女性	258	(45.2)
不明	32	(5.6)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	0	(0.0)
20～29歳	46	(8.1)
30～39歳	74	(13.0)
40～49歳	97	(17.0)
50～59歳	103	(18.0)
60～69歳	108	(18.9)
70歳以上	112	(19.6)
不明	31	(5.4)

【所得別】	回答者数	割合
100万円未満	93	(16.3)
100万円～300万円未満	278	(48.7)
300万円～500万円未満	105	(18.4)
500万円～700万円未満	27	(4.7)
700万円～1000万円未満	18	(3.2)
1000万円～1500万円未満	2	(0.4)
1500万円以上	1	(0.2)
不明	47	(8.2)

【居住形態別】	回答者数	割合
持家(一戸建て)	452	(79.2)
持家(集合住宅)	13	(2.3)
借家(一戸建て)	31	(5.4)
借家(集合住宅)	60	(10.5)
その他	9	(1.6)
不明	6	(1.1)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	149	(26.1)
県南広域振興圏	141	(24.7)
沿岸広域振興圏	138	(24.2)
県北広域振興圏	143	(25.0)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	47	(8.2)
家族従業者	12	(2.1)
会社役員・団体役員	28	(4.9)
常用雇用者	205	(35.9)
臨時雇用者	77	(13.5)
学生	11	(1.9)
専業主婦(主夫)	46	(8.1)
無職	89	(15.6)
その他	23	(4.0)
不明	33	(5.8)

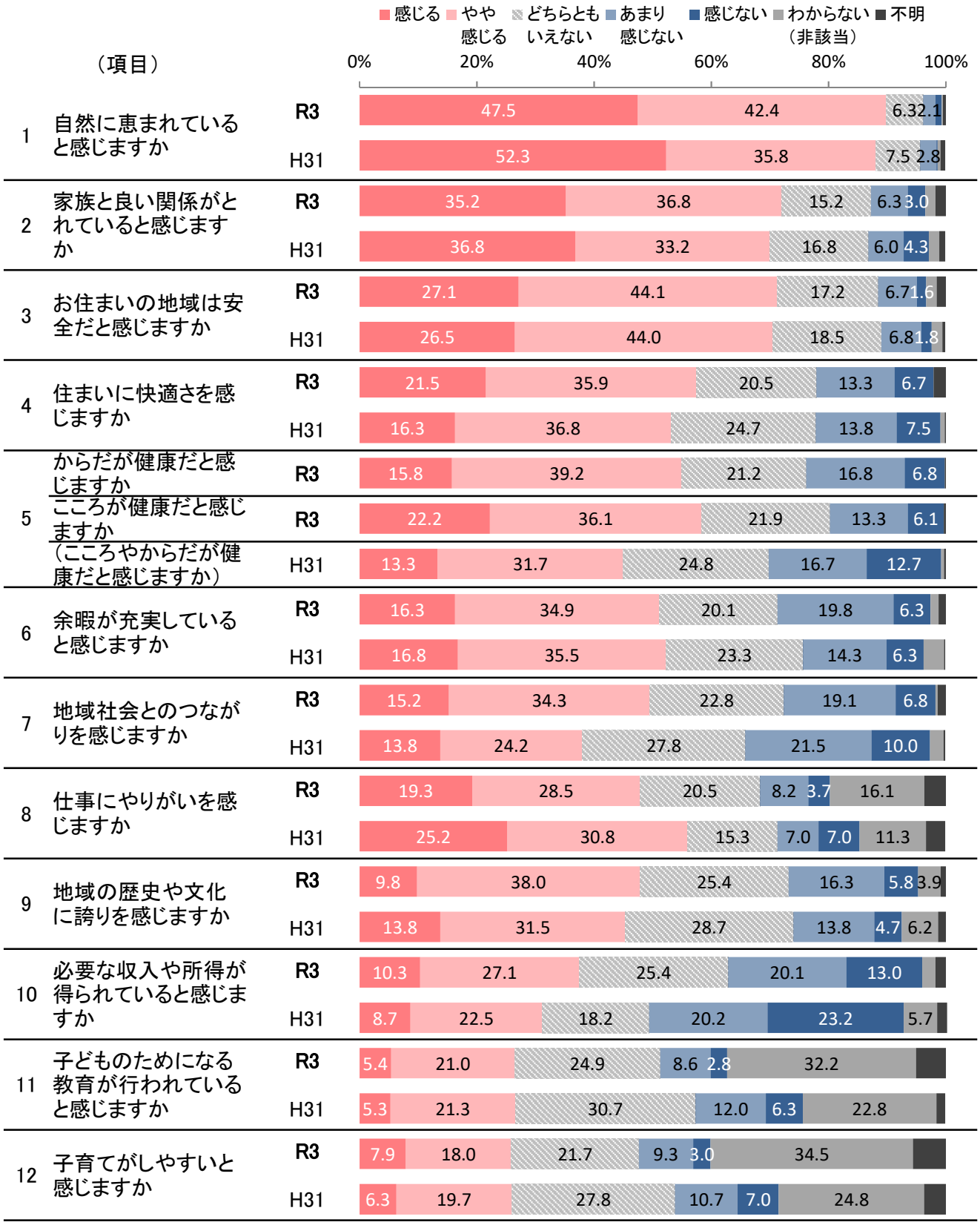
【子どもの数別】	回答者数	割合
１人	69	(12.1)
２人	213	(37.3)
３人	107	(18.7)
４人	13	(2.3)
５人以上	6	(1.1)
子どもはいない	154	(27.0)
不明	9	(1.6)

【世帯構成別】	回答者数	割合
ひとり暮らし	66	(11.6)
同居人あり	489	(85.6)
単身赴任	4	(0.7)
その他	5	(0.9)
不明	7	(1.2)

【居住年数】	回答者数	割合
1年未満	0	(0.0)
1～5年未満	8	(1.4)
5～10年未満	10	(1.8)
10～20年未満	20	(3.5)
20年以上	526	(92.1)
不明	7	(1.2)

問1－1　現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

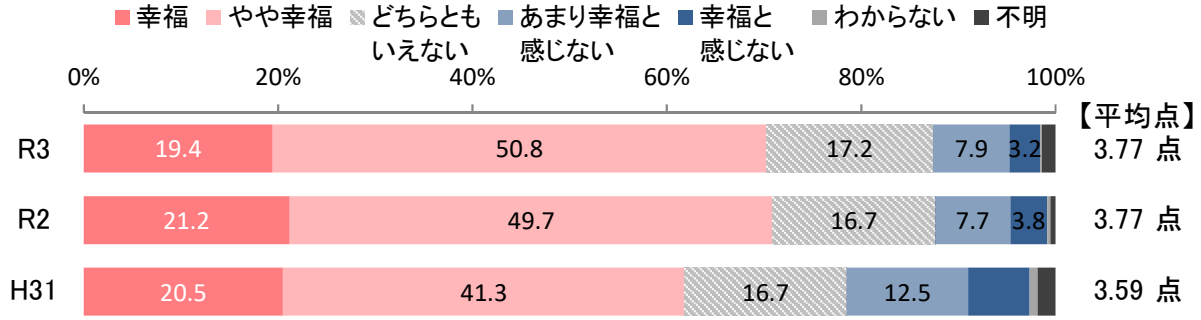
○　「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の89.8%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の72.0%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の71.3%となっている。

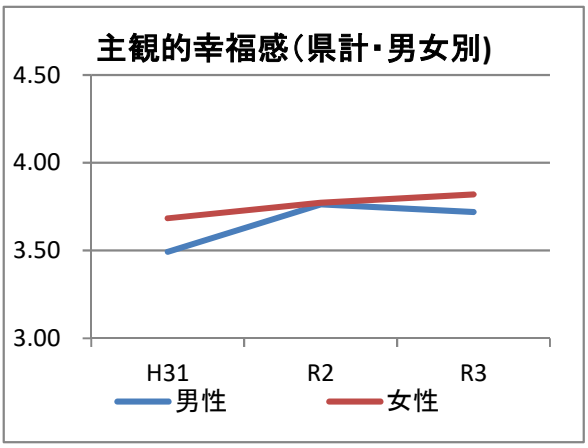


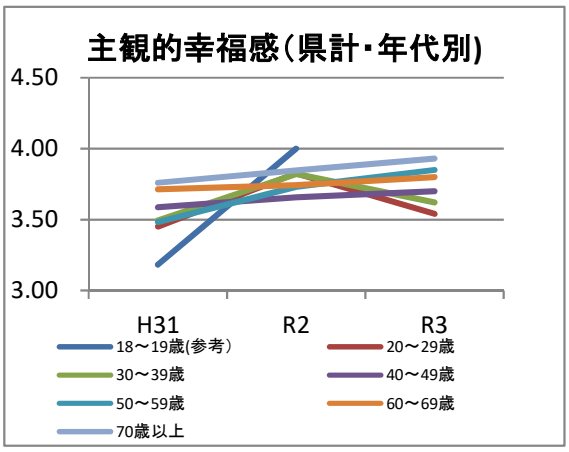
問１－２　あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

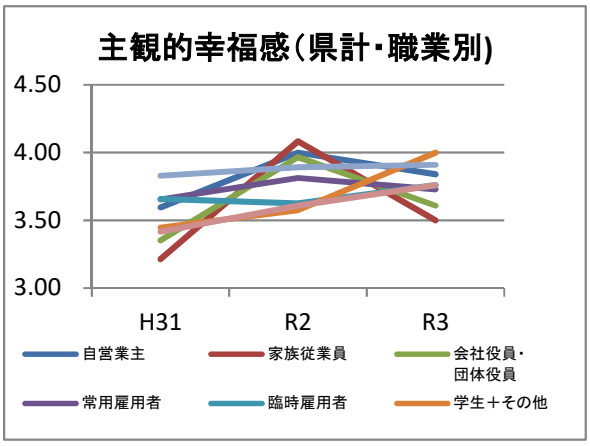
○　補足調査協力者の全体の幸福感は、5点満点中3.77点となり、前回と比較すると0.18点上昇している。

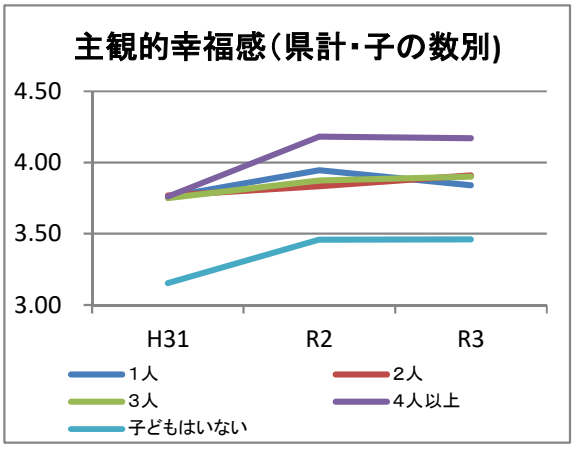
○　「幸福」(「幸福」+「やや幸福」)の割合は70.9%となっており、前回と比較すると9.1ポイント上昇している。

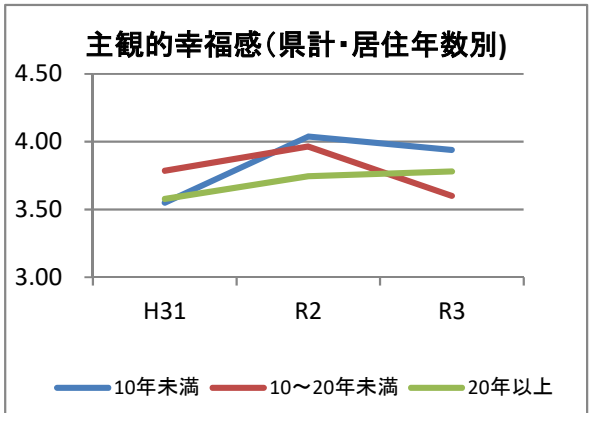


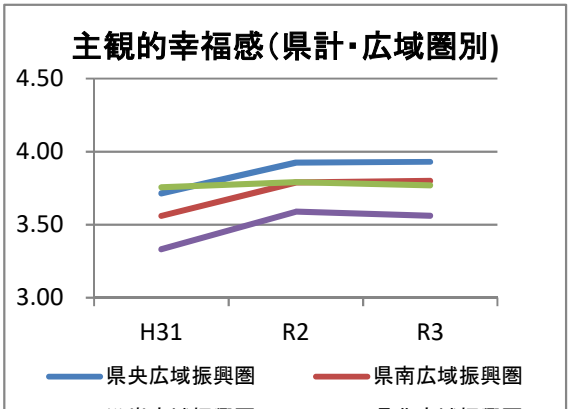








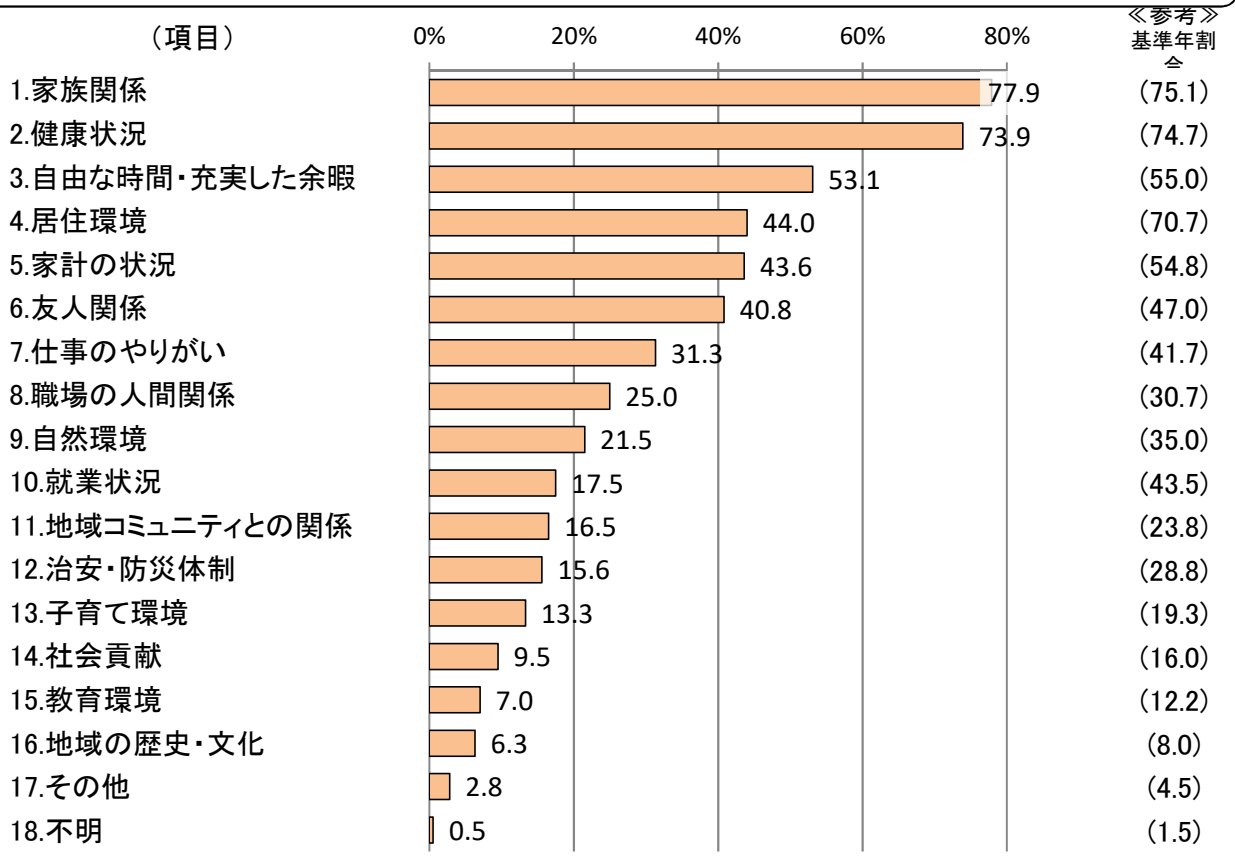





沿岸広域振興圏
県北広域振興圏

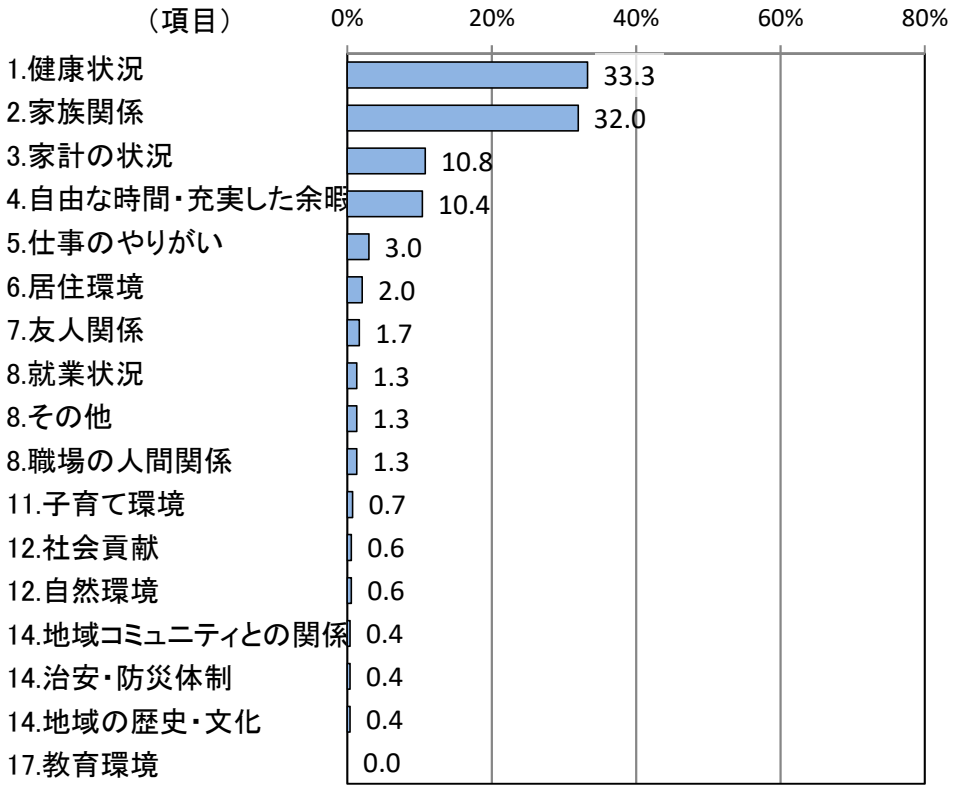
問１－３　①あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

○　幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「家族関係」の77.9%、「健康状況」の73.9%となっている。



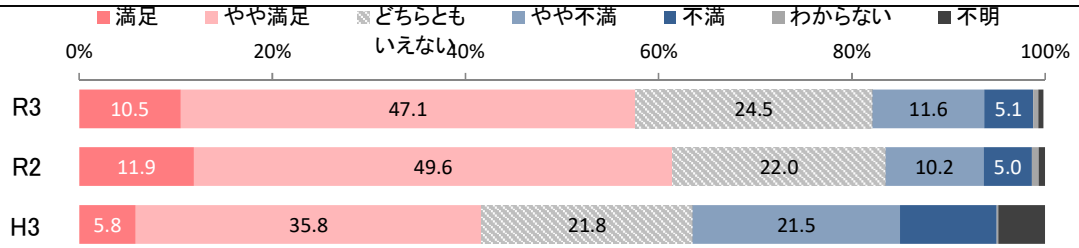
問１－３　②最も重視する事項は何ですか。

○　最も重視すると回答した人が多いのは、「健康状況」の33.3%、「家族関係」32.0%となっている。



問2　あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

○　「満足」(「満足」+「やや満足」)の割合は57.6%となっており、基準年と比較すると16ポイント上昇している。



問3　あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

○ 重要度の高い項目は、「適切な医療体制」、「犯罪への不安の少ない社会づくり」、「交通事故の少ない社会づくり」となっている。
○ 一方、「ILCや新たな産業振興への取組」、「特色ある私学教育の充実」、「日常的に文化芸術に親しむ機会」などの項目が重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考)意識調査	10の政策分野	項目番号	項目
1	1	①	3	適切な医療体制
2	2	⑤	30	犯罪への不安の少ない社会づくり
3	3	⑤	31	交通事故の少ない社会づくり
4	4	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会
5	9	⑨	53	災害に強く安心して暮らせる県土

重要度が低い項目

順位	(参考)意識調査	10の政策分野	項目番号	項目
57	57	⑨	51	ILCや新たな産業振興への取組
56	56	③	19	特色ある私学教育の充実
55	53	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
54	55	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
53	54	④	27	外国人も暮らしやすい社会

※　項目は設問文を要約して記載。

【満足度】

○ 満足度の高い項目は、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「犯罪への不安の少ない社会づくり」、「自然環境を大切にした生活」となっている。
○ 一方、「ILCや新たな産業振興への取組」、「いじめや不登校への適切な対処」、「特色ある私学教育の充実」などの項目が満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考)意識調査	10の政策分野	項目番号	項目
1	1	⑧	49	ごみ減量やリサイクルの定着
2	3	⑤	30	犯罪への不安の少ない社会づくり
2	11	⑧	48	自然環境を大切にした生活
4	2	①	3	適切な医療体制
5	7	⑤	33	購入する食品の安全性に不安を感じない環境

満足度が低い項目

順位	(参考)意識調査	10の政策分野	項目番号	項目
57	57	⑨	51	ILCや新たな産業振興への取組
56	56	③	17	いじめや不登校への適切な対処
55	53	③	19	特色ある私学教育の充実
54	55	⑥	42	農林水産業の担い手確保
53	54	⑥	45	活力ある農山漁村の形成

【ニーズ度】

○ ニーズ度の高い項目は、「いじめや不登校への適切な対処」、「安定した就職環境」、「農林水産業の担い手確保」となっている。
○ 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「身体の健康に関する相談・指導」、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」などの項目がニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考)意識調査	10の政策分野	項目番号	項目
1	1	③	17	いじめや不登校への適切な対処
2	2	⑥	35	安定した就職環境
3	4	⑥	42	農林水産業の担い手確保
4	3	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会
5	5	⑥	36	商店街のにぎわい

ニーズ度が低い項目

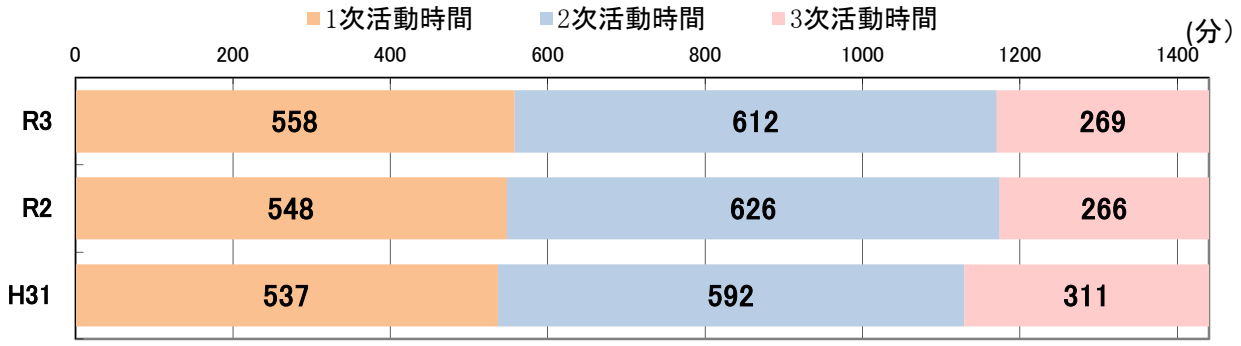
順位	(参考)意識調査	10の政策分野	項目番号	項目
57	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	55	①	1	身体の健康に関する相談・指導
55	54	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
54	56	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
53	51	①	2	心の健康に関する相談・支援

10の政策分野
①:「健康・余暇」分野
②:「家族・子育て」分野
③:「教育」分野
④:「居住環境・コミュニティ」分野
⑤:「安全」分野
⑥:「仕事・収入」分野
⑦:「歴史・文化」分野
⑧:「自然環境」分野
⑨:「社会基盤」分野
⑩:「参画」分野

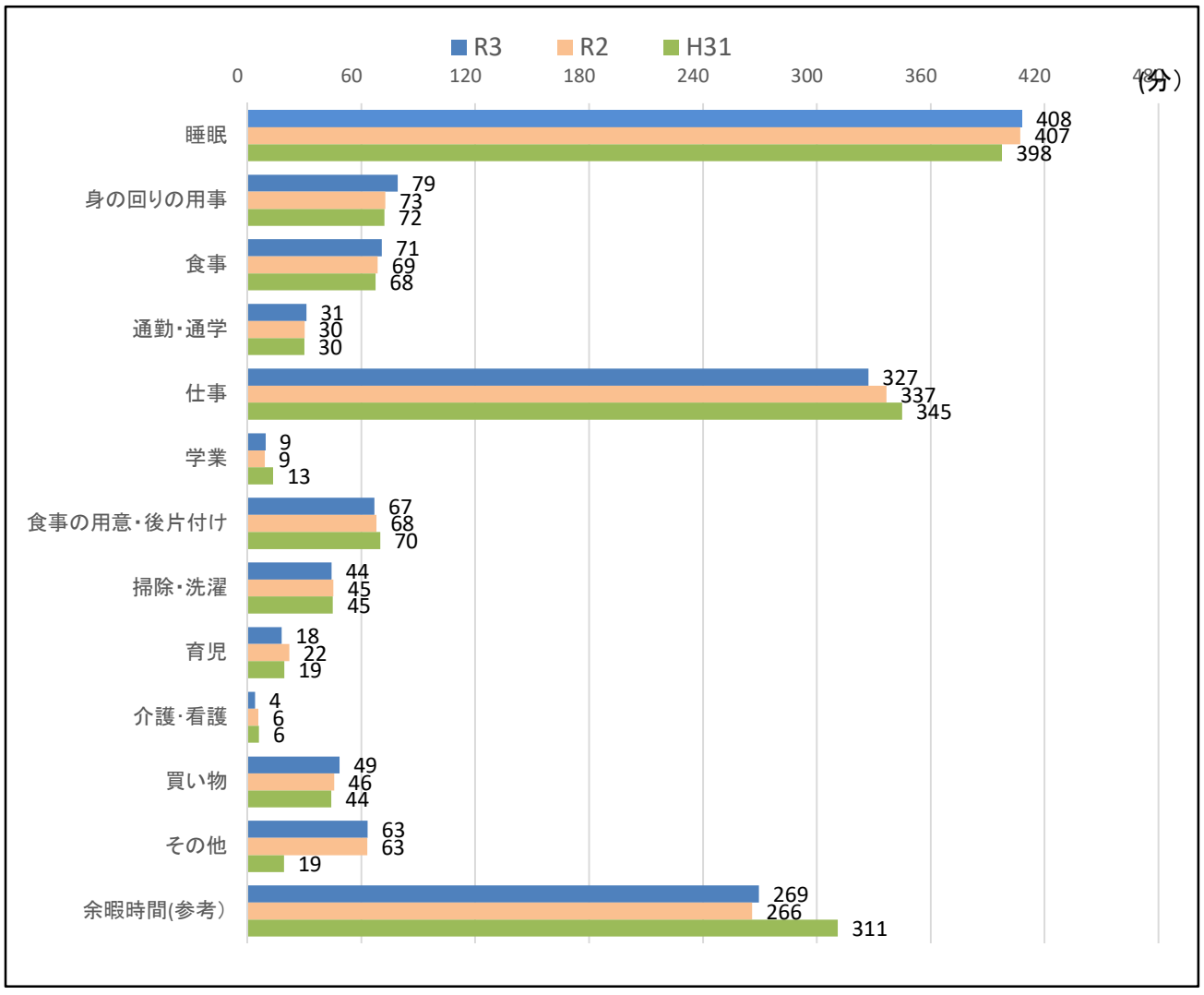
問4　あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

○　1日当たりの行動の内容は、1次活動時間が558分（9時間18分）、2次活動時間が612分（10時間12分）、3次活動時間が269分（2時間29分）となっている。

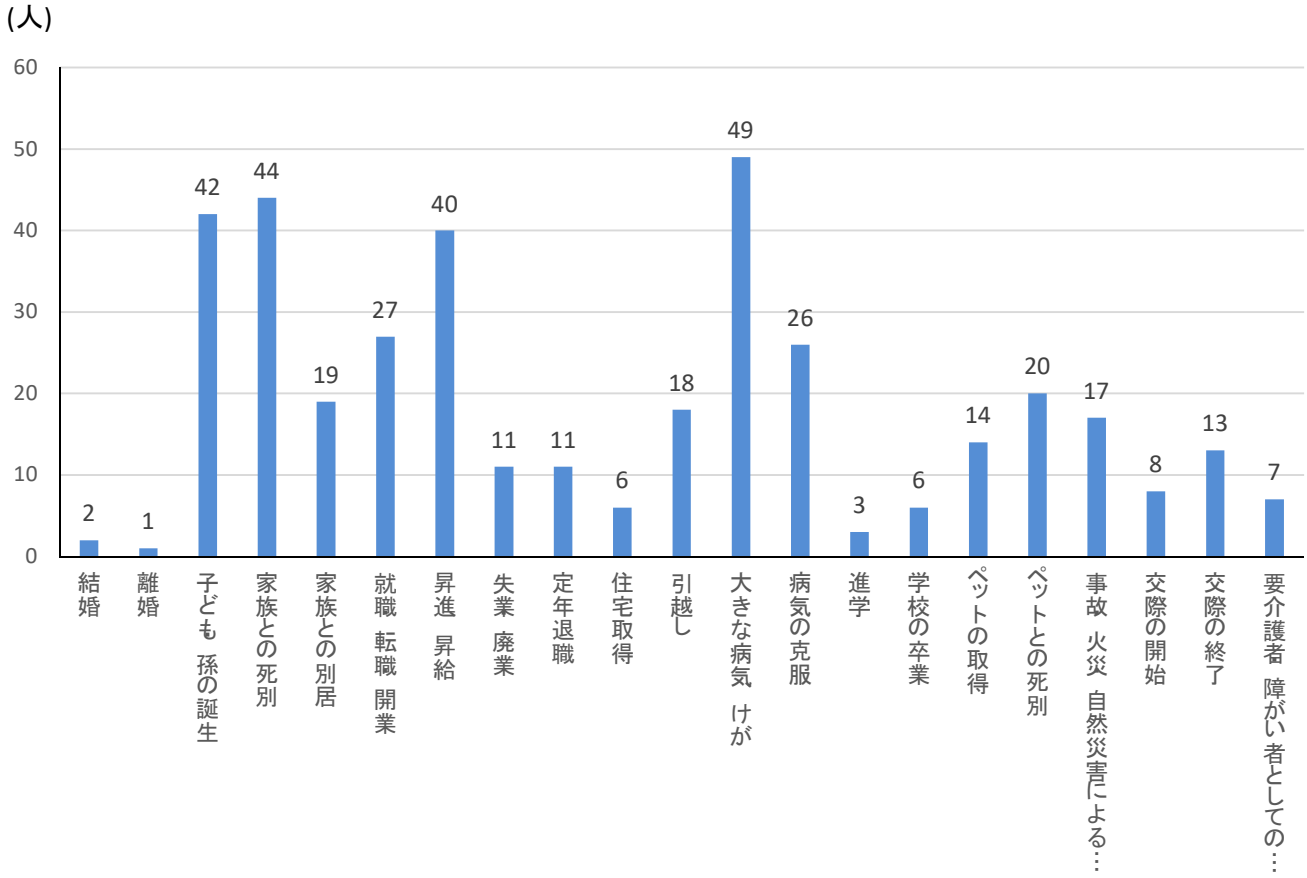
1次活動：睡眠、食事など生理的に必要な活動
2次活動：仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
3次活動：1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動



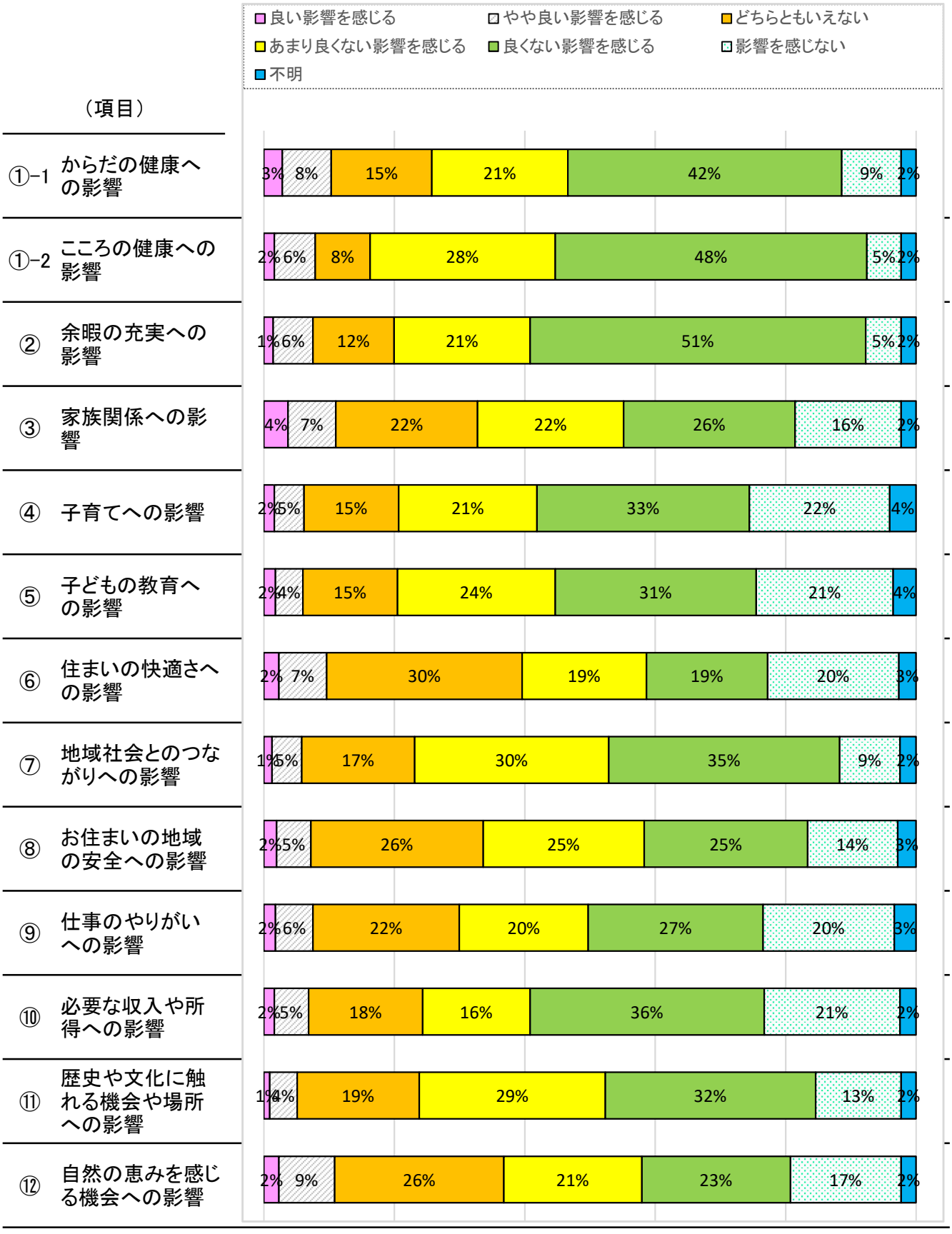
【行動種類別】



問5　あなたが、この1年間で経験したことについて、あてはまるものを選んでください。



各分野における新型コロナウイルス感染症の影響に係る実感（R3補足調査）



コロナの影響

回答状況

	調査項目	回答者	良い影響を感じる	やや良い影響を感じる	どちらともいえない	あまり良くない影響を感じる	良くない影響を感じる	影響を感じない	不明
①-1	からだの健康への影響	571	16	43	88	119	240	52	13
①-2	こころの健康への影響	571	9	36	48	162	273	30	13
2	余暇の充実への影響	571	8	35	71	119	294	31	13
3	家族関係への影響	571	21	42	124	128	150	93	13
4	子育てへの影響	571	9	26	83	121	186	123	23
5	子どもの教育への影響	571	10	24	83	138	176	120	20
6	住まいの快適さへの影響	571	13	42	171	109	106	115	15
7	地域社会とのつながりへの影響	571	7	26	99	170	202	53	14
8	お住まいの地域の安全への影響	571	11	30	151	141	143	79	16
9	仕事のやりがいへの影響	571	10	33	128	113	153	115	19
10	必要な収入や所得への影響	571	9	30	100	94	205	119	14
11	歴史や文化に触れる機会や場所への影	571	5	24	107	163	184	75	13
12	自然の恵みを感じる機会への影響	571	13	49	148	121	130	97	13

回答割合

	調査項目	良い影響を感じる	やや良い影響を感じる	どちらともいえない	あまり良くない影響を感じる	良くない影響を感じる	影響を感じない	不明	総計
①-1	からだの健康への影響	3%	8%	15%	21%	42%	9%	2%	100%
①-2	こころの健康への影響	2%	6%	8%	28%	48%	5%	2%	100%
2	余暇の充実への影響	1%	6%	12%	21%	51%	5%	2%	100%
3	家族関係への影響	4%	7%	22%	22%	26%	16%	2%	100%
4	子育てへの影響	2%	5%	15%	21%	33%	22%	4%	100%
5	子どもの教育への影響	2%	4%	15%	24%	31%	21%	4%	100%
6	住まいの快適さへの影響	2%	7%	30%	19%	19%	20%	3%	100%
7	地域社会とのつながりへの影響	1%	5%	17%	30%	35%	9%	2%	100%
8	お住まいの地域の安全への影響	2%	5%	26%	25%	25%	14%	3%	100%
9	仕事のやりがいへの影響	2%	6%	22%	20%	27%	20%	3%	100%
10	必要な収入や所得への影響	2%	5%	18%	16%	36%	21%	2%	100%
11	歴史や文化に触れる機会や場所への影	1%	4%	19%	29%	32%	13%	2%	100%
12	自然の恵みを感じる機会への影響	2%	9%	26%	21%	23%	17%	2%	100%

新型コロナウイルス感染症の影響

	回答内容
よい・ややよい	・感染拡大防止のために観光や娯楽を控えたことで窮屈さは感じたが結果的に新型コロナ以外の感染症などにかかることがなく例年に比べて健康に過ごせている。 ・自分の生活を見直す機会となった気がする。 ・コロナウイルスのおかげで色んなことに気づくチャンスをもらったように感じる。物事のとらえ方、人とのかかわり方、自分の本心、地球や宇宙に対して。 ・学校行事などが減り親子の時間が増えた。 ・自分自身のコロナ対策を充実してこまめな手洗、消毒、咳エチケット、三密をまもる。新型コロナウイルス感染症にかかる人の気持ちがわかりません。薬もワクチンもありませんので、死ぬか後遺症が残るそうです。親からもらった命を大切にしましょう。 ・手洗、うがい、人混みを避けていることで風邪などひかなくなっている。 ・飲食業、観光業を始め世界の人々が苦しんでいる状況ですがコロナウイルスによって仕事、生活、家族の在り方が変わり始め生き方が問われていると思います。数年後にはコロナウイルスも意味があったと思えるようにと意味を込めてすべて⑤（よい影響を感じる）にしました。 ・みんなが当たり前の事（手洗いなど）を意識したりマスクしたりで不快感が減少されたと思う。札を舐めて出すとかマスクをしてるからなくなってきた。 ・県外に出かける機会を減らし家族の時間を地元でおおくやり有意義にすごしてたから
どちらでもない	・衛生に気をつけるようになり体調を崩すことが減った。出かける機会が減りストレスを感じるが大きな影響はない。 ・健康や精神的な不安は強く感じるが自宅で過ごす時間が増えたこと。人込みを避けて自然に触れる機会は増えたこと。身の丈に合った暮らしを心がけるようになった。身近な家族や親族との関係が良くなった（協力しあえるようになった）。 ・一昨年の秋から今日迄家族や地域でインフルエンザにかかった人が一人もいない。調べたら全国でも同様インフルエンザ患者数は2年間のシーズンより2000分の1に減少。ほかにRSウイルス、手足口病などの感染症も減少した。 ・手洗い、うがいなどきちんとするのはよいこと ・コロナ自粛で家族との時間が増え家族としての幸せを感じる時間は増えたと思うが家族で出かけたり地域行事がなくなり外への交流が減り影響を感じることが多くなった。 ・新型コロナウイルスが身近なものになってないものですから仮定的に考えて記しました。 ・過疎のためイルミネーションはつけても京からの人は見えなかった。
やや良くない・良くない	・行動や様々な機会で制限がかかっている ・人と接する時少し警戒心を持つようになった。 ・毎年年末には家族（9名）でつなぎ温泉で二泊していましたが今年は断念しました。福袋の購入や初詣も中止しました。趣味の社交ダンスも2020年3月より休止中です。 ・時間と経済的な余裕のある人にはGOTOトラベルなどを利用できるが職を失った人や収入の減った人、休みをとれない非正規の人は大変な生活をしている。子供たちは行事・旅行が全て中止になり弱いところに影響が多く出ていると思う。 ・早く「コロナ」のワクチンが打てるよう願っています。 ・飲食業のためシフトが減らされて大変。子供の休校中は仕事を休まざるを得ず、昼食代や光熱費の増加で支出は多くなるのに収入が0になってしまった。いつまでこれが続くか先が見通せないことが一番の不安で収入がいつ途絶えるかと思うと心にも悪い影響をもたらしていると感じる。 ・県外の病院へ通院していたが受診のため移動が心配で受診できなかった。 ・医師、医療従事者、公務員の感染が多過ぎます。そこからのクラスターを考えると意識が低いと感じます。にも拘わらず市民、県民へ責任転嫁をしているようなコメント、記者会見に強い不安を感じます。また死亡率全国ワースト1位には残念な気持ちで一杯です。今回を機に岩手県外への移住を検討しています。 ・主人がコロナの影響で失業。私の仕事が減少し収入減少。どうして盛岡市独自の給付金が無いのか？・市長、知事の危機感の無さすぎ！ ・自分にとっての大きな影響は収入が激減したこと。経済的に苦しくなったこと。・アクティブシニア層がコロナの不安でメンタルの悪化や認知症等の進行が懸念されている。今後県民のQOLの悪化が進行するだろうと考えられる。 ・移動(外出)が制限される ・商業施設等での消毒、飛沫対策が浸透してきておりコロナに関わらず衛生面において意義があり継続してほしい取り組みが増えたと思います。

やや良くない・良くない	・大阪に勤務している息子にあうため年1回は大阪に行っていましたし、息子もお盆に帰ってきていたのにお互いに控えていて会えないのが残念です。・3年程前夫も退職したのをきっかけに車で東北のほとんどを旅行していたのにコロナのため行けなくなりました。県内だけにしていましたが県内もコロナが多くなり今は控えています。12月までは県民割のクーポンを使い小旅行を楽しんでいましたが・・・。 ・（重要）知人がコロナに感染しましたが近隣職場の評判がすごくて精神的にダメージがあり病院に通院しております。知事が言った「ゼロを誇るものではなく、感染者を批判せずケアしてください」ともう一度県民に話してほしいです。知人が可愛そうです。 ・仕事の量が少なくなり収入減になっている。知人、子供等との交流が減った。 ・学校事業の中止、規模縮小などで子どもへの影響を感じる。外出しなくなり自然とのふれあい、ストレス発散の手段が減った。 ・新型コロナは身近に感じております。毎日手洗うがいは忘れないようにやっております。早く安全な生活が出来ればいいと思っております。 ・マスク、手洗、うがい ・自分は学生であるが、休校にあまりならなかったため学業にあまり影響はなかったが、小学生から高校生また大学生は学業に支障をきたしていると感じた。また、アルバイトで自分自身の食費などを賄ってきていたが、コロナの影響により収入が少なくなり少し苦しくなったと感じたため、今回のこのような回答となった。 ・ご近所の方とも遠くから軽い挨拶しかしなくなり交流がなくなった。美術館・博物館・映画館等へ行かなくなった。 ・接客業をしているので常に不安です。 ・安全なワクチンができるまでどのように生活していくか感染しないように。 ・今のところ感染はしていないが精神面のダメージが大きい。普段から仕事や家事育児に追われていて悲しいことにストレスばかり。それでも年数回友人と会って飲みに行ったり心のオアシスがなくなり家にこもるので家族へのストレスは大きくなる一方。仕事もうまくいかないと収入に直結。 ・休日等における外出(県外)の激減や家族旅行の中止 ・今まで普通にできていたことができなくなったことによってストレスを感じる。（外食や買い物、コンサートなど） ・持病を私があるので引きこもり気味です。仕事もこわくていけません。いろんなことで消極的になります。子供達にもうるさいくらい手洗いをするように言います。運動のサークルにも行くのをやめました。働いている家族にもし感染させてしまったらと思うと怖くて友人との食事も我慢しています。岩手も増えてきて東京の息子も心配です。 ・収入が減った ・地域でのお祭り・人が集う事がなくなって生活は不安ばかりでめりはりなく気持ちが沈む ・脳梗塞、COPD(慢性閉鎖性肺疾患）、心臓疾患、脊柱管狭窄症のためリスク大。平成22年7月第1級心身障害認定された。 ・イベントがすべて中止になり売上げが50%以上おちた。このままでは・・・ ・熱があったり体調が悪い場合保健所へ連絡してからの行動となっているが具体的に岩手で検査できる病院等を知らないので公表してもらえると少し安心すると思う。 ・仕事やプライベートの過ごし方など以前と違う対応に困っている。明るい将来が見られないことに不安がある。 ・店の入口にアルコールなどがない所が多く見られる。コンビニやスーパーの店員が接客の際アルコールなどをしてない。 ・コロナで会社が経営不振になりつぶれたので収入はなくなったこと。気軽に外食、旅行ができなくなったこと。 ・子供達は少しでも体調が悪いと学校へ行けないのでオンライン授業を早くできるようにしてほしい。新型コロナの影響で学校と家庭のやりとりがしにくい。交流がない。 ・子供がせっかく第一志望の大学に入れたが思うような授業ができていないため充実感がない。人の交流の制限がある。老人ホームに入っている家族と会えない。 ・今年度から居住地区のゴミ分別当番が各世帯週ごとに持ち回りで始まった。私も先日年末年始にその当番をした。分別されず回収されなかった他人のゴミを開いて分別せざるを得ない状況になり実際行った。なぜこのコロナ禍で誰のかわからない他人のゴミを一般市民が触れなきゃならないのか。感染の観点からして非常に危険なことを強いている地区行政、市行政、県。非常に強い憤りや疑問を感じたがどこに苦情を言うべきかわからなかった。皆やっていることだからと苦情を出すのも申し訳ないと思い他人のゴミに触れてしまったが、他の皆さんも遠慮して苦情を出せずに真面目に取り組んでいるのかもしれません。地域のためですがこのコロナ禍に他人のゴミに触れるのはどう考えてもおかしい。県から市や地区に改善や指導を厳重にしていただけるとありがたいです。

やや良くない・良くない	・知らないうちに感染してるかもしれないコロナウイルスの感染拡大を防ぐため今までの日常の普通をうばって何事も制限され充実感が感じられない1年でした。 ・自治体間の移動自粛があり家族との交流が疎外されていること。 ・自殺者の増加、いじめなどの問題が増加していること、失業者の増加 ・ライブイベントなどがなくなり楽しみが減ってしまった。外出するのがこわい。 ・気軽遠出ができない。花巻祭りがなくなった。 ・酷暑の中マスクをつけながらの学習。仕事で体力の消耗が目に見えてとっても心配な毎日でした。 ・コロナによって公園に行く機会は増えたが人とのかかわりが減った。屋内の施設に行く機会はほぼなくなり子供の教育機会は減った。余暇の過ごし方が毎週同じでストレスを感じる。 ・体温計を毎朝使用し、マスクを忘れずに使用し、手洗うがいを忘れずマスクを忘れず使用し、手洗、うがいを忘れず終息することを願っている。 ・休日に出歩くことが少なくなり子供がストレスを感じている。仕事には全く影響がない。 ・月に1回の地区集会がなくなり地域住民が交流する場が少なくなった。 ・子供と過ごす時間や一緒に行う（掃除や料理など）ことが増えたのは良かったと思いますが、行事や出かける機会がなく、感染の恐怖でストレス発散できない状態です。 ・職場で発生した際いたずら電話や収束しても地域の人々の見る目が冷たく感じます。 ・コロナウイルスの影響でどこにも出かけれないしいろいろな予定をキャンセルした。コロナで仕事を失った人もたくさんいるし、観光地や飲食店も大変みたいだし、いい影響なんて何一つない。 ・子供が2人、他県の学校に在学中であるが授業リモート化によるコミュニケーション不足、メンタル面での不安、帰省手段の選択や移動中の感染予防、体調維持のストレス、日常生活の気力低下が気掛かりのためこまめに連絡を取り合う。 ・今現在は身近にコロナにかかった人がいないのでそれほど感じないが長引くと子供への影響はますます出てくるだろうと感じている。 ・保育園行事の中止、幼稚園入園に向けた説明会・見学の中止、家族旅行の中止、お祭りなど年中行事の中止、泣き相撲大会・各地イベントの中止 ・どこにも行けないストレス。心、体、経済的弱っております。 ・感染症予防対策について岩手県の取り組みはわかりやすく賛同、協力しています。ラインでのメールも活用しています。心配な毎日ですが、知事さんはじめ担当者の皆様も健康に留意されてこれからもよろしくお願いします。岩手は震災も協力できたので大丈夫だと思っています。 ・子どもの試合が数多く中止になったことで練習の成果を発揮する場が失われた。試合でしか得ることができな感情や経験を積むことで人間としても成長できると思う。そういう意味で子どもの教育においてよくない影響と感じる。 ・行動、面談、交流等の中止、延期。様々な経験の機会の逸失。 ・休暇の過ごし方が影響（予定の見直し、中止等） ・特に場所によっては感染者の詮索が行われること ・常にマスクを着用することとなり対面する時の相手との距離など言動にもこれまで以上に配慮が必要となり影響を感じずにはいられないからです。 ・業務の大幅な変更。県内外の知人に会うことの怖さ、周囲の目。 ・普段会わない人と会ってしまった場合2週間はモヤモヤしながら生活している。遊びたい盛りの子どもを連れてお出かけできない。外で遊んでいるにも人目が気になってしまう。 ・仕方がないのかもしれないが今まで行っていた飲食店が閉まってしまうのは悲しい。 ・不安 ・地域の高齢者の定期的な集まり(自治会のサロンなど)がなくなった。気持ちの張り合いや足が弱ったと感じる。その結果食料品や日用品の買い物、病院などへ出かけにくくなった。遠くに住んでいる家族、肉親と会えなくなった。 ・イベントを企画・運営する立場だが何もできず人との交流にかかることが進められない。 ・個々の無関心特に若人(20~50歳)が目につくのです。何かというとこの年代の方々が家庭に持ち帰りそれを広げている。しっかりルールなのです。 ・飲食業、観光業等影響の大きい産業への支援、コロナに対する過剰防衛反応、感染者や県外在住者の差別 ・外出ができない。友達とも会えない。家で過ごす時間が長くなりました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策としてgotoトラベル、gotoイート等逆行している。また何故時短等で防止になるのか考え方がわからない。防止策徹底するのであればもっと強力に推し進めるべきである。また仕事を失った人などもっと手厚く支援すべきである。政府はやる気がないのではないか。国民の痛みがわからないのではないか。 ・ニュースや情報が悪影響に感じる。ルールを守り楽しく暮らすを考えています。

やや良くない・良くない	・仕事(働く時間が短くなったなど・・・）給料が変わった。 ・仕事、家、スーパー以外の外出していないし他の家への訪問もひかえて生活していると疲れる。皆が家にいるので自由時間も減った感じ。出費も増えた。食費が増えた。楽しみは食べる事になると台所の時間が増える。息抜きしたい。友人とも遊びの話はしにくい。辛い。研修会もなく自分で学習意欲を高めないといけない。気持ちがついていかない。 ・子供が帰省できなかった。 ・早くおさまってほしい。ワクチンと薬がはやくほしい。岩手で積極的に治療できる環境を考えてください。 ・コロナの規制で配偶者の病気について納得した治療や看護を行うことができなかった。県立中央病院から治療の継続ができないと転院を余儀なくされた。主人は私一人だけで看取りました。 ・出かけるのが怖くなったから ・月に一度東京に通院していましたが昨年2月以降は行けなくなり持病の症状が悪化。専門の先生に受診できるまでに時間がかかり手術することになりましたが岩手県内でコロナ感染者が出たことにより手術も延期に。一日も早い終息を願っています。 ・すべての活動が停滞していてよくない。 ・2世帯で暮らしているがコロナに対する考え方取り組み方が世代間で偏りがありその偏りにより意見衝突することがある。 ・コミュニティが深い文化があるためかコロナ陽性者の個人情報がすぐ広まる。 ・人との交流の機会がなくなった(お祭り関係)。 ・自分の地域でもいつ発生してもおかしくない状況であること。仕事柄常に危機意識を持たなければならない事。 ・この地域では感染者が出えていないが感染者、クラスターが発生した時基礎疾患がある家族がいるため不安に感じる。 ・夫婦で大きな病気で入院手術を受けました。家族が心配しましたが会うこともできずに互いにストレスで心がへこんでしまった一年でした。孫達(関東に住む）に会うこともできず自由すぎる人達を見るたびもう少しみなさん気を引き締めてほしいと希望しています。 ・移動を制限されたり人間活動の制限があることで環境への負荷の変化や人の生き方に対する変化があることを意識しました。 ・コロナ禍で生活に制限ができ会いたい人にも会えない心苦しい気持ちでいます。(病院、施設面会など）いち早く終息を願っています。東日本大震災で大変な思いしたばかりなのに！ ・県外の人との交流が多かったためそれがほとんどなくなってしまった。 ・新型コロナウイルスに感染した方が乗っているかもしれないので電車、新幹線に乗って出かけることができません。 ・イベントの中止 ・仕事の関係上（医療系）行動制限が大きくストレスを感じている。 ・高齢化とともに基礎疾患の持病が多くなり不安が高まった。仕事のやりがいも低下した。孫たちの成長も心配である。感染者の住居だけは発表して欲しい。クラスター防止のために。感染者の要因は何となく自覚のなさが目立つ感じ。岩手の場合クラスター発症を止められない状況。狭い地域での拡大がとても心配である。 ・東日本大震災の時のように個々の人間性が見える。そして新型コロナウイルス感染拡大防止策として仕事が山積みであるにも関わらずリモートワークになった。在宅勤務しづらい業務があり仕事が停滞している。 ・外国船の入るのをもう少し考えるべきだった。国県の担当はもう少し現状（全世帯）みてほしい。 ・コロナがいつになったら収束するのかと暗い気持ちになります。総理大臣が率先して動いているようには見受けられず経済ばかり優先して年金受給者は死んでもいいとしか思いません。国民の為を思う「政治家」が出現しない世の中になったと思います。自民党は数の強さで正しきことが消されて挙句の果てには「コロナ」になった人に罰則を作るなんて子供が聞いてもおかしいことをまかり通る世の中でとても落胆してしまいます。Gotoキャンペーンはコロナが増えていいよと企画したとも考えられます。早くコロナが終わってほしいです。私も千葉にいる孫にも2年会えなく残念です。経済ばかり考えず国民目線の政治をやってほしいです。まるで権力者に物言えばお手打ちのような感じが見受けられます。一日も早くよい方向に！ ・手洗、うがい、マスクの習慣がついたのは良いと思うが少し風邪をひいただけで保育園、仕事に行けないのはツライ。子供を連れての外出もこわくて(コロナが）出来ない。 ・公務員なので周りの方よりは影響が少ない。仕事が減ったわけでもない。(余暇もそのまま)・県外への外出ができず苦しい。周りの目が気になる。 ・家族旅行など行けなくなっている。

やや良くない・良くない	・行動制限による目に見えないウイルスへのストレスなどによる影響が多い。 ・外出の自粛・趣味や運動などの活動中止 ・趣味の旅行や映画鑑賞、地域活動の実施と参加、子供達や孫との往来が自由にできなくなったこと。また親族や親しい人の葬儀等が身近な者でしかできなくなったり子供が結婚式(披露宴)を行えずに困っている・・・ことなど多くのことが影響を受けている。 ・市内にも月の半分関東に行っている人を知っていてその人から感染したりクラスターとか起こった時のことを考えると心配なとこもあります。 ・好きな時に好きな場所に自由に行けることができなくなった。心への影響がある。県外に出ることは控えることとなったため、県内に小旅行することとなり、インターネットで観光情報を検索してもあまりぱっとせず、もやもやしたままだった。しかし、いざ行ってみると、知らなかった県内の魅力を感じることができた。 ・学校行事の縮小・中止。成人式の中止・延期。修学旅行の延期。 ・健康、生活、仕事への影響について「マイナス」のイメージしか感じない。 ・もともとインドア派なので交流系は変化がない。仕事にも特に影響がない。が、影響を受けた第三者を目にするたび将来に不安を覚える。 ・孫たちの未来が心配 ・コミュニケーションがとれない。少ない。 ・非正規で仕事をクビになったが新しく雇ってもらった先でよくしてもらえている。前より連携してコロナ対策をしていて孤独感が減った。みんなの意識が変わりコロナへの危機感を使命感に変えて消毒等に気をつけている。そのかわりストレスは強いまま。子供達も不安を抱えているのを感じる。出かけられないのもストレスに。 ・出かける機会が減り県外の家族との交流ができなくなった。自分の行動範囲が小さくなって不便に感じる。 ・持病があるのでもし感染したらと思うと怖い怖い日々です。以前よりまして外出するのもためらっています。 ・テレビなどの話を聞いていると隣近所の人と話をするのも心配になってくる。マスクをしていても心配。 ・0歳児の子育てで人に会うことが難しいため今後の成長への影響が気になる。 ・地域の行事がほとんどなくなり人との触れ合いがなくなった。冠婚葬祭も同様に人と会う機会がほとんどなくなった。特に新しい人と出会うことがなくなった。その代わりオンラインでコミュニケーションをとることを覚えた。 ・コロナの往来自粛。知事の首都圏の感染拡大が地方にも影響していると考えられると言っていましたがまさにその通りだと思います。今はコロナを減少させることそのあとに経済。両立なんかやってるから第2第3になると思う。優先順位つけ第一命、第二経済、第三教育だと思う。 ・私は体を壊し退職しました。もし感染したら間違いなく助からないでしょう。そのこともあり娘が帰省できずしばらく顔を見ていないのでとても心配です。外食が多かった息子は仕事が終わるとまっすぐ帰宅して家族そろって食事するようになりましたし、主人もパチンコに行かなくなりました。その分お酒の量が増えて大変なことになっています。 ・外出、親族などの集まる機会の減少 ・むずかしかったです。 ・病気の治療中であり基礎疾患もあるため感染した場合の体調体力が想像つかない。何も考えられない。

資料5

【県民意識調査】属性別平均点一覧表（平成31年調査と令和3年調査の差）

：上昇、：横ばい、：低下

			主観的幸福感	心身の健康	余暇の充実	家族関係	子育て	子どもの教育	住まいの快適さ	地域社会とのつながり	地域の安全	仕事のやりがい	必要な収入や所得	歴史・文化への誇り	自然のゆたかさ
令和3年調査　平均値			3.52	3.07	2.97	3.85	3.16	3.20	3.31	3.09	3.76	3.49	2.77	3.18	4.18
平成31年調査と令和3年調査の差	県計（3,549）		0.09	0.07	▲ 0.08	－	0.08	0.10	－	▲ 0.25	▲ 0.06	－	0.13	▲ 0.11	－
	性別	男性（1,561）	0.08	－	－	－	－	0.09	－	▲ 0.28	－	－	－	▲ 0.10	－
		女性（1,949）	0.08	－	▲ 0.10	－	0.09	0.10	－	▲ 0.23	－	－	0.18	▲ 0.12	－
		その他（参考）（6）													
	年代	18～19歳（参考）（53）	0.78	－	0.56	－	－	－	－	－	－	－	1.07	－	－
		20～29歳（200）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		30～39歳（320）	－	－	－	－	－	0.31	－	▲ 0.20	－	－	－	－	－
		40～49歳（499）	－	－	－	－	0.19	－	－	▲ 0.28	－	－	－	－	－
		50～59歳（604）	－	－	▲ 0.23	－	－	－	▲ 0.15	▲ 0.39	▲ 0.15	－	－	▲ 0.14	－
		60～69歳（766）	0.17	0.16	－	－	－	0.19	－	▲ 0.22	－	－	0.14	－	－
		70歳以上（1,009）	－	－	▲ 0.21	－	－	－	－	▲ 0.21	－	▲ 0.23	－	▲ 0.13	－
	職業	自営業主（282）	－	－	－	－	－	－	－	▲ 0.19	－	－	－	－	－
		家族従業者（119）	－	－	－	－	－	－	－	▲ 0.33	－	▲ 0.35	－	－	－
		会社役員・団体役員（240）	－	－	－	－	0.35	0.29	－	－	－	－	－	－	－
		常用雇用者（1,025）	－	－	－	－	－	0.13	－	▲ 0.30	▲ 0.09	－	0.13	－	－
		臨時雇用者（440）	－	－	－	－	－	－	－	▲ 0.32	－	－	－	▲ 0.20	▲ 0.15
		学生＋その他（119）	－	－	－	0.30	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		専業主婦・主夫（403）	0.17	－	－	－	0.23	0.19	－	－	－	－	0.43	▲ 0.17	－
		60歳未満の無職（参考）（77）	－	－	▲ 0.56	－	－	－	－	▲ 0.47	－	－	－	－	▲ 0.49
		60歳以上の無職（697）	0.13	0.17	▲ 0.17	－	－	－	－	▲ 0.24	▲ 0.12	▲ 0.25	－	▲ 0.15	－
	世帯構成	ひとり暮らし（431）	－	－	－	－	－	－	－	▲ 0.32	－	－	－	－	－
		夫婦のみ（718）	0.16	－	－	－	－	－	－	▲ 0.20	－	－	0.15	－	－
		2世代世帯（1,437）	－	－	－	－	－	0.09	－	▲ 0.33	▲ 0.11	－	－	▲ 0.11	－
		3世代世帯（548）	－	－	－	－	－	－	－	▲ 0.21	－	－	－	－	－
		その他（184）	0.25	0.33	－	－	0.39	0.32	0.23	－	－	－	－	－	－
	子の数	1人（450）	－	－	▲ 0.19	－	－	0.15	－	▲ 0.32	－	－	－	－	－
		2人（1,270）	0.11	－	－	－	－	0.14	－	▲ 0.22	－	－	0.16	▲ 0.10	－
		3人（682）	－	－	－	－	－	－	－	▲ 0.23	－	▲ 0.18	－	▲ 0.16	－
		4人以上（159）	－	－	－	－	－	－	－	－	▲ 0.27	－	0.38	－	－
		子どもはいない（802）	－	－	－	－	0.23	0.14	－	▲ 0.28	－	－	－	－	－
	居住年数	10年未満（100）	－	－	－	－	－	0.38	0.37	▲ 0.38	－	－	0.43	－	－
		10～20年未満（145）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.65	－	－
		20年以上（3,174）	0.07	0.07	▲ 0.09	－	0.08	0.09	－	▲ 0.27	▲ 0.07	－	0.09	▲ 0.12	－
	広域振興圏	県央（1,011）	－	－	－	－	－	0.13	－	▲ 0.23	▲ 0.11	－	0.14	－	－
		県南（1,080）	0.17	0.14	－	－	0.15	－	－	▲ 0.25	－	－	0.16	－	－
		沿岸（833）	－	－	▲ 0.13	－	－	－	－	▲ 0.28	－	▲ 0.15	－	▲ 0.20	－
		県北（625）	－	－	－	－	－	－	－	▲ 0.27	－	－	0.16	▲ 0.18	－

（　）は、Ｒ３調査のサンプル数

【県民意識調査】属性別平均点一覧表（参考：令和2年調査と令和3年調査の差）

：上昇、：横ばい、：低下

		主観的幸福感	心身の健康	余暇の充実	家族関係	子育て	子どもの教育	住まいの快適さ	地域社会とのつながり	地域の安全	仕事のやりがい	必要な収入や所得	歴史・文化への誇り	自然のゆたかさ
令和3年調査　平均値		3.52	3.07	2.97	3.85	3.16	3.20	3.31	3.09	3.76	3.49	2.77	3.18	4.18
令和2年調査と令和3年調査の差	県計（3,549）	－	▲ 0.08	－	－	0.09	0.11	－	▲ 0.06	0.10	0.11	0.21	▲ 0.08	－
	性別 男性（1,561）	－	▲ 0.09	－	－	－	0.10	－	－	－	－	0.20	▲ 0.11	－
	性別 女性（1,949）	－	－	－	－	0.11	0.12	－	－	0.14	0.15	0.22	－	－
	性別 その他（参考）（6）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	年代 18～19歳（参考）（53）	0.47	－	0.49	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	年代 20～29歳（200）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	年代 30～39歳（320）	－	－	－	－	0.41	0.33	－	－	－	－	0.34	▲ 0.20	－
	年代 40～49歳（499）	－	－	－	－	0.23	0.22	－	－	0.20	－	0.32	－	－
	年代 50～59歳（604）	－	▲ 0.24	－	－	－	－	－	▲ 0.19	－	－	0.23	▲ 0.18	－
	年代 60～69歳（766）	0.13	－	－	－	－	－	－	－	0.19	0.15	0.17	－	0.10
	年代 70歳以上（1,009）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.15	－	－
	職業 自営業主（282）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.23	－	－
	職業 家族従業者（119）	－	▲ 0.44	－	－	－	－	－	▲ 0.27	－	▲ 0.28	－	－	－
	職業 会社役員・団体役員（240）	－	－	－	－	0.35	－	－	－	－	－	0.42	－	－
	職業 常用雇用者（1,025）	－	－	－	－	0.17	0.18	－	－	0.10	0.11	0.25	－	－
	職業 臨時雇用者（440）	－	▲ 0.20	－	－	－	－	－	▲ 0.18	－	－	0.26	▲ 0.16	－
	職業 学生＋その他（119）	0.35	－	0.35	－	－	0.28	－	－	0.31	0.46	0.38	0.29	0.25
	職業 専業主婦・主夫（403）	0.20	－	－	－	－	0.19	－	－	0.15	－	0.22	－	－
	職業 60歳未満の無職（参考）（77）	－	－	－	－	0.54	0.57	－	－	－	－	－	－	－
	職業 60歳以上の無職（697）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	世帯構成 ひとり暮らし（431）	－	▲ 0.19	－	－	－	－	－	▲ 0.25	－	－	－	▲ 0.26	－
	世帯構成 夫婦のみ（718）	－	－	－	－	－	－	－	－	0.20	0.14	0.24	－	0.12
	世帯構成 2世代世帯（1,437）	－	－	－	－	0.13	0.13	－	▲ 0.13	－	0.10	0.17	－	－
	世帯構成 3世代世帯（548）	－	－	－	－	－	0.16	－	－	0.12	0.17	0.27	－	－
	世帯構成 その他（184）	0.25	－	0.26	－	0.37	0.37	0.39	－	0.28	－	0.37	－	0.21
	子の数 1人（450）	－	－	－	－	－	－	▲ 0.17	－	－	－	0.25	－	－
	子の数 2人（1,270）	0.11	－	－	－	－	0.12	0.09	－	0.12	0.17	0.24	－	－
	子の数 3人（682）	－	－	－	－	－	－	－	－	0.13	－	0.23	－	－
	子の数 4人以上（159）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.31	－	－	－
	子の数 子どもはいない（802）	－	－	－	－	－	0.18	－	－	0.11	－	0.17	－	－
	居住年数 10年未満（100）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	居住年数 10～20年未満（145）	0.37	－	－	－	－	－	－	－	－	0.36	0.45	－	－
	居住年数 20年以上（3,174）	－	▲ 0.08	－	－	0.09	0.11	－	▲ 0.08	0.09	0.10	0.21	▲ 0.08	－
	広域振興圏 県央（1,011）	－	－	－	－	0.18	0.17	－	－	－	－	0.25	－	－
	広域振興圏 県南（1,080）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.13	0.12	－	－
	広域振興圏 沿岸（833）	－	▲ 0.13	－	－	－	0.12	－	－	0.20	－	0.22	－	－
	広域振興圏 県北（625）	－	－	－	－	－	－	－	－	0.15	0.21	0.28	－	－

（　）は、Ｒ３調査のサンプル数

【県民意識調査】属性別平均点一覧表（平成28年からと令和3年まで一貫して低値又は高値で推移している属性）

：低値、：高値

		余暇の充実	家族関係	子育て	子どもの教育	必要な収入や所得	自然のゆたかさ
県計（3,549）						2.44～2.77	4.16～4.27
性別	男性（1,561）					2.46～2.75	4.13～4.25
	女性（1,949）					2.43～2.79	4.18～4.29
	その他（参考）（6）						
年代	18～19歳（参考）（53）						
	20～29歳（200）			2.75～2.99		2.44～2.68	4.20～4.37
	30～39歳（320）	2.71～2.88				2.36～2.71	4.22～4.33
	40～49歳（499）	2.82～2.88				2.50～2.82	4.16～4.42
	50～59歳（604）	2.68～2.92				2.46～2.75	4.24～4.38
	60～69歳（766）					2.37～2.77	4.09～4.24
	70歳以上（1,009）					2.45～2.80	4.08～4.20
職業	自営業主（282）					2.53～2.86	4.19～4.29
	家族従業者（119）					2.42～2.91	4.12～4.50
	会社役員・団体役員（240）						4.20～4.30
	常用雇用者（1,025）	2.82～2.89				2.55～2.86	4.21～4.33
	臨時雇用者（440）					2.20～2.65	4.16～4.36
	学生＋その他（119）					2.49～2.94	4.09～4.59
	専業主婦・主夫（403）					2.34～2.89	4.15～4.29
	60歳未満の無職（参考）（77）						
	60歳以上の無職（697）					2.25～2.46	4.04～4.09
世帯構成	ひとり暮らし（431）			2.71～2.97		2.52～2.75	4.07～4.22
	夫婦のみ（718）		4.00～4.05			2.43～2.92	4.10～4.22
	2世代世帯（1,437）	2.80～2.98				2.41～2.71	4.16～4.29
	3世代世帯（548）					2.49～2.82	4.29～4.44
	その他（184）						
子の数	1人（450）					2.41～2.78	4.16～4.28
	2人（1,270）					2.48～2.86	4.16～4.25
	3人（682）					2.48～2.83	4.16～4.30
	4人以上（159）					2.31～2.86	4.18～4.32
	子どもはいない（802）	2.84～2.97		2.60～2.83	2.80～2.98	2.37～2.59	4.14～4.30
居住年数	10年未満（100）					2.55～2.99	4.16～4.46
	10～20年未満（145）						4.21～4.35
	20年以上（3,174）					2.42～2.75	4.15～4.27
広域振興圏	県央（1,011）					2.47～2.87	4.16～4.28
	県南（1,080）					2.39～2.70	4.11～4.26
	沿岸（833）					2.51～2.76	4.13～4.26
	県北（625）					2.34～2.76	4.22～4.37

（　）は、R３調査のサンプル数

資料６

県民意識調査に係る統計的分析について

〇実感が低下した分野

実感が低下した分野別実感	【県民意識調査】属性分析（実感が低下した属性）		属性分析から得られた結果	補足調査結果からの推測（実感が低下した人の上位３位の回答）	まとめ
余暇の充実	性別	女性	低下した理由の抽出は困難（他の属性に比べて、比較的 50 代と 70 歳以上の差が大きいものの、特徴的な理由の推測は困難。）	分野別実感において、実感が低下した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ①自由な時間の確保 ②知人・友人との交流 ③趣味・娯楽活動の場所・機会	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が低下した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ①自由な時間の確保 ②知人・友人との交流 ③趣味・娯楽活動の場所・機会
	年代	50～59 歳、70 歳以上			
	職業	60 歳以上の無職			
	世帯構成	－			
	子の数	１人			
	居住年数	20 年以上			
	広域圏	沿岸			
地域社会のつながり	性別	男性、女性	低下した理由の抽出は困難（他の分野と比べても、全体的に差が大きく、その中でも比較的 50 代の差が大きいものの、特徴的な理由の推測は困難。）	分野別実感において、実感が低下した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ①　隣近所との面識・交流 ②　自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など） ③　その地域で過ごした年数	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が低下した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ①　隣近所との面識・交流 ②　自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など） ③　その地域で過ごした年数
	年代	30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳、60～69 歳、70 歳以上			
	職業	自営業主、家族従業者、常用雇用者、臨時雇用者、60 歳以上の無職			
	世帯構成	ひとり暮らし、夫婦のみ、２世代世帯、３世代世帯、その他			
	子の数	１人、２人、３人、子どもはいない			
	居住年数	10 年未満、20 年以上			
	広域圏	県央、県南、沿岸、県北			
地域の安全	性別	－	低下した理由の抽出は困難（他の属性に比べて、比較的子の数が 4 人以上の差が大きいものの、特徴的な理由の推測は困難。）	分野別実感において、実感が低下した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ①　自然災害の発生状況 ②　交通事故の防止（歩道の整備など） ③　社会インフラの老朽化（橋、下水道など）	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が低下した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ①　自然災害の発生状況 ②　交通事故の防止（歩道の整備など） ③　社会インフラの老朽化（橋、下水道など）
	年代	50～59 歳、70 歳以上			
	職業	常用雇用者、60 歳以上の無職			
	世帯構成	２世代世帯			
	子の数	４人以上			
	居住年数	20 年以上			
	広域圏	県央			
歴史・文化への誇り	性別	男性、女性	低下した理由の抽出は困難（他の属性に比べて、比較的臨時雇用者、沿岸広域振興圏の差が大きいものの、特徴的な理由の推測は困難。）	分野別実感において、実感が低下した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ①　誇りを感じる歴史や文化が見当たらない ②　地域のお祭り・伝統芸能 ③　その地域で過ごした年数	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が低下した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ①　誇りを感じる歴史や文化が見当たらない ②　地域のお祭り・伝統芸能 ③　その地域で過ごした年数
	年代	50～59 歳、70 歳以上			
	職業	臨時雇用者、専業主婦・主夫、60 歳以上の無職			
	世帯構成	２世代世帯			
	子の数	２人、３人			
	居住年数	20 年以上			
	広域圏	沿岸、県北			

○実感が上昇した分野

意識が上昇した分野別実感	【県民意識調査】属性分析（実感が上昇した属性）		属性分析から得られた結果	補足調査結果からの推測（実感が上昇した人の上位３位の回答）	まとめ
心身の健康	性別	―	上昇した理由の抽出は困難（他の属性に比べて、比較的60歳以上の無職の差が大きいものの、特徴的な理由の推測は困難。）	分野別実感において、実感が上昇した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 【からだ】 ① 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ② 健康診断の結果 ③ 持病の有無 【こころ】 ① 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ② からだの健康状態 ③ 仕事･学業以外の私生活におけるストレスの有無	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が上昇した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 【からだ】 ① 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ② 健康診断の結果 ③ 持病の有無 【こころ】 ① 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス） ② からだの健康状態 ③ 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無
	年代	60～69 歳			
	職業	60 歳以上の無職			
	世帯構成	その他			
	子の数	―			
	居住年数	20 年以上			
	広域圏	県南			
子育て	性別	女性	上昇した理由の抽出は困難（他の属性に比べて、比較的会社役員・団体役員の差が大きいものの、特徴的な理由の推測は困難。）	分野別実感において、実感が上昇した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ① 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) ② 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) ③ 配偶者の家事への参加 ④ 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) ⑤ 自分の勤め先の子育てに対する理解	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が上昇した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ① 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) ② 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) ③ 配偶者の家事への参加 ④ 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) ⑤ 自分の勤め先の子育てに対する理解
	年代	40～49 歳			
	職業	会社役員・団体役員、専業主婦・主夫			
	世帯構成	その他			
	子の数	子どもはいない			
	居住年数	20 年以上			
	広域圏	県南			
子どもの教育	性別	男性、女性	上昇した理由の抽出は困難（他の属性に比べて、比較的居住年数 10 年未満の差が大きいものの、特徴的な理由の推測は困難。）	分野別実感において、実感が上昇した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ① 学力を育む教育内容 ② 人間性、社会性を育むための教育内容 ③ 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が上昇した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ① 学力を育む教育内容 ② 人間性、社会性を育むための教育内容 ③ 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)
	年代	30～39 歳、60～69 歳			
	職業	会社役員・団体役員、常用雇用者、専業主婦・主夫			
	世帯構成	２世代世帯			
	子の数	１人、２人、子どもはいない			
	居住年数	10 年未満、20 年以上			
	広域圏	県央			
必要な収入や所得	性別	女性	上昇した理由の抽出は困難（他の属性に比べて、比較的居住年数 20 年未満の差が大きいが、特徴的な理由の推測は困難。給付金等の新型コロナウイルス感染症対策が影響している可能性がある。）	分野別実感において、実感が上昇した要因として回答が多かったものは以下のとおり。 ① 自分の収入・所得額(年金を含む) ② 家族の収入・所得額(年金を含む) ③ 生活の程度	属性分析から特徴的な要因は推測できなかったことから、実感が上昇した要因は、補足調査の回答理由の結果より、以下のとおり推測される。 ① 自分の収入・所得額(年金を含む) ② 家族の収入・所得額(年金を含む) ③ 生活の程度
	年代	60～69 歳			
	職業	常用雇用者、専業主婦・主夫			
	世帯構成	夫婦のみ、２世代世帯			
	子の数	２人、４人以上			
	居住年数	10 年未満、10～20 年未満、20 年以上			
	広域圏	県央、県南、県北			

実感が低下した分野

１　「余暇の充実」の実感

①　分野別実感の概況

ア　分野別実感に係る令和３年県民意識調査と基準年（H31）調査との比較

実感平均値は 2.97 点であり、基準年調査より 0.08 点低下しています。

ｔ検定を行った結果、基準年調査に比べて有意に低下していることから、**当該分野の実感は低下**していると考えられます。

イ　属性別の状況

○　令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

基準年調査と比較して有意に変化した属性は下表のとおりでした。

表１　「余暇の充実」の実感において有意な変化があった属性と基準年差

属性		H31	R３	R3-H31
県計		3.05	2.97	▲ 0.08
男女	女性	3.08	2.98	▲ 0.10
年代	50～59 歳	2.92	2.70	▲ 0.23
	70 歳以上	3.36	3.15	▲ 0.21
職業	60 歳以上の無職	3.26	3.09	▲ 0.17
子の人数	１人	3.05	2.86	▲ 0.19
居住年数	20 年以上	3.03	2.95	▲ 0.09
広域振興圏	沿岸広域振興圏	3.09	2.96	▲ 0.13

ウ　新型コロナウイルス感染症の影響

当該分野別実感に係る新型コロナウイルス感染症の影響に対する県民の認識を令和３年県民意識調査において把握したところ、良い影響を感じた割合は８％、良くない影響を感じた割合は 60％となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響を検討する上で、影響を受ける前の令和２年調査と影響後の令和３年調査の実感を比較すると表２のとおりでした。

表２　「余暇の充実」の実感において有意な変化があった属性と前年差

属性		R２	R３	R3-R2
職業	学生＋その他	3.05	3.38	0.35
世帯構成	その他	2.72	2.98	0.26

②　分野別実感が低下した要因

- 県民意識調査の結果、実感が有意に低下した属性は、表１及び表２のとおり幅広く存在しており、特徴的な属性は確認できませんでした。
- 補足調査で把握している「分野別実感の回答理由」で、実感が低下した人の主な回答理由は以下のとおりでした。
  （ア）　自由な時間の確保
  （イ）　知人・友人との交流
  （ウ）　趣味・娯楽活動の場所・機会
- 補足調査結果において、実感が低下した人の上記回答理由と、実感が横ばい、上昇した人の回答理由を比較しても特徴的な要因は抽出できませんでした。
- **以上を踏まえ、当該分野の実感が低下した要因は、「自由な時間の確保」「知人・友人との交流」「趣味・娯楽活動の場所・機会」であると推測されます。**

・ なお、**新型コロナウイルス感染症の影響について、良くない影響を感じた人であって、前年調査に比べて実感が低下した人の主な回答理由は**以下のとおりであり、**「分野別実感の回答理由」と同じ理由**でした。

（ア） 自由な時間の確保
（イ） 知人・友人との交流
（ウ） 趣味・娯楽活動の場所・機会

(1)県民意識調査の属性別平均点について

②余暇が充実していると感じますか

		H31（基準年）	R２	R3	R3−H31（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−H31（寄与度）	参考 R3−R2（対前年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−R2（寄与度）
県計(3,549)		3.05	2.93	2.97	▲ 0.08	0.01	**	▲ 0.08	0.04	0.22		0.04
性別	男性(1,561)	3.01	2.90	2.95	▲ 0.05	0.22		▲ 0.02	0.05	0.27		0.02
	女性(1,949)	3.08	2.96	2.98	▲ 0.10	0.01	**	▲ 0.06	0.02	0.62		0.01
	その他(参考)(6)		2.33	3.83					1.50	0.05		
年代	18～19歳(参考)(53)	3.42	3.49	3.98	0.56	0.05	**	0.01	0.49	0.04	**	0.01
	20～29歳(200)	3.04	3.22	3.21	0.17	0.20		0.01	▲ 0.01	0.91		▲ 0.00
	30～39歳(320)	2.71	2.78	2.86	0.15	0.13		0.01	0.08	0.43		0.01
	40～49歳(499)	2.87	2.88	2.83	▲ 0.04	0.65		▲ 0.01	▲ 0.04	0.59		▲ 0.01
	50～59歳(604)	2.92	2.78	2.70	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.04	▲ 0.08	0.25		▲ 0.01
	60～69歳(766)	2.99	2.90	2.98	▲ 0.01	0.89		▲ 0.00	0.08	0.17		0.02
	70歳以上(1,009)	3.36	3.05	3.15	▲ 0.21	0.00	**	▲ 0.06	0.11	0.06		0.03
職業	自営業主(282)	2.98	2.87	3.03	0.04	0.66		0.00	0.16	0.12		0.01
	家族従業者(119)	3.00	2.82	2.71	▲ 0.29	0.07		▲ 0.01	▲ 0.11	0.48		▲ 0.00
	会社役員・団体役員(240)	2.88	2.97	3.01	0.13	0.28		0.01	0.03	0.77		0.00
	常用雇用者(1,025)	2.89	2.85	2.86	▲ 0.03	0.55		▲ 0.01	0.00	0.94		0.00
	臨時雇用者(440)	3.01	2.96	2.87	▲ 0.14	0.08		▲ 0.02	▲ 0.09	0.28		▲ 0.01
	学生＋その他(119)	3.22	3.03	3.38	0.17	0.28		0.01	0.35	0.02	**	0.01
	専業主婦・主夫(403)	3.15	3.05	3.14	▲ 0.00	0.98		▲ 0.00	0.09	0.28		0.01
	60歳未満の無職(参考)(77)	3.10	2.70	2.54	▲ 0.56	0.02	**	▲ 0.01	▲ 0.16	0.48		▲ 0.00
	60歳以上の無職(697)	3.26	2.97	3.09	▲ 0.17	0.01	**	▲ 0.03	0.12	0.07		0.02
世帯構成	ひとり暮らし(431)	3.02	2.98	2.92	▲ 0.10	0.26		▲ 0.01	▲ 0.06	0.52		▲ 0.01
	夫婦のみ(718)	3.24	3.08	3.13	▲ 0.11	0.08		▲ 0.02	0.05	0.43		0.01
	2世代世帯(1,437)	2.97	2.84	2.92	▲ 0.06	0.24		▲ 0.02	0.07	0.13		0.03
	3世代世帯(548)	3.00	2.99	2.94	▲ 0.06	0.46		▲ 0.01	▲ 0.05	0.53		▲ 0.01
	その他(184)	2.96	2.72	2.98	0.02	0.85		0.00	0.26	0.02	**	0.01
子の数	1人(450)	3.05	2.87	2.86	▲ 0.19	0.02	**	▲ 0.02	▲ 0.01	0.91		▲ 0.00
	2人(1,270)	3.10	2.99	3.07	▲ 0.04	0.45		▲ 0.01	0.08	0.11		0.03
	3人(682)	3.08	2.92	2.98	▲ 0.10	0.15		▲ 0.02	0.06	0.38		0.01
	4人以上(159)	3.05	2.78	2.90	▲ 0.15	0.30		▲ 0.01	0.13	0.34		0.01
	子どもはいない(802)	2.92	2.91	2.91	▲ 0.01	0.91		▲ 0.00	0.01	0.93		0.00
居住年数	10年未満(100)	3.12	3.17	3.23	0.10	0.56		0.00	0.05	0.76		0.00
	10～20年未満(145)	3.17	3.13	3.31	0.14	0.37		0.01	0.18	0.25		0.01
	20年以上(3,174)	3.03	2.91	2.95	▲ 0.09	0.01	**	▲ 0.08	0.04	0.22		0.03
広域振興圏	県央(1,011)	3.17	2.99	3.07	▲ 0.10	0.09		▲ 0.03	0.08	0.18		0.02
	県南(1,080)	2.95	2.92	2.90	▲ 0.05	0.38		▲ 0.01	▲ 0.02	0.77		▲ 0.00
	沿岸(833)	3.09	2.90	2.96	▲ 0.13	0.03	**	▲ 0.03	0.06	0.34		0.01
	県北(625)	2.96	2.90	2.93	▲ 0.03	0.63		▲ 0.01	0.03	0.67		0.01

（　）は、R３調査のサンプル数

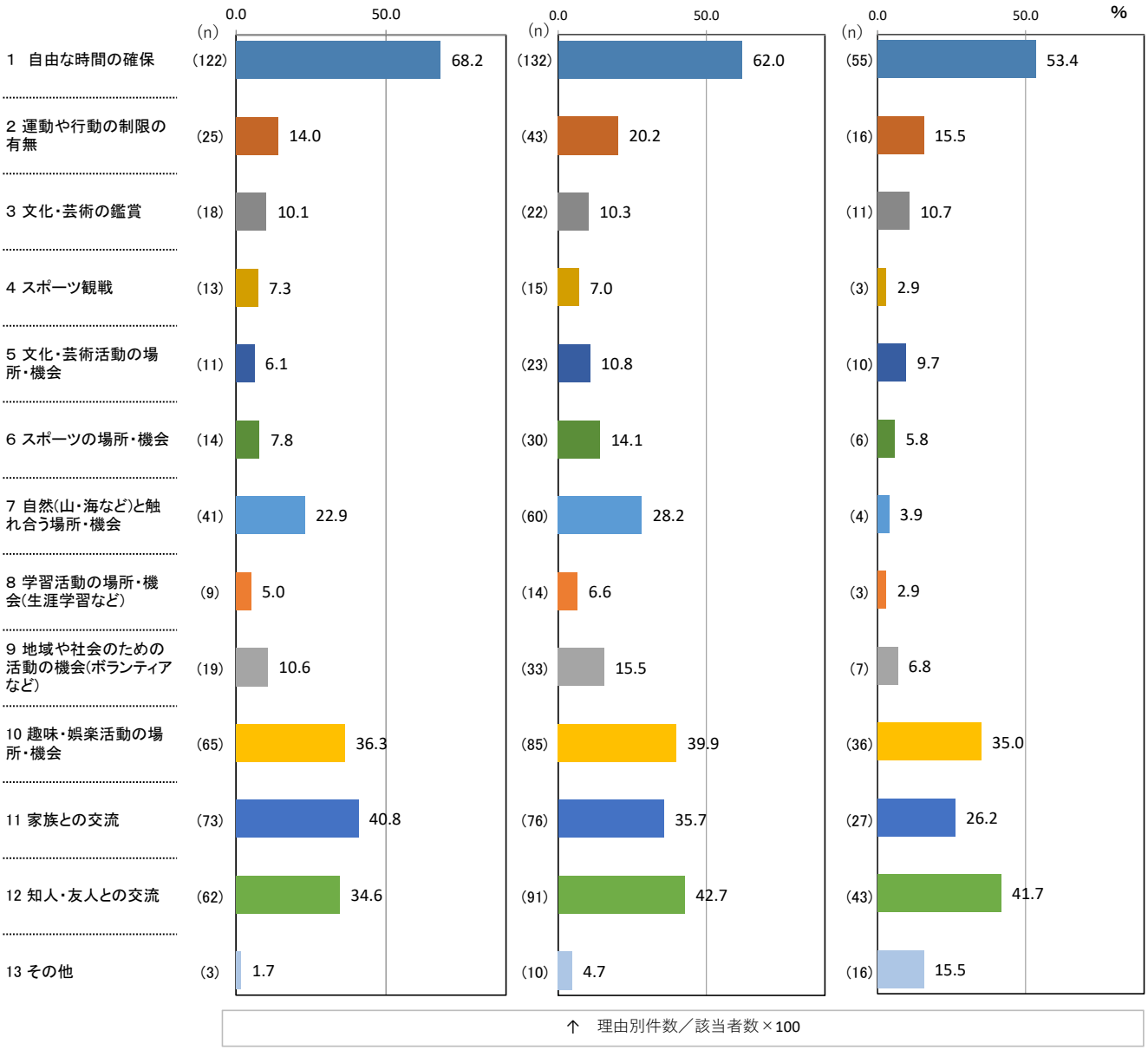
(2)分野別実感の回答理由(実感変化別)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」(R3-H31)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (475) 179 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (634) 213 人	③ 実感が低下した人 の回答 (237) 103 人
1	1 自由な時間の確保 (122)	1 自由な時間の確保 (132)	1 自由な時間の確保 (55)
2	11 家族との交流 (73)	12 知人・友人との交流 (91)	12 知人・友人との交流 (43)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (65)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (85)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (36)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）①「あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人		68.2	14.0	10.1	7.3	6.1	7.8	22.9	5.0	10.6	36.3	40.8	34.6	1.7
② 実感が横ばいの人		62.0	20.2	10.3	7.0	10.8	14.1	28.2	6.6	15.5	39.9	35.7	42.7	4.7
③ 実感が低下した人		53.4	15.5	10.7	2.9	9.7	5.8	3.9	2.9	6.8	35.0	26.2	41.7	15.5

（件）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝179人）	475	122	25	18	13	11	14	41	9	19	65	73	62	3
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝213人）	634	132	43	22	15	23	30	60	14	33	85	76	91	10
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝103人）	237	55	16	11	3	10	6	4	3	7	36	27	43	16

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（3名中3名記載）
・コロナ
・コロナ禍において県や市内の外出をためらったり、人との接触に常におびえ安心できない
・時間はあるが気力がない

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（10名中7名記載）
・家族・ペットの存在
・とにかくコロナで友だちとも会えない。仕事家事育児で時間がない。
・何かをしたいのですが何をどのようにしたらいいかわからない
・ペットとの交流
・金銭的余裕がない
・コロナのために自由に楽しめない
・余暇を楽しむ心の余裕がない

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（16名中13名記載）
・コロナ対策
・コロナ禍で例年通りの過ごし方が出来なかった
・車の運転ができない
・身体が動かなくなった。年金をもらっても税金でとられて余暇に使えない。
・コロナによって人と会わないようにしているため
・コロナのせいで出かけられない
・コロナによる外出制限（越県できない）
・コロナでやりたいことができない
・コロナのせいで行きたいところへ行けない。やりたいことができない。
・コロナのため活動が制限されている
・持病コロナによる行動の制限の症状のためにこれまでできていたことができなくなってきた
・コロナによる行動の制限
・コロナ禍のストレス

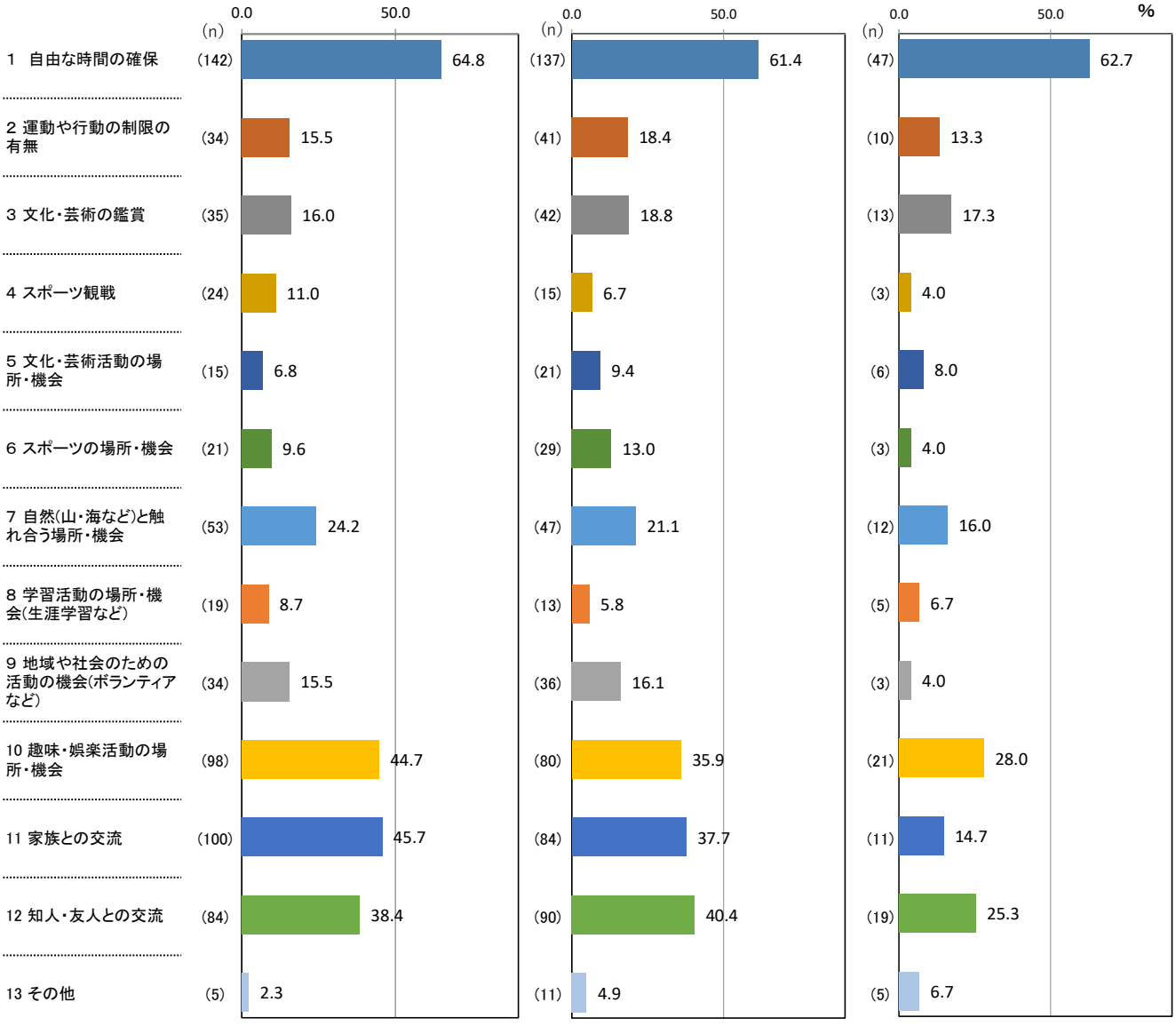
【参考】

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」(R2−H31)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (664) 219 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (646) 223 人	③ 実感が低下した人 の回答 (158) 75 人
1	1 自由な時間の確保 (142)	1 自由な時間の確保 (137)	1 自由な時間の確保 (47)
2	11 家族との交流 (100)	12 知人・友人との交流 (90)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (21)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (98)	11 家族との交流 (84)	12 知人・友人との交流 (19)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

① 実感が低下した人
H31からR２にかけて１段階以上低下した人。（ただし、H31調査「5（感じる）」→R2「4（やや感じる）」は除く。
③ 実感が上昇した人
H31からR２にかけて１段階以上上昇した人（ただし、H31調査「1（感じない）」→R２「2（あまり感じない）」は除く。）

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人		64.8	15.5	16.0	11.0	6.8	9.6	24.2	8.7	15.5	44.7	45.7	38.4	2.3
② 実感が横ばいの人		61.4	18.4	18.8	6.7	9.4	13.0	21.1	5.8	16.1	35.9	37.7	40.4	4.9
③ 実感が低下した人		62.7	13.3	17.3	4.0	8.0	4.0	16.0	6.7	4.0	28.0	14.7	25.3	6.7

（件）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R2[2」は除く。 （サンプル数＝219人）	664	142	34	35	24	15	21	53	19	34	98	100	84	5
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝223人）	646	137	41	42	15	21	29	47	13	36	80	84	90	11
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R2[4」は除く。 （サンプル数＝75人）	158	47	10	13	3	6	3	12	5	3	21	11	19	5

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（5名中4名記載）
・金銭的に余裕がない。　・親の介護　・子どものスポーツ活動　・会話が出来る場所がほしい。

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（11名中9名記載）
・余暇はなかなかとれない。家業（農家）の手伝いがある。
・定休日がない。
・金銭的余裕。
・娯楽に費やす費用が少ない。
・余裕が少ない
・自身の性格
・解決する問題があるので落ち着かない
・子どもの部活の応援。
・仕事の影響で不規則な生活な為。

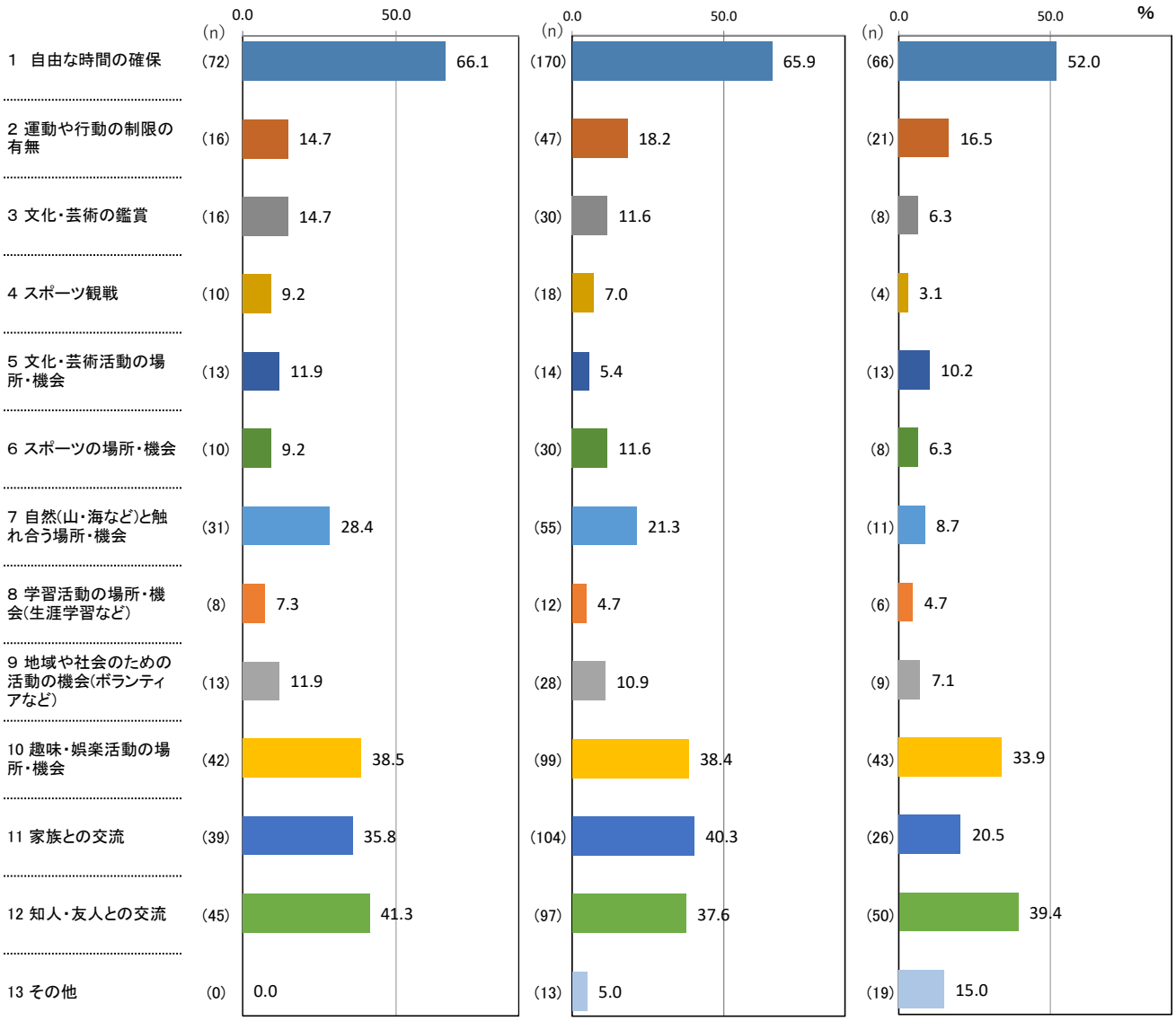
③ 実感が低下した人の「その他」コメント（5名中4名記載）
・金銭＆コミュニケーションが薄い。　・家事。　・交通機関がない。
・岩手県民は他人に無関心な人が多い。社交型シネマコンプレクスを誘致した方がよい。

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」(R3-R2)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (315) 109 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (717) 258 人	③ 実感が低下した人 の回答 (284) 127 人
1	1 自由な時間の確保 (72)	1 自由な時間の確保 (170)	1 自由な時間の確保 (66)
2	12 知人・友人との交流 (45)	11 家族との交流 (104)	12 知人・友人との交流 (50)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (42)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (99)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (43)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1(2)①「あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

(%)

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人		66.1	14.7	14.7	9.2	11.9	9.2	28.4	7.3	11.9	38.5	35.8	41.3	0.0
② 実感が横ばいの人		65.9	18.2	11.6	7.0	5.4	11.6	21.3	4.7	10.9	38.4	40.3	37.6	5.0
③ 実感が低下した人		52.0	16.5	6.3	3.1	10.2	6.3	8.7	4.7	7.1	33.9	20.5	39.4	15.0

(件)

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R2「1」→R3[2]」は除く。 (サンプル数＝109人)	315	72	16	16	10	13	10	31	8	13	42	39	45	0
② 実感が横ばいの人 (サンプル数＝258人)	717	170	47	30	18	14	30	55	12	28	99	104	97	13
③ 実感が低下した人 ただし、R2「5」→R3[4」は除く。 (サンプル数＝127人)	284	66	21	8	4	13	8	11	6	9	43	26	50	19

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント(13名中12名記載)
・コロナ
・家族・ペットの存在
・とにかくコロナで友だちとも会えない。仕事家事育児で時間がない。
・コロナのためなるべく人に合わないようにしている。
・身体が動かなくなった。年金をもらっても税金でとられて余暇に使えない。
・コロナによって人と会わないようにしているため(2名)
・コロナ禍において県や市内の外出をためらったり、人との接触に常におびえ安心できない
・ペットとの交流
・金銭的余裕がない
・コロナによる行動の制限
・時間はあるが気力がない

③ 実感が低下した人の「その他」コメント(19名中14名記載)
・コロナ対策
・新型コロナによる自粛
・コロナ禍で例年通りの過ごし方が出来なかった
・車の運転ができない
・疲労回復のためボーっとしていることが多いから
・経済的な余裕がないため
・コロナによる外出制限(越県できない)
・コロナでやりたいことができない
・コロナのせいで行きたいところへ行けない。やりたいことができない。
・コロナのため活動が制限されている
・コロナのために自由に楽しめない
・持病の症状のためにこれまでできていたことができなくなってきた
・コロナ禍のストレス
・余暇を楽しむ心の余裕がない

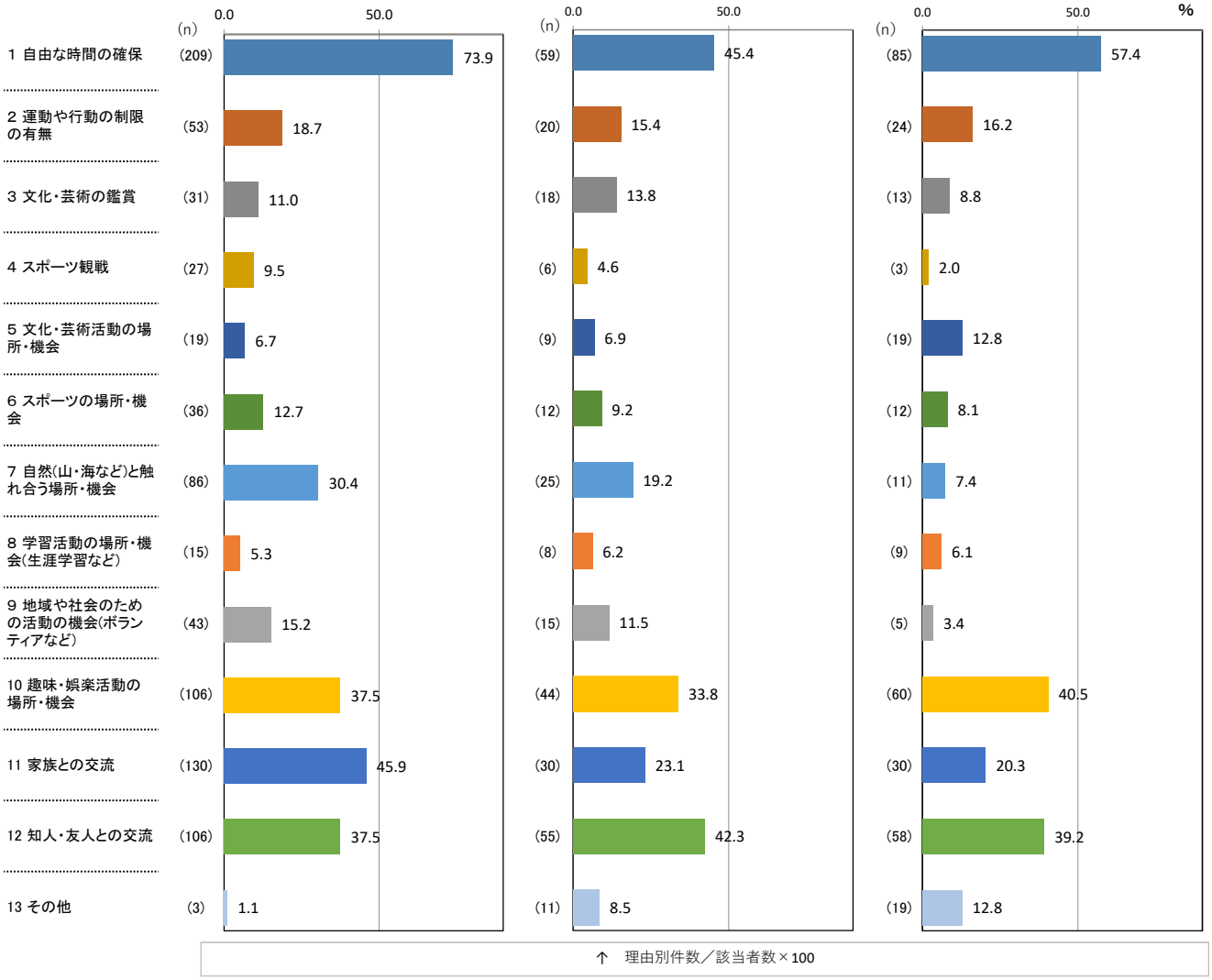
(3)分野別実感の回答結果(単純集計)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (864) 283 人	②「どちらともいえない」の回答 (312) 130 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (348) 148 人
1	1 自由な時間の確保 (209)	1 自由な時間の確保 (59)	1 自由な時間の確保 (85)
2	11 家族との交流 (130)	12 知人・友人との交流 (55)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (60)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (106)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (44)	12 知人・友人との交流 (58)
	12 知人・友人との交流 (106) 3位		

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答
（複数回答可）

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		73.9	18.7	11.0	9.5	6.7	12.7	30.4	5.3	15.2	37.5	45.9	37.5	1.1
②「どちらともいえない」		45.4	15.4	13.8	4.6	6.9	9.2	19.2	6.2	11.5	33.8	23.1	42.3	8.5
③「あまり感じない・感じない」		57.4	16.2	8.8	2.0	12.8	8.1	7.4	6.1	3.4	40.5	20.3	39.2	12.8

（件）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝283人）	864	209	53	31	27	19	36	86	15	43	106	130	106	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝130人）	312	59	20	18	6	9	12	25	8	15	44	30	55	11
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝148人）	348	85	24	13	3	19	12	11	9	5	60	30	58	19

① 「感じる」・「やや感じる」の人の「その他」コメント（283名中4名記載）
・3.5.8.10ができない(コロナ)　・家族・ペットの存在　・コロナのためなるべく人に合わないようにしている
・ペットとの交流

② 「どちらともいえない」の人の「その他」コメント（130名中10名記載）
・コロナ対策　・コロナ　・コロナのせいで出かけれない
・コロナ禍において県や市内の外出をためらったり、人との接触に常におびえ安心できない　・コロナでやりたいことができない
・コロナによる行動の制限　・コロナ禍のストレス　・時間はあるが気力がない
・コロナのため活動が制限されている　・持病の症状のためにこれまでできていたことができなくなってきた

③「あまり感じない」・「感じない」の人の「その他」コメント（148名中13名記載）
・新型コロナによる自粛　・コロナ禍で例年通りの過ごし方が出来なかった　・ 車の運転ができない
・疲労回復のためボーっとしていることが多いから　・コロナによって人と会わないようにしているため　・経済的な余裕がないため
・金銭的余裕がない　・コロナのために自由に楽しめない　・余暇を楽しむ心の余裕がない
・コロナのせいで行きたいところへ行けない。やりたいことができない
・とにかくコロナで友だちとも会えない。仕事家事育児で時間がない　・身体が動かなくなった。年金をもらっても税金でとられて余暇に使えない
・コロナによる外出制限（越県できない）　・何かをしたいのですが何をどのようにしたらいいかわからない

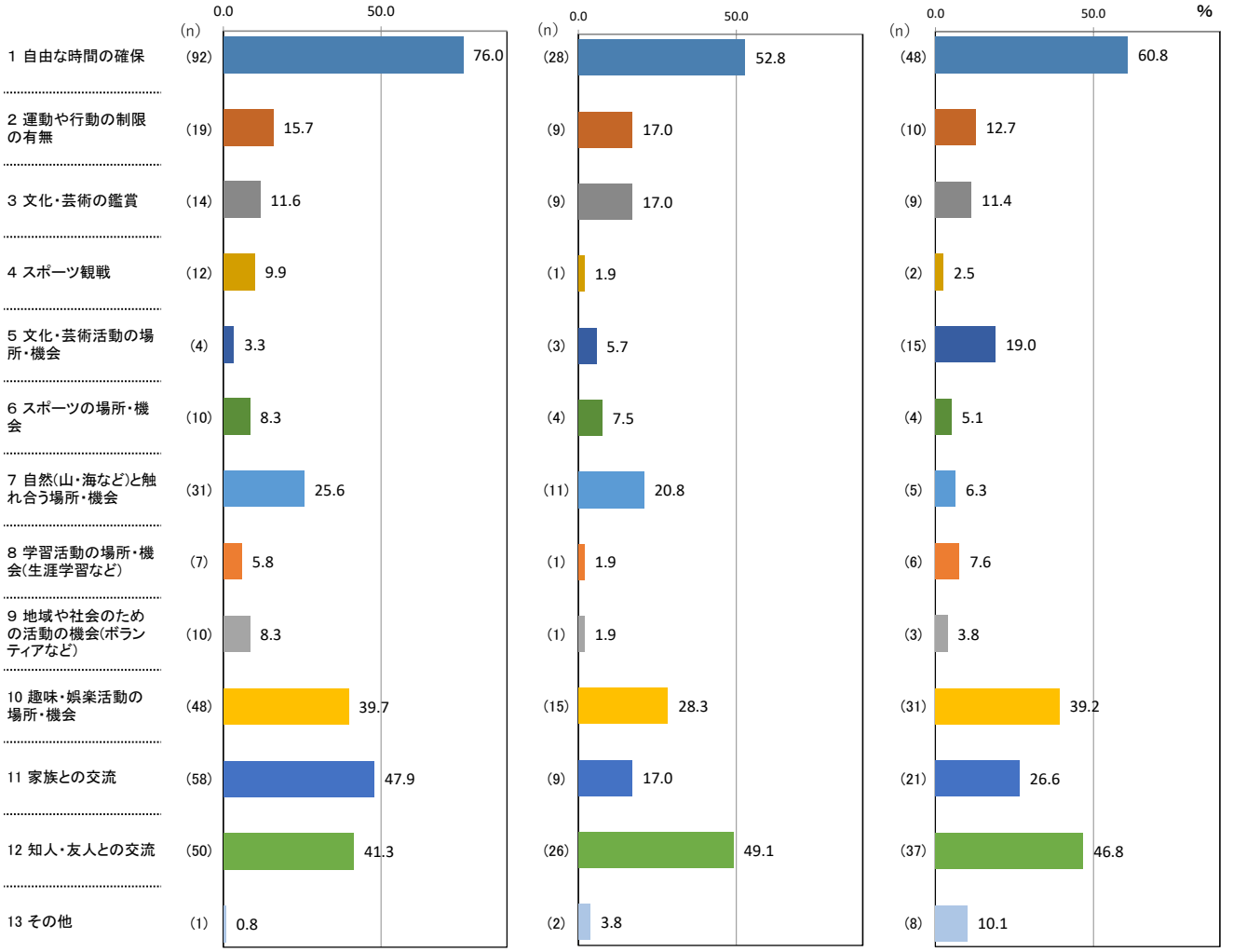
(3)分野別実感の属性別回答結果(単純集計)

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (356) 121 人	②「どちらともいえない」の回答 (119) 53 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (199) 79 人
1	1 自由な時間の確保 (92)	1 自由な時間の確保 (28)	1 自由な時間の確保 (48)
2	11 家族との交流 (58)	12 知人・友人との交流 (26)	12 知人・友人との交流 (37)
3	12 知人・友人との交流 (50)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (15)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (31)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜女性＞ （%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		76.0	15.7	11.6	9.9	3.3	8.3	25.6	5.8	8.3	39.7	47.9	41.3	0.8
②「どちらともいえない」		52.8	17.0	17.0	1.9	5.7	7.5	20.8	1.9	1.9	28.3	17.0	49.1	3.8
③「あまり感じない・感じない」		60.8	12.7	11.4	2.5	19.0	5.1	6.3	7.6	3.8	39.2	26.6	46.8	10.1

（件）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝121人）	356	92	19	14	12	4	10	31	7	10	48	58	50	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝53人）	119	28	9	9	1	3	4	11	1	1	15	9	26	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝79人）	199	48	10	9	2	15	4	5	6	3	31	21	37	8

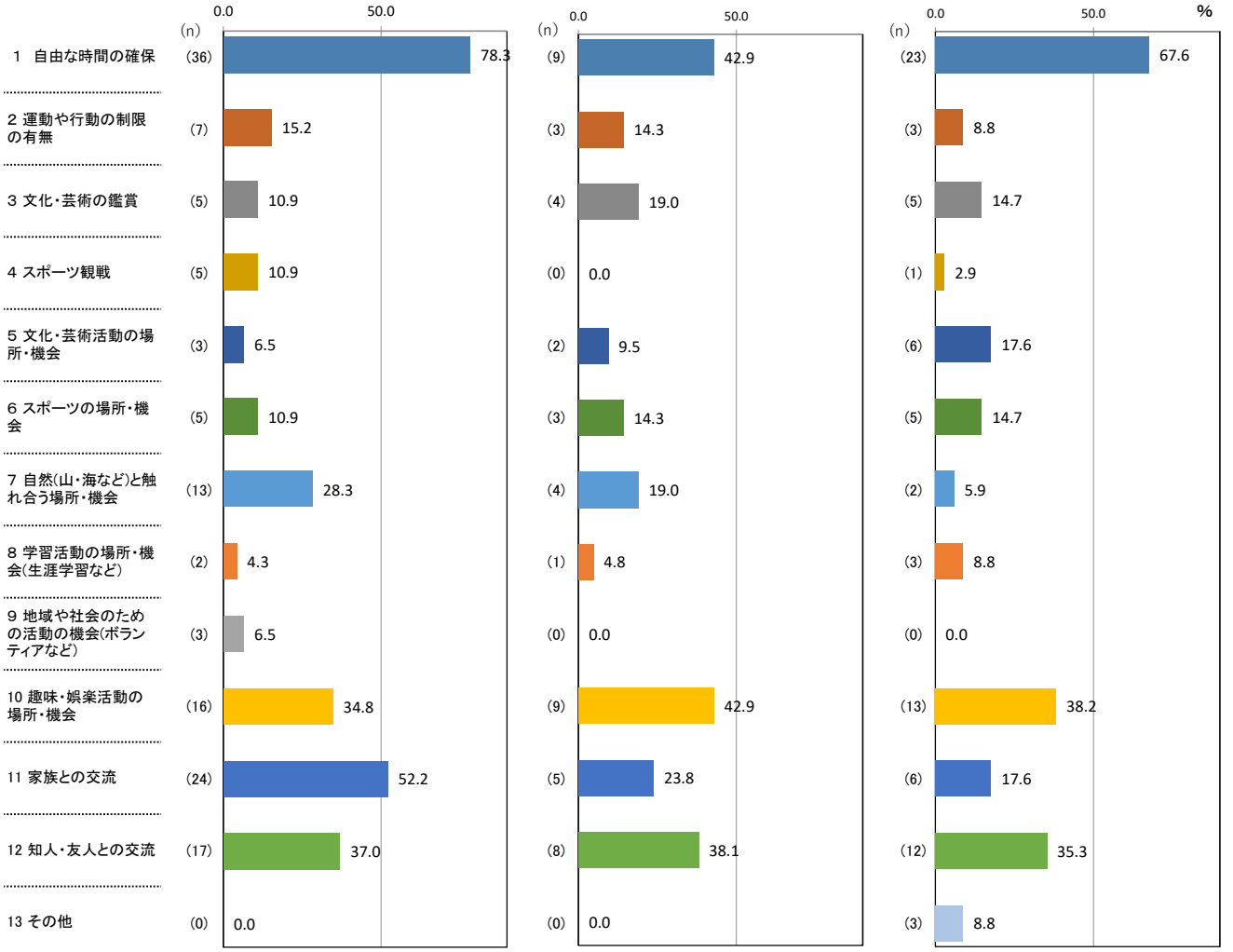
【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」＜50～59歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (136) 46 人	②「どちらともいえない」の回答 (48) 21 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (82) 34 人
1	1 自由な時間の確保 (36)	1 自由な時間の確保 (9)	1 自由な時間の確保 (23)
2	11 家族との交流 (24)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (9)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (13)
3	12 知人・友人との交流 (17)	12 知人・友人との交流 (8)	12 知人・友人との交流 (12)

1位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(2) 余暇の充実についての回答理由(問1-1(2)「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜50～59歳＞ (%)

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		78.3	15.2	10.9	10.9	6.5	10.9	28.3	4.3	6.5	34.8	52.2	37.0	0.0
②「どちらともいえない」		42.9	14.3	19.0	0.0	9.5	14.3	19.0	4.8	0.0	42.9	23.8	38.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		67.6	8.8	14.7	2.9	17.6	14.7	5.9	8.8	0.0	38.2	17.6	35.3	8.8

(件)

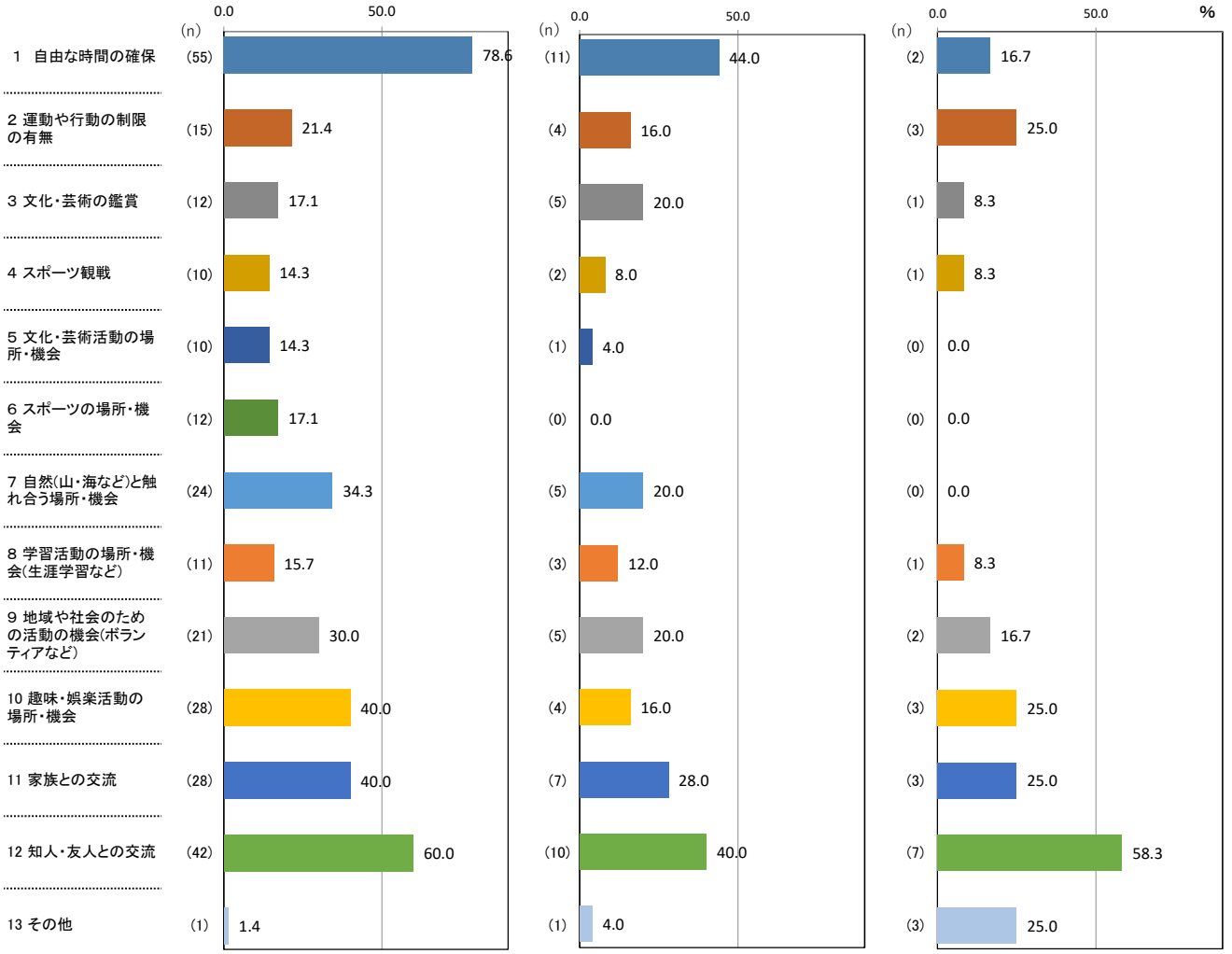
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝46人）	136	36	7	5	5	3	5	13	2	3	16	24	17	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝21人）	48	9	3	4	0	2	3	4	1	0	9	5	8	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝34人）	82	23	3	5	1	6	5	2	3	0	13	6	12	3

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」＜70歳以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (269) 70 人	②「どちらともいえない」の回答 (58) 25 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (26) 12 人
1	1 自由な時間の確保 (55)	1 自由な時間の確保 (11)	12 知人・友人との交流 (7)
2	12 知人・友人との交流 (42)	12 知人・友人との交流 (10)	2 運動や行動の制限の有無 (3)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (28)	11 家族との交流 (7)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (3) 2位
	11 家族との交流 (28) 3位		11 家族との交流 (3) 2位
			13 その他 (3) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜70歳以上＞ （%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		78.6	21.4	17.1	14.3	14.3	17.1	34.3	15.7	30.0	40.0	40.0	60.0	1.4
②「どちらともいえない」		44.0	16.0	20.0	8.0	4.0	0.0	20.0	12.0	20.0	16.0	28.0	40.0	4.0
③「あまり感じない・感じない」		16.7	25.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	25.0	25.0	58.3	25.0

（件）

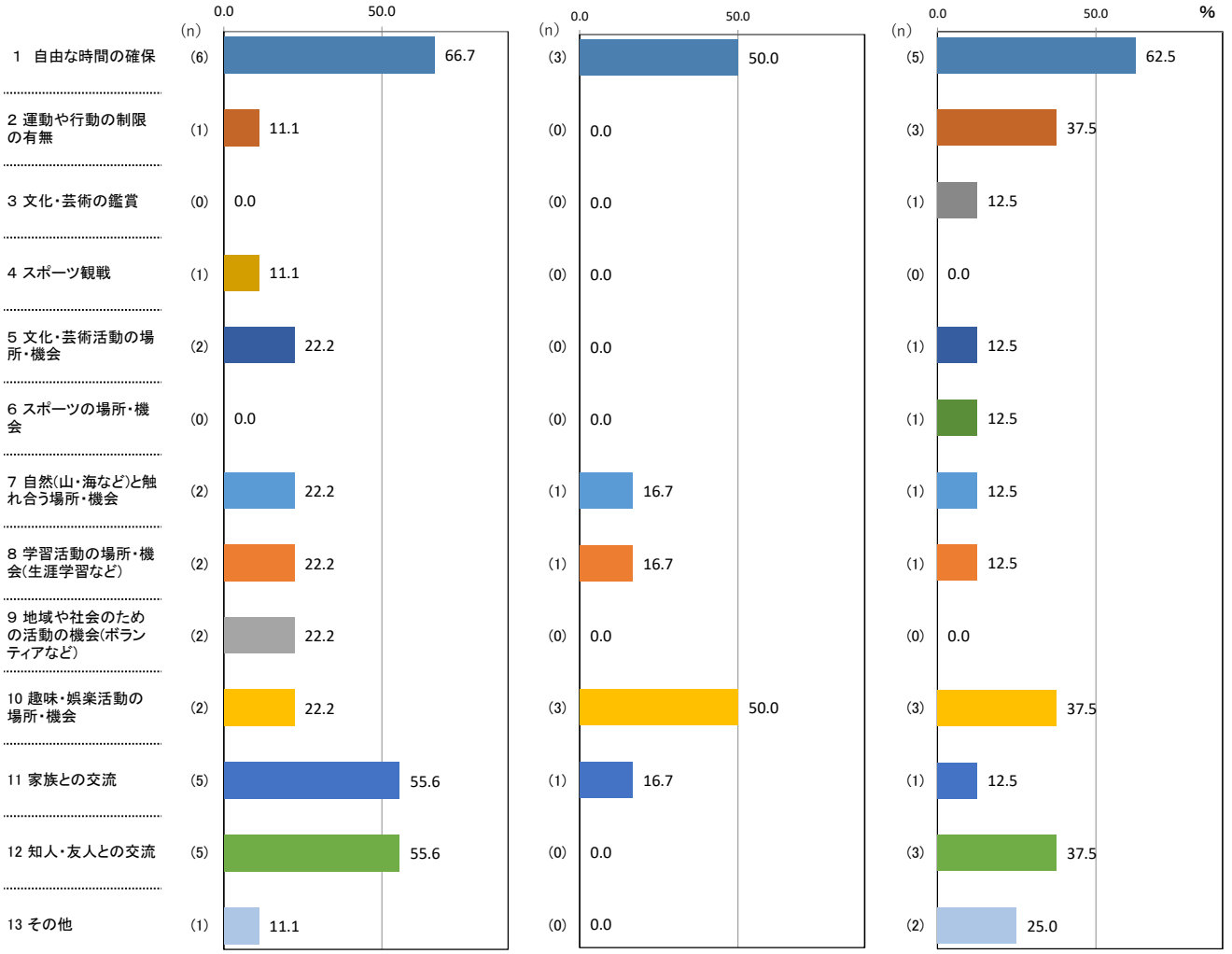
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝70人）	269	55	15	12	10	10	12	24	11	21	28	28	42	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝25人）	58	11	4	5	2	1	0	5	3	5	4	7	10	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝12人）	26	2	3	1	1	0	0	0	1	2	3	3	7	3

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」＜60歳以上の無職＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (29) 9 人	②「どちらともいえない」の回答 (9) 6 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (22) 8 人
1	1 自由な時間の確保 (6)	1 自由な時間の確保 (3)	1 自由な時間の確保 (5)
2	11 家族との交流 (5)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (3) 1位	2 運動や行動の制限の有無 (3)
3	12 知人・友人との交流 (5) 2位	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会 (1)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (3) 2位
		8 学習活動の場所・機会(生涯学習など) (1) 3位	12 知人・友人との交流 (3) 2位
	0	11 家族との交流 (1) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60歳以上の無職＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		66.7	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0	22.2	22.2	22.2	22.2	55.6	55.6	11.1
②「どちらともいえない」		50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		62.5	37.5	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	37.5	12.5	37.5	25.0

（件）

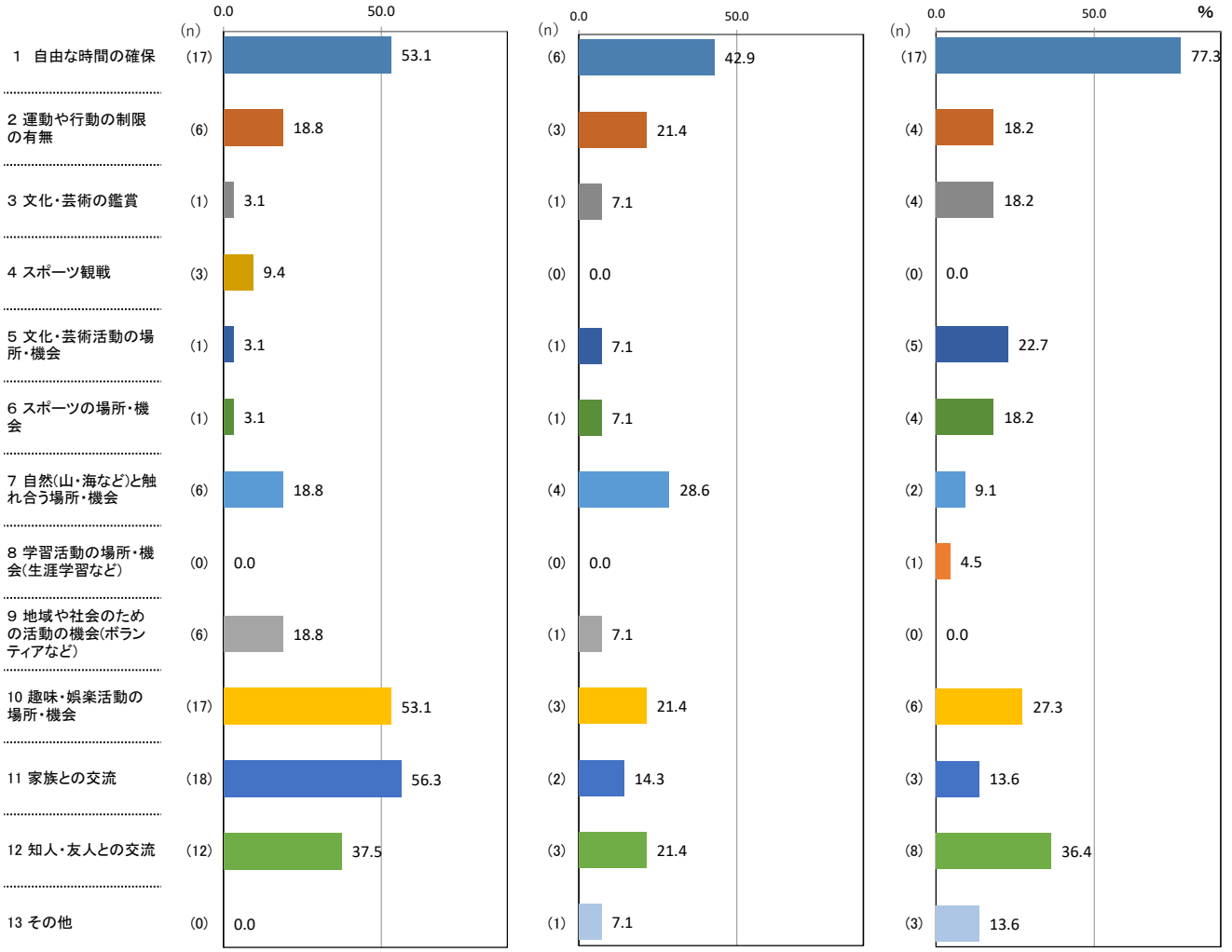
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝9人）	29	6	1	0	1	2	0	2	2	2	2	5	5	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝6人）	9	3	0	0	0	0	0	1	1	0	3	1	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝8人）	22	5	3	1	0	1	1	1	1	0	3	1	3	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」<子の人数1人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (88) 32 人	②「どちらともいえない」の回答 (26) 14 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (57) 22 人
1	11 家族との交流 (18)	1 自由な時間の確保 (6)	1 自由な時間の確保 (17)
2	1 自由な時間の確保 (17)	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会 (4)	12 知人・友人との交流 (8)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (17) 2位	2 運動や行動の制限の有無 (3)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (6)
		2 運動や行動の制限の有無 (3) 3位	
		2 運動や行動の制限の有無 (3) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数1人＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		53.1	18.8	3.1	9.4	3.1	3.1	18.8	0.0	18.8	53.1	56.3	37.5	0.0
②「どちらともいえない」		42.9	21.4	7.1	0.0	7.1	7.1	28.6	0.0	7.1	21.4	14.3	21.4	7.1
③「あまり感じない・感じない」		77.3	18.2	18.2	0.0	22.7	18.2	9.1	4.5	0.0	27.3	13.6	36.4	13.6

（件）

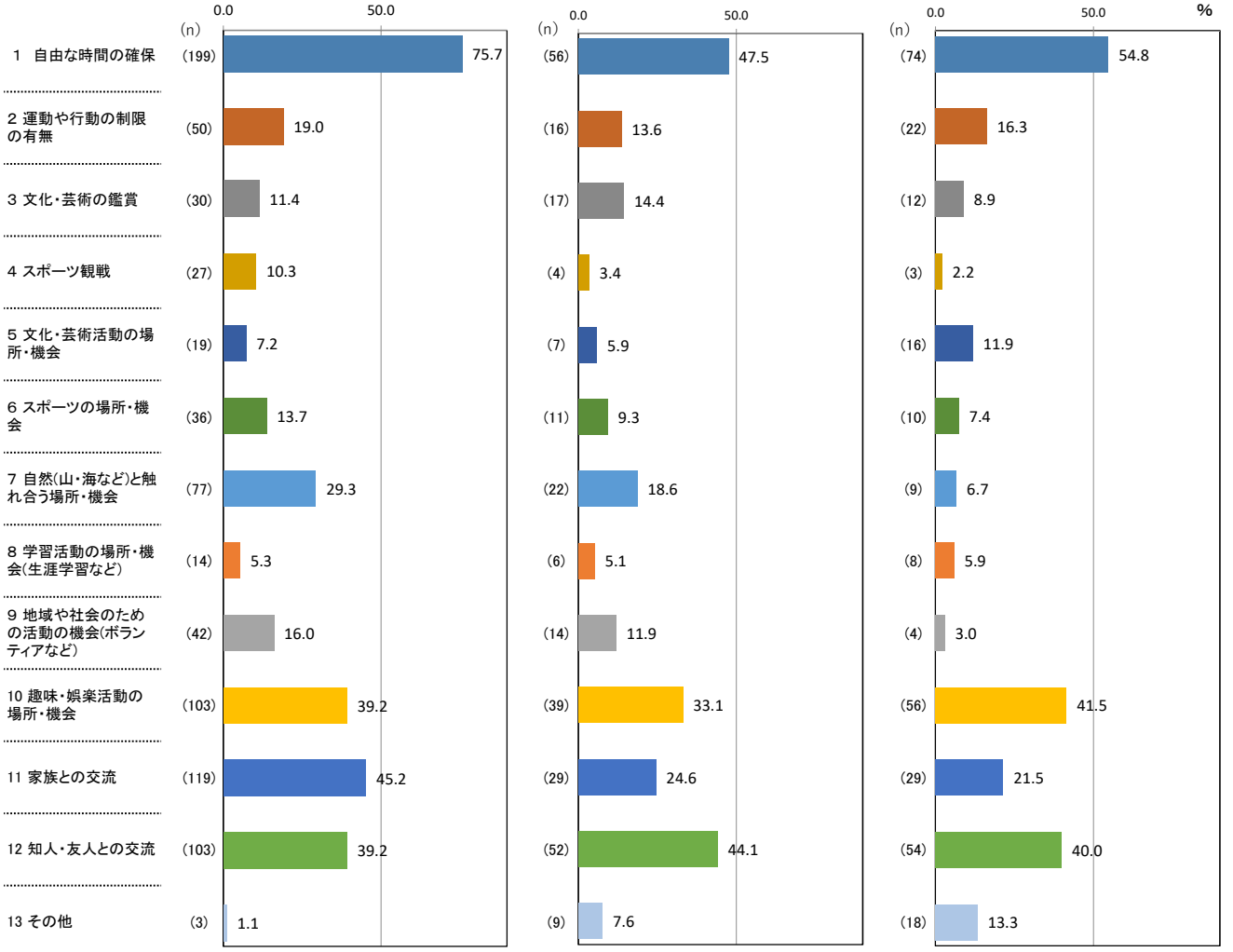
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝32人）	88	17	6	1	3	1	1	6	0	6	17	18	12	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝14人）	26	6	3	1	0	1	1	4	0	1	3	2	3	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝22人）	57	17	4	4	0	5	4	2	1	0	6	3	8	3

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (822) 263 人	②「どちらともいえない」の回答 (282) 118 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (315) 135 人
1	1 自由な時間の確保 (199)	1 自由な時間の確保 (56)	1 自由な時間の確保 (74)
2	11 家族との交流 (119)	12 知人・友人との交流 (52)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (56)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (103)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (39)	12 知人・友人との交流 (54)
	12 知人・友人との交流 (103) 3位		

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		75.7	19.0	11.4	10.3	7.2	13.7	29.3	5.3	16.0	39.2	45.2	39.2	1.1
②「どちらともいえない」		47.5	13.6	14.4	3.4	5.9	9.3	18.6	5.1	11.9	33.1	24.6	44.1	7.6
③「あまり感じない・感じない」		54.8	16.3	8.9	2.2	11.9	7.4	6.7	5.9	3.0	41.5	21.5	40.0	13.3

（件）

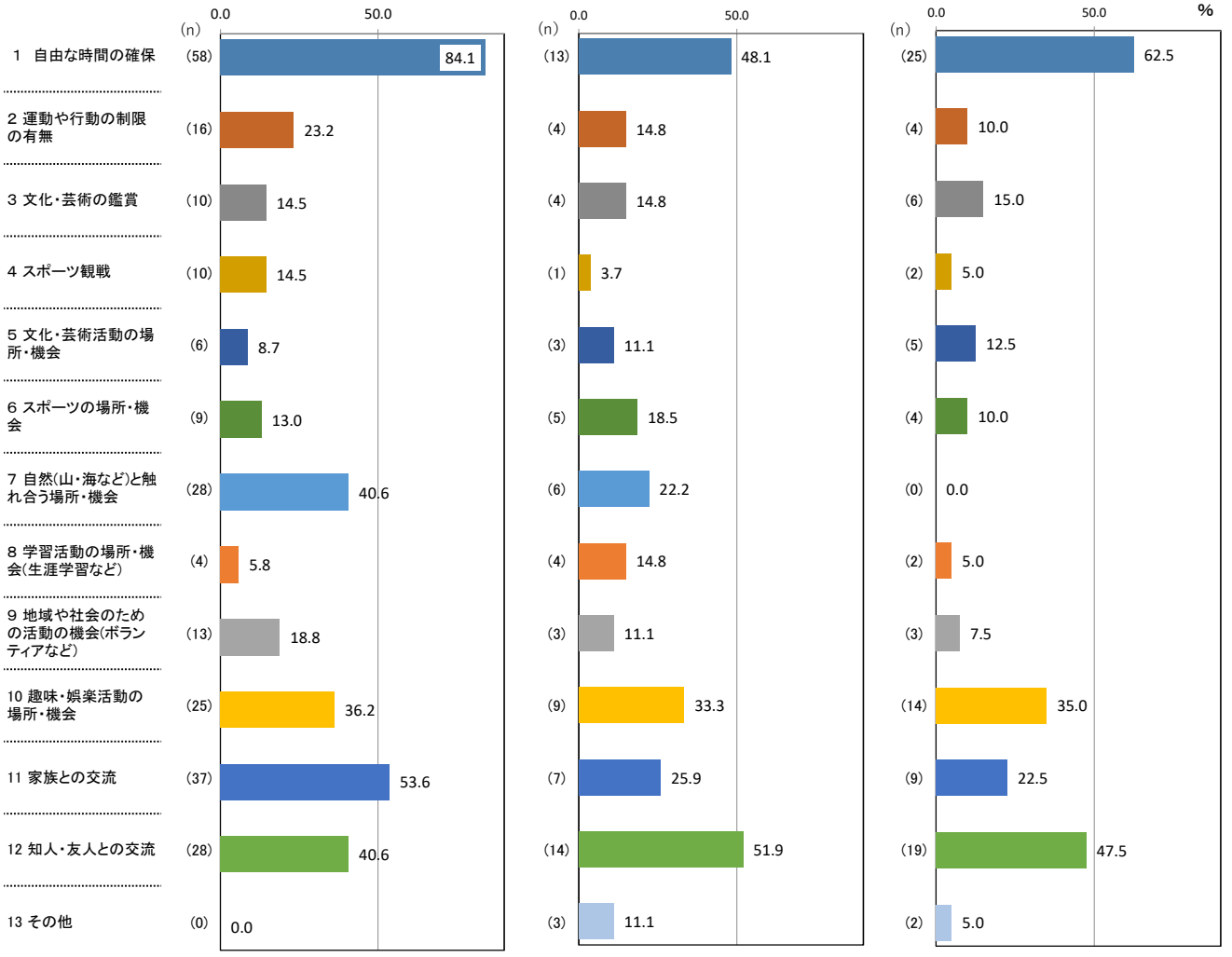
区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝263人）	822	199	50	30	27	19	36	77	14	42	103	119	103	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝118人）	282	56	16	17	4	7	11	22	6	14	39	29	52	9
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝135人）	315	74	22	12	3	16	10	9	8	4	56	29	54	18

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (244) 69 人	②「どちらともいえない」の回答 (76) 27 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (95) 40 人
1	1 自由な時間の確保 (58)	12 知人・友人との交流 (14)	1 自由な時間の確保 (25)
2	11 家族との交流 (37)	1 自由な時間の確保 (13)	12 知人・友人との交流 (19)
3	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会 (28)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (9)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (14)
	12 知人・友人との交流 (28) 3位		

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜沿岸広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		84.1	23.2	14.5	14.5	8.7	13.0	40.6	5.8	18.8	36.2	53.6	40.6	0.0
②「どちらともいえない」		48.1	14.8	14.8	3.7	11.1	18.5	22.2	14.8	11.1	33.3	25.9	51.9	11.1
③「あまり感じない・感じない」		62.5	10.0	15.0	5.0	12.5	10.0	0.0	5.0	7.5	35.0	22.5	47.5	5.0

（件）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝69人）	244	58	16	10	10	6	9	28	4	13	25	37	28	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝27人）	76	13	4	4	1	3	5	6	4	3	9	7	14	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝40人）	95	25	4	6	2	5	4	0	2	3	14	9	19	2

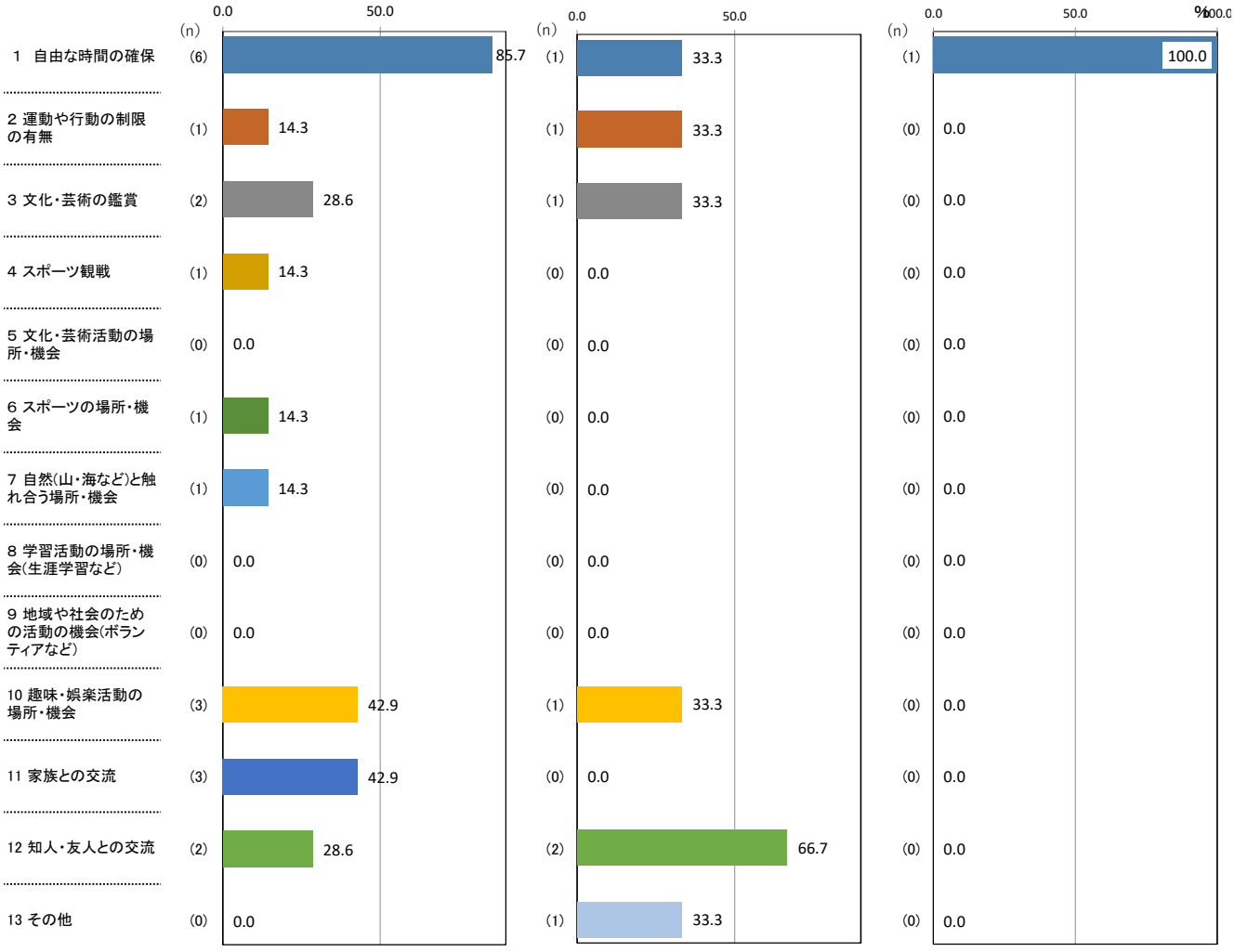
【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」<学生＋その他>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (20) 7 人	②「どちらともいえない」の回答 (7) 3 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (1) 1 人
1	1 自由な時間の確保 (6)	12 知人・友人との交流 (2)	1 自由な時間の確保 (1)
2	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (3)	1 自由な時間の確保 (1)	#N/A #N/A
3	11 家族との交流 (3)	2 運動や行動の制限の有無 (1)	#N/A #N/A
	13 その他 (0)	3 文化・芸術の鑑賞 (1)	
		10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (1)	
		13 その他 (1)	

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜学生＋その他＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		85.7	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	42.9	42.9	28.6	0.0
②「どちらともいえない」		33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	33.3
③「あまり感じない・感じない」		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（件）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝7人）	20	6	1	2	1	0	1	1	0	0	3	3	2	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝3人）	7	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝1人）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

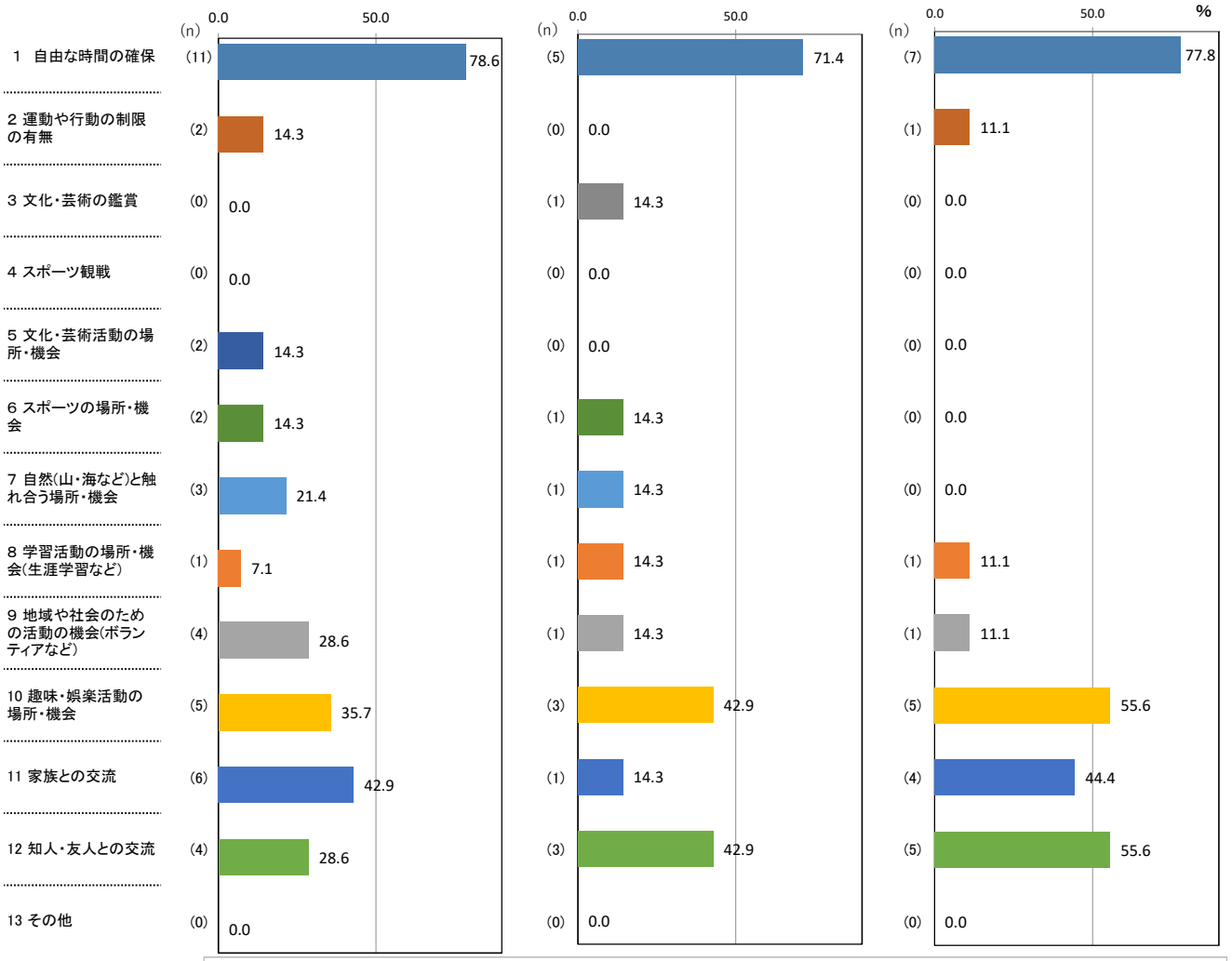
【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「余暇の充実」<その他世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (40) 14 人	②「どちらともいえない」の回答 (17) 7 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (24) 9 人
1	1 自由な時間の確保 (11)	1 自由な時間の確保 (5)	1 自由な時間の確保 (7)
2	11 家族との交流 (6)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (3)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (5)
3	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (5)	12 知人・友人との交流 (3)	12 知人・友人との交流 (5)

2位　2位

( )内の数字は件数。



↑　理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実についての回答理由（問1-1（2）「①あなたは余暇が充実していると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜その他世帯＞

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」		78.6	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	21.4	7.1	28.6	35.7	42.9	28.6	0.0
②「どちらともいえない」		71.4	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	42.9	14.3	42.9	0.0
③「あまり感じない・感じない」		77.8	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	55.6	44.4	55.6	0.0

（件）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝14人）	40	11	2	0	0	2	2	3	1	4	5	6	4	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝7人）	17	5	0	1	0	0	1	1	1	1	3	1	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝9人）	24	7	1	0	0	0	0	0	1	1	5	4	5	0

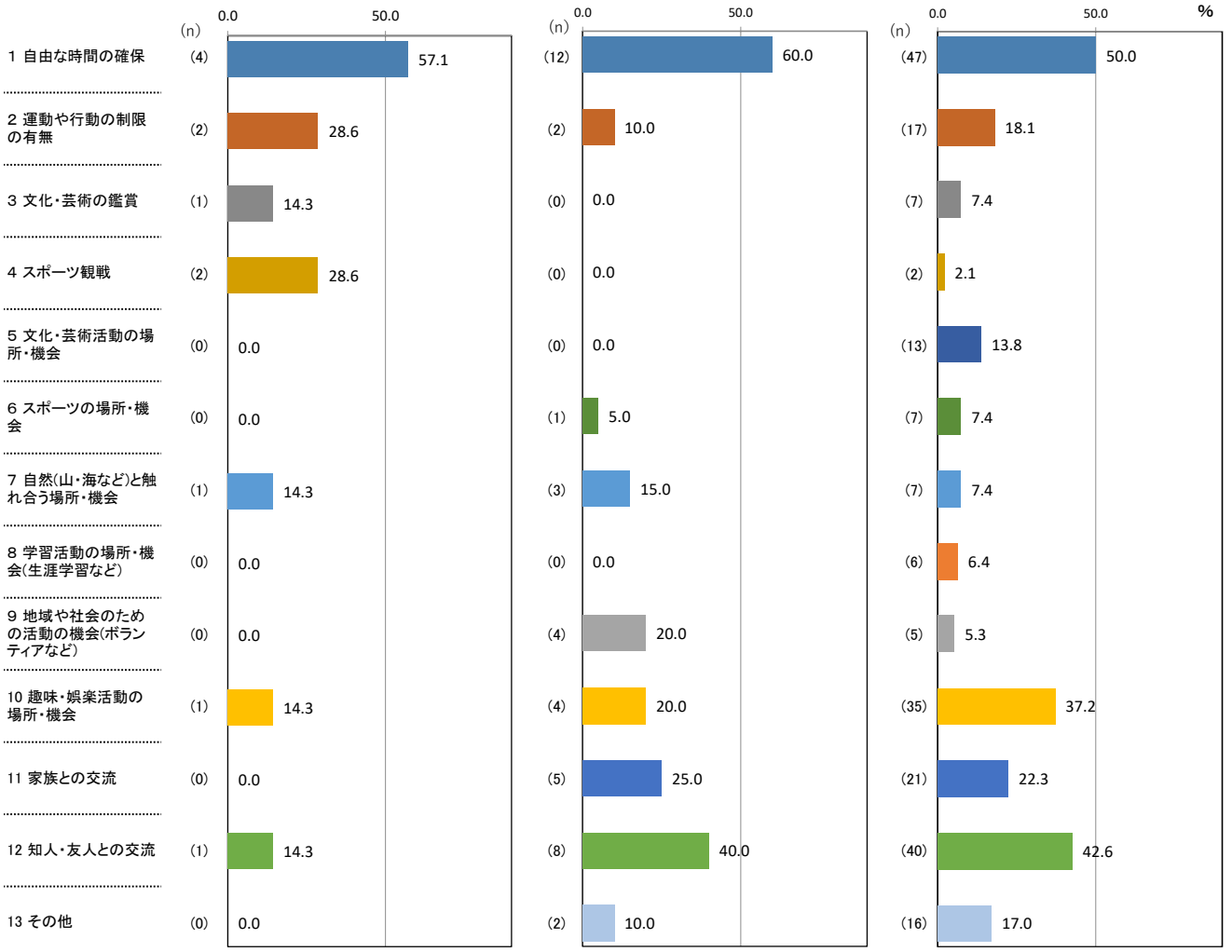
【補足調査】(実感変動とコロナ実感)

分野別実感の回答結果「余暇の充実」(実感低下)

上位3項目	①「よい影響を感じる」の回答 (12) 7 人	②「どちらともいえない」の回答 (41) 20 人	③「よくない影響を感じる」の回答 (223) 94 人
1	1 自由な時間の確保 (4)	1 自由な時間の確保 (12)	1 自由な時間の確保 (47)
2	2 運動や行動の制限の有無 (2)	12 知人・友人との交流 (8)	12 知人・友人との交流 (40)
3	4 スポーツ観戦 (2)	11 家族との交流 (5)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会 (35)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（2） 余暇の充実において実感が低下している人の新型コロナウイルス感染症の影響に係る回答理由

（%）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「よい影響を感じる」		57.1	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
②「どちらともいえない」		60.0	10.0	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0	0.0	20.0	20.0	25.0	40.0	10.0
③「よくない影響を感じる」		50.0	18.1	7.4	2.1	13.8	7.4	7.4	6.4	5.3	37.2	22.3	42.6	17.0

（件）

区分	計	1 自由な時間の確保	2 運動や行動の制限の有無	3 文化・芸術の鑑賞	4 スポーツ観戦	5 文化・芸術活動の場所・機会	6 スポーツの場所・機会	7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)	9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	10 趣味・娯楽活動の場所・機会	11 家族との交流	12 知人・友人との交流	13 その他
①「よい影響を感じる」の人（サンプル数＝7人）	12	4	2	1	2	0	0	1	0	0	1	0	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝20人）	41	12	2	0	0	0	1	3	0	4	4	5	8	2
③「よくない影響を感じる」の人（サンプル数＝94人）	223	47	17	7	2	13	7	7	6	5	35	21	40	16

２　「地域社会とのつながり」の実感

①　分野別実感の概況

ア　分野別実感に係る令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

実感平均値は 3.09 点であり、基準年調査より 0.25 点低下しています。

ｔ検定を行った結果、基準年調査に比べて有意に低下していることから、**当該分野の実感は低下**していると考えられます。

イ　属性別の状況

○　令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

基準年調査と比較して有意に変化した属性は表３のとおりでした。

表３　「地域社会とのつながり」の実感において有意な変化があった属性と基準年差

属性		H31	R３	R3-H31
県計		3.35	3.09	▲ 0.25
性別	男性	3.37	3.09	▲ 0.28
	女性	3.33	3.09	▲ 0.23
年代	30～39 歳	3.03	2.83	▲ 0.20
	40～49 歳	3.22	2.94	▲ 0.28
	50～59 歳	3.30	2.91	▲ 0.39
	60～69 歳	3.37	3.15	▲ 0.22
	70 歳以上	3.59	3.38	▲ 0.21
職業	自営業主	3.52	3.33	▲ 0.19
	家族従業者	3.58	3.25	▲ 0.33
	常用雇用者	3.22	2.92	▲ 0.30
	臨時雇用者	3.27	2.95	▲ 0.32
	60 歳以上の無職	3.48	3.24	▲ 0.24
世帯構成	ひとり暮らし	3.15	2.84	▲ 0.32
	夫婦のみ	3.39	3.19	▲ 0.20
	２世代世帯	3.34	3.01	▲ 0.33
	３世代世帯	3.53	3.32	▲ 0.21
子の人数	１人	3.31	2.99	▲ 0.32
	２人	3.45	3.22	▲ 0.22
	３人	3.47	3.24	▲ 0.23
	子どもはいない	3.08	2.79	▲ 0.28
居住年数	10 年未満	3.04	2.67	▲ 0.38
	20 年以上	3.37	3.10	▲ 0.27
広域振興圏	県央広域振興圏	3.24	3.00	▲ 0.23
	県南広域振興圏	3.40	3.15	▲ 0.25
	沿岸広域振興圏	3.43	3.16	▲ 0.28
	県北広域振興圏	3.33	3.07	▲ 0.27

ウ　新型コロナウイルス感染症の影響

当該分野別実感に係る新型コロナウイルス感染症の影響に対する県民の認識を令和３年県民意識調査において把握したところ、良い影響を感じた割合は６％、良くない影響を感じた割合は52%となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響を検討する上で、影響を受ける前の令和２年調査と影響後の令和３年調査の実感を比較すると表４のとおりでした。

表４　「地域社会とのつながり」の実感において有意な変化があった属性と前年差

属性		R２	R３	R3-R2
県計		3.16	3.09	▲ 0.06
年代	50～59 歳	3.10	2.91	▲ 0.19
職業	家族従業者	3.53	3.25	▲ 0.27
	臨時雇用者	3.13	2.95	▲ 0.18
世帯構成	ひとり暮らし	3.09	2.84	▲ 0.25
	２世代世帯	3.14	3.01	▲ 0.13
居住年数	20 年以上	3.17	3.10	▲ 0.08

②　分野別実感が低下した要因

・　県民意識調査の結果、実感が有意に低下した属性は、表３及び表４のとおり幅広く存在しており、特徴的な属性は確認できませんでした。

・　補足調査で把握している「分野別実感の回答理由」で、実感が低下した人の回答理由は以下のとおりでした。

（ア）　隣近所との面識・交流
（イ）　自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など）
（ウ）　その地域で過ごした年数

・　補足調査結果において、実感が低下した人の上記回答理由と、実感が横ばい、上昇した人の回答理由を比較しても特徴的な要因は抽出できませんでした。

・　以上を踏まえ、当該分野の実感が低下した要因は、「隣近所との面識・交流」「自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など）」「その地域で過ごした年数」であると推測されます。

・　なお、**新型コロナウイルス感染症の影響について、良くない影響を感じた人であって、前年調査に比べて実感が低下した人の主な回答理由は**以下のとおりであり、**「分野別実感の回答理由」と同じ理由**でした。

（ア）　自治会・町内会活動への参加（環境美化、防犯・防災活動など）
（イ）　隣近所との面識・交流
（ウ）　その地域で過ごした年数

(1)県民意識調査の属性別平均点について

⑦地域社会とのつながりを感じますか。

		H31（基準年）	R２	R3	R3−H31（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−H31（寄与度）	参考 R3−R2（対前年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−R2（寄与度）
県計(3,549)		3.35	3.16	3.09	▲ 0.25	0.00	**	▲ 0.25	▲ 0.06	0.03	**	▲ 0.06
性別	男性(1,561)	3.37	3.15	3.09	▲ 0.28	0.00	**	▲ 0.12	▲ 0.06	0.17		▲ 0.03
	女性(1,949)	3.33	3.16	3.09	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.13	▲ 0.07	0.06		▲ 0.04
	その他(参考)(6)		3.00	3.83					1.50	0.30		0.00
年代	18～19歳(参考)(53)	3.38	3.24	3.48	0.10	0.74		0.00	0.23	0.37		0.00
	20～29歳(200)	2.95	2.83	2.77	▲ 0.18	0.16		▲ 0.01	▲ 0.06	0.66		▲ 0.00
	30～39歳(320)	3.03	2.97	2.83	▲ 0.20	0.04	**	▲ 0.02	▲ 0.14	0.15		▲ 0.01
	40～49歳(499)	3.22	3.00	2.94	▲ 0.28	0.00	**	▲ 0.04	▲ 0.06	0.42		▲ 0.01
	50～59歳(604)	3.30	3.10	2.91	▲ 0.39	0.00	**	▲ 0.07	▲ 0.19	0.00	**	▲ 0.03
	60～69歳(766)	3.37	3.16	3.15	▲ 0.22	0.00	**	▲ 0.05	▲ 0.00	0.95		▲ 0.00
	70歳以上(1,009)	3.59	3.36	3.38	▲ 0.21	0.00	**	▲ 0.06	0.02	0.66		0.01
職業	自営業主(282)	3.52	3.36	3.33	▲ 0.19	0.05	**	▲ 0.01	▲ 0.04	0.72		▲ 0.00
	家族従業者(119)	3.58	3.53	3.25	▲ 0.33	0.03	**	▲ 0.01	▲ 0.27	0.05	**	▲ 0.01
	会社役員・団体役員(240)	3.38	3.21	3.20	▲ 0.18	0.10		▲ 0.01	▲ 0.01	0.93		▲ 0.00
	常用雇用者(1,025)	3.22	3.01	2.92	▲ 0.30	0.00	**	▲ 0.09	▲ 0.09	0.10		▲ 0.02
	臨時雇用者(440)	3.27	3.13	2.95	▲ 0.32	0.00	**	▲ 0.04	▲ 0.18	0.02	**	▲ 0.02
	学生＋その他(119)	3.32	3.03	3.18	▲ 0.14	0.35		▲ 0.00	0.15	0.29		0.01
	専業主婦・主夫(403)	3.37	3.24	3.24	▲ 0.13	0.11		▲ 0.01	0.00	0.97		0.00
	60歳未満の無職(参考)(77)	3.02	2.49	2.55	▲ 0.47	0.03	**	▲ 0.01	0.06	0.78		0.00
	60歳以上の無職(697)	3.48	3.22	3.24	▲ 0.24	0.00	**	▲ 0.05	0.01	0.82		0.00
世帯構成	ひとり暮らし(431)	3.15	3.09	2.84	▲ 0.32	0.00	**	▲ 0.04	▲ 0.25	0.00	**	▲ 0.03
	夫婦のみ(718)	3.39	3.17	3.19	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.04	0.02	0.74		0.00
	2世代世帯(1,437)	3.34	3.14	3.01	▲ 0.33	0.00	**	▲ 0.14	▲ 0.13	0.00	**	▲ 0.05
	3世代世帯(548)	3.53	3.27	3.32	▲ 0.21	0.00	**	▲ 0.03	0.05	0.45		0.01
	その他(184)	3.26	3.02	3.17	▲ 0.09	0.39		▲ 0.00	0.15	0.18		0.01
子の数	1人(450)	3.31	3.10	2.99	▲ 0.32	0.00	**	▲ 0.04	▲ 0.11	0.15		▲ 0.01
	2人(1,270)	3.45	3.24	3.22	▲ 0.22	0.00	**	▲ 0.08	▲ 0.02	0.74		▲ 0.01
	3人(682)	3.47	3.29	3.24	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.04	▲ 0.05	0.44		▲ 0.01
	4人以上(159)	3.43	3.18	3.21	▲ 0.22	0.08		▲ 0.01	0.03	0.81		0.00
	子どもはいない(802)	3.08	2.91	2.79	▲ 0.28	0.00	**	▲ 0.06	▲ 0.11	0.06		▲ 0.03
居住年数	10年未満(100)	3.04	2.84	2.67	▲ 0.38	0.02	**	▲ 0.01	▲ 0.17	0.34		▲ 0.00
	10～20年未満(145)	3.15	2.98	3.23	0.08	0.60		0.00	0.25	0.10		0.01
	20年以上(3,174)	3.37	3.17	3.10	▲ 0.27	0.00	**	▲ 0.25	▲ 0.08	0.01	**	▲ 0.07
広域振興圏	県央(1,011)	3.24	3.04	3.00	▲ 0.23	0.00	**	▲ 0.07	▲ 0.04	0.47		▲ 0.01
	県南(1,080)	3.40	3.23	3.15	▲ 0.25	0.00	**	▲ 0.08	▲ 0.08	0.11		▲ 0.03
	沿岸(833)	3.43	3.18	3.16	▲ 0.28	0.00	**	▲ 0.06	▲ 0.02	0.75		▲ 0.00
	県北(625)	3.33	3.19	3.07	▲ 0.27	0.00	**	▲ 0.05	▲ 0.13	0.06		▲ 0.02

（　）は、R３調査のサンプル数

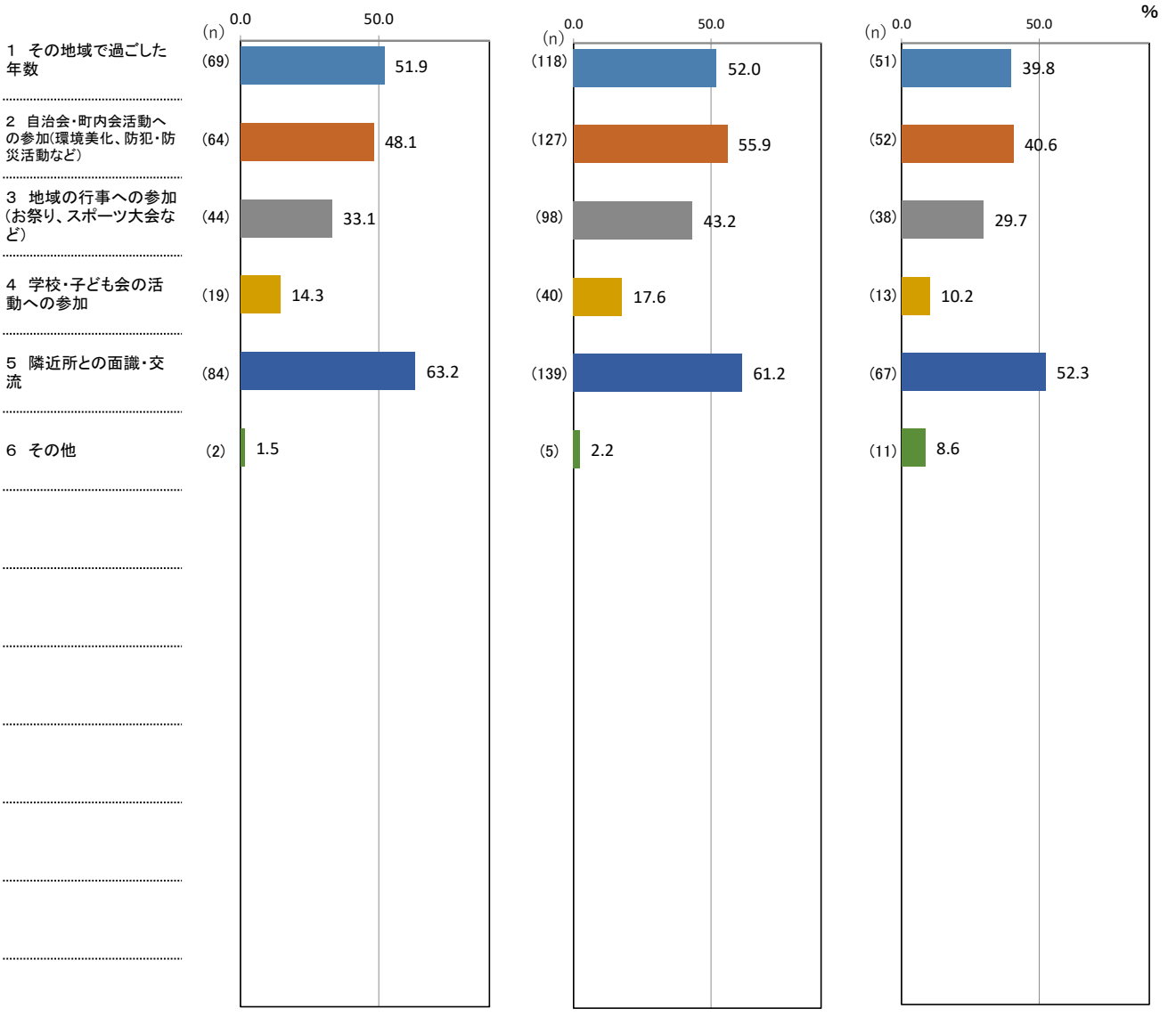
(2)分野別実感の回答理由(実感変化別)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「地域社会とのつながり」(H31-R3)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (282) 133 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (527) 227 人	③ 実感が低下した人 の回答 (232) 128 人
1	5 隣近所との面識・交流 (84)	5 隣近所との面識・交流 (139)	5 隣近所との面識・交流 (67)
2	1 その地域で過ごした年数 (69)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (127)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (52)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (64)	1 その地域で過ごした年数 (118)	1 その地域で過ごした年数 (51)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）①「あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
① 実感が上昇した人		51.9	48.1	33.1	14.3	63.2	1.5
② 実感が横ばいの人		52.0	55.9	43.2	17.6	61.2	2.2
③ 実感が低下した人		39.8	40.6	29.7	10.2	52.3	8.6

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝133人）	282	69	64	44	19	84	2
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝227人）	527	118	127	98	40	139	5
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝128人）	232	51	52	38	13	67	11

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（2名中1名記載）
・町内会費が高額、寄付金が多く負担が重くその上に清掃活動などを強いられている

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（5名中5名記載）
・祭りのために強制的に近い形で手伝いや参加しなければならなかった。今年はコロナで祭りのない年だったのでその点は忙しさから解放されたと感じた。
・地域社会とのつながりがあまりない　・無尽会(月1回、定例会、有志)参加14名　・すべての行事に参加しているが古いものをずっと繰り返している
・家を建てて30年以上になるがいまだによそ者扱いされ挨拶しても無視される。排他的な人たちが多く自治会の活動で日時が変更になっても知らせてくれず、一人で草取りをしたり空き缶拾いをしたりした。町民運動会にも一度も誘われず参加も観戦もしたことがない。とても生きづらい思いは数えきれないが、今はコロナのため行事がなくなり不謹慎ではあるが逆に心が楽になったように感じる。

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（11名中8名記載）
・田舎特有の近所のうわさ話。わずらわしい。　・近所との交流がないので　・興味がない。町内会など負担に感じる
・昔ほど地域間の連携性を感じない。核家族になっているためか？　・件数が少なく接点があまりない　・助け合いがあまりない
・コロナの影響　・コロナ影響で中止したイベントはとても残念でした

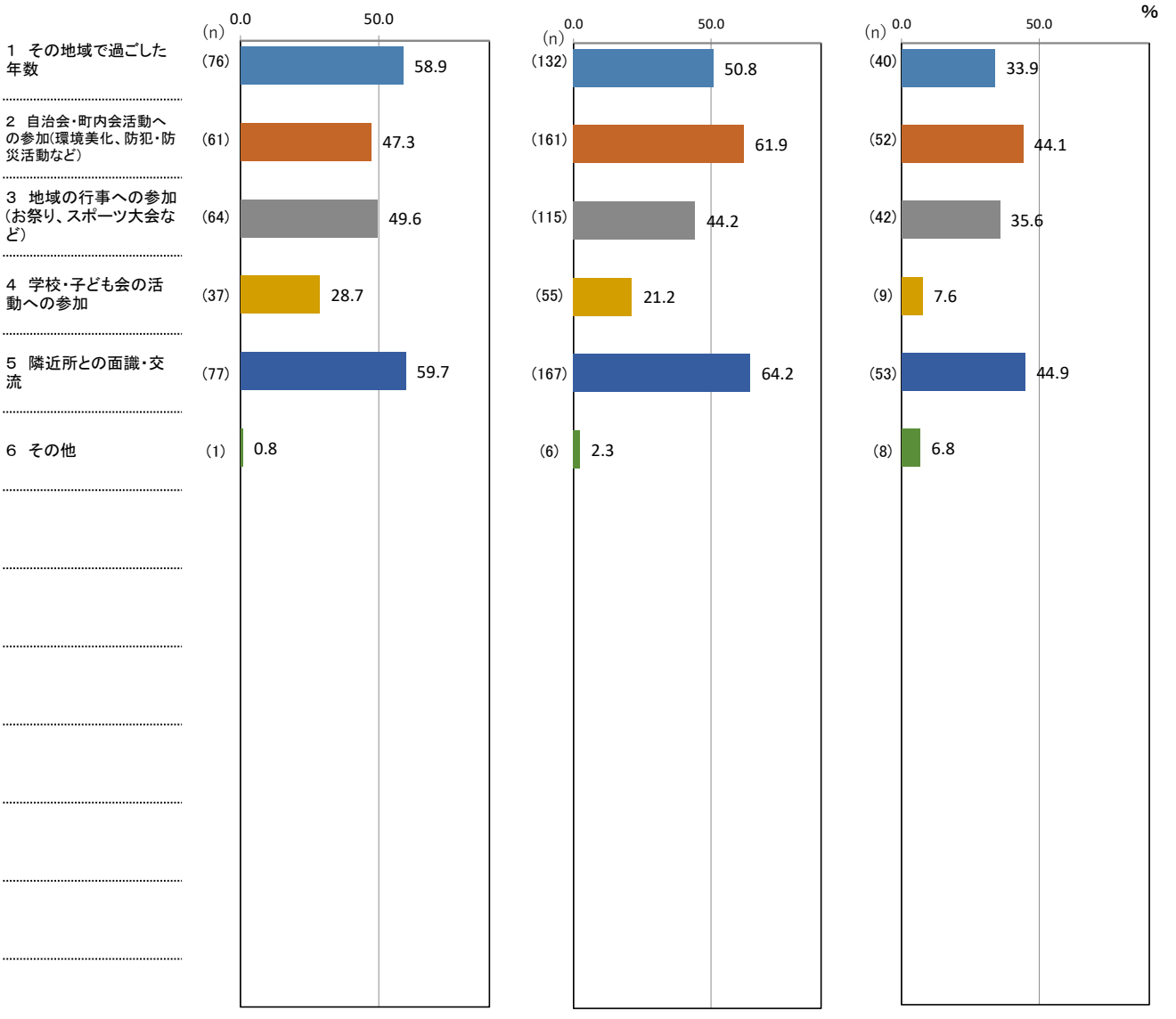
【参考】

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「地域社会とのつながり」(R2-H31)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (316) 129 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (636) 260 人	③ 実感が低下した人 の回答 (204) 118 人
1	5 隣近所との面識・交流 (77)	5 隣近所との面識・交流 (167)	5 隣近所との面識・交流 (53)
2	1 その地域で過ごした年数 (76)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (161)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (52)
3	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (64)	1 その地域で過ごした年数 (132)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (42)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（2）「あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
① 実感が上昇した人		58.9	47.3	49.6	28.7	59.7	0.8
② 実感が横ばいの人		50.8	61.9	44.2	21.2	64.2	2.3
③ 実感が低下した人		33.9	44.1	35.6	7.6	44.9	6.8

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R2[2」は除く。 （サンプル数＝129人）	316	76	61	64	37	77	1
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝260人）	636	132	161	115	55	167	6
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R2[4」は除く。 （サンプル数＝118人）	204	40	52	42	9	53	8

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（1名中1名記載）
・産業として。

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（6名中5名記載）
・町内会の古い感覚に違和感有り。年1万円の会費は高い。　・外出しない。　・行政区長2回、自治会長3年
・ボランティア活動への協力がある。　・冠婚葬祭など。

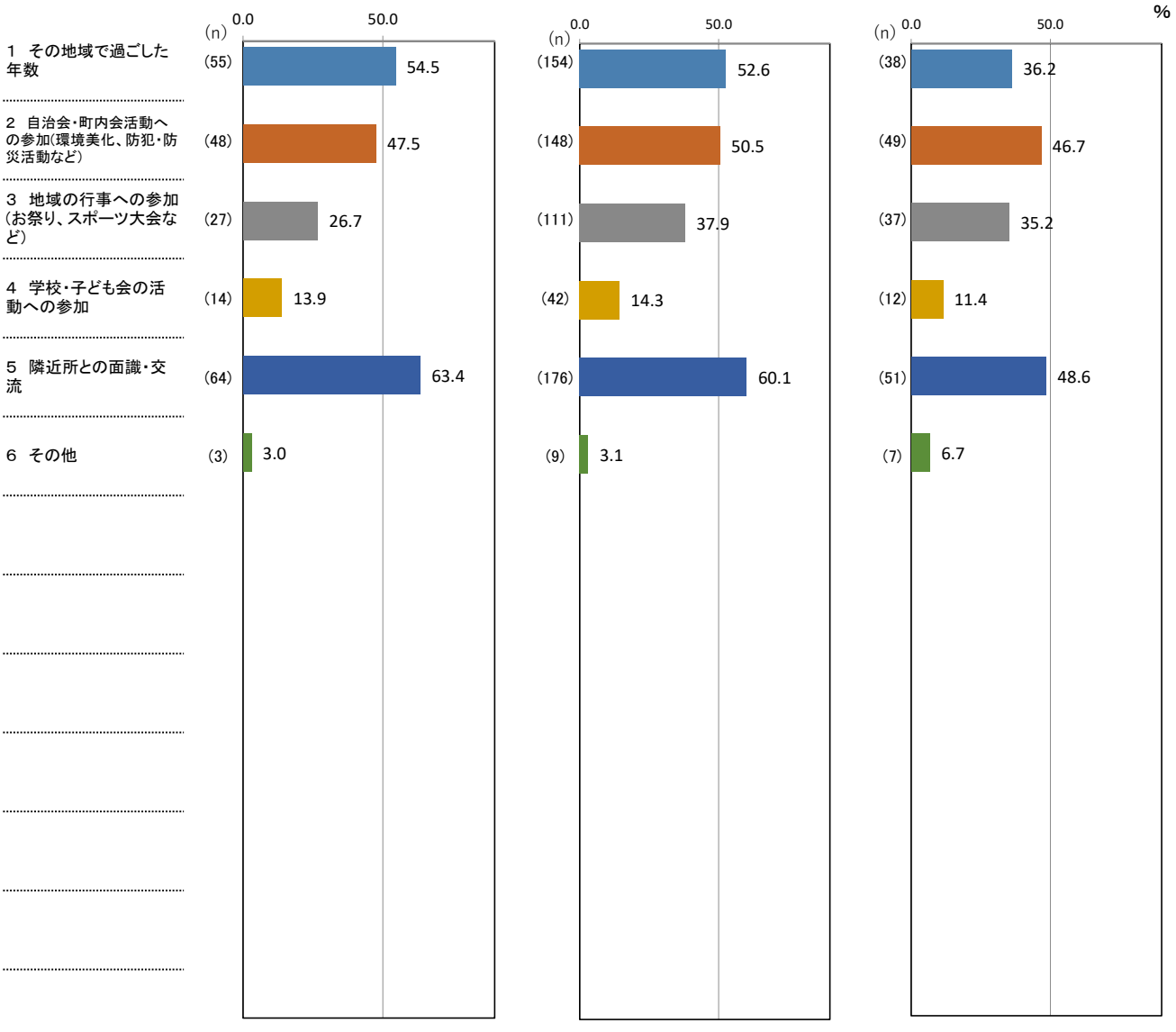
③ 実感が低下した人の「その他」コメント（8名中7名記載）
・参加できていない。　・閉鎖的部落なので交われない
・外に出ることが少ない。　・周りに家がない、無職。
・小さいころはあったが徐々に無くなった。（関わりなど）　・学校や保育園が強要してくるように感じる。
・なのでアンケートを受け入れました

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「地域社会とのつながり」(R3-R2)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (211) 101 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (640) 293 人	③ 実感が低下した人 の回答 (194) 105 人
1	5 隣近所との面識・交流 (64)	5 隣近所との面識・交流 (176)	5 隣近所との面識・交流 (51)
2	1 その地域で過ごした年数 (55)	1 その地域で過ごした年数 (154)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (49)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (48)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (148)	1 その地域で過ごした年数 (38)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）①「あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
① 実感が上昇した人		54.5	47.5	26.7	13.9	63.4	3.0
② 実感が横ばいの人		52.6	50.5	37.9	14.3	60.1	3.1
③ 実感が低下した人		36.2	46.7	35.2	11.4	48.6	6.7

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R2「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝101人）	211	55	48	27	14	64	3
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝293人）	640	154	148	111	42	176	9
③ 実感が低下した人 ただし、R2「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝105人）	194	38	49	37	12	51	7

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（3名中1名記載）
・町内会費が高額、寄付金が多く負担が重くその上に清掃活動などを強いられている

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（8名中名6記載）
・祭りのために強制的に近い形で手伝いや参加しなければならなかった。 今年はコロナで祭りのない年だったのでその点は忙しさから解放されたと感じた。
・地域社会とのつながりがあまりない　・無尽会(月1回、定例会、有志)参加14名　・近所との交流がないので
・興味がない。町内会など負担に感じる　・助け合いがあまりない

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（7名中6名記載）
・田舎特有の近所のうわさ話。わずらわしい。　・コロナの影響　・コロナ影響で中止したイベントはとても残念でした
・すべての行事に参加しているが古いものをずっと繰り返している　・件数が少なく接点があまりない
・家を建てて30年以上になるがいまだによそ者扱いされ挨拶しても無視される。排他的な人たちが多く自治会の活動で日時が変更になっても知らせてくれず、一人で草取りをしたり空き缶拾いをしたりした。町民運動会にも一度も誘われず参加も観戦もしたことがない。とても生きづらい思いは数えきれないが、今はコロナのため行事がなくなり不謹慎ではあるが逆に心が楽になったように感じる。

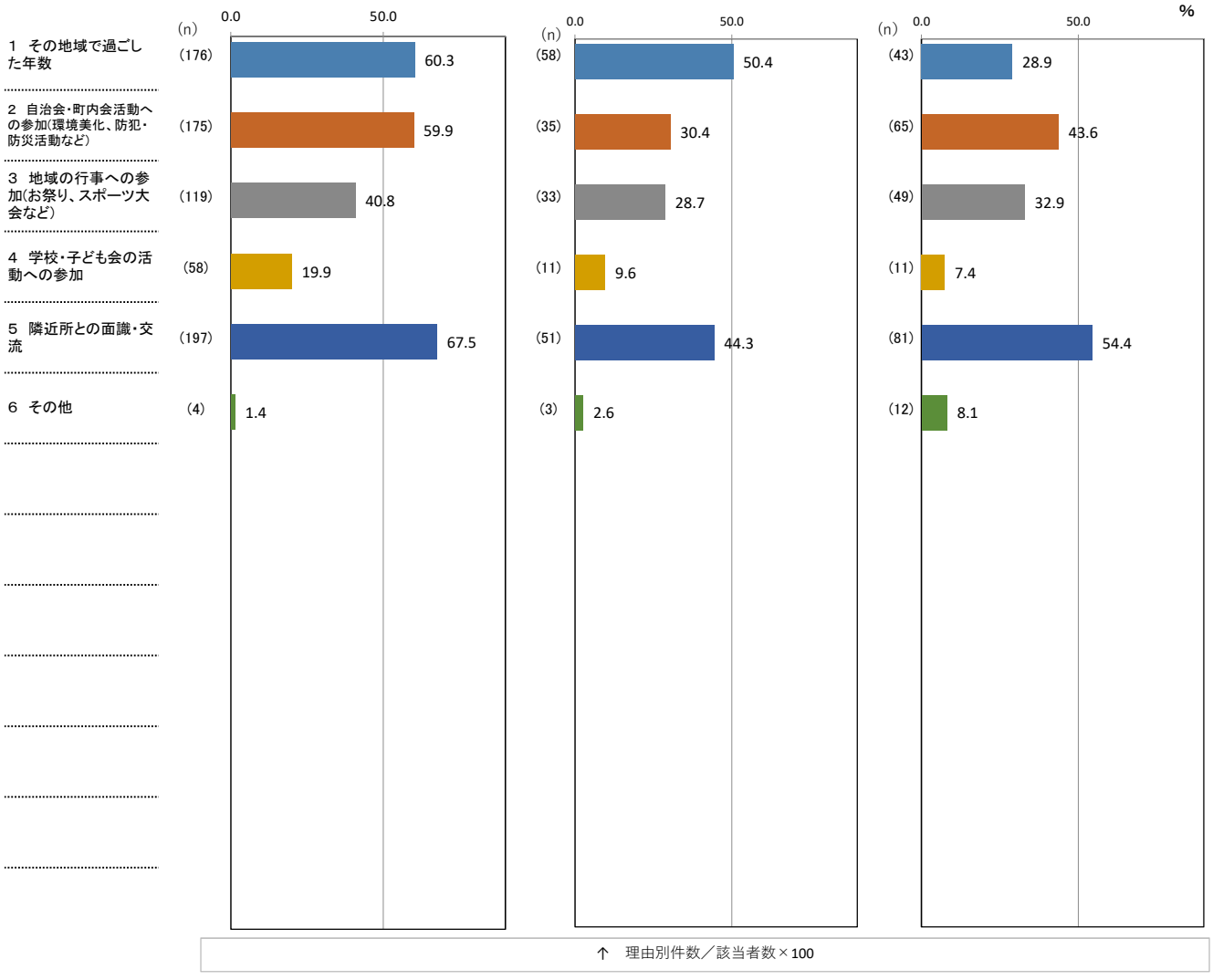
(3)分野別実感の回答結果(単純集計)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「地域社会とのつながり」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (729) 292 人	②「どちらともいえない」の回答 (191) 115 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (261) 149 人
1	5 隣近所との面識・交流 (197)	1 その地域で過ごした年数 (58)	5 隣近所との面識・交流 (81)
2	1 その地域で過ごした年数 (176)	5 隣近所との面識・交流 (51)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (65)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (175)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (35)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (49)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		60.3	59.9	40.8	19.9	67.5	1.4
②「どちらともいえない」		50.4	30.4	28.7	9.6	44.3	2.6
③「あまり感じない・感じない」		28.9	43.6	32.9	7.4	54.4	8.1

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝人）	729	176	175	119	58	197	4
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝人）	191	58	35	33	11	51	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝人）	261	43	65	49	11	81	12

①「感じる」・「やや感じる」の人の「その他」コメント（292名中3名記載）
・コロナのため人に合わないようにしています　・無尽会(月1回、定例会、有志)参加14名
・祭りのために強制的に近い形で手伝いや参加しなければならなかった。今年はコロナで祭りのない年だったのでその点は忙しさから解放されたと感じた。

②「どちらともいえない」の人の「その他」コメント（115名中3名記載）
・町内会費が高額、寄付金が多く負担が重くその上に清掃活動などを強いられている　・コロナ影響で中止したイベントはとても残念でした
・助け合いがあまりない

③「あまり感じない」・「感じない」の人 の「その他」コメント（149名中9名記載）
・田舎特有の近所のうわさ話。わずらわしい。　・昔ほど地域間の連携性を感じない。核家族になっているためか？　・コロナの影響
・地域社会とのつながりがあまりない　・すべての行事に参加しているが古いものをずっと繰り返している　・近所との交流がないので
・興味がない。町内会など負担に感じる　・件数が少なく接点があまりない
・家を建てて30年以上になるがいまだによそ者扱いされ挨拶しても無視される。排他的な人たちが多く自治会の活動で日時が変更になっても知らせてくれず、一人で草取りをしたり空き缶拾いをしたりした。町民運動会にも一度も誘われず参加も観戦もしたことがない。とても生きづらい思いは数えきれないが、今はコロナのため行事がなくなり不謹慎ではあるが逆に心が楽になったように感じる。

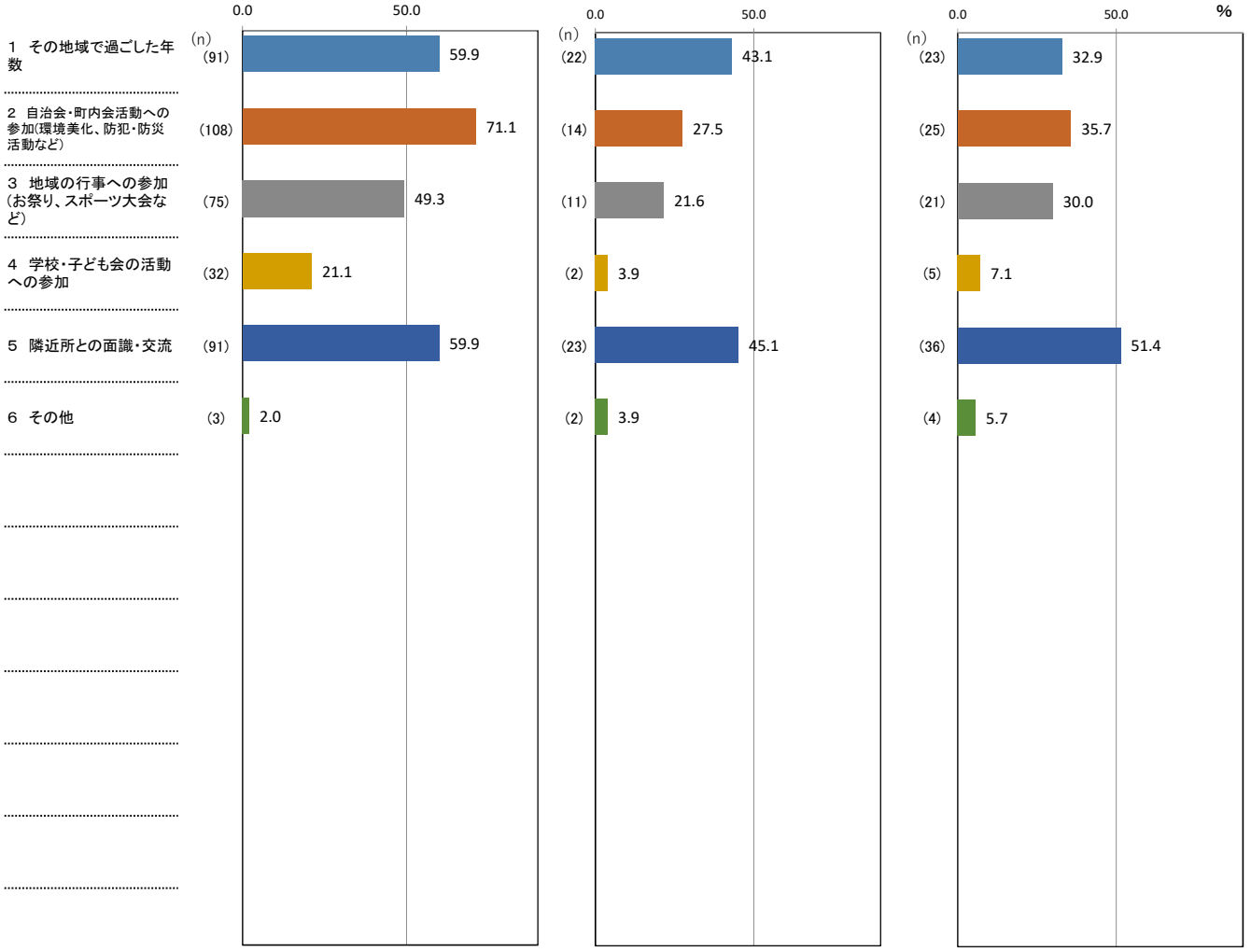
(3)分野別実感の属性別回答結果(単純集計)

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜男性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (400) 152 人	②「どちらともいえない」の回答 (74) 51 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (114) 70 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (108)	5 隣近所との面識・交流 (23)	5 隣近所との面識・交流 (36)
2	1 その地域で過ごした年数 (91)	1 その地域で過ごした年数 (22)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (25)
3	5 隣近所との面識・交流 (91) 2位	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (14)	1 その地域で過ごした年数 (23)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜男性＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		59.9	71.1	49.3	21.1	59.9	2.0
②「どちらともいえない」		43.1	27.5	21.6	3.9	45.1	3.9
③「あまり感じない・感じない」		32.9	35.7	30.0	7.1	51.4	5.7

（件）

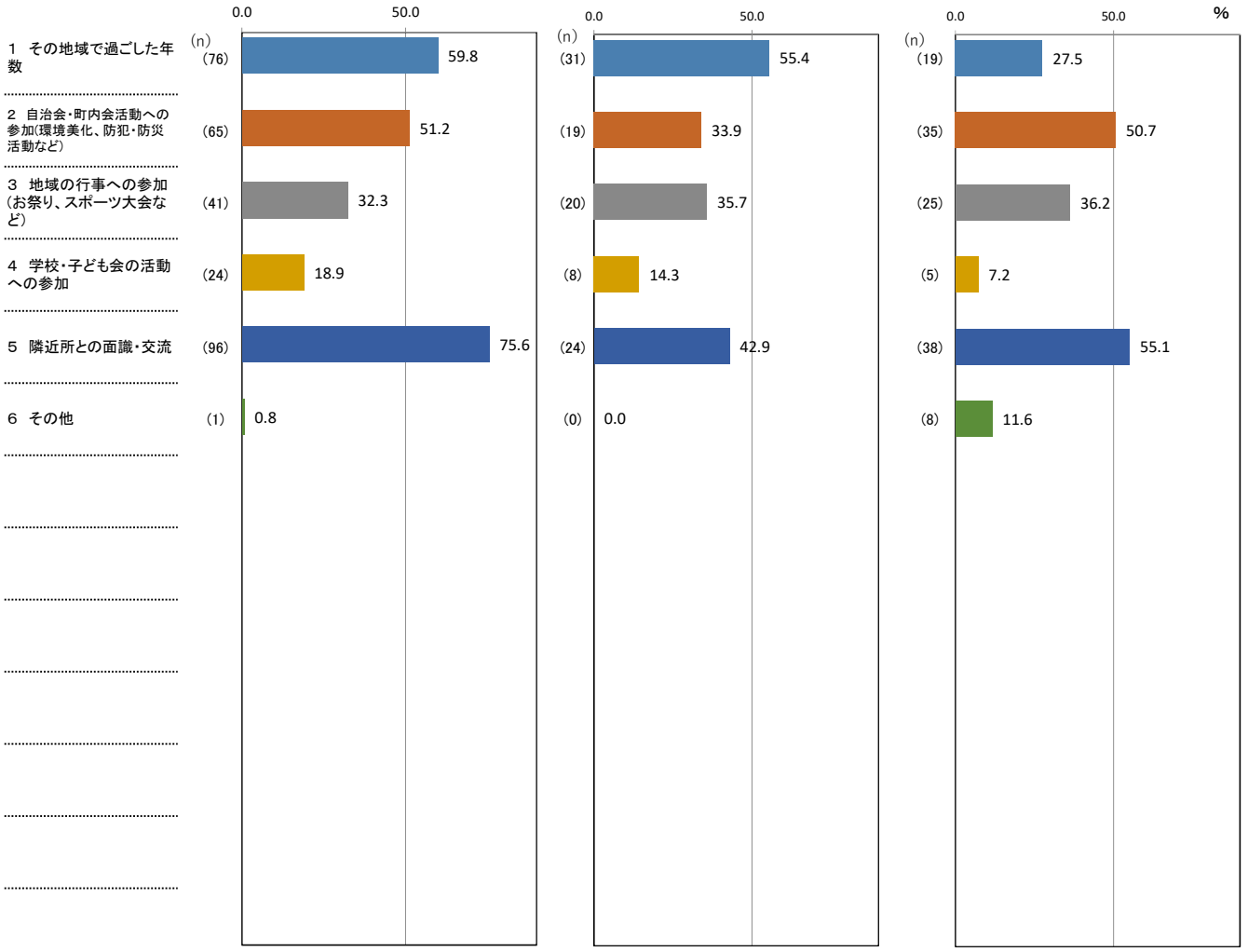
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝152人）	400	91	108	75	32	91	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝51人）	74	22	14	11	2	23	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝70人）	114	23	25	21	5	36	4

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (303) 127 人	②「どちらともいえない」の回答 (102) 56 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (130) 69 人
1	5 隣近所との面識・交流 (96)	1 その地域で過ごした年数 (31)	5 隣近所との面識・交流 (38)
2	1 その地域で過ごした年数 (76)	5 隣近所との面識・交流 (24)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (35)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (65)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (20)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (25)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜女性＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		59.8	51.2	32.3	18.9	75.6	0.8
②「どちらともいえない」		55.4	33.9	35.7	14.3	42.9	0.0
③「あまり感じない・感じない」		27.5	50.7	36.2	7.2	55.1	11.6

（件）

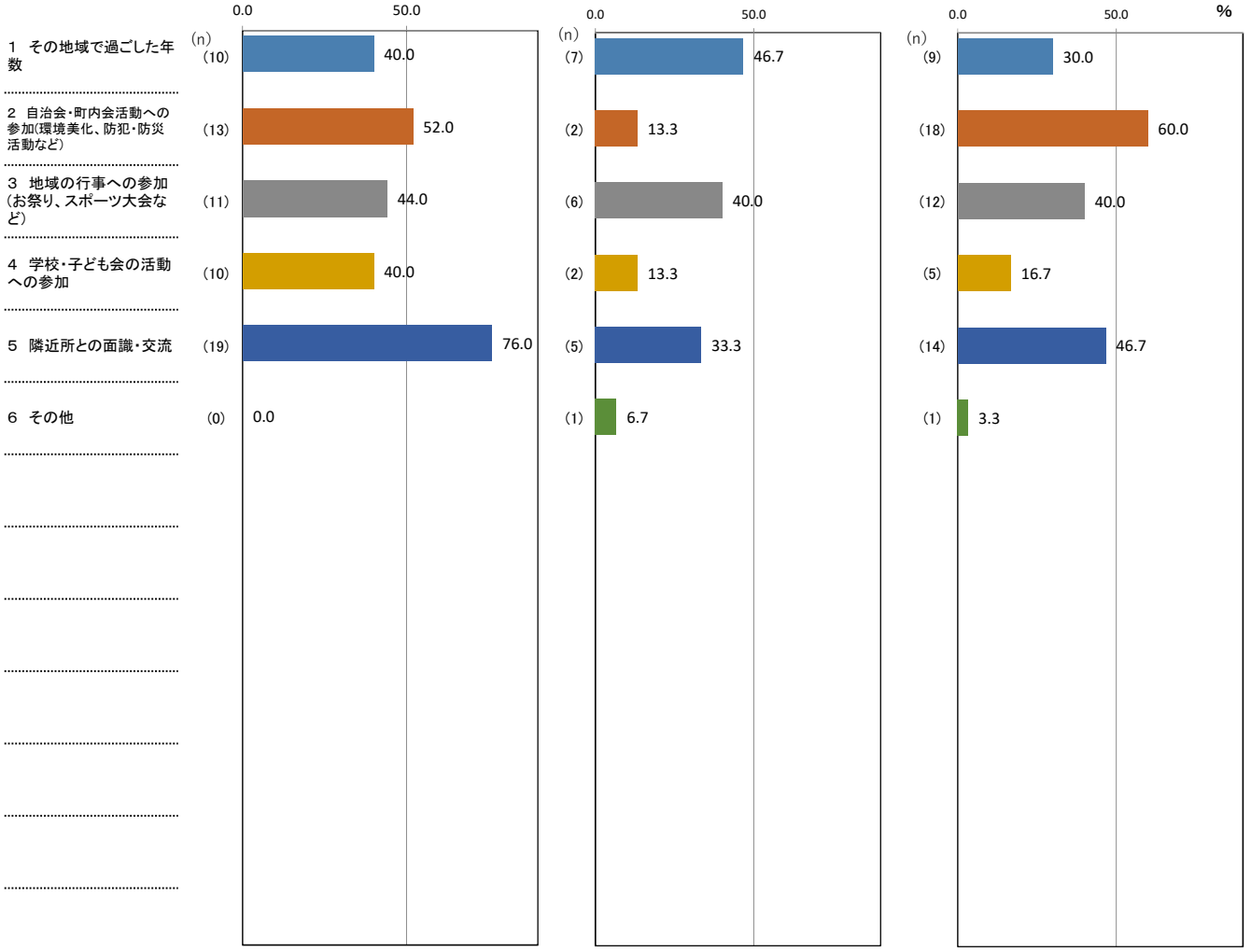
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝127人）	303	76	65	41	24	96	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝56人）	102	31	19	20	8	24	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝69人）	130	19	35	25	5	38	8

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜30～39歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (63) 25 人	②「どちらともいえない」の回答 (23) 15 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (59) 30 人
1	5 隣近所との面識・交流 (19)	1 その地域で過ごした年数 (7)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (18)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (13)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (6)	5 隣近所との面識・交流 (14)
3	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (11)	5 隣近所との面識・交流 (5)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (12)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜30～39歳＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		40.0	52.0	44.0	40.0	76.0	0.0
②「どちらともいえない」		46.7	13.3	40.0	13.3	33.3	6.7
③「あまり感じない・感じない」		30.0	60.0	40.0	16.7	46.7	3.3

（件）

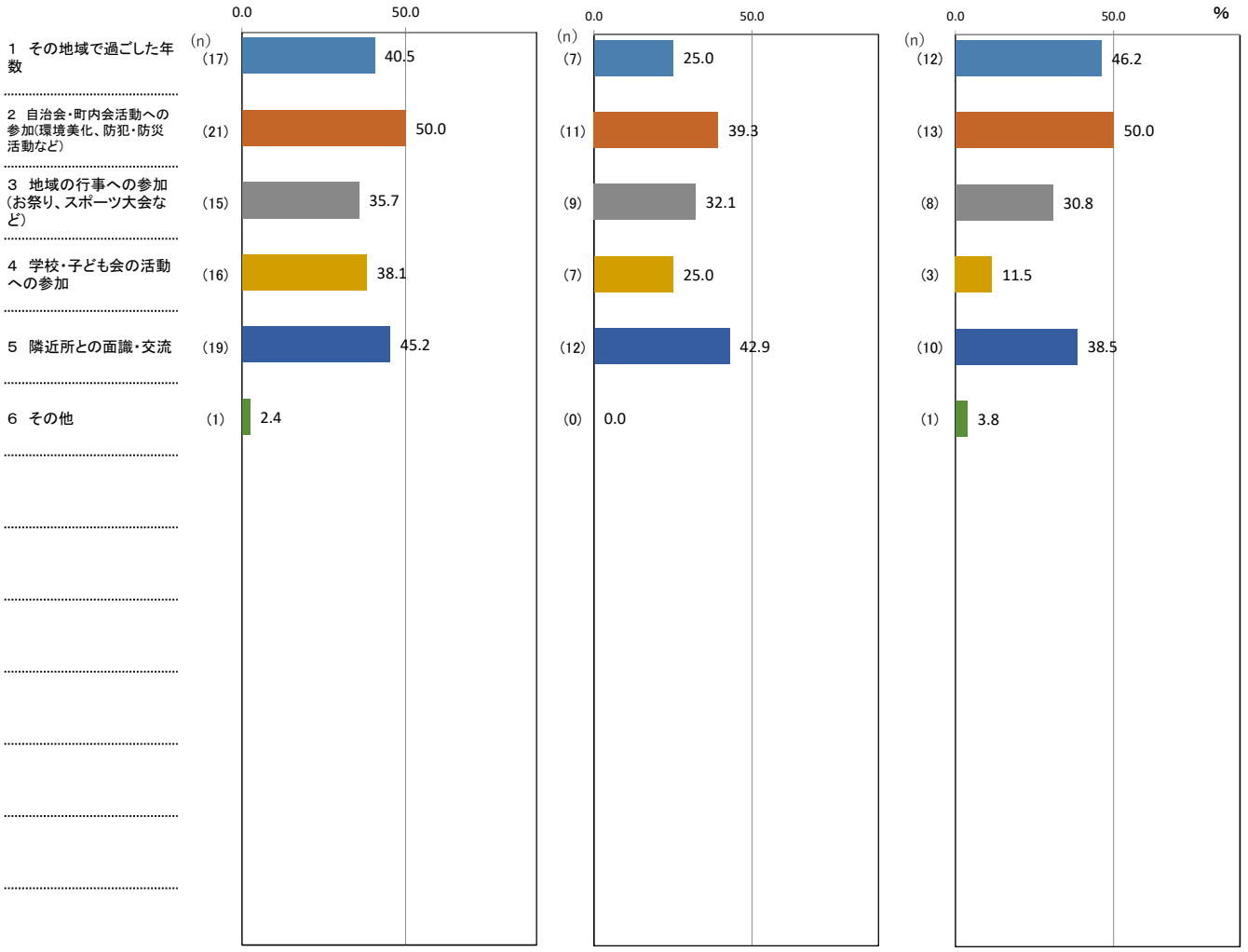
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝25人）	63	10	13	11	10	19	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝15人）	23	7	2	6	2	5	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝30人）	59	9	18	12	5	14	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜40～49歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (89) 42 人	②「どちらともいえない」の回答 (46) 28 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (47) 26 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (21)	5 隣近所との面識・交流 (12)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (13)
2	5 隣近所との面識・交流 (19)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (11)	1 その地域で過ごした年数 (12)
3	1 その地域で過ごした年数 (17)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (9)	5 隣近所との面識・交流 (10)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜40～49歳＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		40.5	50.0	35.7	38.1	45.2	2.4
②「どちらともいえない」		25.0	39.3	32.1	25.0	42.9	0.0
③「あまり感じない・感じない」		46.2	50.0	30.8	11.5	38.5	3.8

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝42人）	89	17	21	15	16	19	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝28人）	46	7	11	9	7	12	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝26人）	47	12	13	8	3	10	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

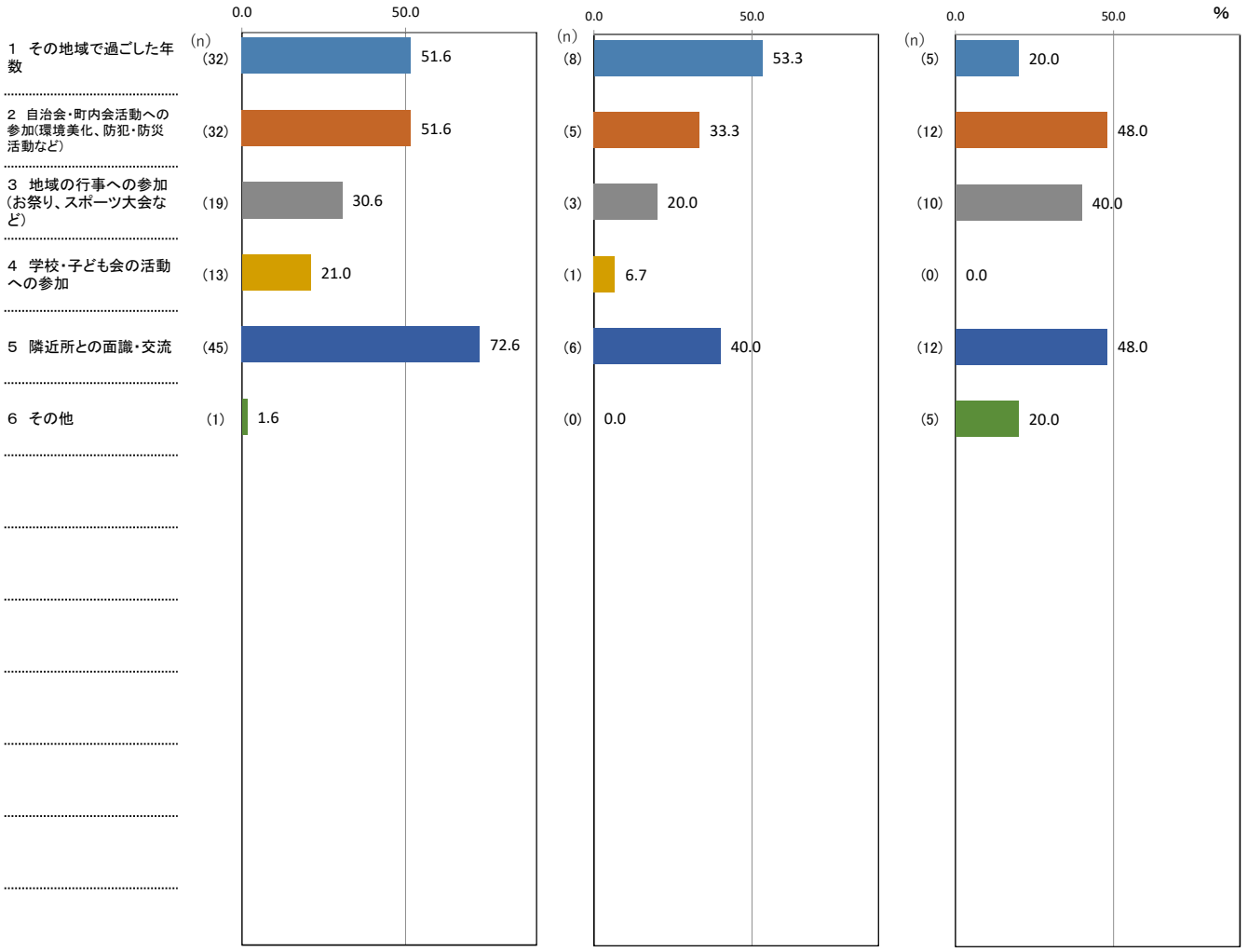
分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<50～59歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (142) 62 人	②「どちらともいえない」の回答 (23) 15 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (44) 25 人
1	5 隣近所との面識・交流 (45)	1 その地域で過ごした年数 (8)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (12)
2	1 その地域で過ごした年数 (32)	5 隣近所との面識・交流 (6)	5 隣近所との面識・交流 (12)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (32)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (5)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (10)

2位

1位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		51.6	51.6	30.6	21.0	72.6	1.6
②「どちらともいえない」		53.3	33.3	20.0	6.7	40.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		20.0	48.0	40.0	0.0	48.0	20.0

（件）

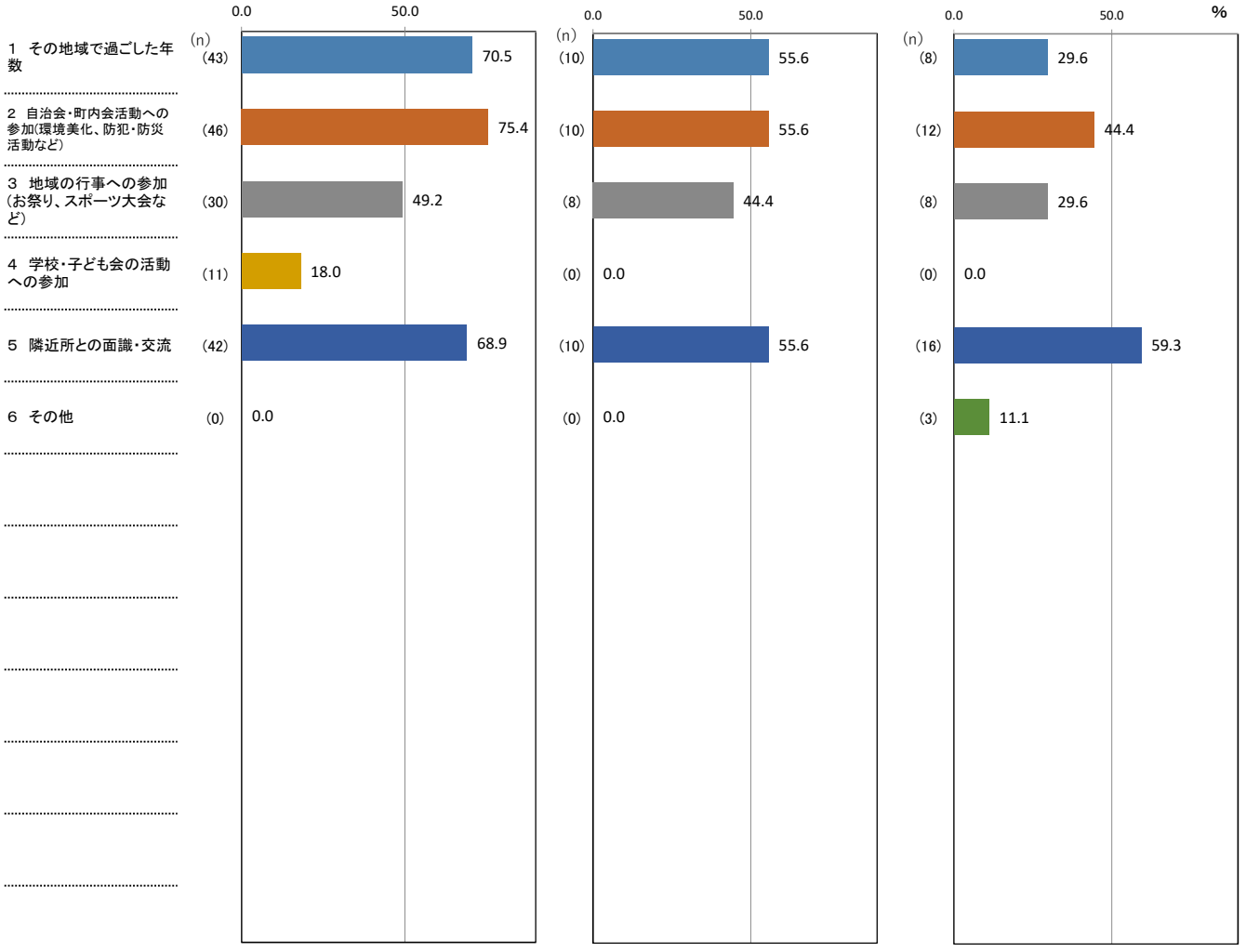
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝62人）	142	32	32	19	13	45	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝15人）	23	8	5	3	1	6	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝25人）	44	5	12	10	0	12	5

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜60～69歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (172) 61 人	②「どちらともいえない」の回答 (38) 18 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (47) 27 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (46)	1 その地域で過ごした年数 (10)	5 隣近所との面識・交流 (16)
2	1 その地域で過ごした年数 (43)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (10) 1位	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (12)
3	5 隣近所との面識・交流 (42)	5 隣近所との面識・交流 (10) 1位	1 その地域で過ごした年数 (8)
			3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (8) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60～69歳＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		70.5	75.4	49.2	18.0	68.9	0.0
②「どちらともいえない」		55.6	55.6	44.4	0.0	55.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		29.6	44.4	29.6	0.0	59.3	11.1

（件）

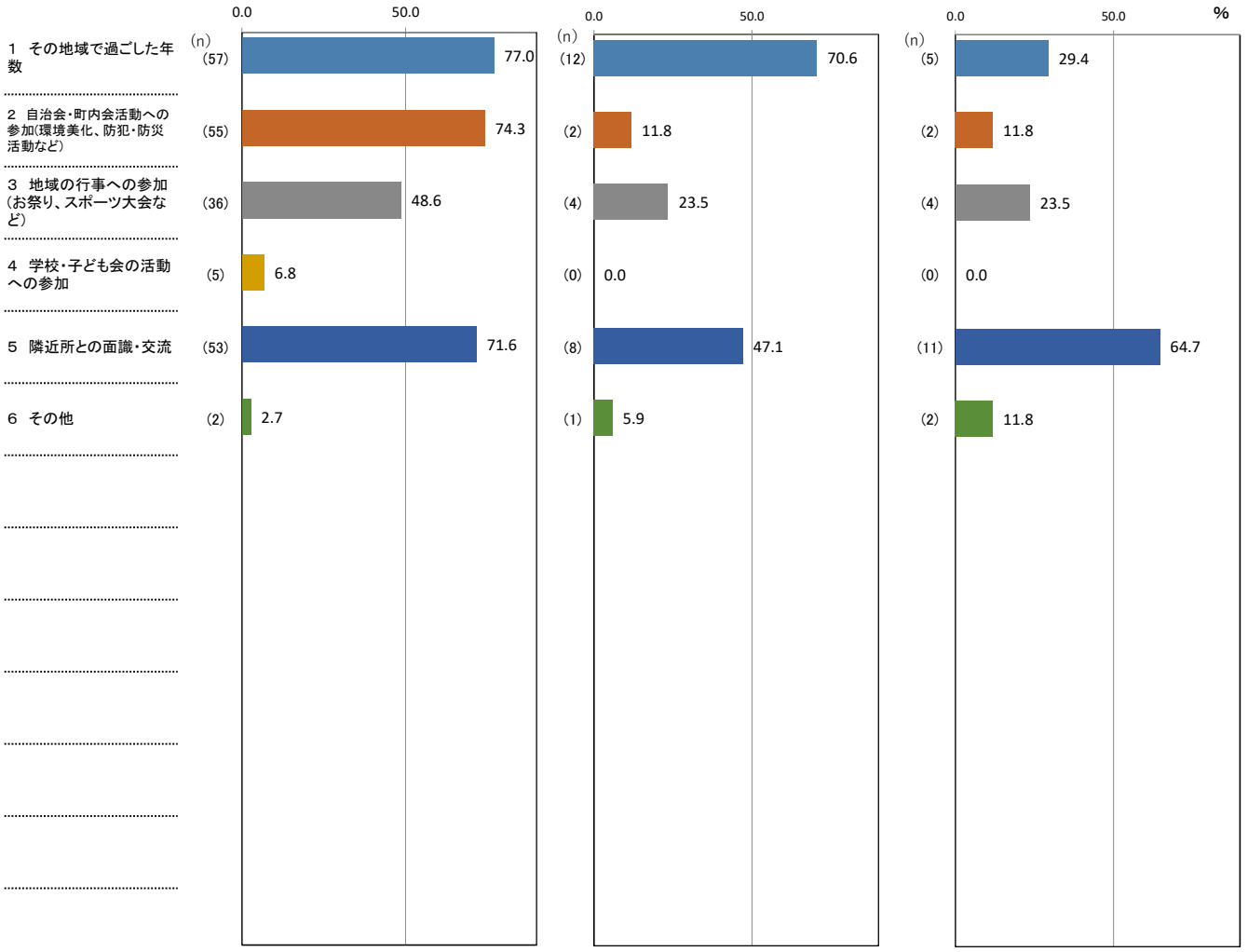
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝61人）	172	43	46	30	11	42	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝18人）	38	10	10	8	0	10	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝27人）	47	8	12	8	0	16	3

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜70歳以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (208) 74 人	②「どちらともいえない」の回答 (27) 17 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (24) 17 人
1	1 その地域で過ごした年数 (57)	1 その地域で過ごした年数 (12)	5 隣近所との面識・交流 (11)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (55)	5 隣近所との面識・交流 (8)	1 その地域で過ごした年数 (5)
3	5 隣近所との面識・交流 (53)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (4)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (4)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜70歳以上＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		77.0	74.3	48.6	6.8	71.6	2.7
②「どちらともいえない」		70.6	11.8	23.5	0.0	47.1	5.9
③「あまり感じない・感じない」		29.4	11.8	23.5	0.0	64.7	11.8

（件）

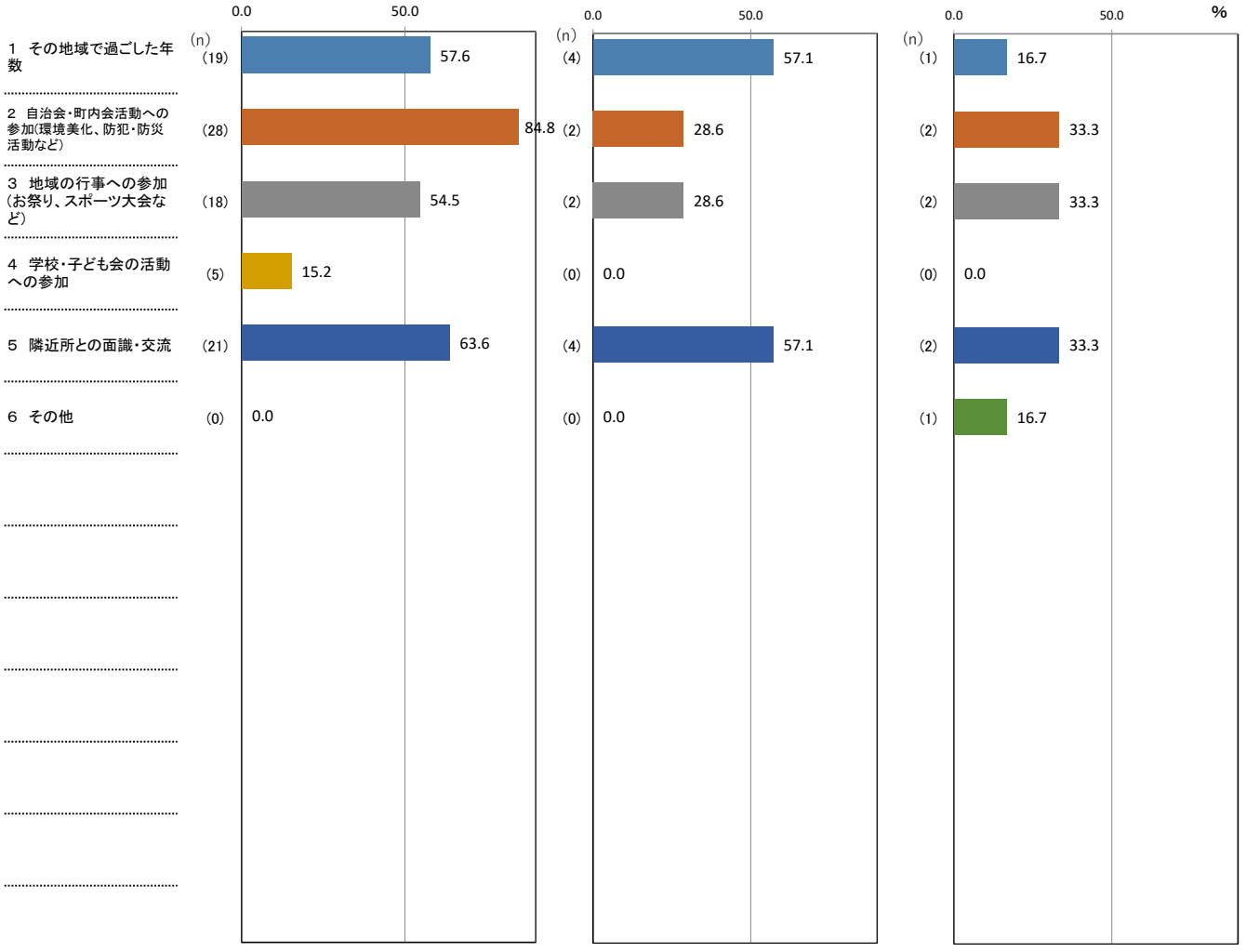
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝74人）	208	57	55	36	5	53	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝17人）	27	12	2	4	0	8	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝17人）	24	5	2	4	0	11	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜自営業主＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (91) 33 人	②「どちらともいえない」の回答 (12) 7 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (8) 6 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (28)	1 その地域で過ごした年数 (4)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (2)
2	5 隣近所との面識・交流 (21)	5 隣近所との面識・交流 (4) 1位	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (2) 1位
3	1 その地域で過ごした年数 (19)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (2)	5 隣近所との面識・交流 (2) 1位
		3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (2) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜自営業主＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		57.6	84.8	54.5	15.2	63.6	0.0
②「どちらともいえない」		57.1	28.6	28.6	0.0	57.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		16.7	33.3	33.3	0.0	33.3	16.7

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝33人）	91	19	28	18	5	21	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝7人）	12	4	2	2	0	4	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝6人）	8	1	2	2	0	2	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜家族従業者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (15) 4 人	②「どちらともいえない」の回答 (3) 3 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (11) 5 人
1	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (4)	1 その地域で過ごした年数 (2)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (4)
2	5 隣近所との面識・交流 (4)	4 学校・子ども会の活動への参加 (1)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (3)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (3) 2位		5 隣近所との面識・交流 (3) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜家族従業者＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	75.0	100.0	50.0	100.0	0.0
②「どちらともいえない」		66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		20.0	60.0	80.0	0.0	60.0	0.0

（件）

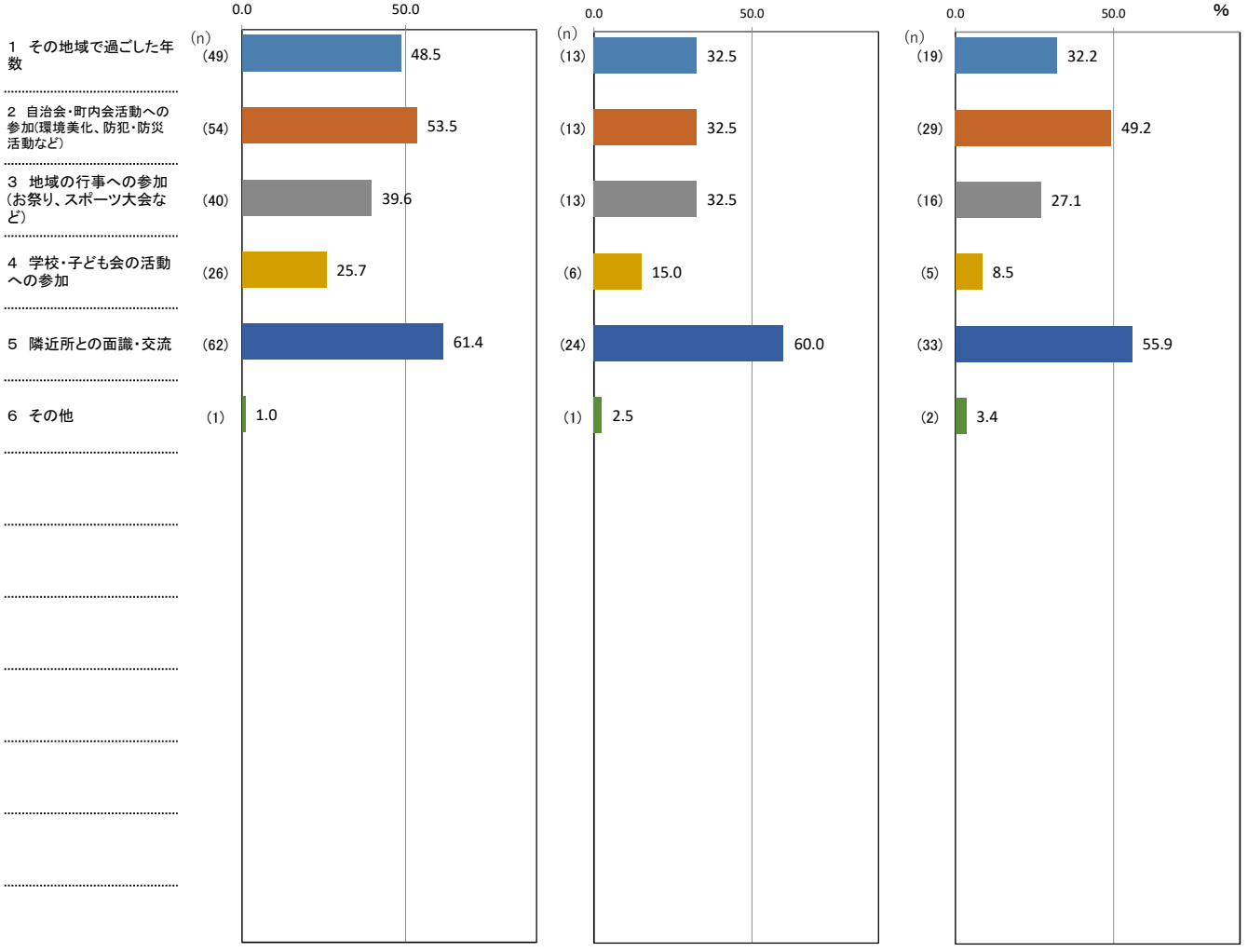
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝4人）	15	2	3	4	2	4	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝3人）	3	2	0	0	1	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝5人）	11	1	3	4	0	3	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (232) 101 人	②「どちらともいえない」の回答 (70) 40 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (104) 59 人
1	5 隣近所との面識・交流 (62)	5 隣近所との面識・交流 (24)	5 隣近所との面識・交流 (33)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (54)	1 その地域で過ごした年数 (13)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (29)
3	1 その地域で過ごした年数 (49)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (13) 2位	1 その地域で過ごした年数 (19)
		3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (13) 2位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜常用雇用者＞　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		48.5	53.5	39.6	25.7	61.4	1.0
②「どちらともいえない」		32.5	32.5	32.5	15.0	60.0	2.5
③「あまり感じない・感じない」		32.2	49.2	27.1	8.5	55.9	3.4

（件）

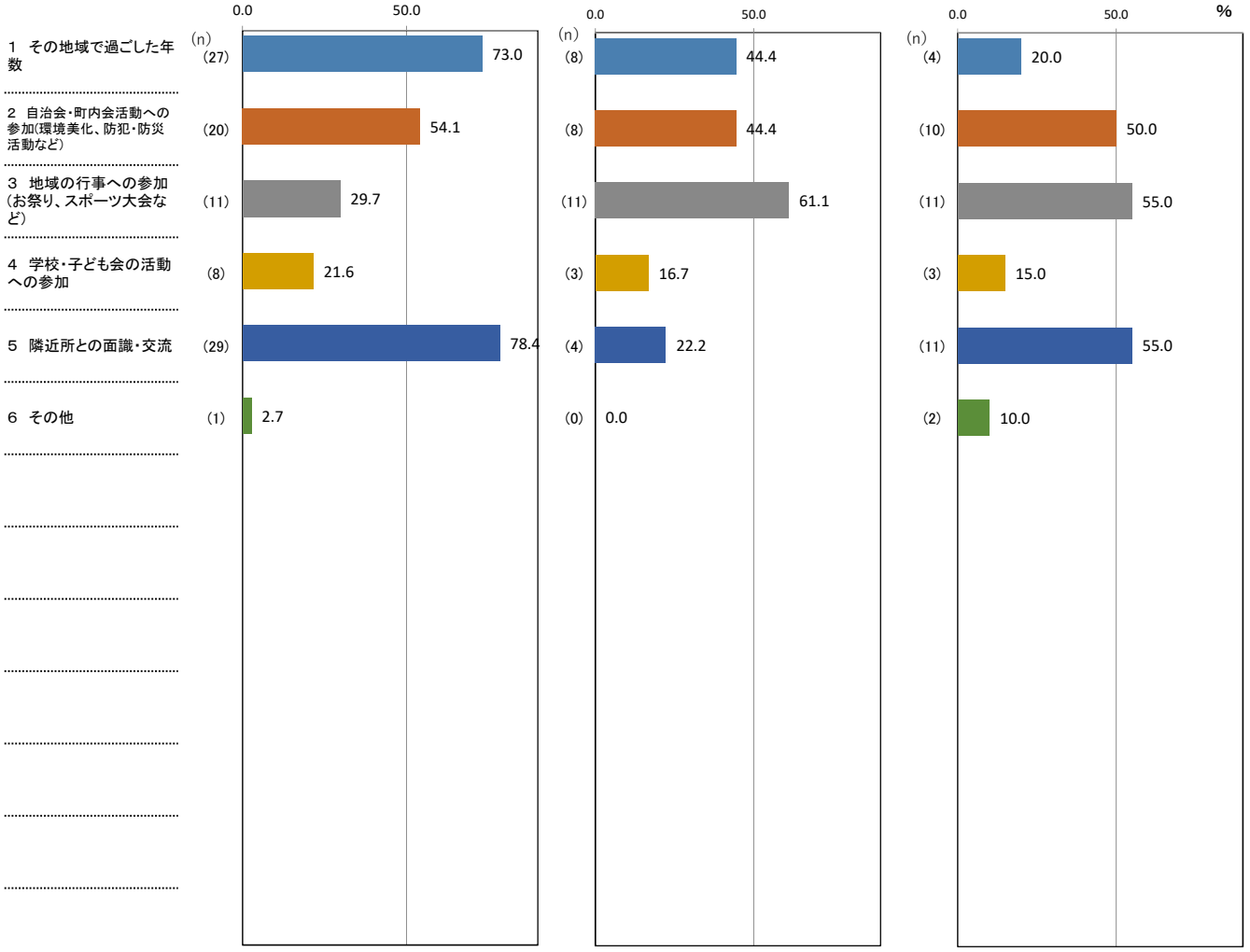
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝101人）	232	49	54	40	26	62	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝40人）	70	13	13	13	6	24	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝59人）	104	19	29	16	5	33	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜臨時雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (96) 37 人	②「どちらともいえない」の回答 (34) 18 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (41) 20 人
1	5 隣近所との面識・交流 (29)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (11)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (11)
2	1 その地域で過ごした年数 (27)	1 その地域で過ごした年数 (8)	5 隣近所との面識・交流 (11) 1位
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (20)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (8) 2位	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (10)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜臨時雇用者＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		73.0	54.1	29.7	21.6	78.4	2.7
②「どちらともいえない」		44.4	44.4	61.1	16.7	22.2	0.0
③「あまり感じない・感じない」		20.0	50.0	55.0	15.0	55.0	10.0

（件）

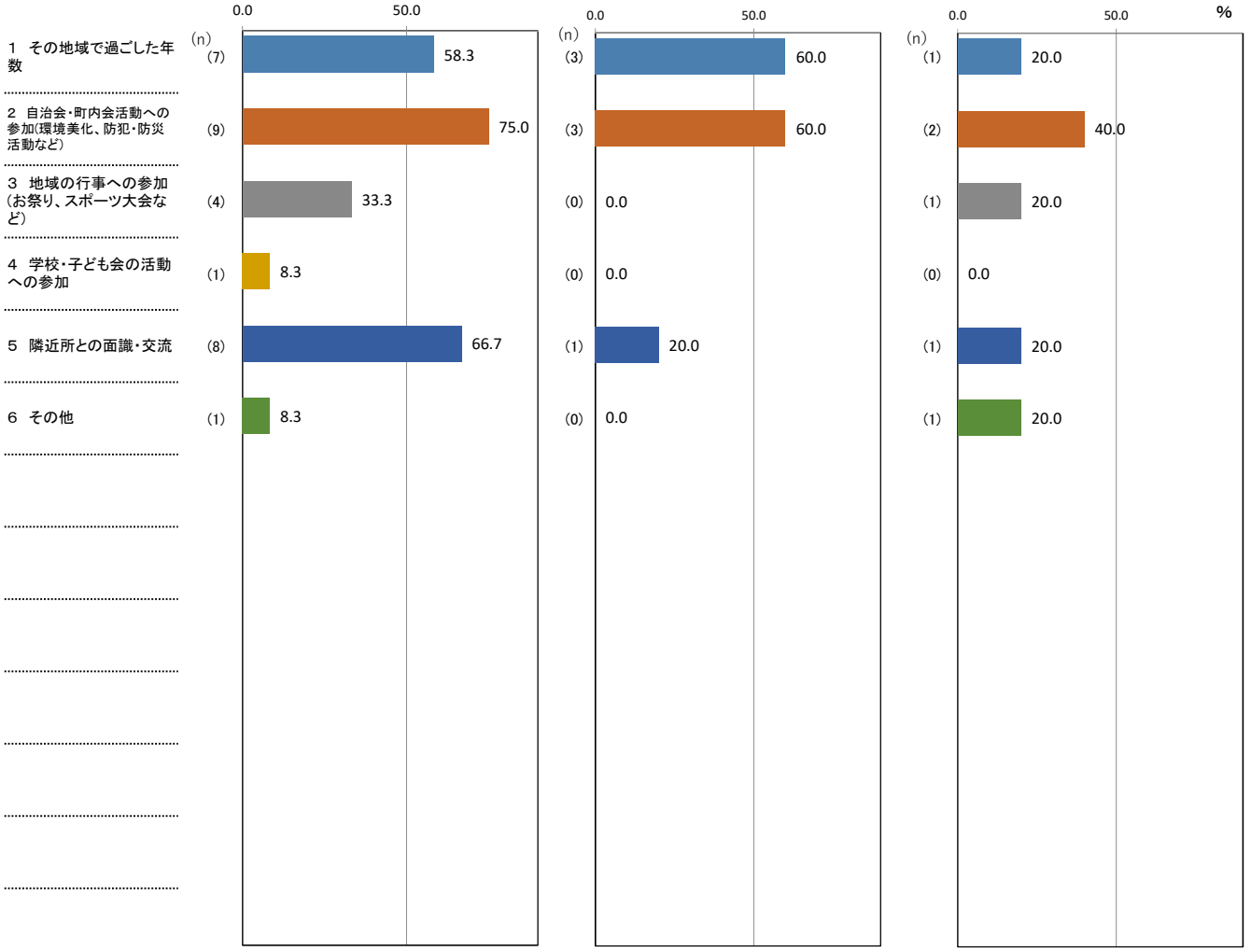
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝37人）	96	27	20	11	8	29	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝18人）	34	8	8	11	3	4	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝20人）	41	4	10	11	3	11	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜60歳以上の無職＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (30) 12 人	②「どちらともいえない」の回答 (7) 5 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (6) 5 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (9)	1 その地域で過ごした年数 (3)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (2)
2	5 隣近所との面識・交流 (8)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (3) 1位	1 その地域で過ごした年数 (1)
3	1 その地域で過ごした年数 (7)	5 隣近所との面識・交流 (1)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (1) 2位
			5 隣近所との面識・交流 (1) 2位
			6 その他 (1) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60歳以上の無職＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		58.3	75.0	33.3	8.3	66.7	8.3
②「どちらともいえない」		60.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0

（件）

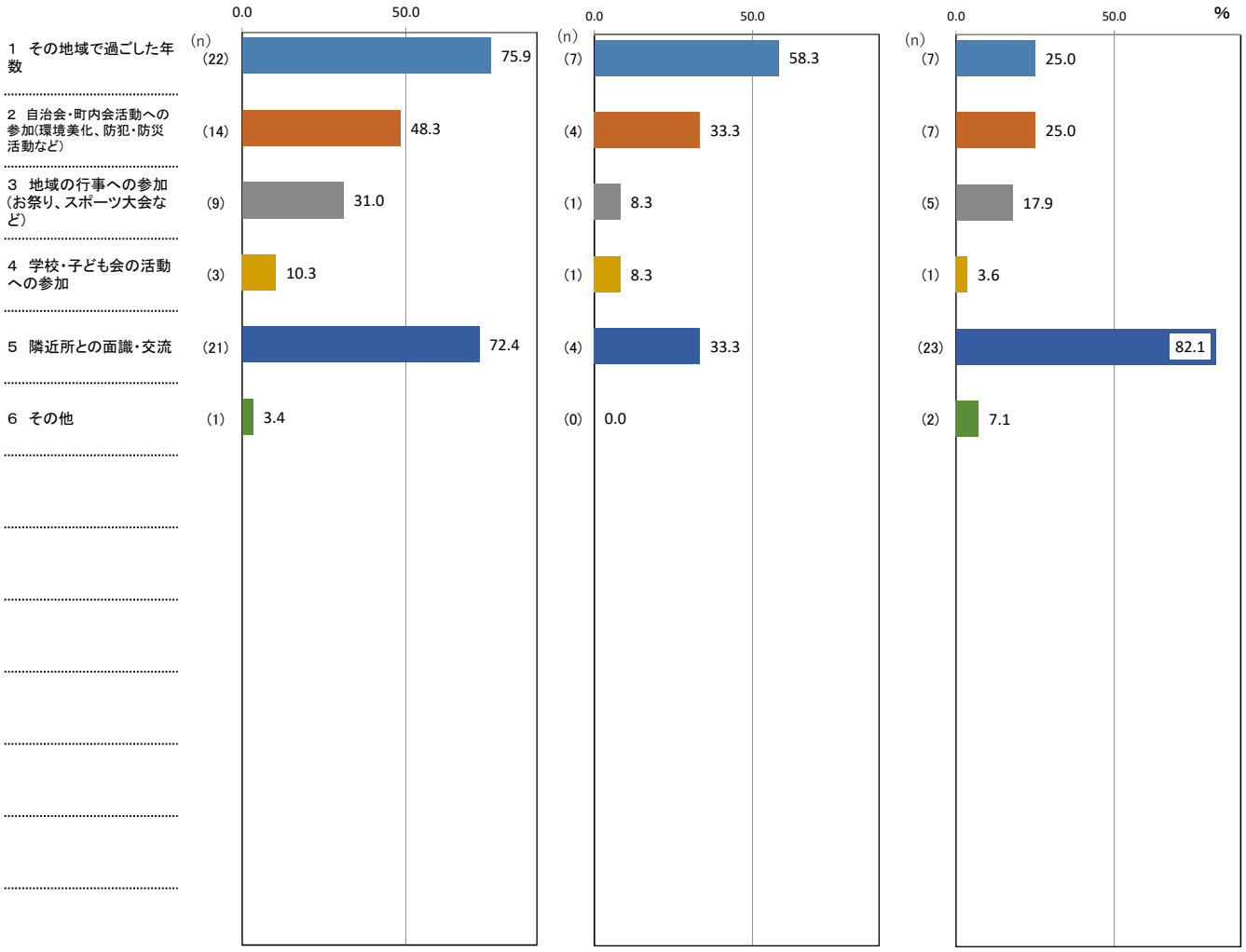
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝12人）	30	7	9	4	1	8	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝5人）	7	3	3	0	0	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝5人）	6	1	2	1	0	1	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<ひとり暮らし>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (70) 29 人	②「どちらともいえない」の回答 (17) 12 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (45) 28 人
1	1 その地域で過ごした年数 (22)	1 その地域で過ごした年数 (7)	5 隣近所との面識・交流 (23)
2	5 隣近所との面識・交流 (21)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (4)	1 その地域で過ごした年数 (7)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (14)	5 隣近所との面識・交流 (4) 2位	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (7) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜ひとり暮らし＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		75.9	48.3	31.0	10.3	72.4	3.4
②「どちらともいえない」		58.3	33.3	8.3	8.3	33.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		25.0	25.0	17.9	3.6	82.1	7.1

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝29人）	70	22	14	9	3	21	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝12人）	17	7	4	1	1	4	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝28人）	45	7	7	5	1	23	2

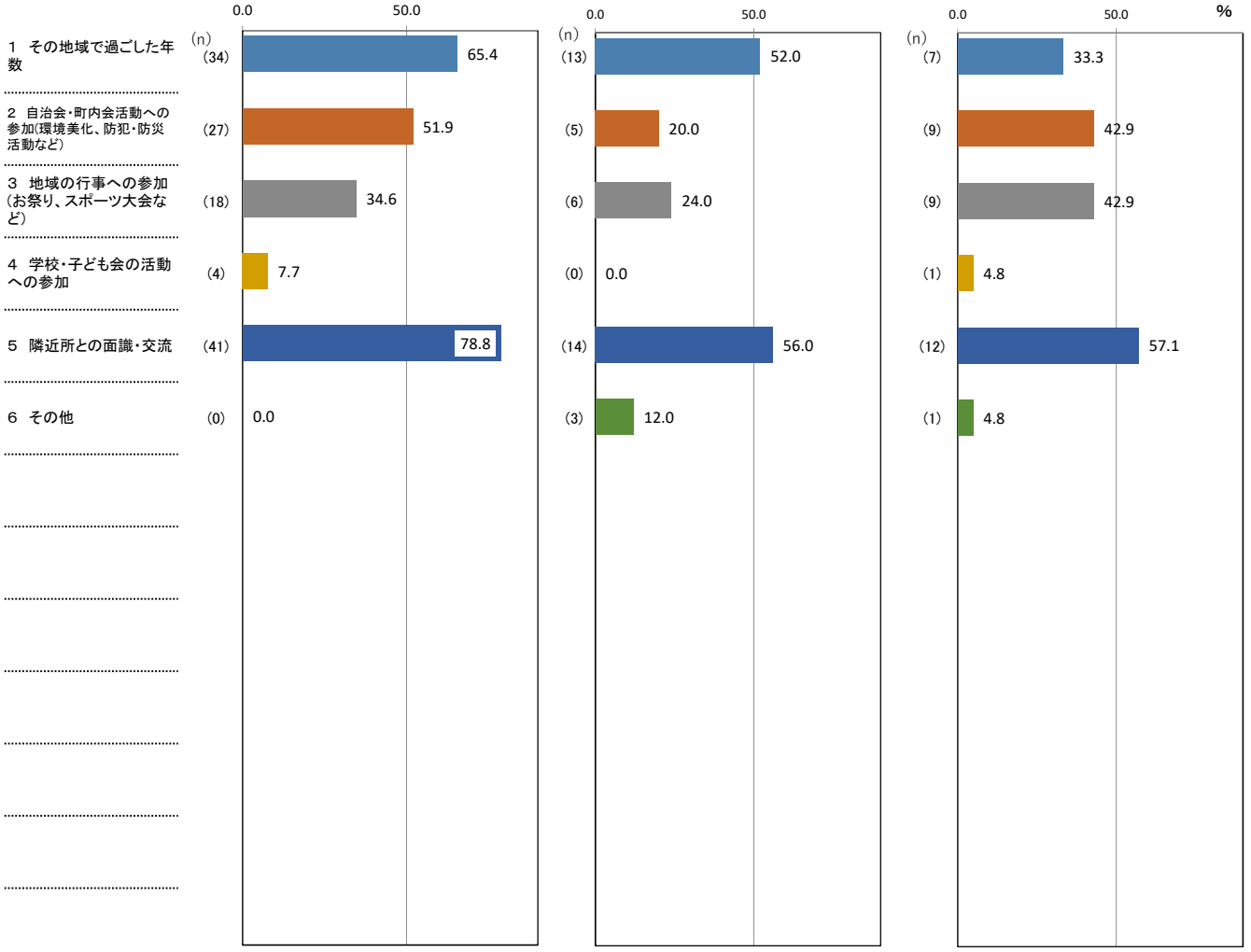
【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (124) 52 人	②「どちらともいえない」の回答 (41) 25 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (39) 21 人
1	5 隣近所との面識・交流 (41)	5 隣近所との面識・交流 (14)	5 隣近所との面識・交流 (12)
2	1 その地域で過ごした年数 (34)	1 その地域で過ごした年数 (13)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (9)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (27)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (6)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (9)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜夫婦のみ＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		65.4	51.9	34.6	7.7	78.8	0.0
②「どちらともいえない」		52.0	20.0	24.0	0.0	56.0	12.0
③「あまり感じない・感じない」		33.3	42.9	42.9	4.8	57.1	4.8

（件）

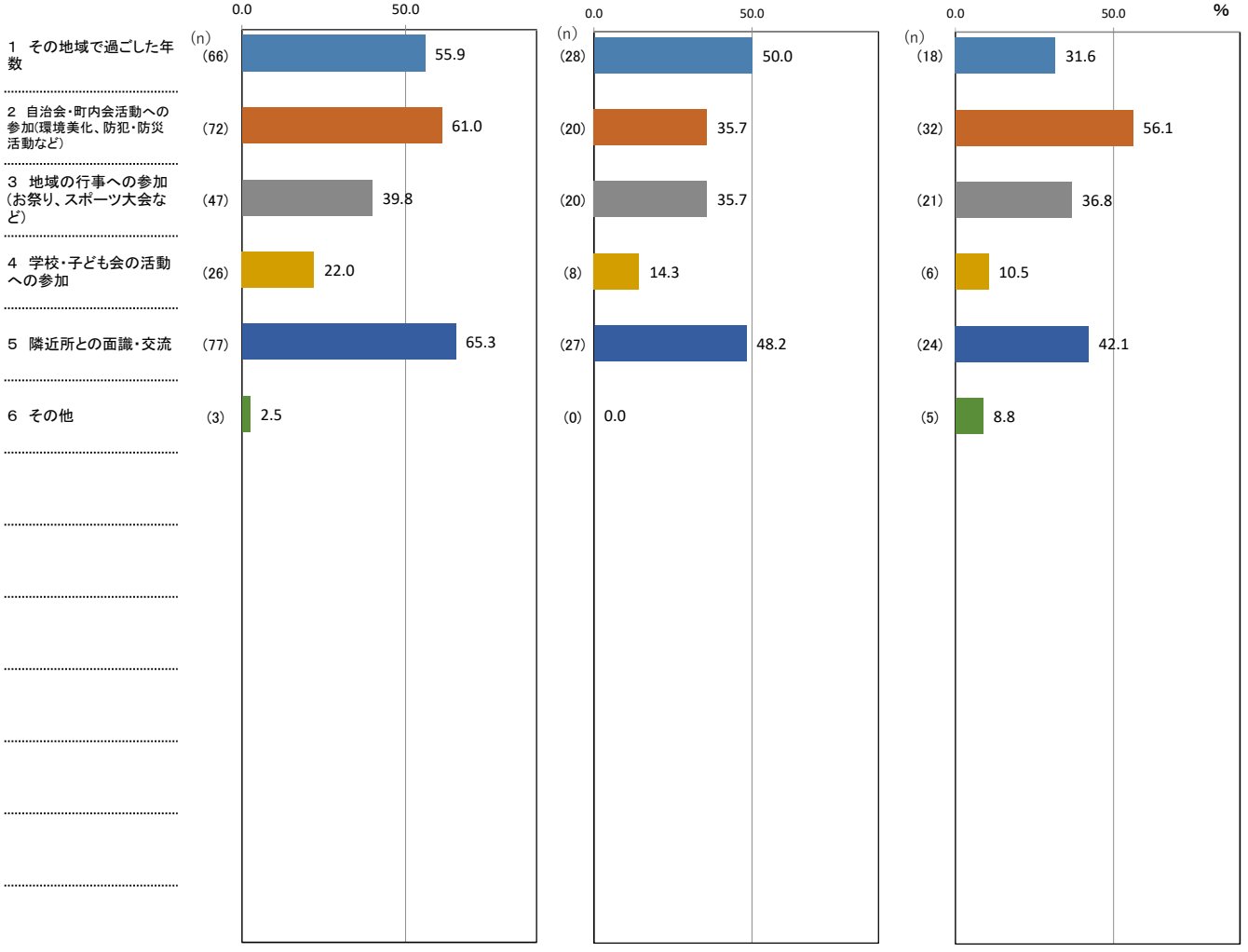
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝52人）	124	34	27	18	4	41	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝25人）	41	13	5	6	0	14	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝21人）	39	7	9	9	1	12	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜2世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (291) 118 人	②「どちらともいえない」の回答 (103) 56 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (106) 57 人
1	5 隣近所との面識・交流 (77)	1 その地域で過ごした年数 (28)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (32)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (72)	5 隣近所との面識・交流 (27)	5 隣近所との面識・交流 (24)
3	1 その地域で過ごした年数 (66)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (20)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (21)
		3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (20) 4位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜2世代世帯＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		55.9	61.0	39.8	22.0	65.3	2.5
②「どちらともいえない」		50.0	35.7	35.7	14.3	48.2	0.0
③「あまり感じない・感じない」		31.6	56.1	36.8	10.5	42.1	8.8

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝118人）	291	66	72	47	26	77	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝56人）	103	28	20	20	8	27	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝57人）	106	18	32	21	6	24	5

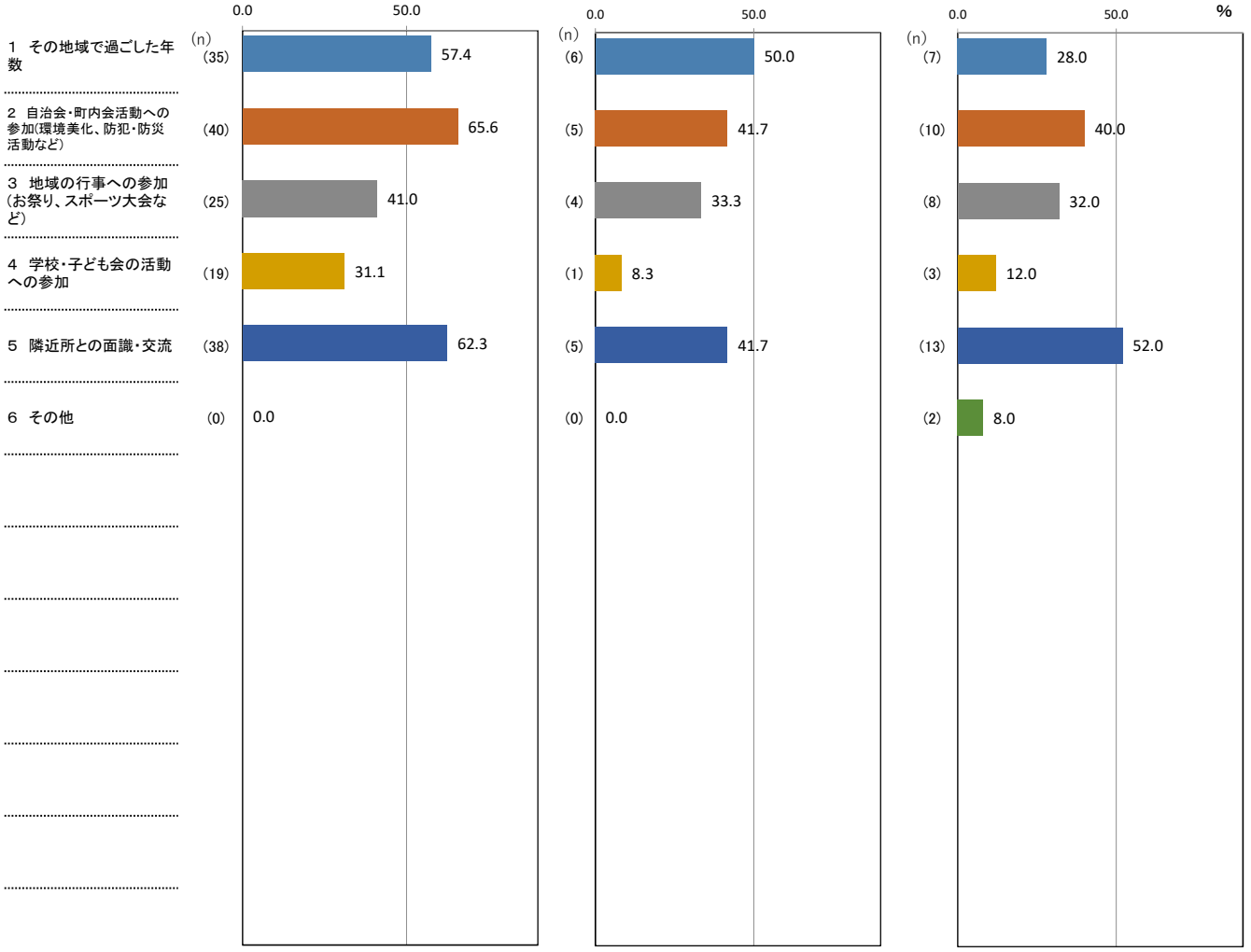
【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<3世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (157) 61 人	②「どちらともいえない」の回答 (21) 12 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (43) 25 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (40)	1 その地域で過ごした年数 (6)	5 隣近所との面識・交流 (13)
2	5 隣近所との面識・交流 (38)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (5)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (10)
3	1 その地域で過ごした年数 (35)	5 隣近所との面識・交流 (5)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (8)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜3世代世帯＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		57.4	65.6	41.0	31.1	62.3	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	41.7	33.3	8.3	41.7	0.0
③「あまり感じない・感じない」		28.0	40.0	32.0	12.0	52.0	8.0

（件）

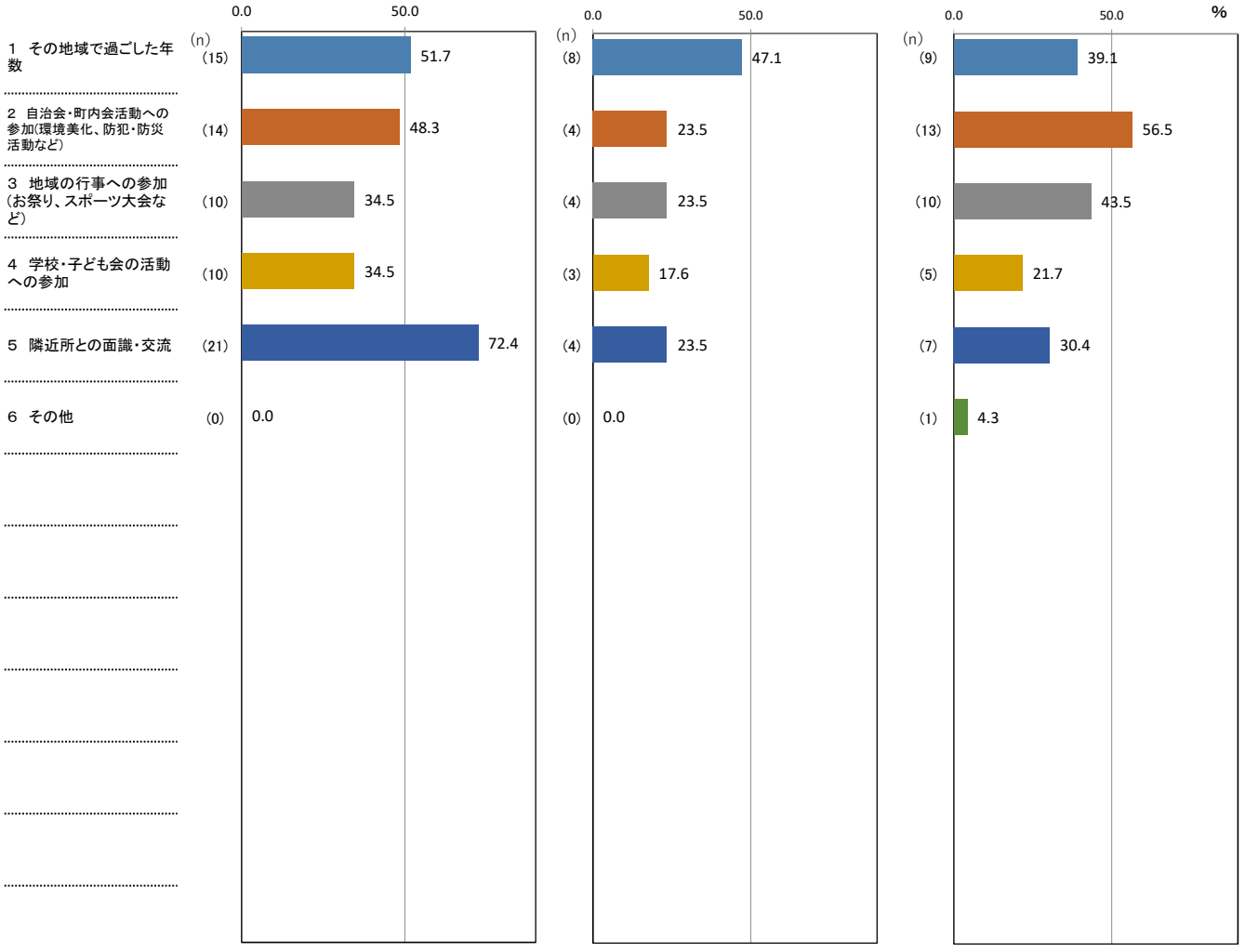
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝61人）	157	35	40	25	19	38	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝12人）	21	6	5	4	1	5	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝25人）	43	7	10	8	3	13	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<子の人数1人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (70) 29 人	②「どちらともいえない」の回答 (23) 17 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (45) 23 人
1	5 隣近所との面識・交流 (21)	1 その地域で過ごした年数 (8)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (13)
2	1 その地域で過ごした年数 (15)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (4)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (10)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (14)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (4) 2位	1 その地域で過ごした年数 (9)
		5 隣近所との面識・交流 (4) 2位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数1人＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		51.7	48.3	34.5	34.5	72.4	0.0
②「どちらともいえない」		47.1	23.5	23.5	17.6	23.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		39.1	56.5	43.5	21.7	30.4	4.3

（件）

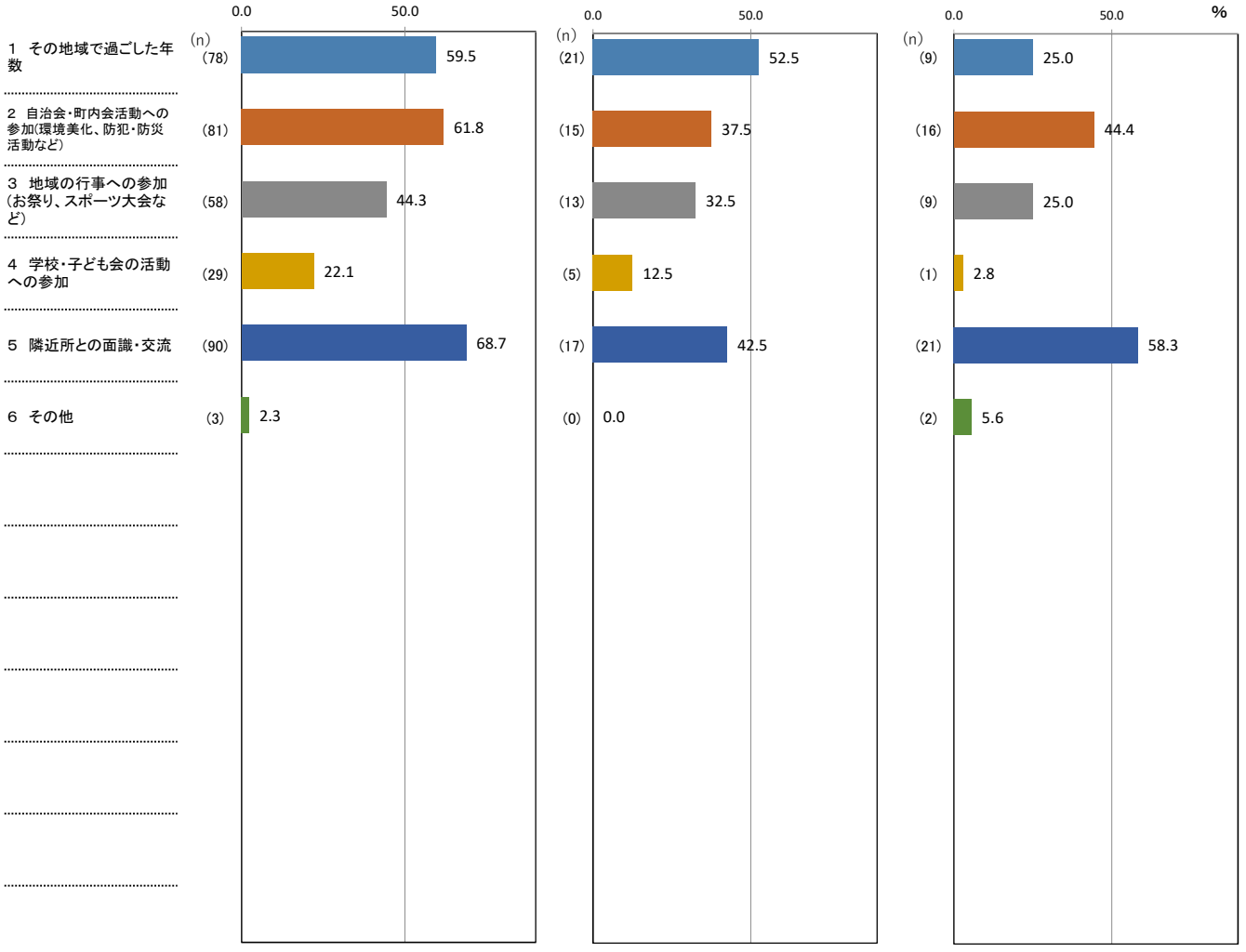
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝29人）	70	15	14	10	10	21	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝17人）	23	8	4	4	3	4	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝23人）	45	9	13	10	5	7	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜子の人数2人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (339) 131 人	②「どちらともいえない」の回答 (71) 40 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (58) 36 人
1	5 隣近所との面識・交流 (90)	1 その地域で過ごした年数 (21)	5 隣近所との面識・交流 (21)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (81)	5 隣近所との面識・交流 (17)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (16)
3	1 その地域で過ごした年数 (78)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (15)	1 その地域で過ごした年数 (9)
			3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (9) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数2人＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		59.5	61.8	44.3	22.1	68.7	2.3
②「どちらともいえない」		52.5	37.5	32.5	12.5	42.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		25.0	44.4	25.0	2.8	58.3	5.6

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝131人）	339	78	81	58	29	90	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝40人）	71	21	15	13	5	17	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝36人）	58	9	16	9	1	21	2

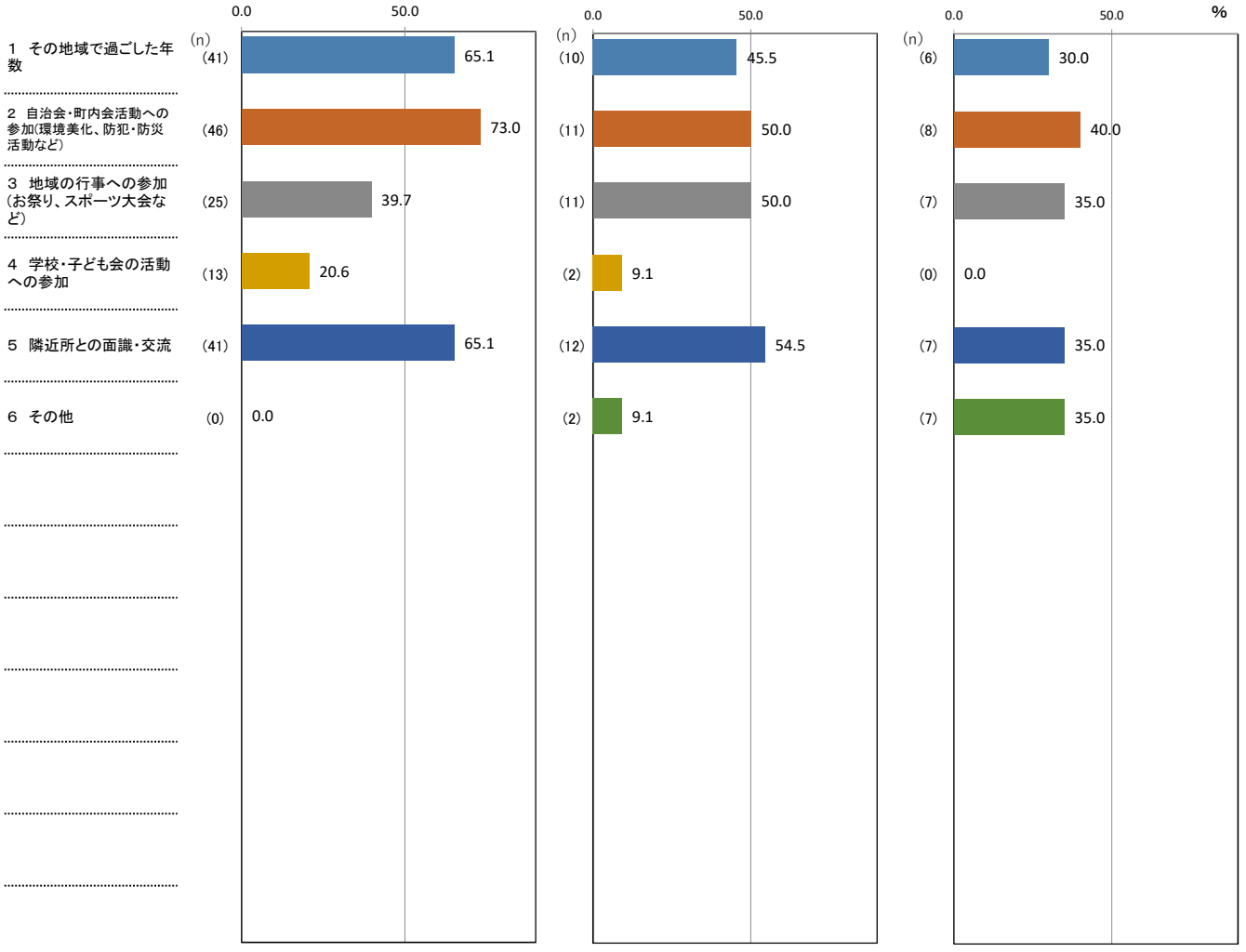
【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜子の人数3人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (166) 63 人	②「どちらともいえない」の回答 (48) 22 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (35) 20 人
1	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (46)	5 隣近所との面識・交流 (12)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (8)
2	1 その地域で過ごした年数 (41)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (11)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (7)
3	5 隣近所との面識・交流 (41)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (11)	5 隣近所との面識・交流 (7)
			6 その他 (7)

2位 2位 2位 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数3人＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		65.1	73.0	39.7	20.6	65.1	0.0
②「どちらともいえない」		45.5	50.0	50.0	9.1	54.5	9.1
③「あまり感じない・感じない」		30.0	40.0	35.0	0.0	35.0	35.0

（件）

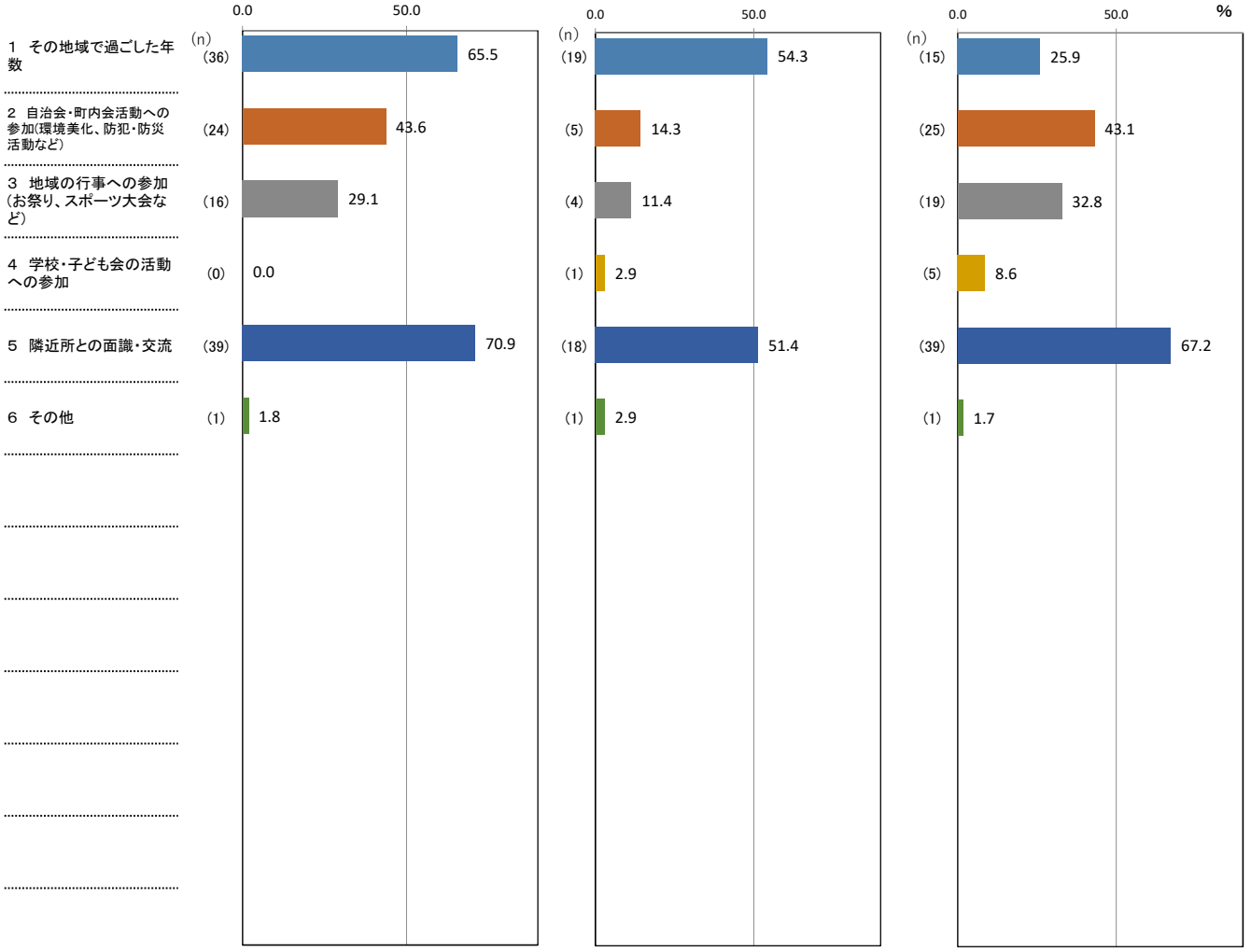
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝63人）	166	41	46	25	13	41	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝22人）	48	10	11	11	2	12	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝20人）	35	6	8	7	0	7	7

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (116) 55 人	②「どちらともいえない」の回答 (48) 35 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (104) 58 人
1	5 隣近所との面識・交流 (39)	1 その地域で過ごした年数 (19)	5 隣近所との面識・交流 (39)
2	1 その地域で過ごした年数 (36)	5 隣近所との面識・交流 (18)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (25)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (24)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (5)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (19)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもはいない＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		65.5	43.6	29.1	0.0	70.9	1.8
②「どちらともいえない」		54.3	14.3	11.4	2.9	51.4	2.9
③「あまり感じない・感じない」		25.9	43.1	32.8	8.6	67.2	1.7

（件）

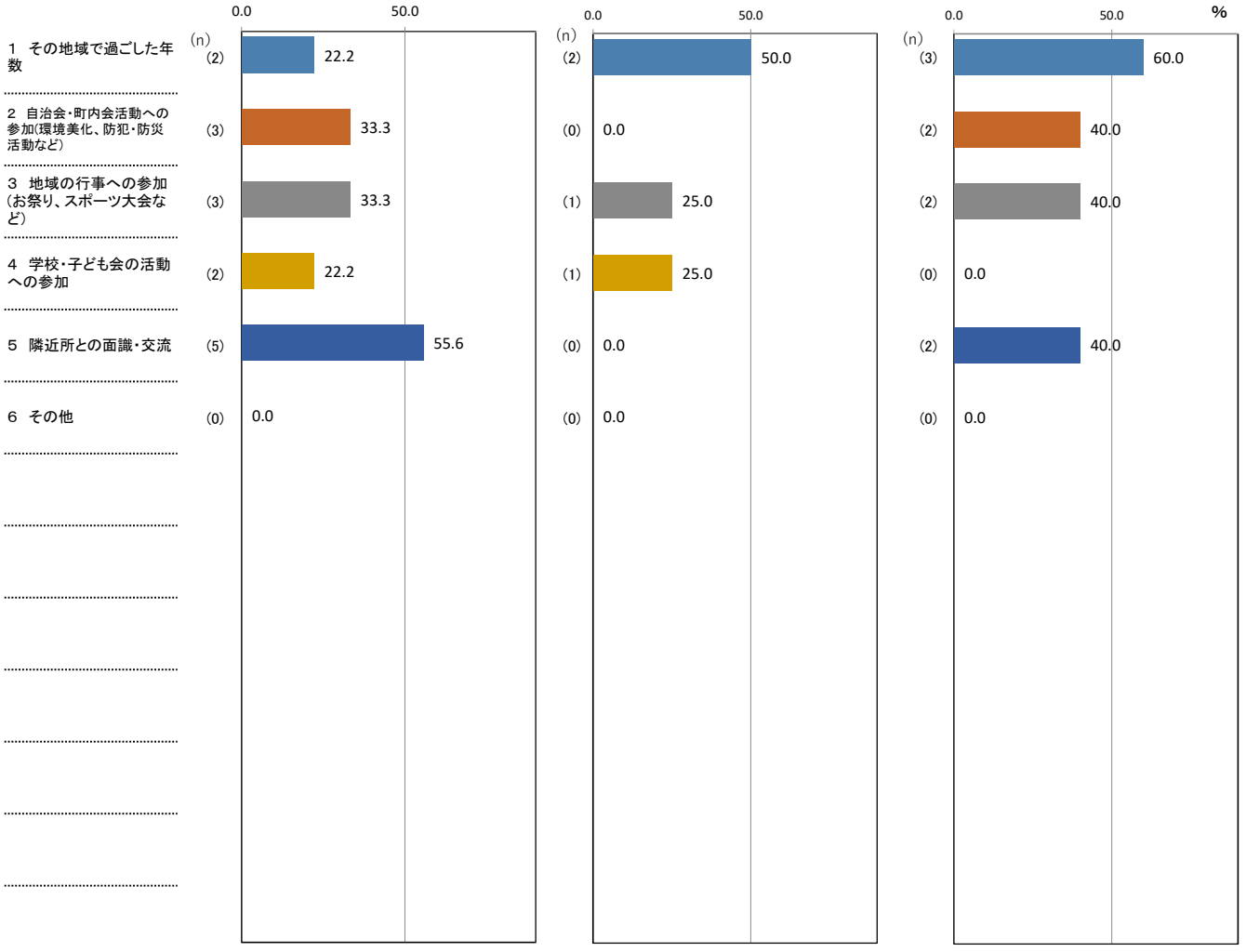
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝55人）	116	36	24	16	0	39	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝35人）	48	19	5	4	1	18	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝58人）	104	15	25	19	5	39	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜居住年数10年未満＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (15) 9 人	②「どちらともいえない」の回答 (4) 4 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (9) 5 人
1	5 隣近所との面識・交流 (5)	1 その地域で過ごした年数 (2)	1 その地域で過ごした年数 (3)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (3)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (1)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (2)
3	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (3) 2位	4 学校・子ども会の活動への参加 (1) 2位	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (2) 2位
			5 隣近所との面識・交流 (2) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数10年未満＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		22.2	33.3	33.3	22.2	55.6	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		60.0	40.0	40.0	0.0	40.0	0.0

（件）

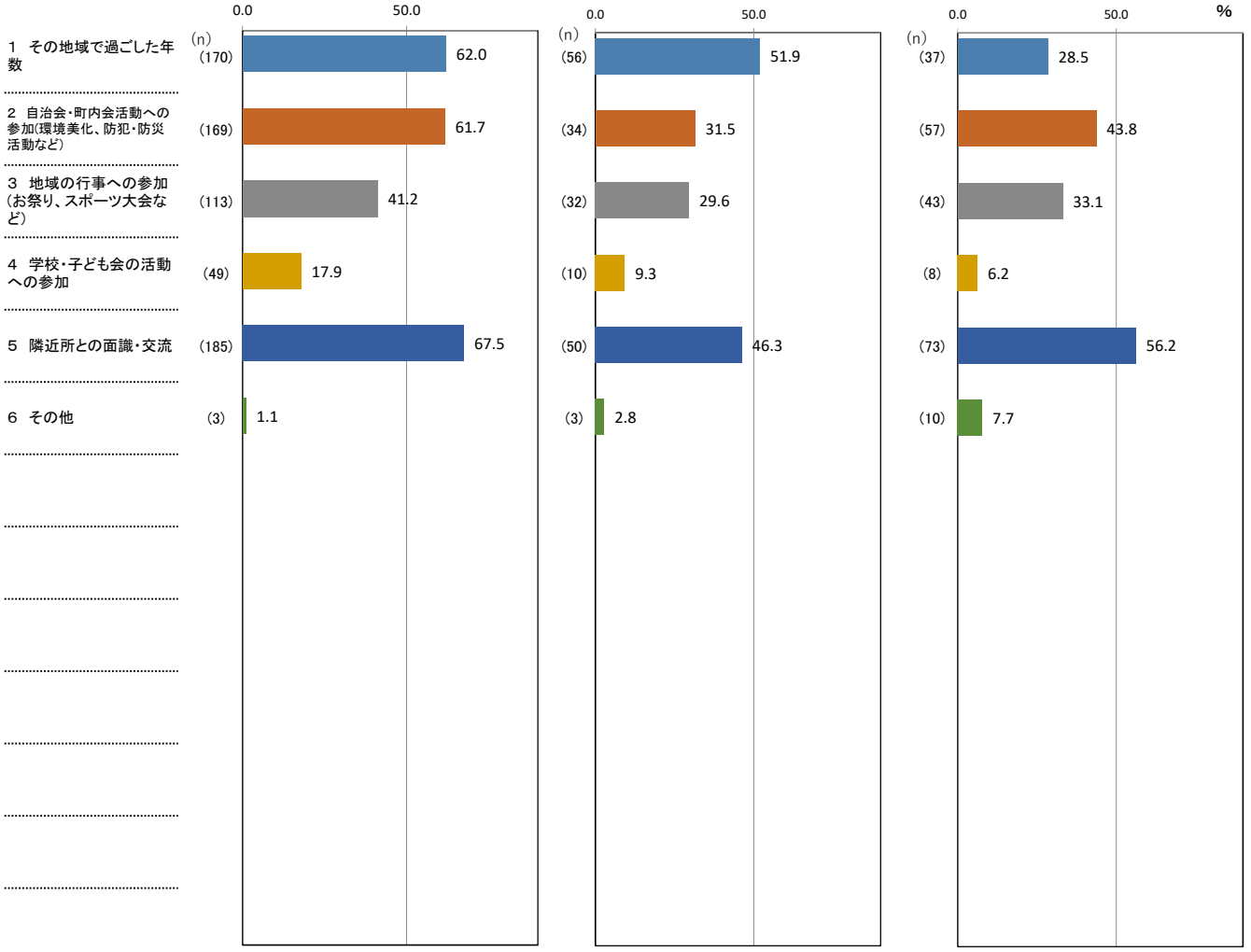
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝9人）	15	2	3	3	2	5	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝4人）	4	2	0	1	1	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝5人）	9	3	2	2	0	2	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (689) 274 人	②「どちらともいえない」の回答 (185) 108 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (228) 130 人
1	5 隣近所との面識・交流 (185)	1 その地域で過ごした年数 (56)	5 隣近所との面識・交流 (73)
2	1 その地域で過ごした年数 (170)	5 隣近所との面識・交流 (50)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (57)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (169)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (34)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (43)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		62.0	61.7	41.2	17.9	67.5	1.1
②「どちらともいえない」		51.9	31.5	29.6	9.3	46.3	2.8
③「あまり感じない・感じない」		28.5	43.8	33.1	6.2	56.2	7.7

（件）

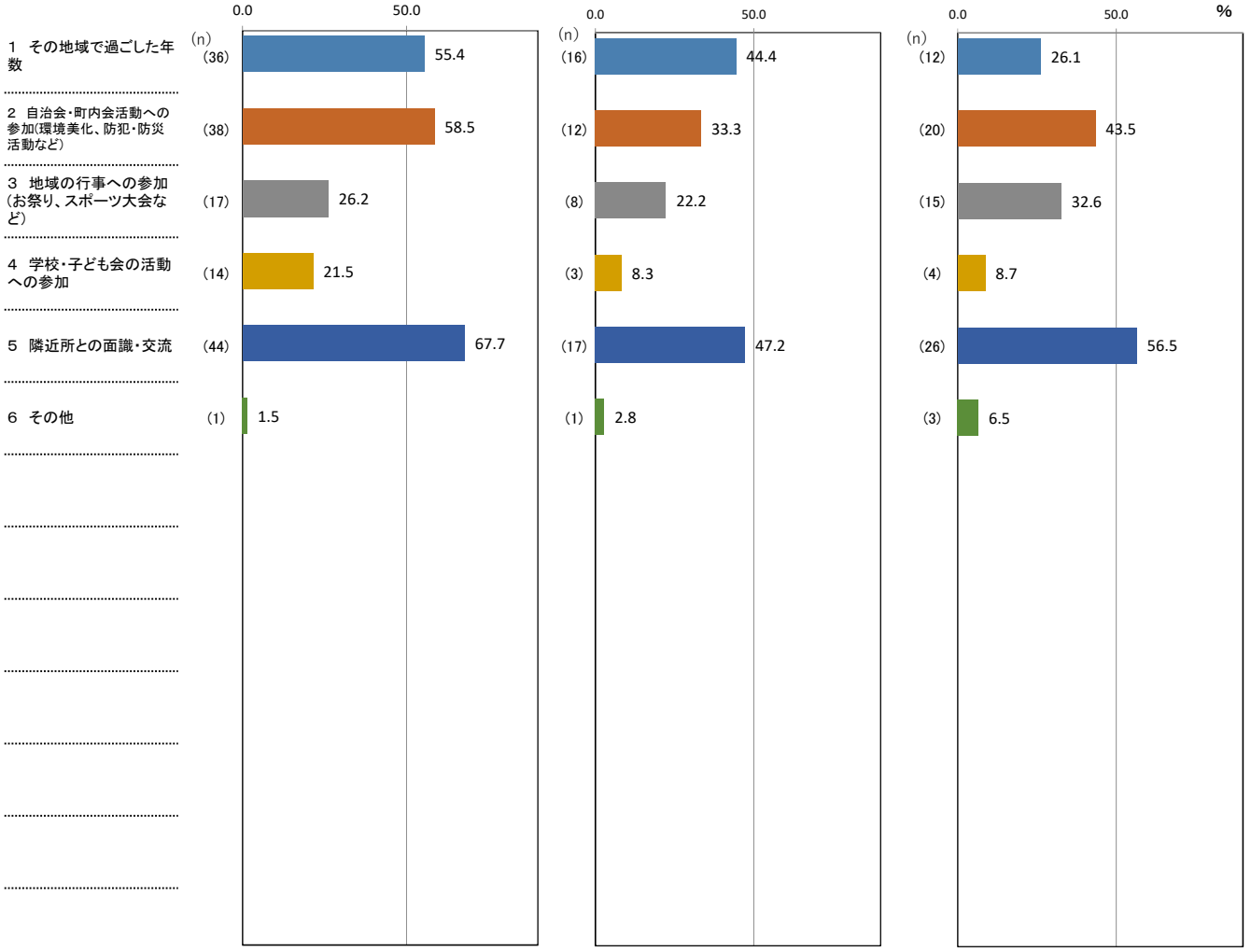
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝274人）	689	170	169	113	49	185	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝108人）	185	56	34	32	10	50	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝130人）	228	37	57	43	8	73	10

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (150) 65 人	②「どちらともいえない」の回答 (57) 36 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (80) 46 人
1	5 隣近所との面識・交流 (44)	5 隣近所との面識・交流 (17)	5 隣近所との面識・交流 (26)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (38)	1 その地域で過ごした年数 (16)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (20)
3	1 その地域で過ごした年数 (36)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (12)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (15)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県央広域振興圏＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		55.4	58.5	26.2	21.5	67.7	1.5
②「どちらともいえない」		44.4	33.3	22.2	8.3	47.2	2.8
③「あまり感じない・感じない」		26.1	43.5	32.6	8.7	56.5	6.5

（件）

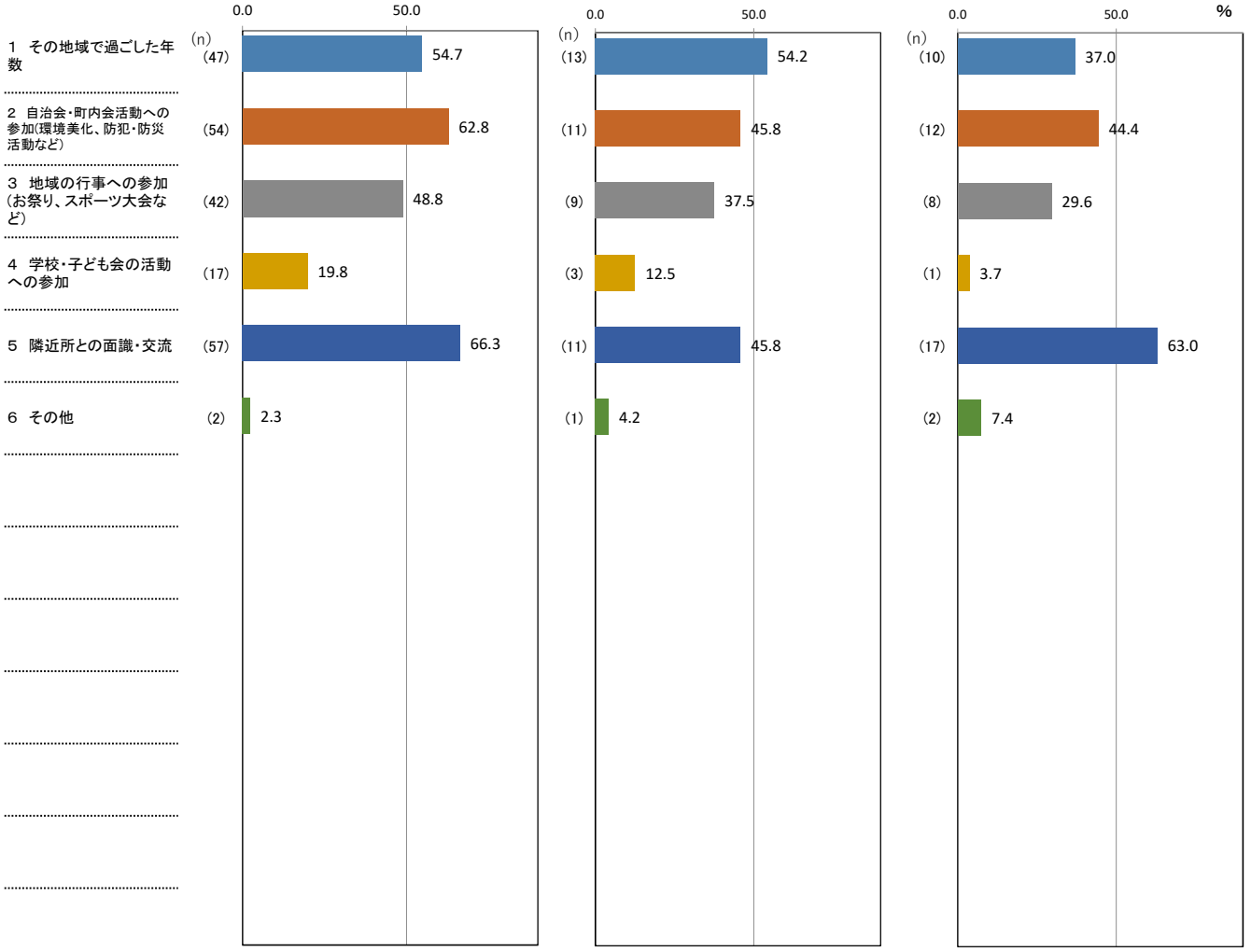
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝65人）	150	36	38	17	14	44	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝36人）	57	16	12	8	3	17	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝46人）	80	12	20	15	4	26	3

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (219) 86 人	②「どちらともいえない」の回答 (48) 24 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (50) 27 人
1	5 隣近所との面識・交流 (57)	1 その地域で過ごした年数 (13)	5 隣近所との面識・交流 (17)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (54)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (11)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (12)
3	1 その地域で過ごした年数 (47)	5 隣近所との面識・交流 (11) 2位	1 その地域で過ごした年数 (10)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県南広域振興圏＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		54.7	62.8	48.8	19.8	66.3	2.3
②「どちらともいえない」		54.2	45.8	37.5	12.5	45.8	4.2
③「あまり感じない・感じない」		37.0	44.4	29.6	3.7	63.0	7.4

（件）

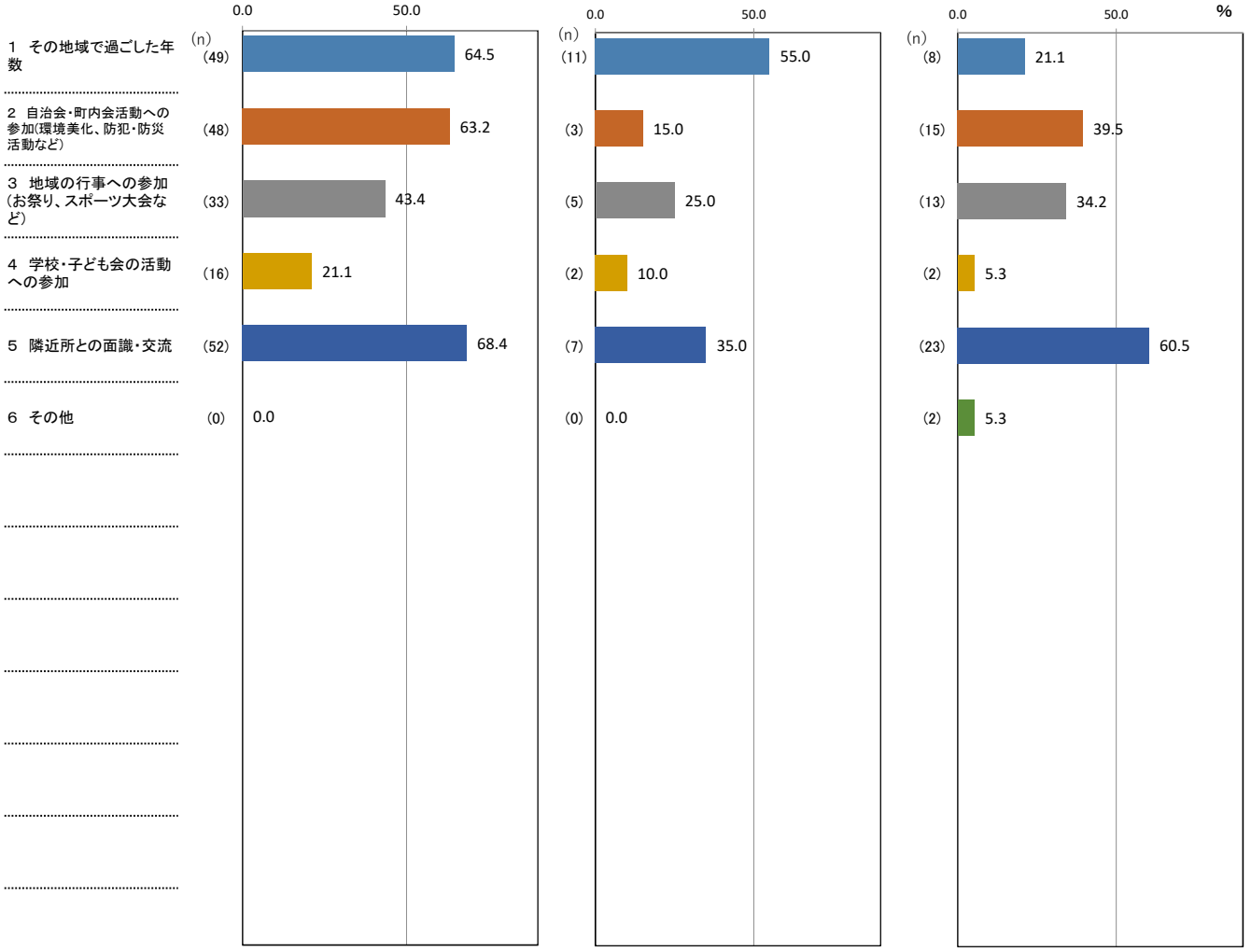
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝86人）	219	47	54	42	17	57	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝24人）	48	13	11	9	3	11	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝27人）	50	10	12	8	1	17	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (198) 76 人	②「どちらともいえない」の回答 (28) 20 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (63) 38 人
1	5 隣近所との面識・交流 (52)	1 その地域で過ごした年数 (11)	5 隣近所との面識・交流 (23)
2	1 その地域で過ごした年数 (49)	5 隣近所との面識・交流 (7)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (15)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (48)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (5)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (13)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜沿岸広域振興圏＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		64.5	63.2	43.4	21.1	68.4	0.0
②「どちらともいえない」		55.0	15.0	25.0	10.0	35.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		21.1	39.5	34.2	5.3	60.5	5.3

（件）

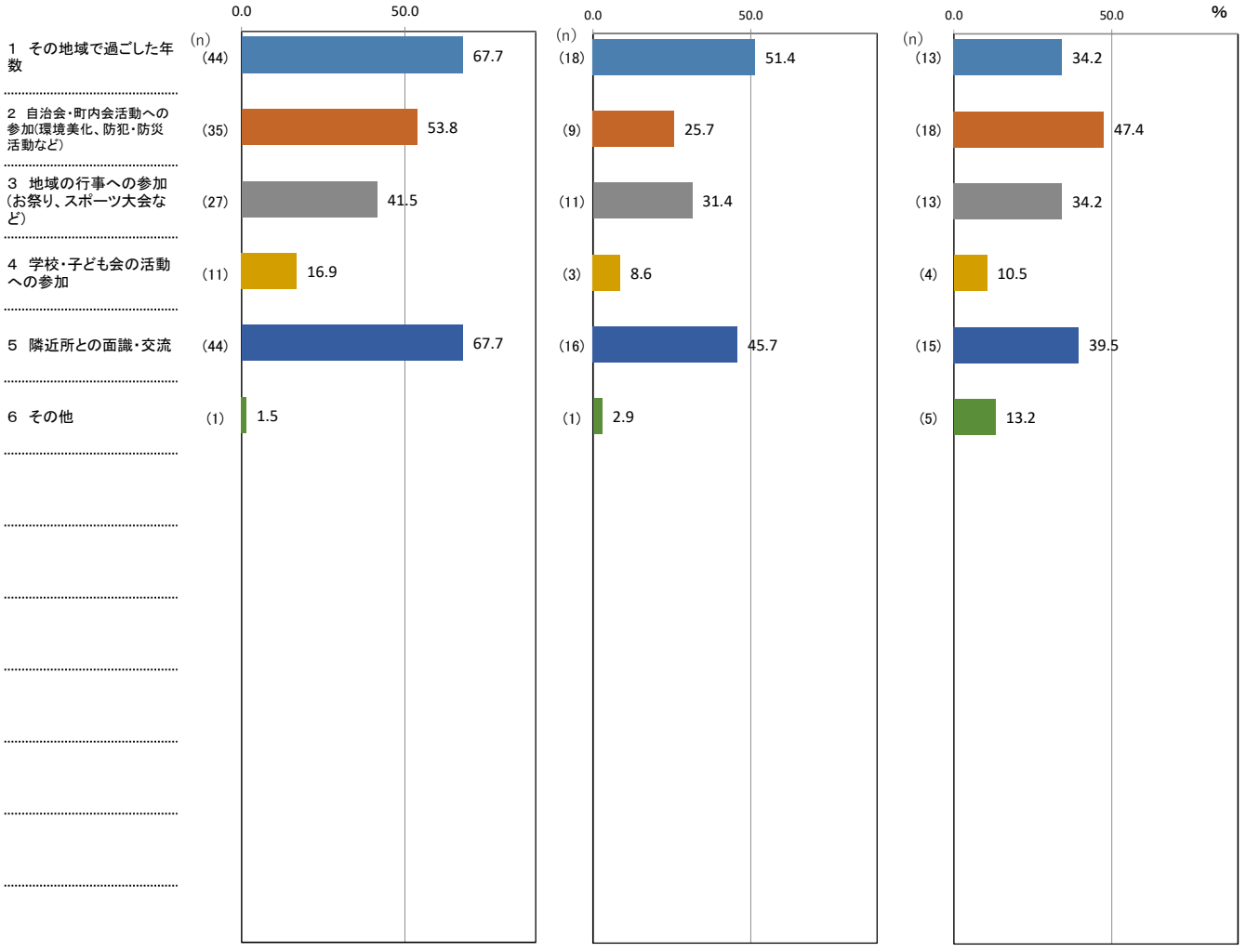
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝76人）	198	49	48	33	16	52	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝20人）	28	11	3	5	2	7	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝38人）	63	8	15	13	2	23	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜県北広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (162) 65 人	②「どちらともいえない」の回答 (58) 35 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (68) 38 人
1	1 その地域で過ごした年数 (44)	1 その地域で過ごした年数 (18)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (18)
2	5 隣近所との面識・交流 (44) 1位	5 隣近所との面識・交流 (16)	5 隣近所との面識・交流 (15)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (35)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (11)	1 その地域で過ごした年数 (13)
			3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (13) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜(県北広域振興圏)＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		67.7	53.8	41.5	16.9	67.7	1.5
②「どちらともいえない」		51.4	25.7	31.4	8.6	45.7	2.9
③「あまり感じない・感じない」		34.2	47.4	34.2	10.5	39.5	13.2

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝65人）	162	44	35	27	11	44	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝35人）	58	18	9	11	3	16	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝38人）	68	13	18	13	4	15	5

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

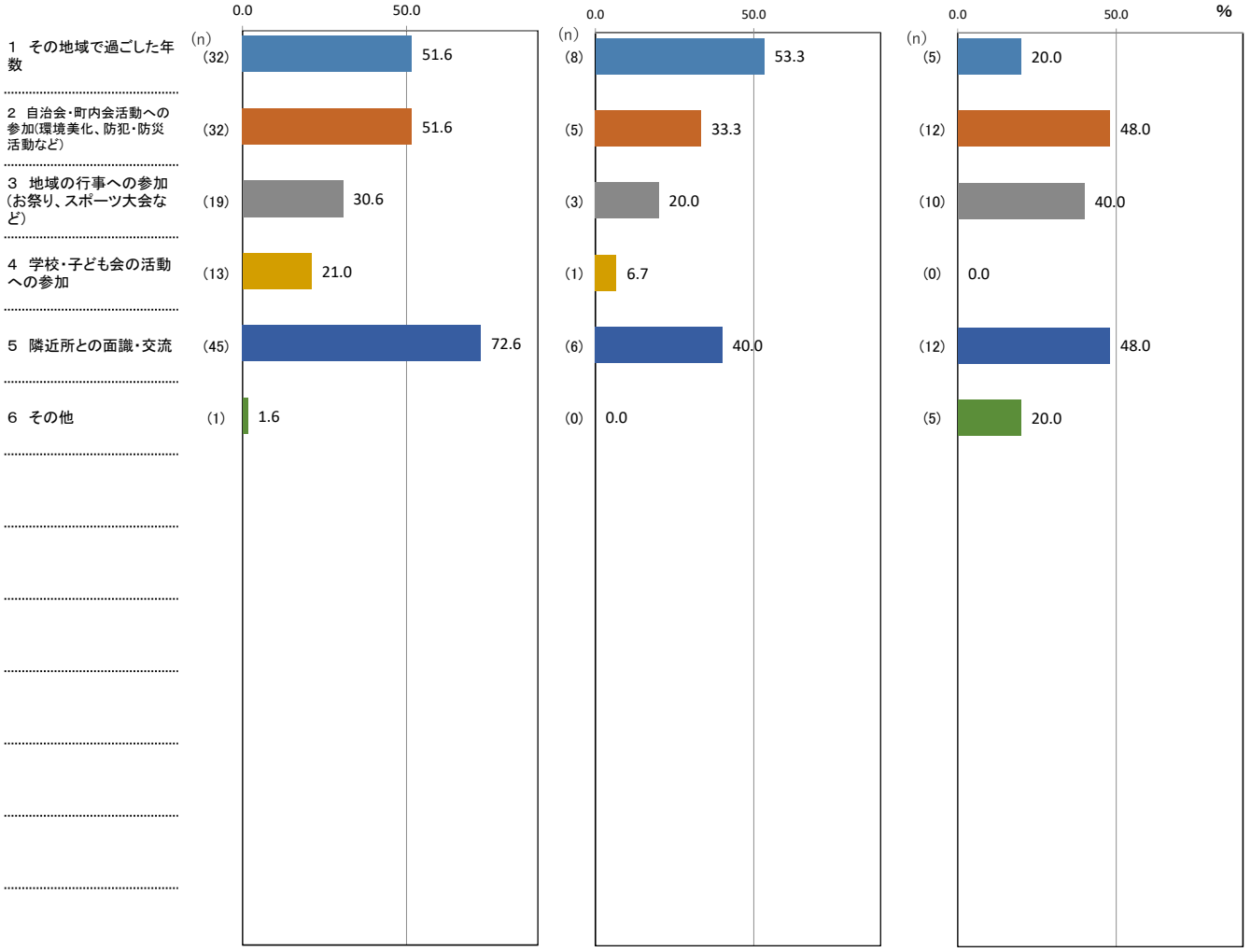
分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜50～59歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (142) 62 人	②「どちらともいえない」の回答 (23) 15 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (44) 25 人
1	5 隣近所との面識・交流 (45)	1 その地域で過ごした年数 (8)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (12)
2	1 その地域で過ごした年数 (32)	5 隣近所との面識・交流 (6)	5 隣近所との面識・交流 (12)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (32)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (5)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (10)

2位

1位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		51.6	51.6	30.6	21.0	72.6	1.6
②「どちらともいえない」		53.3	33.3	20.0	6.7	40.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		20.0	48.0	40.0	0.0	48.0	20.0

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝62人）	142	32	32	19	13	45	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝15人）	23	8	5	3	1	6	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝25人）	44	5	12	10	0	12	5

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜家族従業者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (15) 4 人	②「どちらともいえない」の回答 (3) 3 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (11) 5 人
1	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (4)	1 その地域で過ごした年数 (2)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (4)
2	5 隣近所との面識・交流 (4)	4 学校・子ども会の活動への参加 (1)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (3)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (3)		5 隣近所との面識・交流 (3)

2位

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜家族従業者＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	75.0	100.0	50.0	100.0	0.0
②「どちらともいえない」		66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		20.0	60.0	80.0	0.0	60.0	0.0

（件）

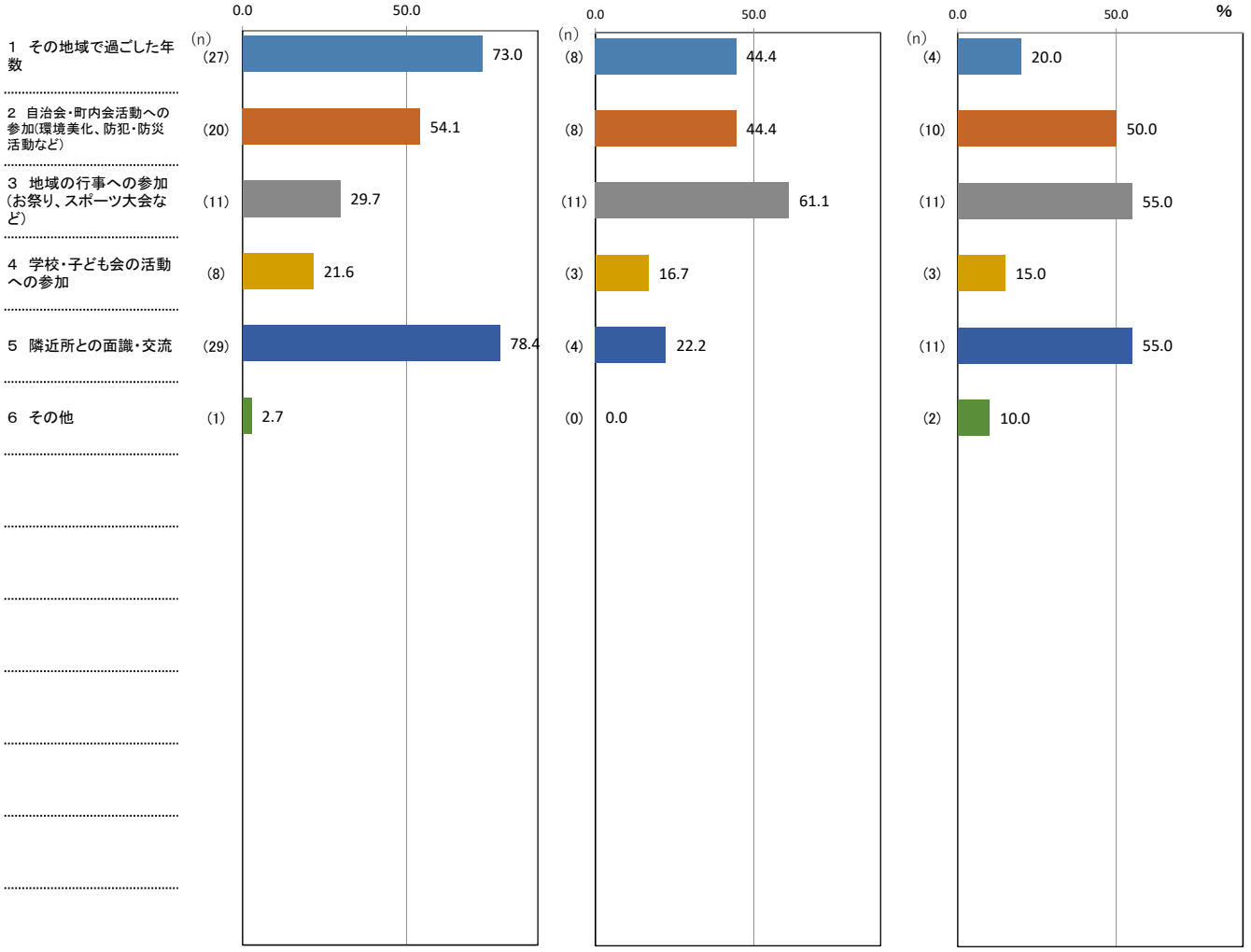
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝4人）	15	2	3	4	2	4	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝3人）	3	2	0	0	1	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝5人）	11	1	3	4	0	3	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜臨時雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (96) 37 人	②「どちらともいえない」の回答 (34) 18 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (41) 20 人
1	5 隣近所との面識・交流 (29)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (11)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (11)
2	1 その地域で過ごした年数 (27)	1 その地域で過ごした年数 (8)	5 隣近所との面識・交流 (11) 1位
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (20)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (8) 2位	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (10)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜臨時雇用者＞　　（%）

区分	計	1　その地域で過ごした年数	2　自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3　地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4　学校・子ども会の活動への参加	5　隣近所との面識・交流	6　その他
①「感じる・やや感じる」		73.0	54.1	29.7	21.6	78.4	2.7
②「どちらともいえない」		44.4	44.4	61.1	16.7	22.2	0.0
③「あまり感じない・感じない」		20.0	50.0	55.0	15.0	55.0	10.0

（件）

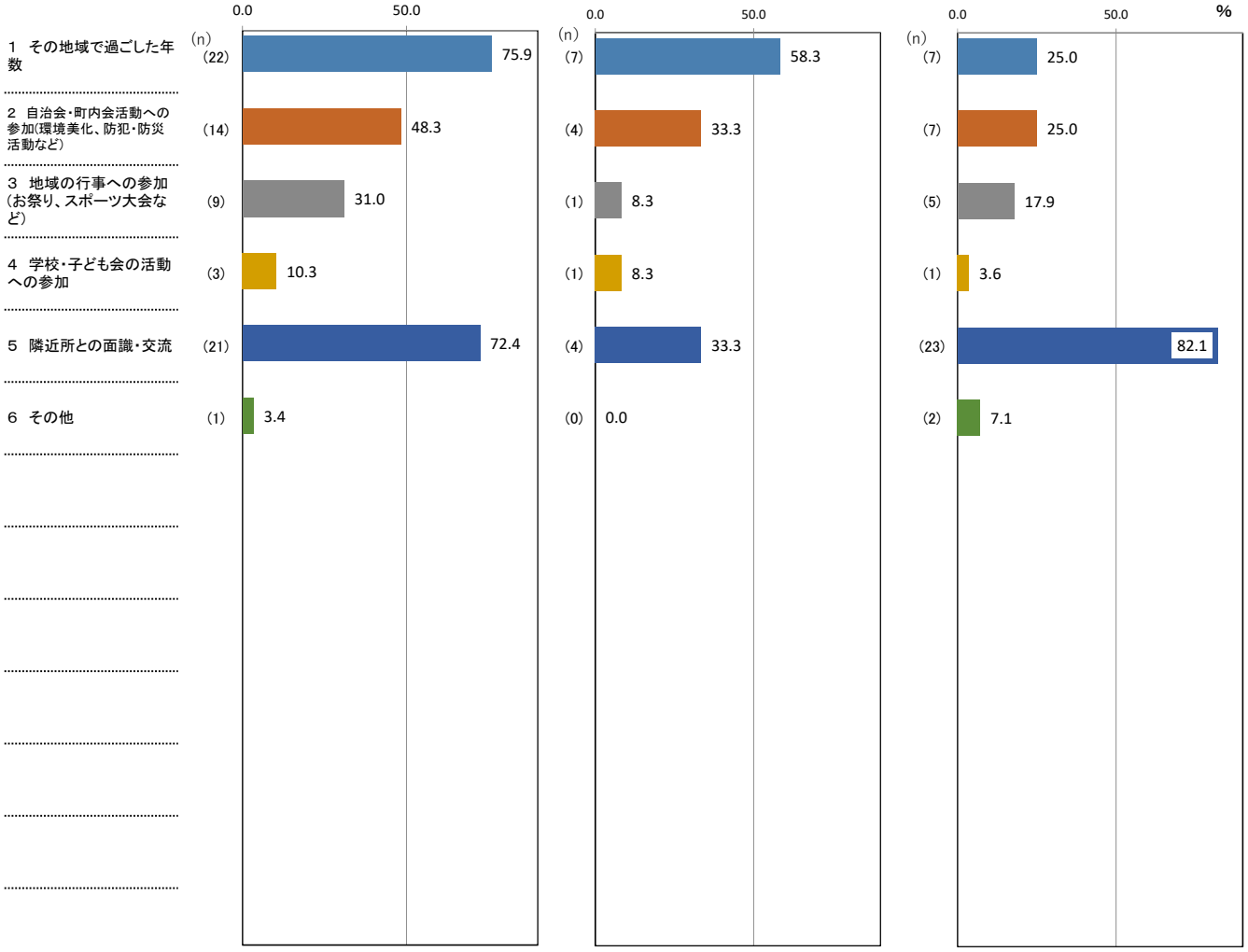
区分	計	1　その地域で過ごした年数	2　自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3　地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4　学校・子ども会の活動への参加	5　隣近所との面識・交流	6　その他
①　「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝37人）	96	27	20	11	8	29	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝18人）	34	8	8	11	3	4	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝20人）	41	4	10	11	3	11	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」<ひとり暮らし>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (70) 29 人	②「どちらともいえない」の回答 (17) 12 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (45) 28 人
1	1 その地域で過ごした年数 (22)	1 その地域で過ごした年数 (7)	5 隣近所との面識・交流 (23)
2	5 隣近所との面識・交流 (21)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (4)	1 その地域で過ごした年数 (7)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (14)	5 隣近所との面識・交流 (4) 2位	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (7) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜ひとり暮らし＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		75.9	48.3	31.0	10.3	72.4	3.4
②「どちらともいえない」		58.3	33.3	8.3	8.3	33.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		25.0	25.0	17.9	3.6	82.1	7.1

（件）

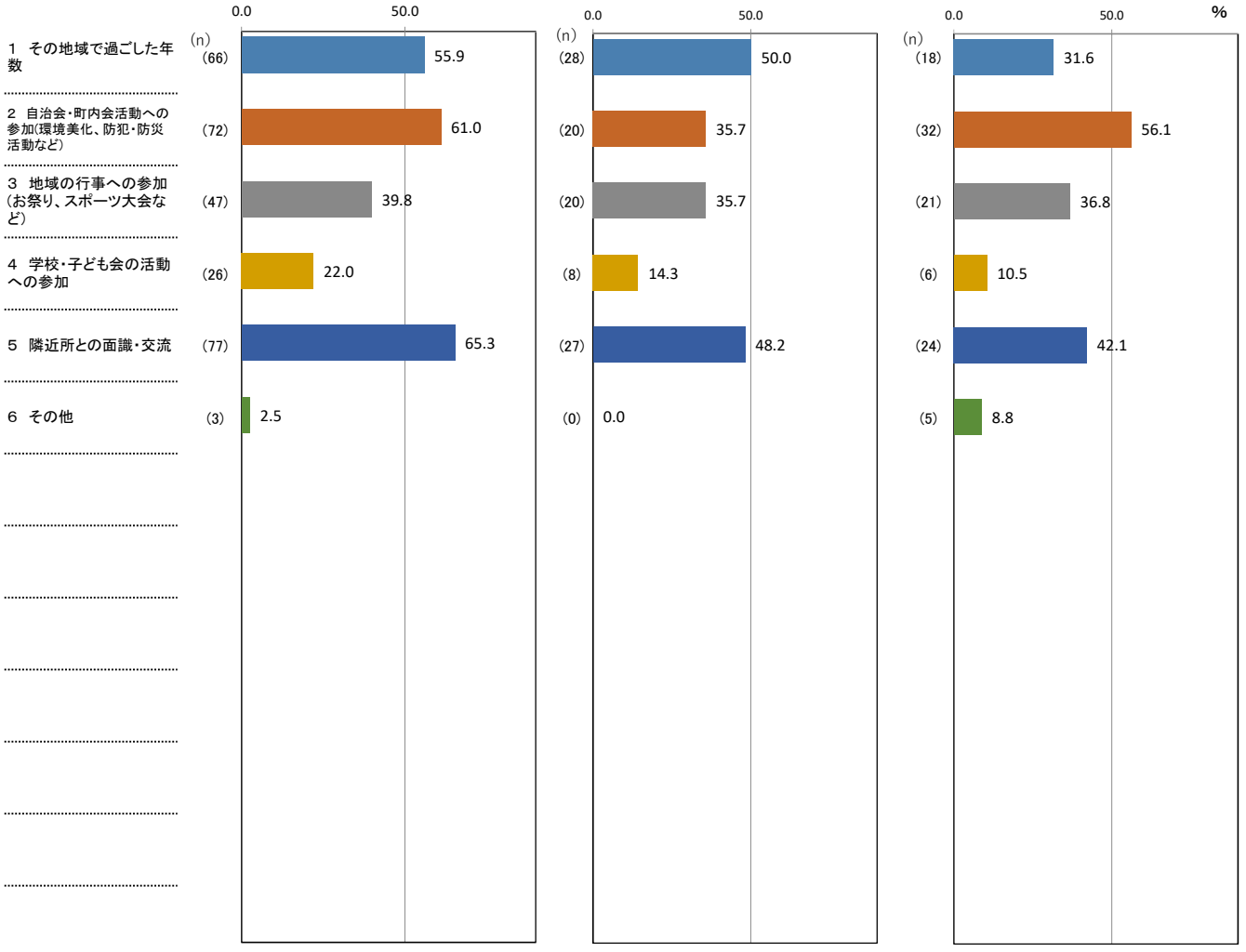
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝29人）	70	22	14	9	3	21	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝12人）	17	7	4	1	1	4	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝28人）	45	7	7	5	1	23	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜2世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (291) 118 人	②「どちらともいえない」の回答 (103) 56 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (106) 57 人
1	5 隣近所との面識・交流 (77)	1 その地域で過ごした年数 (28)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (32)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (72)	5 隣近所との面識・交流 (27)	5 隣近所との面識・交流 (24)
3	1 その地域で過ごした年数 (66)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (20)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (21)
		3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (20) 4位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜2世代世帯＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		55.9	61.0	39.8	22.0	65.3	2.5
②「どちらともいえない」		50.0	35.7	35.7	14.3	48.2	0.0
③「あまり感じない・感じない」		31.6	56.1	36.8	10.5	42.1	8.8

（件）

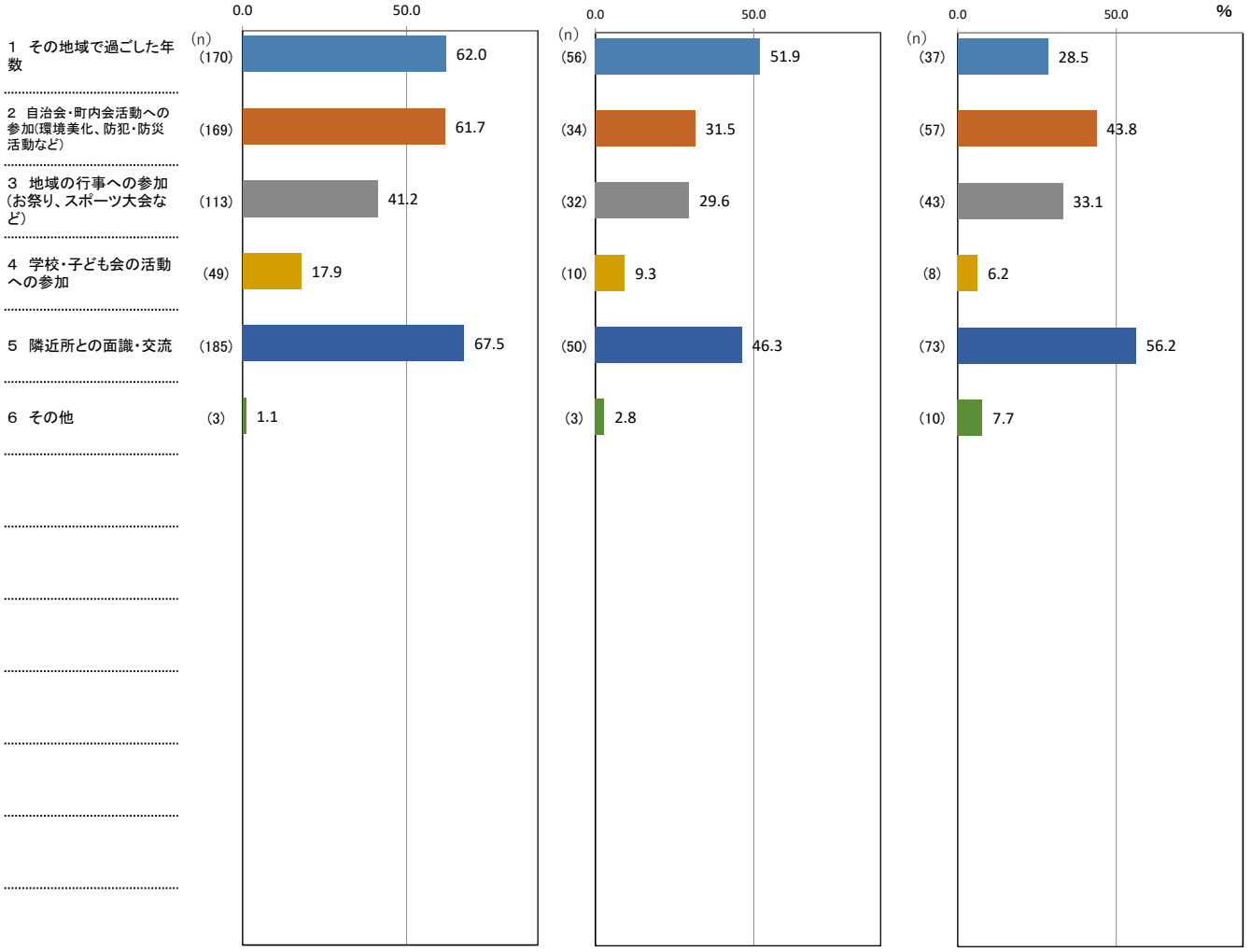
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝118人）	291	66	72	47	26	77	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝56人）	103	28	20	20	8	27	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝57人）	106	18	32	21	6	24	5

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域社会のつながり」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (689) 274 人	②「どちらともいえない」の回答 (185) 108 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (228) 130 人
1	5 隣近所との面識・交流 (185)	1 その地域で過ごした年数 (56)	5 隣近所との面識・交流 (73)
2	1 その地域で過ごした年数 (170)	5 隣近所との面識・交流 (50)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (57)
3	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (169)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (34)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (43)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域社会とのつながり」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞　　（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」		62.0	61.7	41.2	17.9	67.5	1.1
②「どちらともいえない」		51.9	31.5	29.6	9.3	46.3	2.8
③「あまり感じない・感じない」		28.5	43.8	33.1	6.2	56.2	7.7

（件）

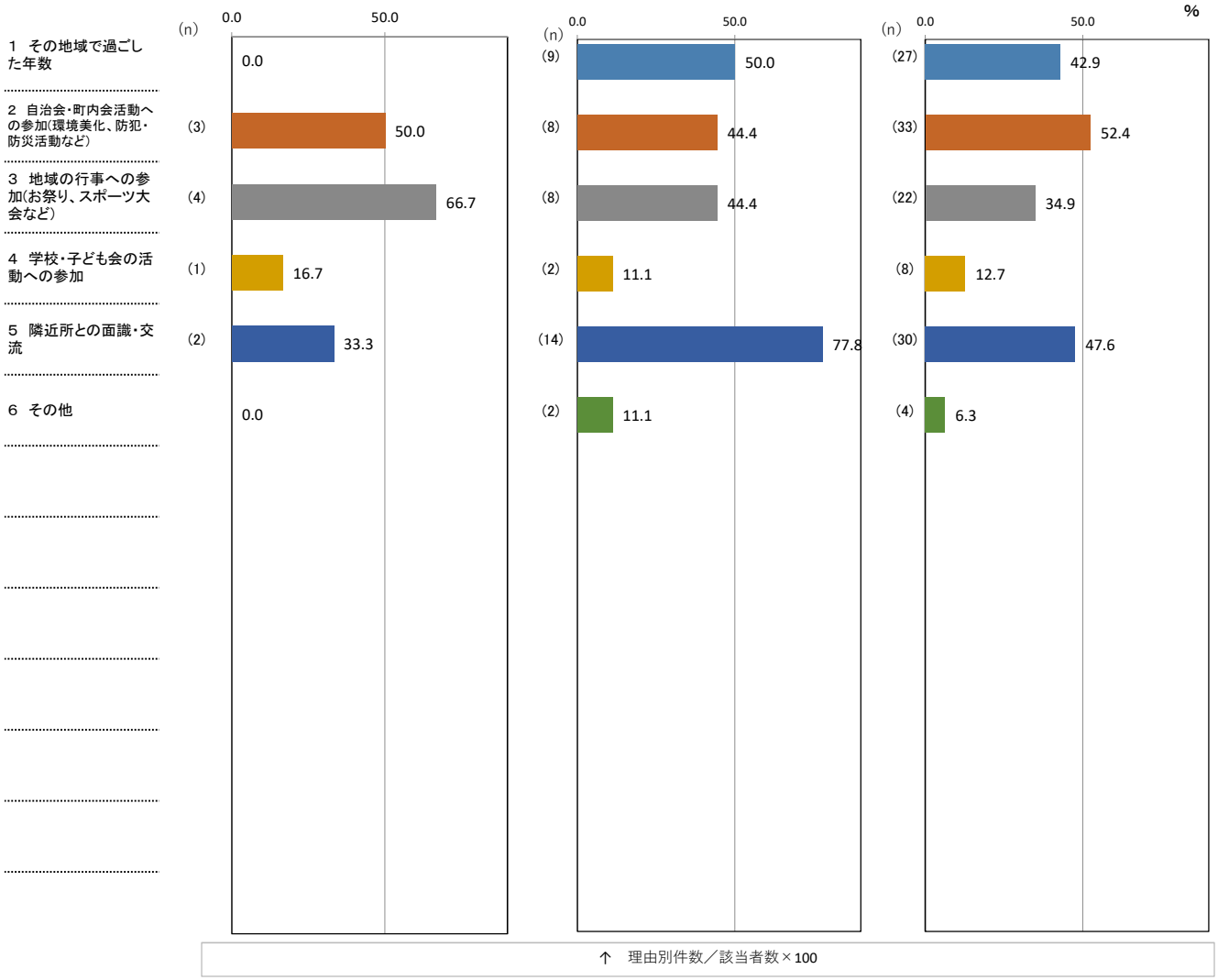
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝274人）	689	170	169	113	49	185	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝108人）	185	56	34	32	10	50	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝130人）	228	37	57	43	8	73	10

【補足調査】(実感変動とコロナ実感)

分野別実感の回答結果「地域社会とのつながり」(実感低下)

上位3項目	①「よい影響を感じる」の回答 (10) 6 人	②「どちらともいえない」の回答 (43) 18 人	③「よくない影響を感じる」の回答 (124) 63 人
1	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (4)	5 隣近所との面識・交流 (14)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (33)
2	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (3)	1 その地域で過ごした年数 (9)	5 隣近所との面識・交流 (30)
3	5 隣近所との面識・交流 (2)	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など) (8)	1 その地域で過ごした年数 (27)
		3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など) (8) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

（7）「地域社会とのつながり」において実感が低下している人の新型コロナウイルス感染症の影響に係る回答理由

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「よい影響を感じる」		0.0	50.0	66.7	16.7	33.3	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	44.4	44.4	11.1	77.8	11.1
③「よくない影響を感じる」		42.9	52.4	34.9	12.7	47.6	6.3

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	4 学校・子ども会の活動への参加	5 隣近所との面識・交流	6 その他
①「よい影響を感じる」の人（サンプル数＝6人）	10	0	3	4	1	2	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝18人）	43	9	8	8	2	14	2
③「よくない影響を感じる」の人（サンプル数＝63人）	124	27	33	22	8	30	4

３　「地域の安全」の実感

①　分野別実感の概況

ア　分野別実感に係る令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

実感平均値は 3.76 点であり、基準年調査より 0.06 点低下しています。

ｔ検定を行った結果、基準年調査に比べて有意に低下していることから、**当該分野の実感は低下**していると考えられます。

イ　属性別の状況

○　令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

基準年調査と比較して有意に変化した属性は表５のとおりでした。

表５　「地域の安全」の実感において有意な変化があった属性と基準年差

属性		H31	R３	R３-H31
県計		3.82	3.76	▲ 0.06
年代	50～59 歳	3.84	3.69	▲ 0.15
職業	常用雇用者	3.83	3.74	▲ 0.09
	60 歳以上の無職	3.86	3.74	▲ 0.12
世帯構成	２世代世帯	3.81	3.70	▲ 0.11
子の人数	４人以上	3.92	3.65	▲ 0.27
居住年数	20 年以上	3.83	3.76	▲ 0.07
広域振興圏	県央広域振興圏	3.87	3.76	▲ 0.11

ウ　新型コロナウイルス感染症の影響

当該分野別実感に係る新型コロナウイルス感染症の影響に対する県民の認識を令和３年県民意識調査において把握したところ、良い影響を感じた割合８％、良くない影響を感じた割合は 44%となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響を検討する上で、影響を受ける前の令和２年調査と影響後の令和３年調査の実感を比較すると表６のとおりでした。

表６　「地域の安全」の実感において有意な変化があった属性と前年差

属性		R２	R３	R3-R2
県計		3.66	3.76	0.10
性別	女性	3.61	3.75	0.14
年代	40～49 歳	3.59	3.79	0.20
	60～69 歳	3.58	3.77	0.19
職業	常用雇用者	3.64	3.74	0.10
	学生＋その他	3.57	3.88	0.31
	専業主婦・主夫	3.71	3.86	0.15
世帯構成	夫婦のみ	3.64	3.84	0.20
	３世代世帯	3.72	3.85	0.12
	その他	3.51	3.79	0.28
子の数	２人	3.70	3.82	0.12
	３人	3.67	3.80	0.13
	子どもはいない	3.62	3.73	0.11
居住年数	20 年以上	3.67	3.76	0.09
広域振興圏	沿岸広域振興圏	3.54	3.74	0.20
	県北広域振興圏	3.63	3.78	0.15

② 分野別実感が低下した要因

・ 県民意識調査の結果、実感が有意に低下した属性は、表５及び表６のとおり幅広く存在しており、特徴的な属性は確認できませんでした。

・ 補足調査で把握している「分野別実感の回答理由」で、実感が低下した人の回答理由は以下のとおりでした。

（ア） 自然災害の発生状況

（イ） 交通事故の防止(歩道の整備など)

（ウ） 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)

・ 補足調査結果において、実感が低下した人の上記回答理由と、実感が横ばい、上昇した人の回答理由を比較しても特徴的な要因は抽出できませんでした。

・ **以上を踏まえ、当該分野の実感が低下した要因は、「自然災害の発生状況」「交通事故の防止(歩道の整備など)」「社会インフラの老朽化(橋、下水道など)」であると推測されます。**

・ なお、**新型コロナウイルス感染症の影響について、良くない影響を感じた人であって、前年調査に比べて実感が低下した人の主な回答理由は**以下のとおりであり、**「分野別実感の回答理由」と概ね同じ理由**となっていますが、**感染症の予防に関する行政の情報発信が上位**となっています。

（ア） 自然災害の発生状況

（イ） 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)

（ウ） 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)

(1)県民意識調査の属性別平均点について

⑧お住まいの地域は安全だと感じますか。

		H31（基準年）	R２	R3	R3−H31（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−H31（寄与度）	参考 R3−R2（対前年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−R2（寄与度）
県計(3,549)		3.82	3.66	3.76	▲ 0.06	0.015	**	▲ 0.06	0.10	0.00	**	0.10
男女	男性(1,561)	3.84	3.72	3.79	▲ 0.05	0.15		▲ 0.02	0.06	0.08		0.03
	女性(1,949)	3.80	3.61	3.75	▲ 0.06	0.09		▲ 0.03	0.14	0.00	**	0.07
	その他(参考)(6)		3.33	3.33					0.00	1.00		0.00
年代	18～19歳(参考)(53)	3.94	3.88	3.84	▲ 0.09	0.73		▲ 0.00	▲ 0.04	0.86		▲ 0.00
	20～29歳(200)	3.70	3.63	3.70	0.00	0.98		0.00	0.07	0.54		0.00
	30～39歳(320)	3.69	3.67	3.69	0.00	0.97		0.00	0.03	0.77		0.00
	40～49歳(499)	3.79	3.59	3.79	0.00	0.97		0.00	0.20	0.00	**	0.03
	50～59歳(604)	3.84	3.67	3.69	▲ 0.15	0.01	**	▲ 0.03	0.02	0.73		0.00
	60～69歳(766)	3.80	3.58	3.77	▲ 0.02	0.63		▲ 0.01	0.19	0.00	**	0.04
	70歳以上(1,009)	3.91	3.75	3.83	▲ 0.08	0.10		▲ 0.02	0.08	0.11		0.02
職業	自営業主(282)	3.94	3.70	3.83	▲ 0.11	0.20		▲ 0.01	0.13	0.14		0.01
	家族従業者(119)	3.98	3.91	3.79	▲ 0.19	0.14		▲ 0.01	▲ 0.13	0.28		▲ 0.00
	会社役員・団体役員(240)	3.85	3.64	3.83	▲ 0.01	0.90		▲ 0.00	0.19	0.05		0.01
	常用雇用者(1,025)	3.83	3.64	3.74	▲ 0.09	0.03	**	▲ 0.03	0.10	0.02	**	0.03
	臨時雇用者(440)	3.71	3.62	3.67	▲ 0.04	0.58		▲ 0.00	0.05	0.44		0.01
	学生＋その他(119)	3.74	3.57	3.88	0.14	0.28		0.00	0.31	0.02	**	0.01
	専業主婦・主夫(403)	3.74	3.71	3.86	0.12	0.08		0.01	0.15	0.03	**	0.02
	60歳未満の無職(参考)(77)	3.70	3.38	3.56	▲ 0.14	0.49		▲ 0.00	0.18	0.37		0.00
	60歳以上の無職(697)	3.86	3.69	3.74	▲ 0.12	0.04	**	▲ 0.02	0.05	0.37		0.01
世帯構成	ひとり暮らし(431)	3.72	3.67	3.71	▲ 0.02	0.82		▲ 0.00	0.03	0.64		0.00
	夫婦のみ(718)	3.86	3.64	3.84	▲ 0.02	0.70		▲ 0.00	0.20	0.00	**	0.04
	2世代世帯(1,437)	3.81	3.70	3.70	▲ 0.11	0.01	**	▲ 0.04	0.00	0.97		0.00
	3世代世帯(548)	3.89	3.72	3.85	▲ 0.04	0.46		▲ 0.01	0.12	0.04	**	0.02
	その他(184)	3.79	3.51	3.79	▲ 0.00	0.96		▲ 0.00	0.28	0.01	**	0.03
子の数	1人(450)	3.80	3.68	3.72	▲ 0.09	0.20		▲ 0.01	0.04	0.57		0.00
	2人(1,270)	3.85	3.70	3.82	▲ 0.03	0.50		▲ 0.01	0.12	0.00	**	0.04
	3人(682)	3.85	3.67	3.80	▲ 0.05	0.35		▲ 0.01	0.13	0.02	**	0.03
	4人以上(159)	3.92	3.65	3.65	▲ 0.27	0.02	**	▲ 0.01	0.00	0.98		0.00
	子どもはいない(802)	3.74	3.62	3.73	▲ 0.01	0.85		▲ 0.00	0.11	0.04	**	0.02
居住年数	10年未満(100)	3.59	3.69	3.65	0.06	0.70		0.00	▲ 0.05	0.76		▲ 0.00
	10～20年未満(145)	3.83	3.67	3.91	0.08	0.53		0.00	0.24	0.07		0.01
	20年以上(3,174)	3.83	3.67	3.76	▲ 0.07	0.01	**	▲ 0.06	0.09	0.00	**	0.08
広域振興圏	県央(1,011)	3.87	3.75	3.76	▲ 0.11	0.01	**	▲ 0.03	0.01	0.75		0.00
	県南(1,080)	3.78	3.69	3.78	▲ 0.01	0.87		▲ 0.00	0.08	0.06		0.03
	沿岸(833)	3.82	3.54	3.74	▲ 0.08	0.14		▲ 0.02	0.20	0.00	**	0.05
	県北(625)	3.82	3.63	3.78	▲ 0.04	0.52		▲ 0.01	0.15	0.01	**	0.03

（　）は、R３調査のサンプル数

(2)分野別実感の回答理由(実感変化別)

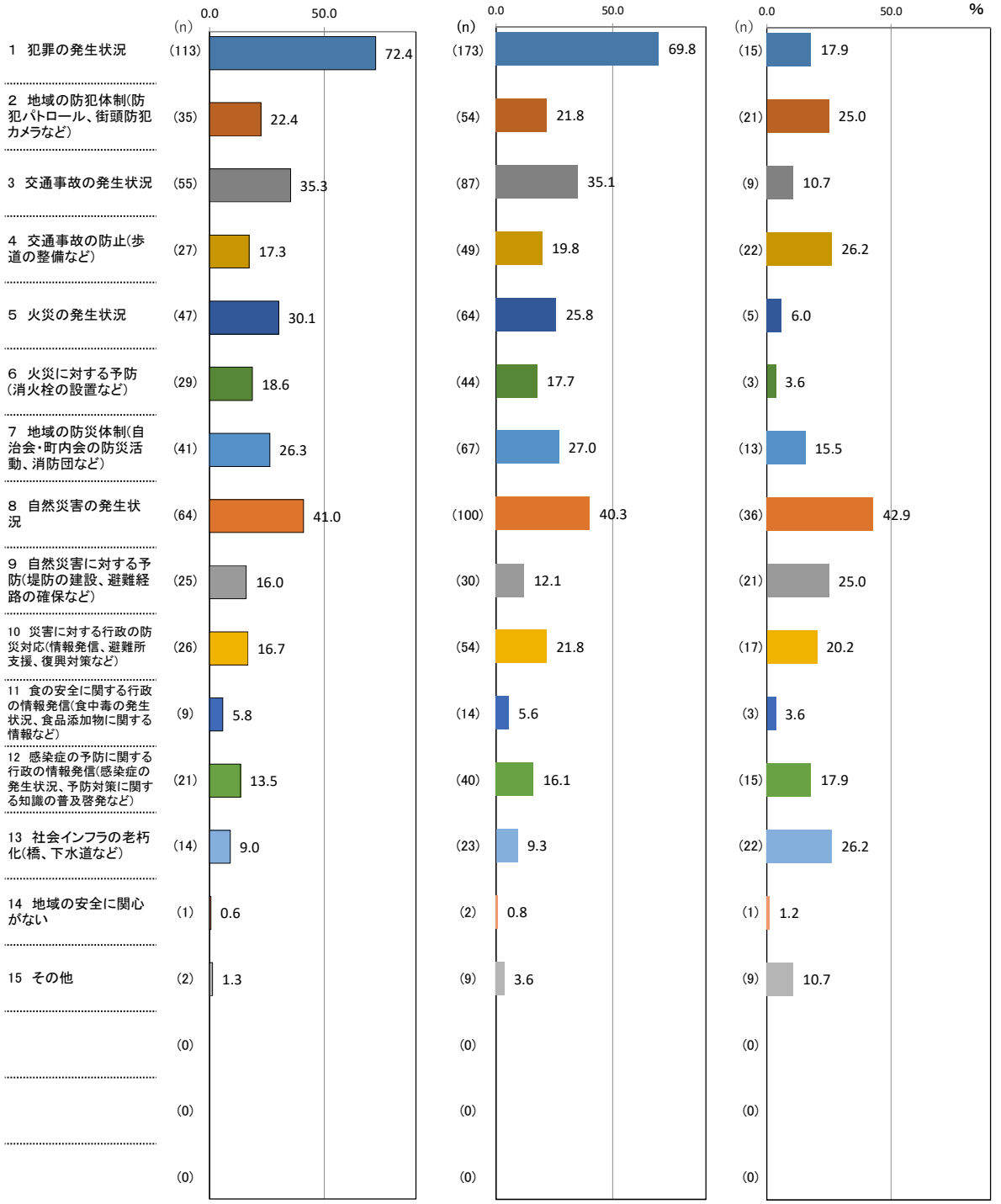
【補足調査】

分野別実感の理由別分析「地域の安全」(H31-R3)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (509) 156 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (810) 248 人	③ 実感が低下した人 の回答 (212) 84 人
1	1 犯罪の発生状況 (113)	1 犯罪の発生状況 (173)	8 自然災害の発生状況 (36)
2	8 自然災害の発生状況 (64)	8 自然災害の発生状況 (100)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (22)
3	3 交通事故の発生状況 (55)	3 交通事故の発生状況 (87)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (22)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（8）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（8）①「あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
① 実感が上昇した人		72.4	22.4	35.3	17.3	30.1	18.6	26.3	41.0	16.0	16.7	5.8	13.5	9.0	0.6	1.3
② 実感が横ばいの人		69.8	21.8	35.1	19.8	25.8	17.7	27.0	40.3	12.1	21.8	5.6	16.1	9.3	0.8	3.6
③ 実感が低下した人		17.9	25.0	10.7	26.2	6.0	3.6	15.5	42.9	25.0	20.2	3.6	17.9	26.2	1.2	10.7

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝156人）	509	113	35	55	27	47	29	41	64	25	26	9	21	14	1	2
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝248人）	810	173	54	87	49	64	44	67	100	30	54	14	40	23	2	9
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝84人）	212	15	21	9	22	5	3	13	36	21	17	3	15	22	1	9

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（2名中1名記載）
・もっと感染症に関する情報を積極的に発信するべき。

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（9名中9名記載）
・除雪
・安全と思える要因が特に無い。わからない。
・毎年変質者が出る
・公道の除雪が不十分。または不適切な場所が多い。
・浸水の心配がない
・不法外国人が発見されるまでは安全だと思ってました
・街灯が少ない
・岩手県は治安がいいと感じる。しかしながら交通に関して右左折する際のウインカーを出すタイミングが直前すぎるドライバーが非常に多いと感じます。免許更新時の講習や免許取得時の講習時に強く指導をした方がよいと思います。岩手にて東日本大震災、岩泉台風10号、昨年の台風19号などあり災害が多い県という印象があります。しかしながら県の総合防災害は体制、スタッフ共に有能であり他県に対してもほけれる組織だと感じています。（一時期防災にたずさわる職についていたため）数年前越野氏の講話を聞き感動しました。越野氏は前職が自衛官と聞きました。県庁だけでなく市町村にももっと積極的に自衛官経験者を採用すべきと思いました。
・老人が多く運転が危ない

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（9名中9名記載）
・歩行者の通路が狭い。（特に冬に雪が積もり凍結するため危ないと感じます）
・新しく車を買ったころ知らない間に傷つけられていた
・熊の出没が増えてきている
・近所に遊技施設があるが見通しの悪い十字路で歩行者を気にせずスピード出過ぎの車両（お客さん）が多く常に危険
・何事も予測不能と考える
・熊の出没
・隣接する国やJR・市の所有地の整備不良。防災のためにももっと予算をつけ整備しておかないと災害発生の可能性が高くなっている。もっと日常生活に近い整備がどんどん手薄になっている
・道路の除雪
・子供の登下校時人通りもなく不安に感じる

【参考】

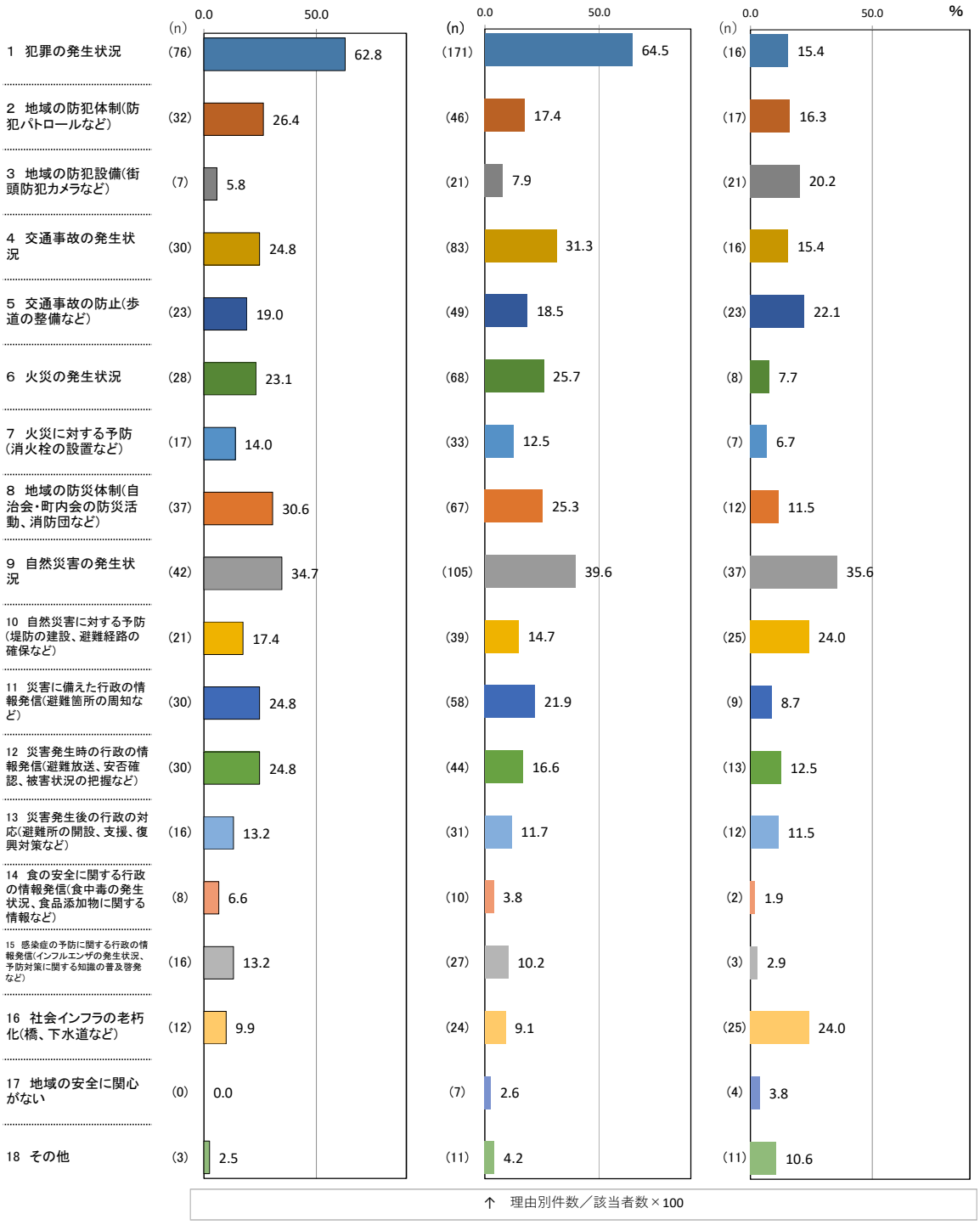
【補足調査】

分野別実感の理由別分析「地域の安全」

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (428) 121 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (894) 265 人	③ 実感が低下した人 の回答 (261) 104 人
1	1 犯罪の発生状況 (76)	1 犯罪の発生状況 (171)	9 自然災害の発生状況 (37)
2	9 自然災害の発生状況 (42)	9 自然災害の発生状況 (105)	10 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (25)
3	8 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (37)	4 交通事故の発生状況 (83)	16 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (25)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（8）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（8）「あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロールなど)	3 地域の防犯設備(街頭防犯カメラなど)	4 交通事故の発生状況	5 交通事故の防止(歩道の整備など)	6 火災の発生状況	7 火災に対する予防(消火栓の設置など)	8 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	9 自然災害の発生状況	10 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	11 災害に備えた行政の情報発信(避難箇所の周知など)	12 災害発生時の行政の情報発信(避難放送、安否確認、被害状況の把握など)	13 災害発生後の行政の対応(避難所の開設、支援、復興対策など)	14 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	15 感染症の予防に関する行政の情報発信(インフルエンザの発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	16 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	17 地域の安全に関心がない	18 その他
① 実感が上昇した人		62.8	26.4	5.8	24.8	19.0	23.1	14.0	30.6	34.7	17.4	24.8	24.8	13.2	6.6	13.2	9.9	0.0	2.5
② 実感が横ばいの人		64.5	17.4	7.9	31.3	18.5	25.7	12.5	25.3	39.6	14.7	21.9	16.6	11.7	3.8	10.2	9.1	2.6	4.2
③ 実感が低下した人		15.4	16.3	20.2	15.4	22.1	7.7	6.7	11.5	35.6	24.0	8.7	12.5	11.5	1.9	2.9	24.0	3.8	10.6

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロールなど)	3 地域の防犯設備(街頭防犯カメラなど)	4 交通事故の発生状況	5 交通事故の防止(歩道の整備など)	6 火災の発生状況	7 火災に対する予防(消火栓の設置など)	8 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	9 自然災害の発生状況	10 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	11 災害に備えた行政の情報発信(避難箇所の周知など)	12 災害発生時の行政の情報発信(避難放送、安否確認、被害状況の把握など)	13 災害発生後の行政の対応(避難所の開設、支援、復興対策など)	14 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	15 感染症の予防に関する行政の情報発信(インフルエンザの発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	16 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	17 地域の安全に関心がない	18 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R2[2」は除く。 （サンプル数＝121人）	428	76	32	7	30	23	28	17	37	42	21	30	30	16	8	16	12	0	3
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝265人）	894	171	46	21	83	49	68	33	67	105	39	58	44	31	10	27	24	7	11
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R2[4」は除く。 （サンプル数＝104人）	261	16	17	21	16	23	8	7	12	37	25	9	13	12	2	3	25	4	11

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（3名中3名記載）
・獣への不安が大きい。熊、猪、鹿、ハクビシン以前はいなかった獣が震災後増えている。
・住宅の配置が良く、隣近所との連繋が取れている
・ハザードマップを見て

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（11名中11名記載）
・不審者出没が多め、クマの出没、道路の除雪が不足。
・キケン運転の多さ。
・自分達で動けるようにしたいが準備も訓練もない。行政に頼りきりに感じる。
・まずまず良い方だと思う。
・平和な感じがする。
・街灯の少なさ
・近年、本来は農道であったが住宅化が進み生活道路としての利用が進み、道路状態がかなり悪くなっている
・犯罪、事故、災害のどれにも絶対安全という事はない
・隣近所とのお付き合いがあまりなく意思疎通気味である。
・農村部なので夜は暗くて悪い。
・生活に不便すぎ、どうでも良いという気持ちにもなってしまいます。

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（11名中10名記載）
・防犯無線が聞こえない、何を言っているのかが理解できない。近くにもう一つ、つけて欲しい。
・街灯が足りない。暗い場所での犯罪が心配。
・街地域は安全だと思っていたが、先日いきなりベトナム人の不法滞在で警察官や報道が集まる事件があった。
初めて身近にその様な状況になっている事を知らされた。灯が足りない。暗い場所での犯罪が心配。
・熊の目撃情報などが多い
・仕事で時間が皆様関心ないと思います。
・大雨が降ると下水道があふれコンクリートがずれる（団地の側溝の水路のフタ）
・坂道が多い、冬滑る。
・家庭の枝が道路に伸び、交通状況が確認しづらい。
・家の近くの街灯がつかなくなって1年以上になりますが自治会の会長さんは1ヶ所の修理の為たけに電気屋さんを頼むわけにはいかない。街灯はあなたの物ではない。自治会の財産なのだから、どことどこの何箇所の修理をお願いします、という頼み方をしたいという事でした。その為、早朝でも家の前が真っ暗で、庭にはいつもゴミやタバコの吸い殻が捨ててあります。子猫数匹が捨てられていた事もあります。夏頃には花壇の花を掘りあげて持って行かれたり、灯油タンクから灯油が抜かれていた事もあります。街灯の明るさがあったら、どれかひとつでも防ぐ事ができたかも知れません。

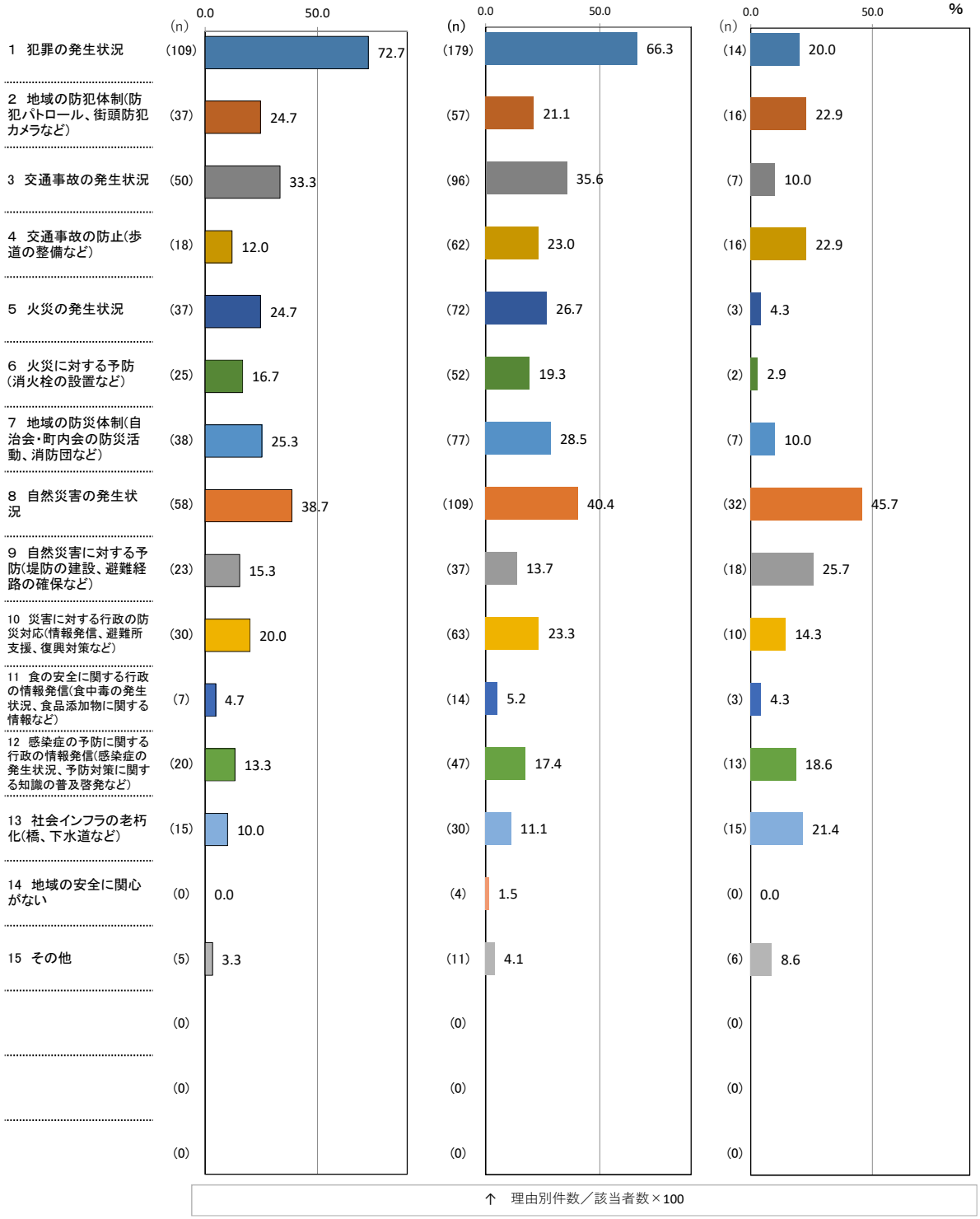
【補足調査】

分野別実感の理由別分析「地域の安全」(R2-R3)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (472) 150 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (910) 270 人	③ 実感が低下した人 の回答 (162) 70 人
1	1 犯罪の発生状況 (109)	1 犯罪の発生状況 (179)	8 自然災害の発生状況 (32)
2	8 自然災害の発生状況 (58)	8 自然災害の発生状況 (109)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (18)
3	3 交通事故の発生状況 (50)	3 交通事故の発生状況 (96)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (16)
			4 交通事故の防止(歩道の整備など) (16)

3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（8）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（8）①「あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
① 実感が上昇した人		72.7	24.7	33.3	12.0	24.7	16.7	25.3	38.7	15.3	20.0	4.7	13.3	10.0	0.0	3.3
② 実感が横ばいの人		66.3	21.1	35.6	23.0	26.7	19.3	28.5	40.4	13.7	23.3	5.2	17.4	11.1	1.5	4.1
③ 実感が低下した人		20.0	22.9	10.0	22.9	4.3	2.9	10.0	45.7	25.7	14.3	4.3	18.6	21.4	0.0	8.6

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R2「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝150人）	472	109	37	50	18	37	25	38	58	23	30	7	20	15	0	5
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝270人）	910	179	57	96	62	72	52	77	109	37	63	14	47	30	4	11
③ 実感が低下した人 ただし、R2「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝70人）	162	14	16	7	16	3	2	7	32	18	10	3	13	15	0	6

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（5名中4名記載）
・もっと感染症に関する情報を積極的に発信するべき。
・不法外国人が発見されるまでは安全だと思ってました
・空き家が多い、動物が出没する（熊や鹿）
・街灯が少ない

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（11名中10名記載）
・除雪
・歩行者の通路が狭い。（特に冬に雪が積もり凍結するため危ないと感じます）
・新しく車を買ったころ知らない間に傷つけられていた
・公道の除雪が不十分。または不適切な場所が多い。
・近くの消防署の望楼で火災予防、発生、交通関係等また振り込み詐欺に注意、コロナウイルス感染予防等呼びかけ放送ありますので安心しております。
・浸水の心配がない
・何事も予測不能と考える
・道路の除雪
・子供の登下校時人通りもなく不安に感じる
・老人が多く運転が危ない

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（5名中4名記載）
・毎年変質者が出る
・熊の出没が増えてきている
・近所に遊技施設があるが見通しの悪い十字路で歩行者を気にせずスピード出過ぎの車両（お客さん）が多く常に危険
・熊の出没

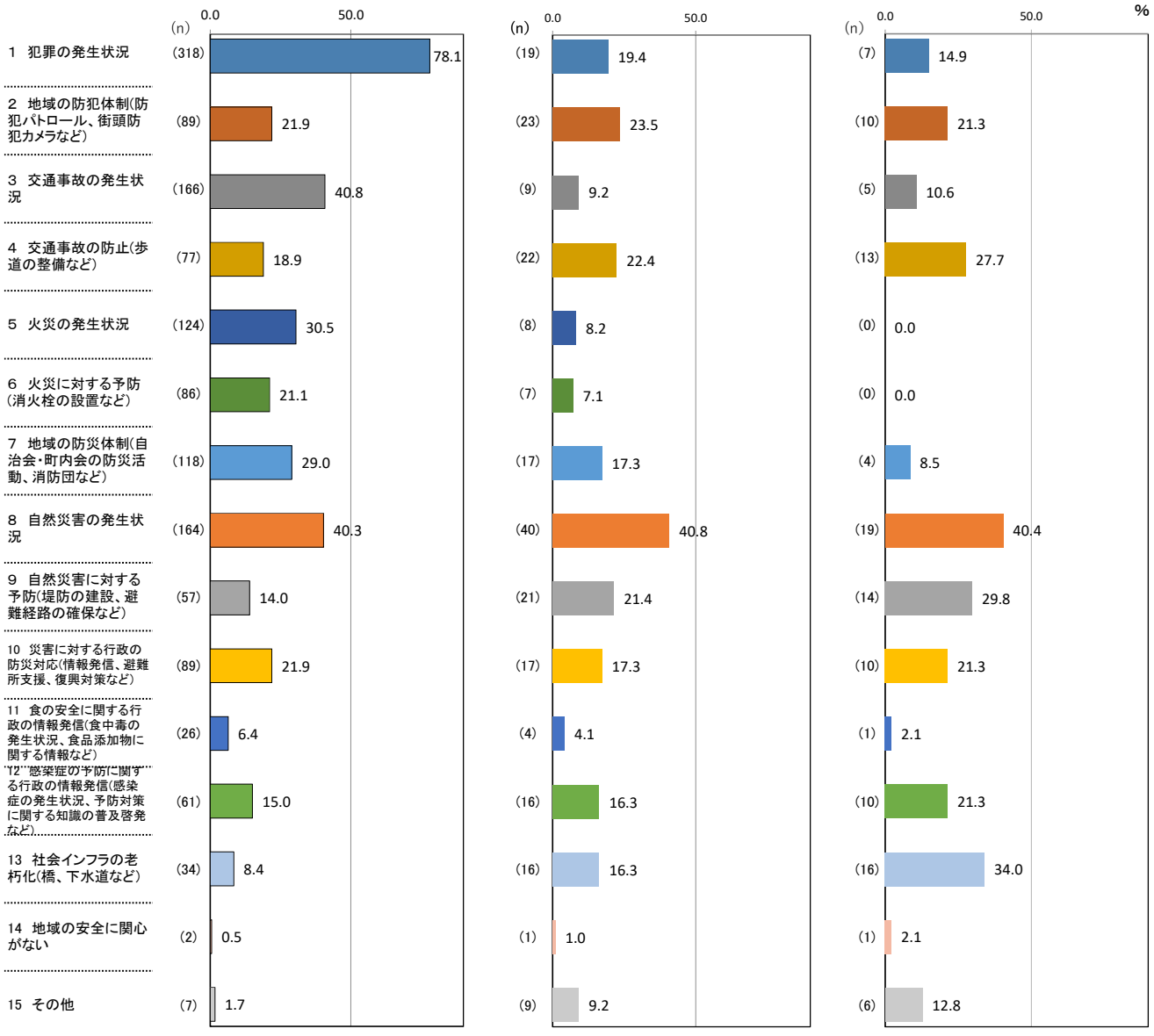
(3)分野別実感の回答結果(単純集計)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「地域の安全」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,418) 407 人	②「どちらともいえない」の回答 (229) 98 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (116) 47 人
1	1 犯罪の発生状況 (318)	8 自然災害の発生状況 (40)	8 自然災害の発生状況 (19)
2	3 交通事故の発生状況 (166)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (23)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (16)
3	8 自然災害の発生状況 (164)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (22)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (14)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（8）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（8）「①あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		78.1	21.9	40.8	18.9	30.5	21.1	29.0	40.3	14.0	21.9	6.4	15.0	8.4	0.5	1.7
②「どちらともいえない」		19.4	23.5	9.2	22.4	8.2	7.1	17.3	40.8	21.4	17.3	4.1	16.3	16.3	1.0	9.2
③「あまり感じない・感じない」		14.9	21.3	10.6	27.7	0.0	0.0	8.5	40.4	29.8	21.3	2.1	21.3	34.0	2.1	12.8

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝407人）	1,418	318	89	166	77	124	86	118	164	57	89	26	61	34	2	7
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝98人）	229	19	23	9	22	8	7	17	40	21	17	4	16	16	1	9
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝47人）	116	7	10	5	13	0	0	4	19	14	10	1	10	16	1	6

①「感じる」・「やや感じる」の人の「その他」コメント（407名中6名記載）
・もっと感染症に関する情報を積極的に発信するべき。○○市　・不法外国人が発見されるまでは安全だと思ってました　・空き家が多い、動物が出没する（熊や鹿）
・近くの消防署の望楼で火災予防、発生、交通関係等また振り込み詐欺に注意、コロナウイルス感染予防等呼びかけ放送ありますので安心しております。　・浸水の心配がない
・岩手県は治安がいいと感じる。しかしながら交通に関して右左折する際のウインカーを出すタイミングが直前すぎるドライバーが非常に多いと感じます。免許更新時の講習や免許取得時の講習時に強く指導をした方がよいと思います。岩手にて東日本大震災、岩泉台風10号、昨年の台風19号などあり災害が多い県という印象があります。しかしながら県の総合防災害は体制、スタッフ共に有能であり他県に対してもほけれる組織だと感じています。（一時期防災にたずさわる職についていたため）数年前越野氏の講話を聞き感動しました。越野氏は前職が自衛官と聞きました。県庁だけでなく市町村にももっと積極的に自衛官経験者を採用すべきと思いました。

② 実感が変化なしの人の「その他」コメント（98名中9名記載）
・除雪　・歩行者の通路が狭い。（特に冬に雪が積もり凍結するため危ないと感じます）　・安全と思える要因が特に無い。わからない。
・公道の除雪が不十分。または不適切な場所が多い。　・何事も予測不能と考える　・熊の出没
・街灯が少ない　・老人が多く運転が危ない
・近所に遊技施設があるが見通しの悪い十字路で歩行者を気にせずスピード出過ぎの車両（お客さん）が多く常に危険

③「あまり感じない」・「感じない」の人の「その他」コメント（47名中6名記載）
・毎年変質者が出る　・新しく車を買ったころ知らない間に傷つけられていた　・熊の出没が増えてきている
・道路の除雪　・子供の登下校時人通りもなく不安に感じる
・隣接する国やJR・市の所有地の整備不良。防災のためにももっと予算をつけ整備しておかないと災害発生の可能性が高くなっている。もっと日常生活に近い整備がどんどん手薄になっている

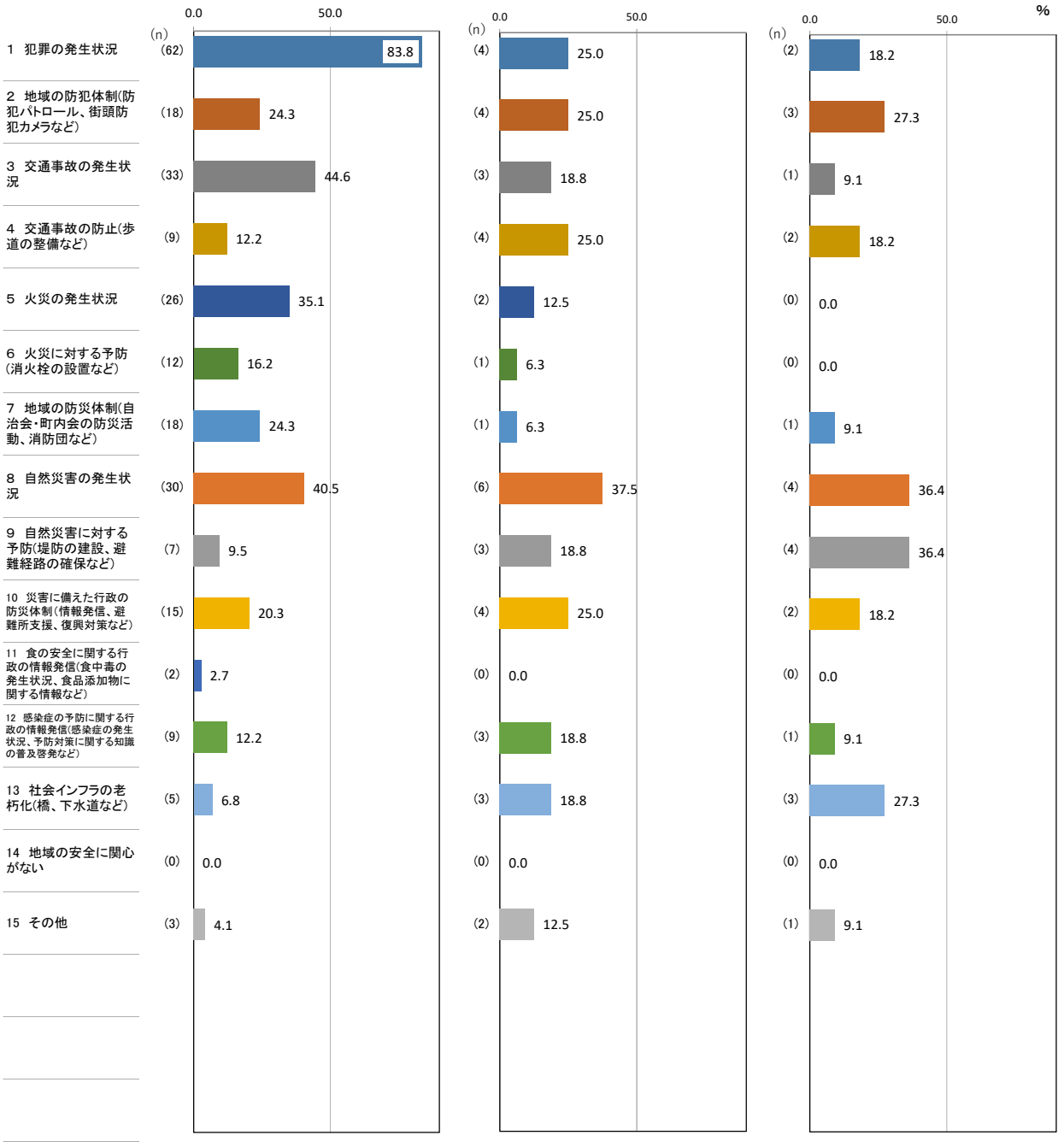
(3)分野別実感の属性別回答結果(単純集計)

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<50～59歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (249) 74 人	②「どちらともいえない」の回答 (40) 16 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (24) 11 人
1	1 犯罪の発生状況 (62)	8 自然災害の発生状況 (6)	8 自然災害の発生状況 (4)
2	3 交通事故の発生状況 (33)	1 犯罪の発生状況 (4)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (4) 1位
3	8 自然災害の発生状況 (30)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (4) 2位	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (3)
		4 交通事故の防止(歩道の整備など) (4) 2位	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (3) 3位
		10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (4) 2位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		83.8	24.3	44.6	12.2	35.1	16.2	24.3	40.5	9.5	20.3	2.7	12.2	6.8	0.0	4.1
②「どちらともいえない」		25.0	25.0	18.8	25.0	12.5	6.3	6.3	37.5	18.8	25.0	0.0	18.8	18.8	0.0	12.5
③「あまり感じない・感じない」		18.2	27.3	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	36.4	36.4	18.2	0.0	9.1	27.3	0.0	9.1

（件）

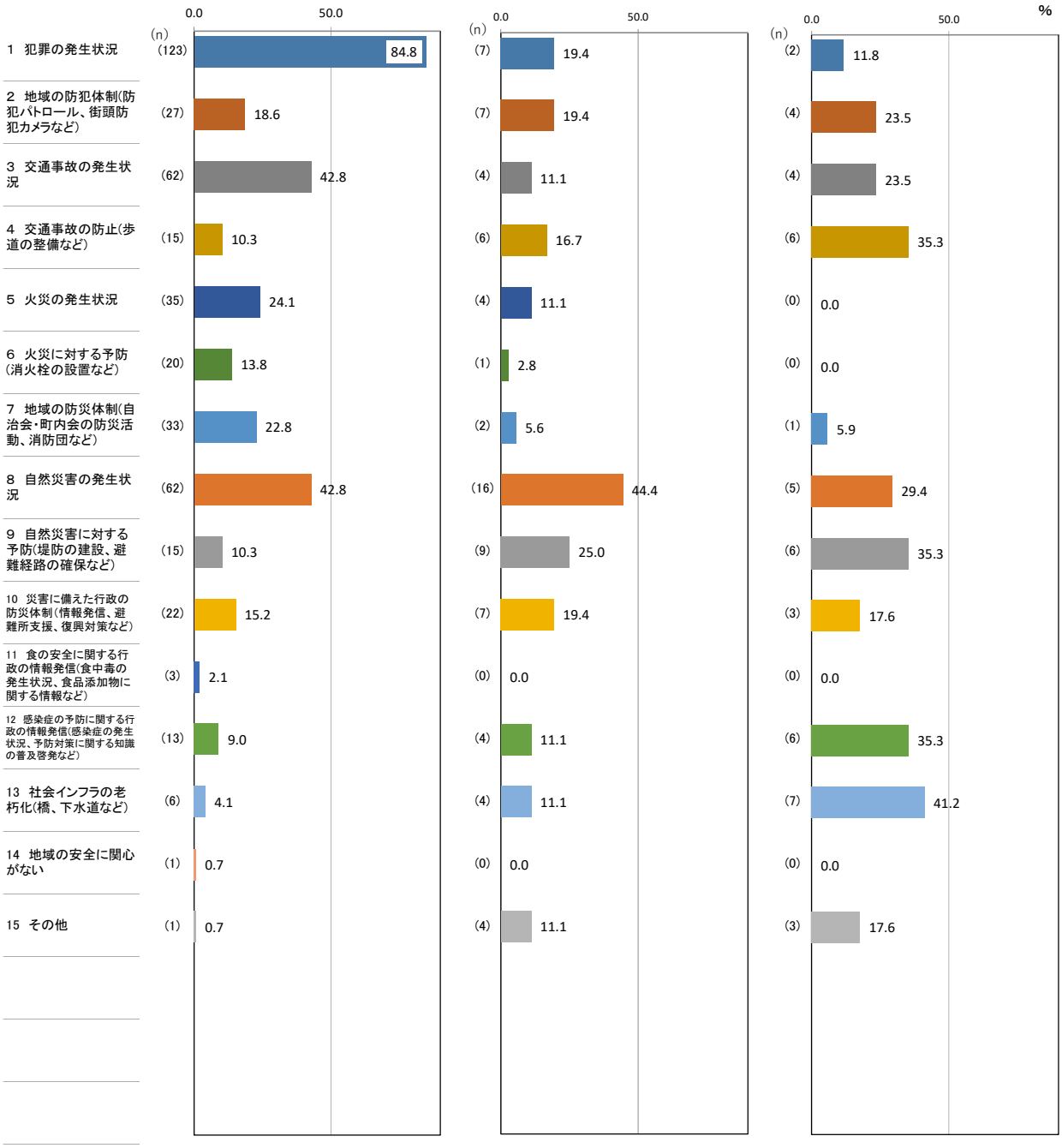
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝74人）	249	62	18	33	9	26	12	18	30	7	15	2	9	5	0	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝16人）	40	4	4	3	4	2	1	1	6	3	4	0	3	3	0	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝11人）	24	2	3	1	2	0	0	1	4	4	2	0	1	3	0	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (438) 145 人	②「どちらともいえない」の回答 (75) 36 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (47) 17 人
1	1 犯罪の発生状況 (123)	8 自然災害の発生状況 (16)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (7)
2	3 交通事故の発生状況 (62)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (9)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (6)
3	8 自然災害の発生状況 (62) 2位	1 犯罪の発生状況 (7)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (6) 2位
		2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (7) 3位	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (6) 2位
		10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (7) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜常用雇用者＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		84.8	18.6	42.8	10.3	24.1	13.8	22.8	42.8	10.3	15.2	2.1	9.0	4.1	0.7	0.7
②「どちらともいえない」		19.4	19.4	11.1	16.7	11.1	2.8	5.6	44.4	25.0	19.4	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1
③「あまり感じない・感じない」		11.8	23.5	23.5	35.3	0.0	0.0	5.9	29.4	35.3	17.6	0.0	35.3	41.2	0.0	17.6

（件）

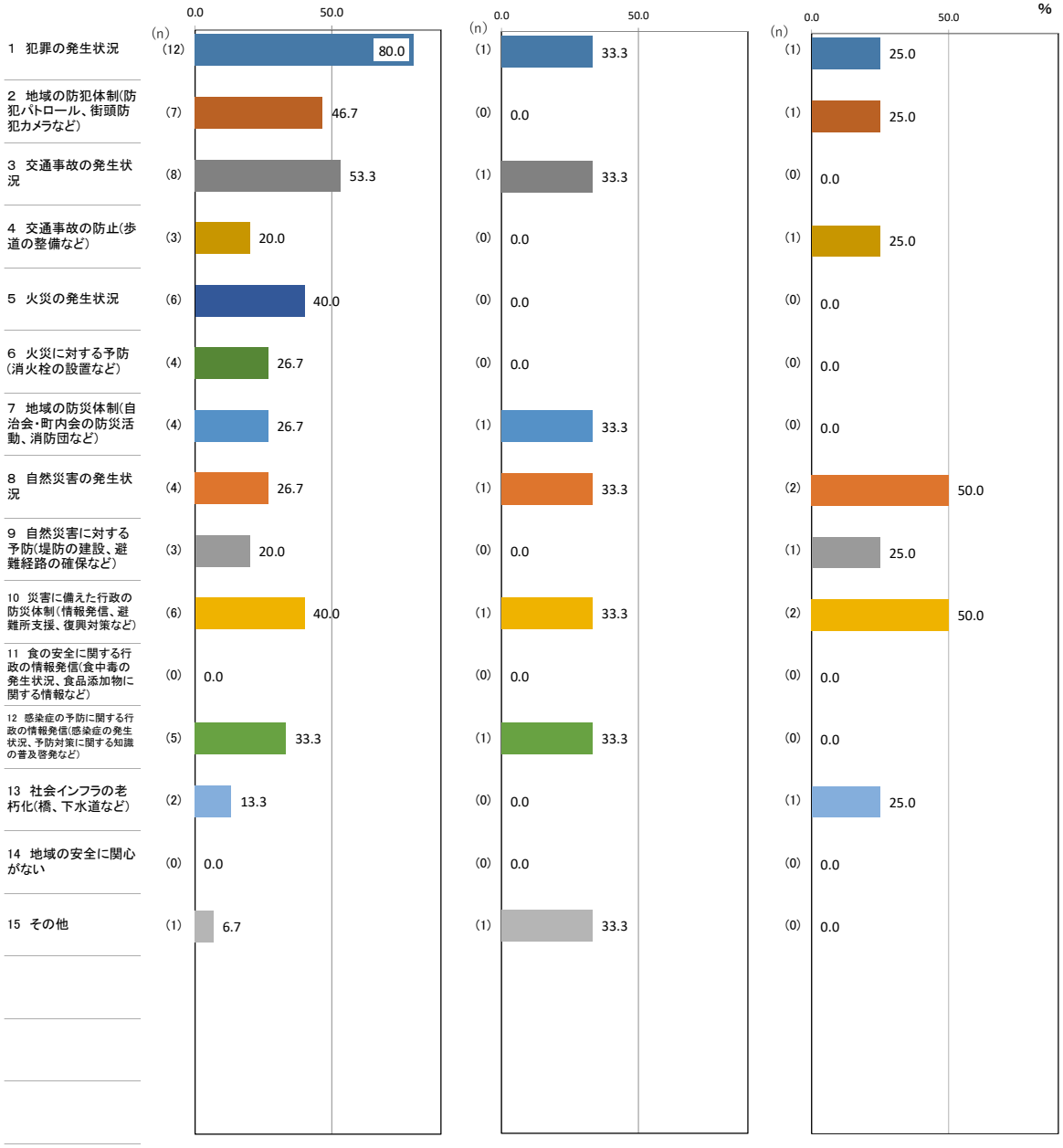
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝145人）	438	123	27	62	15	35	20	33	62	15	22	3	13	6	1	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝36人）	75	7	7	4	6	4	1	2	16	9	7	0	4	4	0	4
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝17人）	47	2	4	4	6	0	0	1	5	6	3	0	6	7	0	3

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜60歳以上の無職＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (65) 15 人	②「どちらともいえない」の回答 (7) 3 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (9) 4 人
1	1 犯罪の発生状況 (12)	1 犯罪の発生状況 (1)	8 自然災害の発生状況 (2)
2	3 交通事故の発生状況 (8)	3 交通事故の発生状況 (1) 1位	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (2) 1位
3	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (7)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (1) 1位	1 犯罪の発生状況 (1)
		8 自然災害の発生状況 (1) 1位	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (1) 2位
		10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (1) 1位	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (1) 2位
		12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (1) 1位	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (1) 2位
			13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (1) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60歳以上の無職＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		80.0	46.7	53.3	20.0	40.0	26.7	26.7	26.7	20.0	40.0	0.0	33.3	13.3	0.0	6.7
②「どちらともいえない」		33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
③「あまり感じない・感じない」		25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

（件）

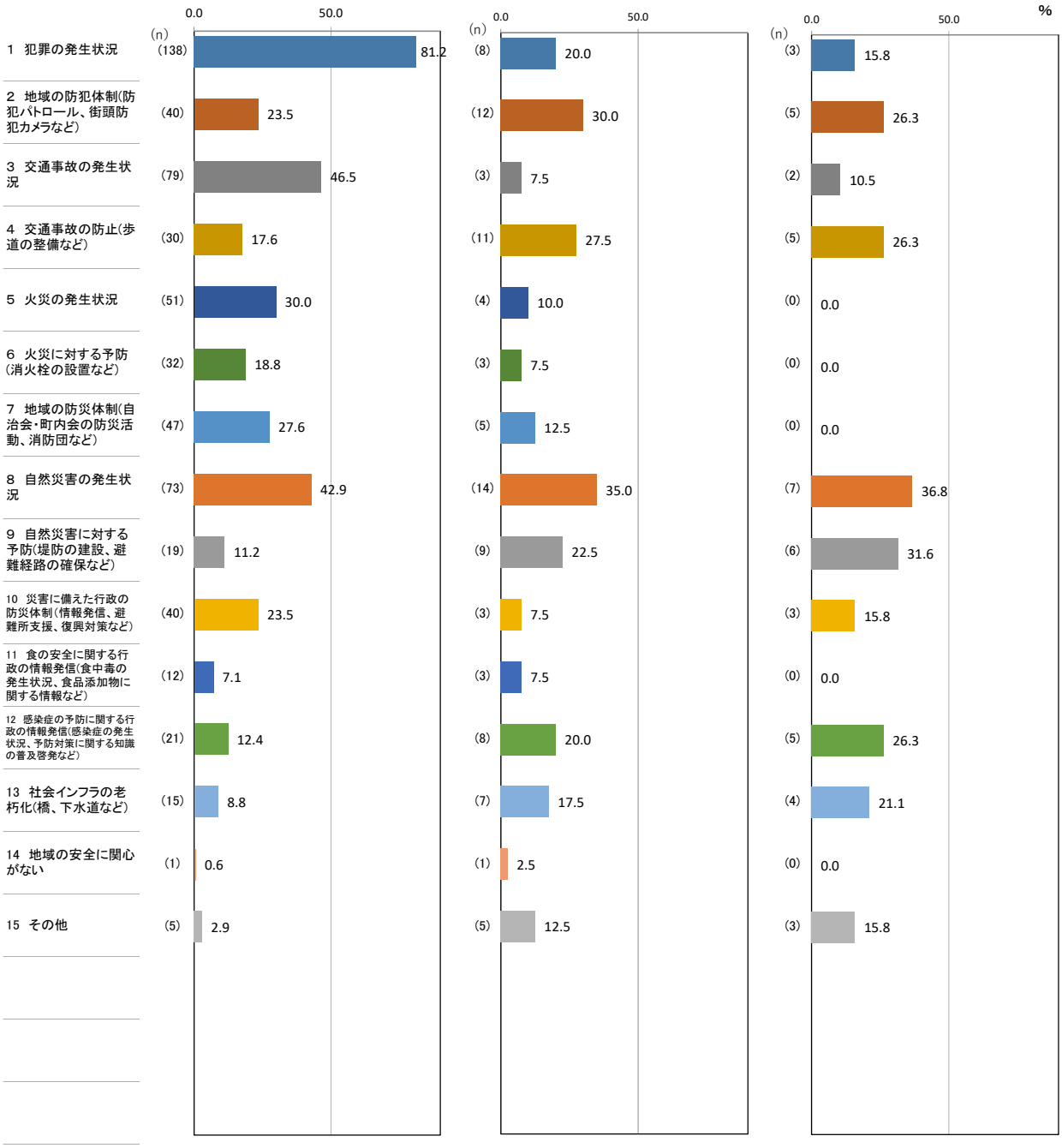
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝15人）	65	12	7	8	3	6	4	4	4	3	6	0	5	2	0	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝3人）	7	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝4人）	9	1	1	0	1	0	0	0	2	1	2	0	0	1	0	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<2世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (603) 170 人	②「どちらともいえない」の回答 (96) 40 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (43) 19 人
1	1 犯罪の発生状況 (138)	8 自然災害の発生状況 (14)	8 自然災害の発生状況 (7)
2	3 交通事故の発生状況 (79)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (12)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (6)
3	8 自然災害の発生状況 (73)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (11)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (5)
			4 交通事故の防止(歩道の整備など) (5) 3位
			12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (5) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜2世代世帯＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		81.2	23.5	46.5	17.6	30.0	18.8	27.6	42.9	11.2	23.5	7.1	12.4	8.8	0.6	2.9
②「どちらともいえない」		20.0	30.0	7.5	27.5	10.0	7.5	12.5	35.0	22.5	7.5	7.5	20.0	17.5	2.5	12.5
③「あまり感じない・感じない」		15.8	26.3	10.5	26.3	0.0	0.0	0.0	36.8	31.6	15.8	0.0	26.3	21.1	0.0	15.8

（件）

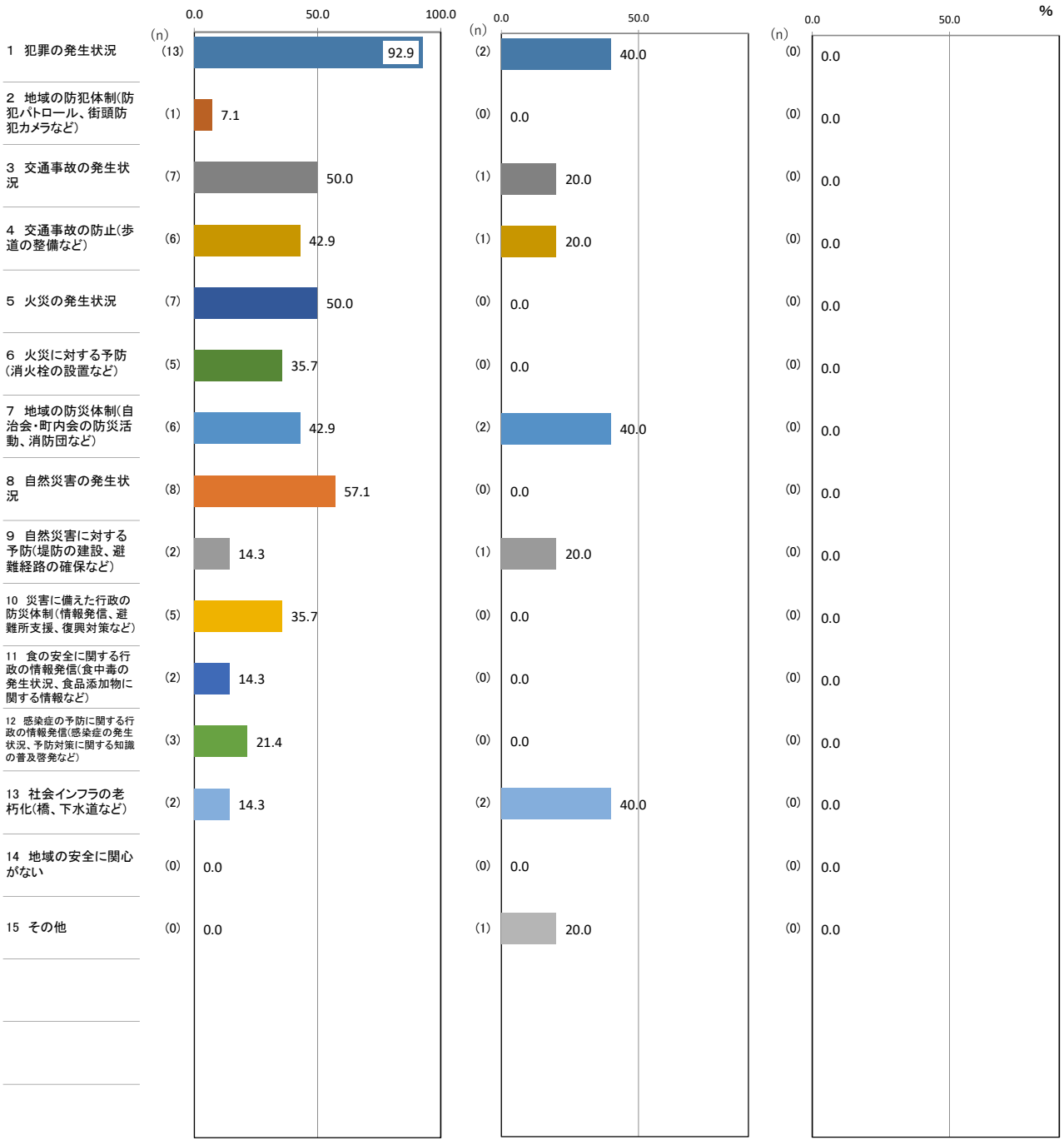
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝170人）	603	138	40	79	30	51	32	47	73	19	40	12	21	15	1	5
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝40人）	96	8	12	3	11	4	3	5	14	9	3	3	8	7	1	5
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝19人）	43	3	5	2	5	0	0	0	7	6	3	0	5	4	0	3

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜子の人数4人以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (67) 14 人	②「どちらともいえない」の回答 (10) 5 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (0) 0 人
1	1 犯罪の発生状況 (13)	1 犯罪の発生状況 (2)	#N/A #N/A
2	8 自然災害の発生状況 (8)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (2) 1位	#N/A #N/A
3	3 交通事故の発生状況 (7)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (2) 1位	#N/A #N/A
	5 火災の発生状況 (7) 3位		

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数4人以上＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		92.9	7.1	50.0	42.9	50.0	35.7	42.9	57.1	14.3	35.7	14.3	21.4	14.3	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0
③「あまり感じない・感じない」		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝14人）	67	13	1	7	6	7	5	6	8	2	5	2	3	2	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝5人）	10	2	0	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	2	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝0人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

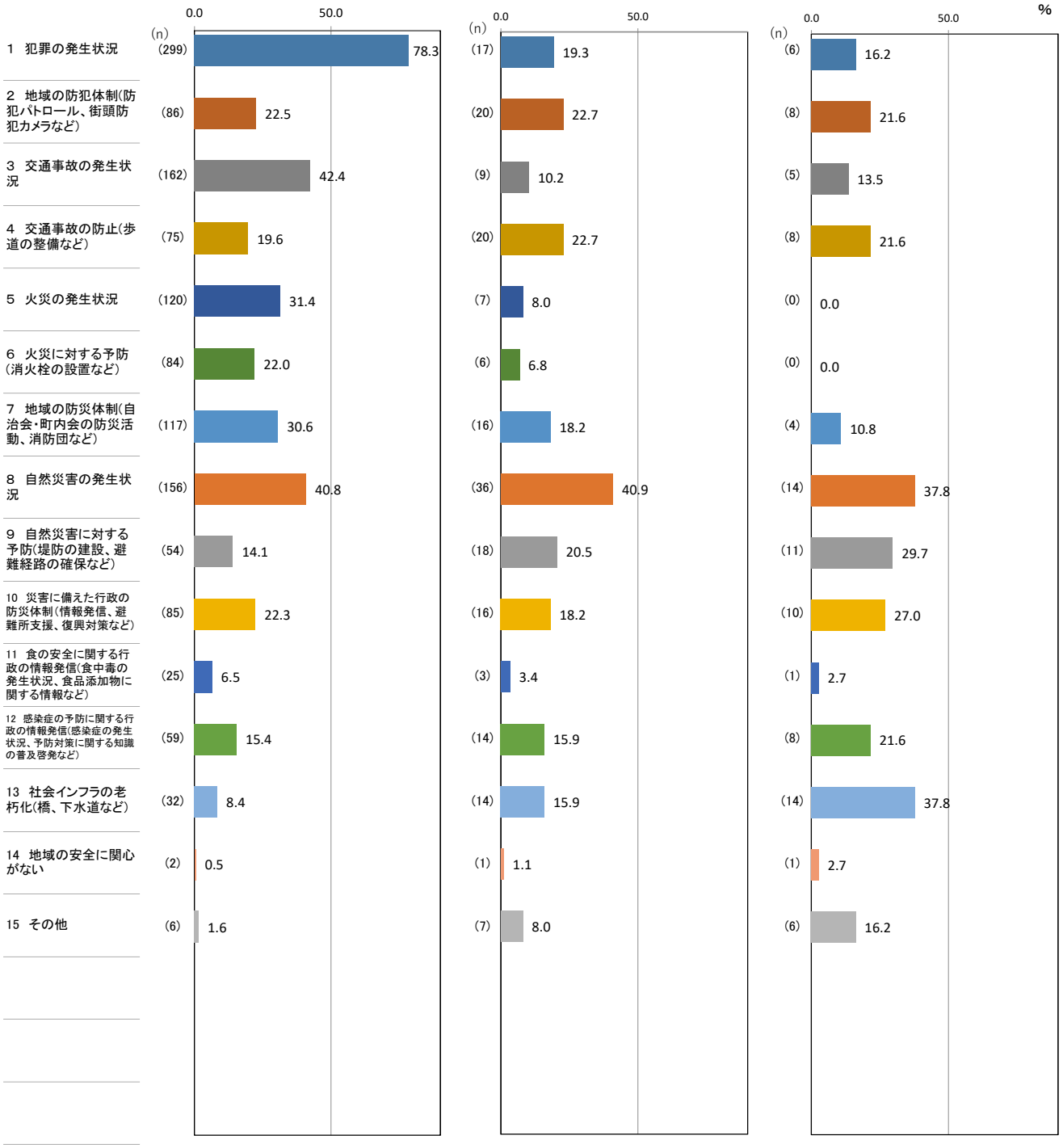
分野別実感の回答結果「地域の安全」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,362) 382 人	②「どちらともいえない」の回答 (204) 88 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (96) 37 人
1	1 犯罪の発生状況 (299)	8 自然災害の発生状況 (36)	8 自然災害の発生状況 (14)
2	3 交通事故の発生状況 (162)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (20)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (14)
3	8 自然災害の発生状況 (156)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (20)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (11)

1位

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		78.3	22.5	42.4	19.6	31.4	22.0	30.6	40.8	14.1	22.3	6.5	15.4	8.4	0.5	1.6
②「どちらともいえない」		19.3	22.7	10.2	22.7	8.0	6.8	18.2	40.9	20.5	18.2	3.4	15.9	15.9	1.1	8.0
③「あまり感じない・感じない」		16.2	21.6	13.5	21.6	0.0	0.0	10.8	37.8	29.7	27.0	2.7	21.6	37.8	2.7	16.2

（件）

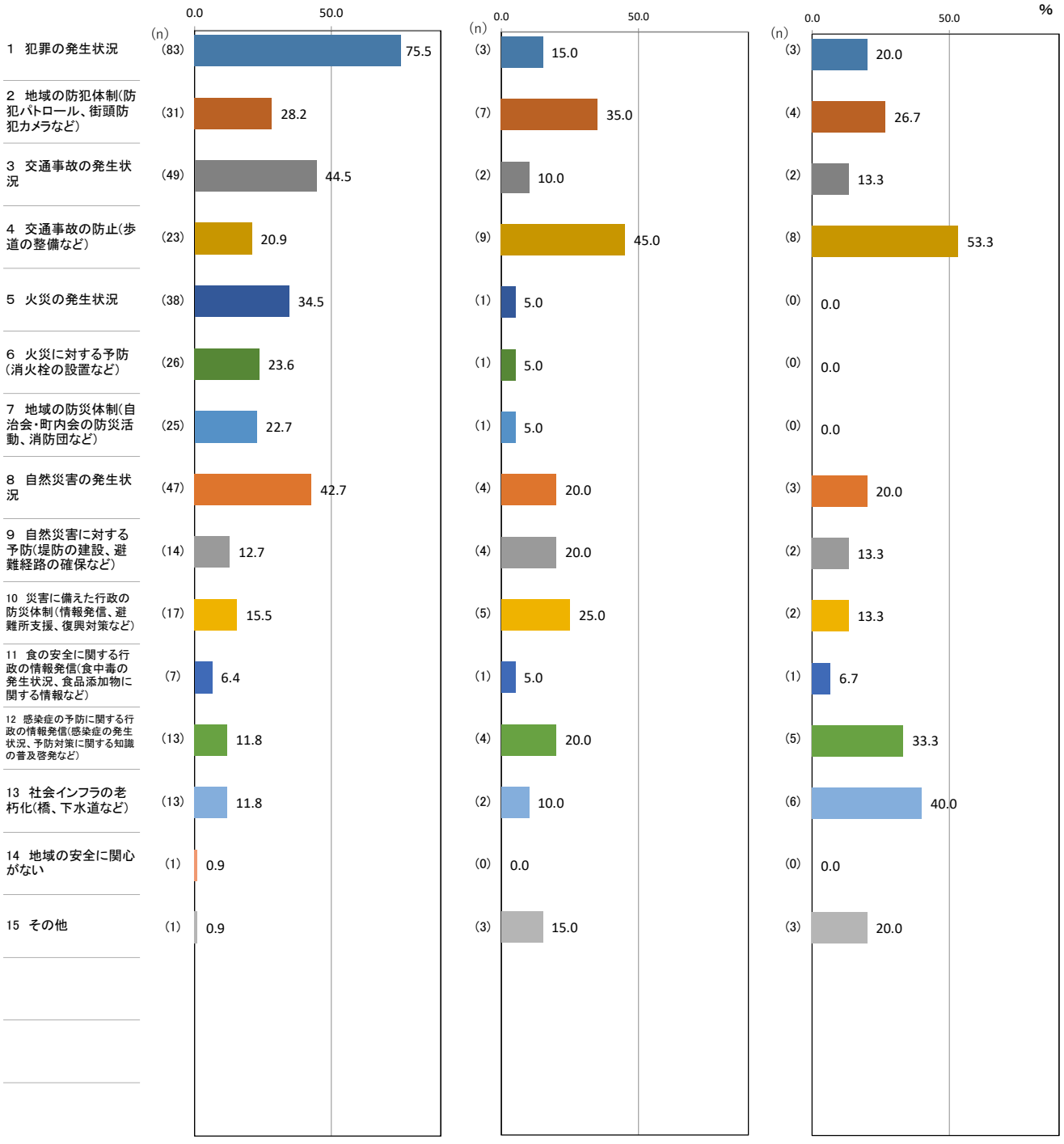
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝382人）	1362	299	86	162	75	120	84	117	156	54	85	25	59	32	2	6
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝88人）	204	17	20	9	20	7	6	16	36	18	16	3	14	14	1	7
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝37人）	96	6	8	5	8	0	0	4	14	11	10	1	8	14	1	6

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (388) 110 人	②「どちらともいえない」の回答 (47) 20 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (39) 15 人
1	1 犯罪の発生状況 (83)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (9)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (8)
2	3 交通事故の発生状況 (49)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (7)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (6)
3	8 自然災害の発生状況 (47)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (5)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (5)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県央広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		75.5	28.2	44.5	20.9	34.5	23.6	22.7	42.7	12.7	15.5	6.4	11.8	11.8	0.9	0.9
②「どちらともいえない」		15.0	35.0	10.0	45.0	5.0	5.0	5.0	20.0	20.0	25.0	5.0	20.0	10.0	0.0	15.0
③「あまり感じない・感じない」		20.0	26.7	13.3	53.3	0.0	0.0	0.0	20.0	13.3	13.3	6.7	33.3	40.0	0.0	20.0

（件）

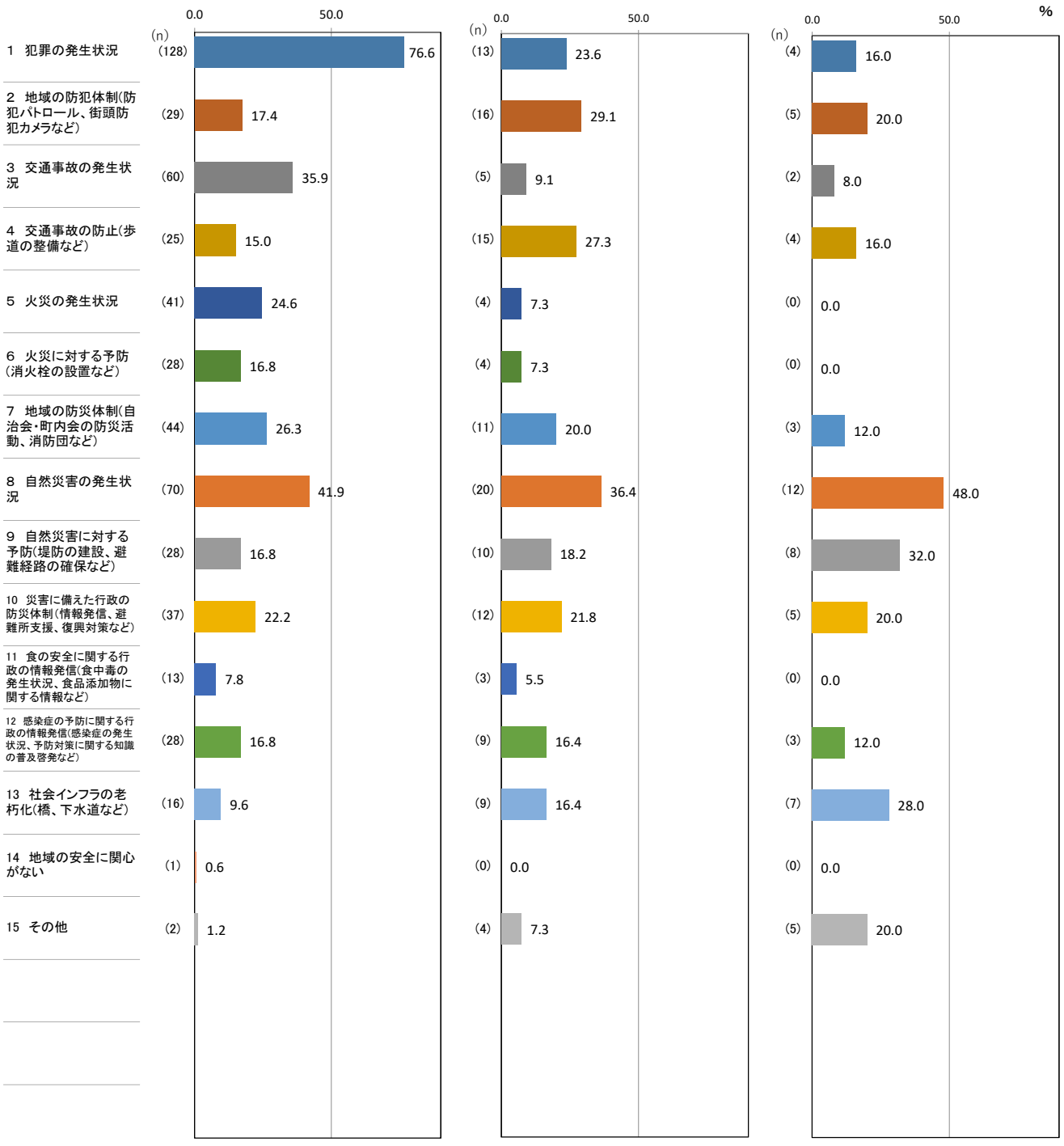
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝110人）	388	83	31	49	23	38	26	25	47	14	17	7	13	13	1	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝20人）	47	3	7	2	9	1	1	1	4	4	5	1	4	2	0	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝15人）	39	3	4	2	8	0	0	0	3	2	2	1	5	6	0	3

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (550) 167 人	②「どちらともいえない」の回答 (135) 55 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (58) 25 人
1	1 犯罪の発生状況 (128)	8 自然災害の発生状況 (20)	8 自然災害の発生状況 (12)
2	8 自然災害の発生状況 (70)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (16)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (8)
3	3 交通事故の発生状況 (60)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (15)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜女性＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		76.6	17.4	35.9	15.0	24.6	16.8	26.3	41.9	16.8	22.2	7.8	16.8	9.6	0.6	1.2
②「どちらともいえない」		23.6	29.1	9.1	27.3	7.3	7.3	20.0	36.4	18.2	21.8	5.5	16.4	16.4	0.0	7.3
③「あまり感じない・感じない」		16.0	20.0	8.0	16.0	0.0	0.0	12.0	48.0	32.0	20.0	0.0	12.0	28.0	0.0	20.0

（件）

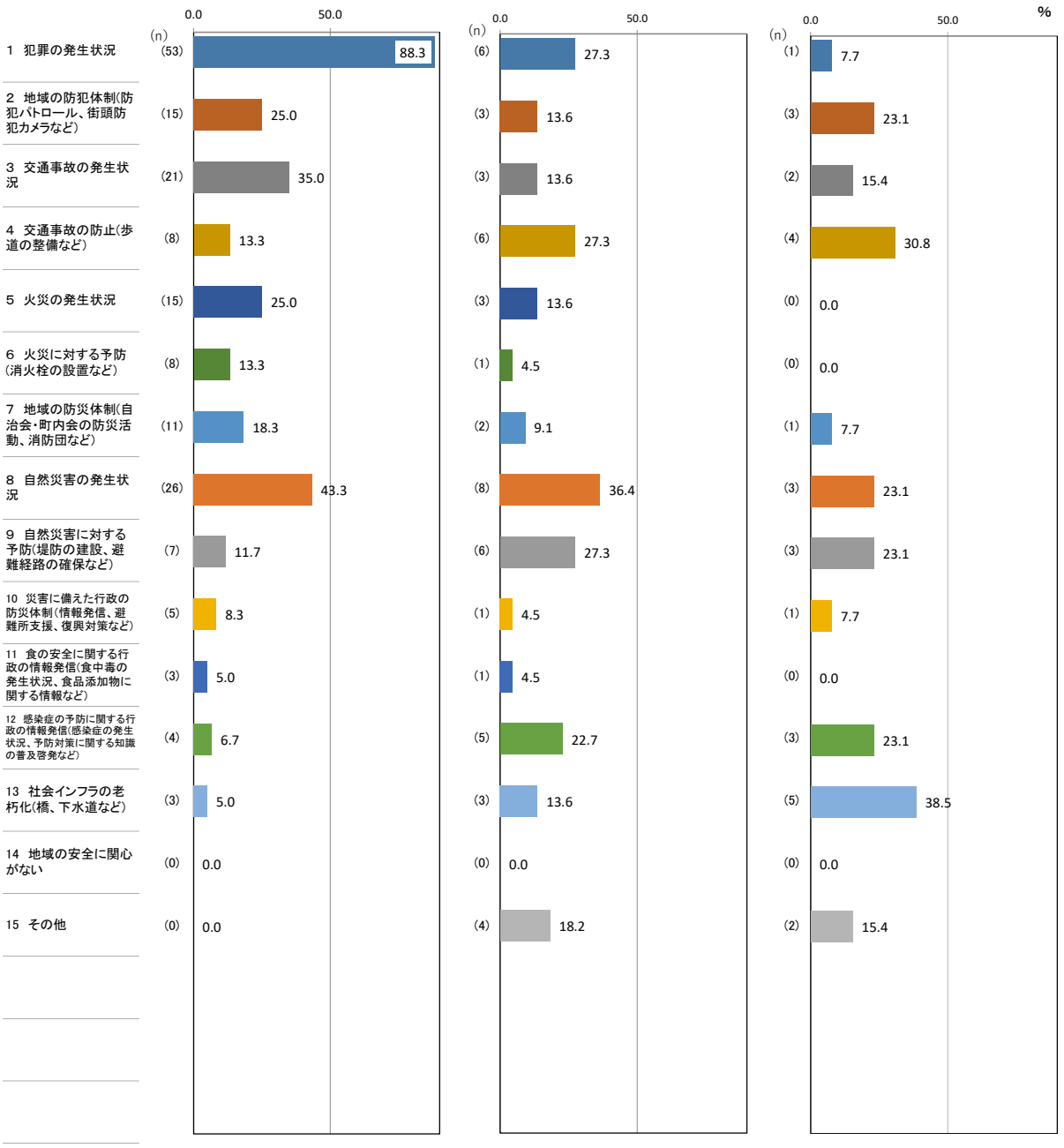
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝167人）	550	128	29	60	25	41	28	44	70	28	37	13	28	16	1	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝55人）	135	13	16	5	15	4	4	11	20	10	12	3	9	9	0	4
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝25人）	58	4	5	2	4	0	0	3	12	8	5	0	3	7	0	5

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜40～49歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (179) 60 人	②「どちらともいえない」の回答 (52) 22 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (28) 13 人
1	1 犯罪の発生状況 (53)	8 自然災害の発生状況 (8)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (5)
2	8 自然災害の発生状況 (26)	1 犯罪の発生状況 (6)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (4)
3	3 交通事故の発生状況 (21)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (6) 2位	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (3)
		9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (6) 2位	8 自然災害の発生状況 (3) 3位
			9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (3) 3位
			12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (3) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜40～49歳＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		88.3	25.0	35.0	13.3	25.0	13.3	18.3	43.3	11.7	8.3	5.0	6.7	5.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		27.3	13.6	13.6	27.3	13.6	4.5	9.1	36.4	27.3	4.5	4.5	22.7	13.6	0.0	18.2
③「あまり感じない・感じない」		7.7	23.1	15.4	30.8	0.0	0.0	7.7	23.1	23.1	7.7	0.0	23.1	38.5	0.0	15.4

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝60人）	179	53	15	21	8	15	8	11	26	7	5	3	4	3	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝22人）	52	6	3	3	6	3	1	2	8	6	1	1	5	3	0	4
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝13人）	28	1	3	2	4	0	0	1	3	3	1	0	3	5	0	2

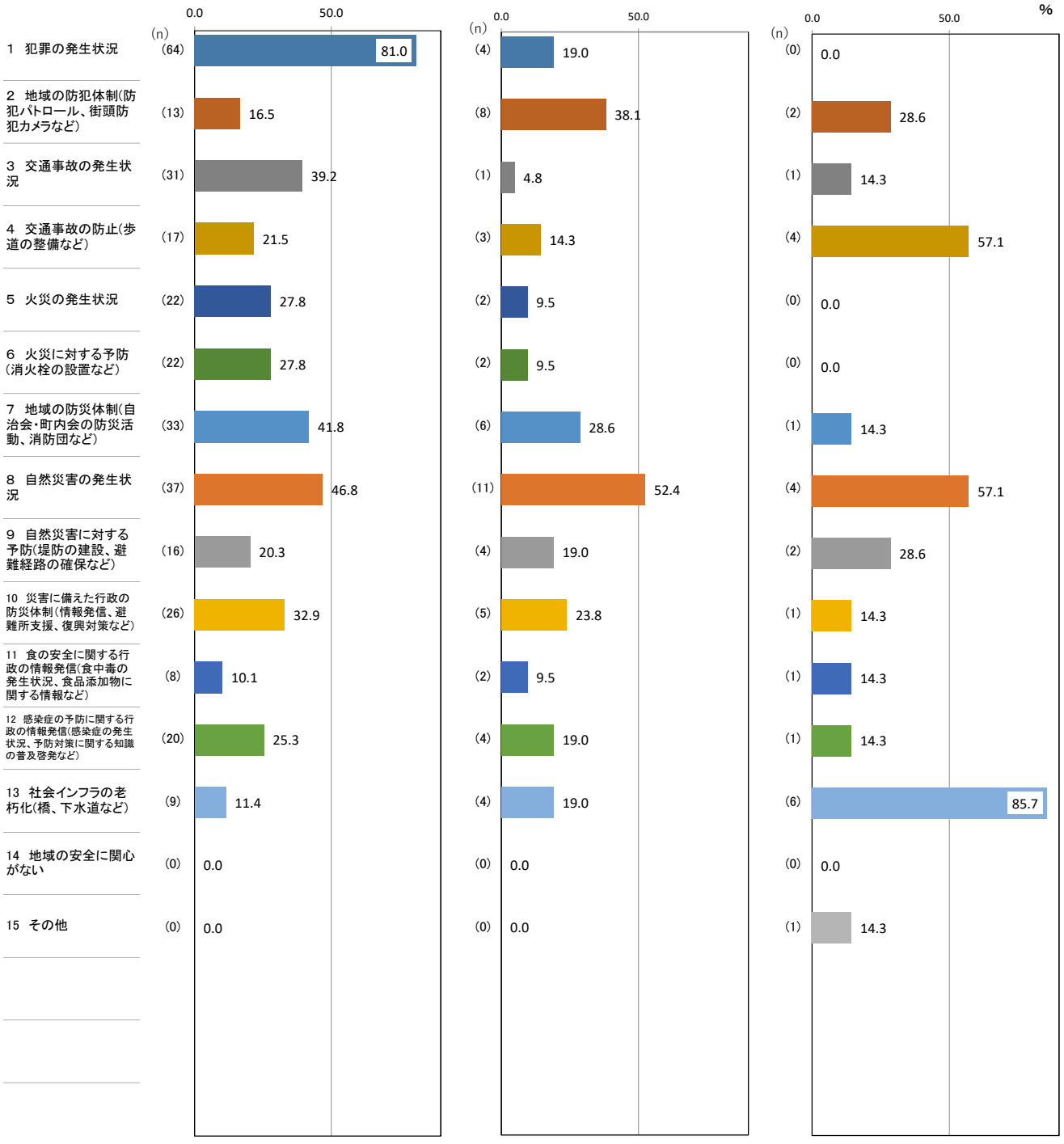
【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜60～69歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (318) 79 人	②「どちらともいえない」の回答 (56) 21 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (24) 7 人
1	1 犯罪の発生状況 (64)	8 自然災害の発生状況 (11)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (6)
2	8 自然災害の発生状況 (37)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (8)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (4)
3	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (33)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (6)	8 自然災害の発生状況 (4)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60～69歳＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		81.0	16.5	39.2	21.5	27.8	27.8	41.8	46.8	20.3	32.9	10.1	25.3	11.4	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		19.0	38.1	4.8	14.3	9.5	9.5	28.6	52.4	19.0	23.8	9.5	19.0	19.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	28.6	14.3	57.1	0.0	0.0	14.3	57.1	28.6	14.3	14.3	14.3	85.7	0.0	14.3

（件）

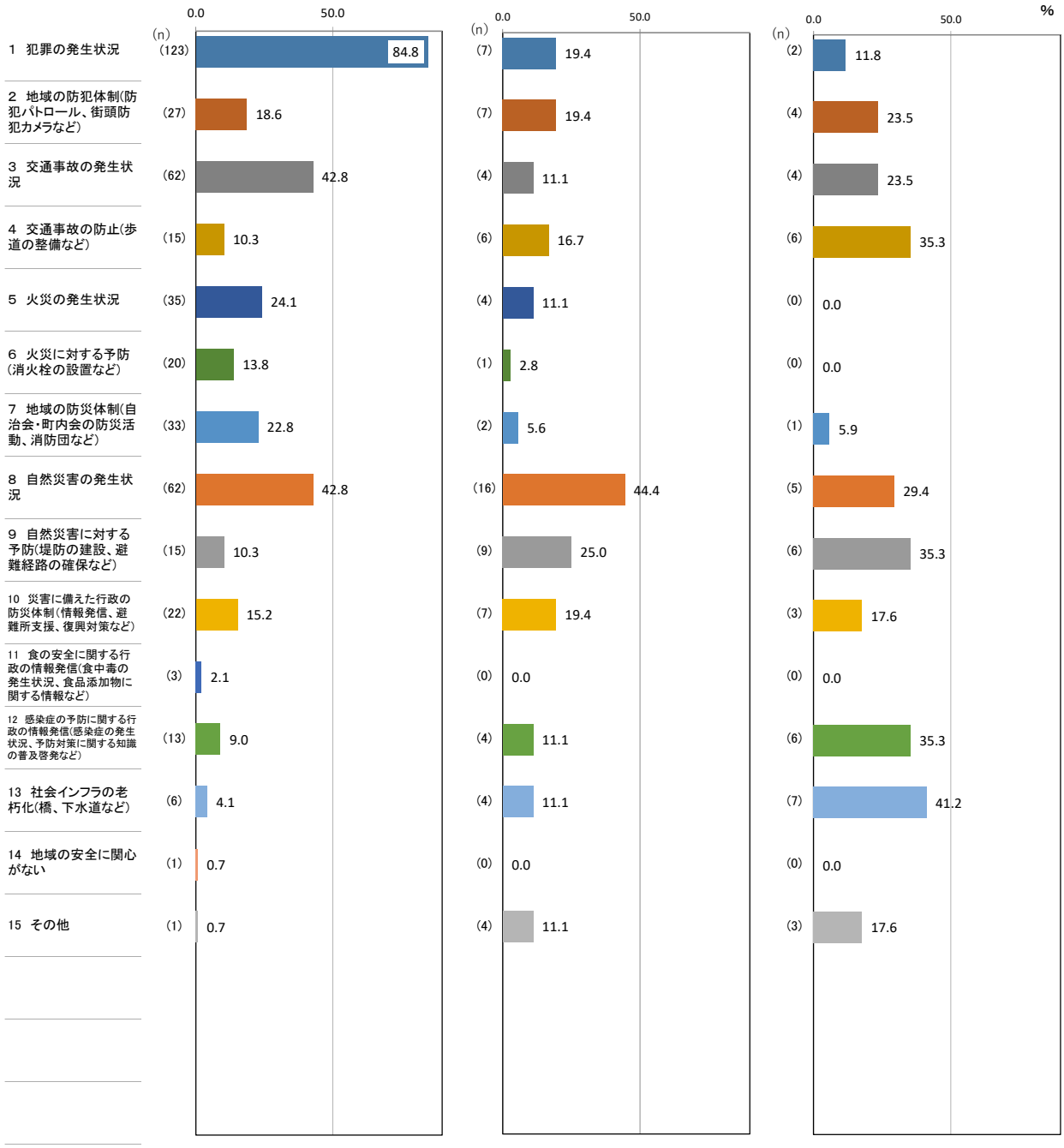
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝79人）	318	64	13	31	17	22	22	33	37	16	26	8	20	9	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝21人）	56	4	8	1	3	2	2	6	11	4	5	2	4	4	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝7人）	24	0	2	1	4	0	0	1	4	2	1	1	1	6	0	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (438) 145 人	②「どちらともいえない」の回答 (75) 36 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (47) 17 人
1	1 犯罪の発生状況 (123)	8 自然災害の発生状況 (16)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (7)
2	3 交通事故の発生状況 (62)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (9)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (6)
3	8 自然災害の発生状況 (62) 2位	1 犯罪の発生状況 (7)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (6) 2位
		2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (7) 3位	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (6) 2位
		10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (7) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜常用雇用者＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		84.8	18.6	42.8	10.3	24.1	13.8	22.8	42.8	10.3	15.2	2.1	9.0	4.1	0.7	0.7
②「どちらともいえない」		19.4	19.4	11.1	16.7	11.1	2.8	5.6	44.4	25.0	19.4	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1
③「あまり感じない・感じない」		11.8	23.5	23.5	35.3	0.0	0.0	5.9	29.4	35.3	17.6	0.0	35.3	41.2	0.0	17.6

（件）

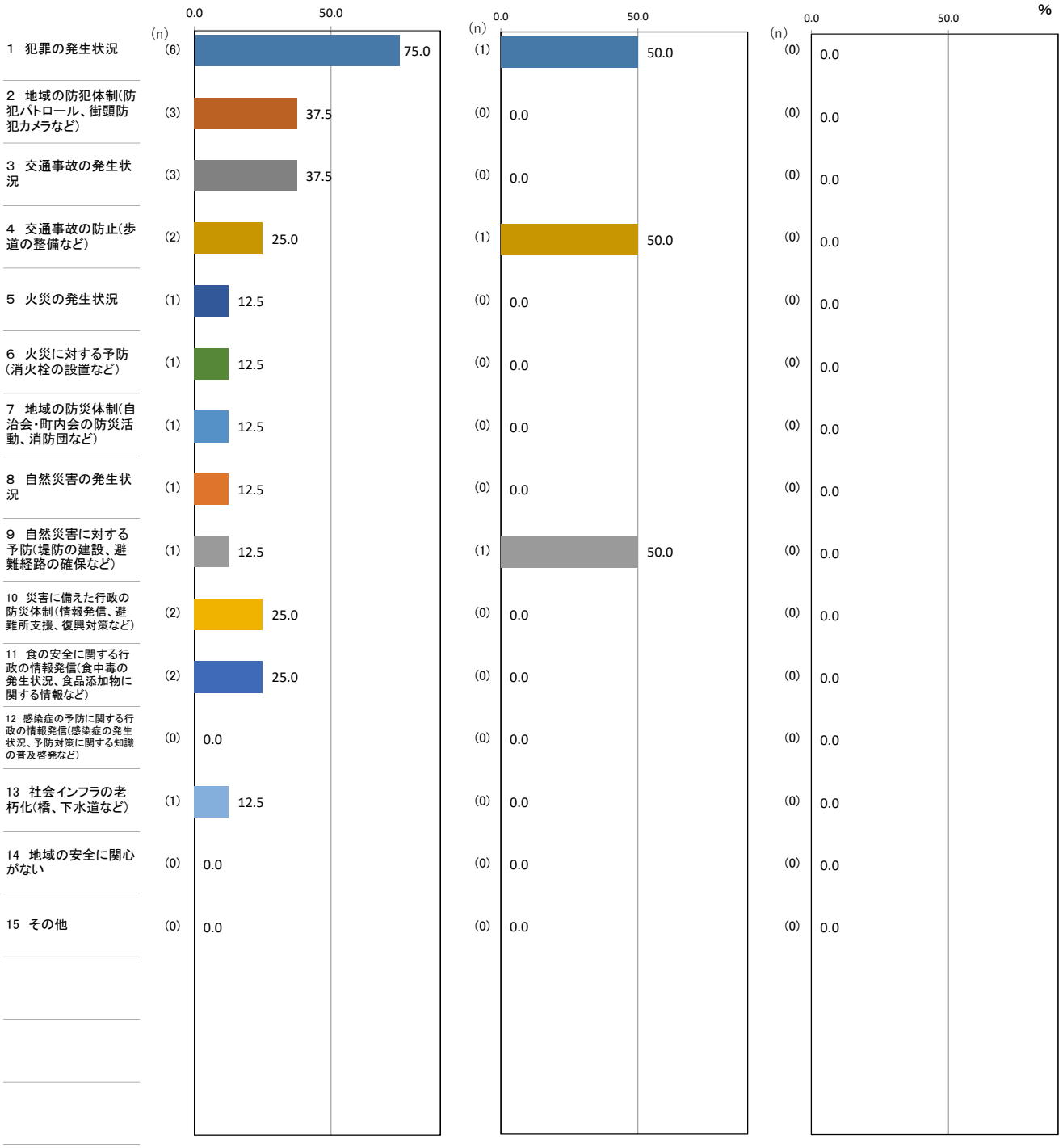
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝145人）	438	123	27	62	15	35	20	33	62	15	22	3	13	6	1	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝36人）	75	7	7	4	6	4	1	2	16	9	7	0	4	4	0	4
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝17人）	47	2	4	4	6	0	0	1	5	6	3	0	6	7	0	3

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜学生＋その他＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (24) 8 人	②「どちらともいえない」の回答 (3) 2 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (0) 0 人
1	1 犯罪の発生状況 (6)	1 犯罪の発生状況 (1)	#N/A #N/A
2	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (3)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (1) 1位	#N/A #N/A
3	3 交通事故の発生状況 (3) 2位	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (1) 1位	#N/A #N/A

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜学生＋その他＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		75.0	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（件）

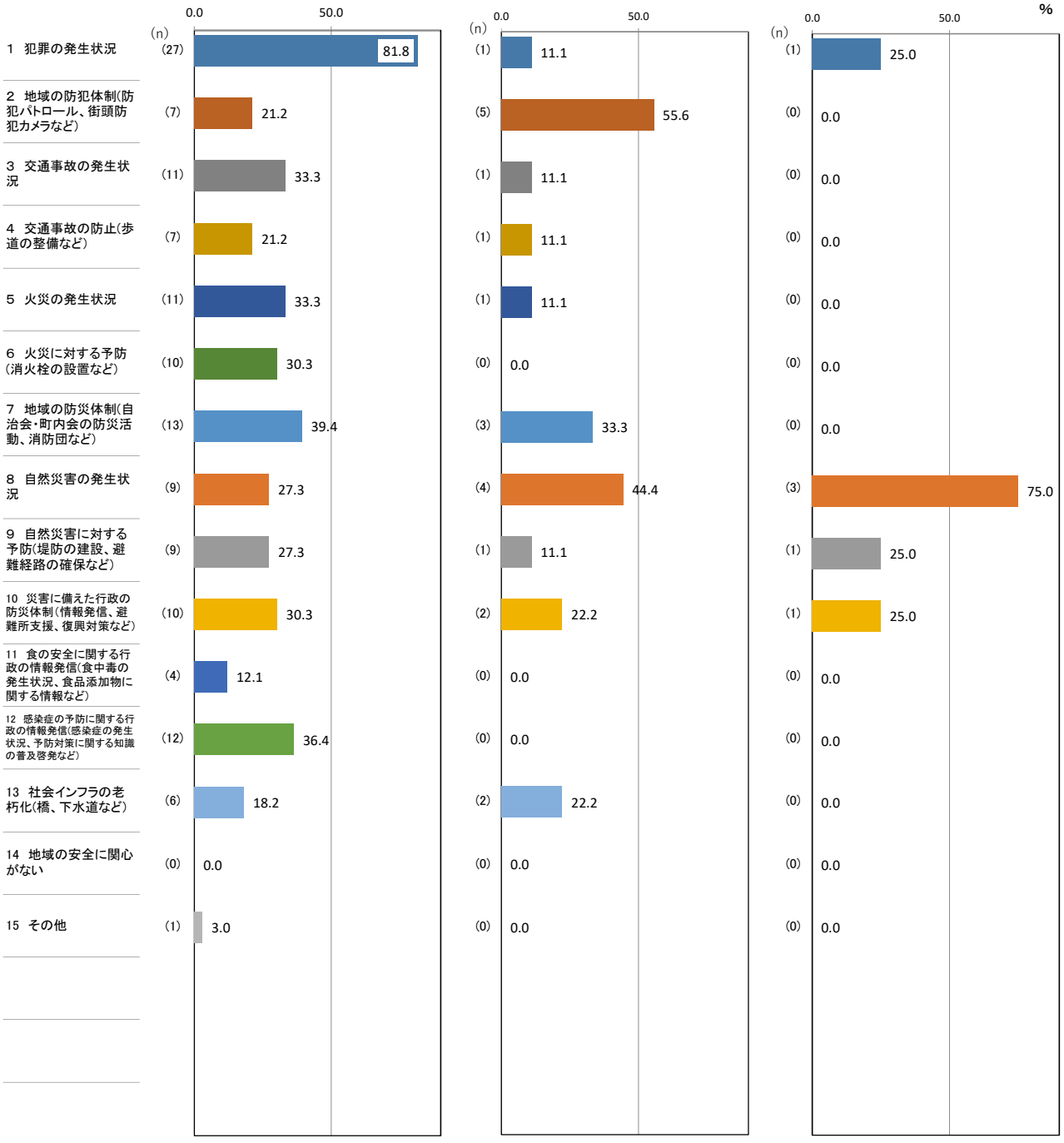
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝8人）	24	6	3	3	2	1	1	1	1	1	2	2	0	1	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝2人）	3	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝0人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜専業主婦・主夫＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (137) 33 人	②「どちらともいえない」の回答 (21) 9 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (6) 4 人
1	1 犯罪の発生状況 (27)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (5)	8 自然災害の発生状況 (3)
2	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (13)	8 自然災害の発生状況 (4)	1 犯罪の発生状況 (1)
3	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (12)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (3)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (1) 2位
			10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (1) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜専業主婦・主夫＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		81.8	21.2	33.3	21.2	33.3	30.3	39.4	27.3	27.3	30.3	12.1	36.4	18.2	0.0	3.0
②「どちらともいえない」		11.1	55.6	11.1	11.1	11.1	0.0	33.3	44.4	11.1	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（件）

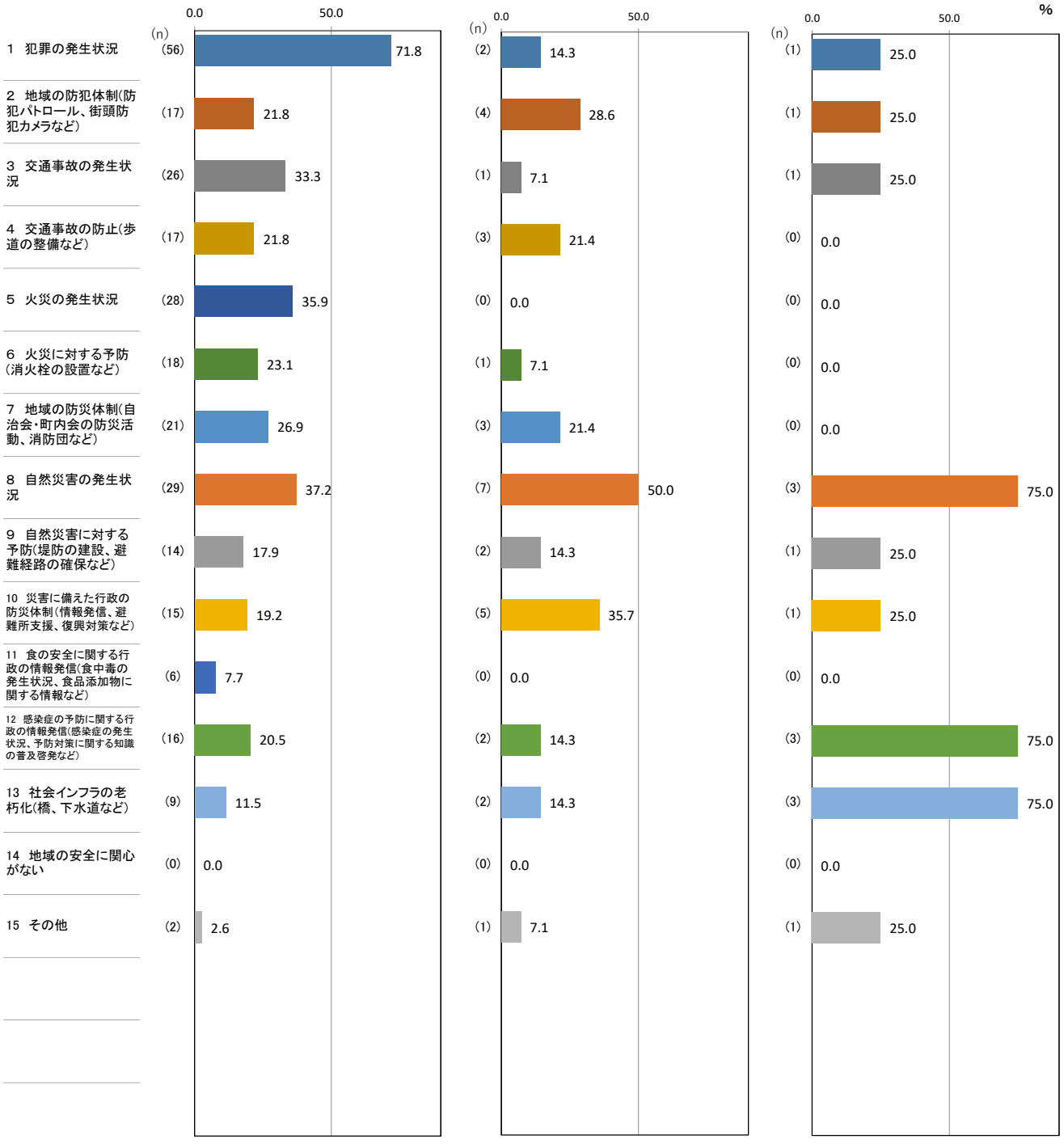
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝33人）	137	27	7	11	7	11	10	13	9	9	10	4	12	6	0	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝9人）	21	1	5	1	1	1	0	3	4	1	2	0	0	2	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝4人）	6	1	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (274) 78 人	②「どちらともいえない」の回答 (33) 14 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (15) 4 人
1	1 犯罪の発生状況 (56)	8 自然災害の発生状況 (7)	8 自然災害の発生状況 (3)
2	8 自然災害の発生状況 (29)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (5)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (3) 1位
3	5 火災の発生状況 (28)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (4)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (3) 1位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜夫婦のみ＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		71.8	21.8	33.3	21.8	35.9	23.1	26.9	37.2	17.9	19.2	7.7	20.5	11.5	0.0	2.6
②「どちらともいえない」		14.3	28.6	7.1	21.4	0.0	7.1	21.4	50.0	14.3	35.7	0.0	14.3	14.3	0.0	7.1
③「あまり感じない・感じない」		25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	25.0	0.0	75.0	75.0	0.0	25.0

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝78人）	274	56	17	26	17	28	18	21	29	14	15	6	16	9	0	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝14人）	33	2	4	1	3	0	1	3	7	2	5	0	2	2	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝4人）	15	1	1	1	0	0	0	0	3	1	1	0	3	3	0	1

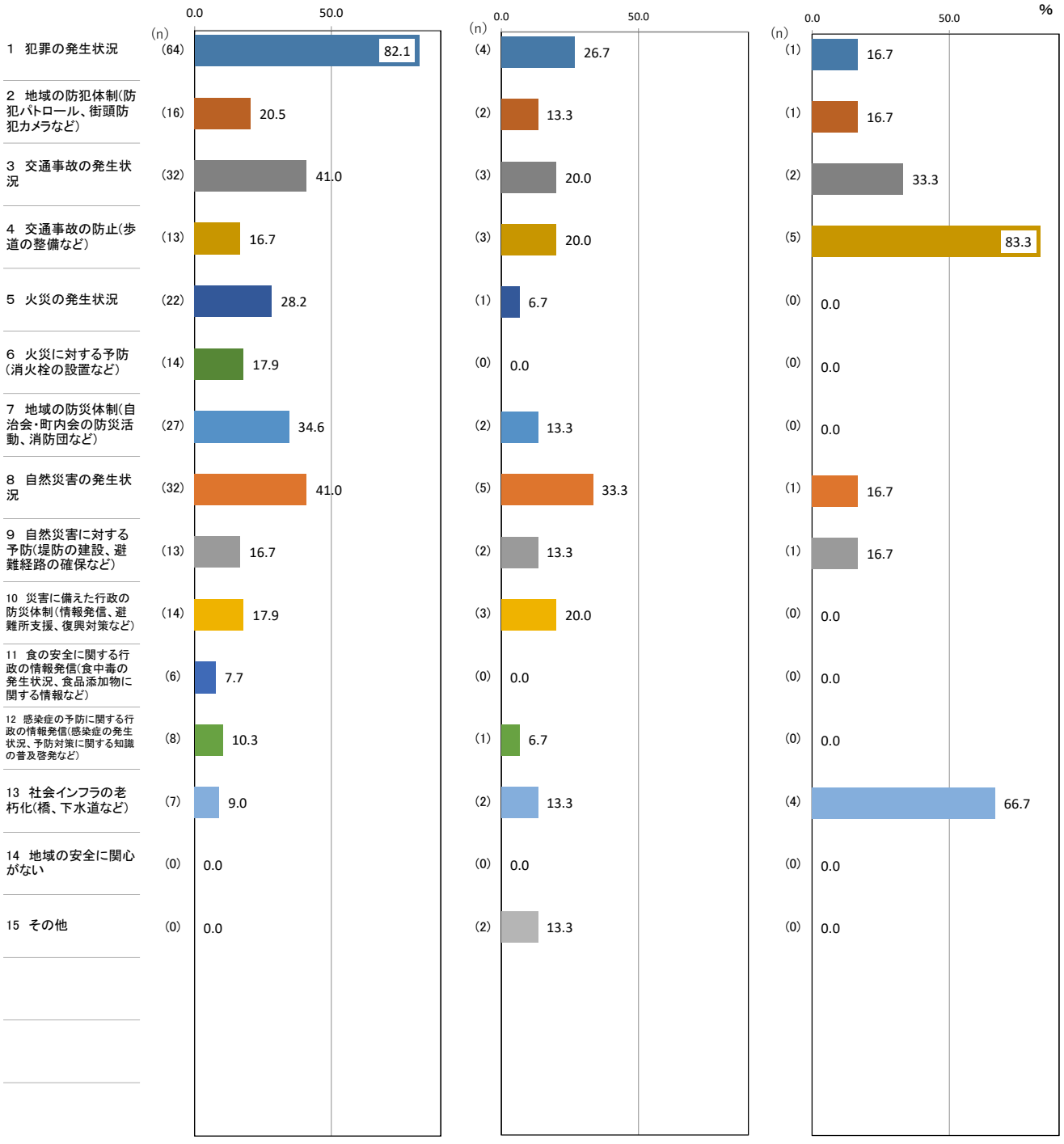
【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<3世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (268) 78 人	②「どちらともいえない」の回答 (30) 15 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (15) 6 人
1	1 犯罪の発生状況 (64)	8 自然災害の発生状況 (5)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (5)
2	3 交通事故の発生状況 (32)	1 犯罪の発生状況 (4)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (4)
3	8 自然災害の発生状況 (32)	3 交通事故の発生状況 (3)	3 交通事故の発生状況 (2)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜3世代世帯＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		82.1	20.5	41.0	16.7	28.2	17.9	34.6	41.0	16.7	17.9	7.7	10.3	9.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		26.7	13.3	20.0	20.0	6.7	0.0	13.3	33.3	13.3	20.0	0.0	6.7	13.3	0.0	13.3
③「あまり感じない・感じない」		16.7	16.7	33.3	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0

（件）

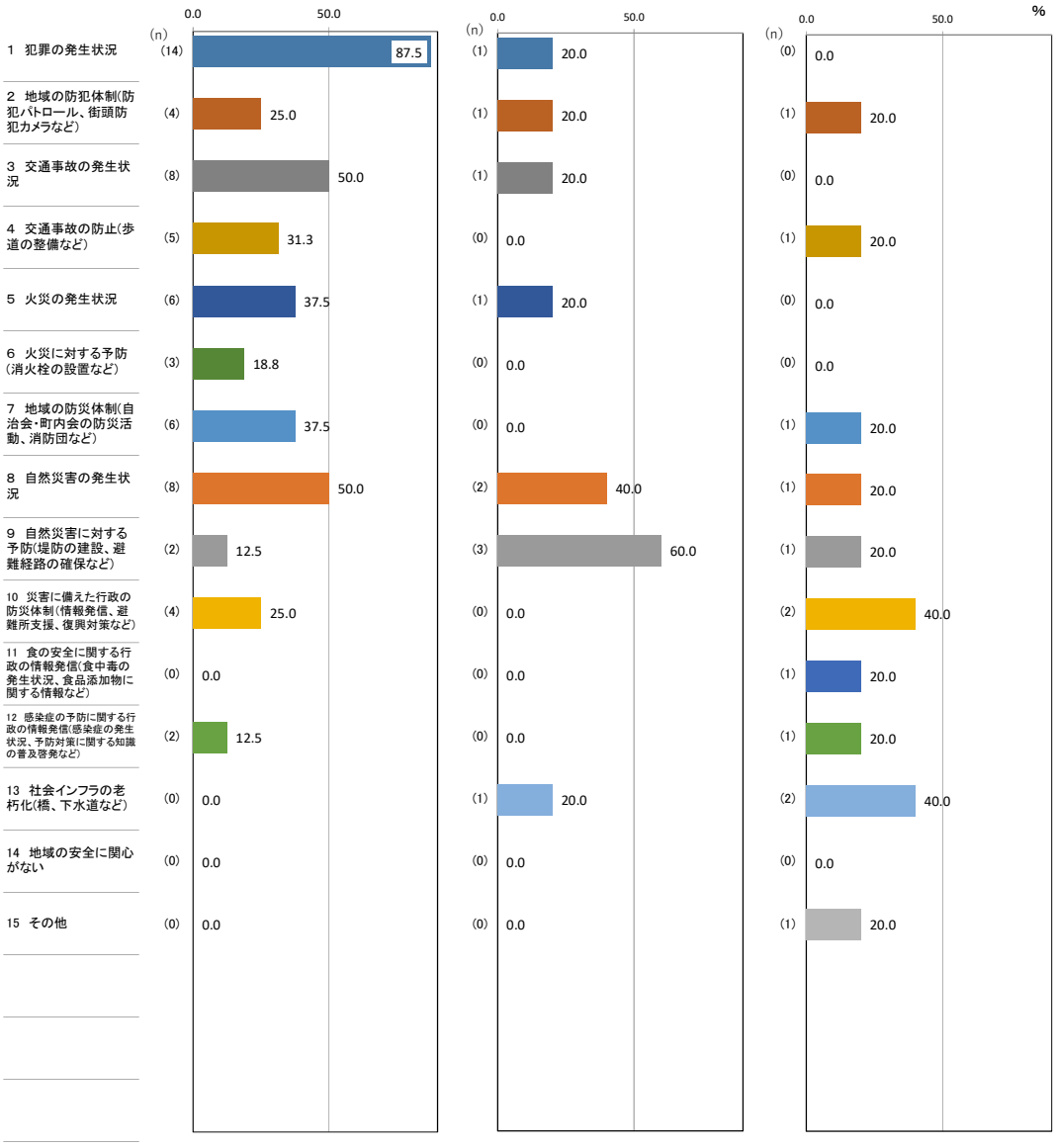
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝78人）	268	64	16	32	13	22	14	27	32	13	14	6	8	7	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝15人）	30	4	2	3	3	1	0	2	5	2	3	0	1	2	0	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝6人）	15	1	1	2	5	0	0	0	1	1	0	0	0	4	0	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<その他世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (62) 16 人	②「どちらともいえない」の回答 (10) 5 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (12) 5 人
1	1 犯罪の発生状況 (14)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (3)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (2)
2	3 交通事故の発生状況 (8)	8 自然災害の発生状況 (2)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (2) 1位
3	8 自然災害の発生状況 (8)	1 犯罪の発生状況 (1)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (1)
		2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (1) 3位	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (1) 3位
		3 交通事故の発生状況 (1) 3位	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (1) 3位
		5 火災の発生状況 (1) 3位	8 自然災害の発生状況 (1) 3位
		13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (1) 3位	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (1) 3位
			11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など) (1) 3位
			12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (1) 3位
			15 その他 (1) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜その他世帯＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		87.5	25.0	50.0	31.3	37.5	18.8	37.5	50.0	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0

（件）

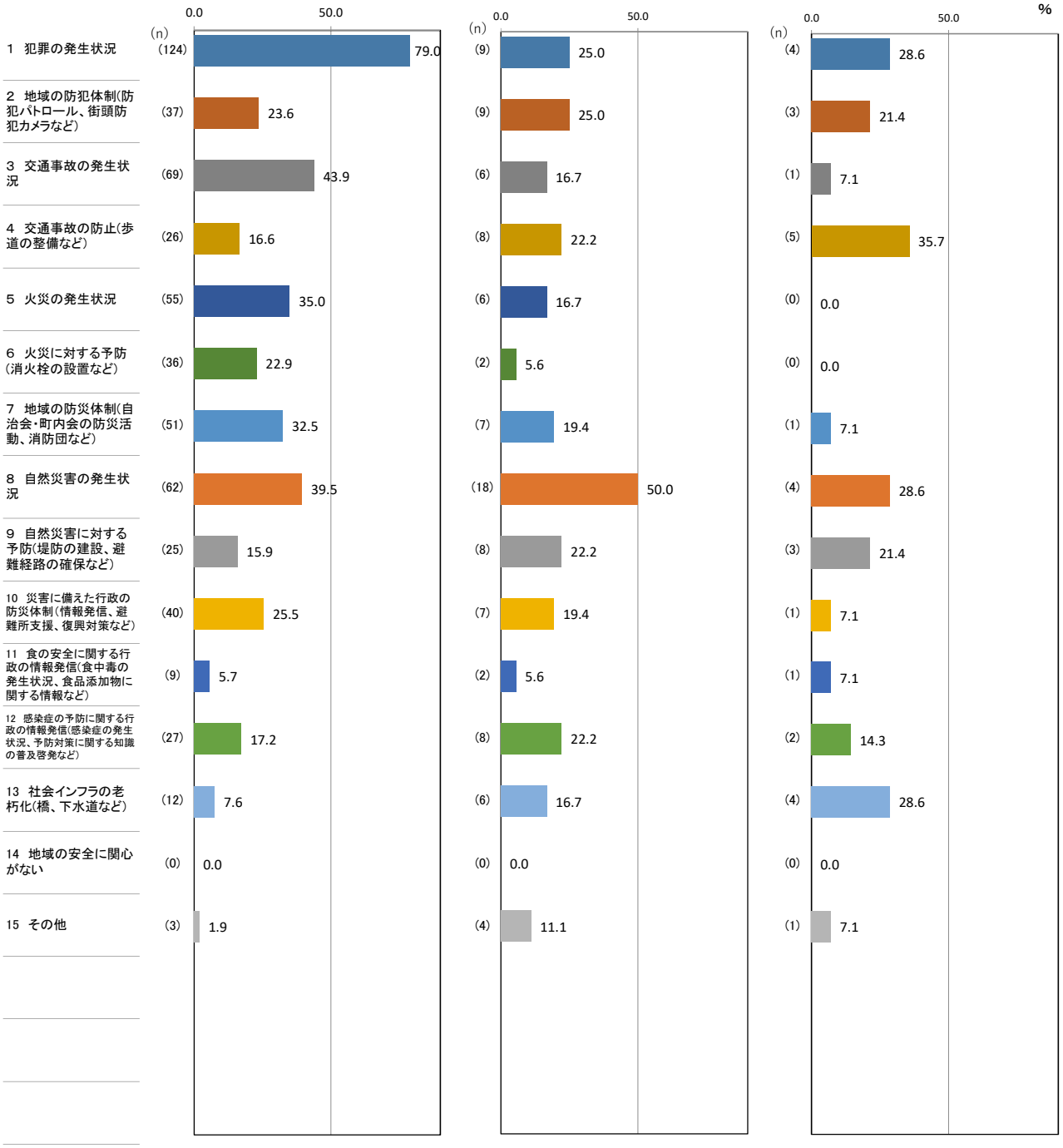
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝16人）	62	14	4	8	5	6	3	6	8	2	4	0	2	0	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝5人）	10	1	1	1	0	1	0	0	2	3	0	0	0	1	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝5人）	12	0	1	0	1	0	0	1	1	1	2	1	1	2	0	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜子の人数2人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (576) 157 人	②「どちらともいえない」の回答 (100) 36 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (30) 14 人
1	1 犯罪の発生状況 (124)	8 自然災害の発生状況 (18)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (5)
2	3 交通事故の発生状況 (69)	1 犯罪の発生状況 (9)	1 犯罪の発生状況 (4)
3	8 自然災害の発生状況 (62)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (9) 2位	8 自然災害の発生状況 (4) 2位
			13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (4) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数2人＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		79.0	23.6	43.9	16.6	35.0	22.9	32.5	39.5	15.9	25.5	5.7	17.2	7.6	0.0	1.9
②「どちらともいえない」		25.0	25.0	16.7	22.2	16.7	5.6	19.4	50.0	22.2	19.4	5.6	22.2	16.7	0.0	11.1
③「あまり感じない・感じない」		28.6	21.4	7.1	35.7	0.0	0.0	7.1	28.6	21.4	7.1	7.1	14.3	28.6	0.0	7.1

（件）

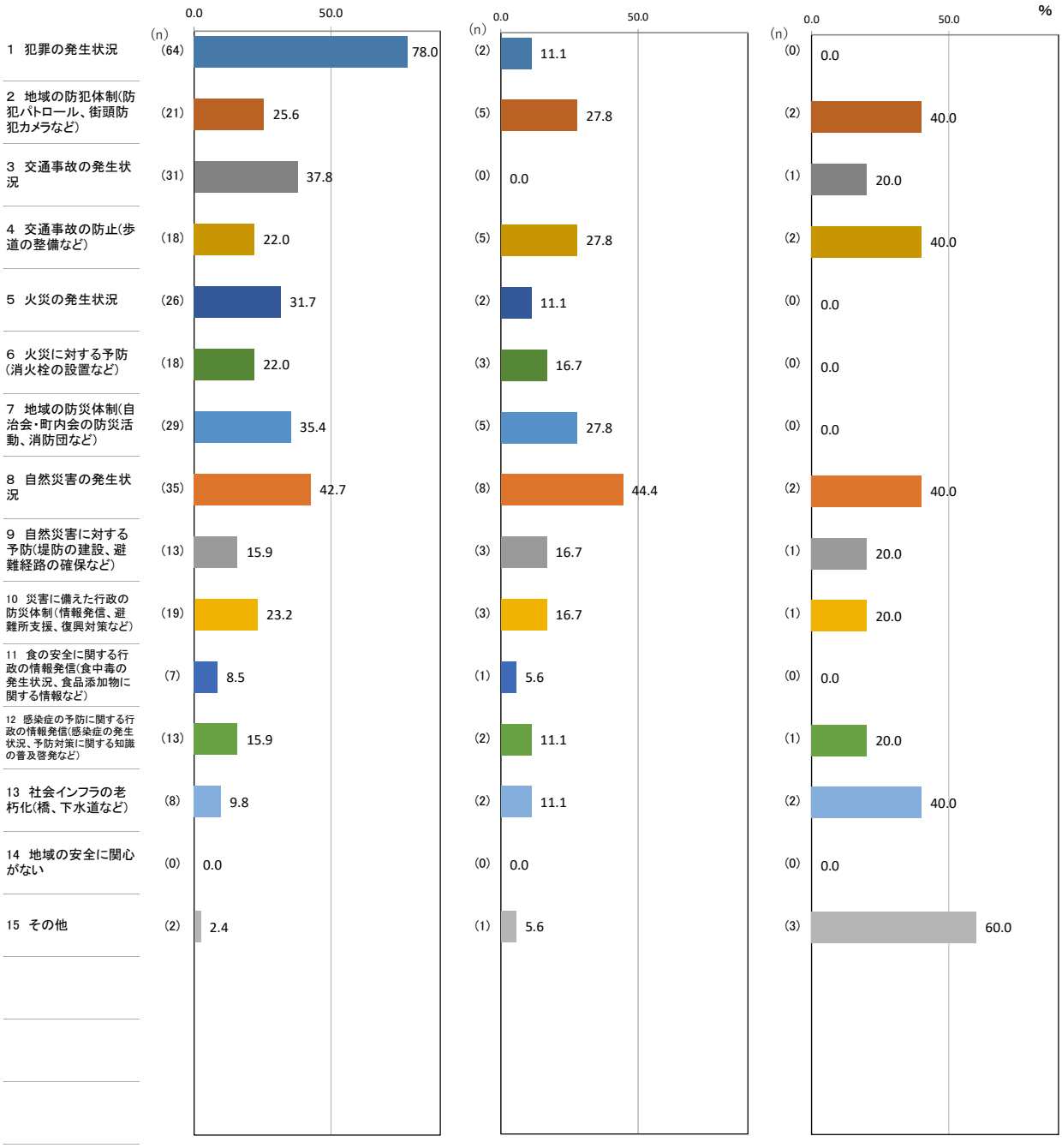
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝157人）	576	124	37	69	26	55	36	51	62	25	40	9	27	12	0	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝36人）	100	9	9	6	8	6	2	7	18	8	7	2	8	6	0	4
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝14人）	30	4	3	1	5	0	0	1	4	3	1	1	2	4	0	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜子の人数3人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (304) 82 人	②「どちらともいえない」の回答 (42) 18 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (15) 5 人
1	1 犯罪の発生状況 (64)	8 自然災害の発生状況 (8)	15 その他 (3)
2	8 自然災害の発生状況 (35)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (5)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (2)
3	3 交通事故の発生状況 (31)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (5) 2位	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (2) 2位
		7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (5) 2位	8 自然災害の発生状況 (2) 2位
			13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (2) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数3人＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		78.0	25.6	37.8	22.0	31.7	22.0	35.4	42.7	15.9	23.2	8.5	15.9	9.8	0.0	2.4
②「どちらともいえない」		11.1	27.8	0.0	27.8	11.1	16.7	27.8	44.4	16.7	16.7	5.6	11.1	11.1	0.0	5.6
③「あまり感じない・感じない」		0.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	60.0

（件）

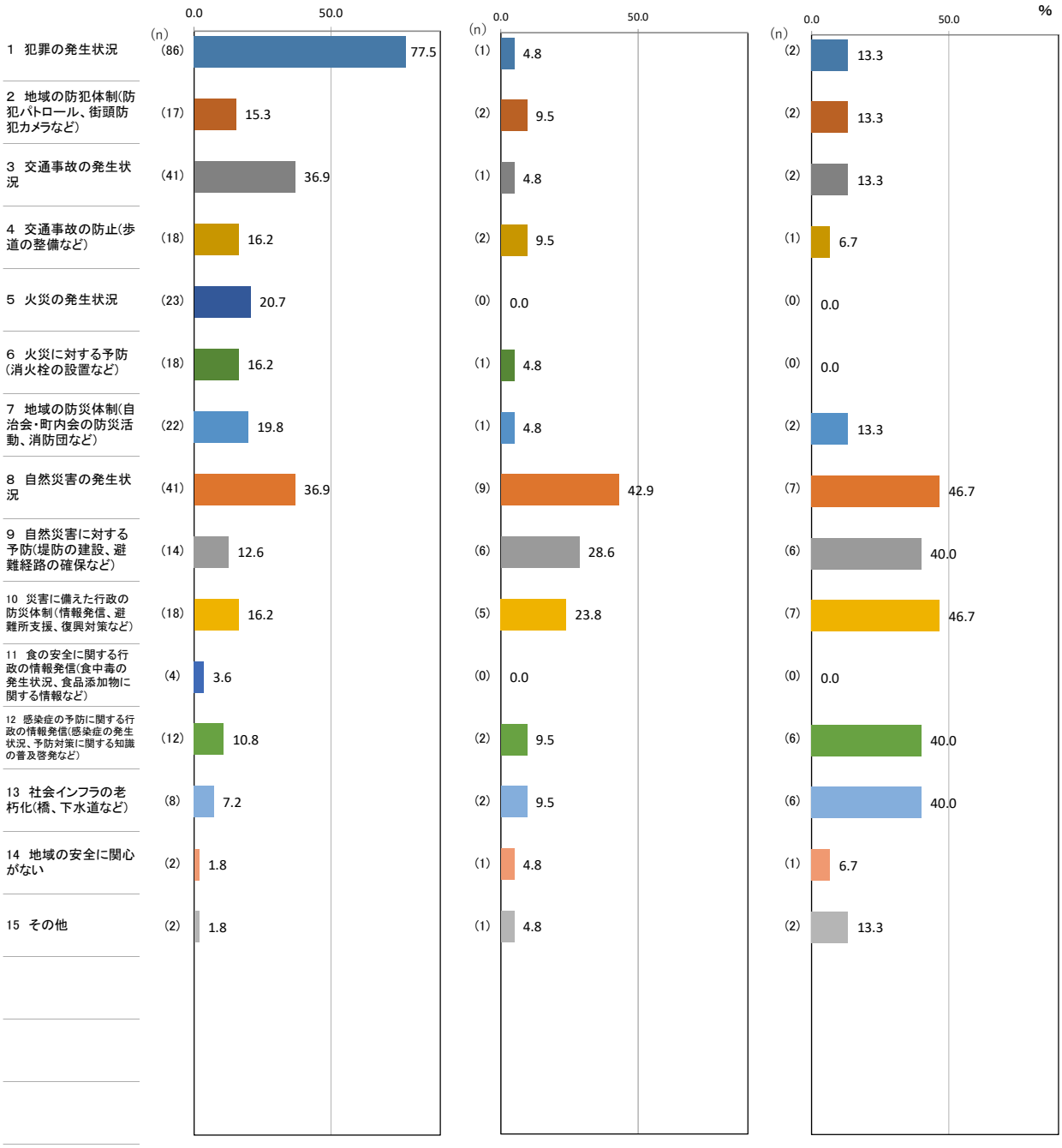
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝82人）	304	64	21	31	18	26	18	29	35	13	19	7	13	8	0	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝18人）	42	2	5	0	5	2	3	5	8	3	3	1	2	2	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝5人）	15	0	2	1	2	0	0	0	2	1	1	0	1	2	0	3

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (326) 111 人	②「どちらともいえない」の回答 (34) 21 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (44) 15 人
1	1 犯罪の発生状況 (86)	8 自然災害の発生状況 (9)	8 自然災害の発生状況 (7)
2	3 交通事故の発生状況 (41)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (6)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (7)
3	8 自然災害の発生状況 (41) 2位	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (5)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (6)
			12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (6) 3位
			13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (6) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもはいない＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		77.5	15.3	36.9	16.2	20.7	16.2	19.8	36.9	12.6	16.2	3.6	10.8	7.2	1.8	1.8
②「どちらともいえない」		4.8	9.5	4.8	9.5	0.0	4.8	4.8	42.9	28.6	23.8	0.0	9.5	9.5	4.8	4.8
③「あまり感じない・感じない」		13.3	13.3	13.3	6.7	0.0	0.0	13.3	46.7	40.0	46.7	0.0	40.0	40.0	6.7	13.3

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝111人）	326	86	17	41	18	23	18	22	41	14	18	4	12	8	2	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝21人）	34	1	2	1	2	0	1	1	9	6	5	0	2	2	1	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝15人）	44	2	2	2	1	0	0	2	7	6	7	0	6	6	1	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

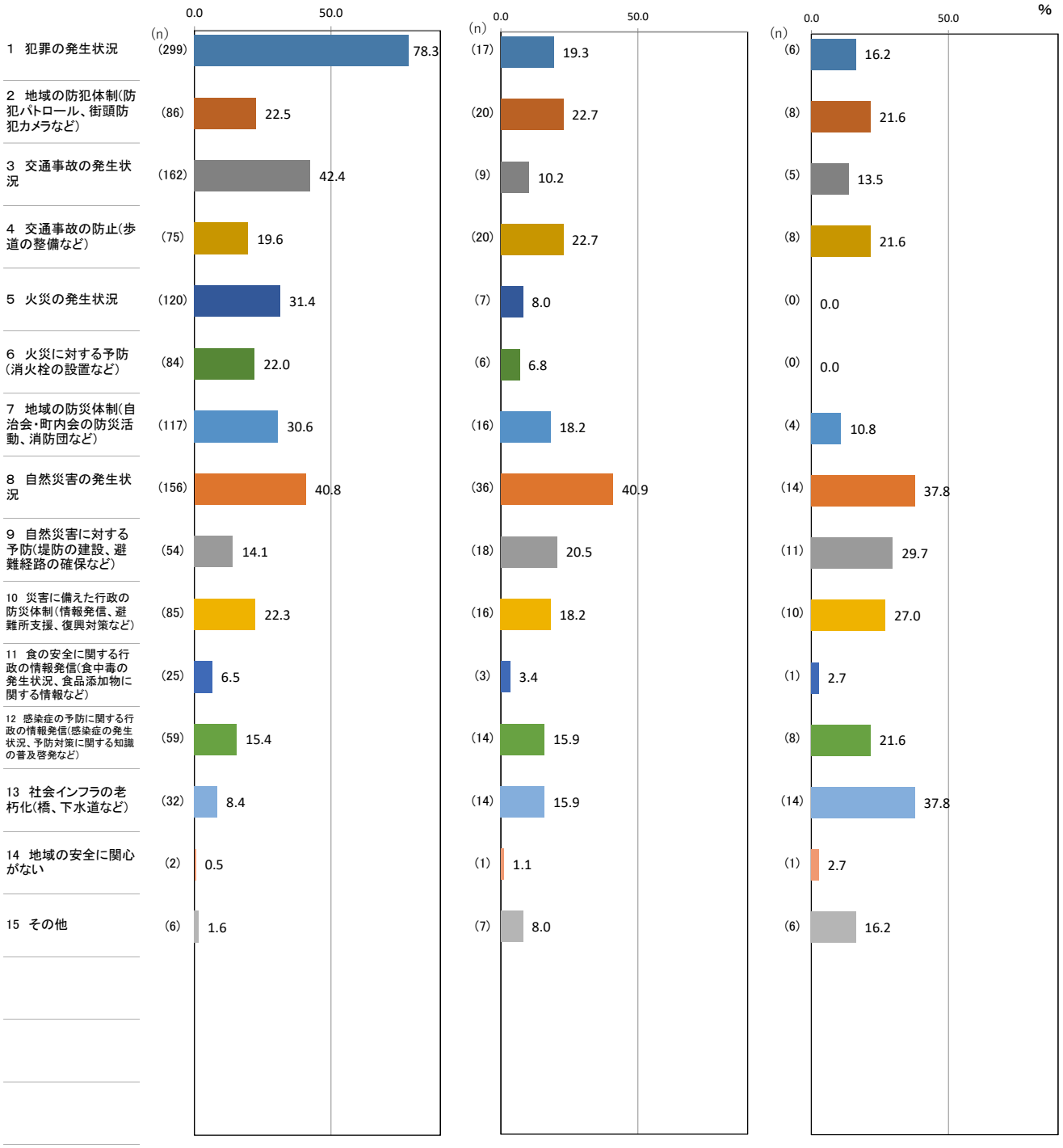
分野別実感の回答結果「地域の安全」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (1,362) 382 人	②「どちらともいえない」の回答 (204) 88 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (96) 37 人
1	1 犯罪の発生状況 (299)	8 自然災害の発生状況 (36)	8 自然災害の発生状況 (14)
2	3 交通事故の発生状況 (162)	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (20)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (14)
3	8 自然災害の発生状況 (156)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (20)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (11)

1位

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		78.3	22.5	42.4	19.6	31.4	22.0	30.6	40.8	14.1	22.3	6.5	15.4	8.4	0.5	1.6
②「どちらともいえない」		19.3	22.7	10.2	22.7	8.0	6.8	18.2	40.9	20.5	18.2	3.4	15.9	15.9	1.1	8.0
③「あまり感じない・感じない」		16.2	21.6	13.5	21.6	0.0	0.0	10.8	37.8	29.7	27.0	2.7	21.6	37.8	2.7	16.2

（件）

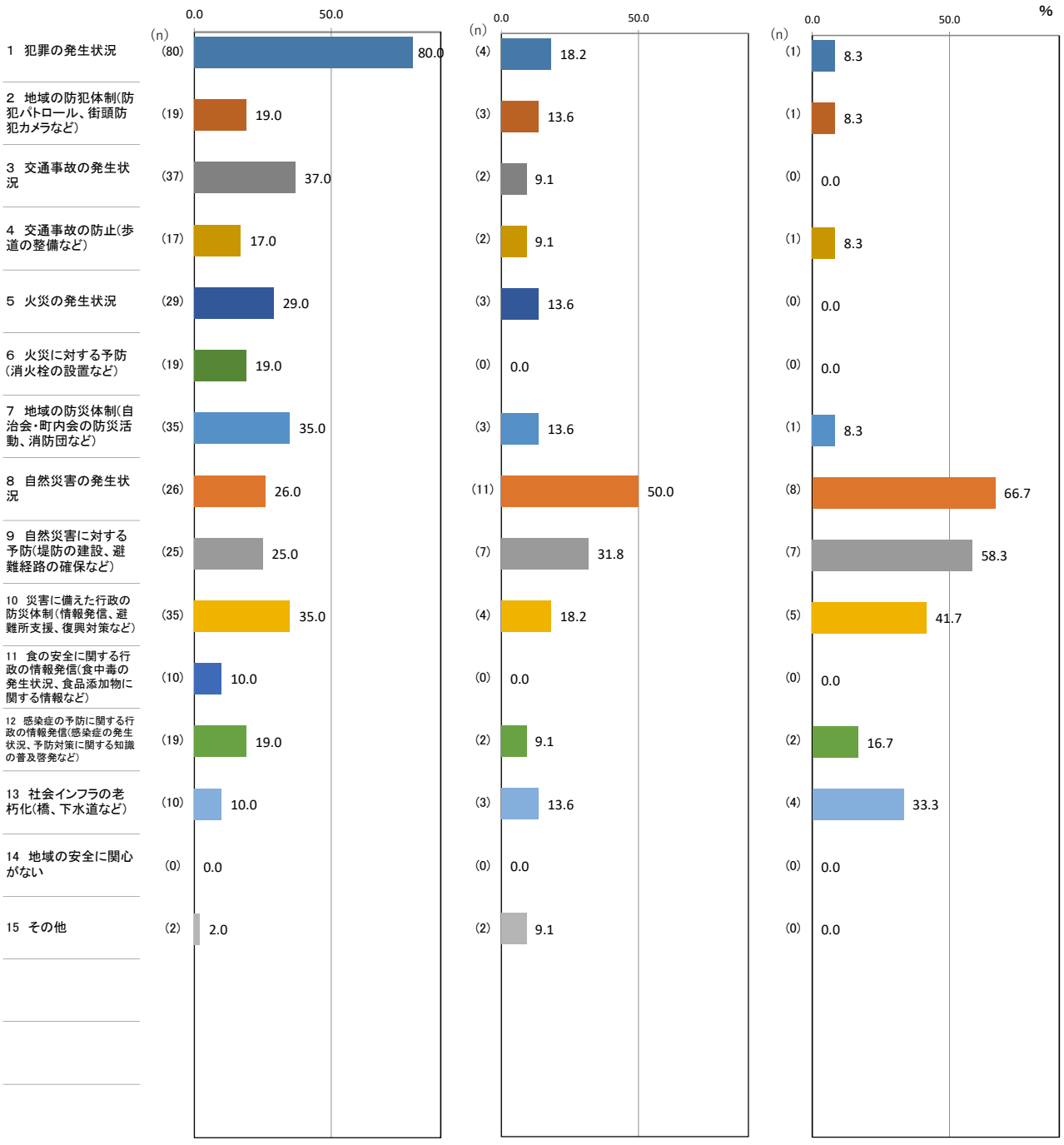
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝382人）	1362	299	86	162	75	120	84	117	156	54	85	25	59	32	2	6
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝88人）	204	17	20	9	20	7	6	16	36	18	16	3	14	14	1	7
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝37人）	96	6	8	5	8	0	0	4	14	11	10	1	8	14	1	6

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「地域の安全」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (363) 100 人	②「どちらともいえない」の回答 (46) 22 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (30) 12 人
1	1 犯罪の発生状況 (80)	8 自然災害の発生状況 (11)	8 自然災害の発生状況 (8)
2	3 交通事故の発生状況 (37)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (7)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (7)
3	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など) (35)	1 犯罪の発生状況 (4)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (5)
	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (35) 3位	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など) (4) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜沿岸広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		80.0	19.0	37.0	17.0	29.0	19.0	35.0	26.0	25.0	35.0	10.0	19.0	10.0	0.0	2.0
②「どちらともいえない」		18.2	13.6	9.1	9.1	13.6	0.0	13.6	50.0	31.8	18.2	0.0	9.1	13.6	0.0	9.1
③「あまり感じない・感じない」		8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	66.7	58.3	41.7	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝100人）	363	80	19	37	17	29	19	35	26	25	35	10	19	10	0	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝22人）	46	4	3	2	2	3	0	3	11	7	4	0	2	3	0	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝12人）	30	1	1	0	1	0	0	1	8	7	5	0	2	4	0	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

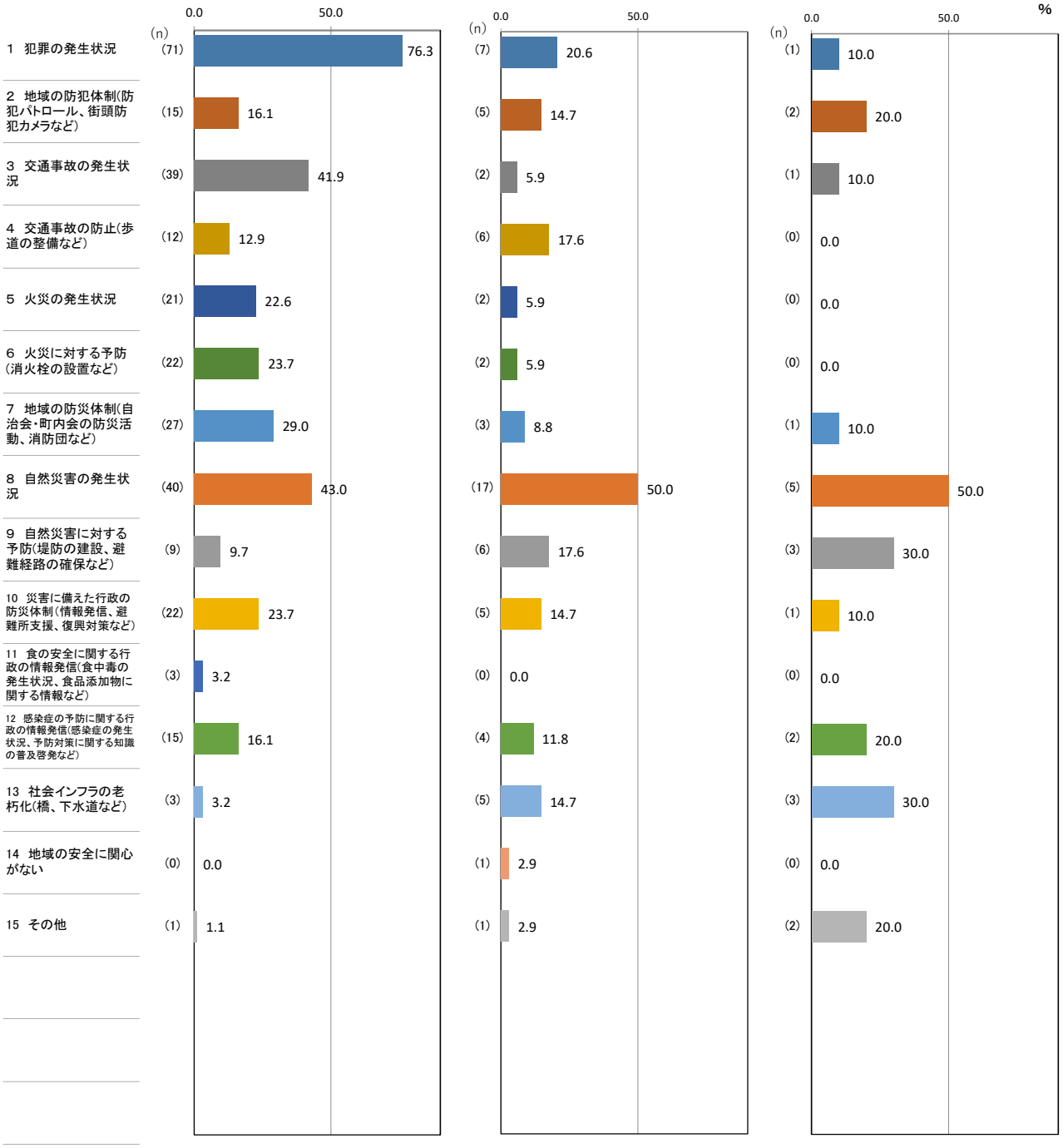
分野別実感の回答結果「地域の安全」＜県北広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (300) 93 人	②「どちらともいえない」の回答 (66) 34 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (21) 10 人
1	1 犯罪の発生状況 (71)	8 自然災害の発生状況 (17)	8 自然災害の発生状況 (5)
2	8 自然災害の発生状況 (40)	1 犯罪の発生状況 (7)	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (3)
3	3 交通事故の発生状況 (39)	4 交通事故の防止(歩道の整備など) (6)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (3)
		9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (6)	

2位

3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（7）「地域の安全」についての回答理由（問1-1（7）「①あなたはお住いの地域が安全だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県北広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」		76.3	16.1	41.9	12.9	22.6	23.7	29.0	43.0	9.7	23.7	3.2	16.1	3.2	0.0	1.1
②「どちらともいえない」		20.6	14.7	5.9	17.6	5.9	5.9	8.8	50.0	17.6	14.7	0.0	11.8	14.7	2.9	2.9
③「あまり感じない・感じない」		10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	50.0	30.0	10.0	0.0	20.0	30.0	0.0	20.0

（件）

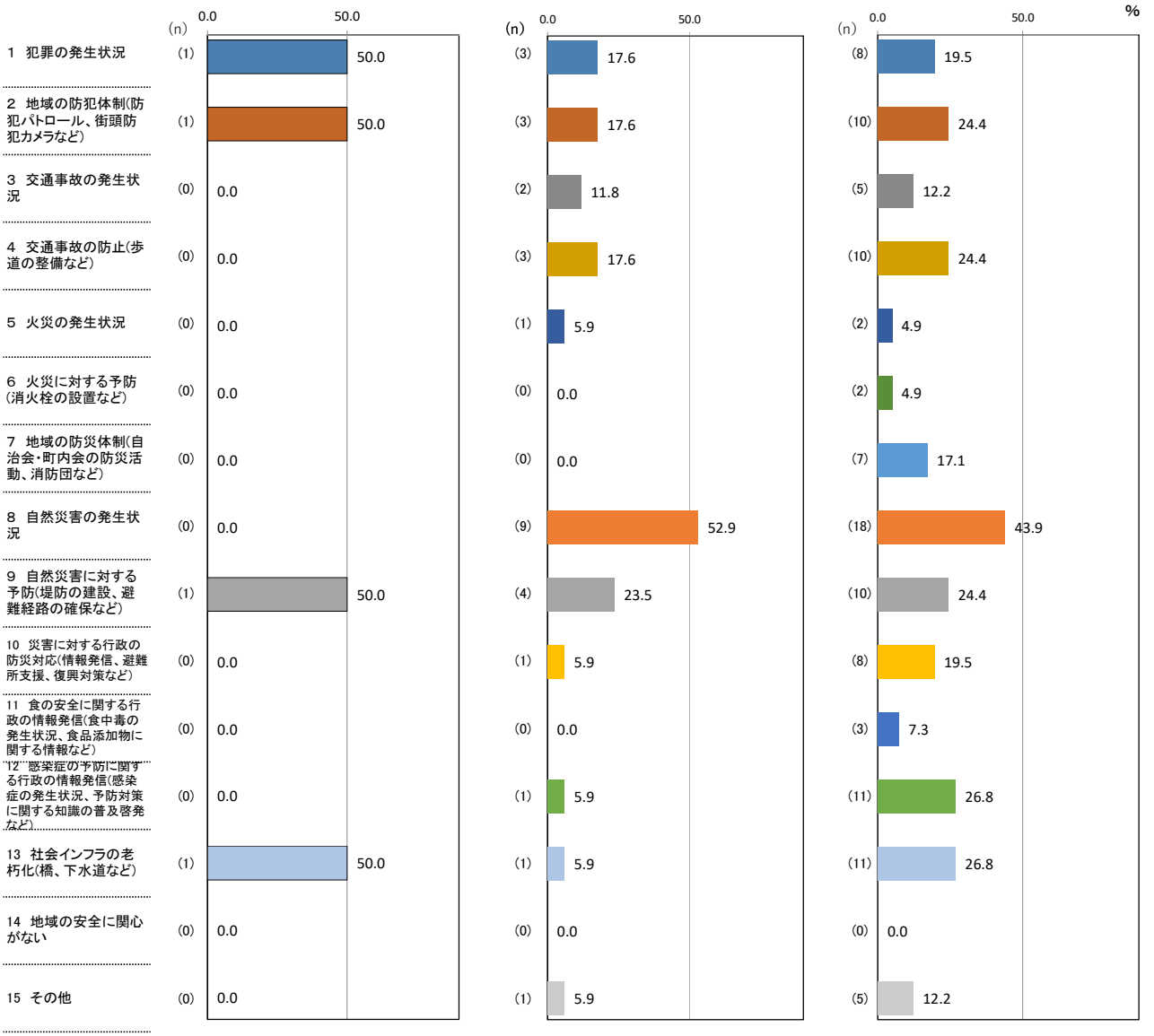
区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に備えた行政の防災体制(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝93人）	300	71	15	39	12	21	22	27	40	9	22	3	15	3	0	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝34人）	66	7	5	2	6	2	2	3	17	6	5	0	4	5	1	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝10人）	21	1	2	1	0	0	0	1	5	3	1	0	2	3	0	2

【補足調査】(実感変動とコロナ実感)

分野別実感の回答結果「地域の安全」(実感低下)

上位3項目	①「よい影響を感じる」の回答 (4) 2 人	②「どちらともいえない」の回答 (29) 17 人	③「よくない影響を感じる」の回答 (110) 41 人
1	1 犯罪の発生状況 (1) 1位	8 自然災害の発生状況 (9)	8 自然災害の発生状況 (18)
2	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (1) 1位	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (4)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など) (11) 3位
3	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など) (1) 1位	1 犯罪の発生状況 (3)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (11)
	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など) (1) 1位	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど) (3) 3位	
		4 交通事故の防止(歩道の整備など) (3) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（8）「地域の安全」において実感が低下している人の新型コロナウイルス感染症の影響に係る回答理由

（%）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「よい影響を感じる」		50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		17.6	17.6	11.8	17.6	5.9	0.0	0.0	52.9	23.5	5.9	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9
③「よくない影響を感じる」		19.5	24.4	12.2	24.4	4.9	4.9	17.1	43.9	24.4	19.5	7.3	26.8	26.8	0.0	12.2

（件）

区分	計	1 犯罪の発生状況	2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	3 交通事故の発生状況	4 交通事故の防止(歩道の整備など)	5 火災の発生状況	6 火災に対する予防(消火栓の設置など)	7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)	8 自然災害の発生状況	9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)	10 災害に対する行政の防災対応(情報発信、避難所支援、復興対策など)	11 食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)	12 感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)	13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	14 地域の安全に関心がない	15 その他
①「よい影響を感じる」の人（サンプル数＝2人）	4	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝17人）	29	3	3	2	3	1	0	0	9	4	1	0	1	1	0	1
③「よくない影響を感じる」の人（サンプル数＝41人）	110	8	10	5	10	2	2	7	18	10	8	3	11	11	0	5

４　「歴史・文化への誇り」の実感

①　分野別実感の概況

ア　分野別実感に係る令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

実感平均値は 3.18 点であり、基準年調査より 0.11 点低下しています。

ｔ検定を行った結果、基準年調査に比べて有意に低下していることから、**当該分野の実感は低下**していると考えられます。

イ　属性別の状況

○　令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

基準年調査と比較して有意に変化した属性は表７のとおりでした。

表７　「歴史・文化への誇り」の実感において有意な変化があった属性と基準年差

属性		H31	R３	R3-H31
県計		3.28	3.18	▲ 0.11
性別	男性	3.22	3.13	▲ 0.10
	女性	3.35	3.22	▲ 0.12
年代	50～59 歳	3.26	3.11	▲ 0.14
	70 歳以上	3.42	3.28	▲ 0.13
職業	臨時雇用者	3.27	3.07	▲ 0.20
	専業主婦・主夫	3.40	3.23	▲ 0.17
	60 歳以上の無職	3.28	3.13	▲ 0.15
世帯構成	２世代世帯	3.27	3.15	▲ 0.11
子の人数	２人	3.35	3.25	▲ 0.10
	３人	3.26	3.10	▲ 0.16
居住年数	20 年以上	3.30	3.17	▲ 0.12
広域振興圏	沿岸広域振興圏	3.30	3.10	▲ 0.20
	県北広域振興圏	3.25	3.07	▲ 0.18

ウ　新型コロナウイルス感染症の影響

当該分野別実感に係る新型コロナウイルス感染症の影響に対する県民の認識を令和３年県民意識調査において把握したところ、良い影響を感じた割合は３％、良くない影響を感じた割合は 47%となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響を検討する上で、影響を受ける前の令和２年調査と影響後の令和３年調査の実感を比較すると表８のとおりでした。

表８　「歴史・文化への誇り」の実感において有意な変化があった属性と前年差

属性		R２	R３	R3-R2
県計		3.25	3.18	▲ 0.08
性別	男性	3.23	3.13	▲ 0.11
年代	30～39 歳	3.24	3.04	▲ 0.20
	50～59 歳	3.29	3.11	▲ 0.18
職業	臨時雇用者	3.22	3.07	▲ 0.16
	学生＋その他	3.16	3.44	0.29
世帯構成	ひとり暮らし	3.37	3.11	▲ 0.26
居住年数	20 年以上	3.25	3.17	▲ 0.08

② 分野別実感が低下した要因

・ 県民意識調査の結果、実感が有意に低下した属性は、表７及び表８のとおり幅広く存在しており、特徴的な属性は確認できませんでした。

・ 補足調査で把握している「分野別実感の回答理由」で、実感が低下した人の回答理由は以下のとおりでした。

（ア） 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない
（イ） 地域のお祭り・伝統芸能
（ウ） その地域で過ごした年数

・ 補足調査結果において、実感が低下した人の上記回答理由と、実感が横ばい、上昇した人の回答理由を比較しても特徴的な要因は抽出できませんでした。

・ **以上を踏まえ、当該分野の実感が低下した要因は、「誇りを感じる歴史や文化が見当たらない」「地域のお祭り・伝統芸能」「その地域で過ごした年数」であると推測されます。**

・ なお、**新型コロナウイルス感染症の影響について、良くない影響を感じた人であって、前年調査に比べて実感が低下した人の主な回答理由は**以下のとおりであり、**「分野別実感の回答理由」と同じ理由**でした。

（ア） 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない
（イ） その地域で過ごした年数
（ウ） 地域のお祭り・伝統芸能

(1)県民意識調査の属性別平均点について

⑪地域の歴史や文化に誇りを感じますか

		H31（基準年）	R２	R3	R3−H31（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−H31（寄与度）	参考 R3−R2（対前年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−R2（寄与度）
県計(3,549)		3.28	3.25	3.18	▲ 0.11	0.00	**	▲ 0.11	▲ 0.08	0.01	**	▲ 0.08
性別	男性(1,561)	3.22	3.23	3.13	▲ 0.10	0.02	**	▲ 0.04	▲ 0.11	0.01	**	▲ 0.05
	女性(1,949)	3.35	3.27	3.22	▲ 0.12	0.00	**	▲ 0.07	▲ 0.05	0.19		▲ 0.03
	その他(参考)(6)		3.43	3.00					▲ 0.43	0.66		▲ 0.00
年代	18～19歳(参考)(53)	3.50	3.38	3.65	0.15	0.60		0.00	0.28	0.29		0.00
	20～29歳(200)	3.34	3.18	3.25	▲ 0.09	0.45		▲ 0.01	0.07	0.58		0.00
	30～39歳(320)	3.02	3.24	3.04	0.02	0.84		0.00	▲ 0.20	0.05	**	▲ 0.02
	40～49歳(499)	3.28	3.18	3.20	▲ 0.09	0.23		▲ 0.01	0.01	0.87		0.00
	50～59歳(604)	3.26	3.29	3.11	▲ 0.14	0.02	**	▲ 0.02	▲ 0.18	0.00	**	▲ 0.03
	60～69歳(766)	3.22	3.19	3.13	▲ 0.09	0.09		▲ 0.02	▲ 0.07	0.22		▲ 0.01
	70歳以上(1,009)	3.42	3.32	3.28	▲ 0.13	0.02	**	▲ 0.04	▲ 0.04	0.48		▲ 0.01
職業	自営業主(282)	3.33	3.33	3.24	▲ 0.08	0.37		▲ 0.01	▲ 0.09	0.37		▲ 0.01
	家族従業者(119)	3.22	3.40	3.18	▲ 0.04	0.79		▲ 0.00	▲ 0.21	0.13		▲ 0.01
	会社役員・団体役員(240)	3.25	3.46	3.34	0.09	0.43		0.01	▲ 0.12	0.27		▲ 0.01
	常用雇用者(1,025)	3.21	3.26	3.19	▲ 0.02	0.72		▲ 0.01	▲ 0.07	0.18		▲ 0.02
	臨時雇用者(440)	3.27	3.22	3.07	▲ 0.20	0.01	**	▲ 0.02	▲ 0.16	0.04	**	▲ 0.02
	学生＋その他(119)	3.53	3.16	3.44	▲ 0.09	0.51		▲ 0.00	0.29	0.04	**	0.01
	専業主婦・主夫(403)	3.40	3.18	3.23	▲ 0.17	0.04	**	▲ 0.02	0.04	0.60		0.00
	60歳未満の無職(参考)(77)	3.18	2.78	2.76	▲ 0.42	0.06		▲ 0.01	▲ 0.02	0.92		▲ 0.00
	60歳以上の無職(697)	3.28	3.24	3.13	▲ 0.15	0.02	**	▲ 0.03	▲ 0.11	0.10		▲ 0.02
世帯構成	ひとり暮らし(431)	3.28	3.37	3.11	▲ 0.16	0.06		▲ 0.02	▲ 0.26	0.00	**	▲ 0.03
	夫婦のみ(718)	3.31	3.29	3.21	▲ 0.10	0.09		▲ 0.02	▲ 0.08	0.16		▲ 0.02
	2世代世帯(1,437)	3.27	3.20	3.15	▲ 0.11	0.01	**	▲ 0.05	▲ 0.05	0.30		▲ 0.02
	3世代世帯(548)	3.38	3.30	3.26	▲ 0.12	0.09		▲ 0.02	▲ 0.04	0.59		▲ 0.01
	その他(184)	3.20	3.14	3.19	▲ 0.01	0.94		▲ 0.00	0.05	0.64		0.00
子の数	1人(450)	3.29	3.30	3.17	▲ 0.12	0.12		▲ 0.02	▲ 0.13	0.11		▲ 0.02
	2人(1,270)	3.35	3.27	3.25	▲ 0.10	0.03	**	▲ 0.04	▲ 0.02	0.70		▲ 0.01
	3人(682)	3.26	3.22	3.10	▲ 0.16	0.01	**	▲ 0.03	▲ 0.12	0.05		▲ 0.02
	4人以上(159)	3.31	3.29	3.24	▲ 0.07	0.57		▲ 0.00	▲ 0.05	0.70		▲ 0.00
	子どもはいない(802)	3.17	3.22	3.15	▲ 0.03	0.68		▲ 0.01	▲ 0.08	0.21		▲ 0.02
居住年数	10年未満(100)	2.94	3.26	3.11	0.16	0.37		0.00	▲ 0.15	0.40		▲ 0.00
	10～20年未満(145)	3.24	3.25	3.39	0.15	0.28		0.01	0.14	0.32		0.01
	20年以上(3,174)	3.30	3.25	3.17	▲ 0.12	0.00	**	▲ 0.11	▲ 0.08	0.01	**	▲ 0.07
広域振興圏	県央(1,011)	3.27	3.31	3.26	▲ 0.01	0.89		▲ 0.00	▲ 0.05	0.34		▲ 0.01
	県南(1,080)	3.31	3.28	3.21	▲ 0.10	0.05		▲ 0.03	▲ 0.07	0.17		▲ 0.02
	沿岸(833)	3.30	3.20	3.10	▲ 0.20	0.00	**	▲ 0.05	▲ 0.10	0.10		▲ 0.02
	県北(625)	3.25	3.19	3.07	▲ 0.18	0.01	**	▲ 0.03	▲ 0.12	0.08		▲ 0.02

（　）は、Ｒ３調査のサンプル数

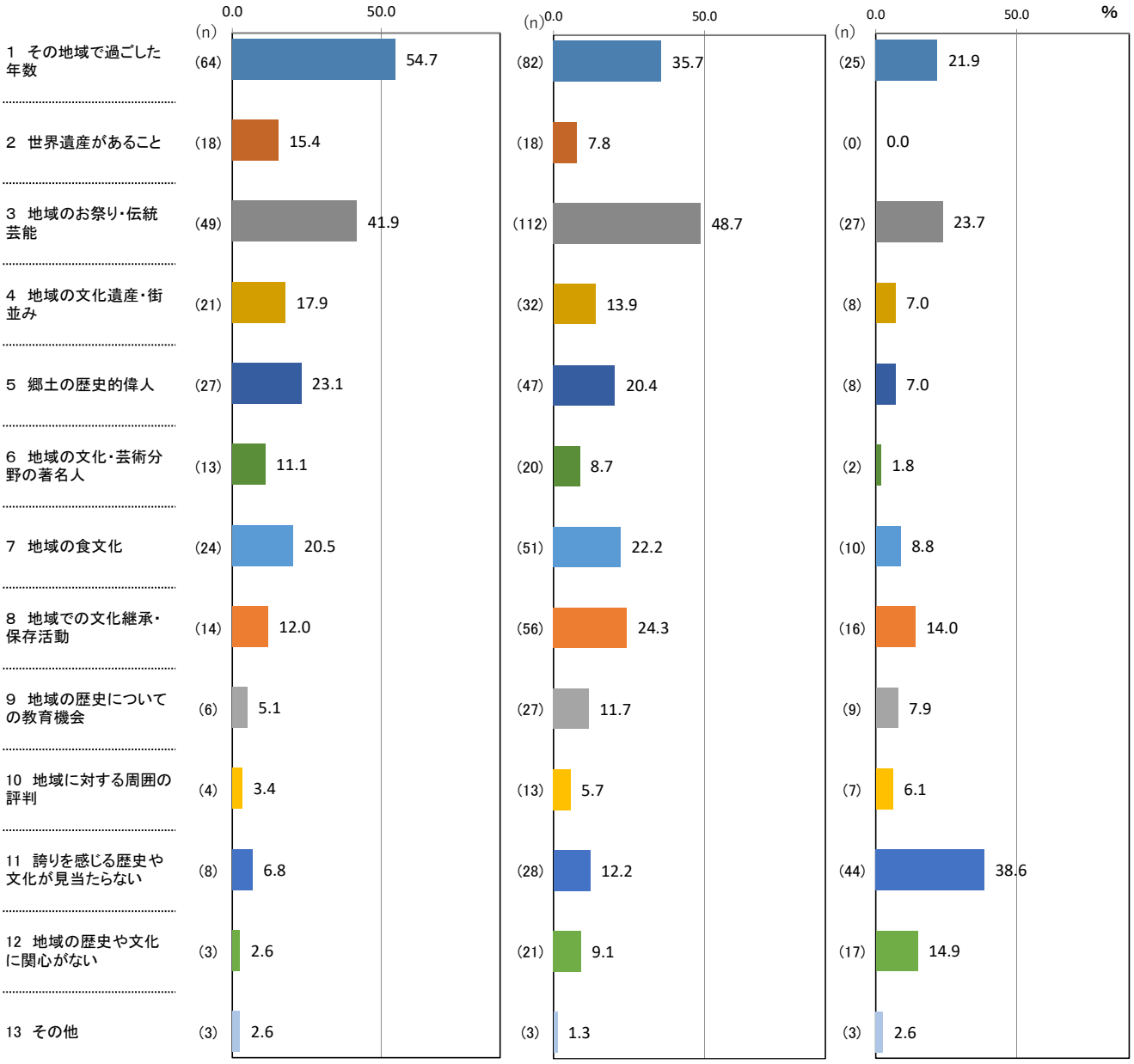
(2)分野別実感の回答理由(実感変化別)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」(H31-R3)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (254) 117 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (510) 230 人	③ 実感が低下した人 の回答 (176) 114 人
1	1 その地域で過ごした年数 (64)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (112)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (44)
2	3 地域のお祭り・伝統芸能 (49)	1 その地域で過ごした年数 (82)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (27)
3	5 郷土の歴史的偉人 (27)	8 地域での文化継承・保存活動 (56)	1 その地域で過ごした年数 (25)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）①「あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 実感が上昇した人		54.7	15.4	41.9	17.9	23.1	11.1	20.5	12.0	5.1	3.4	6.8	2.6	2.6
② 実感が横ばいの人		35.7	7.8	48.7	13.9	20.4	8.7	22.2	24.3	11.7	5.7	12.2	9.1	1.3
③ 実感が低下した人		21.9	0.0	23.7	7.0	7.0	1.8	8.8	14.0	7.9	6.1	38.6	14.9	2.6

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝117人）	254	64	18	49	21	27	13	24	14	6	4	8	3	3
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝230人）	510	82	18	112	32	47	20	51	56	27	13	28	21	3
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝114人）	176	25	0	27	8	8	2	10	16	9	7	44	17	3

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（3名中3名記載）
・県民の人の良さ、やさしさ等
・よくわからない
・岩手県は県土偉人の排出に関して誇りをもっと持ち教育現場ではその点をしっかり子供たちへ教育すべき。しかしながら近年はスポーツ選手しか輩出できていない点は対策を考える必要がある。個人の充実だけでなく日本のために役に立つ人材育成に着意する必要がある

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（3名中2名記載）
・保存・継承が難しい時代と感じる
・震災で公民館も流失しお祭りの道具等充分でない。何より人口減により実施するのは大変。

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（3名中2名記載）
・学んだり知ったりする機会がない
・自然は素晴らしいと思うが生まれて現在まで当たり前と思い特別に感じたことがない！

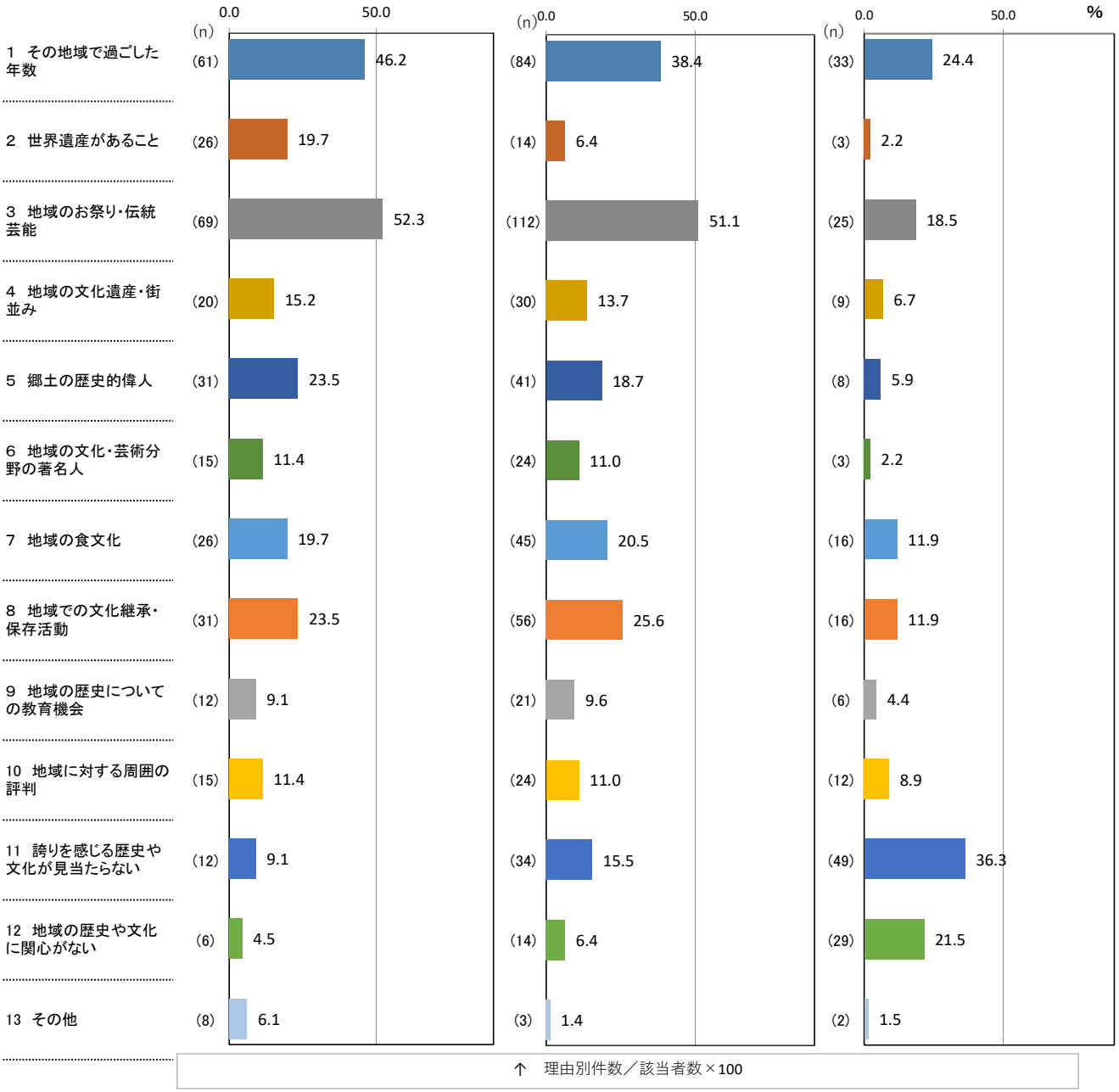
【参考】

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」(R2-H31)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (332) 132 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (502) 219 人	③ 実感が低下した人 の回答 (211) 135 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (69)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (112)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (49)
2	1 その地域で過ごした年数 (61)	1 その地域で過ごした年数 (84)	1 その地域で過ごした年数 (33)
3	5 郷土の歴史的偉人 (31)	8 地域での文化継承・保存活動 (56)	12 地域の歴史や文化に関心がない (29)
	8 地域での文化継承・保存活動 (31) 3位		

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）①「あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 実感が上昇した人		46.2	19.7	52.3	15.2	23.5	11.4	19.7	23.5	9.1	11.4	9.1	4.5	6.1
② 実感が横ばいの人		38.4	6.4	51.1	13.7	18.7	11.0	20.5	25.6	9.6	11.0	15.5	6.4	1.4
③ 実感が低下した人		24.4	2.2	18.5	6.7	5.9	2.2	11.9	11.9	4.4	8.9	36.3	21.5	1.5

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R2[2」は除く。 （サンプル数＝132人）	332	61	26	69	20	31	15	26	31	12	15	12	6	8
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝219人）	502	84	14	112	30	41	24	45	56	21	24	34	14	3
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R2[4」は除く。 （サンプル数＝135人）	211	33	3	25	9	8	3	16	16	6	12	49	29	2

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（8名中7名記載）
・地域としての歴史や文化はあるが余所と比べて強いかというと難しい。
・生きる力、人が大切だと思う。
・郷土関連スポーツ選手の活躍 。
・岩手の部活動（高校）の活躍など 。
・ラグビーワールドカップの開催 。
・時々、盛岡に行くことがありますが、バスに乗り降りに盛岡の人は親切身があると感じます。
・行事に参加して交流も大事だが、休日は体を休めたい。

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（3名中2名記載）
・地元代表ですもの、これは声を上げていばって良いでしょう。 ・わからない 。

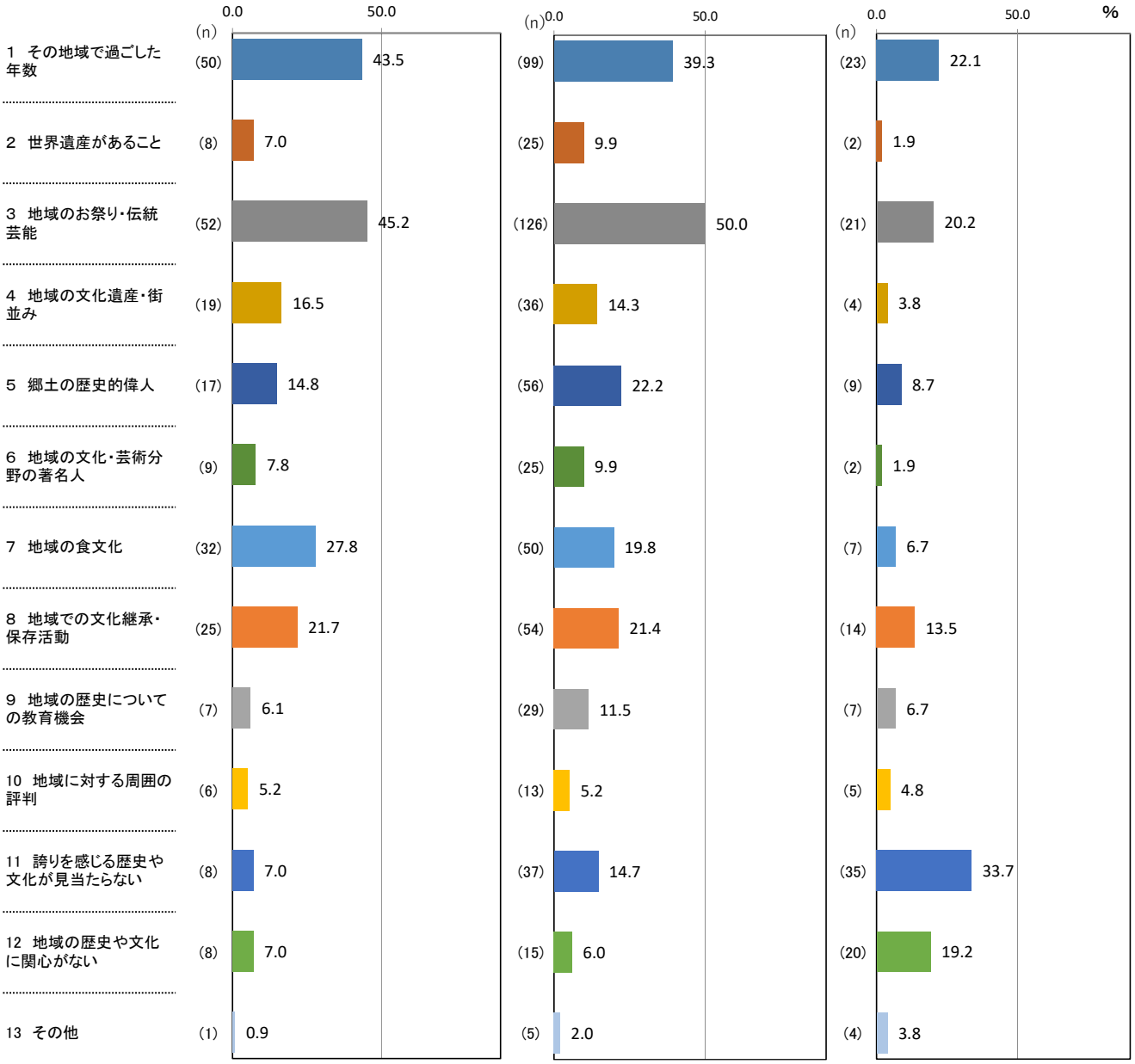
③ 実感が低下した人の「その他」コメント（8名中8名記載）
・歴史、文化に対しての感心が持てる機会が少ない 。
・二戸城と金田一温泉をからめた観光の整備←ここから文化、歴史に対する認識が生まれると思う 。

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」(R3-R2)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (242) 115 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (570) 252 人	③ 実感が低下した人 の回答 (153) 104 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (52)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (126)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (35)
2	1 その地域で過ごした年数 (50)	1 その地域で過ごした年数 (99)	1 その地域で過ごした年数 (23)
3	7 地域の食文化 (32)	5 郷土の歴史的偉人 (56)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (21)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）①「あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 実感が上昇した人		43.5	7.0	45.2	16.5	14.8	7.8	27.8	21.7	6.1	5.2	7.0	7.0	0.9
② 実感が横ばいの人		39.3	9.9	50.0	14.3	22.2	9.9	19.8	21.4	11.5	5.2	14.7	6.0	2.0
③ 実感が低下した人		22.1	1.9	20.2	3.8	8.7	1.9	6.7	13.5	6.7	4.8	33.7	19.2	3.8

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R2「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝115人）	242	50	8	52	19	17	9	32	25	7	6	8	8	1
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝252人）	570	99	25	126	36	56	25	50	54	29	13	37	15	5
③ 実感が低下した人 ただし、R2「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝104人）	153	23	2	21	4	9	2	7	14	7	5	35	20	4

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（1名中1名記載）
・岩手県は県土偉人の排出に関して誇りをもっと持ち教育現場ではその点をしっかり子供たちへ教育すべき。しかしながら近年はスポーツ選手しか輩出できていない点は対策を考える必要がある。個人の充実だけでなく日本のために役に立つ人材育成に着意する必要がある

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（5名中3名記載）
・県民の人の良さ、やさしさ等　　・よくわからない
・震災で公民館も流失しお祭りの道具等充分でない。何より人口減により実施するのは大変。

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（4名中3名記載）
・保存・継承が難しい時代と感じる　　・学んだり知ったりする機会がない
・自然をきれい、誇りに思っているが人口が少なくなってしまっている

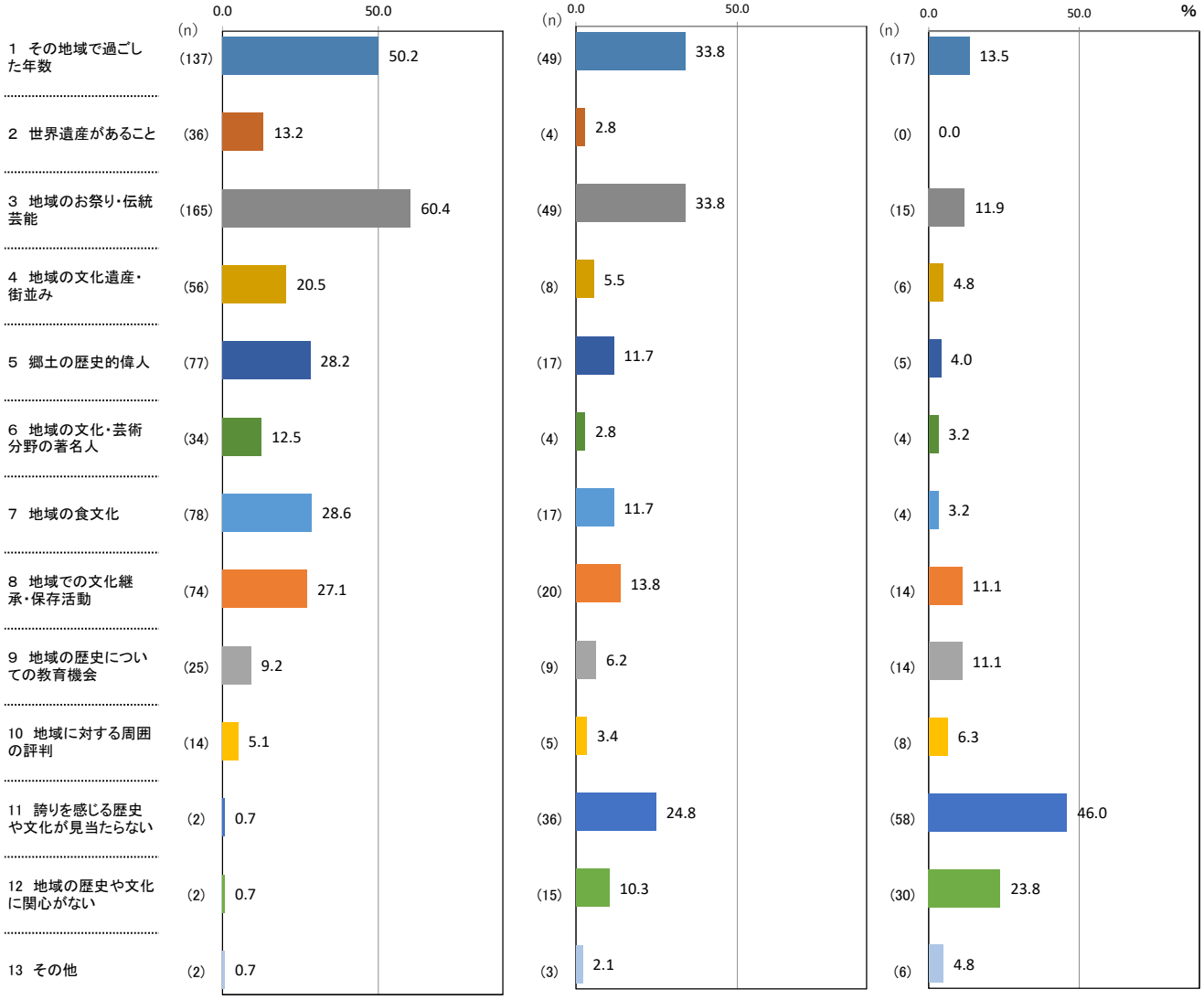
(3)分野別実感の回答結果(単純集計)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (702) 273 人	②「どちらともいえない」の回答 (236) 145 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (181) 126 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (165)	1 その地域で過ごした年数 (49)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (58)
2	1 その地域で過ごした年数 (137)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (49) 1位	12 地域の歴史や文化に関心がない (30)
3	7 地域の食文化 (78)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (36)	1 その地域で過ごした年数 (17)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		50.2	13.2	60.4	20.5	28.2	12.5	28.6	27.1	9.2	5.1	0.7	0.7	0.7
②「どちらともいえない」		33.8	2.8	33.8	5.5	11.7	2.8	11.7	13.8	6.2	3.4	24.8	10.3	2.1
③「あまり感じない・感じない」		13.5	0.0	11.9	4.8	4.0	3.2	3.2	11.1	11.1	6.3	46.0	23.8	4.8

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝人）	702	137	36	165	56	77	34	78	74	25	14	2	2	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝人）	236	49	4	49	8	17	4	17	20	9	5	36	15	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝人）	181	17	0	15	6	5	4	4	14	14	8	58	30	6

①「感じる」・「やや感じる」の人の「その他」コメント（273名中2名記載）
・県民の人の良さ、やさしさ等
・岩手県は県土偉人の排出に関して誇りをもっと持ち教育現場ではその点をしっかり子供たちへ教育すべき。しかしながら近年はスポーツ選手しか輩出できていない点は対策を考える必要がある。個人の充実だけでなく日本のために役に立つ人材育成に着意する必要がある

②「どちらともいえない」の人の「その他」コメント（145名中2名記載）
・よくわからない
・震災で公民館も流失しお祭りの道具等充分でない。何より人口減により実施するのは大変。

③「あまり感じない・感じない」の人の「その他」コメント（126名中名記載）
・保存・継承が難しい時代と感じる
・学んだり知ったりする機会がない
・自然をきれい、誇りに思っているが人口が少なくなってしまっている
・自然は素晴らしいと思うが生まれて現在まで当たり前と思い特別に感じたことがない！

(4)分野別実感の属性別回答結果(単純集計)

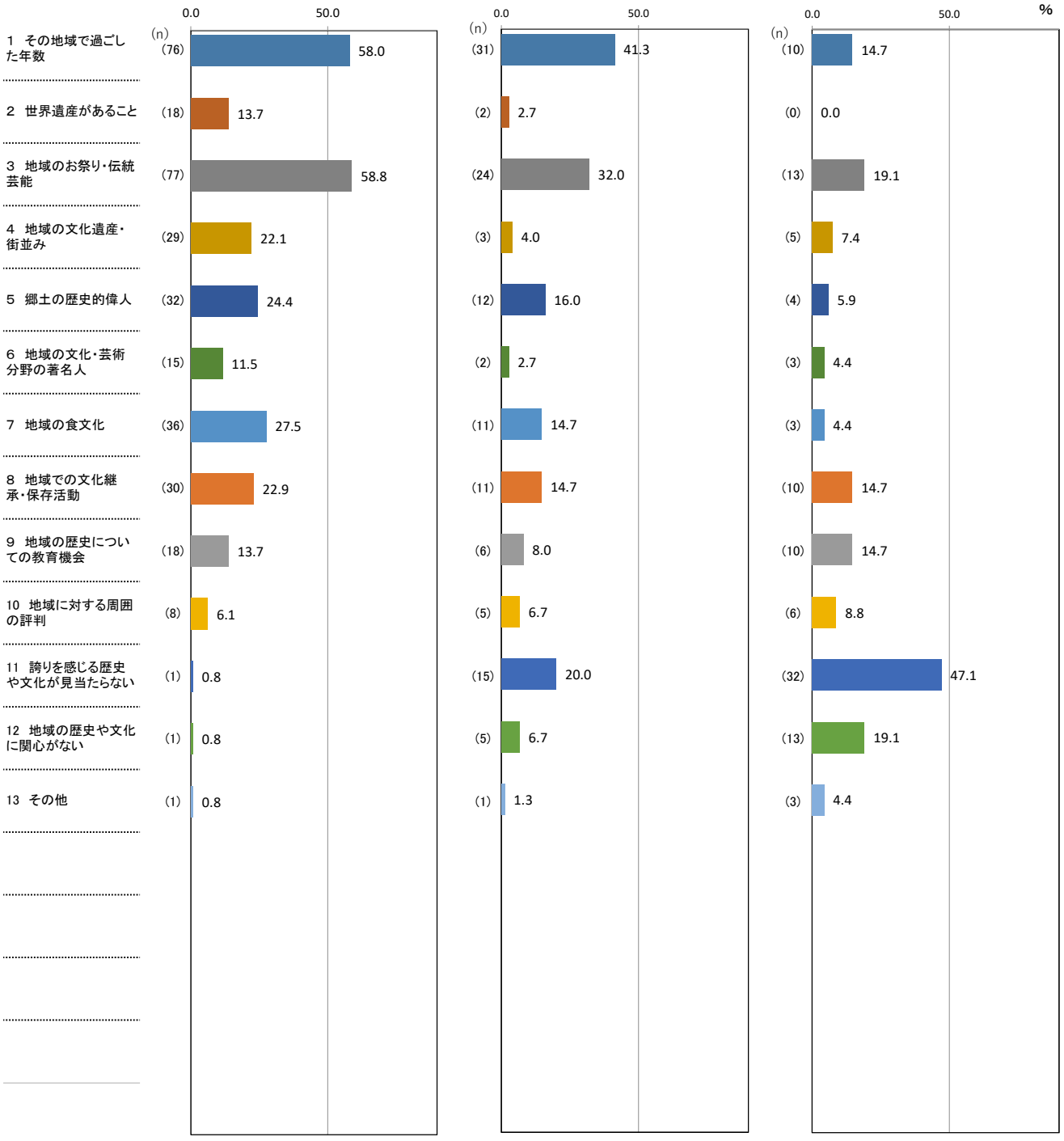
【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」<男性>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (342) 131 人	②「どちらともいえない」の回答 (128) 75 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (112) 68 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (77)	1 その地域で過ごした年数 (31)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (32)
2	1 その地域で過ごした年数 (76)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (24)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (13)
3	7 地域の食文化 (36)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (15)	12 地域の歴史や文化に関心がない (13)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜男性＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		58.0	13.7	58.8	22.1	24.4	11.5	27.5	22.9	13.7	6.1	0.8	0.8	0.8
②「どちらともいえない」		41.3	2.7	32.0	4.0	16.0	2.7	14.7	14.7	8.0	6.7	20.0	6.7	1.3
③「あまり感じない・感じない」		14.7	0.0	19.1	7.4	5.9	4.4	4.4	14.7	14.7	8.8	47.1	19.1	4.4

（件）

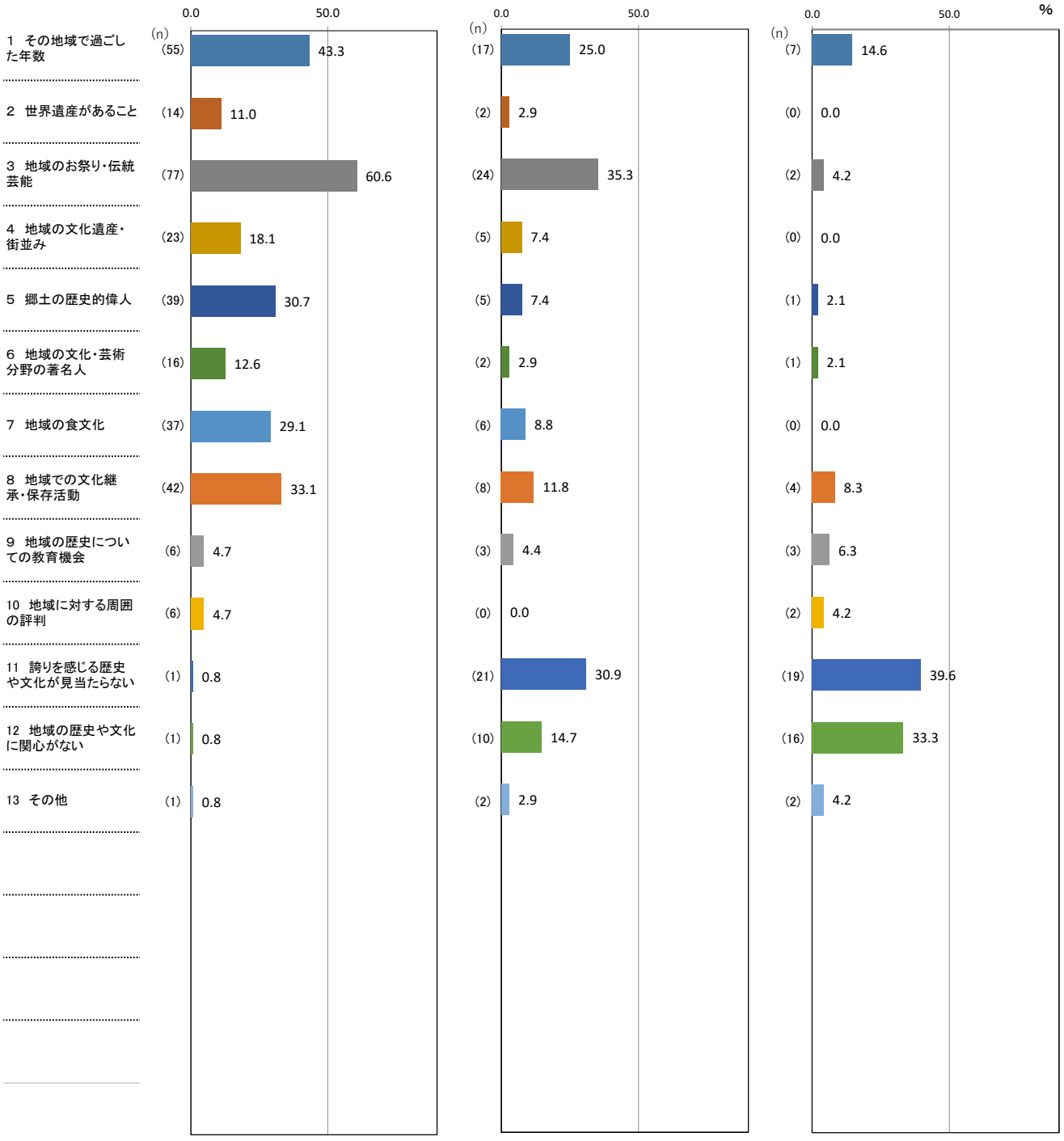
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝131人）	342	76	18	77	29	32	15	36	30	18	8	1	1	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝75人）	128	31	2	24	3	12	2	11	11	6	5	15	5	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝68人）	112	10	0	13	5	4	3	3	10	10	6	32	13	3

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (318) 127 人	②「どちらともいえない」の回答 (105) 68 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (57) 48 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (77)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (24)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (19)
2	1 その地域で過ごした年数 (55)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (21)	12 地域の歴史や文化に関心がない (16)
3	8 地域での文化継承・保存活動 (42)	1 その地域で過ごした年数 (17)	1 その地域で過ごした年数 (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜女性＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		43.3	11.0	60.6	18.1	30.7	12.6	29.1	33.1	4.7	4.7	0.8	0.8	0.8
②「どちらともいえない」		25.0	2.9	35.3	7.4	7.4	2.9	8.8	11.8	4.4	0.0	30.9	14.7	2.9
③「あまり感じない・感じない」		14.6	0.0	4.2	0.0	2.1	2.1	0.0	8.3	6.3	4.2	39.6	33.3	4.2

（件）

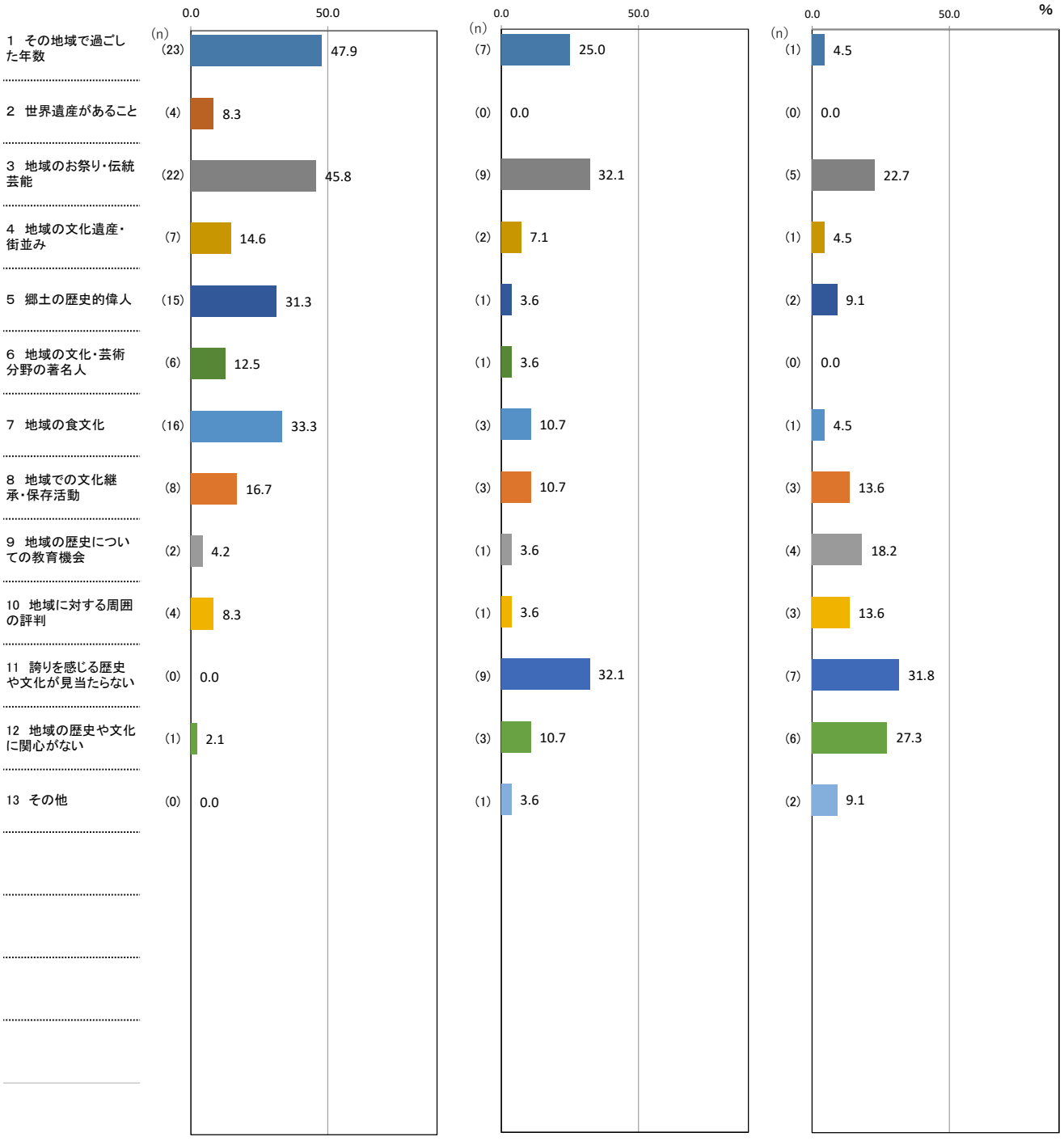
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝127人）	318	55	14	77	23	39	16	37	42	6	6	1	1	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝68人）	105	17	2	24	5	5	2	6	8	3	0	21	10	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝48人）	57	7	0	2	0	1	1	0	4	3	2	19	16	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」<50～59歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (108) 48 人	②「どちらともいえない」の回答 (41) 28 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (35) 22 人
1	1 その地域で過ごした年数 (23)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (9)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (7)
2	3 地域のお祭り・伝統芸能 (22)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (9) 1位	12 地域の歴史や文化に関心がない (6)
3	7 地域の食文化 (16)	1 その地域で過ごした年数 (7)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (5)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		47.9	8.3	45.8	14.6	31.3	12.5	33.3	16.7	4.2	8.3	0.0	2.1	0.0
②「どちらともいえない」		25.0	0.0	32.1	7.1	3.6	3.6	10.7	10.7	3.6	3.6	32.1	10.7	3.6
③「あまり感じない・感じない」		4.5	0.0	22.7	4.5	9.1	0.0	4.5	13.6	18.2	13.6	31.8	27.3	9.1

（件）

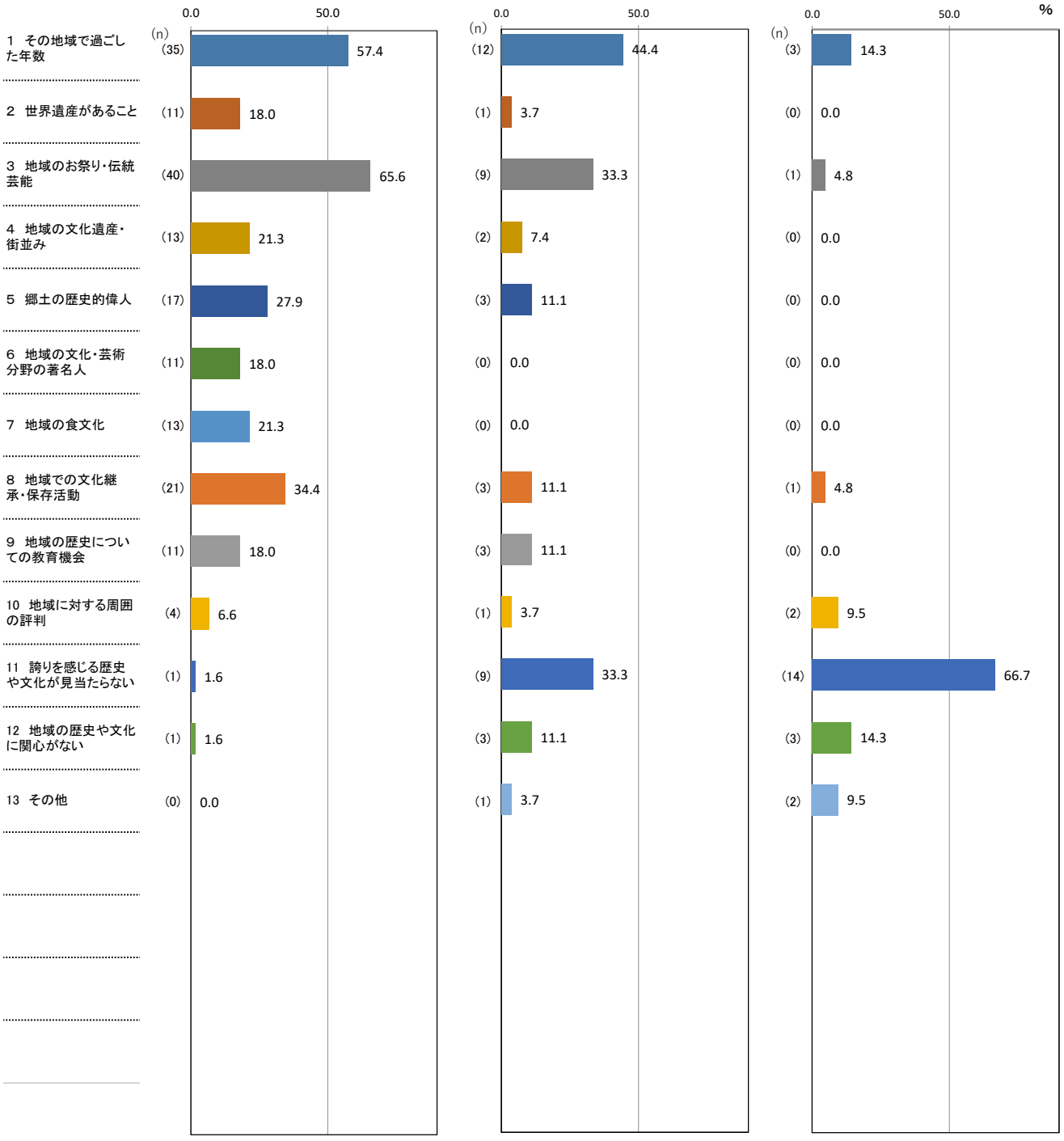
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝48人）	108	23	4	22	7	15	6	16	8	2	4	0	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝28人）	41	7	0	9	2	1	1	3	3	1	1	9	3	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝22人）	35	1	0	5	1	2	0	1	3	4	3	7	6	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」<70歳以上>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (178) 61 人	②「どちらともいえない」の回答 (47) 27 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (26) 21 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (40)	1 その地域で過ごした年数 (12)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (14)
2	1 その地域で過ごした年数 (35)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (9)	1 その地域で過ごした年数 (3)
3	8 地域での文化継承・保存活動 (21)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (9) 2位	12 地域の歴史や文化に関心がない (3) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜70歳以上＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		57.4	18.0	65.6	21.3	27.9	18.0	21.3	34.4	18.0	6.6	1.6	1.6	0.0
②「どちらともいえない」		44.4	3.7	33.3	7.4	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	3.7	33.3	11.1	3.7
③「あまり感じない・感じない」		14.3	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	9.5	66.7	14.3	9.5

（件）

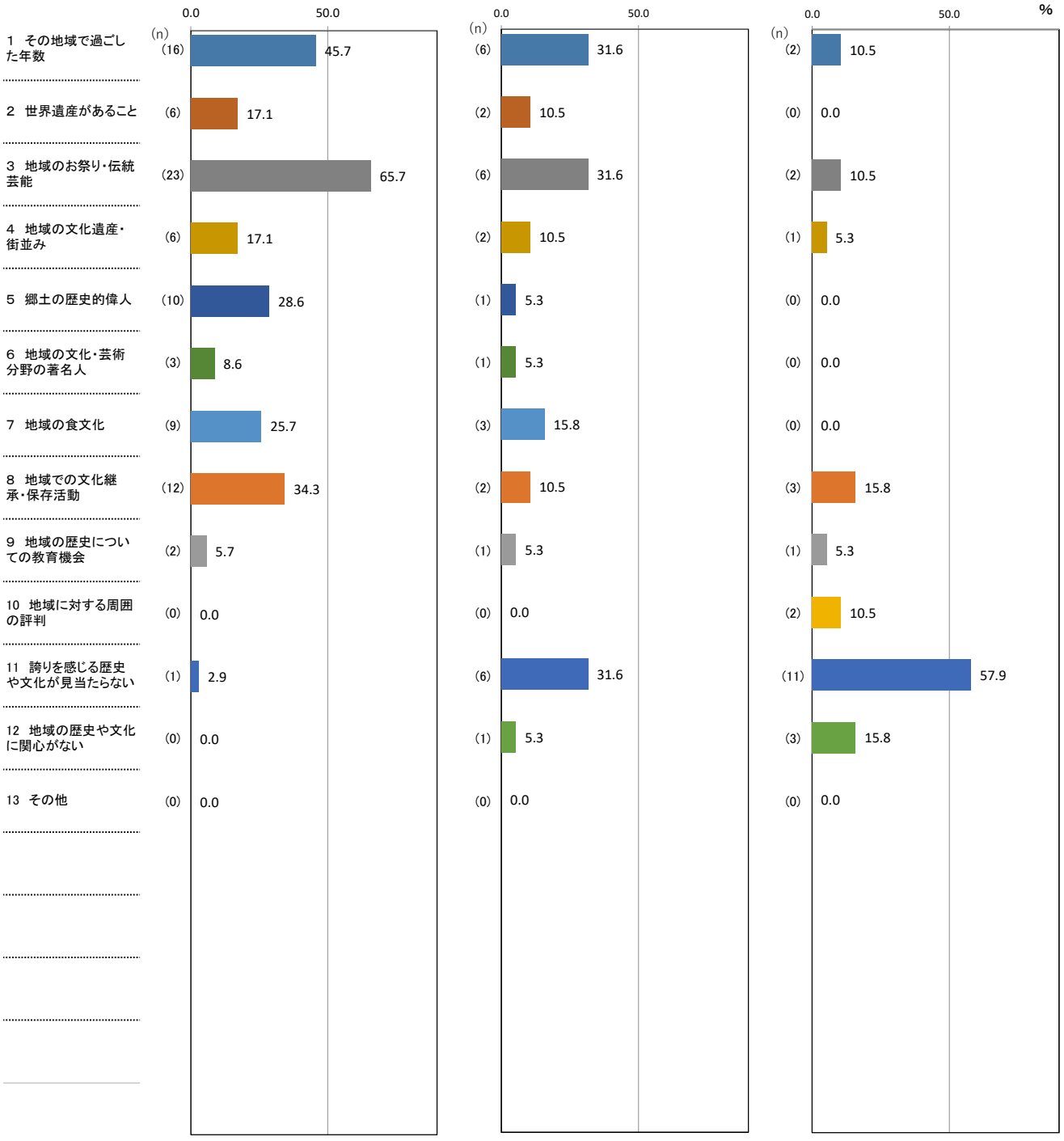
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝61人）	178	35	11	40	13	17	11	13	21	11	4	1	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝27人）	47	12	1	9	2	3	0	0	3	3	1	9	3	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝21人）	26	3	0	1	0	0	0	0	1	0	2	14	3	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」<臨時雇用者>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (88) 35 人	②「どちらともいえない」の回答 (31) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (25) 19 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (23)	1 その地域で過ごした年数 (6)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (11)
2	1 その地域で過ごした年数 (16)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (6) 1位	8 地域での文化継承・保存活動 (3)
3	8 地域での文化継承・保存活動 (12)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (6) 1位	12 地域の歴史や文化に関心がない (3) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜臨時雇用者＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		45.7	17.1	65.7	17.1	28.6	8.6	25.7	34.3	5.7	0.0	2.9	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		31.6	10.5	31.6	10.5	5.3	5.3	15.8	10.5	5.3	0.0	31.6	5.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		10.5	0.0	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	15.8	5.3	10.5	57.9	15.8	0.0

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝35人）	88	16	6	23	6	10	3	9	12	2	0	1	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝19人）	31	6	2	6	2	1	1	3	2	1	0	6	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝19人）	25	2	0	2	1	0	0	0	3	1	2	11	3	0

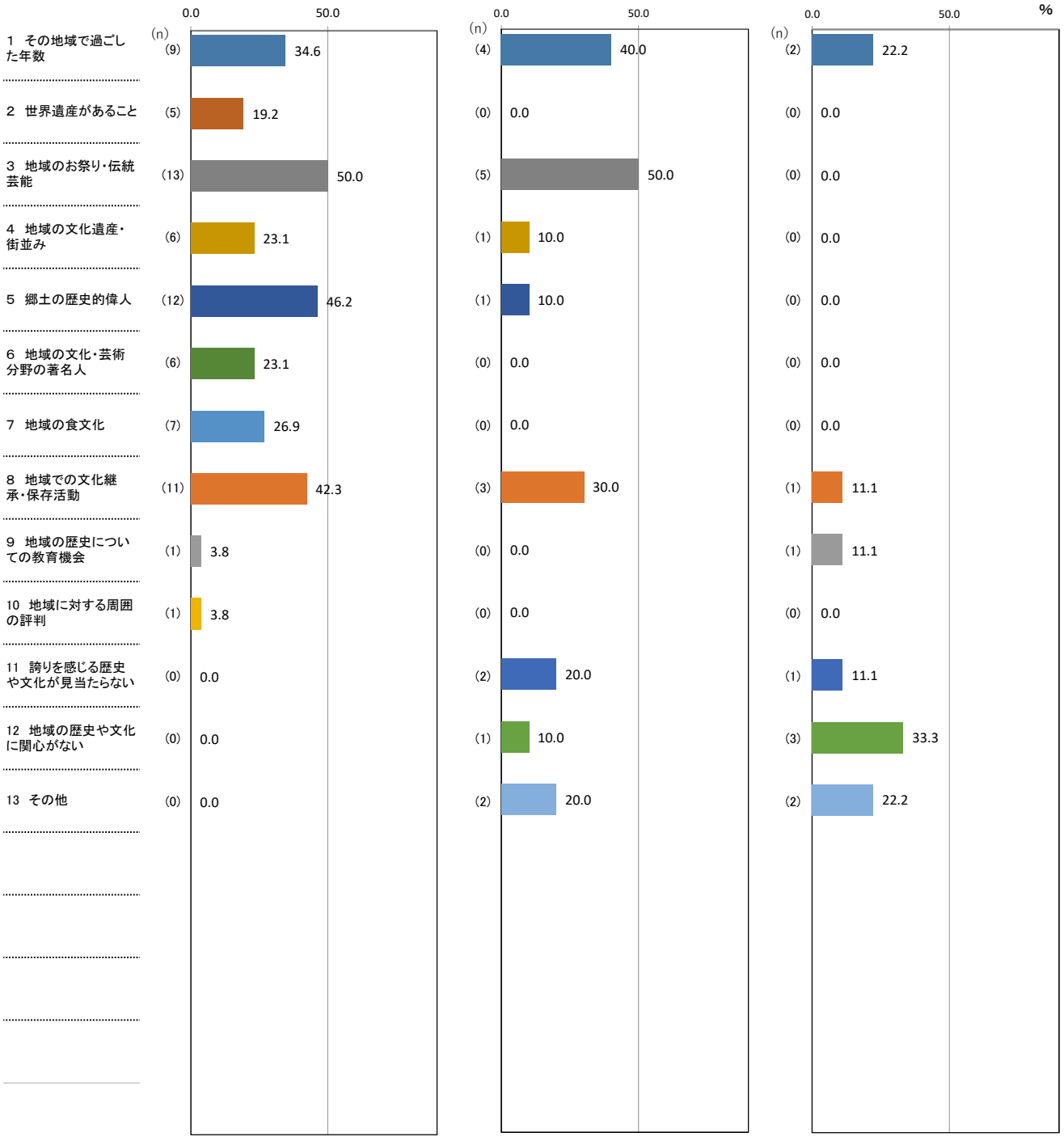
【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」＜専業主婦・主夫＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (71) 26 人	②「どちらともいえない」の回答 (19) 10 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (10) 9 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (13)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (5)	12 地域の歴史や文化に関心がない (3)
2	5 郷土の歴史的偉人 (12)	1 その地域で過ごした年数 (4)	1 その地域で過ごした年数 (2)
3	8 地域での文化継承・保存活動 (11)	8 地域での文化継承・保存活動 (3)	13 その他 (2)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜専業主婦・主夫＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		34.6	19.2	50.0	23.1	46.2	23.1	26.9	42.3	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		40.0	0.0	50.0	10.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	20.0	10.0	20.0
③「あまり感じない・感じない」		22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	33.3	22.2

（件）

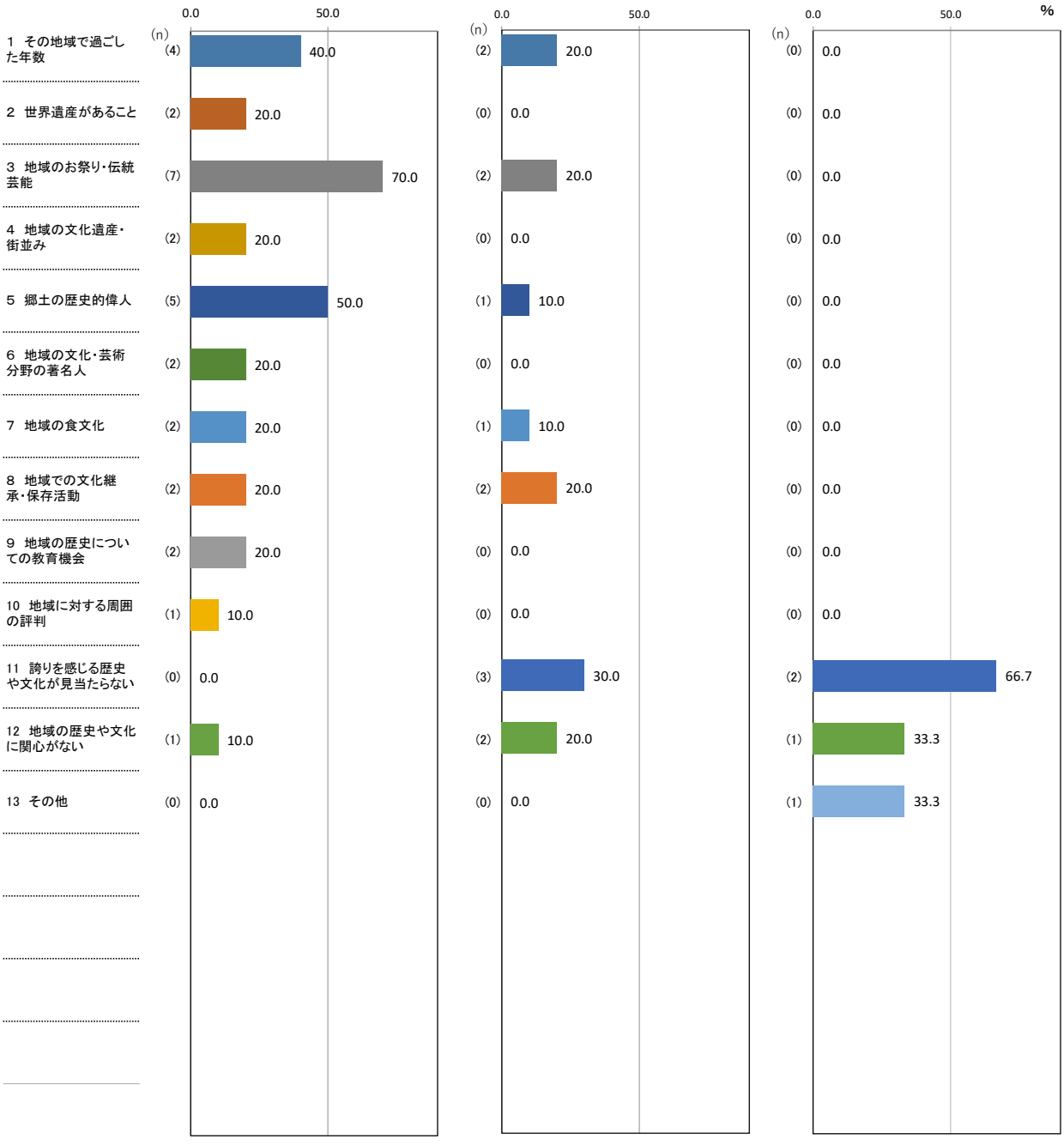
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝26人）	71	9	5	13	6	12	6	7	11	1	1	0	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝10人）	19	4	0	5	1	1	0	0	3	0	0	2	1	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝9人）	10	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」＜60歳以上の無職＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (30) 10 人	②「どちらともいえない」の回答 (13) 10 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (4) 3 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (7)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (3)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (2)
2	5 郷土の歴史的偉人 (5)	1 その地域で過ごした年数 (2)	12 地域の歴史や文化に関心がない (1)
3	1 その地域で過ごした年数 (4)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (2) 2位	13 その他 (1) 2位
		8 地域での文化継承・保存活動 (2) 2位	
		12 地域の歴史や文化に関心がない (2) 2位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60歳以上の無職＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		40.0	20.0	70.0	20.0	50.0	20.0	20.0	20.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0
②「どちらともいえない」		20.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0	30.0	20.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3

（件）

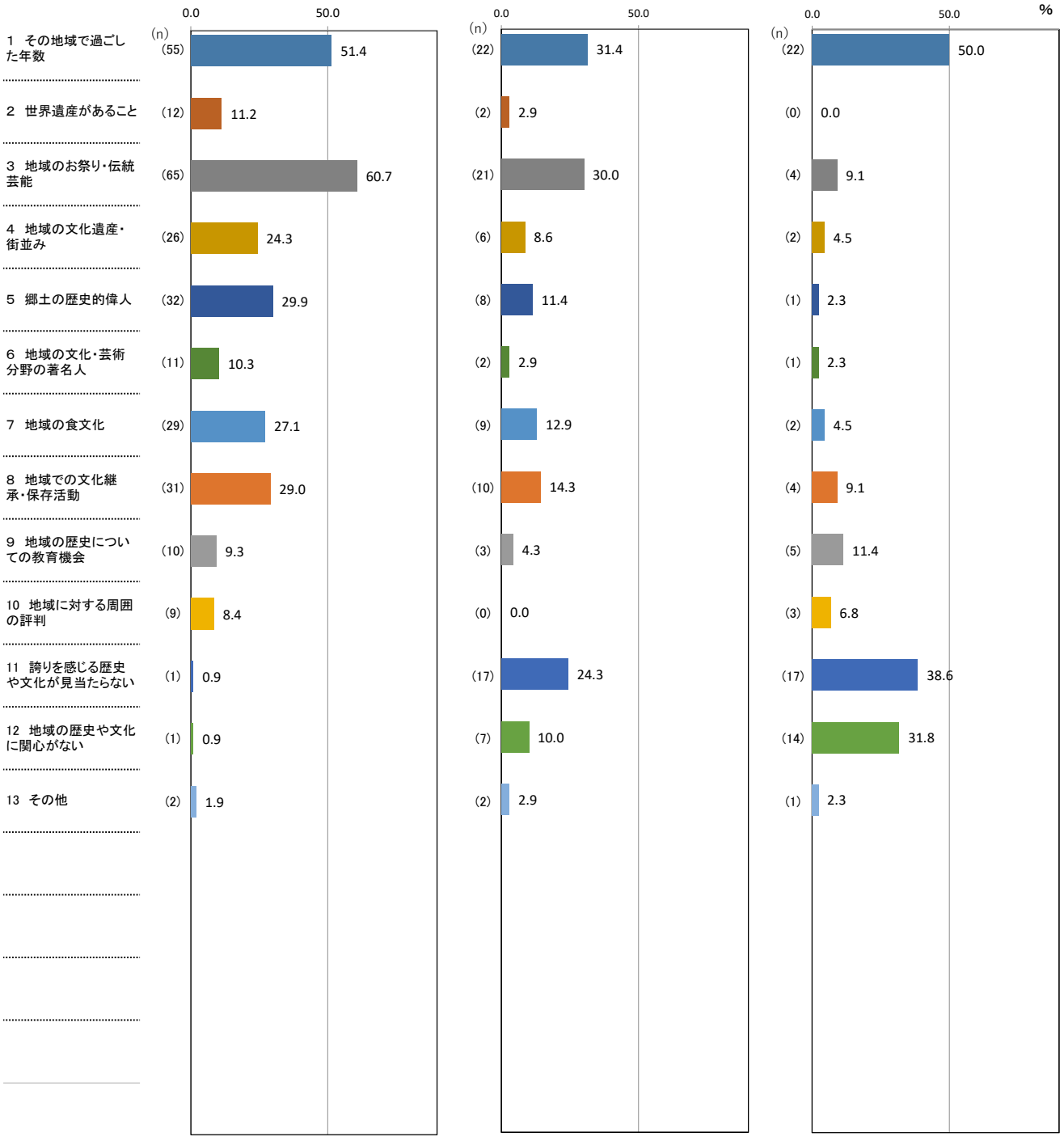
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝10人）	30	4	2	7	2	5	2	2	2	2	1	0	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝10人）	13	2	0	2	0	1	0	1	2	0	0	3	2	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝3人）	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」<2世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (284) 107 人	②「どちらともいえない」の回答 (109) 70 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (76) 44 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (65)	1 その地域で過ごした年数 (22)	1 その地域で過ごした年数 (22)
2	1 その地域で過ごした年数 (55)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (21)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (17)
3	5 郷土の歴史的偉人 (32)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (17)	12 地域の歴史や文化に関心がない (14)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜2世代世帯＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		51.4	11.2	60.7	24.3	29.9	10.3	27.1	29.0	9.3	8.4	0.9	0.9	1.9
②「どちらともいえない」		31.4	2.9	30.0	8.6	11.4	2.9	12.9	14.3	4.3	0.0	24.3	10.0	2.9
③「あまり感じない・感じない」		50.0	0.0	9.1	4.5	2.3	2.3	4.5	9.1	11.4	6.8	38.6	31.8	2.3

（件）

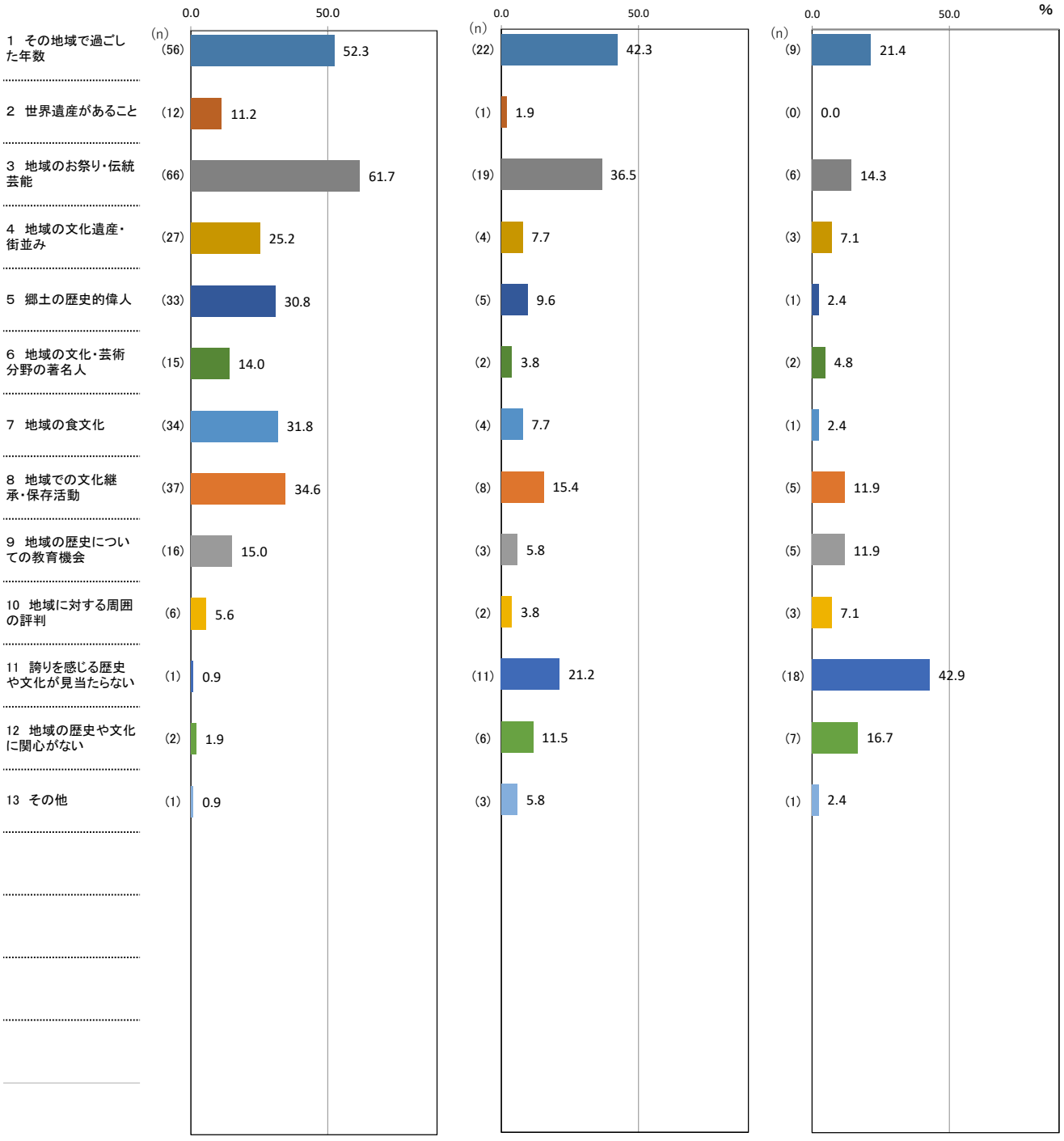
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝107人）	284	55	12	65	26	32	11	29	31	10	9	1	1	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝70人）	109	22	2	21	6	8	2	9	10	3	0	17	7	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝44人）	76	22	0	4	2	1	1	2	4	5	3	17	14	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」＜子の人数2人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (306) 107 人	②「どちらともいえない」の回答 (90) 52 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (61) 42 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (66)	1 その地域で過ごした年数 (22)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (18)
2	1 その地域で過ごした年数 (56)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (19)	1 その地域で過ごした年数 (9)
3	8 地域での文化継承・保存活動 (37)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (11)	12 地域の歴史や文化に関心がない (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数2人＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		52.3	11.2	61.7	25.2	30.8	14.0	31.8	34.6	15.0	5.6	0.9	1.9	0.9
②「どちらともいえない」		42.3	1.9	36.5	7.7	9.6	3.8	7.7	15.4	5.8	3.8	21.2	11.5	5.8
③「あまり感じない・感じない」		21.4	0.0	14.3	7.1	2.4	4.8	2.4	11.9	11.9	7.1	42.9	16.7	2.4

（件）

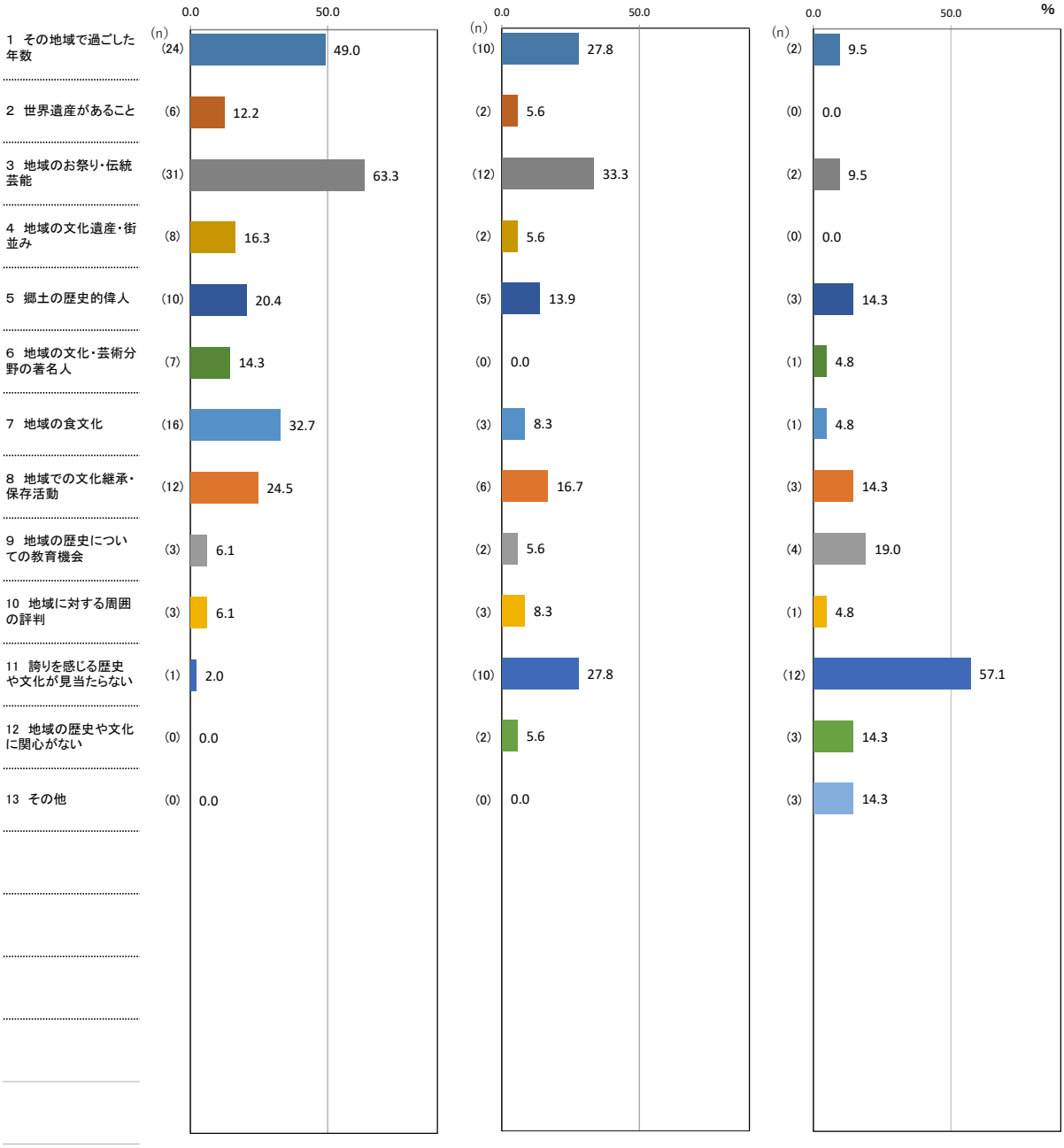
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝107人）	306	56	12	66	27	33	15	34	37	16	6	1	2	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝52人）	90	22	1	19	4	5	2	4	8	3	2	11	6	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝42人）	61	9	0	6	3	1	2	1	5	5	3	18	7	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」＜子の人数3人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (121) 49 人	②「どちらともいえない」の回答 (57) 36 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (35) 21 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (31)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (12)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (12)
2	1 その地域で過ごした年数 (24)	1 その地域で過ごした年数 (10)	9 地域の歴史についての教育機会 (4)
3	7 地域の食文化 (16)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (10) 2位	5 郷土の歴史的偉人 (3)
			8 地域での文化継承・保存活動 (3) 3位
			12 地域の歴史や文化に関心がない (3) 3位
			13 その他 (3) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数3人＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		49.0	12.2	63.3	16.3	20.4	14.3	32.7	24.5	6.1	6.1	2.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		27.8	5.6	33.3	5.6	13.9	0.0	8.3	16.7	5.6	8.3	27.8	5.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		9.5	0.0	9.5	0.0	14.3	4.8	4.8	14.3	19.0	4.8	57.1	14.3	14.3

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝49人）	121	24	6	31	8	10	7	16	12	3	3	1	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝36人）	57	10	2	12	2	5	0	3	6	2	3	10	2	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝21人）	35	2	0	2	0	3	1	1	3	4	1	12	3	3

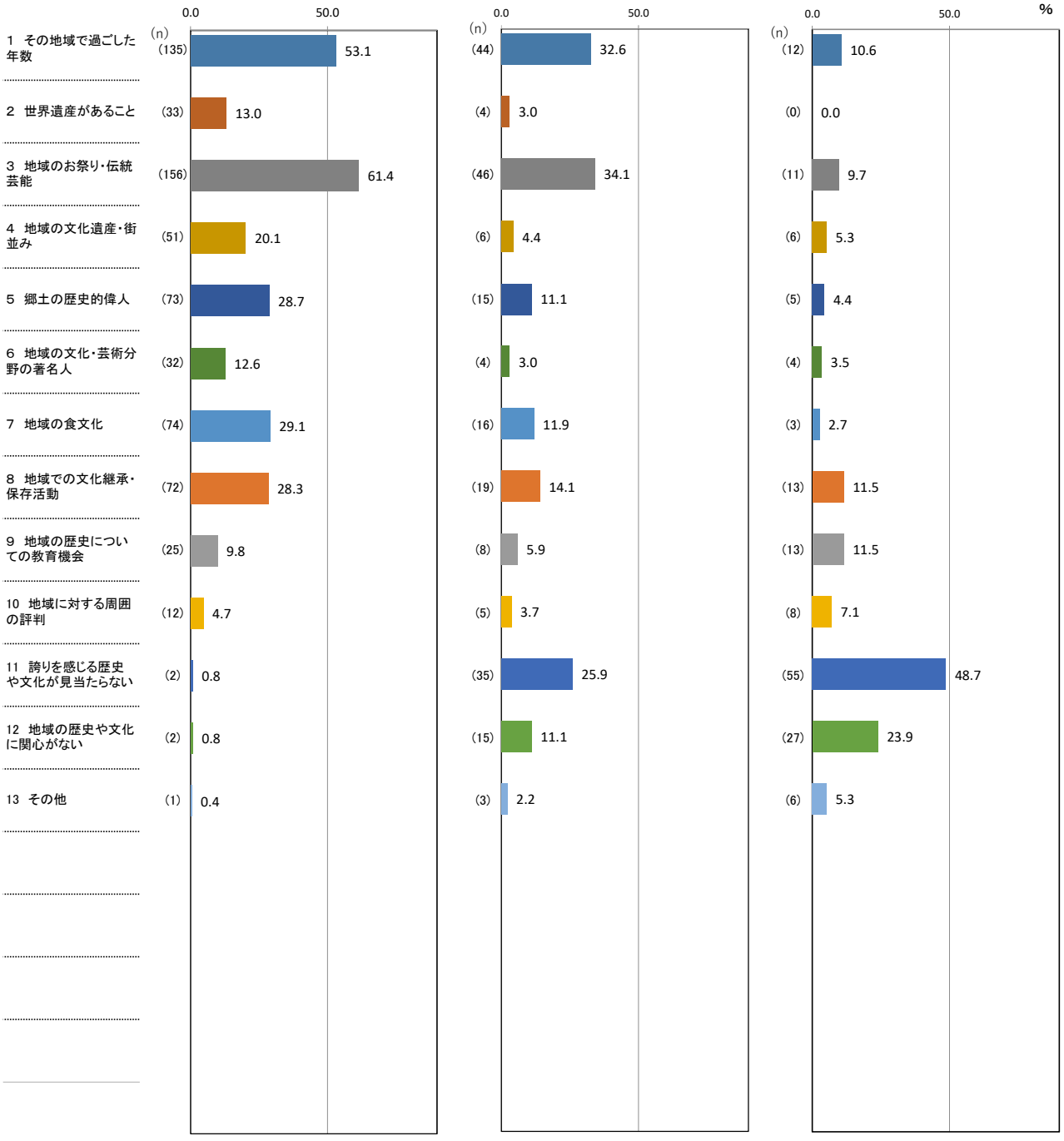
【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (668) 254 人	②「どちらともいえない」の回答 (220) 135 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (163) 113 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (156)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (46)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (55)
2	1 その地域で過ごした年数 (135)	1 その地域で過ごした年数 (44)	12 地域の歴史や文化に関心がない (27)
3	7 地域の食文化 (74)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (35)	8 地域での文化継承・保存活動 (13)
			9 地域の歴史についての教育機会 (13)

3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		53.1	13.0	61.4	20.1	28.7	12.6	29.1	28.3	9.8	4.7	0.8	0.8	0.4
②「どちらともいえない」		32.6	3.0	34.1	4.4	11.1	3.0	11.9	14.1	5.9	3.7	25.9	11.1	2.2
③「あまり感じない・感じない」		10.6	0.0	9.7	5.3	4.4	3.5	2.7	11.5	11.5	7.1	48.7	23.9	5.3

（件）

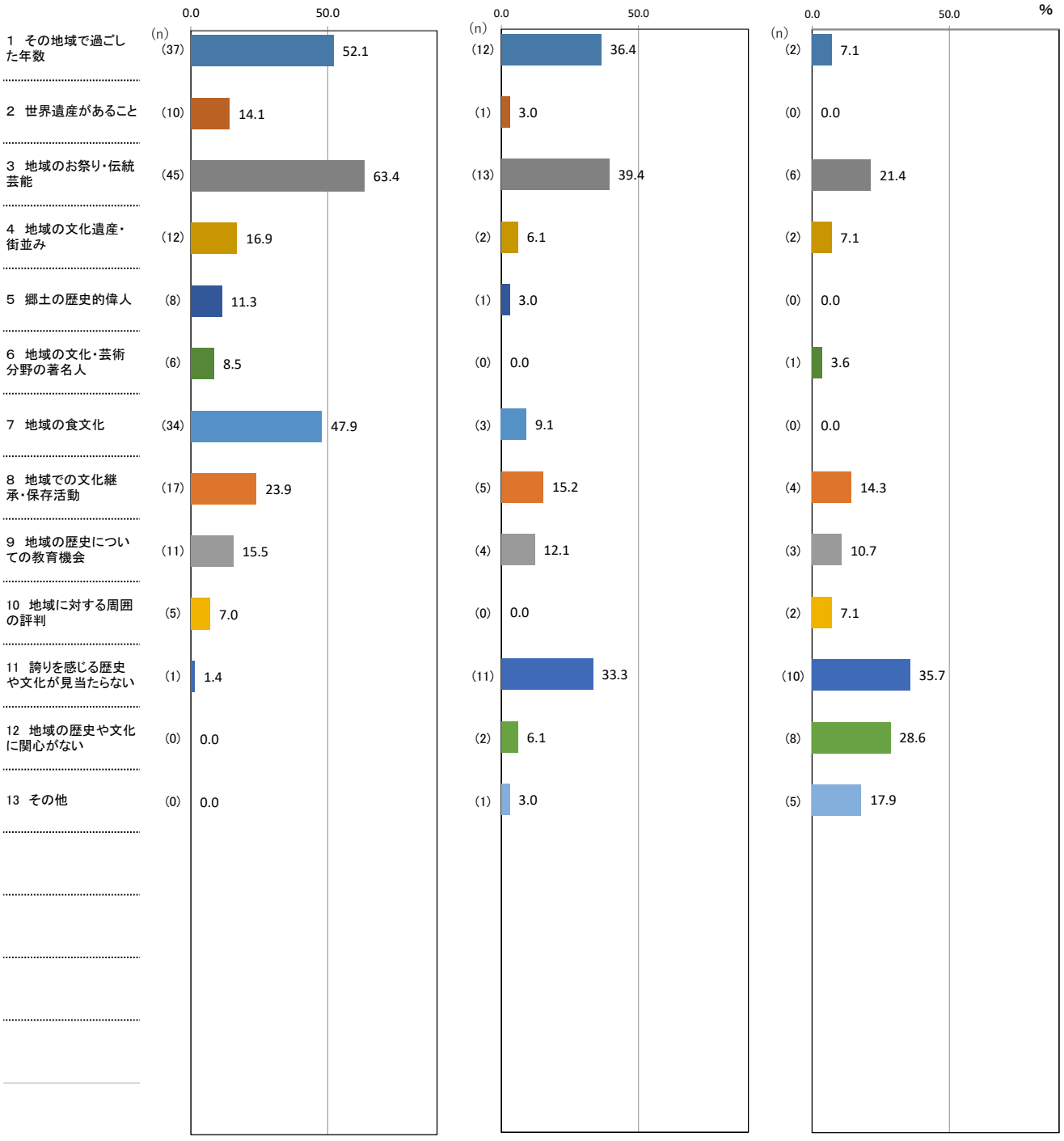
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝254人）	668	135	33	156	51	73	32	74	72	25	12	2	2	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝135人）	220	44	4	46	6	15	4	16	19	8	5	35	15	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝113人）	163	12	0	11	6	5	4	3	13	13	8	55	27	6

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」<沿岸広域振興圏>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (186) 71 人	②「どちらともいえない」の回答 (55) 33 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (43) 28 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (45)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (13)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (10)
2	1 その地域で過ごした年数 (37)	1 その地域で過ごした年数 (12)	12 地域の歴史や文化に関心がない (8)
3	7 地域の食文化 (34)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (11)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (6)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜沿岸広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		52.1	14.1	63.4	16.9	11.3	8.5	47.9	23.9	15.5	7.0	1.4	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		36.4	3.0	39.4	6.1	3.0	0.0	9.1	15.2	12.1	0.0	33.3	6.1	3.0
③「あまり感じない・感じない」		7.1	0.0	21.4	7.1	0.0	3.6	0.0	14.3	10.7	7.1	35.7	28.6	17.9

（件）

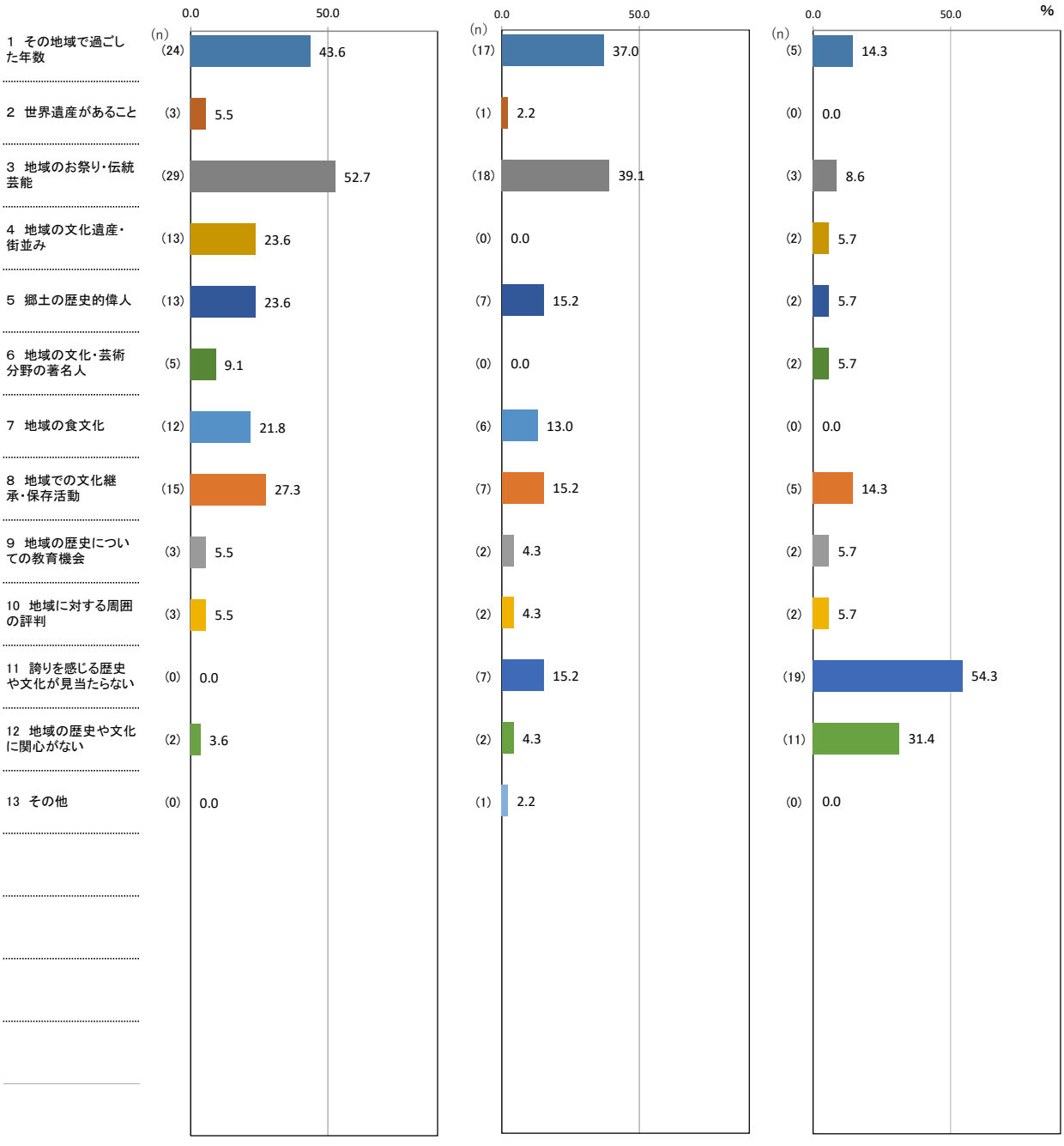
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝71人）	186	37	10	45	12	8	6	34	17	11	5	1	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝33人）	55	12	1	13	2	1	0	3	5	4	0	11	2	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝28人）	43	2	0	6	2	0	1	0	4	3	2	10	8	5

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「歴史・文化への誇り」＜県北広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (122) 55 人	②「どちらともいえない」の回答 (70) 46 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (53) 35 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (29)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (18)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (19)
2	1 その地域で過ごした年数 (24)	1 その地域で過ごした年数 (17)	12 地域の歴史や文化に関心がない (11)
3	8 地域での文化継承・保存活動 (15)	5 郷土の歴史的偉人 (7)	1 その地域で過ごした年数 (5)
		8 地域での文化継承・保存活動 (7) 3位	8 地域での文化継承・保存活動 (5) 3位
		11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (7) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県北広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		43.6	5.5	52.7	23.6	23.6	9.1	21.8	27.3	5.5	5.5	0.0	3.6	0.0
②「どちらともいえない」		37.0	2.2	39.1	0.0	15.2	0.0	13.0	15.2	4.3	4.3	15.2	4.3	2.2
③「あまり感じない・感じない」		14.3	0.0	8.6	5.7	5.7	5.7	0.0	14.3	5.7	5.7	54.3	31.4	0.0

（件）

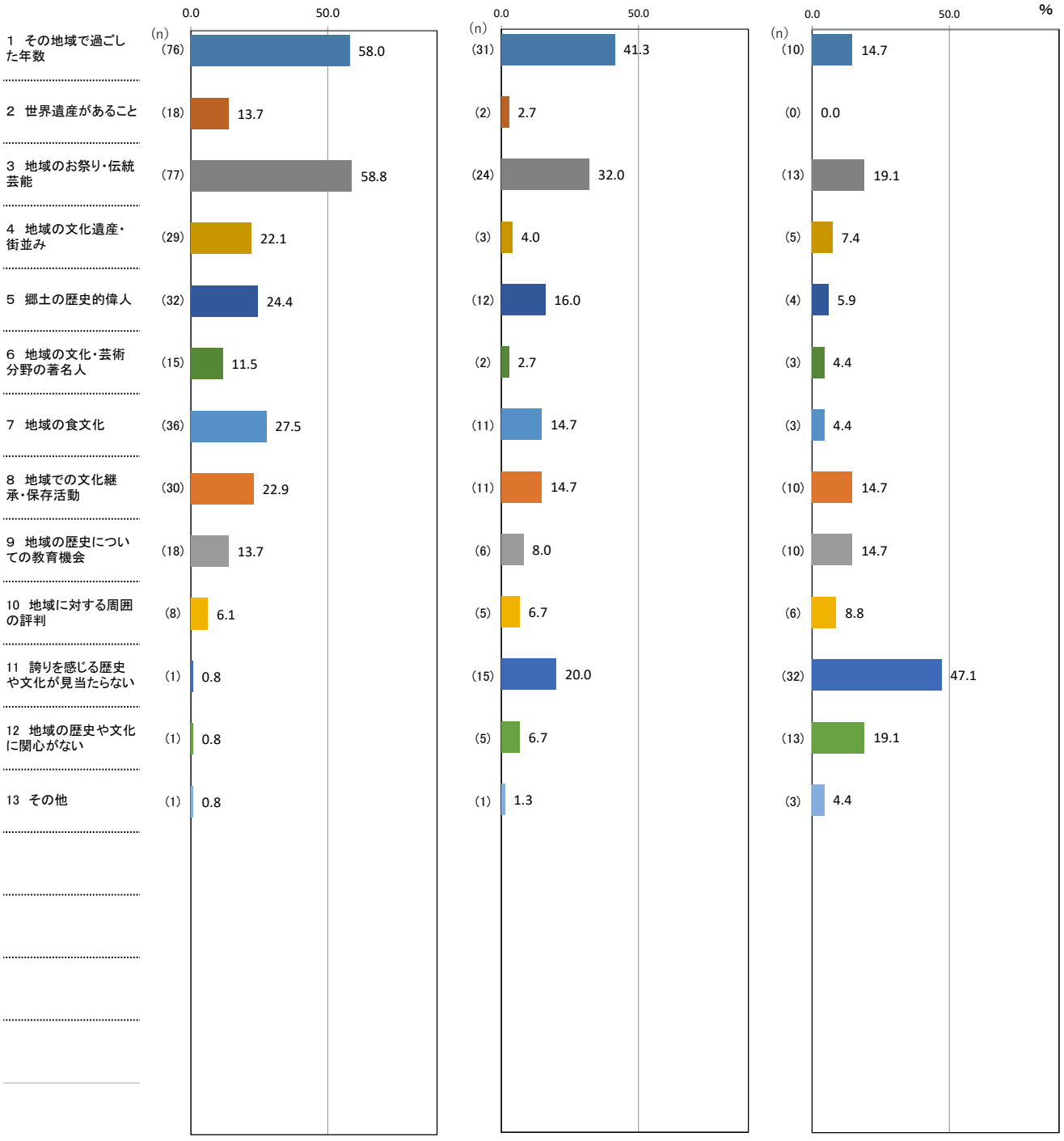
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝55人）	122	24	3	29	13	13	5	12	15	3	3	0	2	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝46人）	70	17	1	18	0	7	0	6	7	2	2	7	2	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝35人）	53	5	0	3	2	2	2	0	5	2	2	19	11	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」＜男性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (342) 131 人	②「どちらともいえない」の回答 (128) 75 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (112) 68 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (77)	1 その地域で過ごした年数 (31)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (32)
2	1 その地域で過ごした年数 (76)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (24)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (13)
3	7 地域の食文化 (36)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (15)	#N/A #N/A

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜男性＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		58.0	13.7	58.8	22.1	24.4	11.5	27.5	22.9	13.7	6.1	0.8	0.8	0.8
②「どちらともいえない」		41.3	2.7	32.0	4.0	16.0	2.7	14.7	14.7	8.0	6.7	20.0	6.7	1.3
③「あまり感じない・感じない」		14.7	0.0	19.1	7.4	5.9	4.4	4.4	14.7	14.7	8.8	47.1	19.1	4.4

（件）

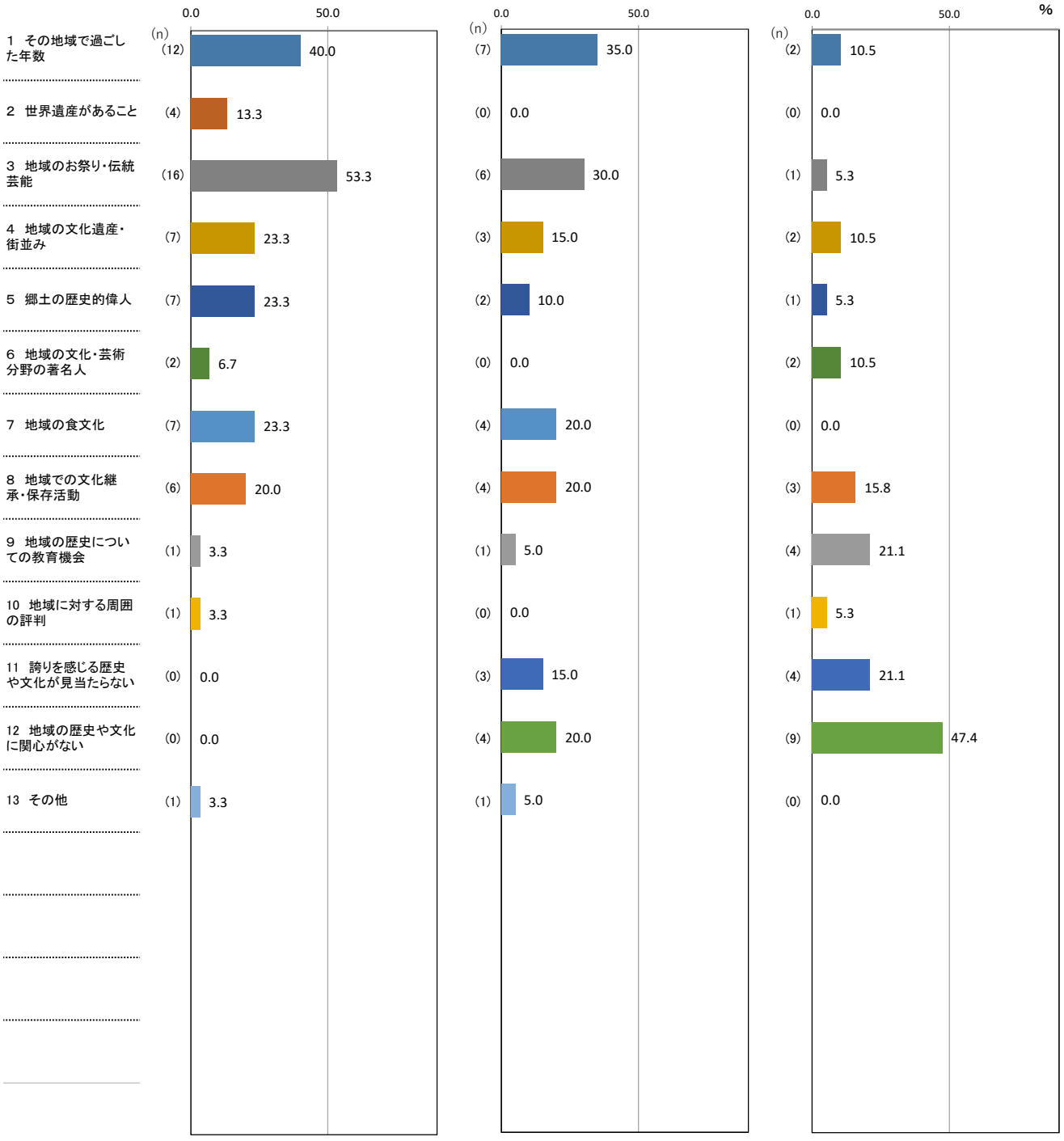
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝131人）	342	76	18	77	29	32	15	36	30	18	8	1	1	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝75人）	128	31	2	24	3	12	2	11	11	6	5	15	5	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝68人）	112	10	0	13	5	4	3	3	10	10	6	32	13	3

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」＜30～39歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (64) 30 人	②「どちらともいえない」の回答 (35) 20 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (29) 19 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (16)	1 その地域で過ごした年数 (7)	12 地域の歴史や文化に関心がない (9)
2	1 その地域で過ごした年数 (12)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (6)	9 地域の歴史についての教育機会 (4)
3	4 地域の文化遺産・街並み (7)	7 地域の食文化 (4)	#N/A #N/A

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜30～39歳＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		40.0	13.3	53.3	23.3	23.3	6.7	23.3	20.0	3.3	3.3	0.0	0.0	3.3
②「どちらともいえない」		35.0	0.0	30.0	15.0	10.0	0.0	20.0	20.0	5.0	0.0	15.0	20.0	5.0
③「あまり感じない・感じない」		10.5	0.0	5.3	10.5	5.3	10.5	0.0	15.8	21.1	5.3	21.1	47.4	0.0

（件）

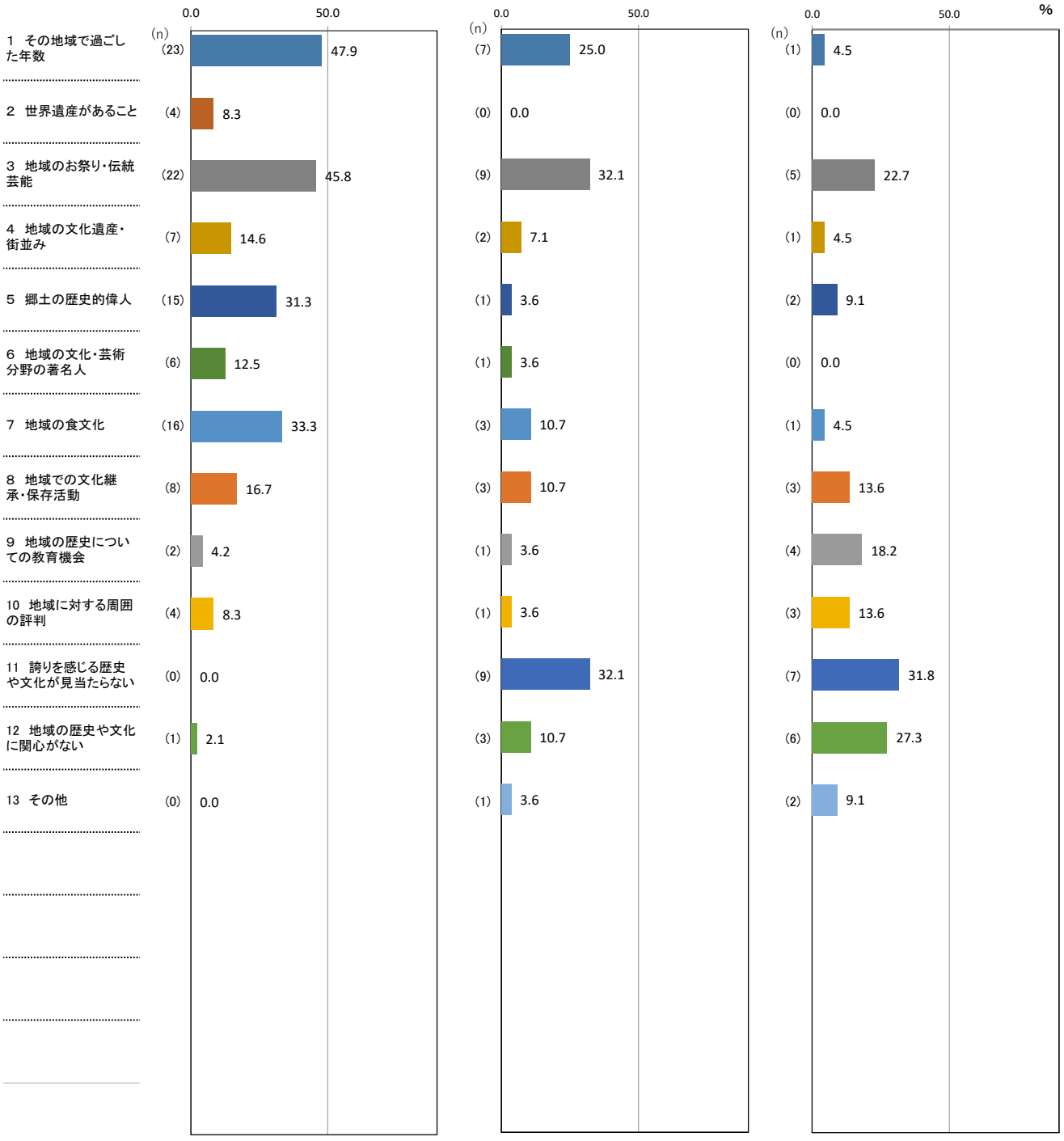
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝30人）	64	12	4	16	7	7	2	7	6	1	1	0	0	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝20人）	35	7	0	6	3	2	0	4	4	1	0	3	4	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝19人）	29	2	0	1	2	1	2	0	3	4	1	4	9	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」<50～59歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (108) 48 人	②「どちらともいえない」の回答 (41) 28 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (35) 22 人
1	1 その地域で過ごした年数 (23)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (9)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (7)
2	3 地域のお祭り・伝統芸能 (22)	#N/A #N/A	12 地域の歴史や文化に関心がない (6)
3	7 地域の食文化 (16)	1 その地域で過ごした年数 (7)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (5)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		47.9	8.3	45.8	14.6	31.3	12.5	33.3	16.7	4.2	8.3	0.0	2.1	0.0
②「どちらともいえない」		25.0	0.0	32.1	7.1	3.6	3.6	10.7	10.7	3.6	3.6	32.1	10.7	3.6
③「あまり感じない・感じない」		4.5	0.0	22.7	4.5	9.1	0.0	4.5	13.6	18.2	13.6	31.8	27.3	9.1

（件）

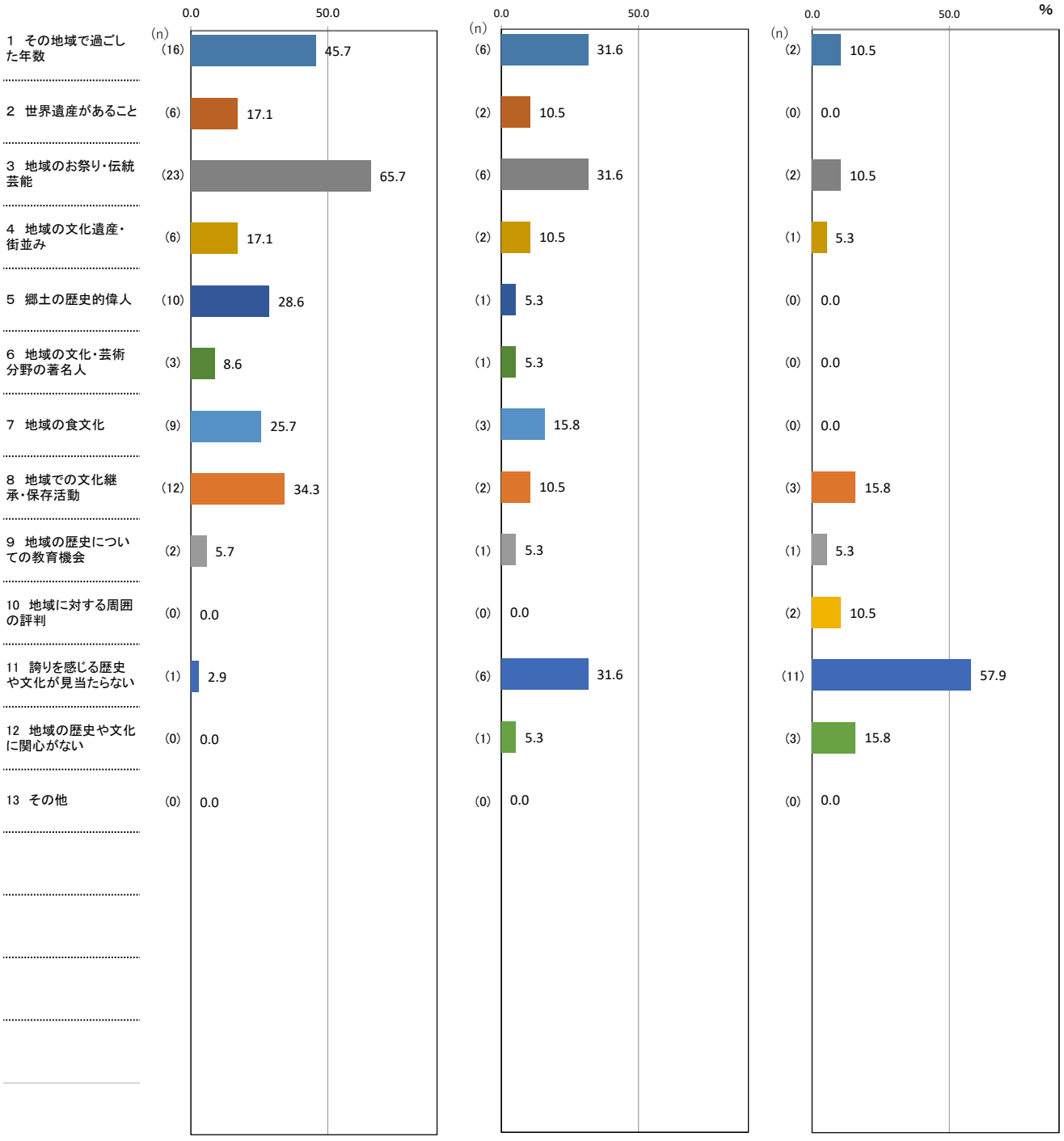
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝48人）	108	23	4	22	7	15	6	16	8	2	4	0	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝28人）	41	7	0	9	2	1	1	3	3	1	1	9	3	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝22人）	35	1	0	5	1	2	0	1	3	4	3	7	6	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」＜臨時雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (88) 35 人	②「どちらともいえない」の回答 (31) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (25) 19 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (23)	1 その地域で過ごした年数 (6)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (11)
2	1 その地域で過ごした年数 (16)	#N/A #N/A	8 地域での文化継承・保存活動 (3)
3	8 地域での文化継承・保存活動 (12)	#N/A #N/A	#N/A #N/A

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜臨時雇用者＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		45.7	17.1	65.7	17.1	28.6	8.6	25.7	34.3	5.7	0.0	2.9	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		31.6	10.5	31.6	10.5	5.3	5.3	15.8	10.5	5.3	0.0	31.6	5.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		10.5	0.0	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	15.8	5.3	10.5	57.9	15.8	0.0

（件）

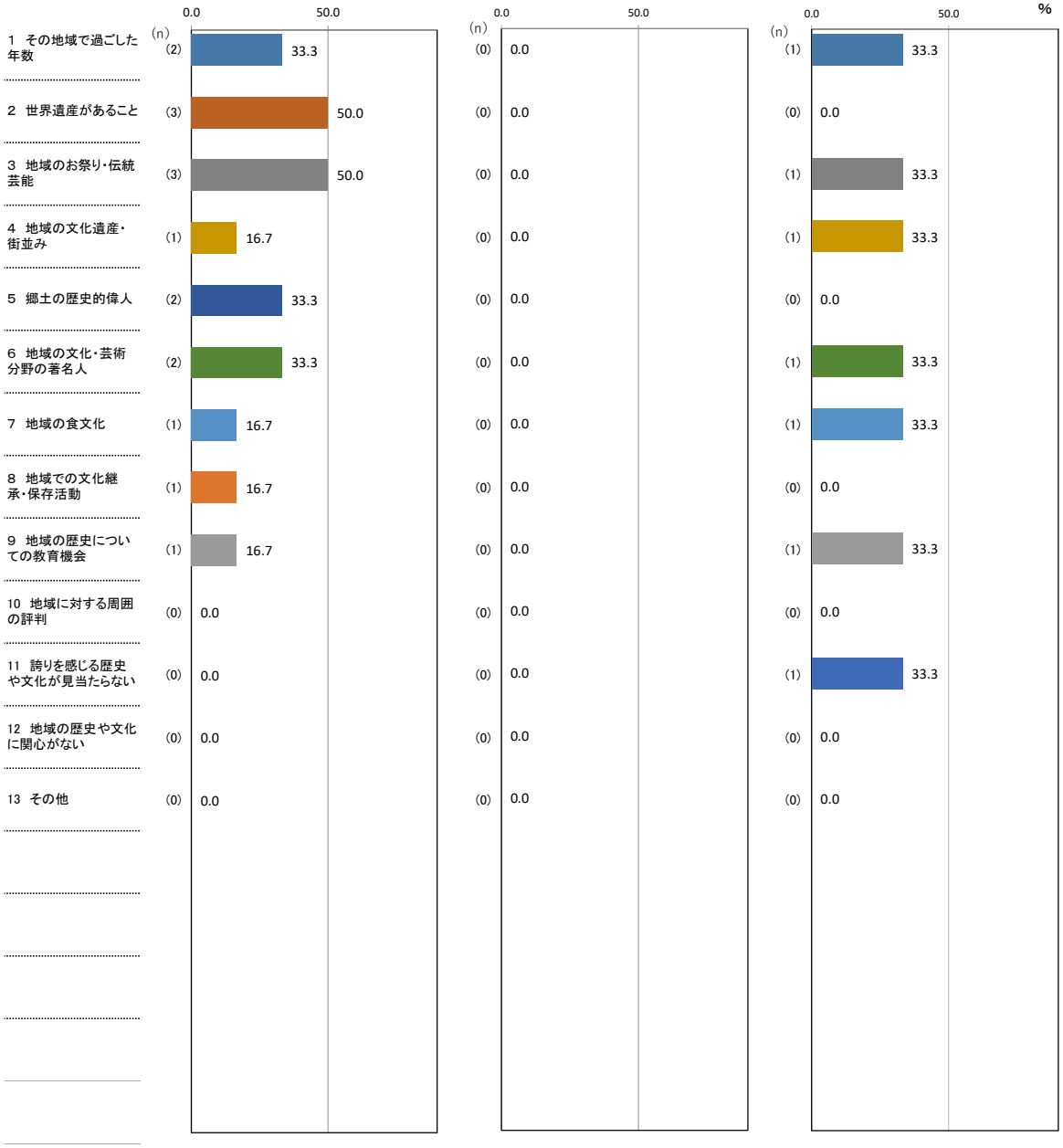
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝35人）	88	16	6	23	6	10	3	9	12	2	0	1	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝19人）	31	6	2	6	2	1	1	3	2	1	0	6	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝19人）	25	2	0	2	1	0	0	0	3	1	2	11	3	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」＜学生＋その他＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (16) 6 人	②「どちらともいえない」の回答 (0) 0 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (7) 3 人
1	2 世界遺産があること (3)	#N/A #N/A	1 その地域で過ごした年数 (1)
2	3 地域のお祭り・伝統芸能 (3) 1位	#N/A #N/A	3 地域のお祭り・伝統芸能 (1) 1位
3	1 その地域で過ごした年数 (2)	#N/A #N/A	4 地域の文化遺産・街並み (1) 1位
	5 郷土の歴史的偉人 (2) 2位		6 地域の文化・芸術分野の著名人 (1) 1位
	6 地域の文化・芸術分野の著名人 (2) 2位		7 地域の食文化 (1) 1位
			9 地域の歴史についての教育機会 (1) 1位
			11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (1) 1位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜学生＋その他＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		33.3	50.0	50.0	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
③「あまり感じない・感じない」		33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0

（件）

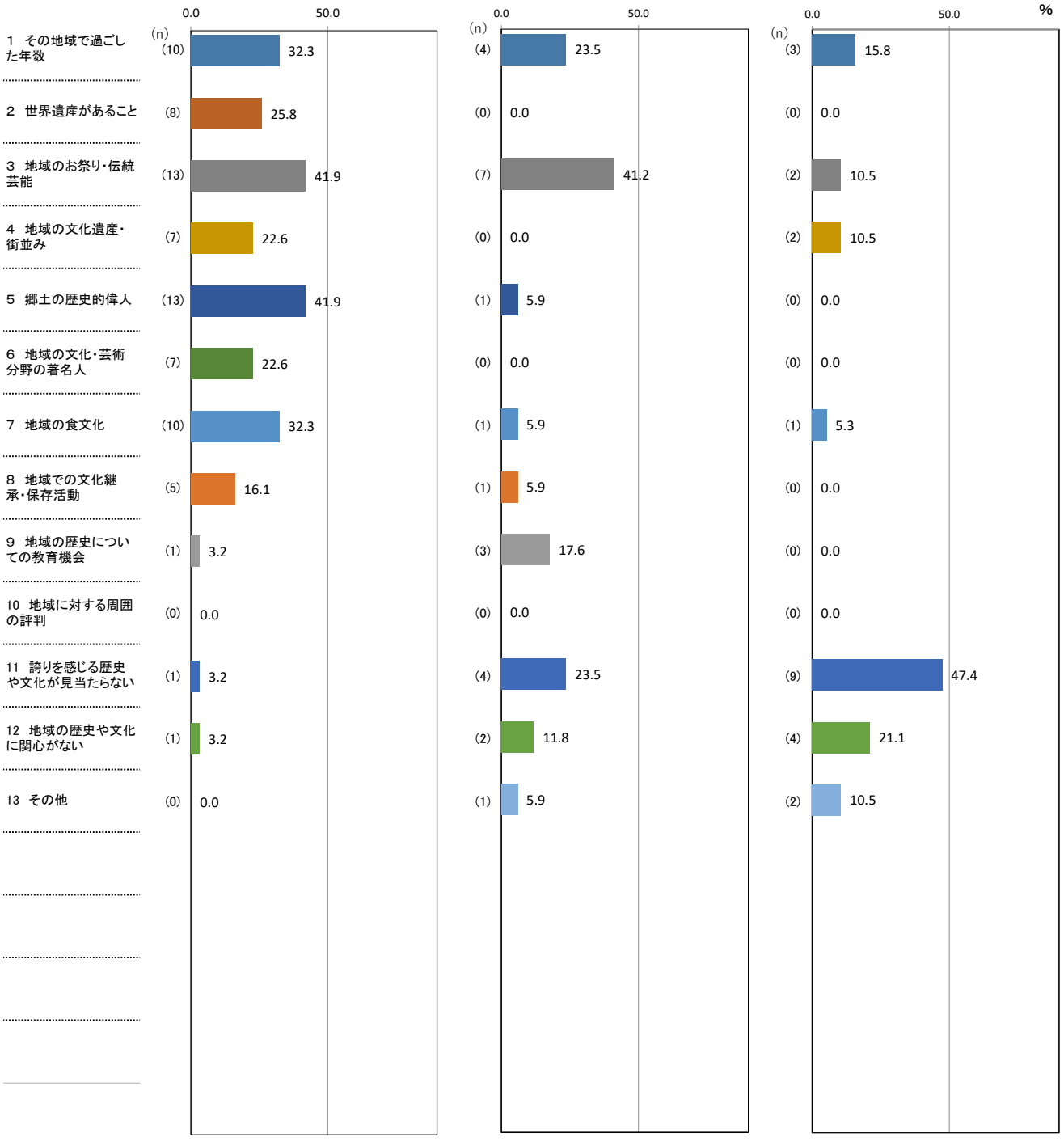
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①　「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝6人）	16	2	3	3	1	2	2	1	1	1	0	0	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝0人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝3人）	7	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」<ひとり暮らし>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (76) 31 人	②「どちらともいえない」の回答 (24) 17 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (23) 19 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (13)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (7)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (9)
2	#N/A #N/A	1 その地域で過ごした年数 (4)	12 地域の歴史や文化に関心がない (4)
3	1 その地域で過ごした年数 (10)	#N/A #N/A	1 その地域で過ごした年数 (3)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜ひとり暮らし＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		32.3	25.8	41.9	22.6	41.9	22.6	32.3	16.1	3.2	0.0	3.2	3.2	0.0
②「どちらともいえない」		23.5	0.0	41.2	0.0	5.9	0.0	5.9	5.9	17.6	0.0	23.5	11.8	5.9
③「あまり感じない・感じない」		15.8	0.0	10.5	10.5	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	47.4	21.1	10.5

（件）

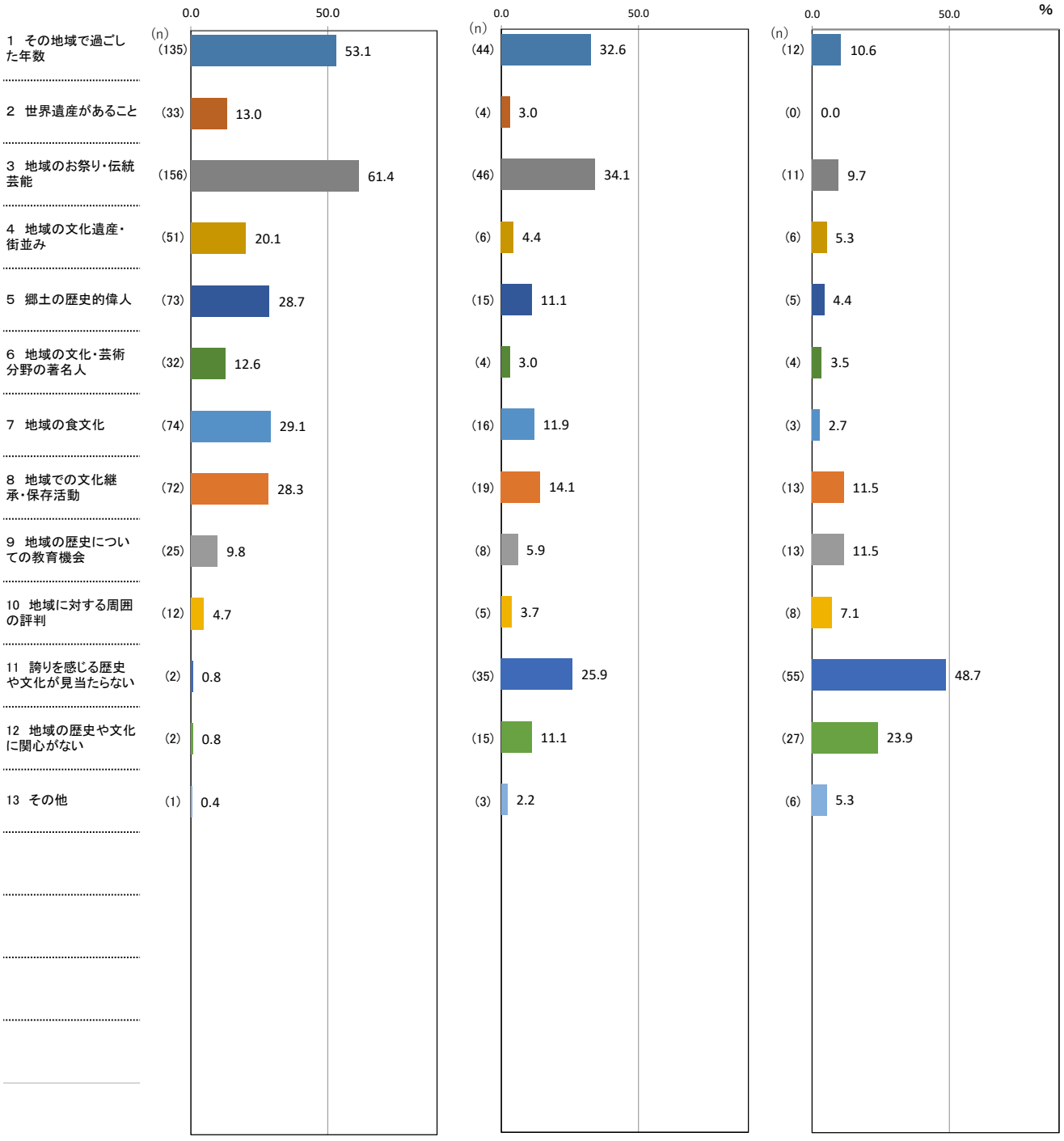
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝31人）	76	10	8	13	7	13	7	10	5	1	0	1	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝17人）	24	4	0	7	0	1	0	1	1	3	0	4	2	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝19人）	23	3	0	2	2	0	0	1	0	0	0	9	4	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (668) 254 人	②「どちらともいえない」の回答 (220) 135 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (163) 113 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (156)	3 地域のお祭り・伝統芸能 (46)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (55)
2	1 その地域で過ごした年数 (135)	1 その地域で過ごした年数 (44)	12 地域の歴史や文化に関心がない (27)
3	7 地域の食文化 (74)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (35)	8 地域での文化継承・保存活動 (13)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11） 歴史・文化への誇りについての回答理由（問1-1（11）「①あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」		53.1	13.0	61.4	20.1	28.7	12.6	29.1	28.3	9.8	4.7	0.8	0.8	0.4
②「どちらともいえない」		32.6	3.0	34.1	4.4	11.1	3.0	11.9	14.1	5.9	3.7	25.9	11.1	2.2
③「あまり感じない・感じない」		10.6	0.0	9.7	5.3	4.4	3.5	2.7	11.5	11.5	7.1	48.7	23.9	5.3

（件）

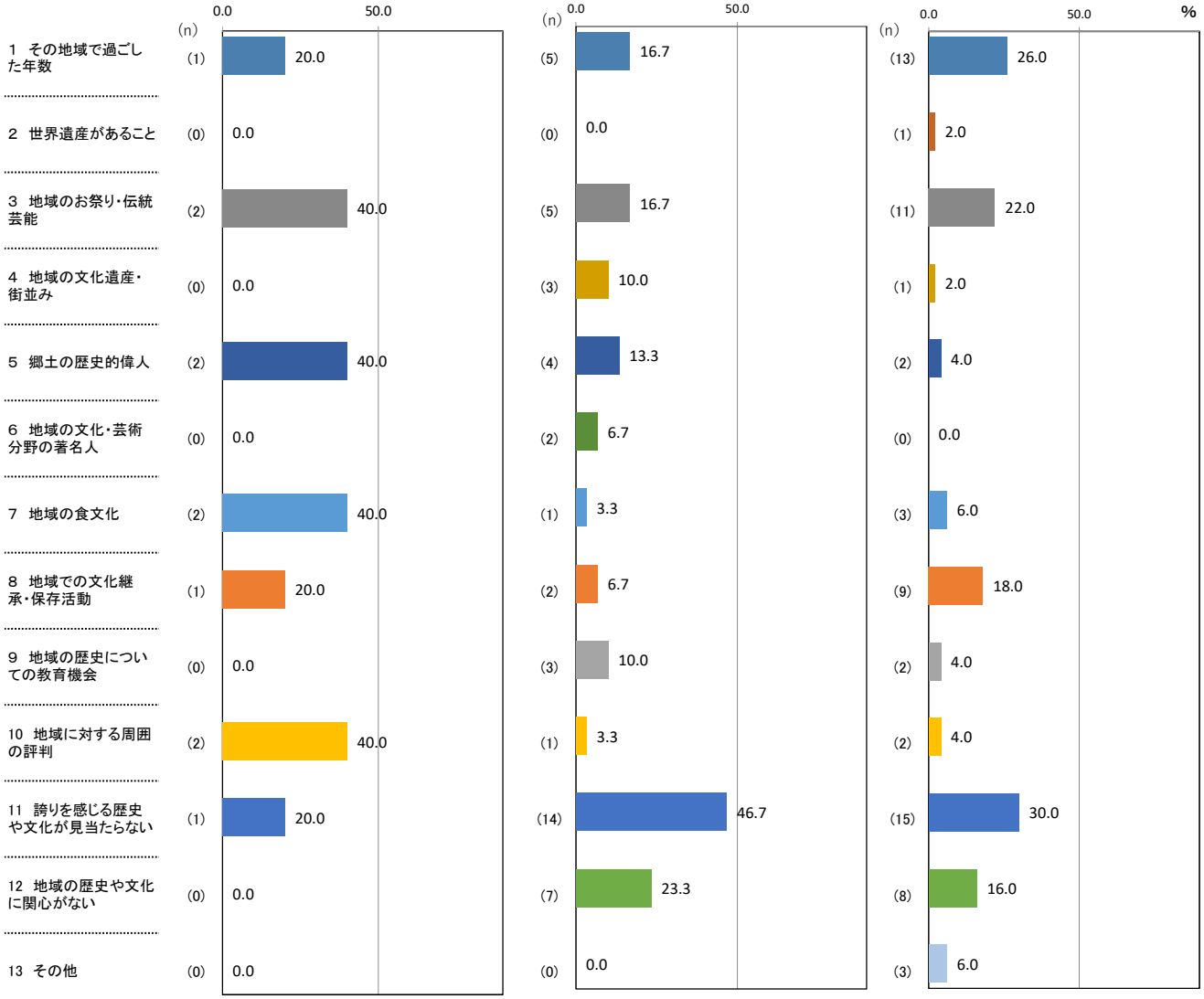
区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝254人）	668	135	33	156	51	73	32	74	72	25	12	2	2	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝135人）	220	44	4	46	6	15	4	16	19	8	5	35	15	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝113人）	163	12	0	11	6	5	4	3	13	13	8	55	27	6

【補足調査】(実感変動とコロナ実感)

分野別実感の回答結果「歴史・文化への誇り」(実感低下)

上位3項目	①「よい影響を感じる」の回答 (11) 5 人	②「どちらともいえない」の回答 (47) 30 人	③「よくない影響を感じる」の回答 (70) 50 人
1	3 地域のお祭り・伝統芸能 (2)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (14)	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない (15)
2	5 郷土の歴史的偉人 (2) 1位	12 地域の歴史や文化に関心がない (7)	1 その地域で過ごした年数 (13)
3	7 地域の食文化 (2) 1位 10 地域に対する周囲の評判 (2) 1位	1 その地域で過ごした年数 (5) 3 地域のお祭り・伝統芸能 (5) 3位	3 地域のお祭り・伝統芸能 (11)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（11）「歴史・文化への誇り」において実感が低下している人の新型コロナウイルス感染症の影響に係る回答理由

（%）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「よい影響を感じる」		20.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	
②「どちらともいえない」		16.7	0.0	16.7	10.0	13.3	6.7	3.3	6.7	10.0	3.3	46.7	23.3	
③「よくない影響を感じる」		26.0	2.0	22.0	2.0	4.0	0.0	6.0	18.0	4.0	4.0	30.0	16.0	6.0

（件）

区分	計	1 その地域で過ごした年数	2 世界遺産があること	3 地域のお祭り・伝統芸能	4 地域の文化遺産・街並み	5 郷土の歴史的偉人	6 地域の文化・芸術分野の著名人	7 地域の食文化	8 地域での文化継承・保存活動	9 地域の歴史についての教育機会	10 地域に対する周囲の評判	11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	12 地域の歴史や文化に関心がない	13 その他
①「よい影響を感じる」の人（サンプル数＝5人）	11	1	0	2	0	2	0	2	1	0	2	1	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝30人）	47	5	0	5	3	4	2	1	2	3	1	14	7	0
③「よくない影響を感じる」の人（サンプル数＝50人）	70	13	1	11	1	2	0	3	9	2	2	15	8	3

実感が上昇した分野

５　「心身の健康」の実感

①　分野別実感の概況

ア　分野別実感に係る令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

実感平均値は 3.07 点であり、基準年調査より 0.07 点上昇しています。

ｔ検定を行った結果、基準年調査に比べて有意に上昇していることから、**当該分野の実感は上昇**していると考えられます。

イ　属性別の状況

○　令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

基準年調査と比較して有意に変化した属性は表９のとおりでした。

表９　「心身の健康」の実感において有意な変化があった属性と基準年差

属性		H31	R３	R3-H31
県計		3.00	3.07	0.07
年代	60～69 歳	3.05	3.20	0.16
職業	60 歳以上の無職	2.90	3.07	0.17
世帯構成	その他	2.82	3.15	0.33
居住年数	20 年以上	2.98	3.05	0.07
広域振興圏	県南広域振興圏	2.92	3.06	0.14

ウ　新型コロナウイルス感染症の影響

当該分野別実感に係る新型コロナウイルス感染症の影響に対する県民の認識を令和３年県民意識調査において把握したところ、からだの健康については、良い影響を感じた割合が 10%、良くない影響を感じた割合が 56%となり、こころの健康については、良い影響を感じた割合が８％、良くない影響を感じた割合が 62%となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響を検討する上で、影響を受ける前の令和２年調査と影響後の令和３年調査の実感を比較すると表 10 のとおりでした。

表 10　「心身の健康」の実感において有意な変化があった属性と前年差

属性		R２	R３	R3-R2
県計		3.15	3.07	▲ 0.08
性別	男性	3.12	3.03	▲ 0.09
年代	50～59 歳	3.06	2.82	▲ 0.24
職業	家族従業者	3.43	2.99	▲ 0.44
	臨時雇用者	3.22	3.02	▲ 0.20
世帯構成	ひとり暮らし	3.18	2.99	▲ 0.19
子の数	子どもはいない	3.04	2.89	▲ 0.15
居住年数	20 年以上	3.13	3.05	▲ 0.08
広域振興圏	沿岸広域振興圏	3.15	3.02	▲ 0.13

②　分野別実感が上昇した要因

・　県民意識調査の結果、実感が有意に上昇した属性は、表９及び表 10 のとおり幅広く存在しており、特徴的な属性は確認できませんでした。

・　補足調査で把握している「分野別実感の回答理由」については、当該項目の実績が令和２年調査からしかないことから、令和２年調査と今年調査で実感が上昇した人の

回答理由は以下のとおりでした。

【からだ】

（ア） 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ）

（イ） 健康診断の結果

（ウ） 持病の有無

【こころ】

（ア） 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ）

（イ） からだの健康状態

（ウ） 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無

- **以上を踏まえ、当該分野の実感が上昇した要因は、からだの健康が「睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ）」「健康診断の結果」「持病の有無」であり、こころの健康が「睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ）」「からだの健康状態」「仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無」であると推測されます。**
- なお、**新型コロナウイルス感染症の影響について、良くない影響を感じた人であって、前年調査に比べて実感が低下した人の主な回答理由は**以下のとおりであり、**「分野別実感の回答理由」と概ね同じ理由**でした。

【からだ】

（ア） 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ）

（イ） 健康診断の結果

（ウ） 持病の有無

（エ） こころの健康状態

【こころ】

（ア） 充実した余暇の有無（仕事学業以外の趣味など）

（イ） からだの健康状態

（ウ） 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽ）

（エ） 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無

（オ） 相談相手の有無

(1)県民意識調査の属性別平均点について

①こころやからだが健康だと感じますか　　参考

		H31（基準年）	R２	R3	R3−H31（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−H31（寄与度）	R3−R2（対前年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−R2（寄与度）
県計(3,549)		3.00	3.15	3.07	0.07	0.02	**	0.07	▲ 0.08	0.01	**	▲ 0.08
性別	男性(1,561)	2.97	3.12	3.03	0.05	0.22		0.02	▲ 0.09	0.04	**	▲ 0.04
	女性(1,949)	3.03	3.18	3.11	0.08	0.05		0.05	▲ 0.07	0.09		▲ 0.04
	その他(参考)(6)		2.00	2.67					0.67	0.45		0.00
年代	18～19歳(参考)(53)	3.85	3.67	3.85	▲ 0.01	0.98		▲ 0.00	0.17	0.49		0.00
	20～29歳(200)	3.04	3.25	3.01	▲ 0.03	0.80		▲ 0.00	▲ 0.24	0.07		▲ 0.01
	30～39歳(320)	2.80	3.12	3.00	0.20	0.05		0.02	▲ 0.13	0.22		▲ 0.01
	40～49歳(499)	2.85	3.04	2.99	0.14	0.09		0.02	▲ 0.05	0.50		▲ 0.01
	50～59歳(604)	2.90	3.06	2.82	▲ 0.08	0.27		▲ 0.01	▲ 0.24	0.00	**	▲ 0.04
	60～69歳(766)	3.05	3.19	3.20	0.16	0.01	**	0.03	0.02	0.78		0.00
	70歳以上(1,009)	3.13	3.20	3.18	0.06	0.34		0.02	▲ 0.02	0.75		▲ 0.01
職業	自営業主(282)	3.18	3.26	3.20	0.02	0.86		0.00	▲ 0.07	0.52		▲ 0.01
	家族従業者(119)	3.23	3.43	2.99	▲ 0.24	0.13		▲ 0.01	▲ 0.44	0.00	**	▲ 0.01
	会社役員・団体役員(240)	3.02	3.19	3.23	0.21	0.09		0.01	0.04	0.74		0.00
	常用雇用者(1,025)	2.91	3.10	3.00	0.09	0.10		0.03	▲ 0.09	0.08		▲ 0.03
	臨時雇用者(440)	3.04	3.22	3.02	▲ 0.02	0.83		▲ 0.00	▲ 0.20	0.01	**	▲ 0.02
	学生＋その他(119)	3.36	3.33	3.43	0.07	0.67		0.00	0.09	0.53		0.00
	専業主婦・主夫(403)	3.07	3.13	3.21	0.14	0.13		0.02	0.08	0.36		0.01
	60歳未満の無職(参考)(77)	2.32	2.47	2.25	▲ 0.07	0.75		▲ 0.00	▲ 0.22	0.30		▲ 0.00
	60歳以上の無職(697)	2.90	3.10	3.07	0.17	0.02	**	0.03	▲ 0.03	0.68		▲ 0.01
世帯構成	ひとり暮らし(431)	2.98	3.18	2.99	0.00	0.97		0.00	▲ 0.19	0.03	**	▲ 0.02
	夫婦のみ(718)	3.12	3.24	3.23	0.11	0.07		0.02	▲ 0.01	0.89		▲ 0.00
	2世代世帯(1,437)	3.00	3.10	3.02	0.02	0.67		0.01	▲ 0.08	0.10		▲ 0.03
	3世代世帯(548)	3.01	3.22	3.08	0.07	0.37		0.01	▲ 0.14	0.07		▲ 0.02
	その他(184)	2.82	2.96	3.15	0.33	0.00	**	0.02	0.19	0.09		0.01
子の数	1人(450)	2.96	3.13	3.01	0.05	0.54		0.01	▲ 0.12	0.14		▲ 0.02
	2人(1,270)	3.13	3.21	3.21	0.07	0.13		0.03	▲ 0.00	0.96		▲ 0.00
	3人(682)	3.02	3.17	3.12	0.10	0.15		0.02	▲ 0.04	0.53		▲ 0.01
	4人以上(159)	2.83	3.10	3.02	0.19	0.22		0.01	▲ 0.08	0.58		▲ 0.00
	子どもはいない(802)	2.82	3.04	2.89	0.07	0.30		0.02	▲ 0.15	0.02	**	▲ 0.03
居住年数	10年未満(100)	3.10	3.41	3.27	0.16	0.34		0.00	▲ 0.15	0.40		▲ 0.00
	10～20年未満(145)	3.40	3.31	3.49	0.09	0.55		0.00	0.19	0.22		0.01
	20年以上(3,174)	2.98	3.13	3.05	0.07	0.03	**	0.06	▲ 0.08	0.01	**	▲ 0.07
広域振興圏	県央(1,011)	3.09	3.22	3.14	0.05	0.41		0.01	▲ 0.08	0.14		▲ 0.02
	県南(1,080)	2.92	3.12	3.06	0.14	0.01	**	0.04	▲ 0.05	0.36		▲ 0.02
	沿岸(833)	3.03	3.15	3.02	▲ 0.02	0.79		▲ 0.00	▲ 0.13	0.03	**	▲ 0.03
	県北(625)	2.96	3.10	3.05	0.09	0.22		0.02	▲ 0.04	0.54		▲ 0.01

（　）は、R３調査のサンプル数

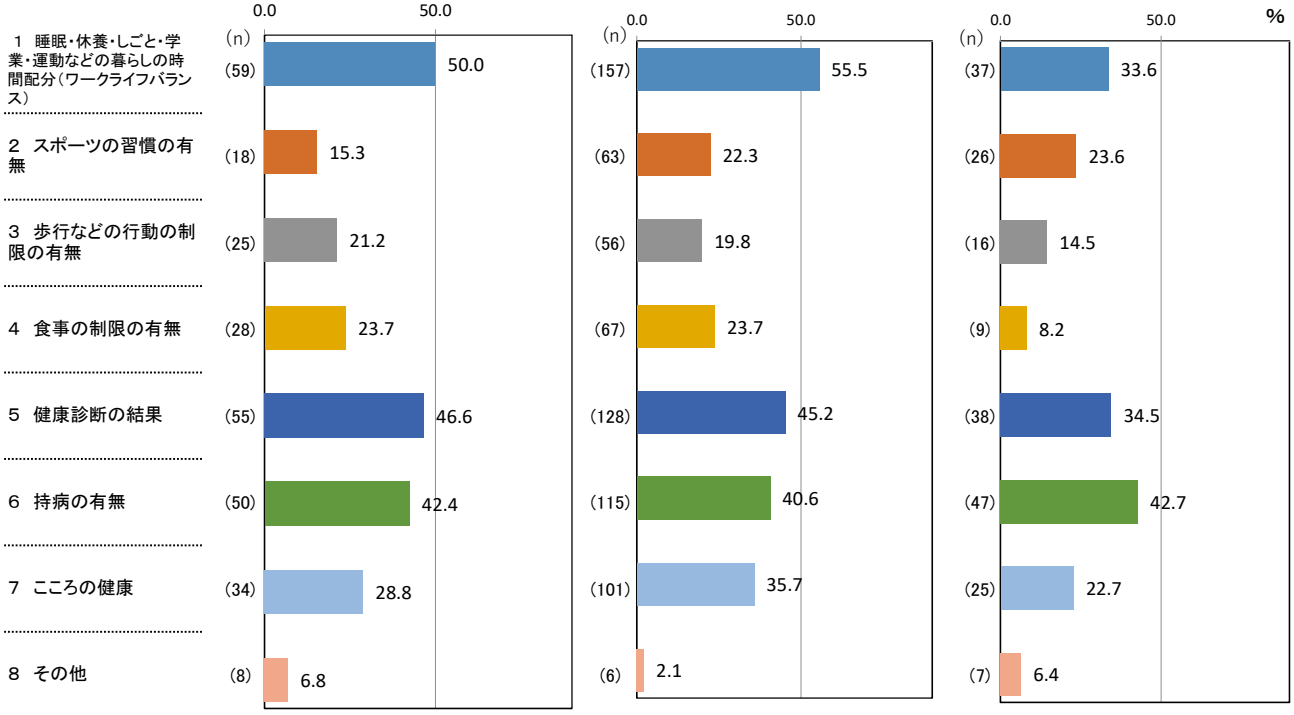
(2)分野別実感の回答理由(実感変化別)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「からだの健康」(R2-R3)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (277) 118 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (693) 283 人	③ 実感が低下した人 の回答 (205) 110 人
1	1 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (59)	1 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (157)	6 持病の有無 (47)
2	5 健康診断の結果 (55)	5 健康診断の結果 (128)	5 健康診断の結果 (38)
3	6 持病の有無 (50)	6 持病の有無 (115)	1 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (37)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1)-1　からだの健康についての回答理由（問1-1（1）-1②「あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康	8 その他	
① 実感が上昇した人		50.0	15.3	21.2	23.7	46.6	42.4	28.8	6.8	
② 実感が横ばいの人		55.5	22.3	19.8	23.7	45.2	40.6	35.7	2.1	
③ 実感が低下した人		33.6	23.6	14.5	8.2	34.5	42.7	22.7	6.4	

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康	8 その他	
① 実感が上昇した人 ただし、R3「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝118人）	277	59	18	25	28	55	50	34	8	
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝283人）	693	157	63	56	67	128	115	101	6	
③ 実感が低下した人 ただし、R3「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝110人）	205	37	26	16	9	38	47	25	7	

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（8名中6名記載）
・圧迫骨折　・普段と変わらない状況が続いているから　・保険でライフスタイルを管理している

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（6名中6名記載）
・発酵食品(納豆、漬物、甘酒など)を毎日摂っている　・年　・なんでも　・(抗癌剤)化学療法中

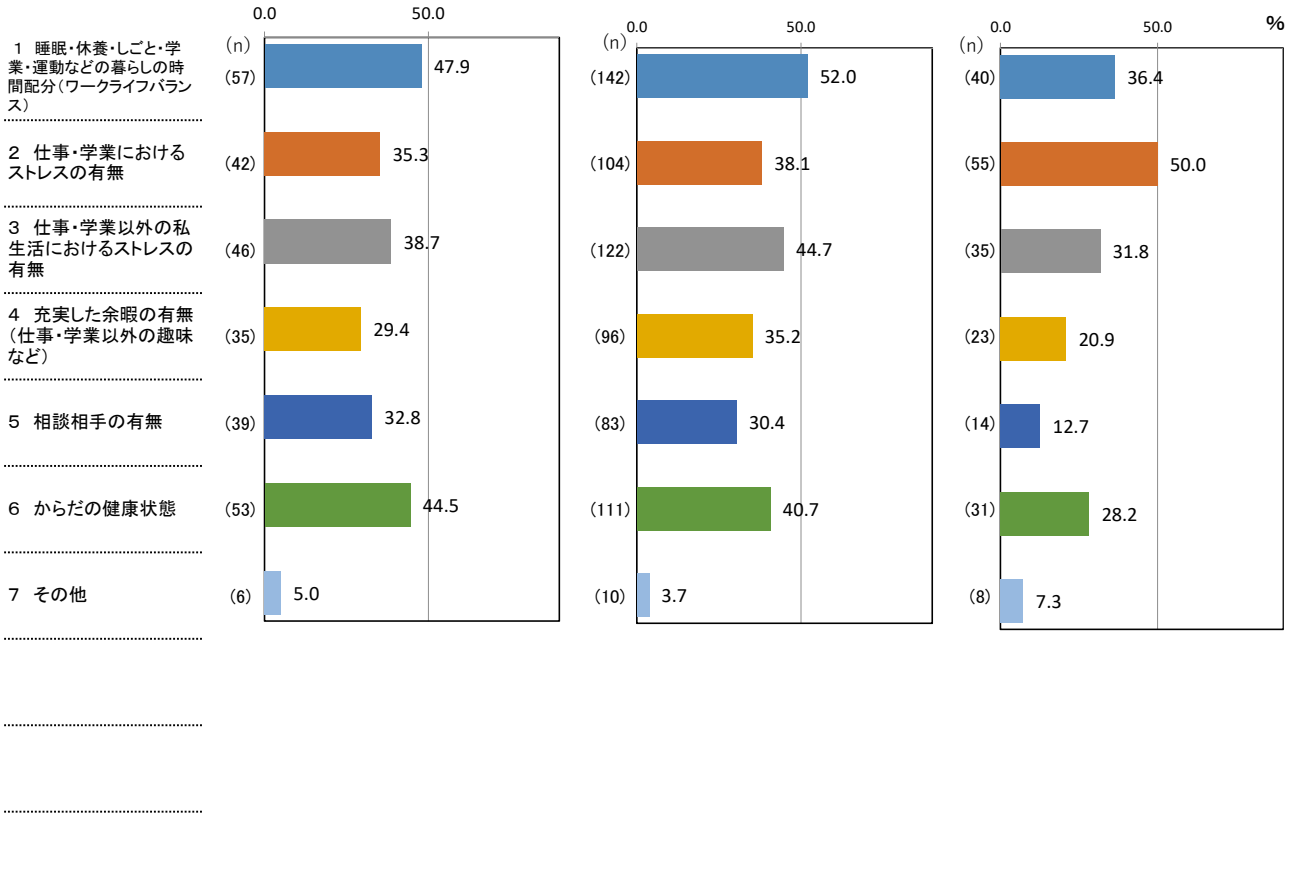
③ 実感が低下した人の「その他」コメント（7名中6名記載）
・仕事柄腰痛・軽度のケガが治らない　・ガンの診断を受けた　・すぐ心配性となる　・かぜは引かないけど食生活は乱れていると思う　・年齢による体力の低下、疲れ

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「こころの健康」(R2-R3)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (278) 119 人		② 実感が横ばいの人 の回答 (668) 273 人		③ 実感が低下した人 の回答 (206) 110 人	
1	1 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス)	(57)	1 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス)	(142)	2 仕事・学業におけるストレスの有無	(55)
2	6 からだの健康状態	(53)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	(122)	1 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス)	(40)
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	(46)	6 からだの健康状態	(111)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	(35)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1)-2　こころの健康についての回答理由（問1-1（1）-2①「あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
① 実感が上昇した人		47.9	35.3	38.7	29.4	32.8	44.5	5.0
② 実感が横ばいの人		52.0	38.1	44.7	35.2	30.4	40.7	3.7
③ 実感が低下した人		36.4	50.0	31.8	20.9	12.7	28.2	7.3

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・しごと・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R2「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝119人）	278	57	42	46	35	39	53	6
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝273人）	668	142	104	122	96	83	111	10
③ 実感が低下した人 ただし、R2「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝110人）	206	40	55	35	23	14	31	8

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（6名中5名記載）
・コロナに合わないように人に合わないようにしている
・とっても幸せなのです。夜勤のない仕事になりましたので・・
・家族の存在
・ライフワークの継続、長めの睡眠、ヨガ、薬はあまり使わない
・育休中のため仕事のストレスがなく子育てに集中できるため

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（10名中10名記載）
・自分の持病の状態の把握と心を健康に保つ努力
・心が健康になるすべをもっているかどうか
・サークル等で友人との談話
・友達と会えなくなった
・畑で作物を育てる　有機栽培　地域の友人たちとの交流
・働いていたころのストレスの継続
・はやくコロナが収束してくれればいいと思います
・プラス思考
・老後の不安
・なんでも

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（8名中8名記載）
・コロナ
・生活の不安
・心の病
・思うように家族に会えない・他には言えない悩み
・冬場は毎年調子を崩す
・これから先どうなるのだろうか？と時々考える
・家族がいて幸せだが家のローンとか大変だから

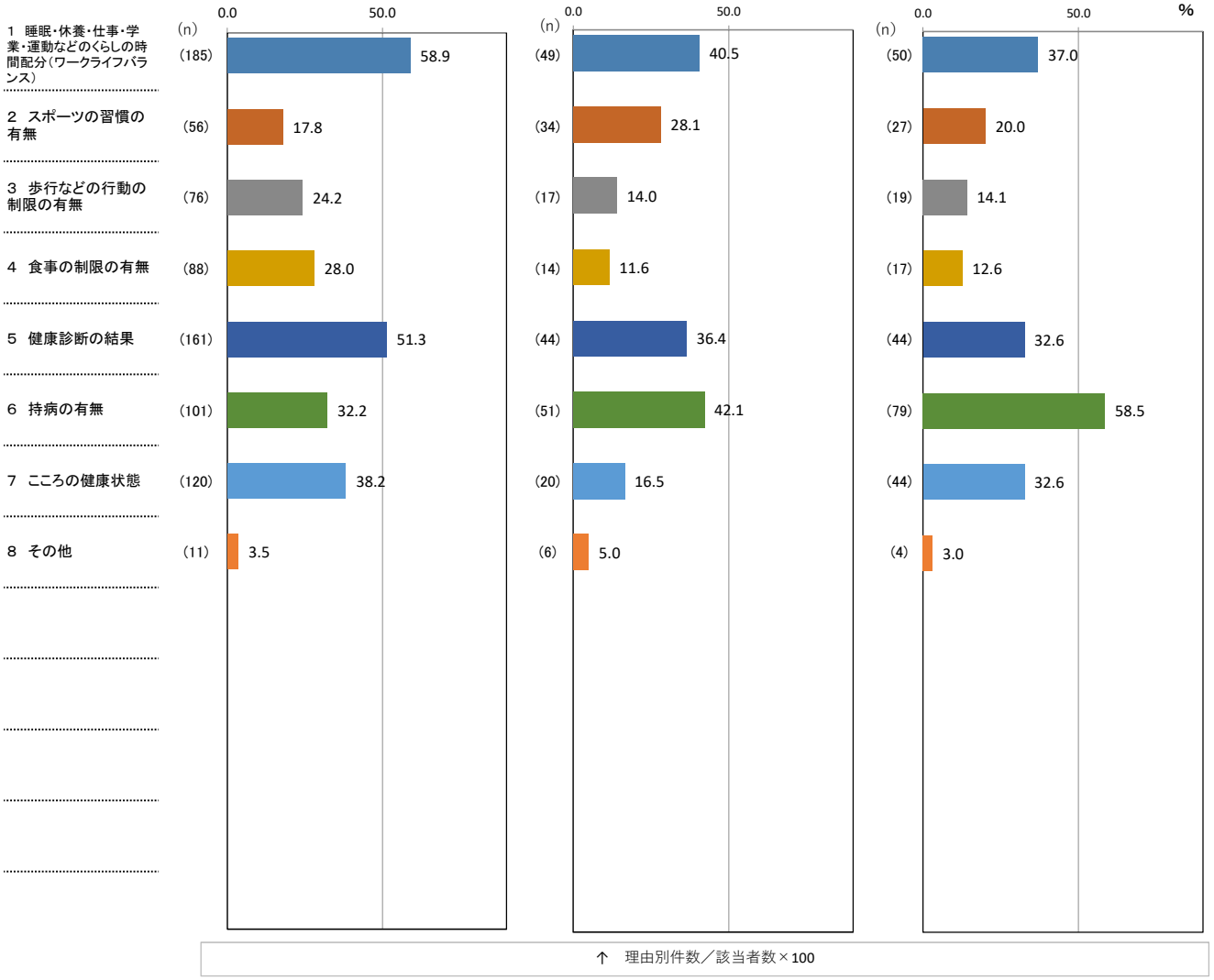
(3)分野別実感の回答結果(単純集計)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「からだの健康」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (798) 314 人	②「どちらともいえない」の回答 (235) 121 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (284) 135 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (185)	6 持病の有無 (51)	6 持病の有無 (79)
2	5 健康診断の結果 (161)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (49)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (50)
3	7 こころの健康状態 (120)	5 健康診断の結果 (44)	5 健康診断の結果 (44)
			7 こころの健康状態 (44) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1-1） からだの健康についての回答理由（問1-1（1）「あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		58.9	17.8	24.2	28.0	51.3	32.2	38.2	3.5
②「どちらともいえない」		40.5	28.1	14.0	11.6	36.4	42.1	16.5	5.0
③「あまり感じない・感じない」		37.0	20.0	14.1	12.6	32.6	58.5	32.6	3.0

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝314人）	798	185	56	76	88	161	101	120	11
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝121人）	235	49	34	17	14	44	51	20	6
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝135人）	284	50	27	19	17	44	79	44	4

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（314名中9名記載）
・圧迫骨折　・持病の改善　・熱もなく動けているから
・普段と変わらない状況が続いているから　・発酵食品（納豆、漬物、甘酒など）を毎日摂っている。　・明るい性格だと思う。
・保険でライフスタイルを管理している。　・もう85才で腰痛　・（抗癌剤）化学療法中

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（121名中5名記載）
・仕事柄腰痛　・かぜは引かないけど食生活は乱れていると思う。　・年　・すぐ心配性となる。　・なんでも

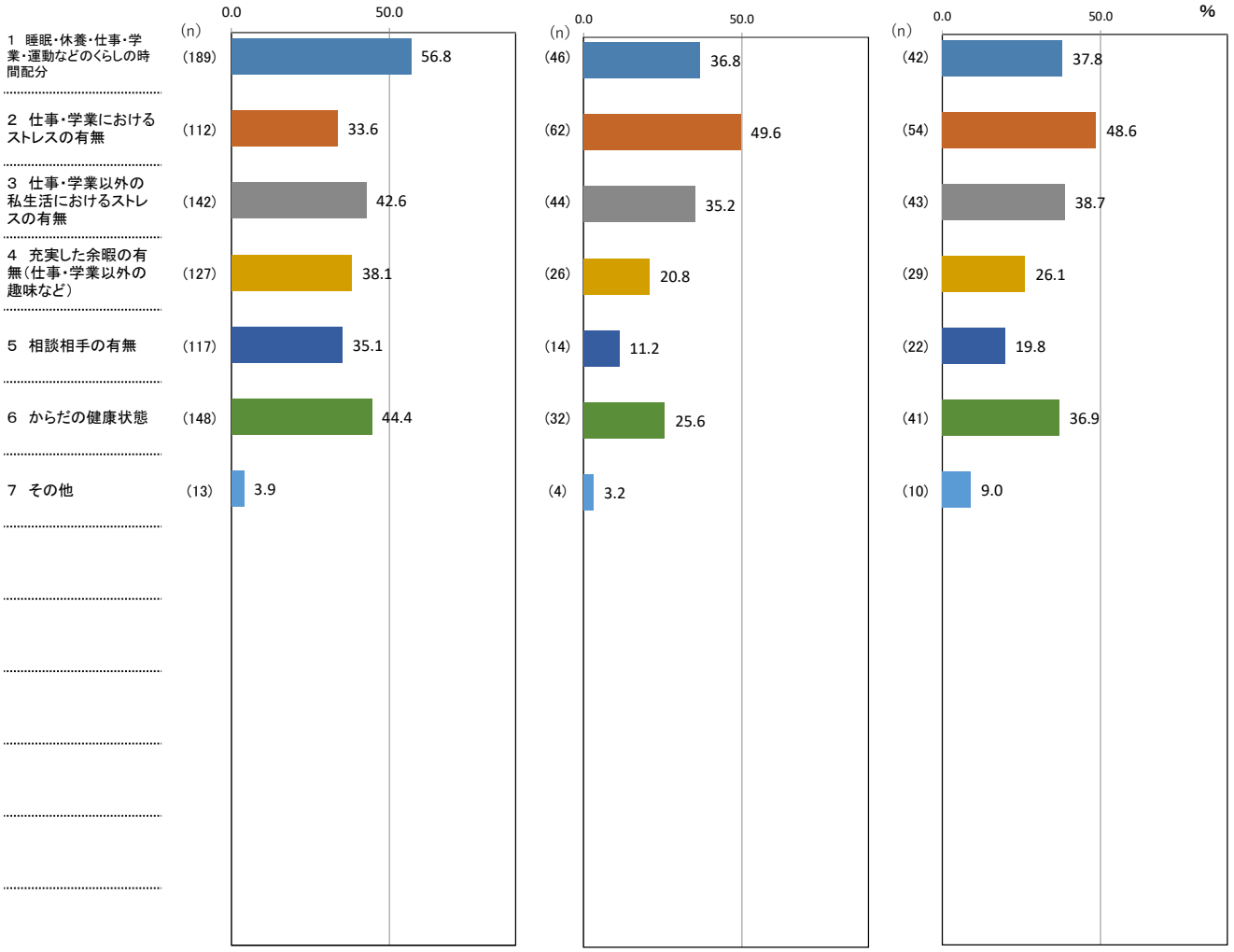
③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（135名中4名記載）
・気分転換の旅行ができなくなった。　・年齢による体力の低下、疲れ　・軽度のケガが治らない。　・ガンの診断を受けた。

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「こころの健康」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (848) 333 人	②「どちらともいえない」の回答 (228) 125 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (241) 111 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分 (189)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (62)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (54)
2	6 からだの健康状態 (148)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分 (46)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (43)
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (142)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (44)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分 (42)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1-2） こころの健康についての回答理由（問1-1（2）「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		56.8	33.6	42.6	38.1	35.1	44.4	3.9
②「どちらともいえない」		36.8	49.6	35.2	20.8	11.2	25.6	3.2
③「あまり感じない・感じない」		37.8	48.6	38.7	26.1	19.8	36.9	9.0

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝333人）	848	189	112	142	127	117	148	13
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝125人）	228	46	62	44	26	14	32	4
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝111人）	241	42	54	43	29	22	41	10

①「感じる・やや感じる」人の「その他」コメント（333名中12名記載）
- ・自分の持病の状態の把握と心を健康に保つ努力
- ・心が健康になるすべをもっているかどうか
- ・家族・ペットの存在
- ・サークル等で友人との談話
- ・コロナに合わないように人に合わないようにしている
- ・友達と会えなくなった
- ・ライフワークの継続、長めの睡眠、ヨガ、薬はあまり使わない
- ・育休中のため仕事のストレスがなく子育てに集中できるため
- ・家族の存在
- ・畑で作物を育てる　有機栽培　地域の友人たちとの交流
- ・とっても幸せなのです。夜勤のない仕事になりましたので・・・。
- ・プラス思考

②「どちらともいえない」人の「その他」コメント（125名中4名記載）
- ・コロナ
- ・このコロナ禍で悪くなったと感じる
- ・働いていたころのストレスの継続
- ・なんでも

③「あまり感じない・感じない」人の「その他」コメント（111名中10名記載）
- ・生活の不安
- ・心の病
- ・思うように家族に会えない
- ・他には言えない悩み
- ・これから先どうなるのだろうか？と時々考える
- ・冬場は毎年調子を崩す
- ・給料
- ・はやくコロナが収束してくれればいいと思います
- ・老後の不安
- ・家族がいて幸せだが家のローンとか大変だから

(4)分野別実感の属性別回答結果(単純集計)

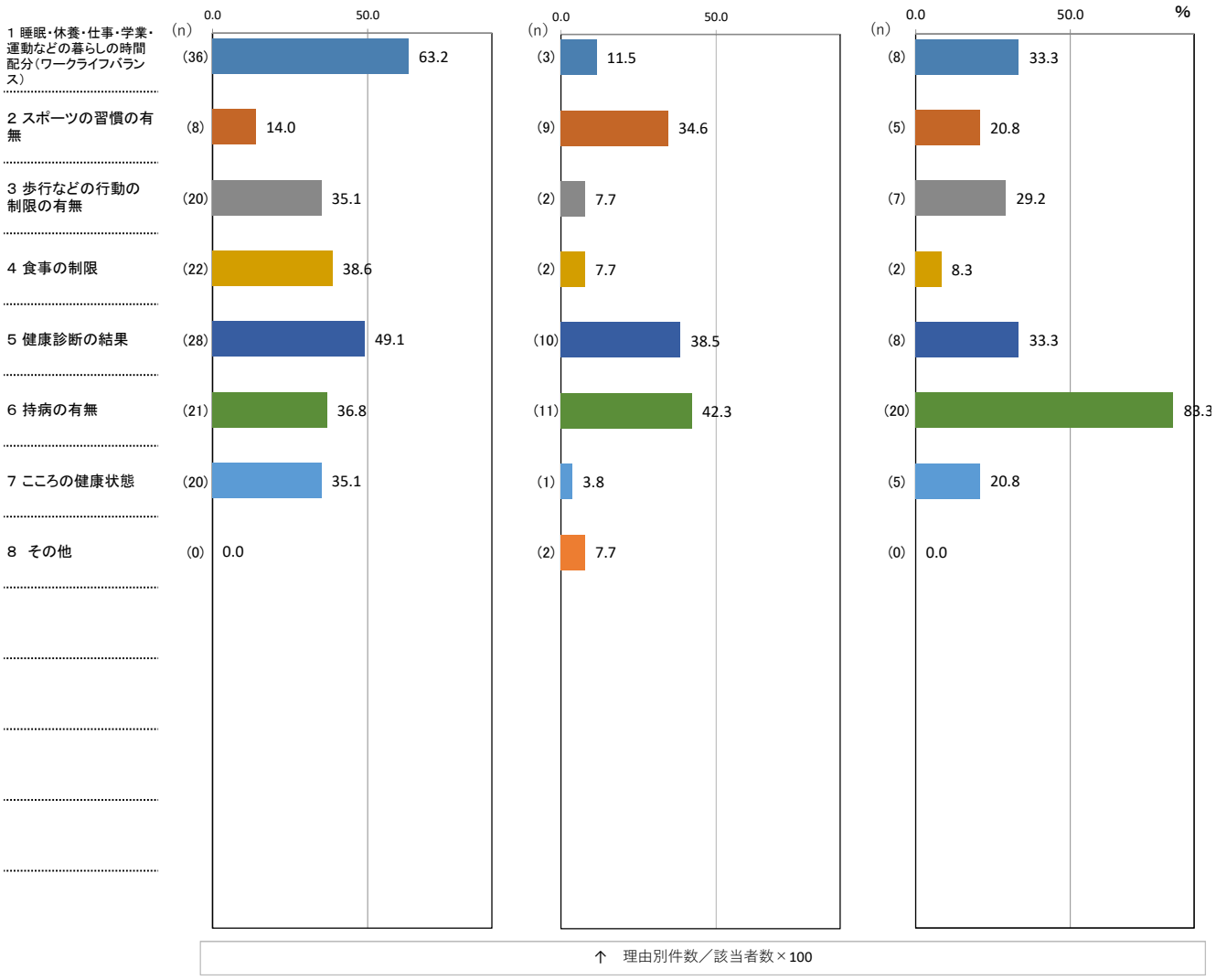
【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「心身の健康」(からだの健康)＜60～69歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (155) 57 人	②「どちらともいえない」の回答 (40) 26 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (55) 24 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (36)	6 持病の有無 (11)	6 持病の有無 (20)
2	5 健康診断の結果 (28)	5 健康診断の結果 (10)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (8)
3	4 食事の制限 (22)	2 スポーツの習慣の有無 (9)	5 健康診断の結果 (8)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(1)-1　心身の健康についての回答理由（問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60～69歳＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		63.2	14.0	35.1	38.6	49.1	36.8	35.1	0.0
②「どちらともいえない」		11.5	34.6	7.7	7.7	38.5	42.3	3.8	7.7
③「あまり感じない・感じない」		33.3	20.8	29.2	8.3	33.3	83.3	20.8	0.0

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝57人）	155	36	8	20	22	28	21	20	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝26人）	40	3	9	2	2	10	11	1	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝24人）	55	8	5	7	2	8	20	5	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

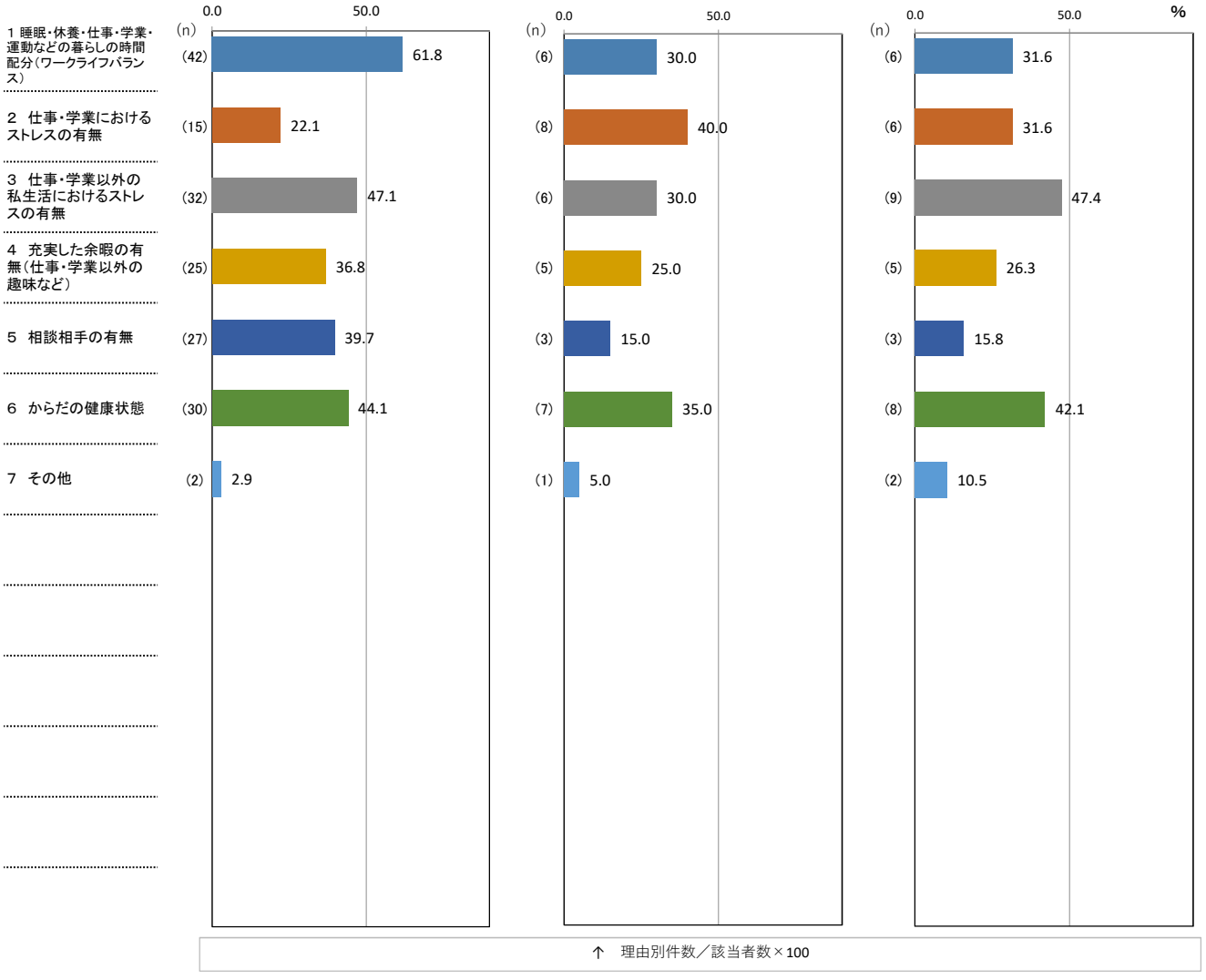
分野別実感の理由別分析「心身の健康」(こころの健康)＜60～69歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (173) 68 人	②「どちらともいえない」の回答 (36) 20 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (39) 19 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (42)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (8)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (9)
2	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (32)	6 からだの健康状態 (7)	6 からだの健康状態 (8)
3	6 からだの健康状態 (30)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (6)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (6)
		3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (6)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (6)

3位

3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1） 心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60歳～69歳＞ （%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		61.8	22.1	47.1	36.8	39.7	44.1	2.9
②「どちらともいえない」		30.0	40.0	30.0	25.0	15.0	35.0	5.0
③「あまり感じない・感じない」		31.6	31.6	47.4	26.3	15.8	42.1	10.5

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝68人）	173	42	15	32	25	27	30	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝20人）	36	6	8	6	5	3	7	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝19人）	39	6	6	9	5	3	8	2

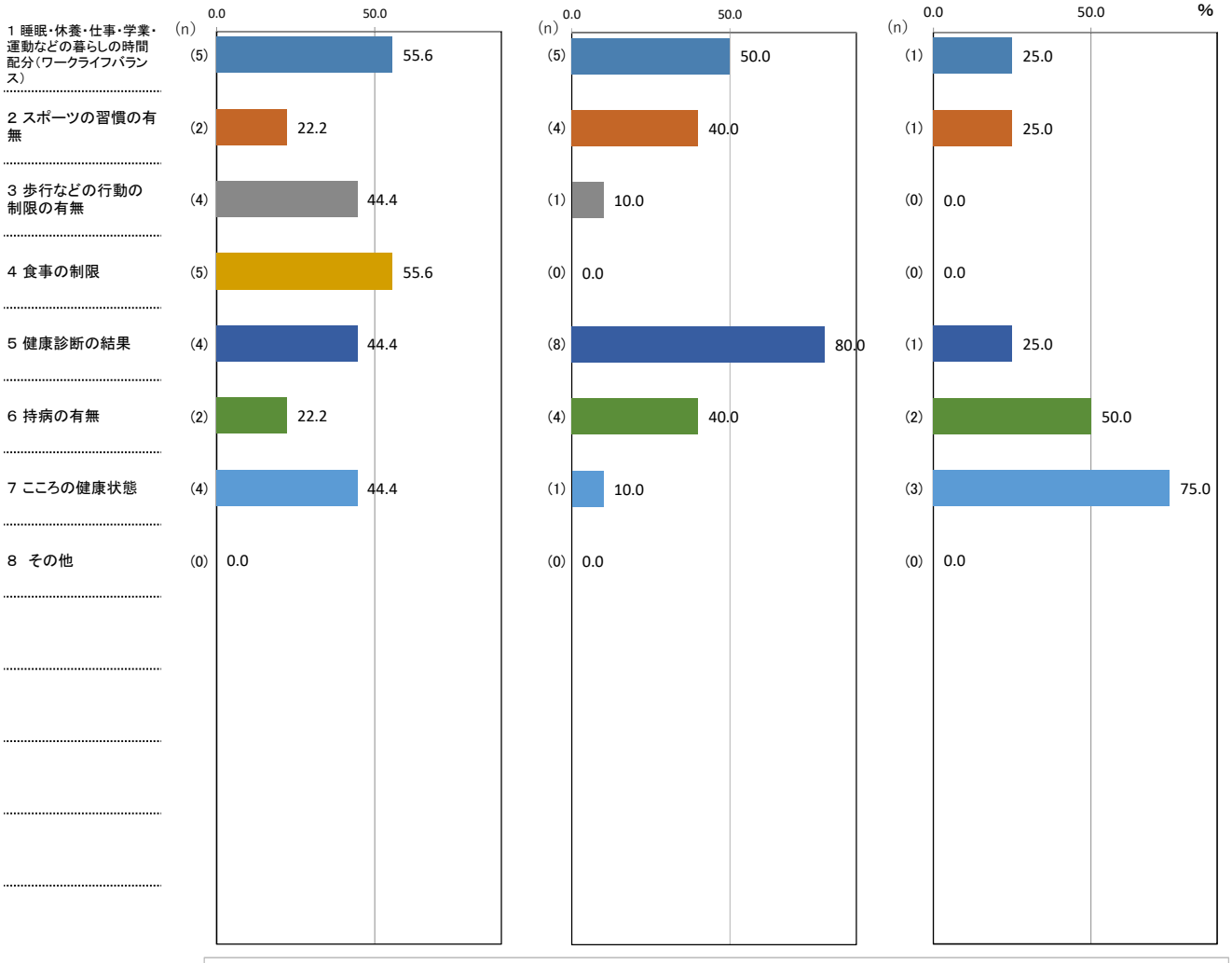
【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「心身の健康」(からだの健康)＜60歳以上の無職＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (26) 9 人	②「どちらともいえない」の回答 (23) 10 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (8) 4 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (5)	5 健康診断の結果 (8)	7 こころの健康状態 (3)
2	4 食事の制限 (5)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (5)	6 持病の有無 (2)
3	3 歩行などの行動の制限の有無 (4)	2 スポーツの習慣の有無 (4)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (1)
	5 健康診断の結果 (4)	6 持病の有無 (4)	2 スポーツの習慣の有無 (1)
	7 こころの健康状態 (4)		5 健康診断の結果 (1)

1位　3位　3位　3位　3位

( )内の数字は件数。



↑　理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(1)-1　心身の健康についての回答理由（問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60歳以上の無職＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		55.6	22.2	44.4	55.6	44.4	22.2	44.4	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	40.0	10.0	0.0	80.0	40.0	10.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	75.0	0.0

（件）

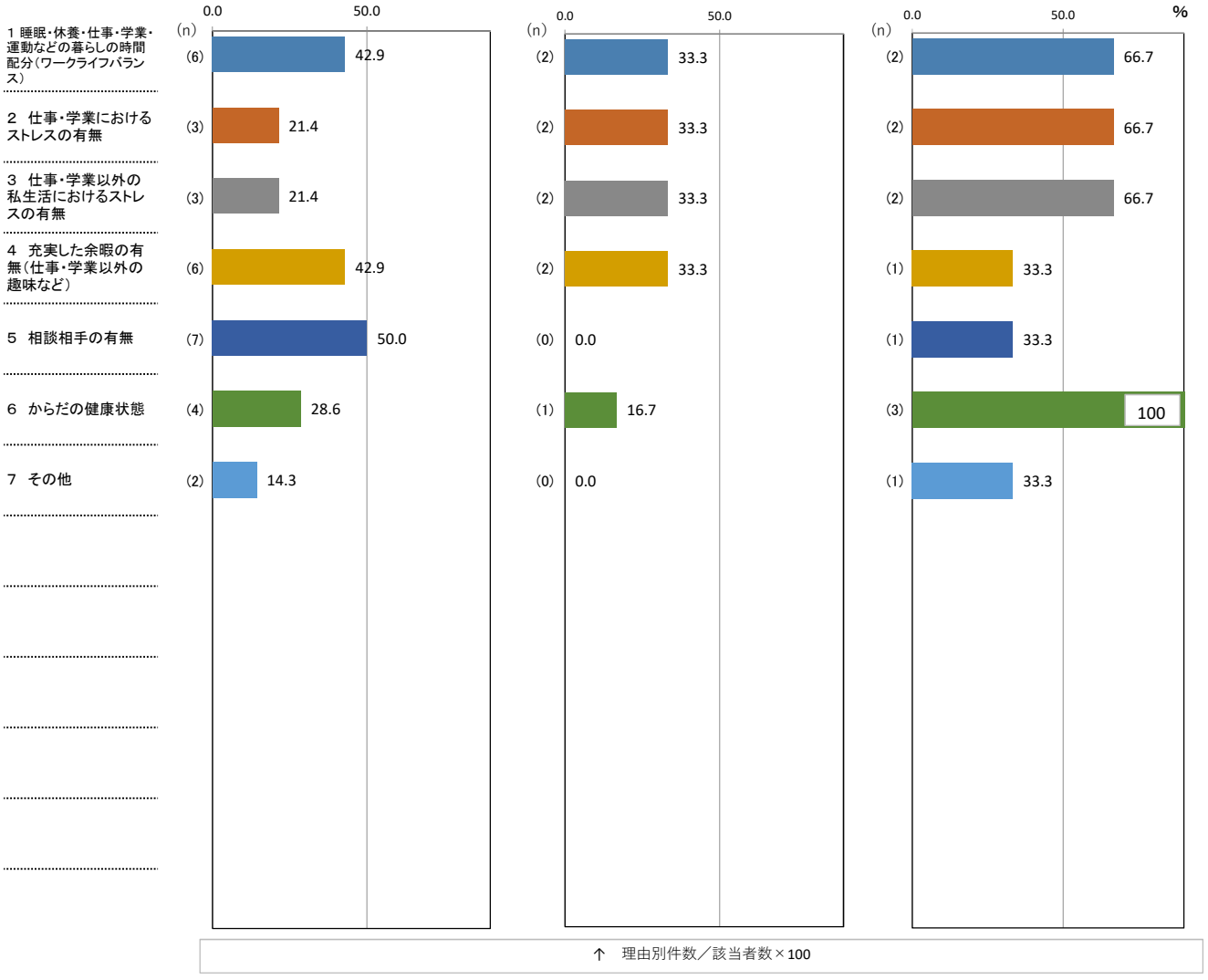
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝9人）	26	5	2	4	5	4	2	4	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝10人）	23	5	4	1	0	8	4	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝4人）	8	1	1	0	0	1	2	3	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「心身の健康」(こころの健康)＜60歳以上の無職＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (31) 14 人	②「どちらともいえない」の回答 (9) 6 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (12) 3 人
1	5 相談相手の有無 (7)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (2)	6 からだの健康状態 (3)
2	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (6)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (2)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (2)
3	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (6) 2位	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (2) 2位	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (2) 2位
4		4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (2) 2位	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (2) 2位

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（1） 心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60歳以上の無職＞ （%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		42.9	21.4	21.4	42.9	50.0	28.6	14.3
②「どちらともいえない」		33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0
③「あまり感じない・感じない」		66.7	66.7	66.7	33.3	33.3	100.0	33.3

（件）

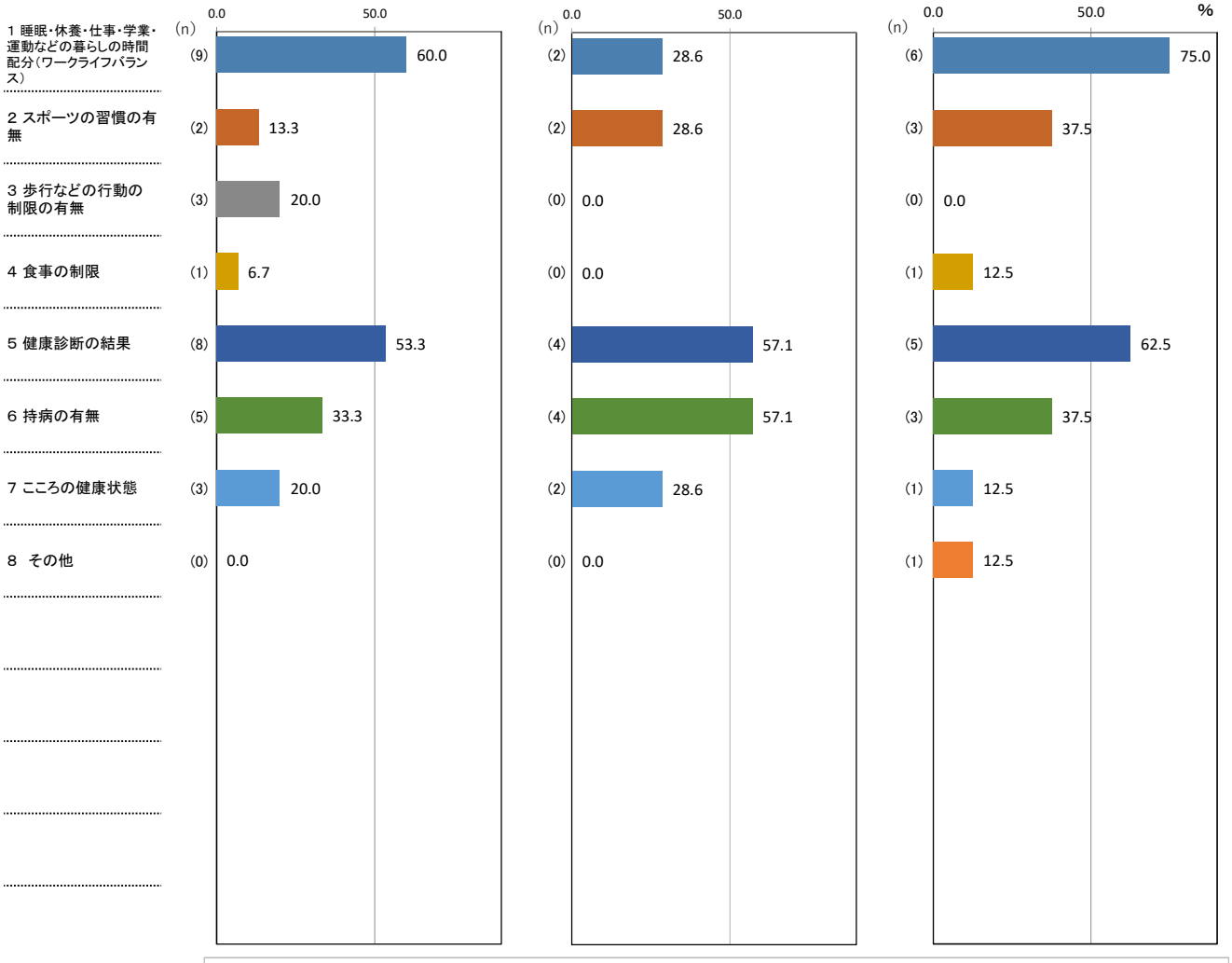
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝14人）	31	6	3	3	6	7	4	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝6人）	9	2	2	2	2	0	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝3人）	12	2	2	2	1	1	3	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「心身の健康」(からだの健康)＜その他世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (31) 15 人	②「どちらともいえない」の回答 (14) 7 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (20) 8 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (9)	5 健康診断の結果 (4) 1位	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (6)
2	5 健康診断の結果 (8)	6 持病の有無 (4)	5 健康診断の結果 (5)
3	6 持病の有無 (5)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (2) 3位	2 スポーツの習慣の有無 (3)
		2 スポーツの習慣の有無 (2) 3位	6 持病の有無 (3) 3位
		7 こころの健康状態 (2)	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(1)-1　心身の健康についての回答理由（問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜その他世帯＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		60.0	13.3	20.0	6.7	53.3	33.3	20.0	0.0
②「どちらともいえない」		28.6	28.6	0.0	0.0	57.1	57.1	28.6	0.0
③「あまり感じない・感じない」		75.0	37.5	0.0	12.5	62.5	37.5	12.5	12.5

（件）

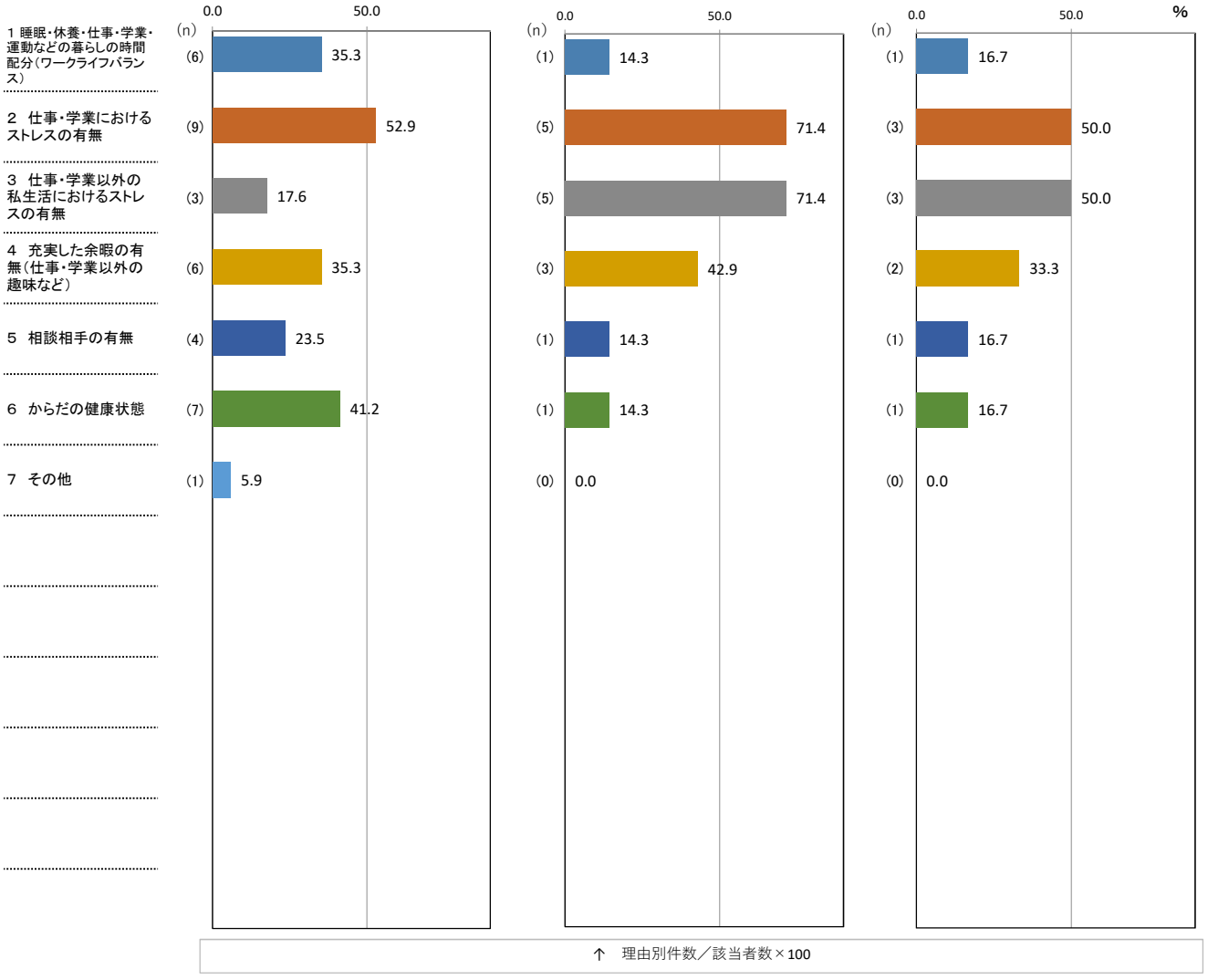
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝15人）	31	9	2	3	1	8	5	3	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝7人）	14	2	2	0	0	4	4	2	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝8人）	20	6	3	0	1	5	3	1	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「心身の健康」(こころの健康)＜その他世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (36) 17 人	②「どちらともいえない」の回答 (16) 7 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (11) 6 人
1	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (9)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (5)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (3)
2	6 からだの健康状態 (7)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (5) 1位	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (3) 1位
3	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (6)	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (3)	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (2)
	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (6) 3位		

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（1） 心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜その他世帯＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		35.3	52.9	17.6	35.3	23.5	41.2	5.9
②「どちらともいえない」		14.3	71.4	71.4	42.9	14.3	14.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		16.7	50.0	50.0	33.3	16.7	16.7	0.0

（件）

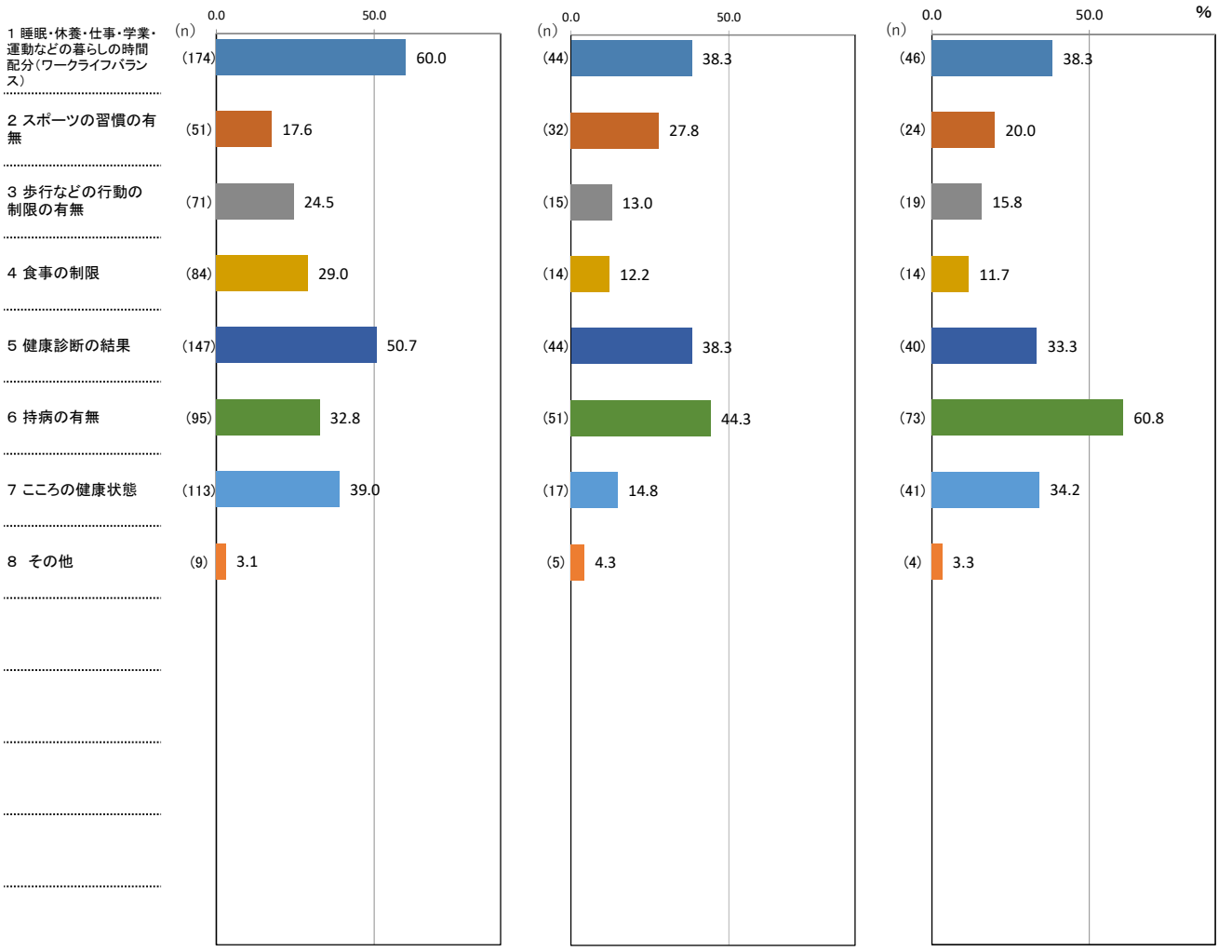
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝17人）	36	6	9	3	6	4	7	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝7人）	16	1	5	5	3	1	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝6人）	11	1	3	3	2	1	1	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「心身の健康」(からだの健康)＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (744) 290 人	②「どちらともいえない」の回答 (222) 115 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (261) 120 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (174)	6 持病の有無 (51)	6 持病の有無 (73)
2	5 健康診断の結果 (147)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (44)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (46)
3	7 こころの健康状態 (113)	5 健康診断の結果 (44) 2位	7 こころの健康状態 (41)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(1)-1　心身の健康についての回答理由（問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		60.0	17.6	24.5	29.0	50.7	32.8	39.0	3.1
②「どちらともいえない」		38.3	27.8	13.0	12.2	38.3	44.3	14.8	4.3
③「あまり感じない・感じない」		38.3	20.0	15.8	11.7	33.3	60.8	34.2	3.3

（件）

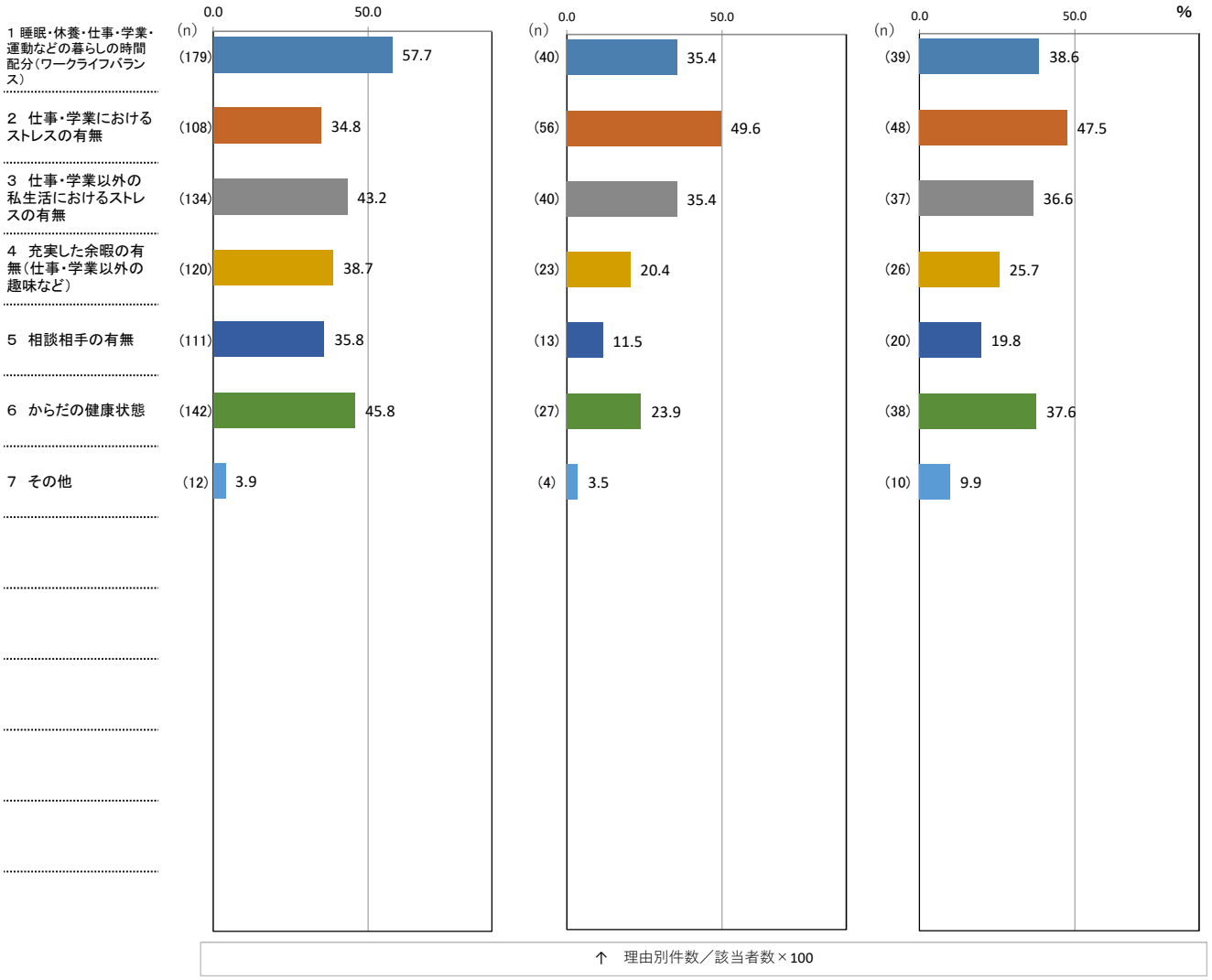
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝290人）	744	174	51	71	84	147	95	113	9
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝115人）	222	44	32	15	14	44	51	17	5
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝120人）	261	46	24	19	14	40	73	41	4

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「心身の健康」(こころの健康)＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (806) 310 人	②「どちらともいえない」の回答 (203) 113 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (218) 101 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (179)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (56)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (48)
2	6 からだの健康状態 (142)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (40)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (39)
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (134)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (40) 2位	6 からだの健康状態 (38)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1） 心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		57.7	34.8	43.2	38.7	35.8	45.8	3.9
②「どちらともいえない」		35.4	49.6	35.4	20.4	11.5	23.9	3.5
③「あまり感じない・感じない」		38.6	47.5	36.6	25.7	19.8	37.6	9.9

（件）

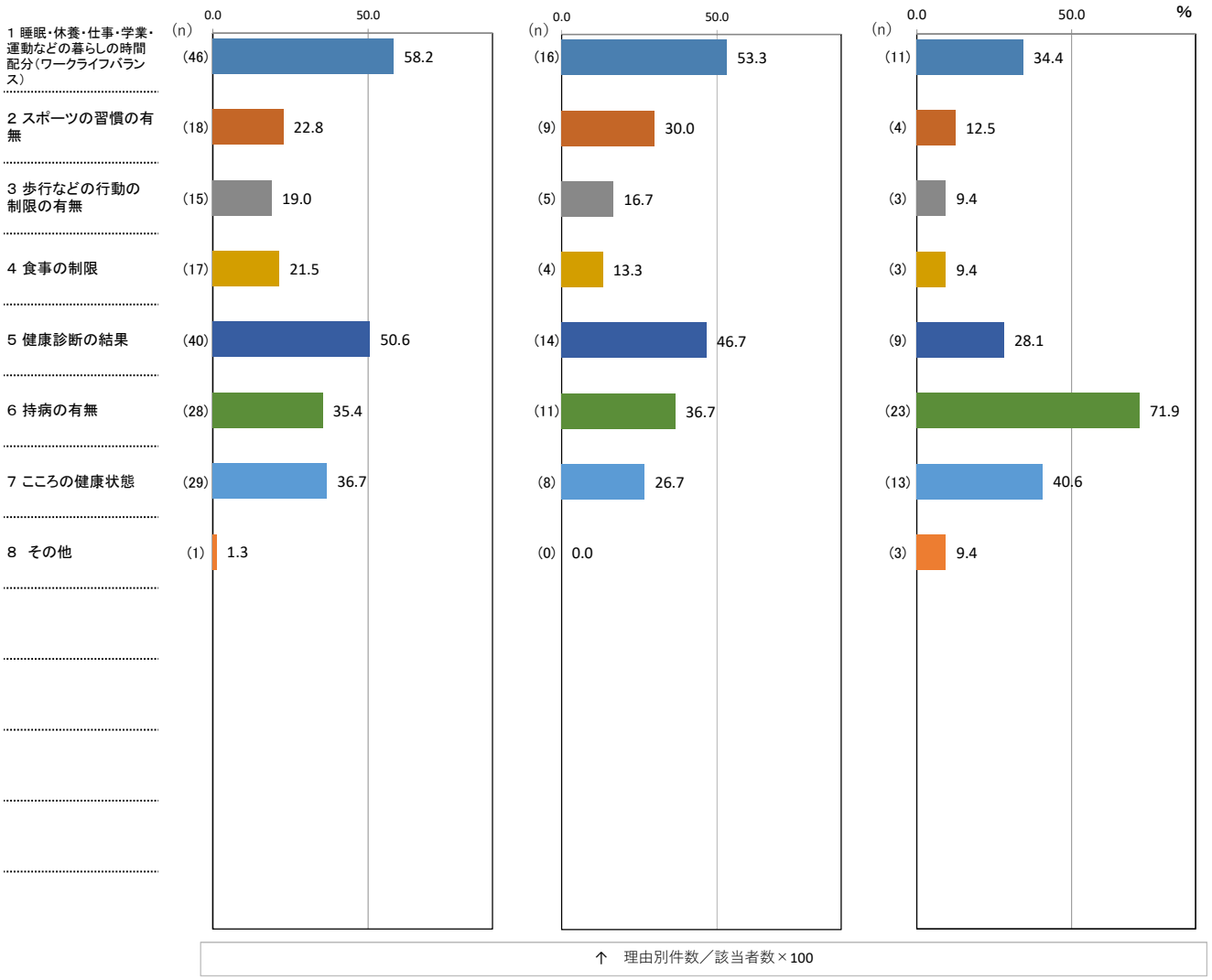
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝310人）	806	179	108	134	120	111	142	12
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝113人）	203	40	56	40	23	13	27	4
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝101人）	218	39	48	37	26	20	38	10

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「心身の健康」(からだの健康)＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (194) 79 人	②「どちらともいえない」の回答 (67) 30 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (69) 32 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (46)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (16)	6 持病の有無 (23)
2	5 健康診断の結果 (40)	5 健康診断の結果 (14)	7 こころの健康状態 (13)
3	7 こころの健康状態 (29)	6 持病の有無 (11)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(1)-1　心身の健康についての回答理由（問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県南広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		58.2	22.8	19.0	21.5	50.6	35.4	36.7	1.3
②「どちらともいえない」		53.3	30.0	16.7	13.3	46.7	36.7	26.7	0.0
③「あまり感じない・感じない」		34.4	12.5	9.4	9.4	28.1	71.9	40.6	9.4

（件）

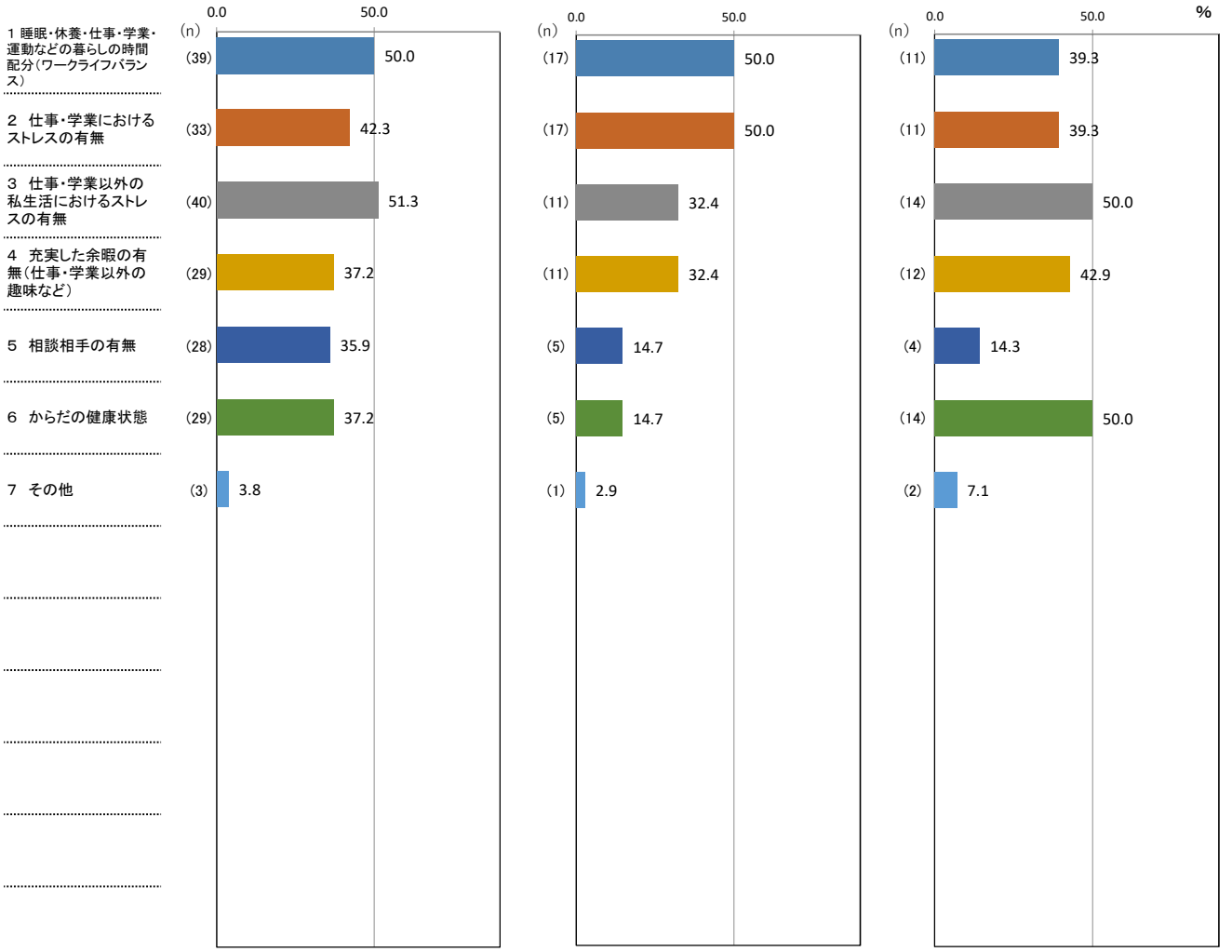
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝79人）	194	46	18	15	17	40	28	29	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝30人）	67	16	9	5	4	14	11	8	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝32人）	69	11	4	3	3	9	23	13	3

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「心身の健康」(こころの健康)＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (201) 78 人	②「どちらともいえない」の回答 (67) 34 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (68) 28 人
1	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (40)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (17)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (14)
2	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (39)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (17) 1位	6 からだの健康状態 (14) 1位
3	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (33)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (11)	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (12)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1） 心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県南広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	42.3	51.3	37.2	35.9	37.2	3.8
②「どちらともいえない」		50.0	50.0	32.4	32.4	14.7	14.7	2.9
③「あまり感じない・感じない」		39.3	39.3	50.0	42.9	14.3	50.0	7.1

（件）

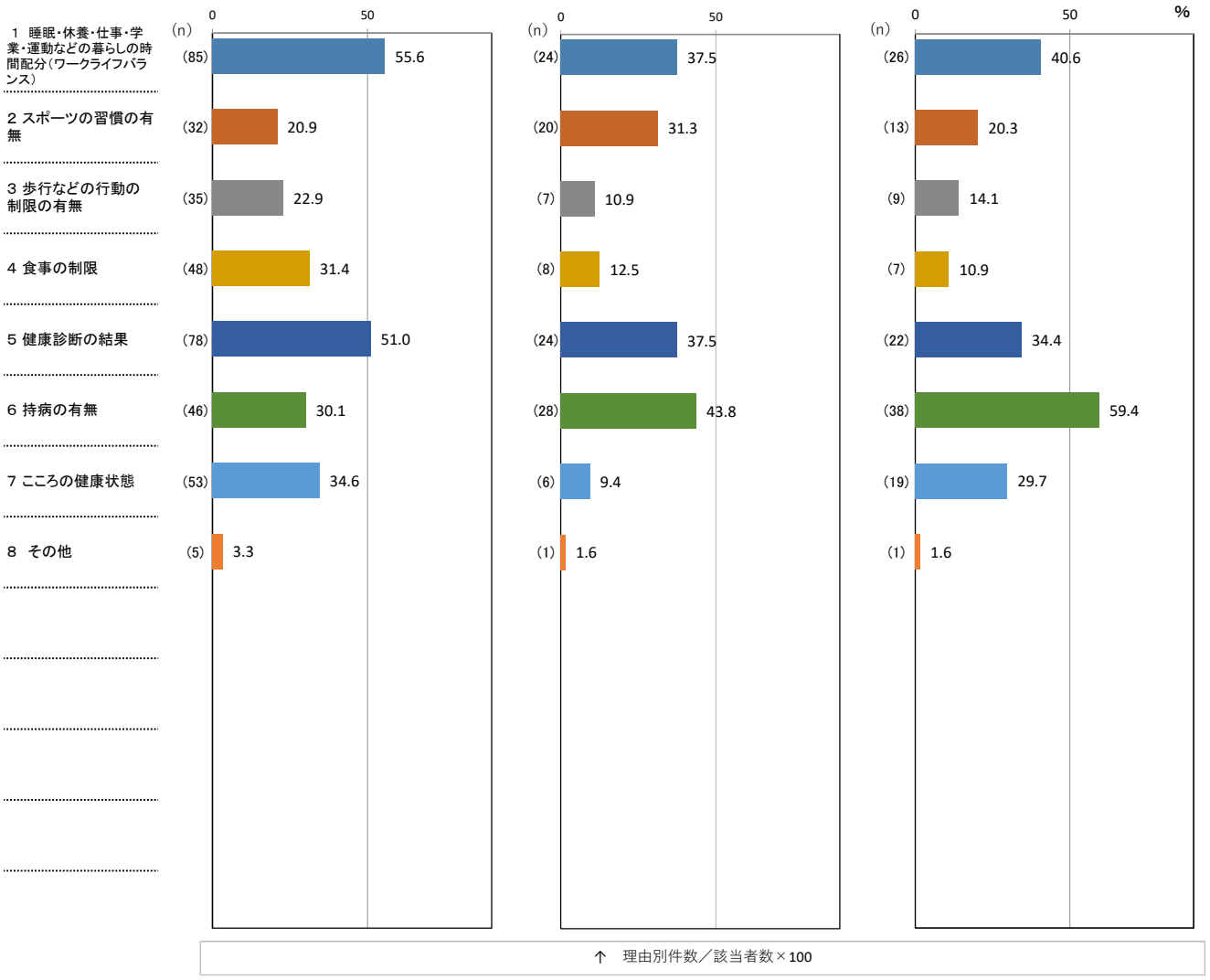
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝78人）	201	39	33	40	29	28	29	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝34人）	67	17	17	11	11	5	5	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝28人）	68	11	11	14	12	4	14	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜男性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (382) 153 人	②「どちらともいえない」の回答 (118) 64 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (135) 64 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (85)	6 持病の有無 (28)	6 持病の有無 (38)
2	5 健康診断の結果 (78)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (24)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (26)
3	7 こころの健康状態 (53)	5 健康診断の結果 (24) 3位	5 健康診断の結果 (22)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(1)-1　心身の健康についての回答理由（問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜男性＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		55.6	20.9	22.9	31.4	51.0	30.1	34.6	3.3
②「どちらともいえない」		37.5	31.3	10.9	12.5	37.5	43.8	9.4	1.6
③「あまり感じない・感じない」		40.6	20.3	14.1	10.9	34.4	59.4	29.7	1.6

（件）

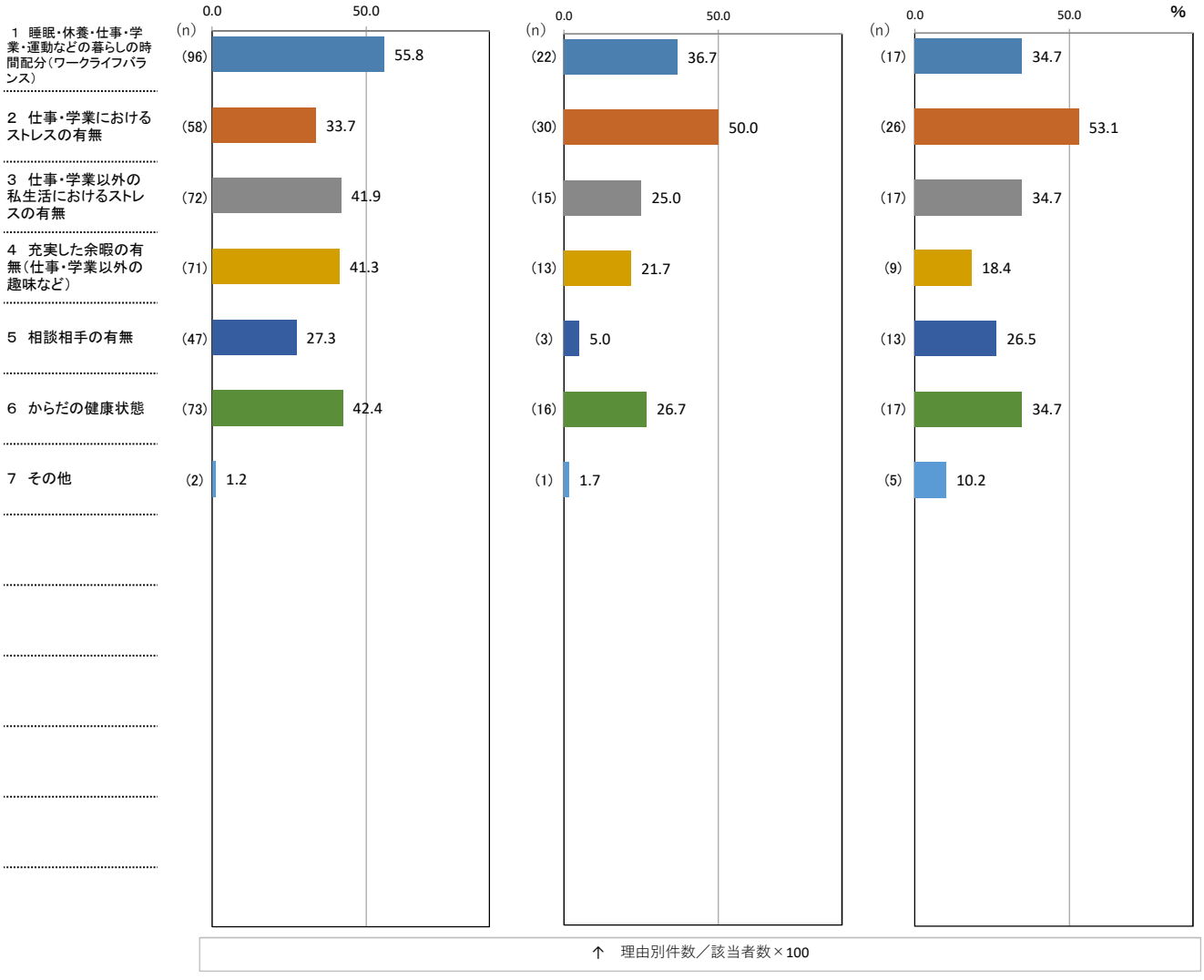
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝153人）	382	85	32	35	48	78	46	53	5
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝64人）	118	24	20	7	8	24	28	6	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝64人）	135	26	13	9	7	22	38	19	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜男性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (419) 172 人	②「どちらともいえない」の回答 (100) 60 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (104) 49 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (96)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (30)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (26)
2	6 からだの健康状態 (73)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (22)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (17) 2位
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (72)	6 からだの健康状態 (16)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (17) 2位
			6 からだの健康状態 (17) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1） 心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜男性＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		55.8	33.7	41.9	41.3	27.3	42.4	1.2
②「どちらともいえない」		36.7	50.0	25.0	21.7	5.0	26.7	1.7
③「あまり感じない・感じない」		34.7	53.1	34.7	18.4	26.5	34.7	10.2

（件）

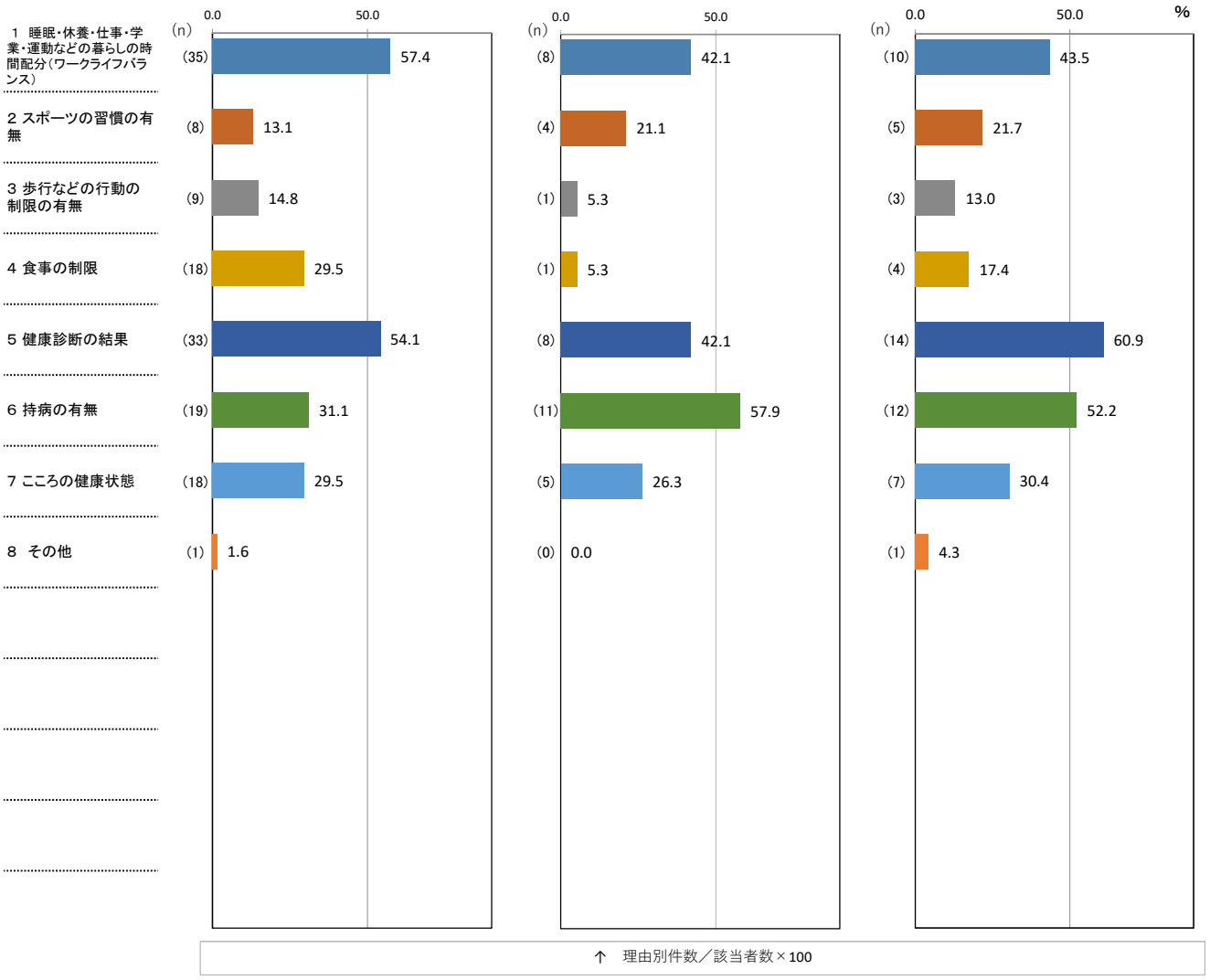
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝172人）	419	96	58	72	71	47	73	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝60人）	100	22	30	15	13	3	16	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝49人）	104	17	26	17	9	13	17	5

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜50～59歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (141) 61 人	②「どちらともいえない」の回答 (38) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (56) 23 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (35)	6 持病の有無 (11)	5 健康診断の結果 (14)
2	5 健康診断の結果 (33)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (8)	6 持病の有無 (12)
3	6 持病の有無 (19)	5 健康診断の結果 (8) 2位	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (10)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(1)-1　心身の健康についての回答理由（問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		57.4	13.1	14.8	29.5	54.1	31.1	29.5	1.6
②「どちらともいえない」		42.1	21.1	5.3	5.3	42.1	57.9	26.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		43.5	21.7	13.0	17.4	60.9	52.2	30.4	4.3

（件）

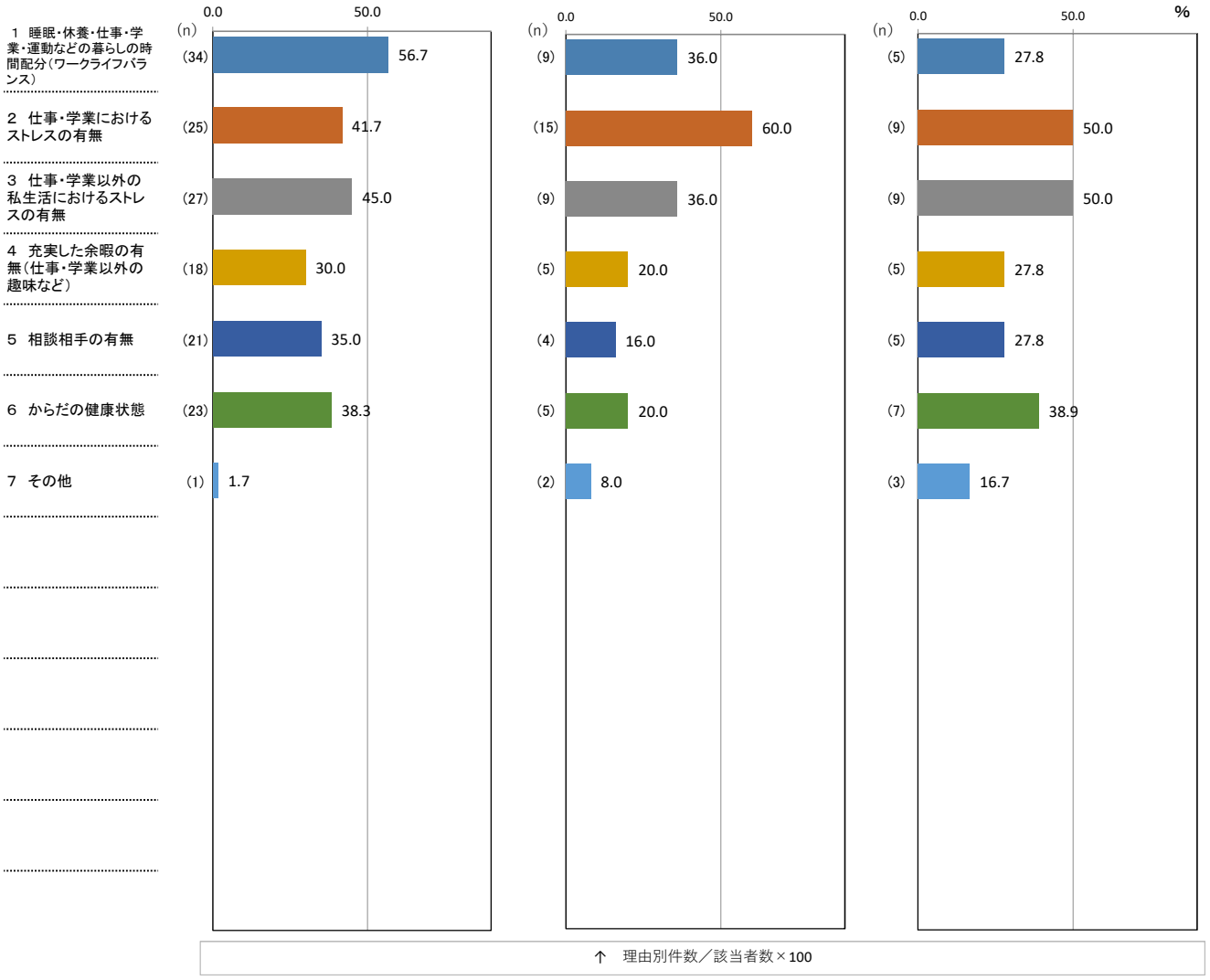
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝61人）	141	35	8	9	18	33	19	18	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝19人）	38	8	4	1	1	8	11	5	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝23人）	56	10	5	3	4	14	12	7	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜50～59歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (149) 60 人	②「どちらともいえない」の回答 (49) 25 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (43) 18 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (34)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (15)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (9)
2	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (27)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (9)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (9) 1位
3	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (25)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (9) 2位	6 からだの健康状態 (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1） 心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		56.7	41.7	45.0	30.0	35.0	38.3	1.7
②「どちらともいえない」		36.0	60.0	36.0	20.0	16.0	20.0	8.0
③「あまり感じない・感じない」		27.8	50.0	50.0	27.8	27.8	38.9	16.7

（件）

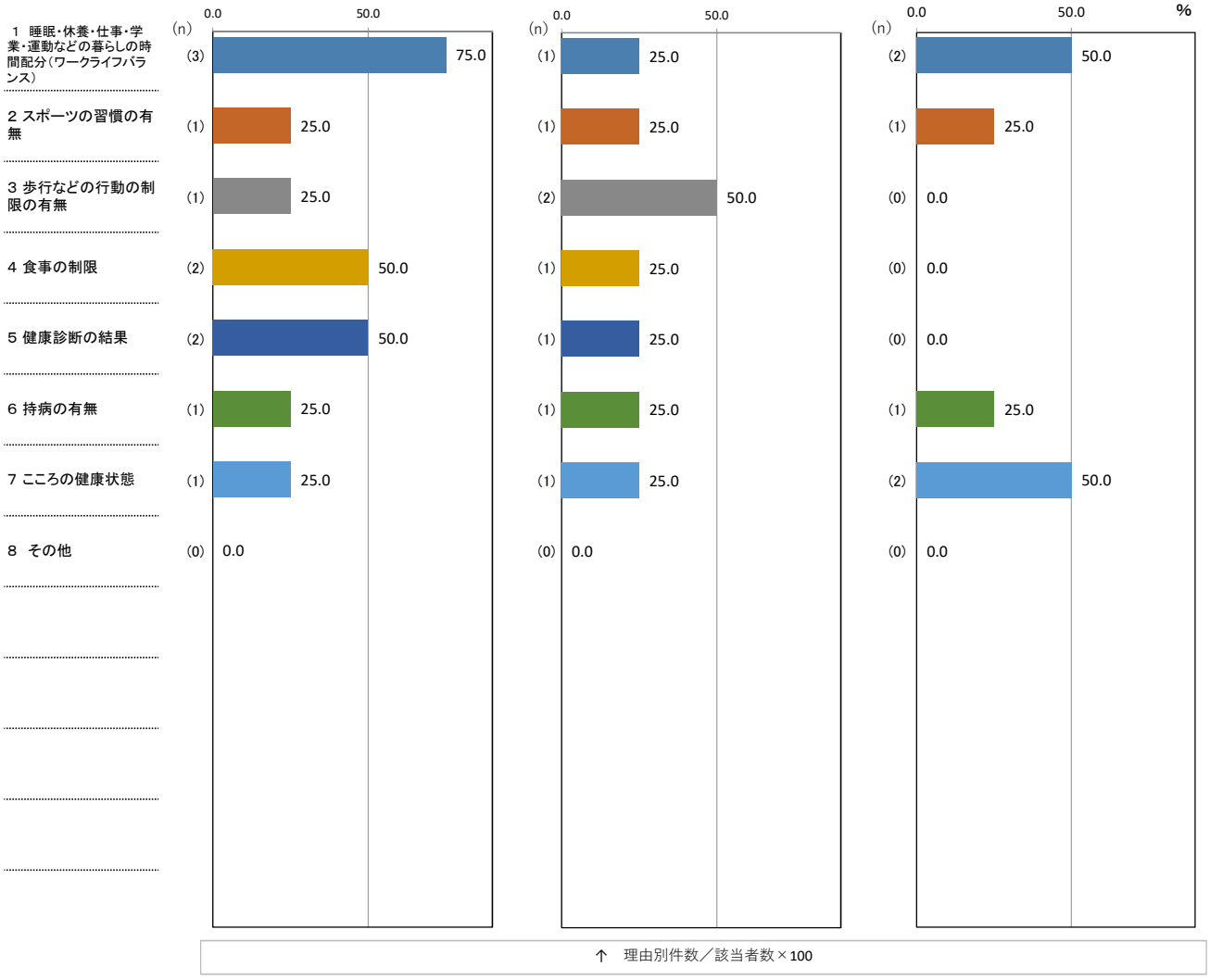
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝60人）	149	34	25	27	18	21	23	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝25人）	49	9	15	9	5	4	5	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝18人）	43	5	9	9	5	5	7	3

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜家族従業者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (11) 4 人	②「どちらともいえない」の回答 (8) 4 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (6) 4 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (3)	3 歩行などの行動の制限の有無 (2)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (2)
2	4 食事の制限 (2)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (1)	7 こころの健康状態 (2)
3	5 健康診断の結果 (2)	2 スポーツの習慣の有無 (1)	2 スポーツの習慣の有無 (1)
		4 食事の制限 (1)	6 持病の有無 (1)
		5 健康診断の結果 (1)	
		6 持病の有無 (1)	
		7 こころの健康状態 (1)	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1)-1　心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜家族従業者＞

（%）

区分	計	1　睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8　その他
①「感じる・やや感じる」		75.0	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0
②「どちらともいえない」		25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0

（件）

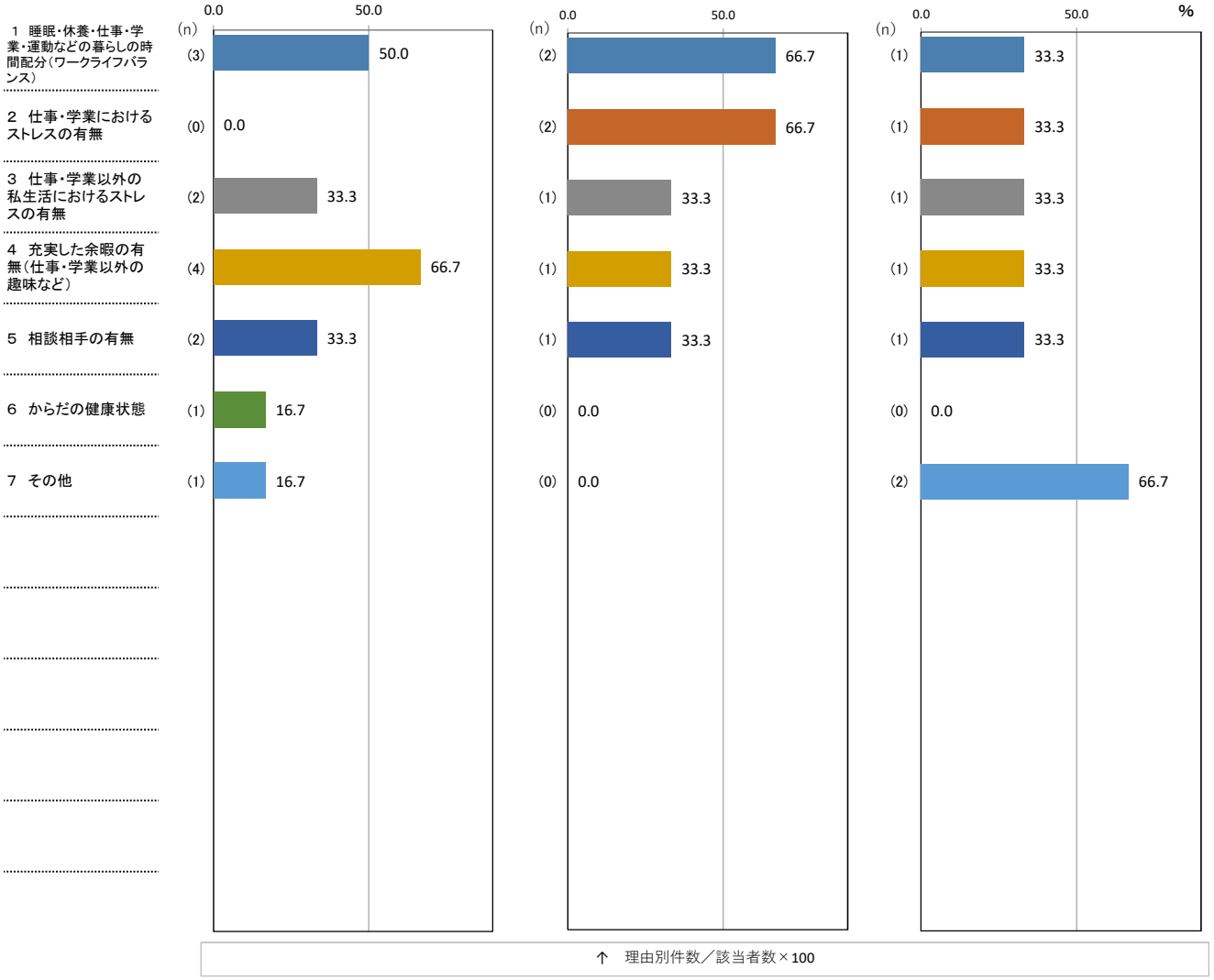
区分	計	1　睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8　その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝4人）	11	3	1	1	2	2	1	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝4人）	8	1	1	2	1	1	1	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝4人）	6	2	1	0	0	0	1	2	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜家族従業者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (13) 6 人	②「どちらともいえない」の回答 (7) 3 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (7) 3 人
1	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (4)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (2)	7 その他 (2)
2	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (3)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (2)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (1)
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (2)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (1)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (1) 2位
	5 相談相手の有無 (2) 3位	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (1) 3位	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (1) 2位
		5 相談相手の有無 (1) 3位	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (1) 2位
			5 相談相手の有無 (1) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1） 心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜家族従業者＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	0.0	33.3	66.7	33.3	16.7	16.7
②「どちらともいえない」		66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7

（件）

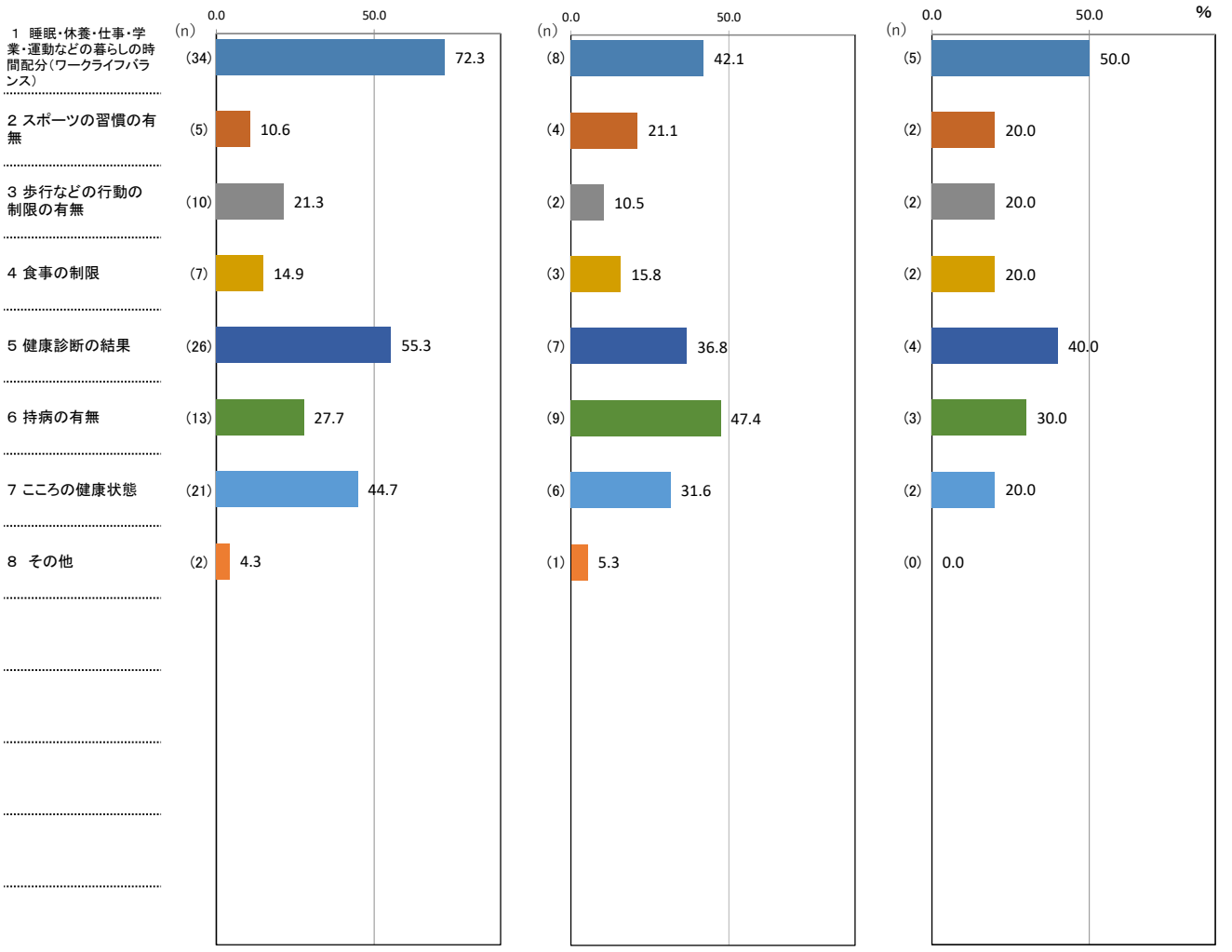
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝6人）	13	3	0	2	4	2	1	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝3人）	7	2	2	1	1	1	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝3人）	7	1	1	1	1	1	0	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜臨時雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (118) 47 人	②「どちらともいえない」の回答 (40) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (20) 10 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (34)	6 持病の有無 (9)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (5)
2	5 健康診断の結果 (26)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (8)	5 健康診断の結果 (4)
3	7 こころの健康状態 (21)	5 健康診断の結果 (7)	6 持病の有無 (3)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(1)-1　心身の健康についての回答理由（問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜臨時雇用者＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		72.3	10.6	21.3	14.9	55.3	27.7	44.7	4.3
②「どちらともいえない」		42.1	21.1	10.5	15.8	36.8	47.4	31.6	5.3
③「あまり感じない・感じない」		50.0	20.0	20.0	20.0	40.0	30.0	20.0	0.0

（件）

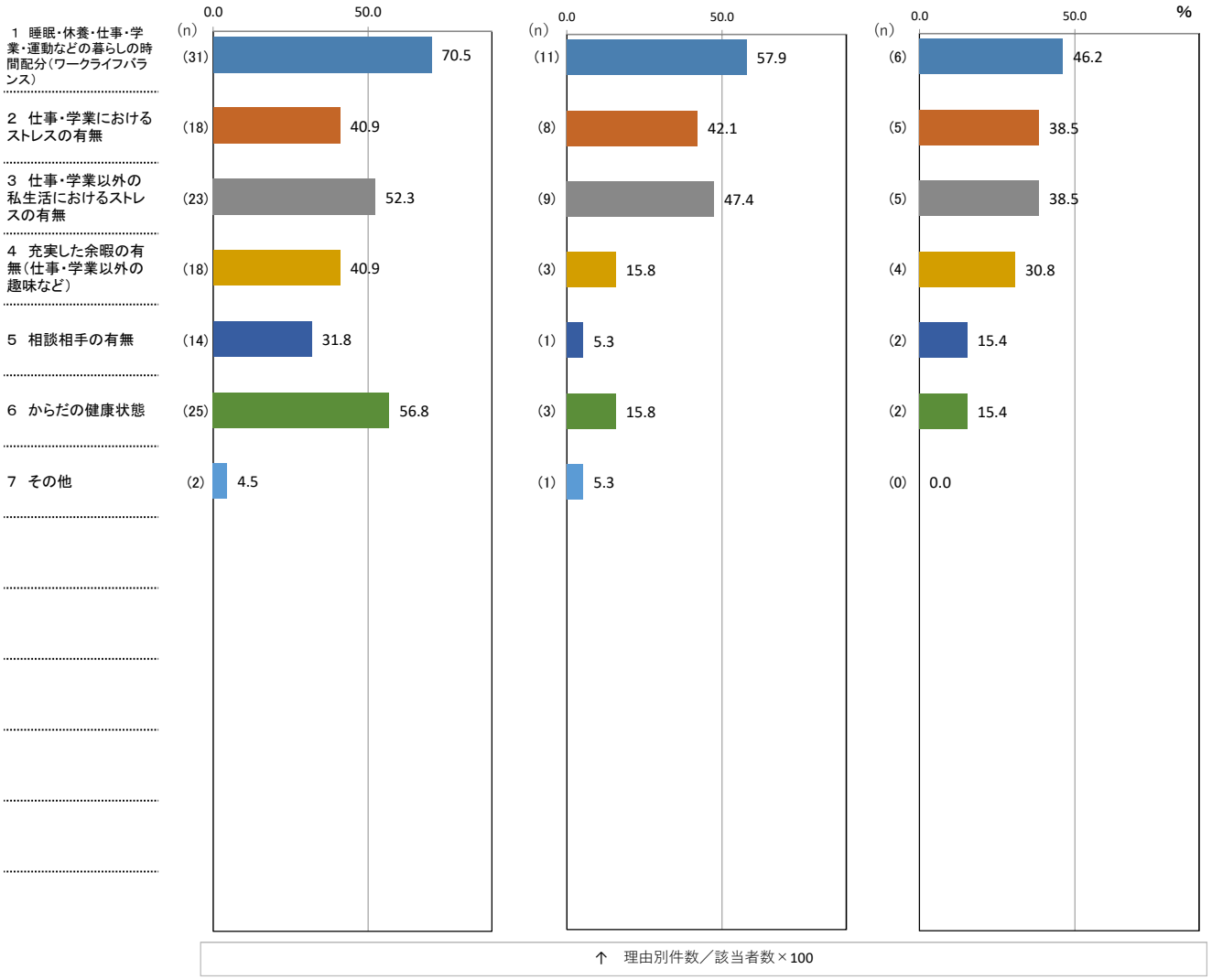
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝47人）	118	34	5	10	7	26	13	21	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝19人）	40	8	4	2	3	7	9	6	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝10人）	20	5	2	2	2	4	3	2	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜臨時雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (131) 44 人	②「どちらともいえない」の回答 (36) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (24) 13 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (31)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (6)
2	6 からだの健康状態 (25)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (9)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (5)
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (23)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (8)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (5)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1） 心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜臨時雇用者＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		70.5	40.9	52.3	40.9	31.8	56.8	4.5
②「どちらともいえない」		57.9	42.1	47.4	15.8	5.3	15.8	5.3
③「あまり感じない・感じない」		46.2	38.5	38.5	30.8	15.4	15.4	0.0

（件）

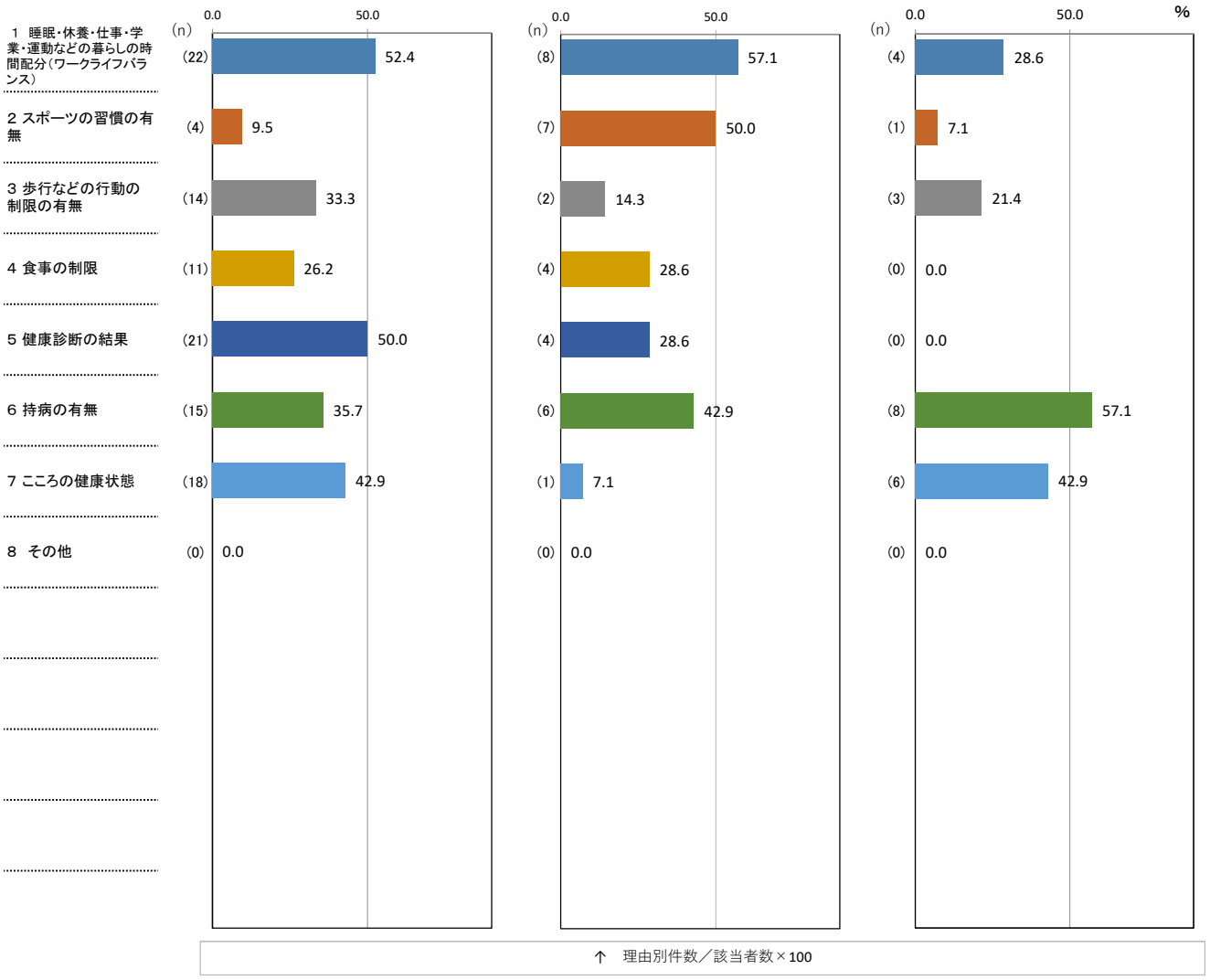
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝44人）	131	31	18	23	18	14	25	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝19人）	36	11	8	9	3	1	3	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝13人）	24	6	5	5	4	2	2	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜ひとり暮らし＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (105) 42 人	②「どちらともいえない」の回答 (32) 14 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (22) 14 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (22)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (8)	6 持病の有無 (8)
2	5 健康診断の結果 (21)	2 スポーツの習慣の有無 (7)	7 こころの健康状態 (6)
3	7 こころの健康状態 (18)	6 持病の有無 (6)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (4)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(1)-1　心身の健康についての回答理由（問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜ひとり暮らし＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		52.4	9.5	33.3	26.2	50.0	35.7	42.9	0.0
②「どちらともいえない」		57.1	50.0	14.3	28.6	28.6	42.9	7.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		28.6	7.1	21.4	0.0	0.0	57.1	42.9	0.0

（件）

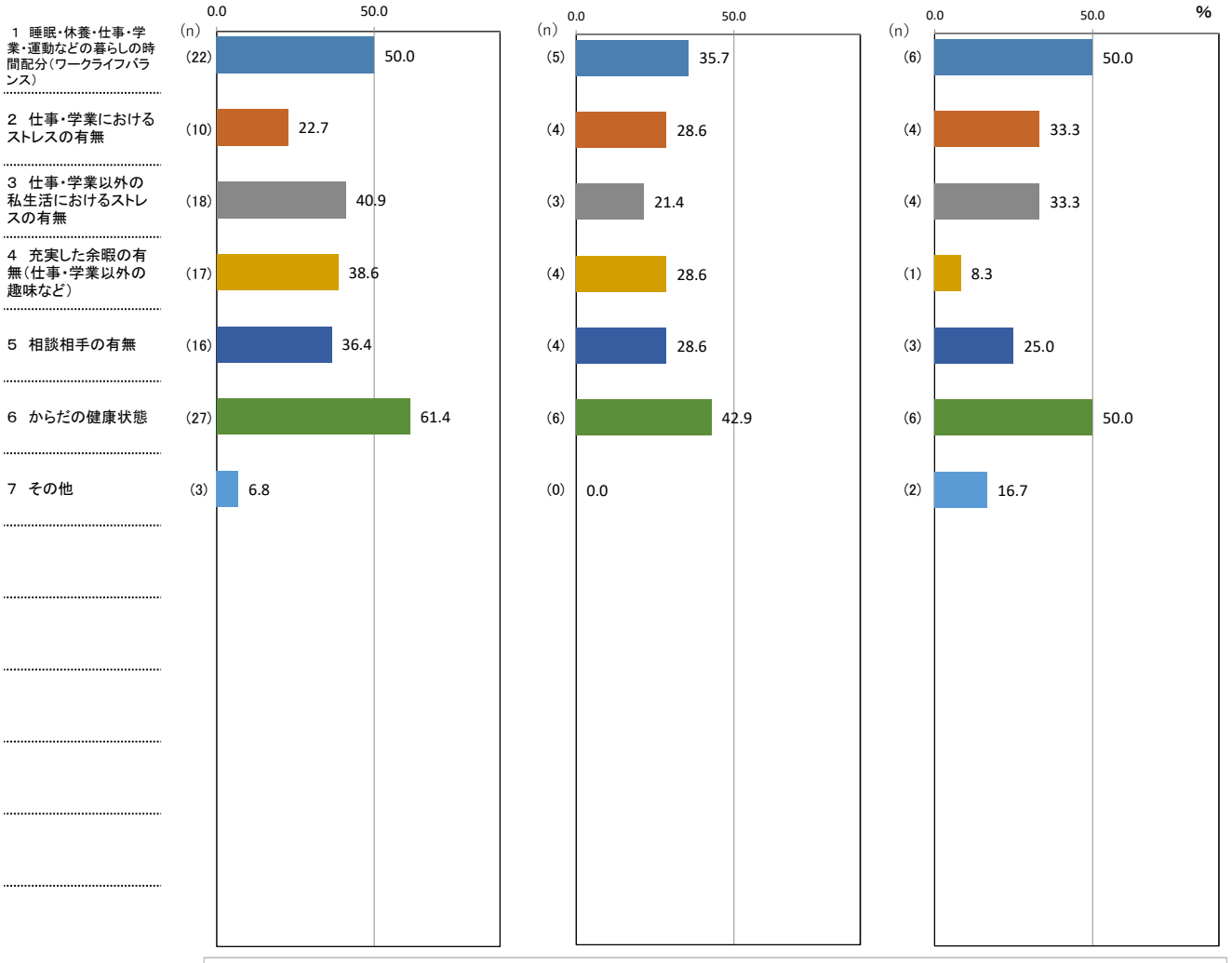
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝42人）	105	22	4	14	11	21	15	18	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝14人）	32	8	7	2	4	4	6	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝14人）	22	4	1	3	0	0	8	6	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜ひとり暮らし＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (113) 44 人	②「どちらともいえない」の回答 (26) 14 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (26) 12 人
1	6 からだの健康状態 (27)	6 からだの健康状態 (6)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (6)
2	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (22)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (5)	6 からだの健康状態 (6)
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (18)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (4)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (4)
		4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (4) 3位	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (4) 3位
		5 相談相手の有無 (4) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1） 心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜ひとり暮らし＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	22.7	40.9	38.6	36.4	61.4	6.8
②「どちらともいえない」		35.7	28.6	21.4	28.6	28.6	42.9	0.0
③「あまり感じない・感じない」		50.0	33.3	33.3	8.3	25.0	50.0	16.7

（件）

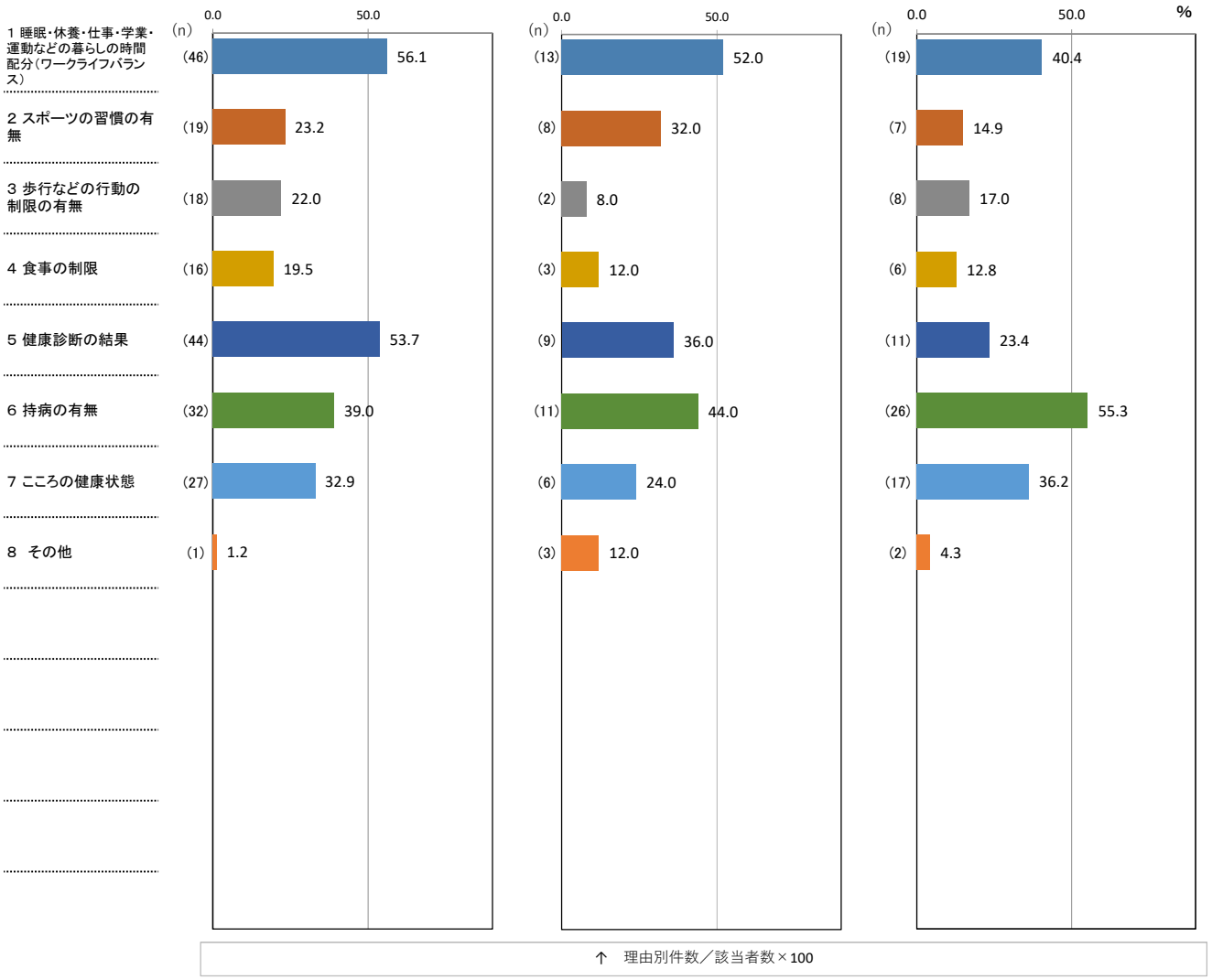
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝44人）	113	22	10	18	17	16	27	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝14人）	26	5	4	3	4	4	6	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝12人）	26	6	4	4	1	3	6	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜子どもはいない＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (203) 82 人	②「どちらともいえない」の回答 (55) 25 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (96) 47 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (46)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (13)	6 持病の有無 (26)
2	5 健康診断の結果 (44)	6 持病の有無 (11)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (19)
3	6 持病の有無 (32)	5 健康診断の結果 (9)	7 こころの健康状態 (17)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(1)-1　心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜＞　　（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		56.1	23.2	22.0	19.5	53.7	39.0	32.9	1.2
②「どちらともいえない」		52.0	32.0	8.0	12.0	36.0	44.0	24.0	12.0
③「あまり感じない・感じない」		40.4	14.9	17.0	12.8	23.4	55.3	36.2	4.3

（件）

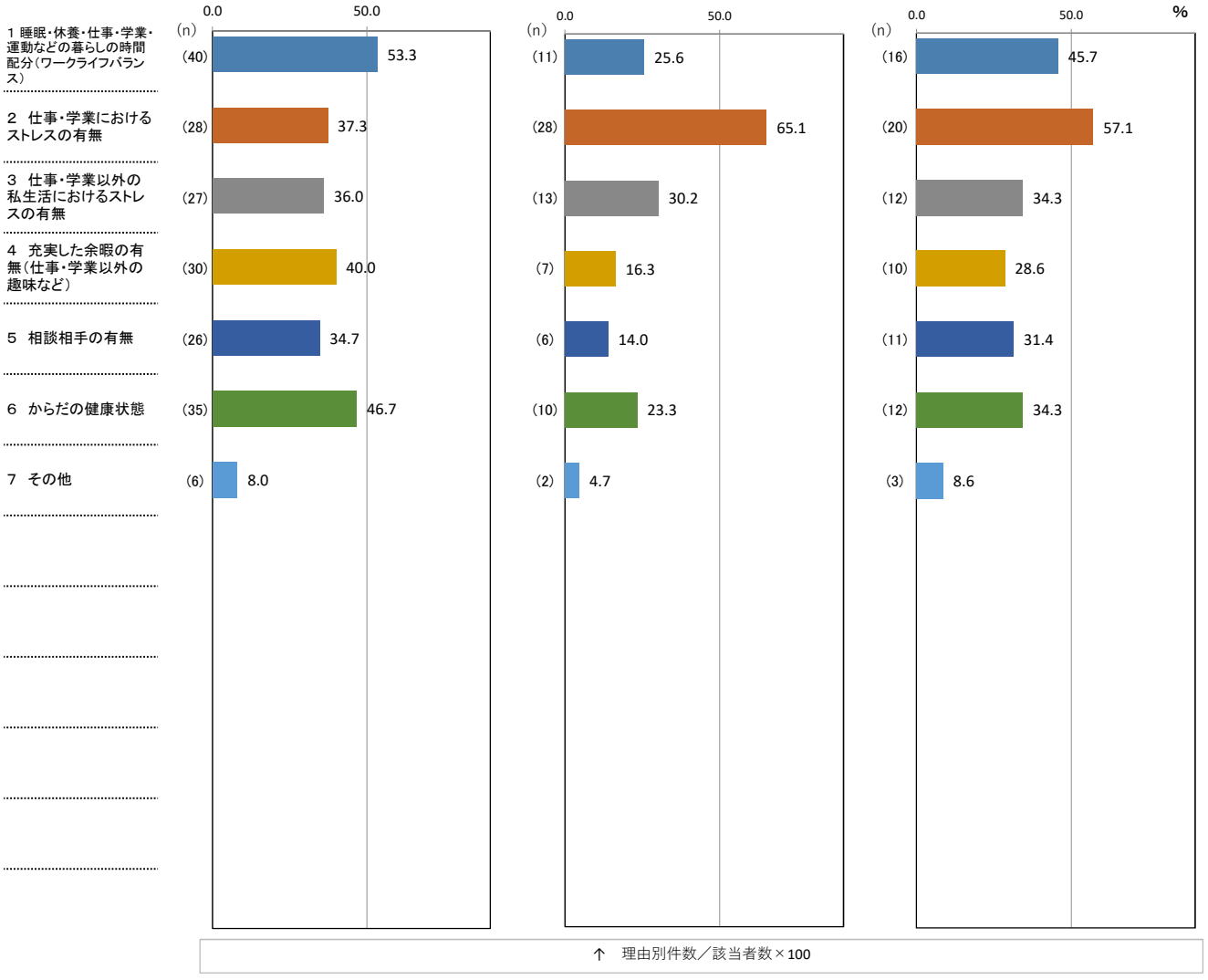
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①　「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝82人）	203	46	19	18	16	44	32	27	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝25人）	55	13	8	2	3	9	11	6	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝47人）	96	19	7	8	6	11	26	17	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜子どもはいない＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (192) 75 人	②「どちらともいえない」の回答 (77) 43 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (84) 35 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (40)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (28)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (20)
2	6 からだの健康状態 (35)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (13)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (16)
3	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (30)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (11)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (12)
	#N/A	#N/A	6 からだの健康状態 (12) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

（1） 心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもはいない＞ （%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		53.3	37.3	36.0	40.0	34.7	46.7	8.0
②「どちらともいえない」		25.6	65.1	30.2	16.3	14.0	23.3	4.7
③「あまり感じない・感じない」		45.7	57.1	34.3	28.6	31.4	34.3	8.6

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝75人）	192	40	28	27	30	26	35	6
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝43人）	77	11	28	13	7	6	10	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝35人）	84	16	20	12	10	11	12	3

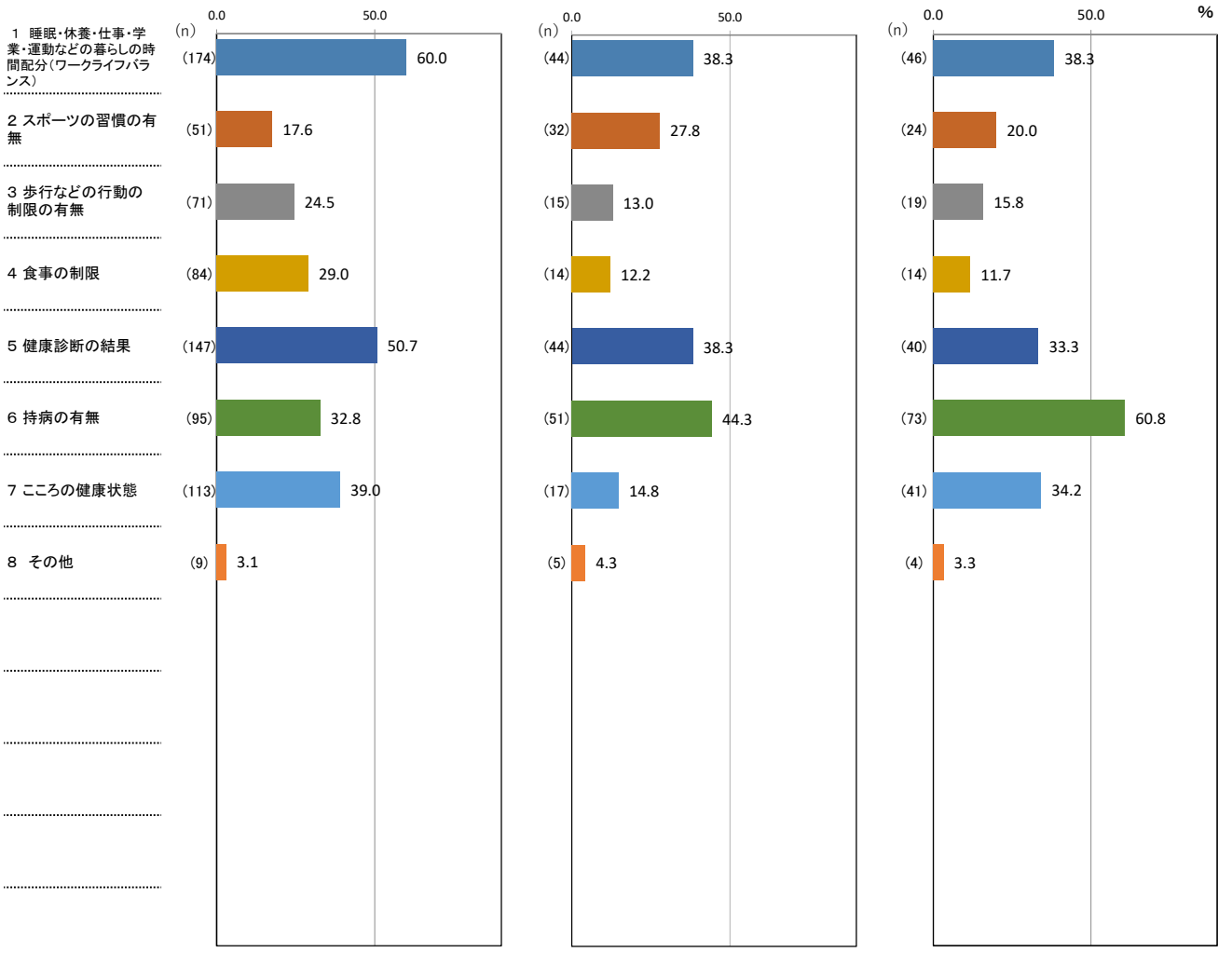
【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (744) 290 人	②「どちらともいえない」の回答 (222) 115 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (261) 120 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (174)	6 持病の有無 (51)	6 持病の有無 (73)
2	5 健康診断の結果 (147)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (44)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (46)
3	7 こころの健康状態 (113)	5 健康診断の結果 (44)	7 こころの健康状態 (41)

2 =

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(1)-1　心身の健康についての回答理由（問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		60.0	17.6	24.5	29.0	50.7	32.8	39.0	3.1
②「どちらともいえない」		38.3	27.8	13.0	12.2	38.3	44.3	14.8	4.3
③「あまり感じない・感じない」		38.3	20.0	15.8	11.7	33.3	60.8	34.2	3.3

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝290人）	744	174	51	71	84	147	95	113	9
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝115人）	222	44	32	15	14	44	51	17	5
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝120人）	261	46	24	19	14	40	73	41	4

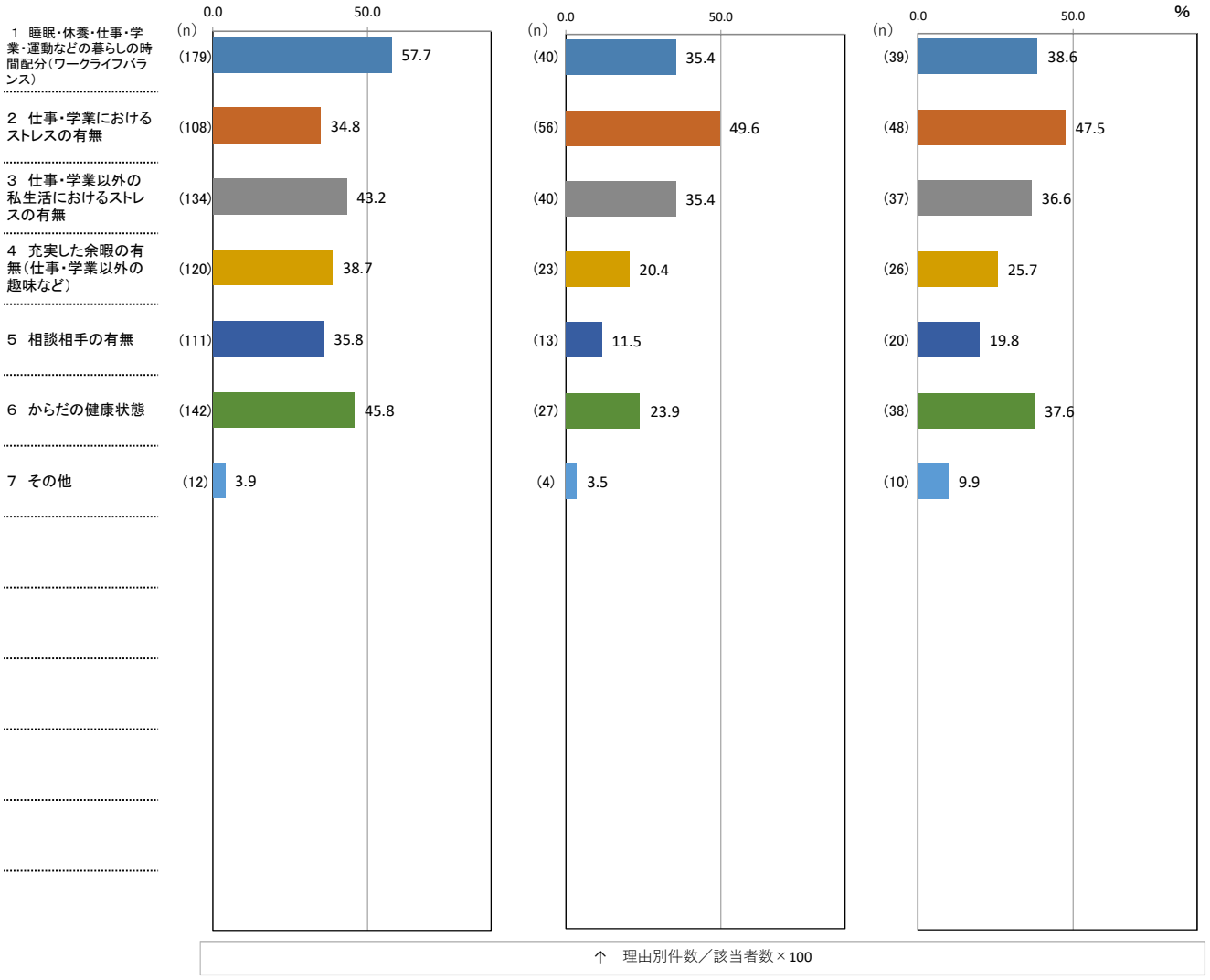
【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (806) 310 人	②「どちらともいえない」の回答 (203) 113 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (218) 101 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (179)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (56)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (48)
2	6 からだの健康状態 (142)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (40)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (39)
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (134)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (40)	6 からだの健康状態 (38)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1） 心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		57.7	34.8	43.2	38.7	35.8	45.8	3.9
②「どちらともいえない」		35.4	49.6	35.4	20.4	11.5	23.9	3.5
③「あまり感じない・感じない」		38.6	47.5	36.6	25.7	19.8	37.6	9.9

（件）

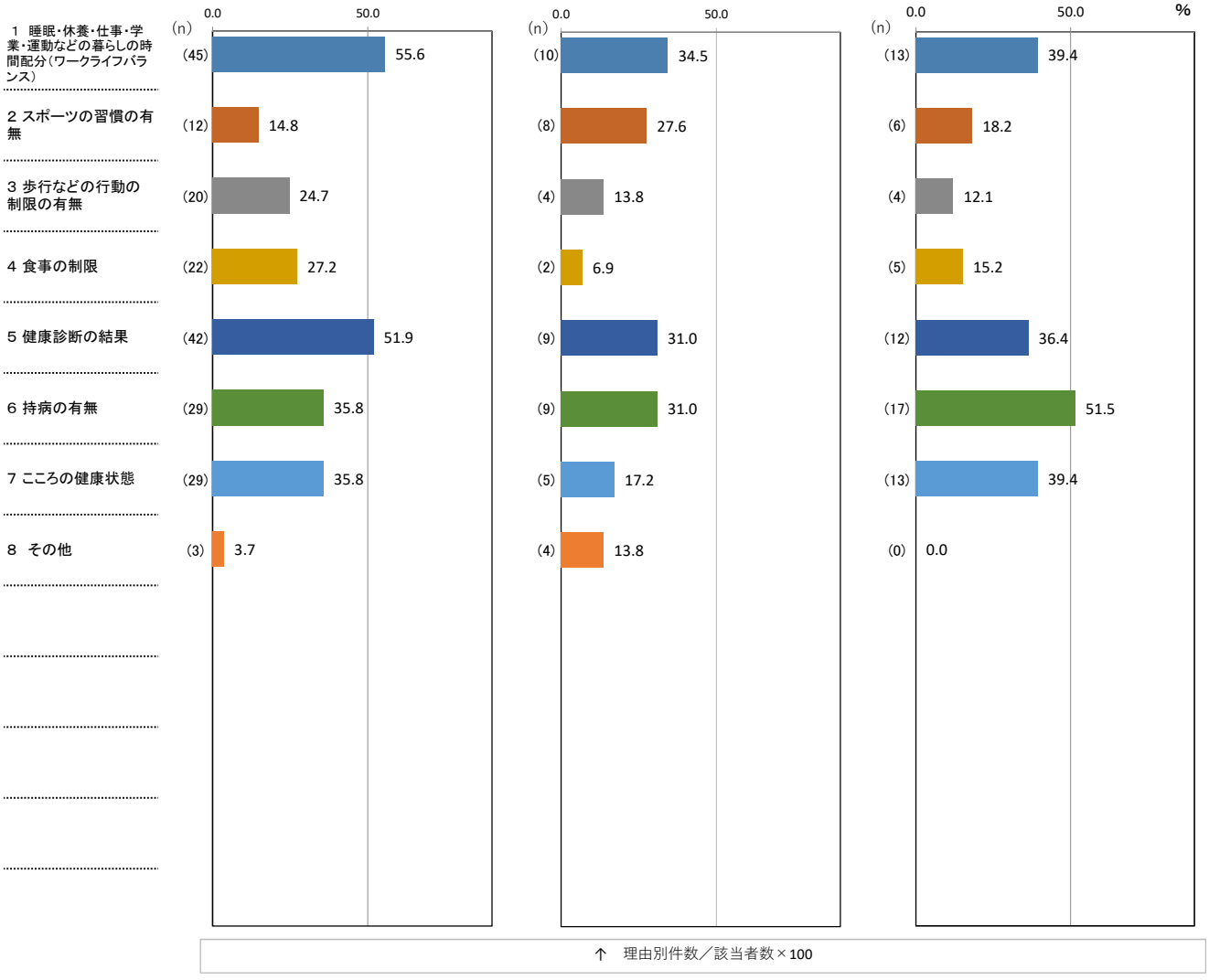
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝310人）	806	179	108	134	120	111	142	12
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝113人）	203	40	56	40	23	13	27	4
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝101人）	218	39	48	37	26	20	38	10

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(からだの健康)＜県北広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (202) 81 人	②「どちらともいえない」の回答 (51) 29 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (70) 33 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (45)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (10)	6 持病の有無 (17)
2	5 健康診断の結果 (42)	5 健康診断の結果 (9)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (13)
3	6 持病の有無 (29)	6 持病の有無 (9) 2位	7 こころの健康状態 (13) 2位
	7 こころの健康状態 (29) 3位		

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(1)-1　心身の健康についての回答理由（問1-1(1)-1「①あなたはからだが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県北広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」		55.6	14.8	24.7	27.2	51.9	35.8	35.8	3.7
②「どちらともいえない」		34.5	27.6	13.8	6.9	31.0	31.0	17.2	13.8
③「あまり感じない・感じない」		39.4	18.2	12.1	15.2	36.4	51.5	39.4	0.0

（件）

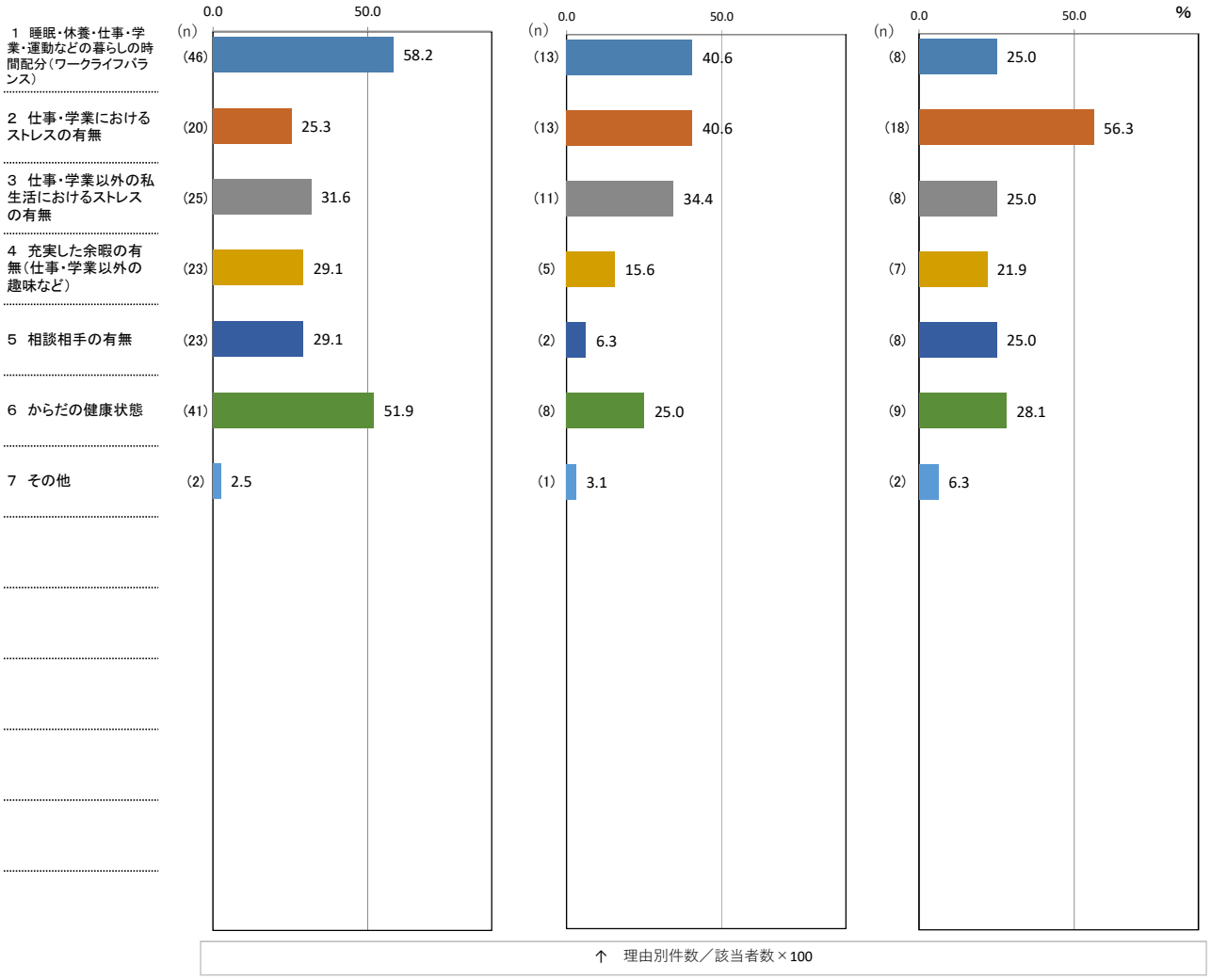
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝81人）	202	45	12	20	22	42	29	29	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝29人）	51	10	8	4	2	9	9	5	4
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝33人）	70	13	6	4	5	12	17	13	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「心身の健康」(こころの健康)＜県北広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (180) 79 人	②「どちらともいえない」の回答 (53) 32 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (60) 32 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (46)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (13)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (18)
2	6 からだの健康状態 (41)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (13)	6 からだの健康状態 (9)
3	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (25)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (11)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス) (8)
			3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (8) 3位
			5 相談相手の有無 (8) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1） 心身の健康についての回答理由（問1-1（1）-2「①あなたはこころが健康だと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県北広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」		58.2	25.3	31.6	29.1	29.1	51.9	2.5
②「どちらともいえない」		40.6	40.6	34.4	15.6	6.3	25.0	3.1
③「あまり感じない・感じない」		25.0	56.3	25.0	21.9	25.0	28.1	6.3

（件）

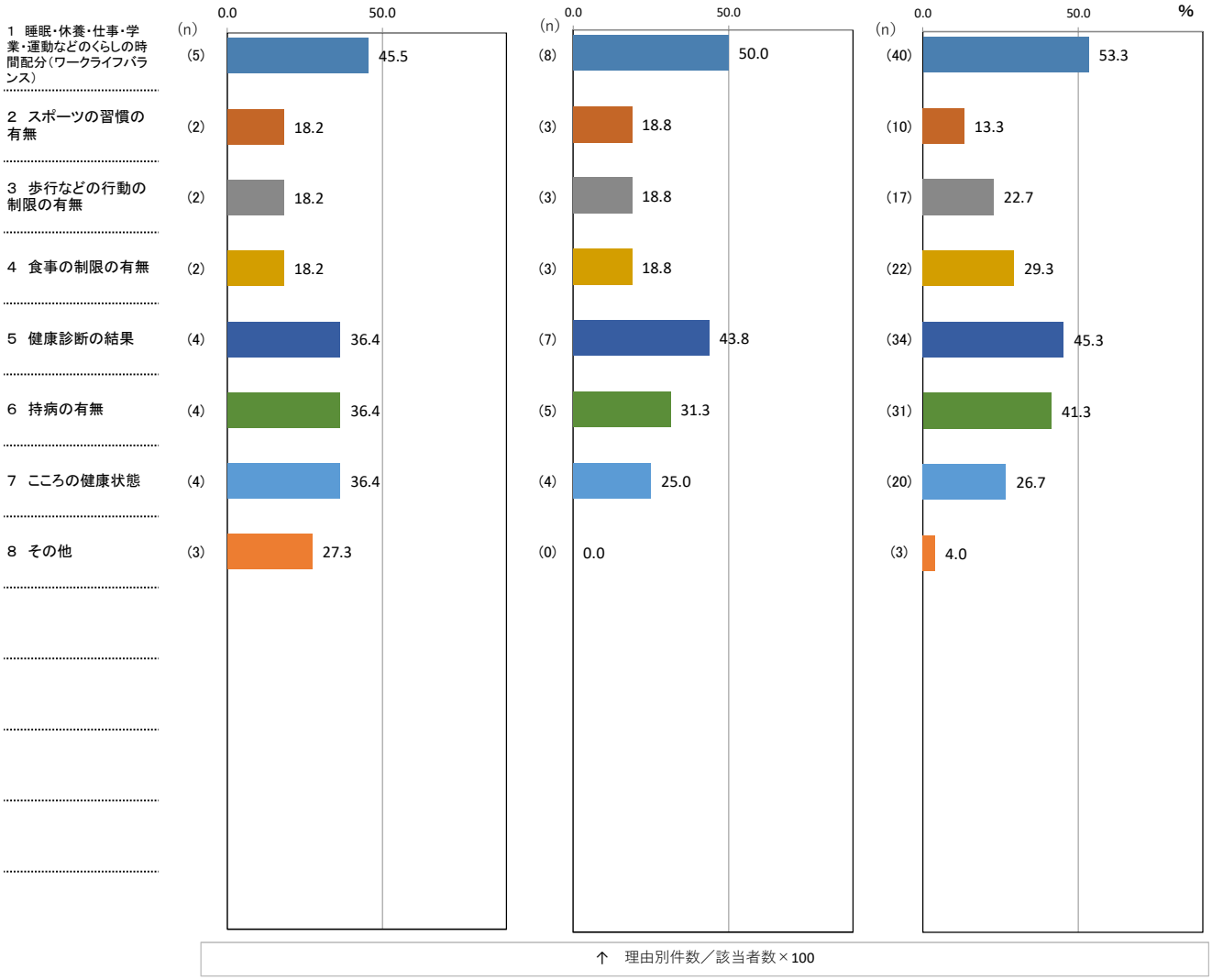
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分（ワークライフバランス）	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝79人）	180	46	20	25	23	23	41	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝32人）	53	13	13	11	5	2	8	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝32人）	60	8	18	8	7	8	9	2

【補足調査】(実感変動とコロナ実感)

分野別実感の回答結果「からだの健康」(実感上昇)

上位3項目	①「よい影響を感じる」の回答 (26) 11 人	②「どちらともいえない」の回答 (33) 16 人	③「よくない影響を感じる」の回答 (177) 75 人
1	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (5)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (8)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分(ワークライフバランス) (40)
2	5 健康診断の結果 (4)	5 健康診断の結果 (7)	5 健康診断の結果 (34)
3	6 持病の有無 (4) 2位	6 持病の有無 (5)	6 持病の有無 (31)
	7 こころの健康状態 (4) 2位		7 こころの健康状態 (20)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1-1）からだの健康において実感が上昇している人の新型コロナウイルス感染症の影響に係る回答理由

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「よい影響を感じる」		45.5	18.2	18.2	18.2	36.4	36.4	36.4	27.3
②「どちらともいえない」		50.0	18.8	18.8	18.8	43.8	31.3	25.0	0.0
③「よくない影響を感じる」		53.3	13.3	22.7	29.3	45.3	41.3	26.7	4.0

（件）

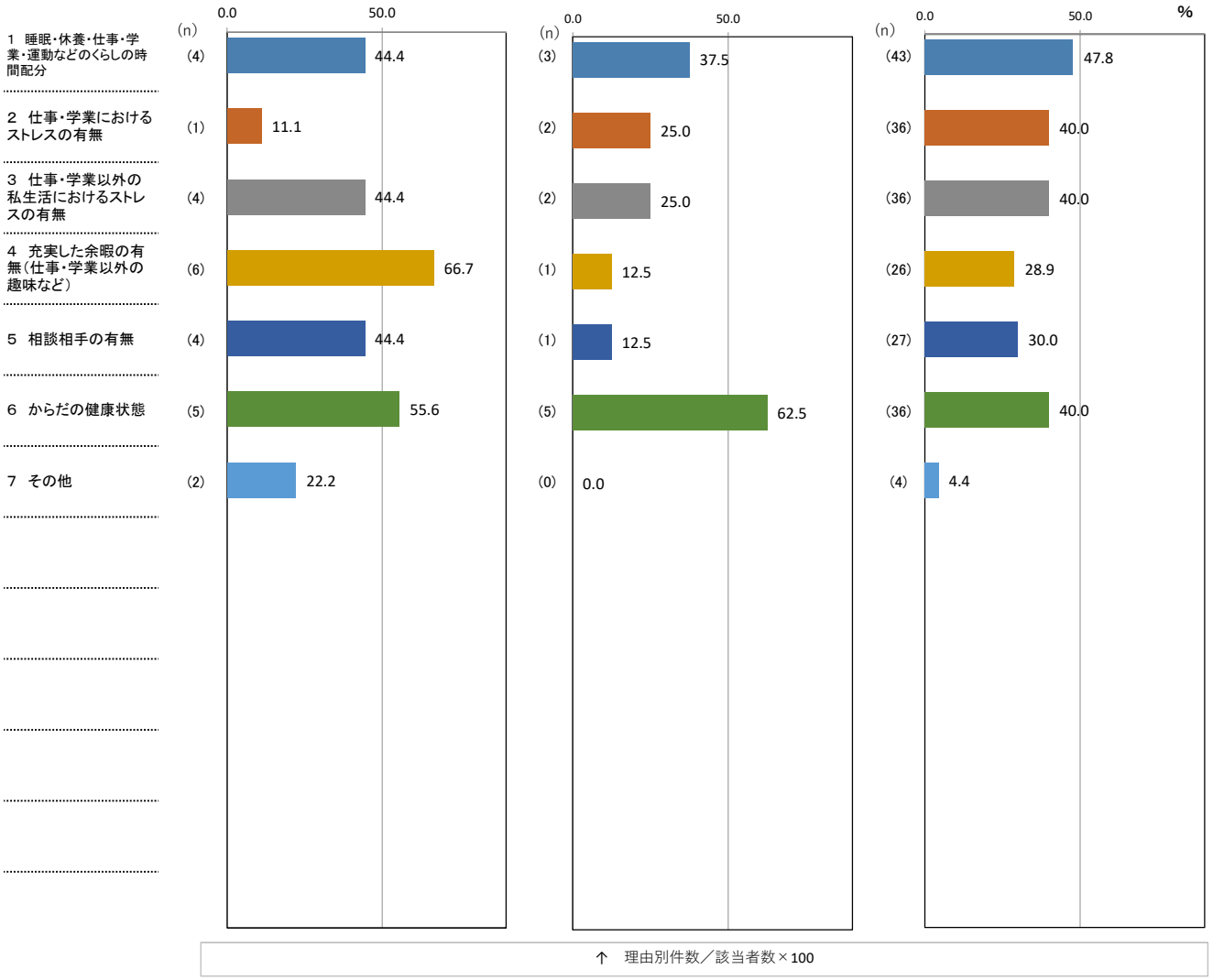
区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分（ワークライフバランス）	2 スポーツの習慣の有無	3 歩行などの行動の制限の有無	4 食事の制限の有無	5 健康診断の結果	6 持病の有無	7 こころの健康状態	8 その他
①「よい影響を感じる」の人（サンプル数＝11人）	26	5	2	2	2	4	4	4	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝16人）	33	8	3	3	3	7	5	4	0
③「よくない影響を感じる」の人（サンプル数＝75人）	177	40	10	17	22	34	31	20	3

【補足調査】(実感変動とコロナ実感)

分野別実感の回答結果「こころの健康」(実感上昇)

上位3項目	①「よい影響を感じる」の回答 (26) 9 人	②「どちらともいえない」の回答 (14) 8 人	③「よくない影響を感じる」の回答 (208) 90 人
1	4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など) (6)	6 からだの健康状態 (5)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分 (43)
2	6 からだの健康状態 (5)	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分 (3)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (36)
3	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分 (4)	2 仕事・学業におけるストレスの有無 (2)	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (36) 2位
	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (4) 3位	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無 (2)	6 からだの健康状態 (36) 2位
	5 相談相手の有無 (4) 3位		

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（1-2）こころの健康において実感が上昇している人の新型コロナウイルス感染症の影響に係る回答理由

（%）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「よい影響を感じる」		44.4	11.1	44.4	66.7	44.4	55.6	22.2
②「どちらともいえない」		37.5	25.0	25.0	12.5	12.5	62.5	0.0
③「よくない影響を感じる」		47.8	40.0	40.0	28.9	30.0	40.0	4.4

（件）

区分	計	1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などのくらしの時間配分	2 仕事・学業におけるストレスの有無	3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	4 充実した余暇の有無（仕事・学業以外の趣味など）	5 相談相手の有無	6 からだの健康状態	7 その他
①「よい影響を感じる」の人（サンプル数＝9人）	26	4	1	4	6	4	5	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝8人）	14	3	2	2	1	1	5	0
③「よくない影響を感じる」の人（サンプル数＝90人）	208	43	36	36	26	27	36	4

６　「子育て」の実感

①　分野別実感の概況

ア　分野別実感に係る令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

実感平均値は 3.16 点であり、基準年調査より 0.08 点上昇しています。

ｔ検定を行った結果、基準年調査に比べて有意に上昇していることから、**当該分野の実感は上昇**していると考えられます。

イ　属性別の状況

○　令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

基準年調査と比較して有意に変化した属性は表 11 のとおりでした。

表 11　「子育て」の実感において有意な変化があった属性と基準年差

属性		H31	R３	R3-H31
県計		3.08	3.16	0.08
性別	女性	3.11	3.21	0.09
年代	40～49 歳	3.09	3.28	0.19
職業	会社役員・団体役員	2.94	3.29	0.35
	専業主婦・主夫	3.04	3.27	0.23
世帯構成	その他	2.93	3.31	0.39
子の数	子どもはいない	2.60	2.83	0.23
居住年数	20 年以上	3.09	3.16	0.08
広域振興圏	県南広域振興圏	2.97	3.11	0.15

ウ　新型コロナウイルス感染症の影響

当該分野別実感に係る新型コロナウイルス感染症の影響に対する県民の認識を令和３年県民意識調査において把握したところ、良い影響を感じた割合は５％、良くない影響を感じた割合は 42%となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響を検討する上で、影響を受ける前の令和２年調査と影響後の令和３年調査の実感を比較すると表 12 のとおりでした。

表 12　「心身の健康」の実感において有意な変化があった属性と前年差

属性		R２	R３	R3-R2
県計		3.07	3.16	0.09
性別	男性	3.10	3.21	0.11
年代	30～39 歳	2.82	3.22	0.41
	40～49 歳	3.05	3.28	0.23
職業	会社役員・団体役員	2.95	3.29	0.35
	常用雇用者	2.96	3.13	0.17
世帯構成	２世代世帯	3.05	3.18	0.13
	その他世帯	2.94	3.31	0.37
居住年数	20 年以上	3.07	3.16	0.09
広域振興圏	県央広域振興圏	3.10	3.28	0.18

②　分野別実感が上昇した要因

・　県民意識調査の結果、実感が有意に上昇した属性は、表 11 及び表 12 のとおり幅広く存在しており、特徴的な属性は確認できませんでした。

・　補足調査で把握している「分野別実感の回答理由」については、実感が上昇した人の回答理由は以下のとおりでした。

（ア）　子どもを預けられる場所の有無(保育所など)
（イ）　子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)
（ウ）　配偶者の家事への参加
（エ）　自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)
（オ）　自分の勤め先の子育てに対する理解

・　**以上を踏まえ、当該分野の実感が上昇した要因は、「子どもを預けられる場所の有無(保育所など)」、「子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)」、「配偶者の家事への参加」、「自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)」、「自分の勤め先の子育てに対する理解」であると推測されます。**

・　なお、**新型コロナウイルス感染症の影響について、良くない影響を感じた人であって、前年調査に比べて実感が低下した人の主な回答理由は**以下のとおりであり、**「分野別実感の回答理由」と同じ理由**でした。

（ア）　子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)
（イ）　子どもを預けられる場所の有無(保育所など)
（ウ）　配偶者の家事への参加

(1)県民意識調査の属性別平均点について

④子育てがしやすいと感じますか

		H31（基準年）	R２	R3	R3−H31（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−H31（寄与度）	参考 R3−R2（対前年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−R2（寄与度）
県計(3,549)		3.08	3.07	3.16	0.08	0.011	**	0.08	0.09	0.00	**	0.09
性別	男性(1,561)	3.05	3.04	3.11	0.06	0.19		0.03	0.07	0.10		0.03
	女性(1,949)	3.11	3.10	3.21	0.09	0.04	**	0.05	0.11	0.01	**	0.06
	その他(参考)(6)		3.60	3.50					▲ 0.10	0.95		
年代	18～19歳(参考)(53)	3.00	3.37	2.95	▲ 0.05	0.92		▲ 0.00	▲ 0.41	0.27		▲ 0.01
	20～29歳(200)	2.80	2.89	2.99	0.19	0.22		0.01	0.10	0.54		0.01
	30～39歳(320)	3.03	2.82	3.22	0.19	0.07		0.02	0.41	0.00	**	0.04
	40～49歳(499)	3.09	3.05	3.28	0.19	0.02	**	0.03	0.23	0.00	**	0.03
	50～59歳(604)	3.06	2.99	3.02	▲ 0.03	0.64		▲ 0.01	0.03	0.62		0.01
	60～69歳(766)	2.99	3.04	3.11	0.12	0.06		0.03	0.07	0.27		0.01
	70歳以上(1,009)	3.29	3.27	3.27	▲ 0.02	0.78		▲ 0.01	▲ 0.00	0.99		▲ 0.00
職業	自営業主(282)	3.16	3.08	3.26	0.09	0.40		0.01	0.18	0.11		0.01
	家族従業者(119)	3.21	3.32	3.14	▲ 0.06	0.70		▲ 0.00	▲ 0.17	0.22		▲ 0.01
	会社役員・団体役員(240)	2.94	2.95	3.29	0.35	0.00	**	0.02	0.35	0.00	**	0.02
	常用雇用者(1,025)	3.06	2.96	3.13	0.08	0.18		0.02	0.17	0.00	**	0.05
	臨時雇用者(440)	3.05	3.08	3.11	0.06	0.45		0.01	0.03	0.73		0.00
	学生＋その他(119)	3.02	3.01	3.05	0.02	0.90		0.00	0.04	0.81		0.00
	専業主婦・主夫(403)	3.04	3.17	3.27	0.23	0.03	**	0.03	0.10	0.24		0.01
	60歳未満の無職(参考)(77)	2.56	2.46	3.00	0.44	0.13		0.01	0.54	0.04	**	0.01
	60歳以上の無職(697)	3.20	3.21	3.10	▲ 0.10	0.23		▲ 0.02	▲ 0.11	0.15		▲ 0.02
世帯構成	ひとり暮らし(431)	2.80	2.94	2.97	0.18	0.10		0.02	0.03	0.77		0.00
	夫婦のみ(718)	3.06	3.13	3.13	0.06	0.38		0.01	▲ 0.00	0.97		▲ 0.00
	2世代世帯(1,437)	3.12	3.05	3.18	0.06	0.25		0.02	0.13	0.01	**	0.05
	3世代世帯(548)	3.24	3.16	3.23	▲ 0.01	0.94		▲ 0.00	0.07	0.32		0.01
	その他(184)	2.93	2.94	3.31	0.39	0.00	**	0.02	0.37	0.00	**	0.02
子の数	1人(450)	3.11	3.17	3.21	0.11	0.21		0.01	0.04	0.61		0.01
	2人(1,270)	3.18	3.16	3.25	0.07	0.14		0.03	0.09	0.06		0.03
	3人(682)	3.19	3.09	3.20	0.01	0.87		0.00	0.11	0.10		0.02
	4人以上(159)	2.96	2.99	3.12	0.15	0.31		0.01	0.13	0.38		0.01
	子どもはいない(802)	2.60	2.72	2.83	0.23	0.01	**	0.05	0.11	0.17		0.02
居住年数	10年未満(100)	2.90	3.00	3.11	0.22	0.26		0.01	0.11	0.56		0.00
	10～20年未満(145)	3.12	3.07	3.19	0.07	0.69		0.00	0.12	0.51		0.00
	20年以上(3,174)	3.09	3.07	3.16	0.08	0.03	**	0.07	0.09	0.00	**	0.08
広域振興圏	県央(1,011)	3.20	3.10	3.28	0.08	0.18		0.02	0.18	0.00	**	0.05
	県南(1,080)	2.97	3.06	3.11	0.15	0.01	**	0.04	0.05	0.37		0.02
	沿岸(833)	3.14	3.05	3.11	▲ 0.03	0.65		▲ 0.01	0.05	0.43		0.01
	県北(625)	3.01	3.05	3.13	0.12	0.11		0.02	0.08	0.27		0.01

（　）は、R３調査のサンプル数

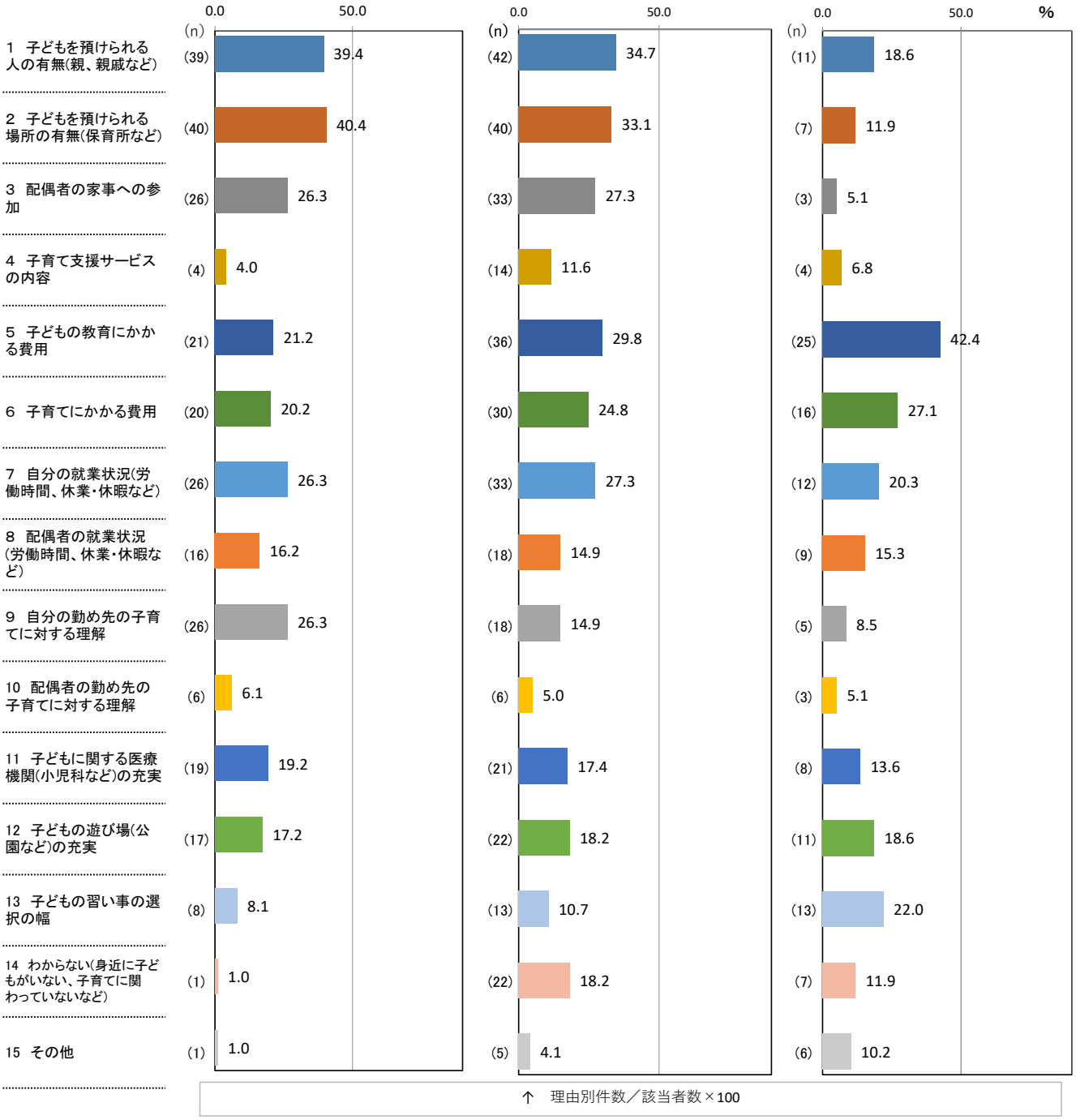
(2)分野別実感の回答理由(実感変化別)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「子育て」(H31-R3)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (270) 99 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (353) 121 人	③ 実感が低下した人 の回答 (140) 59 人
1	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (40)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (42)	5 子どもの教育にかかる費用 (25)
2	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (39)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (40)	6 子育てにかかる費用 (16)
3	3 配偶者の家事への参加 (26)	5 子どもの教育にかかる費用 (36)	13 子どもの習い事の選択の幅 (13)
	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (26) 3位		
	9 自分の勤め先の子育てに対する理解 (26) 3位		

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）①「あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
① 実感が上昇した人		39.4	40.4	26.3	4.0	21.2	20.2	26.3	16.2	26.3	6.1	19.2	17.2	8.1	1.0	1.0
② 実感が横ばいの人		34.7	33.1	27.3	11.6	29.8	24.8	27.3	14.9	14.9	5.0	17.4	18.2	10.7	18.2	4.1
③ 実感が低下した人		18.6	11.9	5.1	6.8	42.4	27.1	20.3	15.3	8.5	5.1	13.6	18.6	22.0	11.9	10.2

（件）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝99人）	270	39	40	26	4	21	20	26	16	26	6	19	17	8	1	1
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝121人）	353	42	40	33	14	36	30	33	18	18	6	21	22	13	22	5
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝59人）	140	11	7	3	4	25	16	12	9	5	3	8	11	13	7	6

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（1名中1名記載）
・もう祖父となっているので別に何も感じない

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（5名中4名記載）
・学童保育の不足　・子育ては卒業して今は妻と二人仲良く暮らしている　・通学手段　・周囲の親との価値観等の兼ね合い

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（6名中6名記載）
・①保育園入所等待機児童となった（約5年前）これにより妻が休職を延長申請しなければならなくなった。
②中学校の給食がないのは困っています。（盛岡市）毎日が大変です。
・スポ少活動の父母会の負担が大きすぎる
・子供が発達障害なので精神的につかれる
・学校教育における点数・テスト至上主義が個性を圧迫している
・私がもう少し若いころ無我夢中で関わっていて今は孫も手を離れ昔を振り返っています
・比較できる地域を知らないので

【参考】

【補足調査】

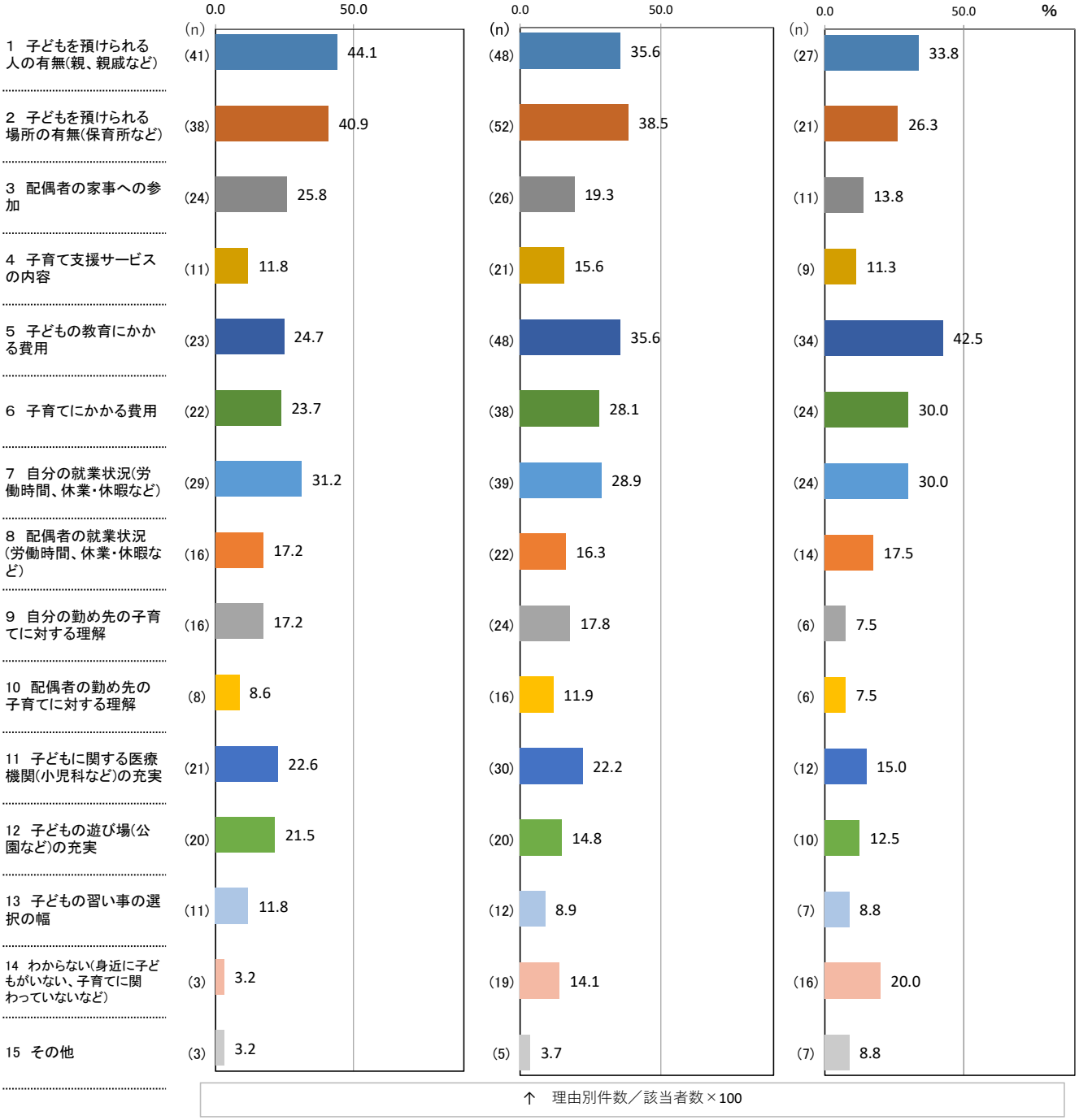
分野別実感の理由別分析「子育て」(R2-H31)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (286) 93 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (420) 135 人	③ 実感が低下した人 の回答 (228) 80 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (41)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (52)	5 子どもの教育にかかる費用 (34)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (38)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (48)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (27)
3	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (29)	5 子どもの教育にかかる費用 (48)	6 子育てにかかる費用 (24)
			7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (24)

2位

3位

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）①「あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
① 実感が上昇した人		44.1	40.9	25.8	11.8	24.7	23.7	31.2	17.2	17.2	8.6	22.6	21.5	11.8	3.2	3.2
② 実感が横ばいの人		35.6	38.5	19.3	15.6	35.6	28.1	28.9	16.3	17.8	11.9	22.2	14.8	8.9	14.1	3.7
③ 実感が低下した人		33.8	26.3	13.8	11.3	42.5	30.0	30.0	17.5	7.5	7.5	15.0	12.5	8.8	20.0	8.8

（件）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R2[2」は除く。 （サンプル数＝93人）	286	41	38	24	11	23	22	29	16	16	8	21	20	11	3	3
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝135人）	420	48	52	26	21	48	38	39	22	24	16	30	20	12	19	5
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R2[4」は除く。 （サンプル数＝80人）	228	27	21	11	9	34	24	24	14	6	6	12	10	7	16	7

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（3名中3名記載）
・充実はしていないが40分圏内に信頼できる病院がある。
・子どもが優しく素直なため。
・私が子育てしていた時代より子育て社会が広くなったと感じます 。

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（5名中4名記載）
・高齢者の仲間入り年齢であり直接的ではないが自分の子育て当時に比べると保育時間の延長、　保育料の割安、医療費補助など充実しており良い時代と思っている。
・子育て終了。
・2世代で私は84歳もう何も言う事はない。
・交通の便が悪い。

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（7名中6名記載）
・経済的な余裕があるわけではないため夫婦とも働かざるを得ないから。
・全て成人したので。
・全員、成人しており社会人となり、子育てを終了している。
・高齢者の為（75歳）で有り、考えていません。若い人達は良い社会を考えて進んでほしい。
・子育ては今はしていませんが車社会なので昔よりは楽かも、でもお金はかかると思う。
・家に中学生がいますが、中学校が給食でない為とても困っている。（盛岡市）

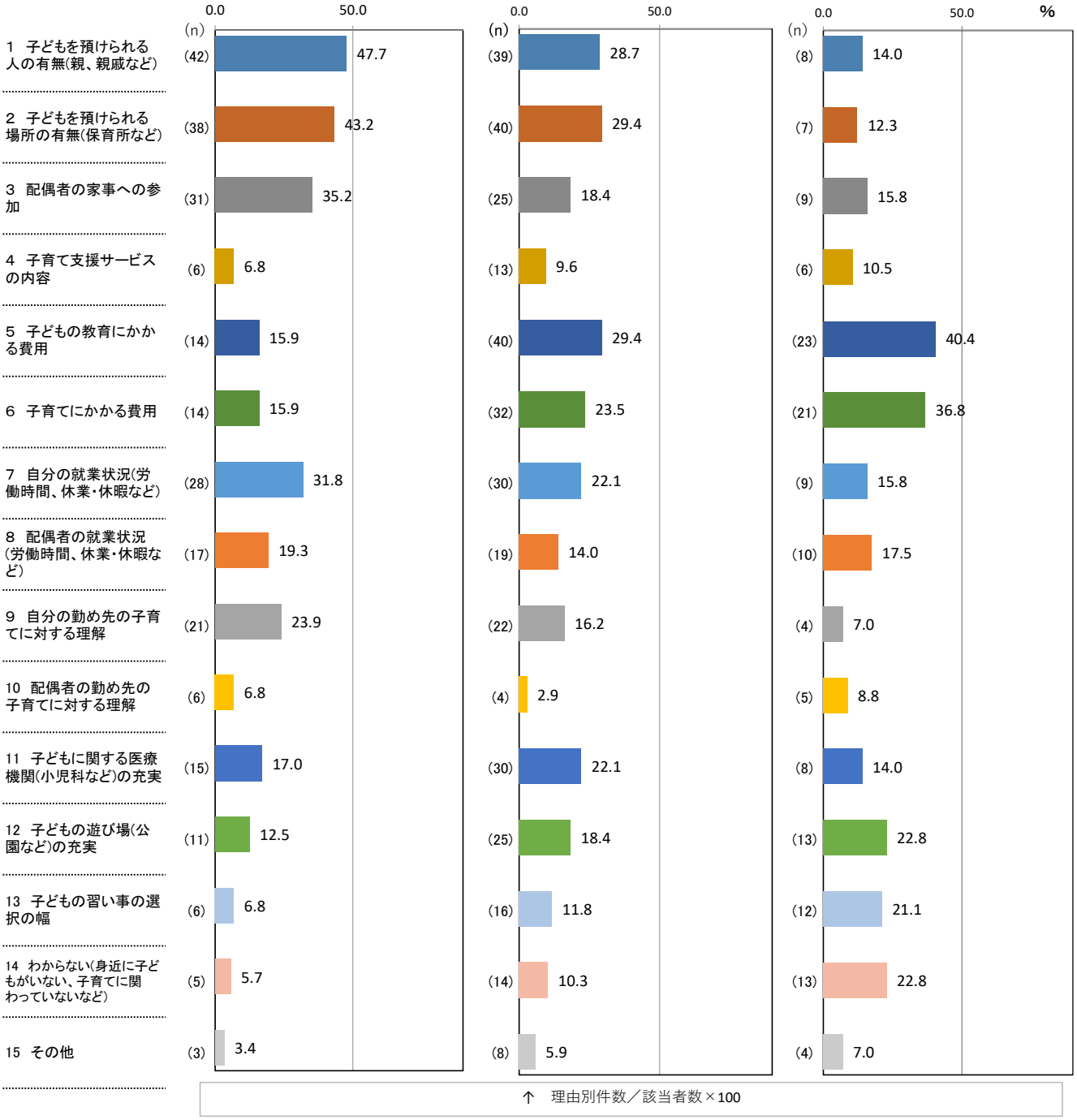
【補足調査】

分野別実感の理由別分析「子育て」(R2-R3)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (257) 88 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (357) 136 人	③ 実感が低下した人 の回答 (152) 57 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (42)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (40)	5 子どもの教育にかかる費用 (23)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (38)	5 子どもの教育にかかる費用 (40)	6 子育てにかかる費用 (21)
3	3 配偶者の家事への参加 (31)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (39)	12 子どもの遊び場(公園など)の充実 (13)

1位

( )内の数字は件数。



【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）①「あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
① 実感が上昇した人		47.7	43.2	35.2	6.8	15.9	15.9	31.8	19.3	23.9	6.8	17.0	12.5	6.8	5.7	3.4
② 実感が横ばいの人		28.7	29.4	18.4	9.6	29.4	23.5	22.1	14.0	16.2	2.9	22.1	18.4	11.8	10.3	5.9
③ 実感が低下した人		14.0	12.3	15.8	10.5	40.4	36.8	15.8	17.5	7.0	8.8	14.0	22.8	21.1	22.8	7.0

（件）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R2「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝88人）	257	42	38	31	6	14	14	28	17	21	6	15	11	6	5	3
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝136人）	357	39	40	25	13	40	32	30	19	22	4	30	25	16	14	8
③ 実感が低下した人 ただし、R2「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝57人）	152	8	7	9	6	23	21	9	10	4	5	8	13	12	13	4

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（3名中3名記載）
・子供が成人して自立して生活できている
・通学手段
・もう祖父となっているので別に何も感じない

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（8名中8名記載）
・①保育園入所等待機児童となった（約5年前）これにより妻が休職を延長申請しなければならなくなった。②中学校の給食がないのは困っています。（盛岡市）
毎日が大変です。
・スポ少活動の父母会の負担が大きすぎる
・子供が発達障害なので精神的につかれる
・私がもう少し若いころ無我夢中で関わっていて今は孫も手を離れ昔を振り返っています
・比較できる地域を知らないので
・我が家の子どもは成人なっている。今の高田市では子育てするには環境よいとは思わない
・子育ては卒業して今は妻と二人仲良く暮らしている
・周囲の親との価値観等の兼ね合い

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（4名中3名記載）
・学校に関する相談の機会が少ない
・学童保育の不足
・預けることができず仕事はできなかった

(3)分野別実感の回答結果(単純集計)

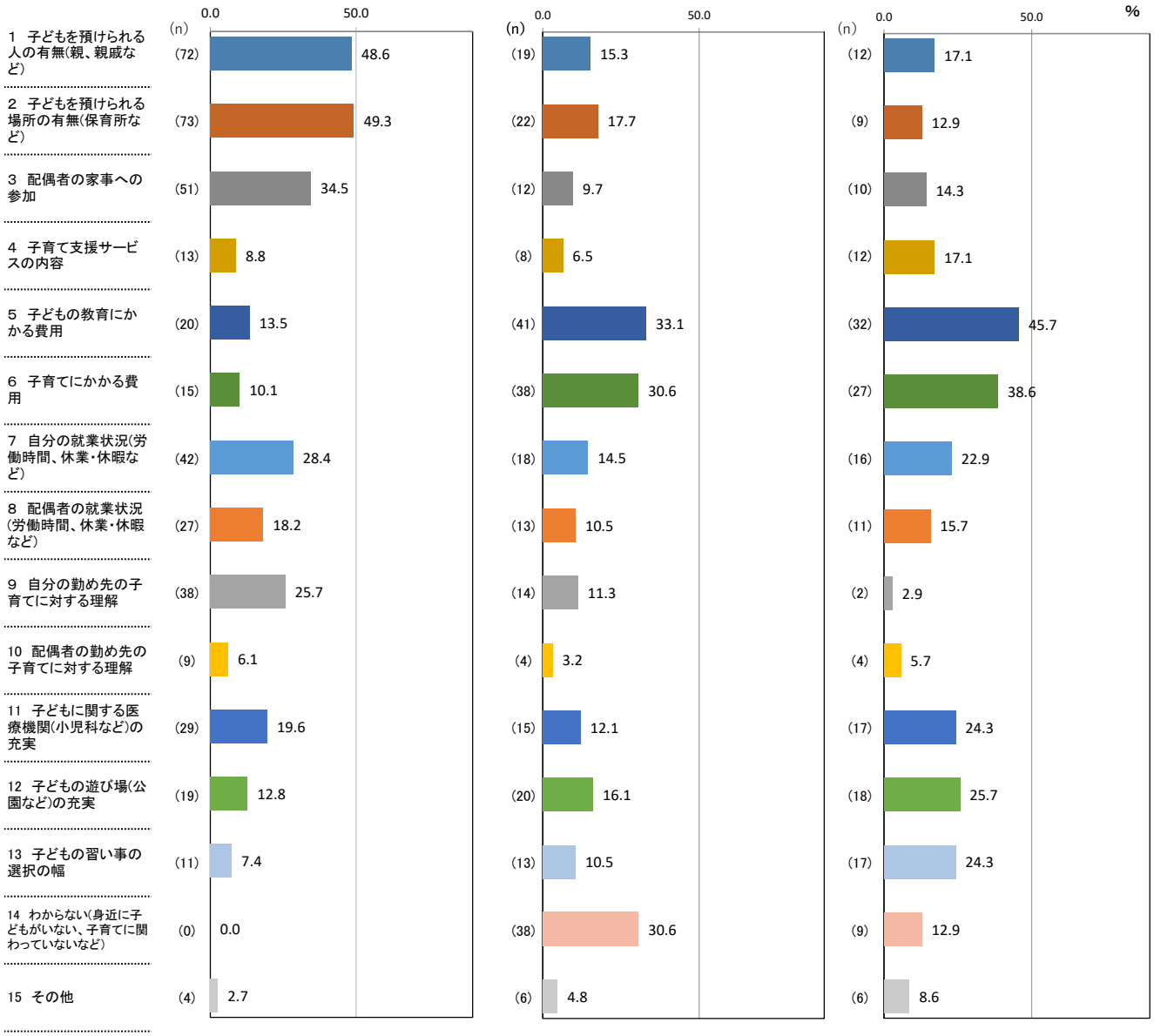
【補足調査】

分野別実感の理由別分析「子育て」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (423) 148 人	②「どちらともいえない」の回答 (281) 124 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (202) 70 人
1	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (73)	5 子どもの教育にかかる費用 (41)	5 子どもの教育にかかる費用 (32)
2	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (72)	6 子育てにかかる費用 (38)	6 子育てにかかる費用 (27)
3	3 配偶者の家事への参加 (51)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (38)	12 子どもの遊び場(公園など)の充実 (18)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1(4)「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		48.6	49.3	34.5	8.8	13.5	10.1	28.4	18.2	25.7	6.1	19.6	12.8	7.4	0.0	2.7
②「どちらともいえない」		15.3	17.7	9.7	6.5	33.1	30.6	14.5	10.5	11.3	3.2	12.1	16.1	10.5	30.6	4.8
③「あまり感じない・感じない」		17.1	12.9	14.3	17.1	45.7	38.6	22.9	15.7	2.9	5.7	24.3	25.7	24.3	12.9	8.6

（件）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝人）	423	72	73	51	13	20	15	42	27	38	9	29	19	11	0	4
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝人）	281	19	22	12	8	41	38	18	13	14	4	15	20	13	38	6
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝人）	202	12	9	10	12	32	27	16	11	2	4	17	18	17	9	6

① 「感じる」・「やや感じる」の人の「その他」コメント（148名中4名記載）
・子供が成人して自立して生活できている　・子育ては卒業して今は妻と二人仲良く暮らしている　・通学手段
・もう祖父となっているので別に何も感じない

② 「どちらともいえない」の人の「その他」コメント（124名中5名記載）
・子供が発達障害なので精神的につかれる　・学校教育における点数・テスト至上主義が個性を圧迫している　・比較できる地域を知らないので
・私がもう少し若いころ無我夢中で関わっていて今は孫も手を離れ昔を振り返っています　・周囲の親との価値観等の兼ね合い

③「あまり感じない・感じない」の人の「その他」コメント（70名中6名記載）
・学校に関する相談の機会が少ない　・スポ少活動の父母会の負担が大きすぎる　・学童保育の不足
・預けることができず仕事はできなかった　・我が家の子どもは成人なっている。今の高田市では子育てするには環境よいとは思わない
・①保育園入所等待機児童となった（約5年前）これにより妻が休職を延長申請しなければならなくなった。②中学校の給食がないのは困っています。（盛岡市）毎日が大変です。

(4)分野別実感の属性別回答結果(単純集計)

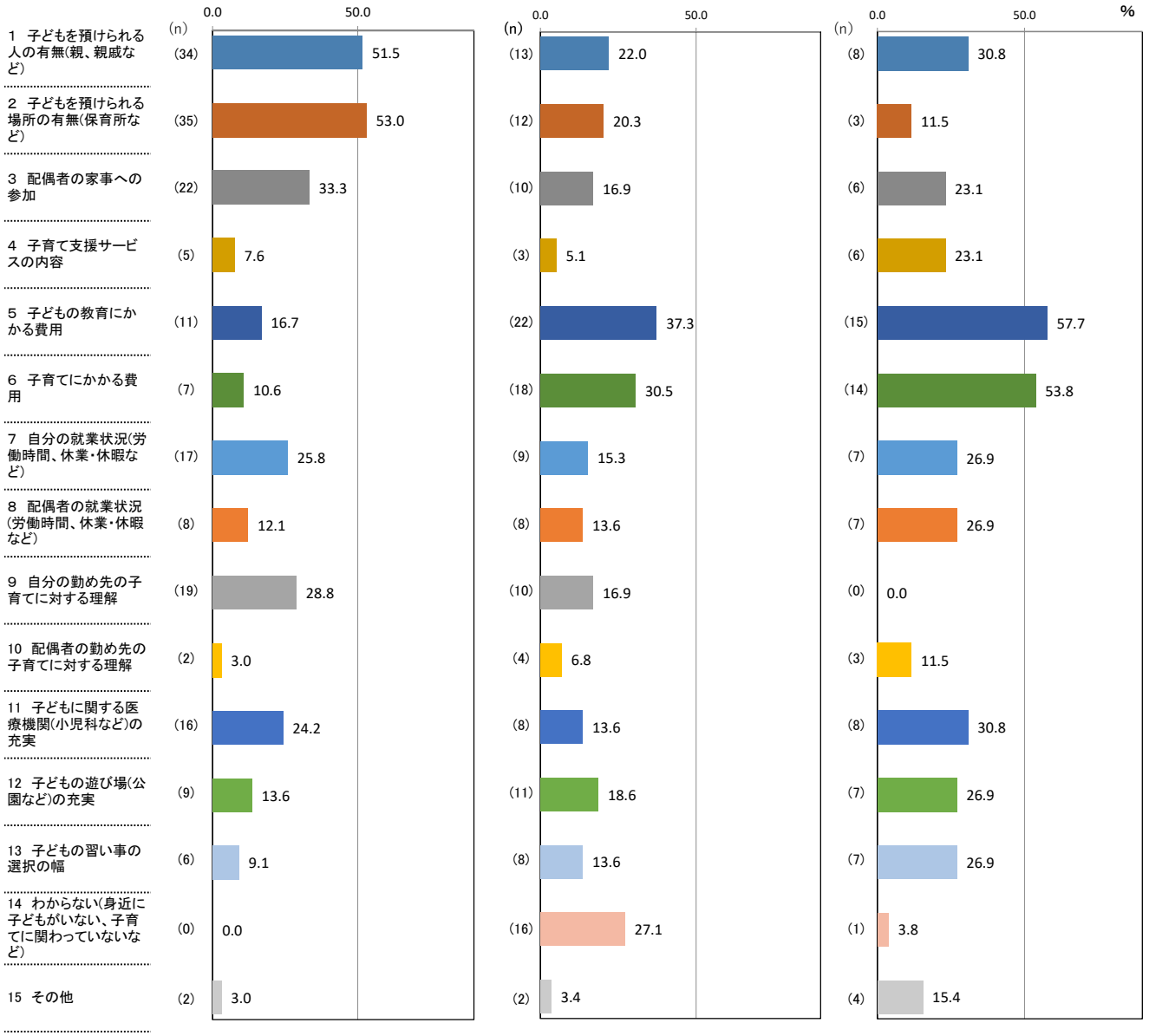
【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子育て」<女性>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (193) 66 人	②「どちらともいえない」の回答 (154) 59 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (96) 26 人
1	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (35)	5 子どもの教育にかかる費用 (22)	5 子どもの教育にかかる費用 (15)
2	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (34)	6 子育てにかかる費用 (18)	6 子育てにかかる費用 (14)
3	3 配偶者の家事への参加 (22)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (16)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (8)
			11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実 (8)

3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜女性＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		51.5	53.0	33.3	7.6	16.7	10.6	25.8	12.1	28.8	3.0	24.2	13.6	9.1	0.0	3.0
②「どちらともいえない」		22.0	20.3	16.9	5.1	37.3	30.5	15.3	13.6	16.9	6.8	13.6	18.6	13.6	27.1	3.4
③「あまり感じない・感じない」		30.8	11.5	23.1	23.1	57.7	53.8	26.9	26.9	0.0	11.5	30.8	26.9	26.9	3.8	15.4

（件）

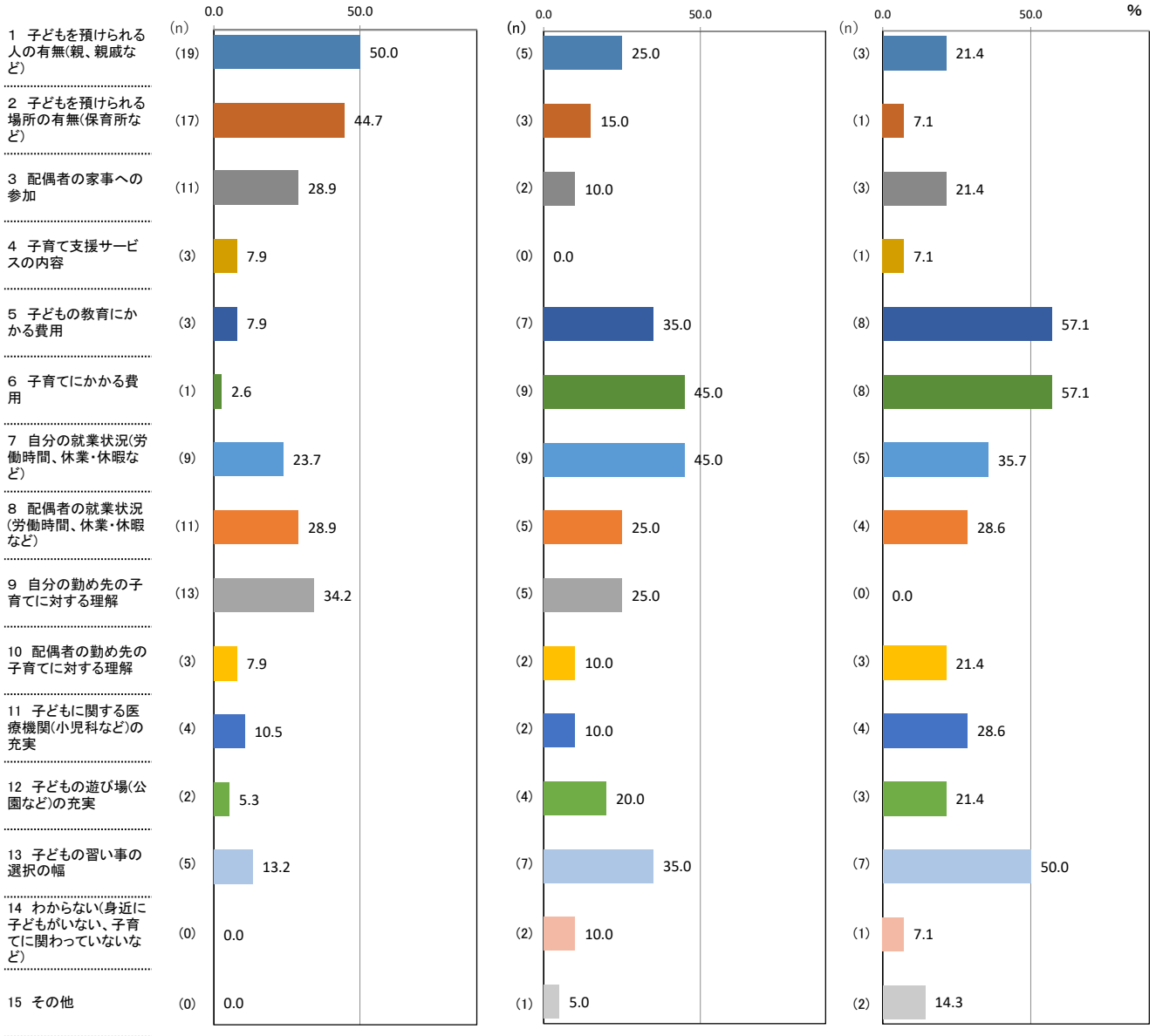
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝66人）	193	34	35	22	5	11	7	17	8	19	2	16	9	6	0	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝59人）	154	13	12	10	3	22	18	9	8	10	4	8	11	8	16	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝26人）	96	8	3	6	6	15	14	7	7	0	3	8	7	7	1	4

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子育て」＜40～49歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (101) 38 人	②「どちらともいえない」の回答 (63) 20 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (53) 14 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (19)	6 子育てにかかる費用 (9)	5 子どもの教育にかかる費用 (8)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (17)	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (9) 1位	6 子育てにかかる費用 (8) 1位
3	9 自分の勤め先の子育てに対する理解 (13)	5 子どもの教育にかかる費用 (7)	13 子どもの習い事の選択の幅 (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜40～49歳＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	44.7	28.9	7.9	7.9	2.6	23.7	28.9	34.2	7.9	10.5	5.3	13.2	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		25.0	15.0	10.0	0.0	35.0	45.0	45.0	25.0	25.0	10.0	10.0	20.0	35.0	10.0	5.0
③「あまり感じない・感じない」		21.4	7.1	21.4	7.1	57.1	57.1	35.7	28.6	0.0	21.4	28.6	21.4	50.0	7.1	14.3

（件）

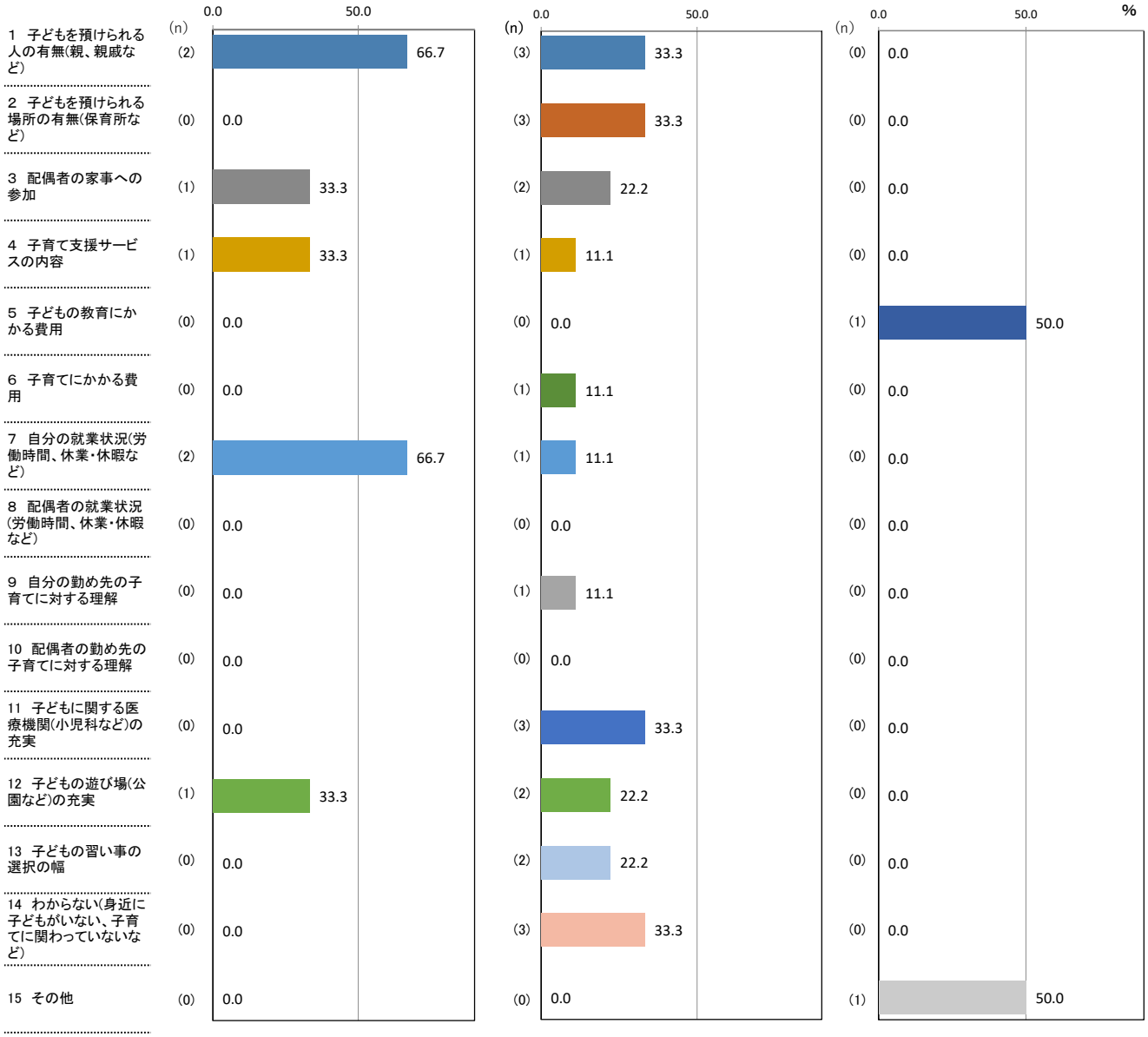
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝38人）	101	19	17	11	3	3	1	9	11	13	3	4	2	5	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝20人）	63	5	3	2	0	7	9	9	5	5	2	2	4	7	2	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝14人）	53	3	1	3	1	8	8	5	4	0	3	4	3	7	1	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子育て」＜会社役員・団体役員＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (7) 3 人	②「どちらともいえない」の回答 (22) 9 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (2) 2 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (2)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (3) 1位	5 子どもの教育にかかる費用 (1)
2	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (2) 1位	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (3) 1位	15 その他 (1) 1位
3	3 配偶者の家事への参加 (1)	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実 (3) 1位	#N/A #N/A
	4 子育て支援サービスの内容 (1) 3位	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (3) 1位	
	12 子どもの遊び場(公園など)の充実 (1) 3位		

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜会社役員・団体役員＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		33.3	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	33.3	22.2	22.2	33.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

（件）

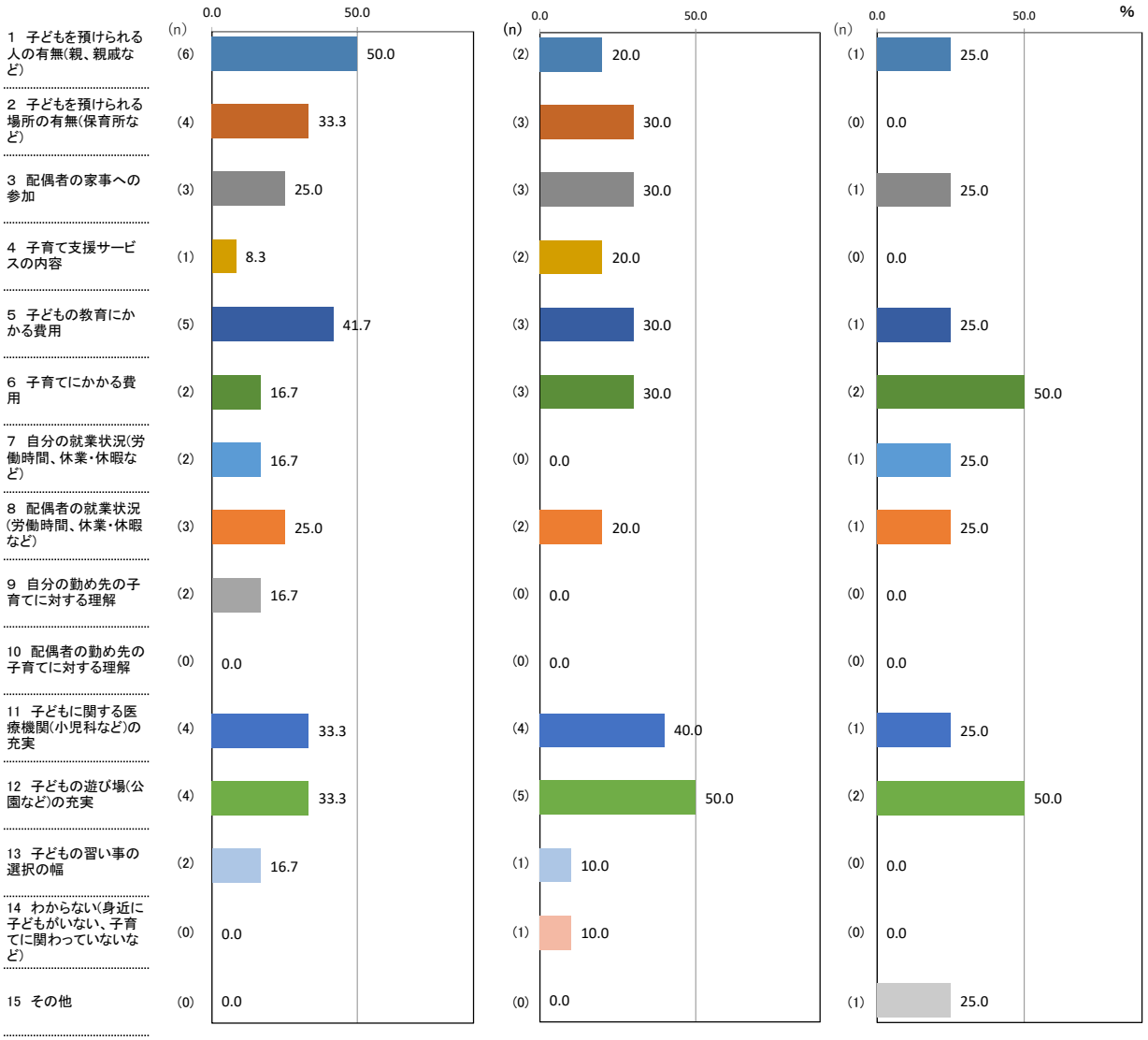
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝3人）	7	2	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝9人）	22	3	3	2	1	0	1	1	0	1	0	3	2	2	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝2人）	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子育て」<専業主婦・主夫>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (38) 12 人	②「どちらともいえない」の回答 (29) 10 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (11) 4 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (6)	12 子どもの遊び場(公園など)の充実 (5)	6 子育てにかかる費用 (2)
2	5 子どもの教育にかかる費用 (5)	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実 (4)	12 子どもの遊び場(公園など)の充実 (2) 1位
3	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (4)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (3)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (1)
	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実 (4) 3位	3 配偶者の家事への参加 (3) 3位	3 配偶者の家事への参加 (1) 3位
	12 子どもの遊び場(公園など)の充実 (4) 3位	5 子どもの教育にかかる費用 (3) 3位	5 子どもの教育にかかる費用 (1) 3位
		6 子育てにかかる費用 (3) 3位	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (1) 3位
			8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (1) 3位
			11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実 (1) 3位
			15 その他 (1) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

<>

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	33.3	25.0	8.3	41.7	16.7	16.7	25.0	16.7	0.0	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		20.0	30.0	30.0	20.0	30.0	30.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	50.0	10.0	10.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0

（件）

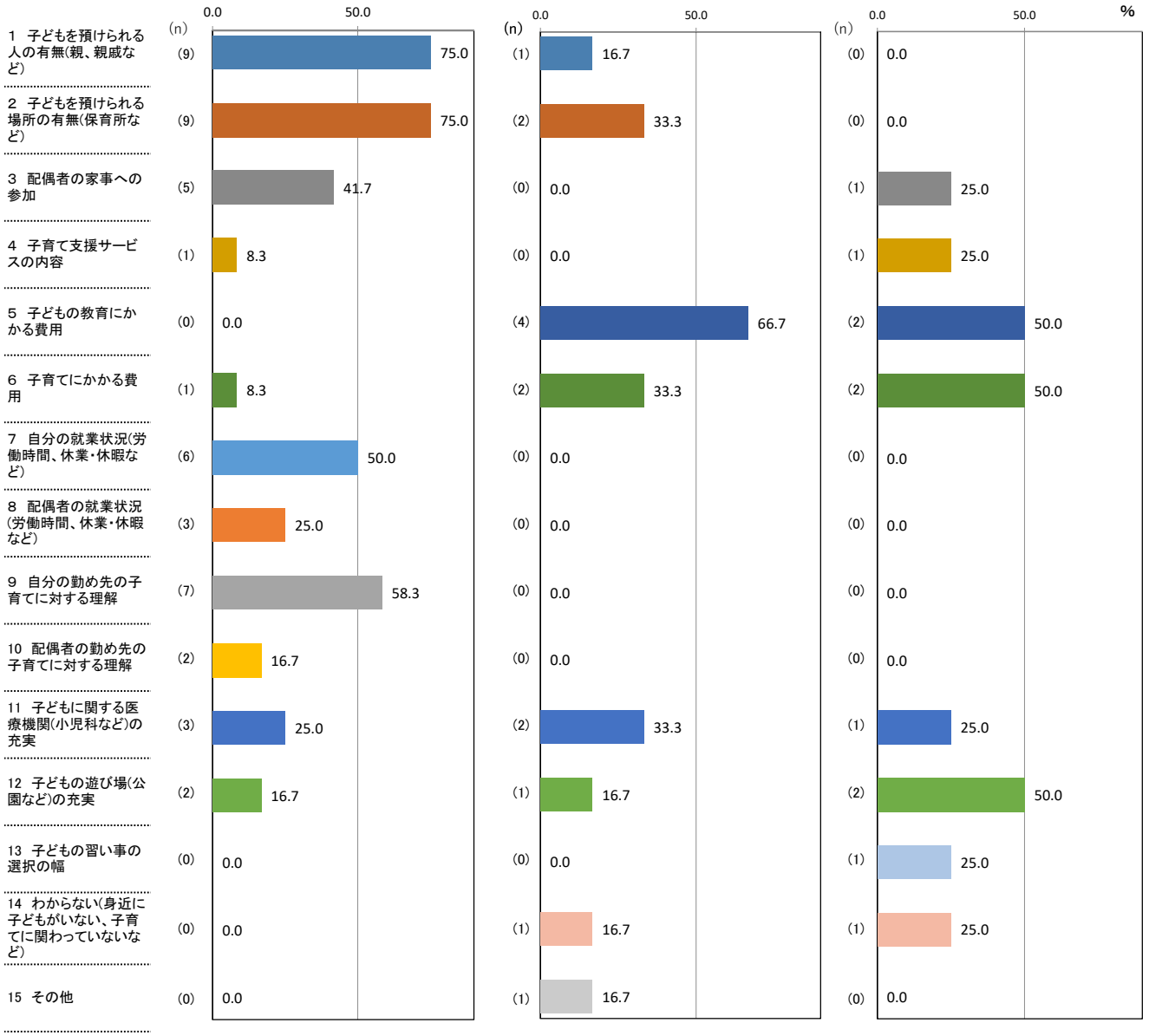
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝12人）	38	6	4	3	1	5	2	2	3	2	0	4	4	2	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝10人）	29	2	3	3	2	3	3	0	2	0	0	4	5	1	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝4人）	11	1	0	1	0	1	2	1	1	0	0	1	2	0	0	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子育て」<その他世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (48) 12 人	②「どちらともいえない」の回答 (14) 6 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (11) 4 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (9) 1位	5 子どもの教育にかかる費用 (4)	5 子どもの教育にかかる費用 (2)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (9)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (2) 2位	6 子育てにかかる費用 (2) 1位
3	9 自分の勤め先の子育てに対する理解 (7)	6 子育てにかかる費用 (2) 2位	12 子どもの遊び場(公園など)の充実 (2) 1位
4		11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実 (2)	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜その他世帯＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		75.0	75.0	41.7	8.3	0.0	8.3	50.0	25.0	58.3	16.7	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		16.7	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7
③「あまり感じない・感じない」		0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0

（件）

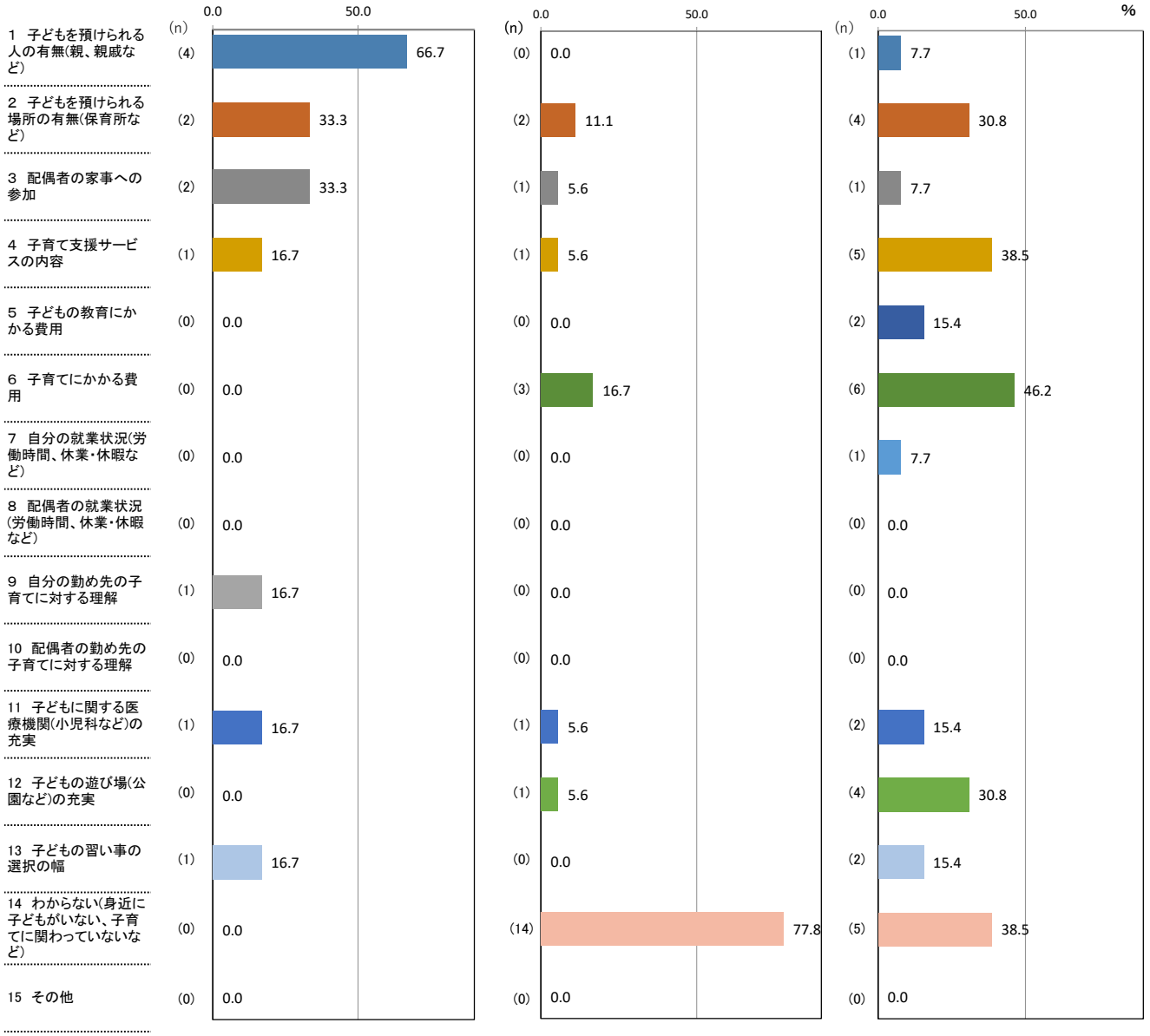
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝12人）	48	9	9	5	1	0	1	6	3	7	2	3	2	0	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝6人）	14	1	2	0	0	4	2	0	0	0	0	2	1	0	1	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝4人）	11	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	1	2	1	1	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子育て」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (12) 6 人	②「どちらともいえない」の回答 (23) 18 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (33) 13 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (4)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (14)	6 子育てにかかる費用 (6)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (2)	6 子育てにかかる費用 (3)	4 子育て支援サービスの内容 (5)
3	3 配偶者の家事への参加 (2) 2位	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (2)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (5) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもはいない＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		66.7	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		0.0	11.1	5.6	5.6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	77.8	0.0
③「あまり感じない・感じない」		7.7	30.8	7.7	38.5	15.4	46.2	7.7	0.0	0.0	0.0	15.4	30.8	15.4	38.5	0.0

（件）

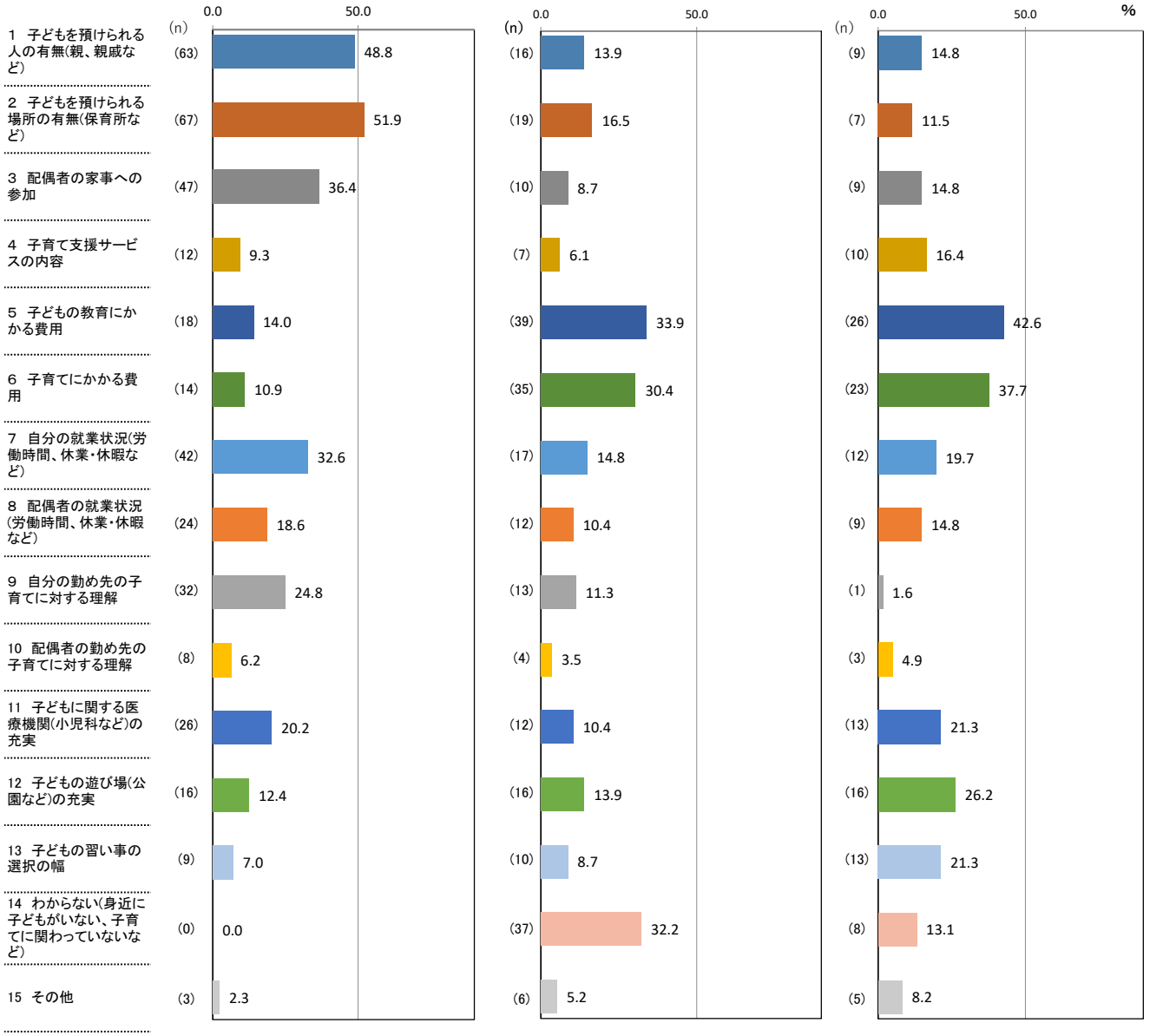
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝6人）	12	4	2	2	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝18人）	23	0	2	1	1	0	3	0	0	0	0	1	1	0	14	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝13人）	33	1	4	1	5	2	6	1	0	0	0	2	4	2	5	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子育て」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (381) 129 人	②「どちらともいえない」の回答 (253) 115 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (164) 61 人
1	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (67)	5 子どもの教育にかかる費用 (39)	5 子どもの教育にかかる費用 (26)
2	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (63)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) #N/A	6 子育てにかかる費用 (23)
3	3 配偶者の家事への参加 (47)	6 子育てにかかる費用 (35)	12 子どもの遊び場(公園など)の充実 (16)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		48.8	51.9	36.4	9.3	14.0	10.9	32.6	18.6	24.8	6.2	20.2	12.4	7.0	0.0	2.3
②「どちらともいえない」		13.9	16.5	8.7	6.1	33.9	30.4	14.8	10.4	11.3	3.5	10.4	13.9	8.7	32.2	5.2
③「あまり感じない・感じない」		14.8	11.5	14.8	16.4	42.6	37.7	19.7	14.8	1.6	4.9	21.3	26.2	21.3	13.1	8.2

（件）

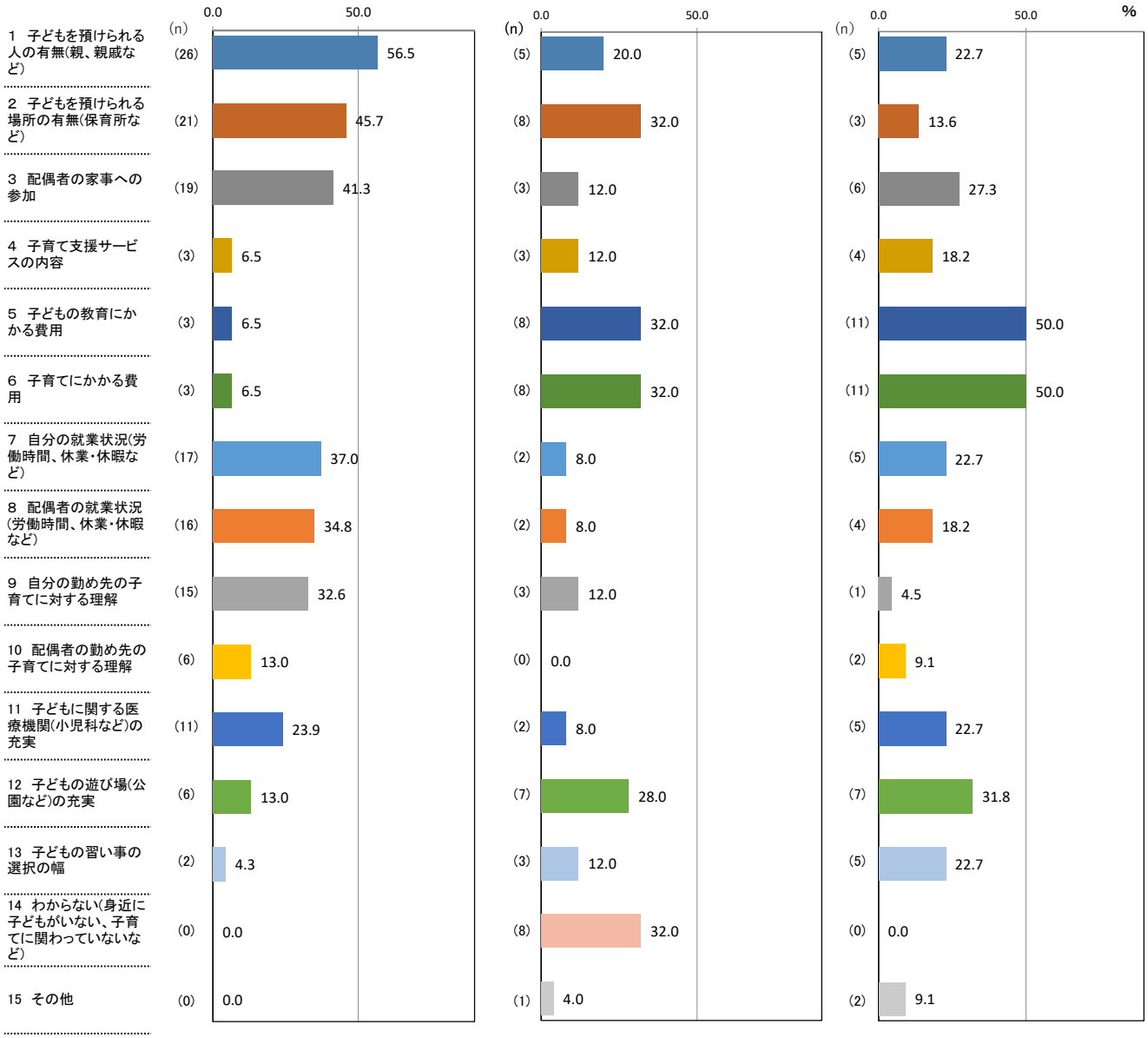
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝129人）	381	63	67	47	12	18	14	42	24	32	8	26	16	9	0	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝115人）	253	16	19	10	7	39	35	17	12	13	4	12	16	10	37	6
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝61人）	164	9	7	9	10	26	23	12	9	1	3	13	16	13	8	5

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子育て」＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (148) 46 人	②「どちらともいえない」の回答 (63) 25 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (71) 22 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (26)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (8)	5 子どもの教育にかかる費用 (11)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (21)	5 子どもの教育にかかる費用 (8) 1位	6 子育てにかかる費用 (11) 1位
3	3 配偶者の家事への参加 (19)	6 子育てにかかる費用 (8) 1位	12 子どもの遊び場(公園など)の充実 (7)
		14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (8) 1位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県南広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		56.5	45.7	41.3	6.5	6.5	6.5	37.0	34.8	32.6	13.0	23.9	13.0	4.3	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		20.0	32.0	12.0	12.0	32.0	32.0	8.0	8.0	12.0	0.0	8.0	28.0	12.0	32.0	4.0
③「あまり感じない・感じない」		22.7	13.6	27.3	18.2	50.0	50.0	22.7	18.2	4.5	9.1	22.7	31.8	22.7	0.0	9.1

（件）

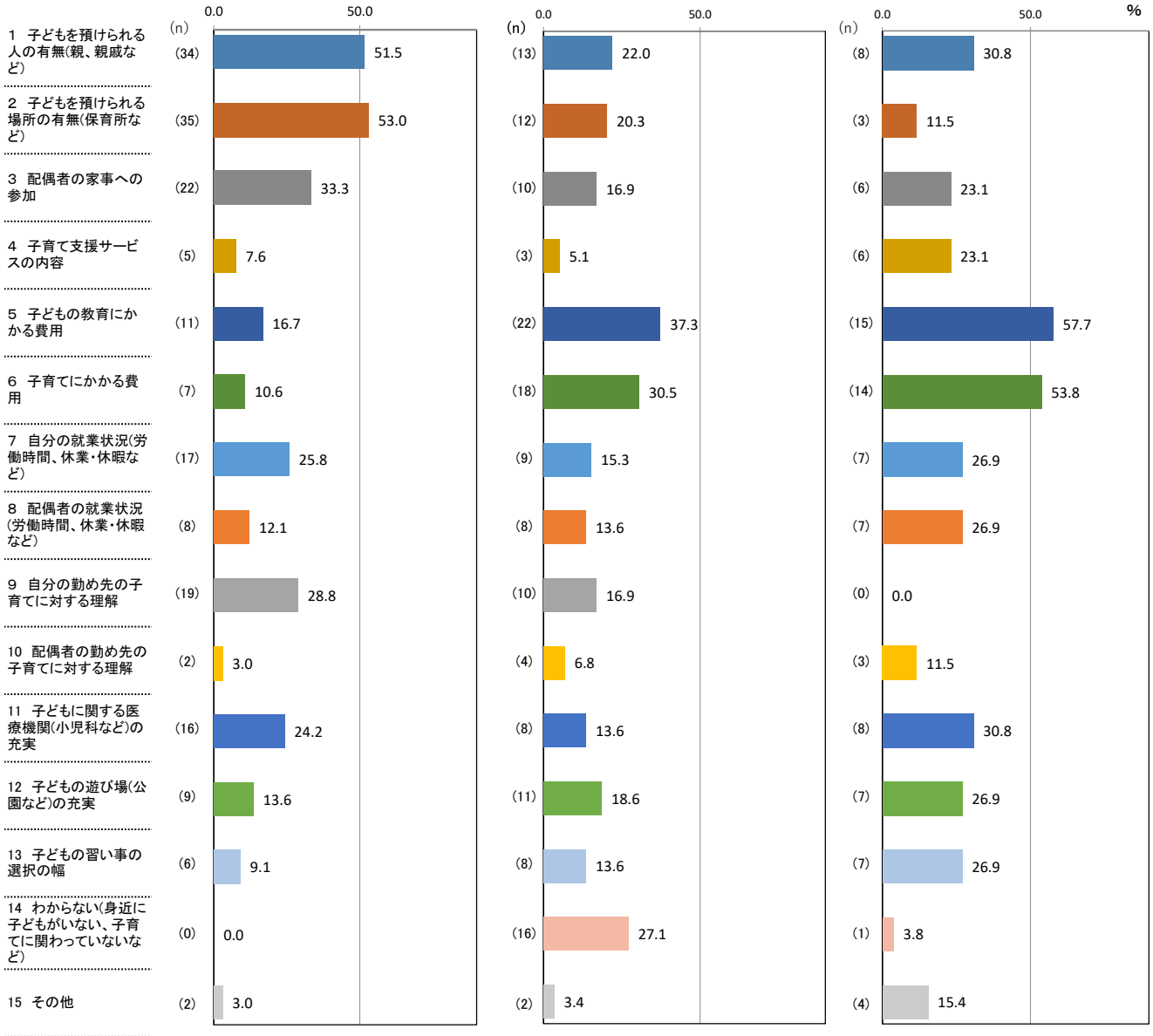
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝46人）	148	26	21	19	3	3	3	17	16	15	6	11	6	2	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝25人）	63	5	8	3	3	8	8	2	2	3	0	2	7	3	8	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝22人）	71	5	3	6	4	11	11	5	4	1	2	5	7	5	0	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「子育て」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (193) 66 人	②「どちらともいえない」の回答 (154) 59 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (96) 26 人
1	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (35)	5 子どもの教育にかかる費用 (22)	5 子どもの教育にかかる費用 (15)
2	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (34)	6 子育てにかかる費用 (18)	6 子育てにかかる費用 (14)
3	3 配偶者の家事への参加 (22)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) #N/A	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (8)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜女性＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		51.5	53.0	33.3	7.6	16.7	10.6	25.8	12.1	28.8	3.0	24.2	13.6	9.1	0.0	3.0
②「どちらともいえない」		22.0	20.3	16.9	5.1	37.3	30.5	15.3	13.6	16.9	6.8	13.6	18.6	13.6	27.1	3.4
③「あまり感じない・感じない」		30.8	11.5	23.1	23.1	57.7	53.8	26.9	26.9	0.0	11.5	30.8	26.9	26.9	3.8	15.4

（件）

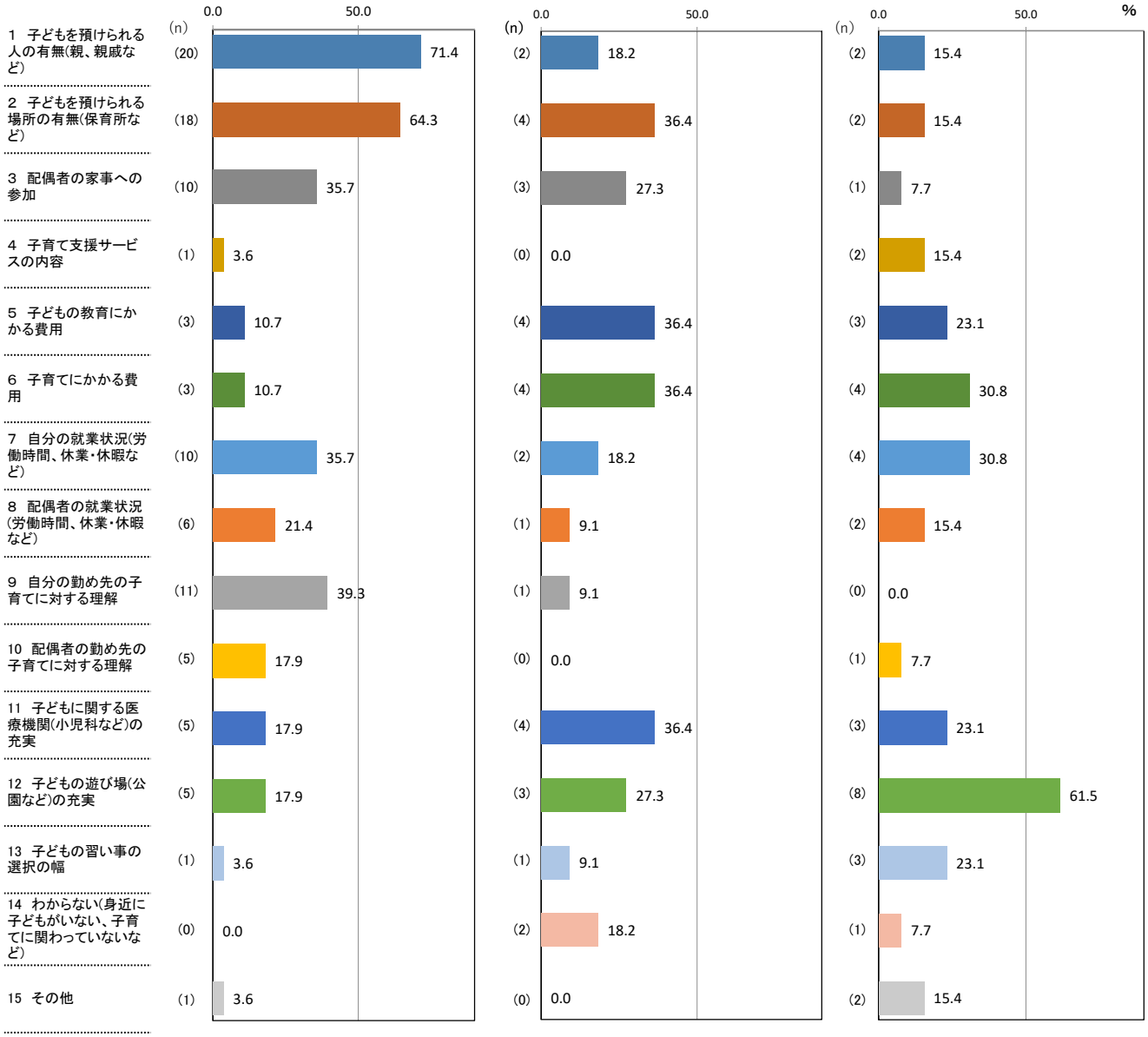
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝66人）	193	34	35	22	5	11	7	17	8	19	2	16	9	6	0	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝59人）	154	13	12	10	3	22	18	9	8	10	4	8	11	8	16	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝26人）	96	8	3	6	6	15	14	7	7	0	3	8	7	7	1	4

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「子育て」<30～39歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (99) 28 人	②「どちらともいえない」の回答 (31) 11 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (38) 13 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (20)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (4)	12 子どもの遊び場(公園など)の充実 (8)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (18)	#N/A #N/A	6 子育てにかかる費用 (4)
3	9 自分の勤め先の子育てに対する理解 (11)	#N/A #N/A	#N/A #N/A

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜30～39歳＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		71.4	64.3	35.7	3.6	10.7	10.7	35.7	21.4	39.3	17.9	17.9	17.9	3.6	0.0	3.6
②「どちらともいえない」		18.2	36.4	27.3	0.0	36.4	36.4	18.2	9.1	9.1	0.0	36.4	27.3	9.1	18.2	0.0
③「あまり感じない・感じない」		15.4	15.4	7.7	15.4	23.1	30.8	30.8	15.4	0.0	7.7	23.1	61.5	23.1	7.7	15.4

（件）

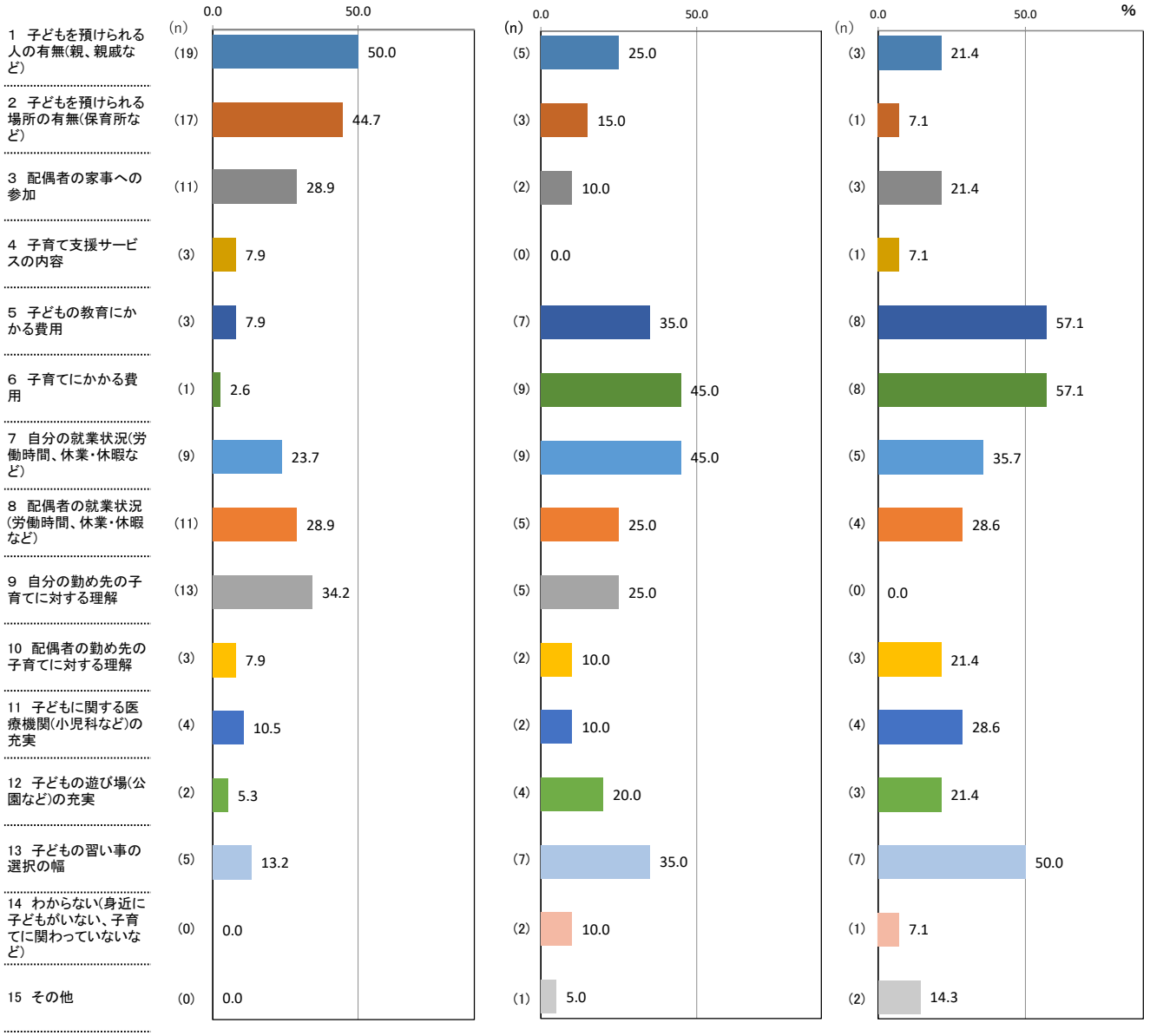
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝28人）	99	20	18	10	1	3	3	10	6	11	5	5	5	1	0	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝11人）	31	2	4	3	0	4	4	2	1	1	0	4	3	1	2	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝13人）	38	2	2	1	2	3	4	4	2	0	1	3	8	3	1	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「子育て」<40～49歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (101) 38 人	②「どちらともいえない」の回答 (63) 20 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (53) 14 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (19)	6 子育てにかかる費用 (9)	5 子どもの教育にかかる費用 (8)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (17)	#N/A #N/A	#N/A #N/A
3	9 自分の勤め先の子育てに対する理解 (13)	5 子どもの教育にかかる費用 (7)	13 子どもの習い事の選択の幅 (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜40～49歳＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	44.7	28.9	7.9	7.9	2.6	23.7	28.9	34.2	7.9	10.5	5.3	13.2	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		25.0	15.0	10.0	0.0	35.0	45.0	45.0	25.0	25.0	10.0	10.0	20.0	35.0	10.0	5.0
③「あまり感じない・感じない」		21.4	7.1	21.4	7.1	57.1	57.1	35.7	28.6	0.0	21.4	28.6	21.4	50.0	7.1	14.3

（件）

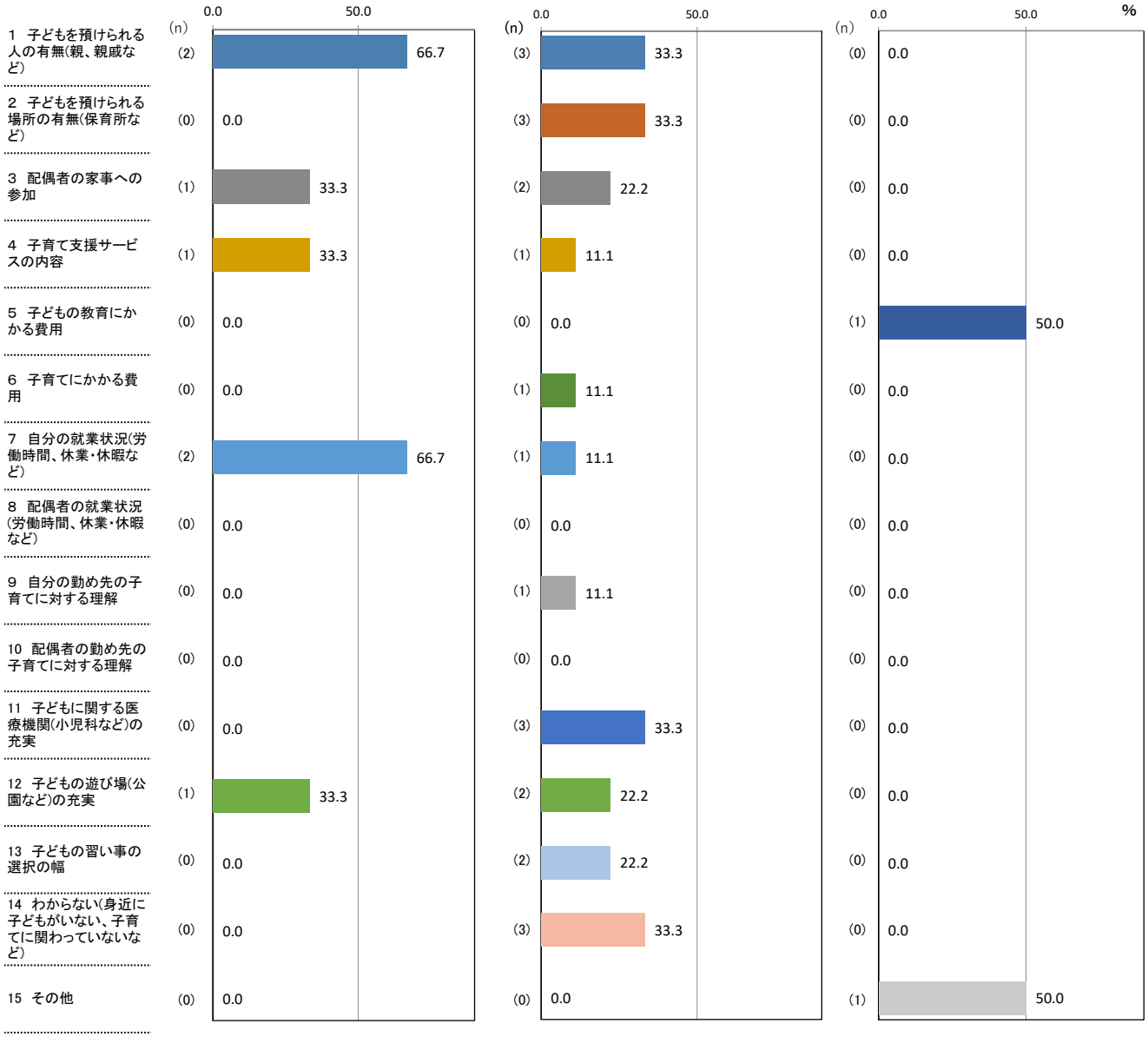
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝38人）	101	19	17	11	3	3	1	9	11	13	3	4	2	5	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝20人）	63	5	3	2	0	7	9	9	5	5	2	2	4	7	2	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝14人）	53	3	1	3	1	8	8	5	4	0	3	4	3	7	1	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「子育て」<会社役員・団体役員>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (7) 3 人	②「どちらともいえない」の回答 (22) 9 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (2) 2 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (2)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (3)	5 子どもの教育にかかる費用 (1)
2	#N/A #N/A	#N/A #N/A	#N/A #N/A
3	3 配偶者の家事への参加 (1)	#N/A #N/A	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (0)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜会社役員・団体役員＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		33.3	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	33.3	22.2	22.2	33.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

（件）

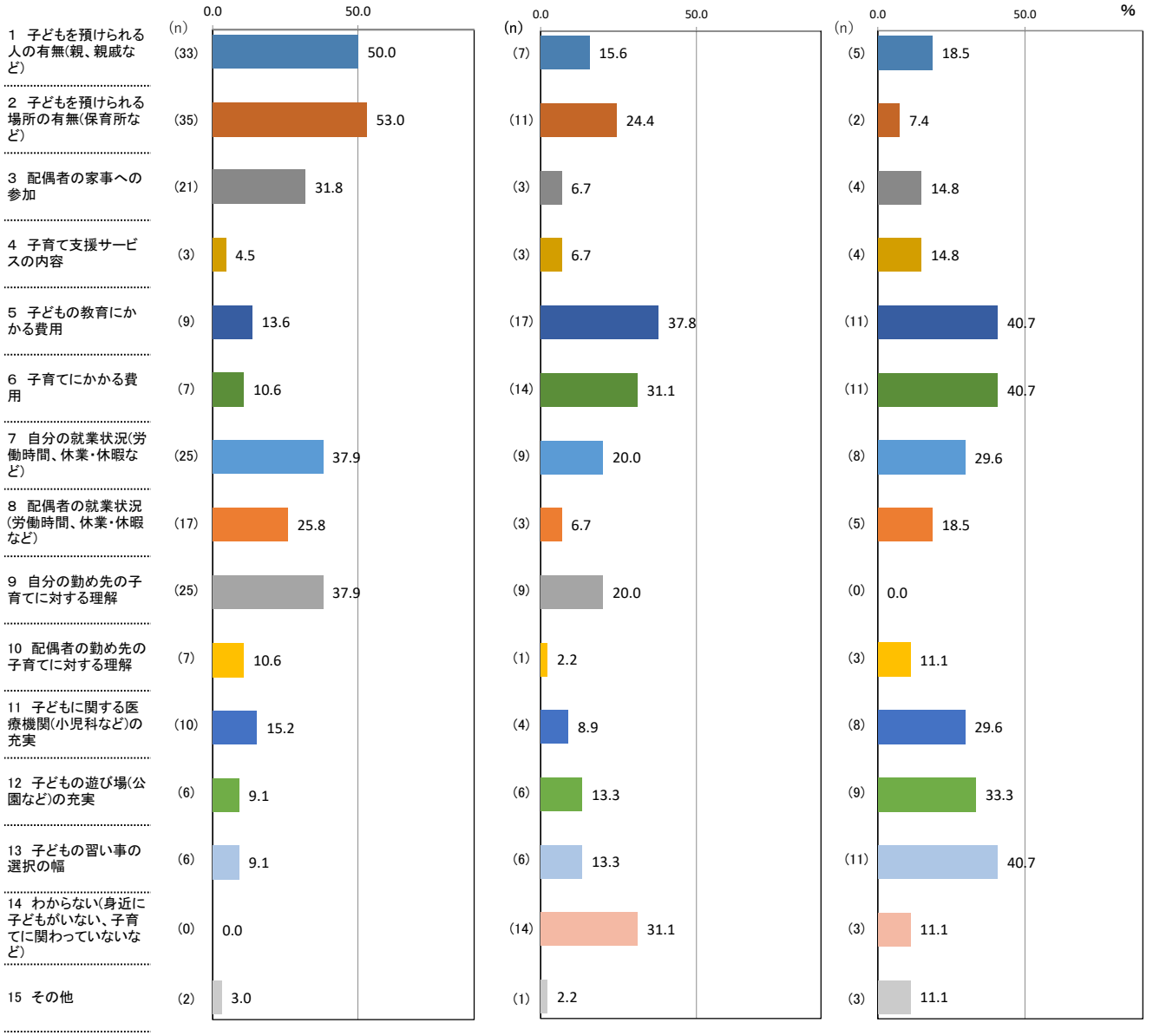
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝3人）	7	2	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝9人）	22	3	3	2	1	0	1	1	0	1	0	3	2	2	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝2人）	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「子育て」<常用雇用者>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (206) 66 人	②「どちらともいえない」の回答 (108) 45 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (87) 27 人
1	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (35)	5 子どもの教育にかかる費用 (17)	5 子どもの教育にかかる費用 (11)
2	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (33)	6 子育てにかかる費用 (14)	#N/A #N/A
3	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (25)	#N/A #N/A	#N/A #N/A

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜常用雇用者＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	53.0	31.8	4.5	13.6	10.6	37.9	25.8	37.9	10.6	15.2	9.1	9.1	0.0	3.0
②「どちらともいえない」		15.6	24.4	6.7	6.7	37.8	31.1	20.0	6.7	20.0	2.2	8.9	13.3	13.3	31.1	2.2
③「あまり感じない・感じない」		18.5	7.4	14.8	14.8	40.7	40.7	29.6	18.5	0.0	11.1	29.6	33.3	40.7	11.1	11.1

（件）

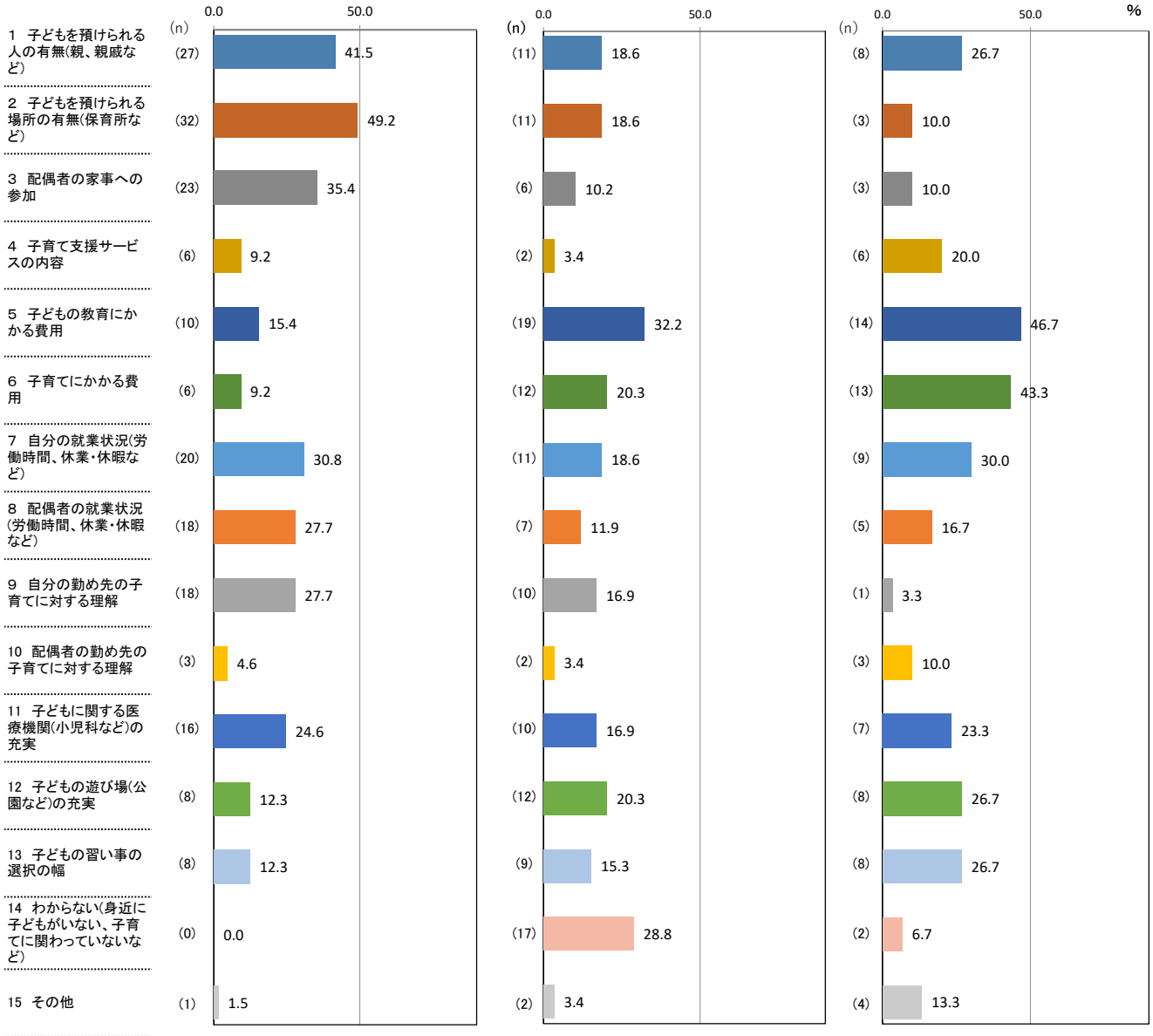
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝66人）	206	33	35	21	3	9	7	25	17	25	7	10	6	6	0	2
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝45人）	108	7	11	3	3	17	14	9	3	9	1	4	6	6	14	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝27人）	87	5	2	4	4	11	11	8	5	0	3	8	9	11	3	3

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「子育て」＜2世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (196) 65 人	②「どちらともいえない」の回答 (141) 59 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (94) 30 人
1	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (32)	5 子どもの教育にかかる費用 (19)	5 子どもの教育にかかる費用 (14)
2	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (27)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) #N/A	6 子育てにかかる費用 (13)
3	3 配偶者の家事への参加 (23)	6 子育てにかかる費用 (12)	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (9)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜2世代世帯＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		41.5	49.2	35.4	9.2	15.4	9.2	30.8	27.7	27.7	4.6	24.6	12.3	12.3	0.0	1.5
②「どちらともいえない」		18.6	18.6	10.2	3.4	32.2	20.3	18.6	11.9	16.9	3.4	16.9	20.3	15.3	28.8	3.4
③「あまり感じない・感じない」		26.7	10.0	10.0	20.0	46.7	43.3	30.0	16.7	3.3	10.0	23.3	26.7	26.7	6.7	13.3

（件）

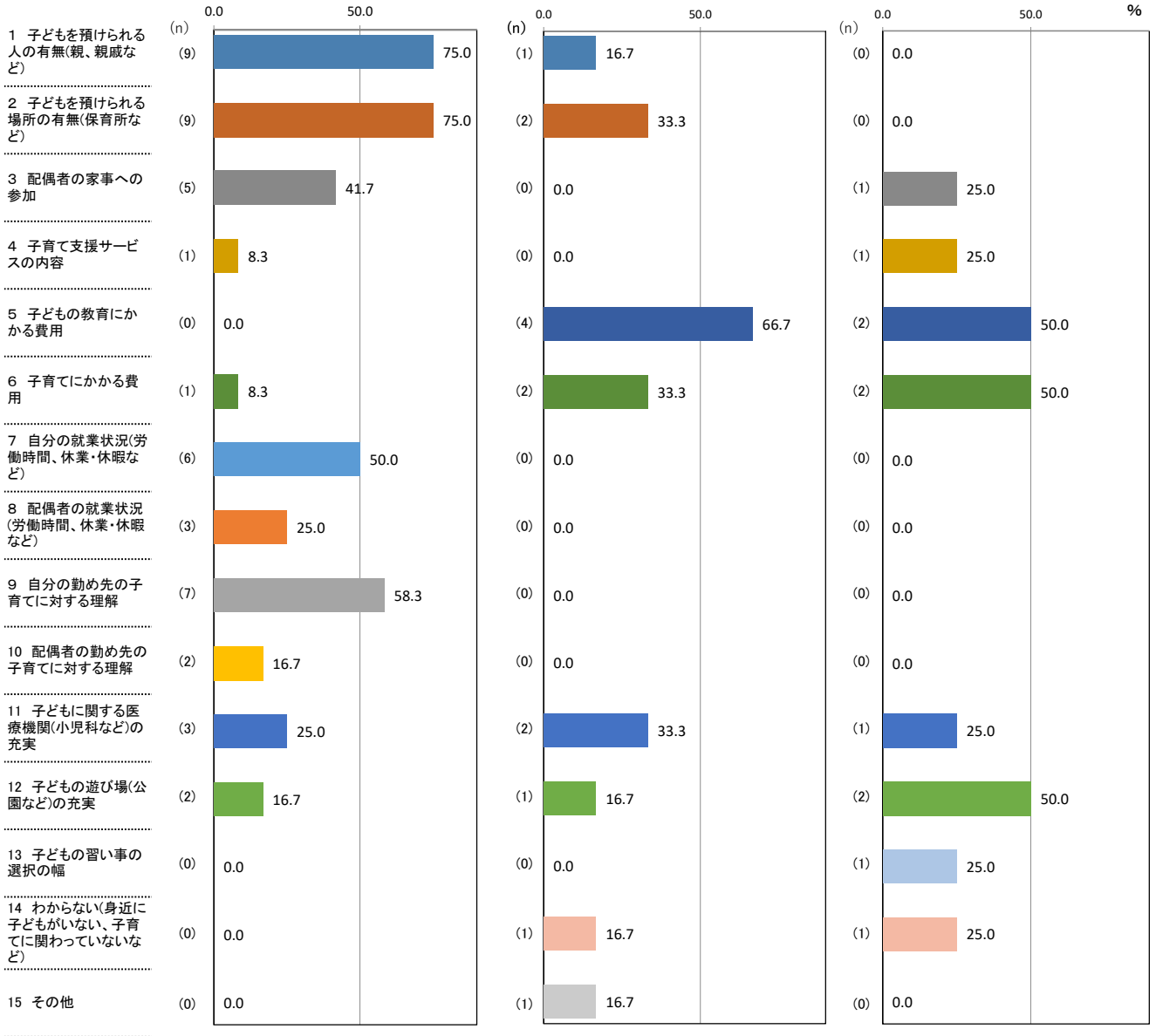
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝65人）	196	27	32	23	6	10	6	20	18	18	3	16	8	8	0	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝59人）	141	11	11	6	2	19	12	11	7	10	2	10	12	9	17	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝30人）	94	8	3	3	6	14	13	9	5	1	3	7	8	8	2	4

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「子育て」<その他世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (48) 12 人	②「どちらともいえない」の回答 (14) 6 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (11) 4 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (9)	5 子どもの教育にかかる費用 (4)	5 子どもの教育にかかる費用 (2)
2	#N/A #N/A	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (2)	#N/A #N/A
3	9 自分の勤め先の子育てに対する理解 (7)	#N/A #N/A	#N/A #N/A

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜その他世帯＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		75.0	75.0	41.7	8.3	0.0	8.3	50.0	25.0	58.3	16.7	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		16.7	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7
③「あまり感じない・感じない」		0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0

（件）

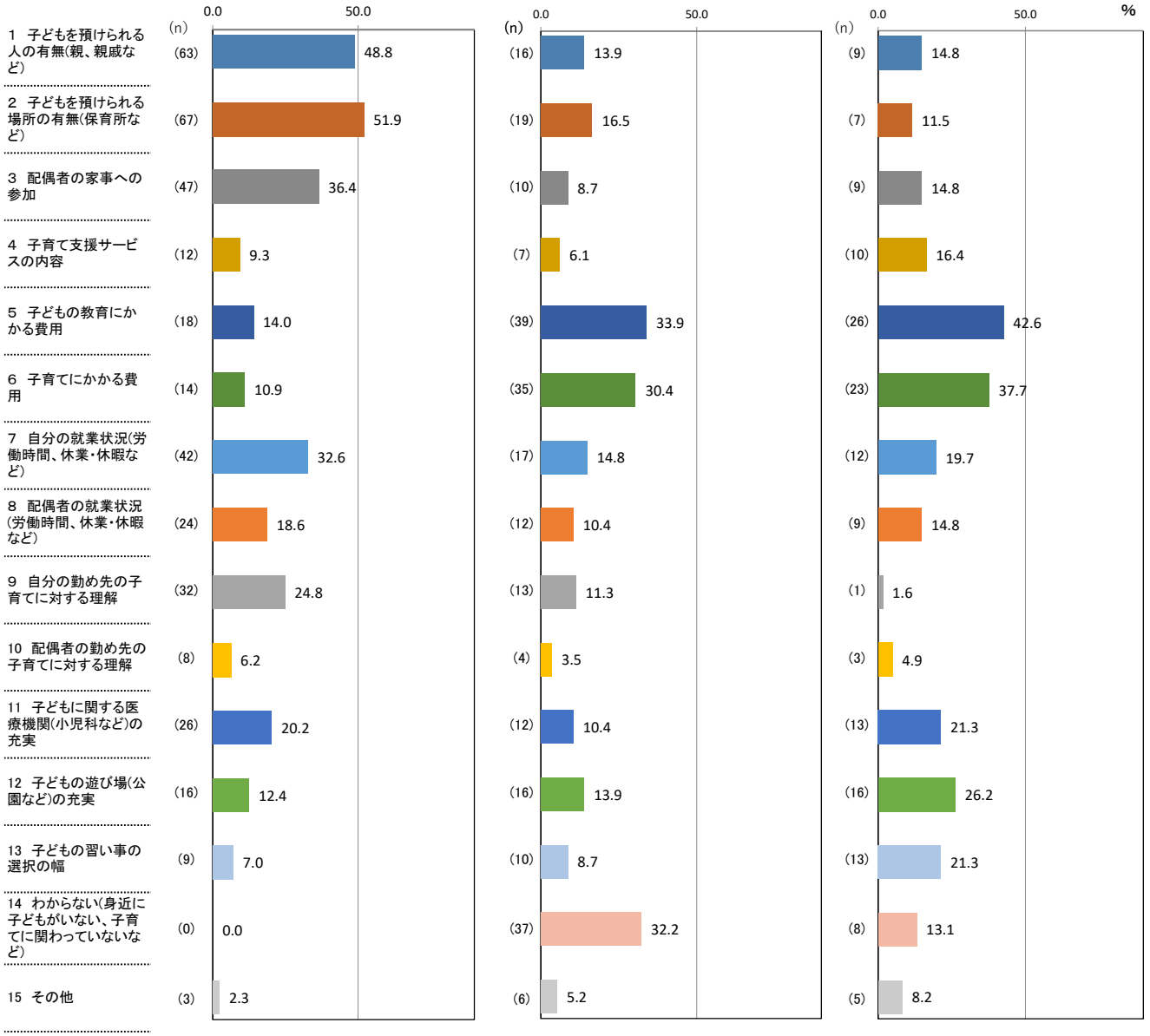
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝12人）	48	9	9	5	1	0	1	6	3	7	2	3	2	0	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝6人）	14	1	2	0	0	4	2	0	0	0	0	2	1	0	1	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝4人）	11	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	1	2	1	1	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「子育て」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (381) 129 人	②「どちらともいえない」の回答 (253) 115 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (164) 61 人
1	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (67)	5 子どもの教育にかかる費用 (39)	5 子どもの教育にかかる費用 (26)
2	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (63)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) #N/A	6 子育てにかかる費用 (23)
3	3 配偶者の家事への参加 (47)	6 子育てにかかる費用 (35)	12 子どもの遊び場(公園など)の充実 (16)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		48.8	51.9	36.4	9.3	14.0	10.9	32.6	18.6	24.8	6.2	20.2	12.4	7.0	0.0	2.3
②「どちらともいえない」		13.9	16.5	8.7	6.1	33.9	30.4	14.8	10.4	11.3	3.5	10.4	13.9	8.7	32.2	5.2
③「あまり感じない・感じない」		14.8	11.5	14.8	16.4	42.6	37.7	19.7	14.8	1.6	4.9	21.3	26.2	21.3	13.1	8.2

（件）

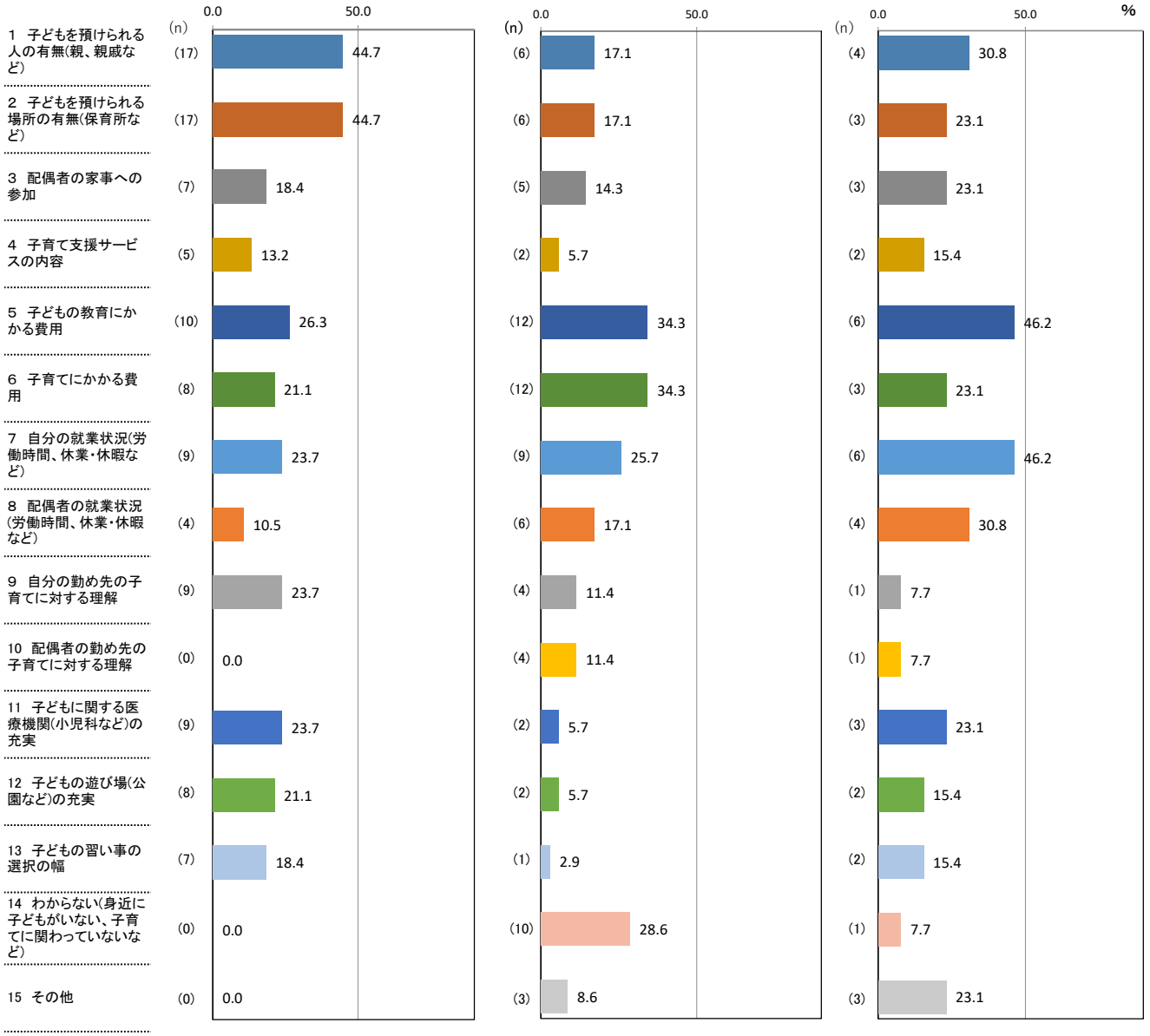
区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝129人）	381	63	67	47	12	18	14	42	24	32	8	26	16	9	0	3
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝115人）	253	16	19	10	7	39	35	17	12	13	4	12	16	10	37	6
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝61人）	164	9	7	9	10	26	23	12	9	1	3	13	16	13	8	5

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「子育て」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (110) 38 人	②「どちらともいえない」の回答 (84) 35 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (44) 13 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (17)	5 子どもの教育にかかる費用 (12)	5 子どもの教育にかかる費用 (6)
2	#N/A #N/A	#N/A #N/A	#N/A #N/A
3	5 子どもの教育にかかる費用 (10)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) #N/A	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (4)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」についての回答理由（問1-1（4）「①あなたは子育てがしやすいと感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県央広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」		44.7	44.7	18.4	13.2	26.3	21.1	23.7	10.5	23.7	0.0	23.7	21.1	18.4	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		17.1	17.1	14.3	5.7	34.3	34.3	25.7	17.1	11.4	11.4	5.7	5.7	2.9	28.6	8.6
③「あまり感じない・感じない」		30.8	23.1	23.1	15.4	46.2	23.1	46.2	30.8	7.7	7.7	23.1	15.4	15.4	7.7	23.1

（件）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝38人）	110	17	17	7	5	10	8	9	4	9	0	9	8	7	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝35人）	84	6	6	5	2	12	12	9	6	4	4	2	2	1	10	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝13人）	44	4	3	3	2	6	3	6	4	1	1	3	2	2	1	3

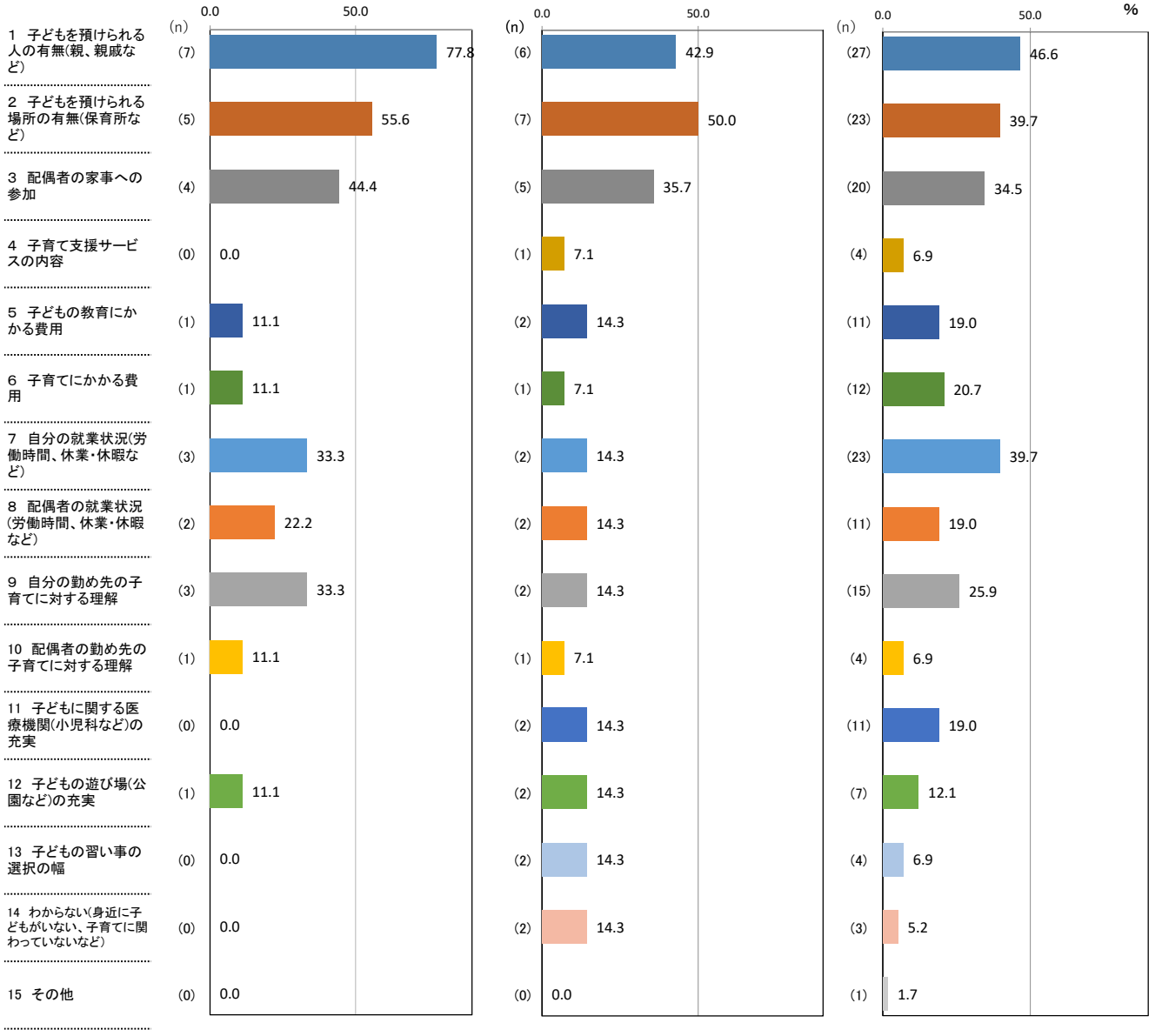
【補足調査】(実感変動とコロナ実感)

分野別実感の回答理由「子育て」(実感上昇)

上位3項目	①「よい影響を感じる」の回答 (28) 9 人	②「どちらともいえない」の回答 (37) 14 人	③「よくない影響を感じる」の回答 (176) 58 人
1	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (7)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (7)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (27)
2	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (5)	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など) (6)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など) (23)
3	3 配偶者の家事への参加 (4)	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (2)	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など) (23)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（4）「子育て」において実感が上昇している人の新型コロナウイルス感染症の影響に係る回答理由

（%）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「よい影響を感じる」		77.8	55.6	44.4	0.0	11.1	11.1	33.3	22.2	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		42.9	50.0	35.7	7.1	14.3	7.1	14.3	14.3	14.3	7.1	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0
③「よくない影響を感じる」		46.6	39.7	34.5	6.9	19.0	20.7	39.7	19.0	25.9	6.9	19.0	12.1	6.9	5.2	1.7

（件）

区分	計	1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	3 配偶者の家事への参加	4 子育て支援サービスの内容	5 子どもの教育にかかる費用	6 子育てにかかる費用	7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	9 自分の勤め先の子育てに対する理解	10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解	11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	12 子どもの遊び場(公園など)の充実	13 子どもの習い事の選択の幅	14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	15 その他
①「よい影響を感じる」の人（サンプル数＝9人）	28	7	5	4	0	1	1	3	2	3	1	0	1	0	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝14人）	37	6	7	5	1	2	1	2	2	2	1	2	2	2	2	0
③「よくない影響を感じる」の人（サンプル数＝58人）	176	27	23	20	4	11	12	23	11	15	4	11	7	4	3	1

7　「子どもの教育」の実感

①　分野別実感の概況

ア　分野別実感に係る令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

実感平均値は 3.20 点であり、基準年調査より 0.10 点上昇しています。

ｔ検定を行った結果、基準年調査に比べて有意に上昇していることから、**当該分野の実感は上昇**していると考えられます。

イ　属性別の状況

○　令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

基準年調査と比較して有意に変化した属性は表 13 のとおりでした。

表 13　「子どもの教育」の実感において有意な変化があった属性と基準年差

属性		H31	R３	R3-H31
県計		3.10	3.20	0.10
性別	男性	3.08	3.17	0.09
	女性	3.12	3.23	0.10
年代	30～39 歳	2.98	3.28	0.31
	60～69 歳	2.95	3.14	0.19
職業	会社役員・団体役員	2.97	3.26	0.29
	常用雇用者	3.03	3.16	0.13
	専業主婦・主夫	3.17	3.36	0.19
世帯構成	２世代世帯	3.10	3.19	0.09
	その他	3.05	3.37	0.32
子の数	１人	3.09	3.24	0.15
	２人	3.14	3.29	0.14
	子どもはいない	2.84	2.98	0.14
居住年数	10 年未満	2.78	3.16	0.38
	20 年以上	3.10	3.20	0.09
広域振興圏	県央広域振興圏	3.14	3.28	0.13

ウ　新型コロナウイルス感染症の影響

当該分野別実感に係る新型コロナウイルス感染症の影響に対する県民の認識を令和３年県民意識調査において把握したところ、良い影響を感じた割合は４％、良くない影響を感じた割合は 45%となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響を検討する上で、影響を受ける前の令和２年調査と影響後の令和３年調査の実感を比較すると表 14 のとおりでした。

表 14　「子どもの教育」の実感において有意な変化があった属性と前年差

属性		R２	R３	R3-R2
県計		3.09	3.20	0.11
性別	男性	3.07	3.17	0.10
	女性	3.11	3.23	0.12
年代	30～39 歳	2.96	3.28	0.33
	40～49 歳	3.05	3.26	0.22
職業	常用雇用者	2.98	3.16	0.18

	学生＋その他	2.99	3.27	0.28
	専業主婦・主夫	3.17	3.36	0.19
世帯構成	２世代世帯	3.07	3.19	0.13
	３世代世帯	3.15	3.31	0.16
	その他世帯	3.00	3.37	0.37
子の数	２人	3.16	3.29	0.12
	子どもはいない	2.80	2.98	0.18
居住年数	20 年以上	3.09	3.20	0.11
広域振興圏	県央広域振興圏	3.10	3.28	0.17
	沿岸広域振興圏	3.05	3.17	0.12

② 分野別実感が上昇した要因

・ 県民意識調査の結果、実感が有意に上昇した属性は、表 13 及び表 14 のとおり幅広く存在しており、特徴的な属性は確認できませんでした。

・ 補足調査で把握している「分野別実感の回答理由」については、実感が上昇した人の回答理由は以下のとおりでした。

（ア） 学力を育む教育内容

（イ） 人間性、社会性を育むための教育内容

（ウ） 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)

・ 以上を踏まえ、当該分野の実感が上昇した要因は、「学力を育む教育内容」、「人間性、社会性を育むための教育内容」、「健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)」であると推測されます。

・ なお、**新型コロナウイルス感染症の影響について、良くない影響を感じた人であって、前年調査に比べて実感が低下した人の主な回答理由は**以下のとおりであり、**「分野別実感の回答理由」と概ね同じ理由**でした。

（ア） 人間性、社会性を育むための教育内容

（イ） 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)

（ウ） 学力を育む教育内容

（エ） 不登校やいじめなどへの対応

（オ） 学校の選択の幅（高校、大学など）

(1)県民意識調査の属性別平均点について

⑤子どものためになる教育が行われていると感じますか　　参考

		H31（基準年）	R２	R3	R3−H31（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−H31（寄与度）	R3−R2（対前年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−R2（寄与度）
県計(3,549)		3.10	3.09	3.20	0.10	0.001	**	0.10	0.11	0.00	**	0.11
性別	男性(1,561)	3.08	3.07	3.17	0.09	0.03	**	0.04	0.10	0.02	**	0.04
	女性(1,949)	3.12	3.11	3.23	0.10	0.01	**	0.06	0.12	0.00	**	0.06
	その他(参考)(6)		2.80	4.00					1.20	0.30		
年代	18～19歳(参考)(53)	3.38	3.38	3.71	0.33	0.24		0.00	0.33	0.20		0.00
	20～29歳(200)	2.92	2.96	3.06	0.13	0.31		0.01	0.09	0.50		0.01
	30～39歳(320)	2.98	2.96	3.28	0.31	0.00	**	0.03	0.33	0.00	**	0.03
	40～49歳(499)	3.14	3.05	3.26	0.12	0.09		0.02	0.22	0.00	**	0.03
	50～59歳(604)	3.05	2.96	3.02	▲ 0.04	0.57		▲ 0.01	0.06	0.38		0.01
	60～69歳(766)	2.95	3.04	3.14	0.19	0.00	**	0.04	0.10	0.07		0.02
	70歳以上(1,009)	3.33	3.31	3.35	0.02	0.74		0.01	0.04	0.52		0.01
職業	自営業主(282)	3.14	3.22	3.25	0.11	0.28		0.01	0.04	0.72		0.00
	家族従業者(119)	3.19	3.33	3.27	0.08	0.60		0.00	▲ 0.06	0.64		▲ 0.00
	会社役員・団体役員(240)	2.97	3.05	3.26	0.29	0.01	**	0.02	0.20	0.07		0.01
	常用雇用者(1,025)	3.03	2.98	3.16	0.13	0.01	**	0.04	0.18	0.00	**	0.05
	臨時雇用者(440)	3.09	3.07	3.08	▲ 0.02	0.82		▲ 0.00	0.00	0.95		0.00
	学生＋その他(119)	3.21	2.99	3.27	0.06	0.69		0.00	0.28	0.05	**	0.01
	専業主婦・主夫(403)	3.17	3.17	3.36	0.19	0.03	**	0.02	0.19	0.03	**	0.02
	60歳未満の無職(参考)(77)	2.76	2.48	3.06	0.29	0.27		0.01	0.57	0.01	**	0.01
	60歳以上の無職(697)	3.17	3.18	3.20	0.03	0.69		0.01	0.02	0.78		0.00
世帯構成	ひとり暮らし(431)	2.93	2.95	3.01	0.08	0.43		0.01	0.06	0.51		0.01
	夫婦のみ(718)	3.11	3.16	3.20	0.09	0.19		0.02	0.03	0.59		0.01
	2世代世帯(1,437)	3.10	3.07	3.19	0.09	0.04	**	0.04	0.13	0.00	**	0.05
	3世代世帯(548)	3.20	3.15	3.31	0.11	0.12		0.02	0.16	0.02	**	0.02
	その他(184)	3.05	3.00	3.37	0.32	0.00	**	0.02	0.37	0.00	**	0.02
子の数	1人(450)	3.09	3.13	3.24	0.15	0.05	**	0.02	0.11	0.16		0.01
	2人(1,270)	3.14	3.16	3.29	0.14	0.00	**	0.05	0.12	0.01	**	0.04
	3人(682)	3.23	3.13	3.23	0.00	0.99		0.00	0.10	0.10		0.02
	4人以上(159)	3.09	3.14	3.14	0.05	0.68		0.00	▲ 0.00	0.99		▲ 0.00
	子どもはいない(802)	2.84	2.80	2.98	0.14	0.04	**	0.03	0.18	0.01	**	0.04
居住年数	10年未満(100)	2.78	2.95	3.16	0.38	0.02	**	0.01	0.21	0.26		0.01
	10～20年未満(145)	3.21	3.11	3.32	0.11	0.49		0.00	0.21	0.20		0.01
	20年以上(3,174)	3.10	3.09	3.20	0.09	0.00	**	0.08	0.11	0.00	**	0.10
広域振興圏	県央(1,011)	3.14	3.10	3.28	0.13	0.01	**	0.04	0.17	0.00	**	0.05
	県南(1,080)	3.06	3.10	3.16	0.10	0.05		0.03	0.06	0.28		0.02
	沿岸(833)	3.14	3.05	3.17	0.04	0.55		0.01	0.12	0.04	**	0.03
	県北(625)	3.07	3.12	3.19	0.12	0.08		0.02	0.07	0.33		0.01

（　）は、R３調査のサンプル数

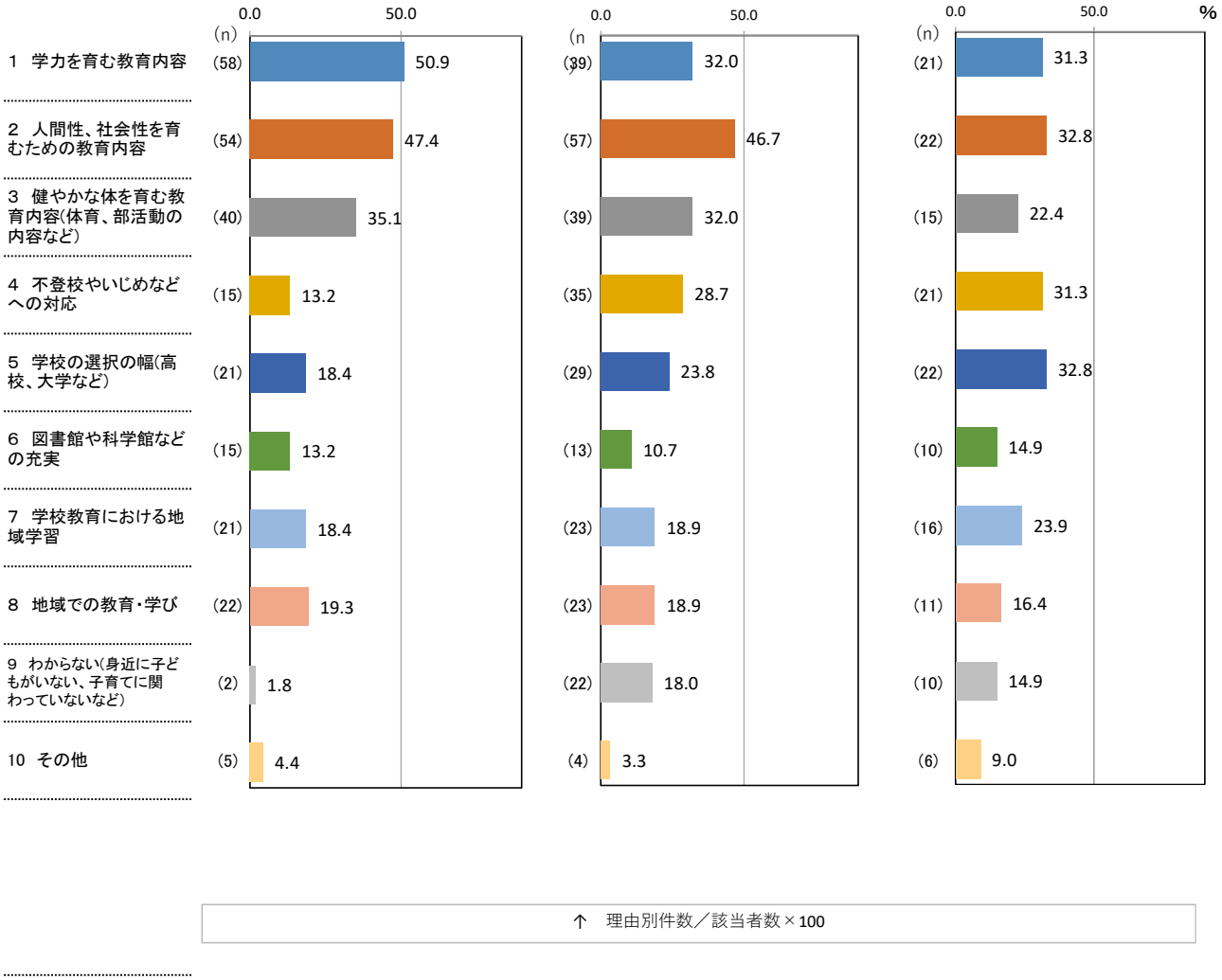
(2)分野別実感の回答理由(実感変化別)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」(H31-R3)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (253) 114 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (284) 122 人	③ 実感が低下した人 の回答 (154) 67 人
1	1 学力を育む教育内容 (58)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (57)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (22)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (54)	1 学力を育む教育内容 (39)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (22) 1位
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (40)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (39)	1 学力を育む教育内容 (21)
			4 不登校やいじめなどへの対応 (21) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（5） 子どもの教育についての回答理由（問1-1（5）①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 実感が上昇した人		50.9	47.4	35.1	13.2	18.4	13.2	18.4	19.3	1.8	4.4
② 実感が横ばいの人		32.0	46.7	32.0	28.7	23.8	10.7	18.9	18.9	18.0	3.3
③ 実感が低下した人		31.3	32.8	22.4	31.3	32.8	14.9	23.9	16.4	14.9	9.0

（件）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝114人）	253	58	54	40	15	21	15	21	22	2	5
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝122人）	284	39	57	39	35	29	13	23	23	22	4
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝67人）	154	21	22	15	21	22	10	16	11	10	6

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（5名中5名記載）
・様々な問題を抱える子供たちが多いのに対して学校スタッフが少なすぎる。
・孫がいる
・もう少し教育できる場所があってほしい
・学業に意欲的な子供が少ないため切磋琢磨できない
・たまには親に意見する

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（4名中4名記載）
・個性の尊重、人権への配慮の不足
・コロナ禍でなかなか今までと同じようにできていないから
・息子夫婦仕事のため孫と関わっている。間接的。
・先生が熱心に取り組んでいるので

③実感が低下した人の「その他」コメント（6名中5名記載）
・長男が中学生（盛岡市内）だが校内+（県内）の雰囲気が部活で結果を出すことに執着しすぎていると感じます。スポーツに重視をしている事も重要だとは思いますが、結果として学力は全国の下位を数年間低迷してることに対し速やかに処置、対策を行う必要があると思います。（私は県外出身者であり客観的意見）
・過剰な知識偏重の教育のあり方が子供の成長を狂わせている
・大人がコミュニケーション能力が低下している
・宿題が多すぎる。一律的で学習の仕方が効率的でない
・学校の環境の地域差(教員のレベル含む)

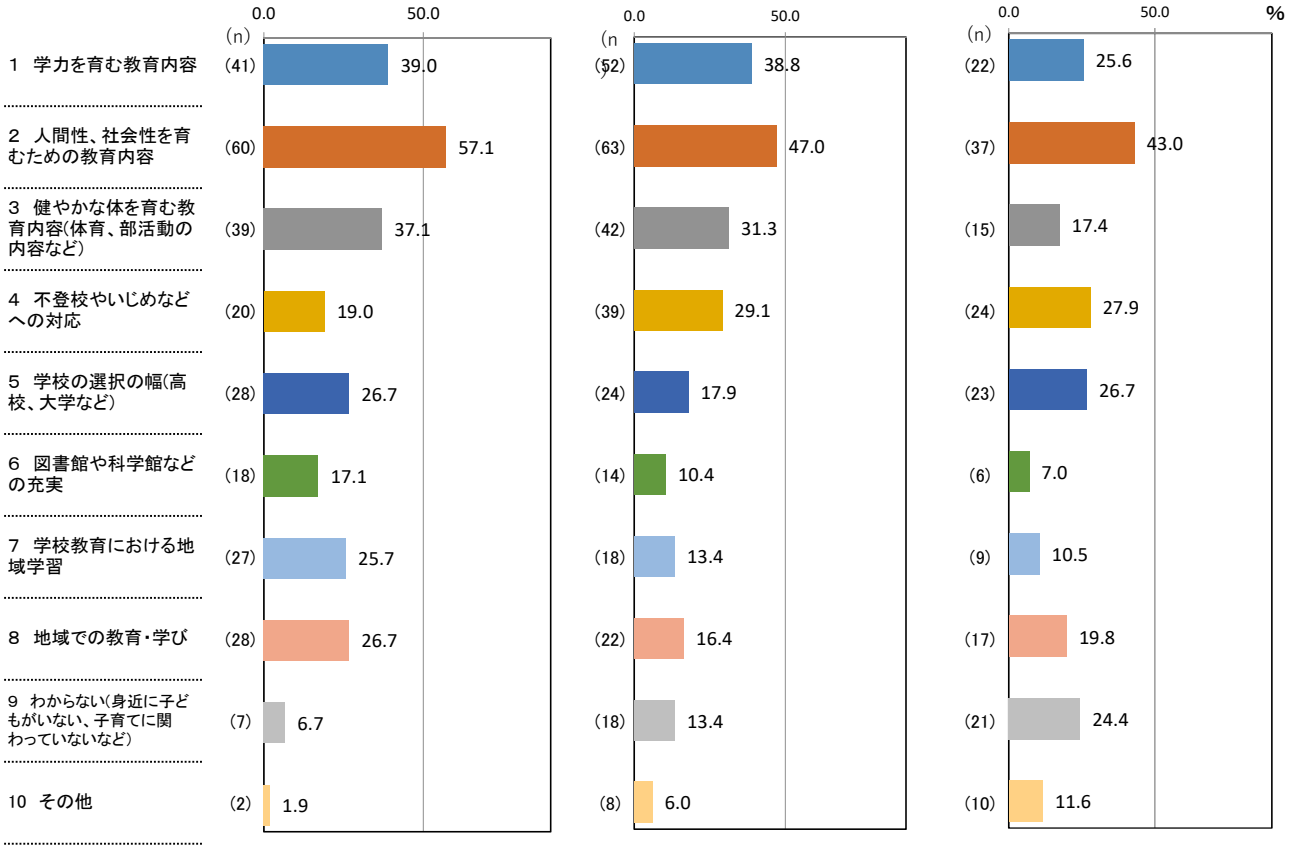
【参考】

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」(R2-H31)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (270) 105 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (300) 134 人	③ 実感が低下した人 の回答 (184) 86 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (60)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (63)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (37)
2	1 学力を育む教育内容 (41)	1 学力を育む教育内容 (52)	4 不登校やいじめなどへの対応 (24)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (39)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (42)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (23)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（5） 子どもの教育についての回答理由（問1-1（5）①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 実感が上昇した人		39.0	57.1	37.1	19.0	26.7	17.1	25.7	26.7	6.7	1.9
② 実感が横ばいの人		38.8	47.0	31.3	29.1	17.9	10.4	13.4	16.4	13.4	6.0
③ 実感が低下した人		25.6	43.0	17.4	27.9	26.7	7.0	10.5	19.8	24.4	11.6

（件）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R2[2」は除く。 （サンプル数＝105人）	270	41	60	39	20	28	18	27	28	7	2
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝134人）	300	52	63	42	39	24	14	18	22	18	8
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R2[4」は除く。 （サンプル数＝86人）	184	22	37	15	24	23	6	9	17	21	10

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（2名中2名記載）
・先生への働き方改革が必要。（余裕がないと無理が出る）
・小学校で一人暮らし老人に手紙を送り、学校生活の状況を知らせる。

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（8名中8名記載）
・教職員の業務量が多すぎて本当に必要な教育ができていないと感じる。 行政等が無駄に多過ぎる。
・子育てに関わっていないし孫も近くにいないので。
・放課後活動の場の不足。
・担任の能力の無さ。担任の能力の無さ。
・まだ学校へ通っていない 。
・交通の便が悪い。自力で通学できない。
・教育についてあまり関わっていない。
・不登校、いじめななどは見ないふりせず、いじめられている人がいたら教育委員会が事が大きくなる前に真剣に考えて欲しい、いじめに関しては、20年位前、私の子どももいじめにあって小学校の校長に相談したら、その校長は、あと2,3年で退職だから穏便にと自分の給料が減給される事ばかり考えていました。教育委員会を透明性を持って。不登校、いじめななどは見ないふりせず、いじめられている人がいたら教育委員会が事が大きくなる前に真剣に考えて欲しい、いじめに関しては、20年位前、私の子どももいじめにあって小学校の校長に相談したら、その校長は、あと2,3年で退職だたら穏便にと自分の給料が減給される事ばかり考えていました。教育委員会を透明性を持って。

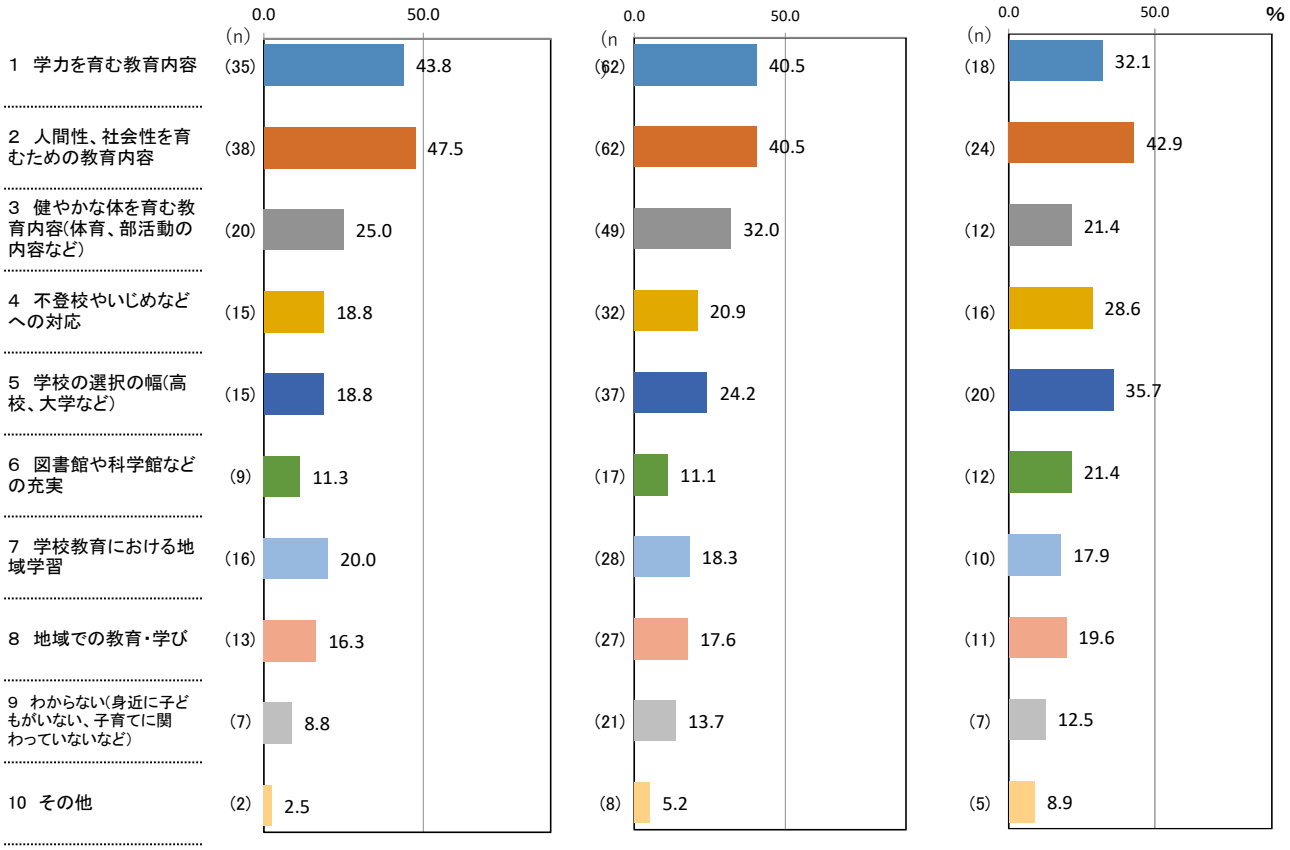
③実感が低下した人の「その他」コメント（10名中10名記載）
・国家主義的な道徳教育の押しつけは誤り、個人と個人性尊重を望む。
・バランスのよい食事がとれること、食育は大事だと思う。
・学習内容がつめこみすぎ、子ども達が疲れている。
・家族環境の不遇。
・障害児の養育が月2から3回と少ない。週2から3が理想。
・教職員のレベルが低いと感じる 。
・生きる為の教育なのか。生きる為の教育なのか。
・孫の送迎等
・経済的に豊かではないので進学させたくても子どもが通いたい学校へ進学させられない。
・学力低すぎです。学校が部活に力入れ過ぎです。（盛岡市）

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」(R2-R3)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (170) 80 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (343) 153 人	③ 実感が低下した人 の回答 (135) 56 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (38)	1 学力を育む教育内容 (62)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (24)
2	1 学力を育む教育内容 (35)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (62) 1位	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (20)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (20)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (49)	1 学力を育む教育内容 (18)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（5） 子どもの教育についての回答理由（問1-1（5）①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 実感が上昇した人		43.8	47.5	25.0	18.8	18.8	11.3	20.0	16.3	8.8	2.5
② 実感が横ばいの人		40.5	40.5	32.0	20.9	24.2	11.1	18.3	17.6	13.7	5.2
③ 実感が低下した人		32.1	42.9	21.4	28.6	35.7	21.4	17.9	19.6	12.5	8.9

（件）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R2「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝80人）	170	35	38	20	15	15	9	16	13	7	2
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝153人）	343	62	62	49	32	37	17	28	27	21	8
③ 実感が低下した人 ただし、R2「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝56人）	135	18	24	12	16	20	12	10	11	7	5

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（2名中2名記載）
・息子夫婦仕事のため孫と関わっている。間接的。
・先生が熱心に取り組んでいるので

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（8名中8名記載）
・長男が中学生（盛岡市内）だが校内+（県内）の雰囲気が部活で結果を出すことに執着しすぎていると感じます。スポーツに重視をしている事も重要だとは思いますが、結果として学力は全国の下位を数年間低迷してることに対し速やかに処置、対策を行う必要があると思います。（私は県外出身者であり客観的意見）
・過剰な知識偏重の教育のあり方が子供の成長を狂わせている
・様々な問題を抱える子供たちっが多いのに対して学校スタッフが少なすぎる。
・大人がコミュニケーション能力が低下している
・宿題が多すぎる。一律的で学習の仕方が効率的でない
・もう少し教育できる場所があってほしい
・学校の環境の地域差(教員のレベル含む)

③実感が低下した人の「その他」コメント（5名中3名記載）
・学業に意欲的な子供が少ないため切磋琢磨できない
・コロナ禍でなかなか今までと同じようにできていないから
・孫がいる

(3)分野別実感の回答結果(単純集計)

【補足調査】

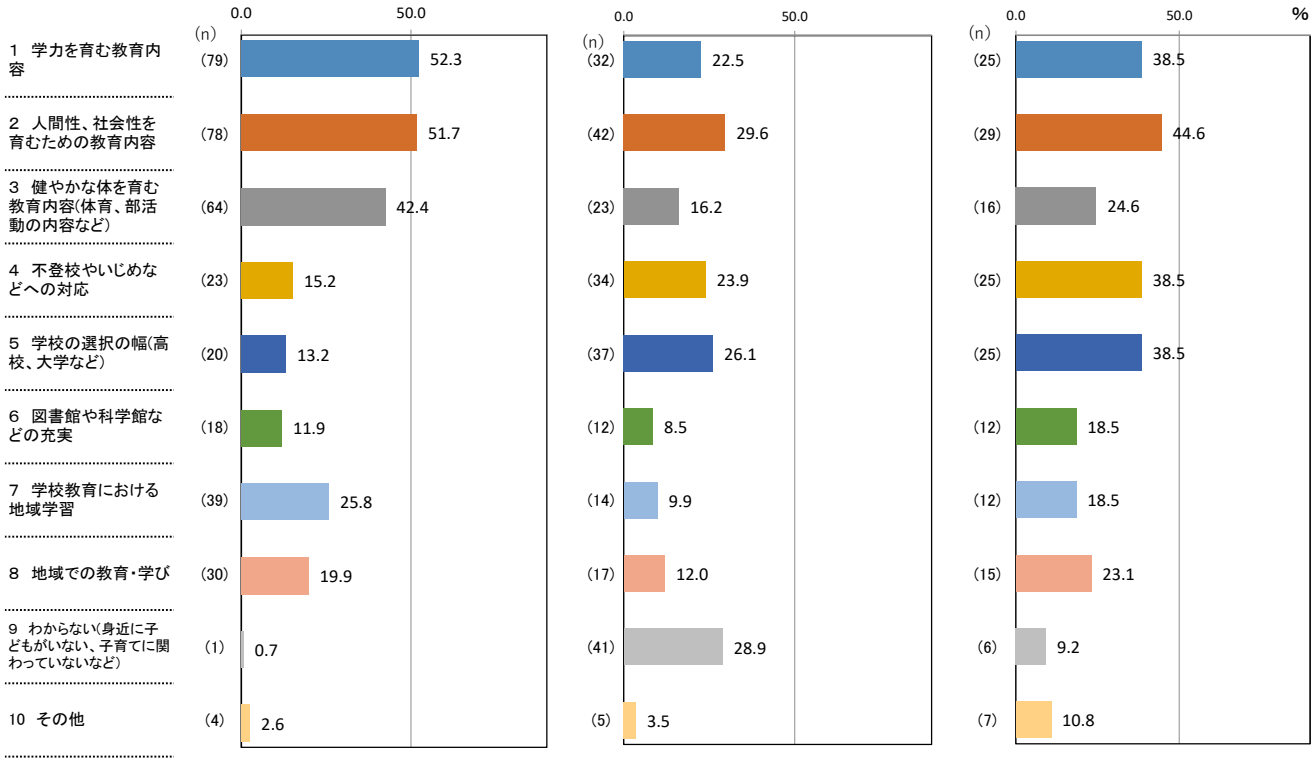
分野別実感の理由別分析「子どもの教育」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (356) 151 人	②「どちらともいえない」の回答 (257) 142 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (172) 65 人
1	1 学力を育む教育内容 (79)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (42)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (29)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (78)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (41)	1 学力を育む教育内容 (25)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (64)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (37)	4 不登校やいじめなどへの対応 (25)
			5 学校の選択の幅(高校、大学など) (25)

2位

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（5） 子どもの教育についての回答理由（問1-1（5）「①あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

分野別実感の回答結果「子どもの教育」	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		52.3	51.7	42.4	15.2	13.2	11.9	25.8	19.9	0.7	2.6
②「どちらともいえない」		22.5	29.6	16.2	23.9	26.1	8.5	9.9	12.0	28.9	3.5
③「あまり感じない・感じない」		38.5	44.6	24.6	38.5	38.5	18.5	18.5	23.1	9.2	10.8

（件）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝人）	356	79	78	64	23	20	18	39	30	1	4
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝人）	257	32	42	23	34	37	12	14	17	41	5
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝人）	172	25	29	16	25	25	12	12	15	6	7

①「感じる」・「やや感じる」の人の「その他」コメント（151名中4名記載）
・様々な問題を抱える子供たちが多いのに対して学校スタッフが少なすぎる。
・息子夫婦仕事のため孫と関わっている。間接的。
・たまには親に意見する
・先生が熱心に取り組んでいるので

②「どちらともいえない」の人の「その他」コメント（142名中4名記載）
・学業に意欲的な子供が少ないため切磋琢磨できない
・孫がいる
・コロナ禍でなかなか今までと同じようにできていないから
・もう少し教育できる場所があってほしい

③「あまり感じない・感じない」の人の「その他」コメント（65名中6名記載）
・個性の尊重、人権への配慮の不足
・宿題が多すぎる。一律的で学習の仕方が効率的でない
・過剰な知識偏重の教育のあり方が子供の成長を狂わせている
・学校の環境の地域差(教員のレベル含む)
・大人がコミュニケーション能力が低下している
・長男が中学生（盛岡市内）だが校内+（県内）の雰囲気が部活で結果を出すことに執着しすぎていると感じます。スポーツに重視をしている事も重要だとは思いますが、結果として学力は全国の下位を数年間低迷してることに対し速やかに処置、対策を行う必要があると思います。（私は県外出身者であり客観的意見）

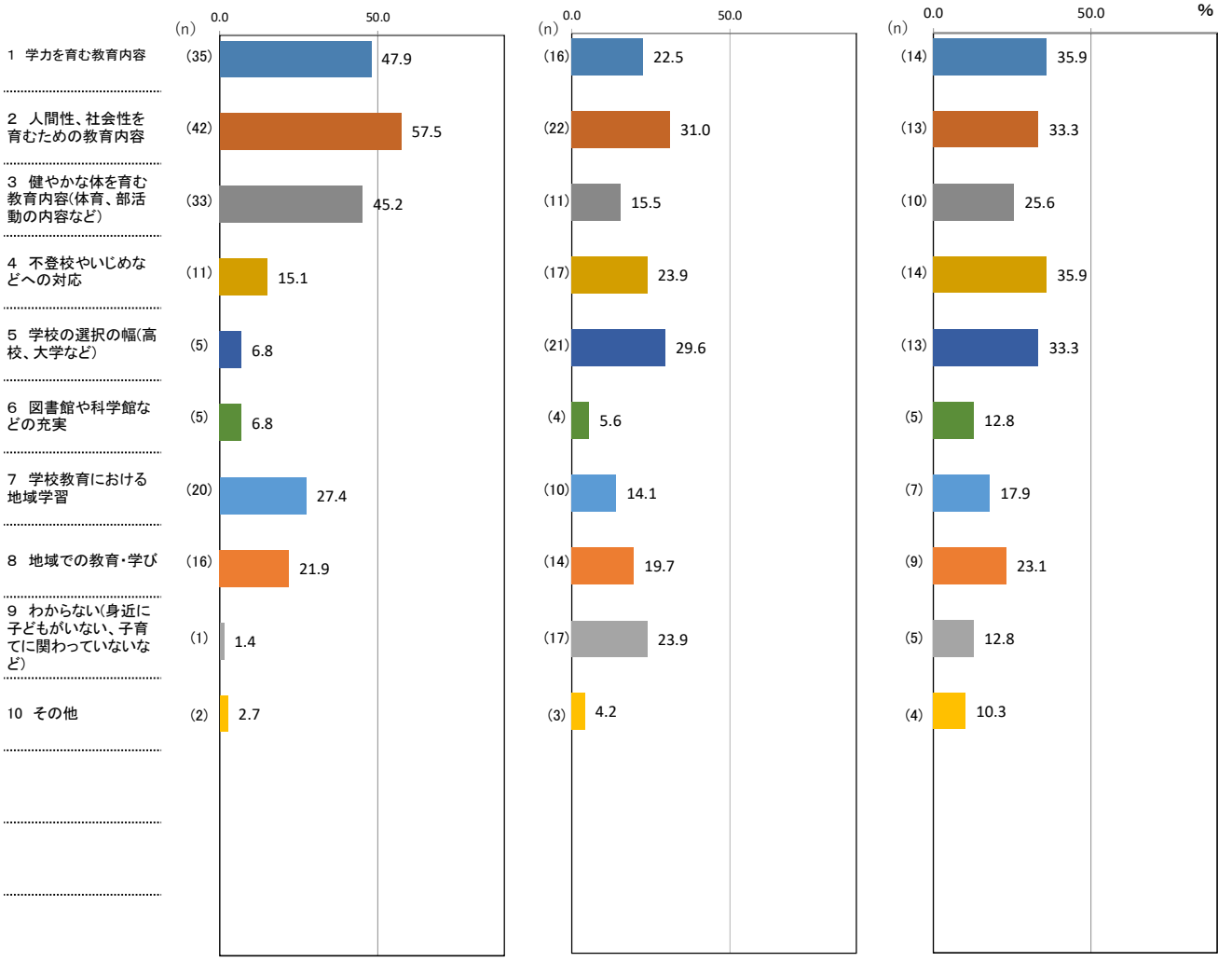
(4)分野別実感の属性別回答結果(単純集計)

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜男性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (170) 73 人	②「どちらともいえない」の回答 (135) 71 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (94) 39 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (42)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (22)	1 学力を育む教育内容 (14)
2	1 学力を育む教育内容 (35)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (21)	4 不登校やいじめなどへの対応 (14) 1位
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (33)	4 不登校やいじめなどへの対応 (17)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (13)
		9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (17) 3位	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (13) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜男性＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		47.9	57.5	45.2	15.1	6.8	6.8	27.4	21.9	1.4	2.7
②「どちらともいえない」		22.5	31.0	15.5	23.9	29.6	5.6	14.1	19.7	23.9	4.2
③「あまり感じない・感じない」		35.9	33.3	25.6	35.9	33.3	12.8	17.9	23.1	12.8	10.3

(件)

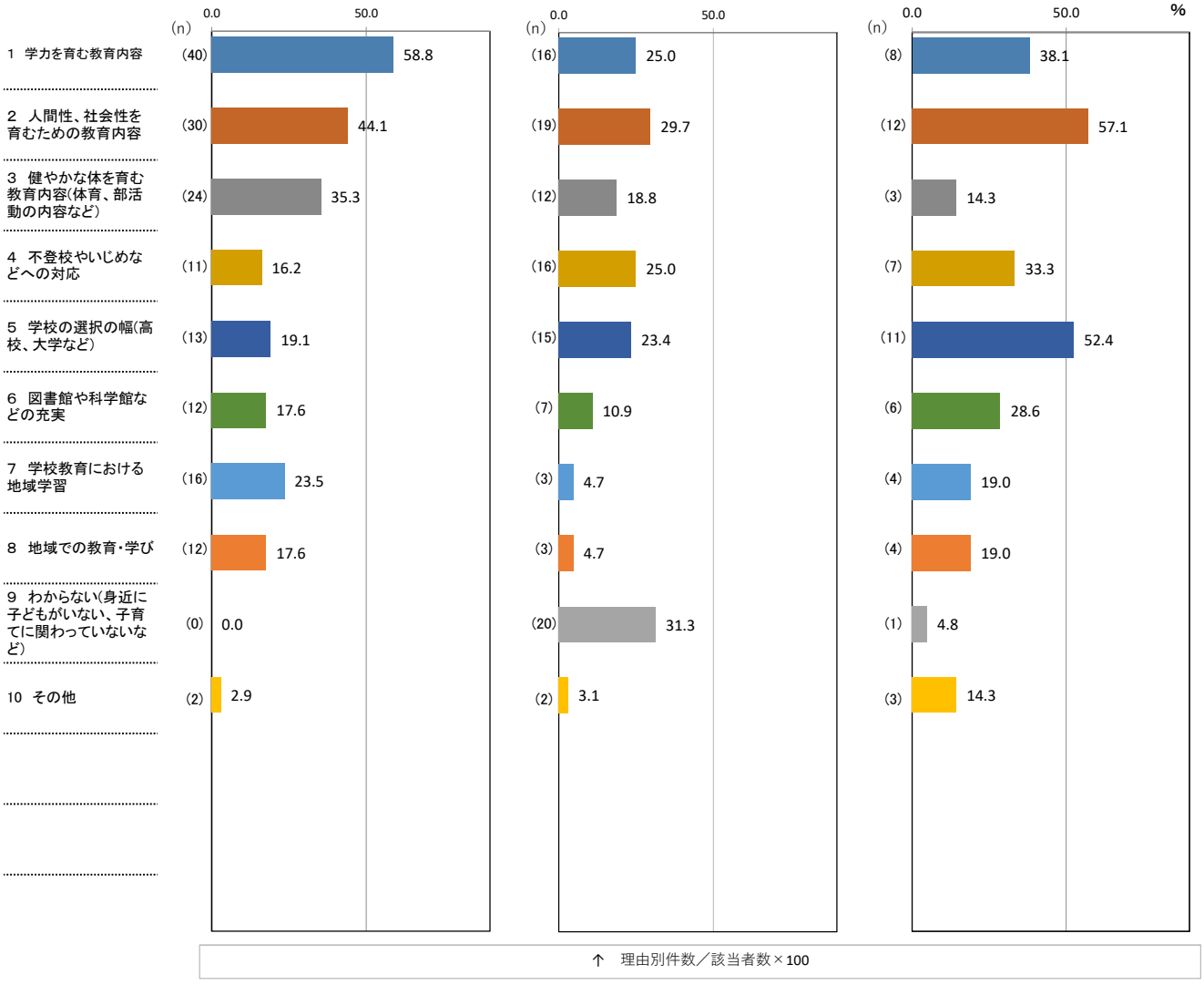
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝73人)	170	35	42	33	11	5	5	20	16	1	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝71人)	135	16	22	11	17	21	4	10	14	17	3
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数＝39人)	94	14	13	10	14	13	5	7	9	5	4

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (160) 68 人	②「どちらともいえない」の回答 (113) 64 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (59) 21 人
1	1 学力を育む教育内容 (40)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (20)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (12)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (30)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (19)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (11)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (24)	1 学力を育む教育内容 (16)	1 学力を育む教育内容 (8)
		4 不登校やいじめなどへの対応 (16) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜女性＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		58.8	44.1	35.3	16.2	19.1	17.6	23.5	17.6	0.0	2.9
②「どちらともいえない」		25.0	29.7	18.8	25.0	23.4	10.9	4.7	4.7	31.3	3.1
③「あまり感じない・感じない」		38.1	57.1	14.3	33.3	52.4	28.6	19.0	19.0	4.8	14.3

(件)

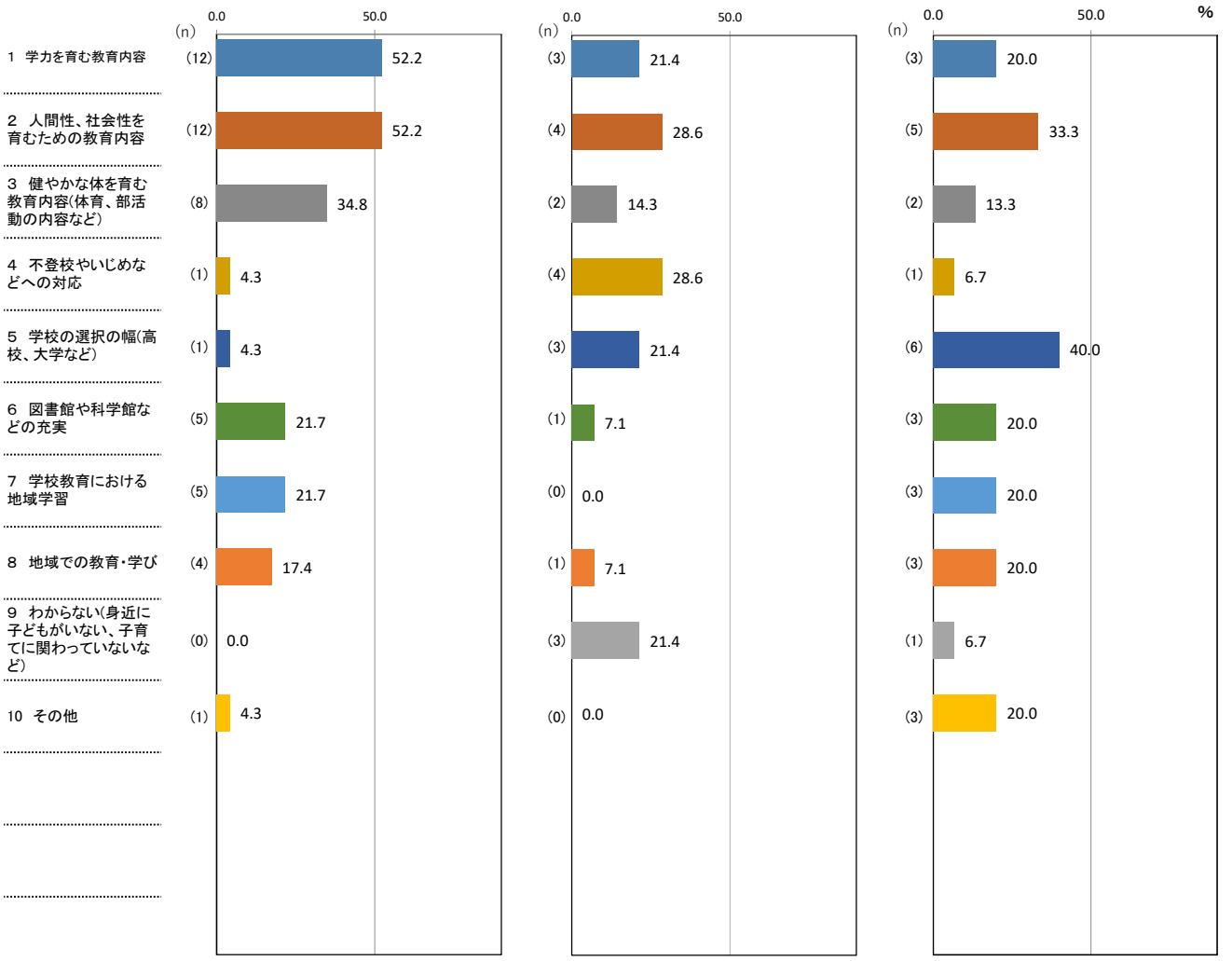
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝68人)	160	40	30	24	11	13	12	16	12	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝64人)	113	16	19	12	16	15	7	3	3	20	2
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数＝21人)	59	8	12	3	7	11	6	4	4	1	3

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜30～39歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (49) 23 人	②「どちらともいえない」の回答 (21) 14 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (30) 15 人
1	1 学力を育む教育内容 (12)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (4)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (6)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (12) 1位	4 不登校やいじめなどへの対応 (4) 1位	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (5)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (8)	1 学力を育む教育内容 (3)	1 学力を育む教育内容 (3)
		5 学校の選択の幅(高校、大学など) (3) 3位	6 図書館や科学館などの充実 (3) 3位
		9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (3) 3位	7 学校教育における地域学習 (3) 3位
			8 地域での教育・学び (3) 3位
			10 その他 (3) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜30～39歳＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		52.2	52.2	34.8	4.3	4.3	21.7	21.7	17.4	0.0	4.3
②「どちらともいえない」		21.4	28.6	14.3	28.6	21.4	7.1	0.0	7.1	21.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		20.0	33.3	13.3	6.7	40.0	20.0	20.0	20.0	6.7	20.0

(件)

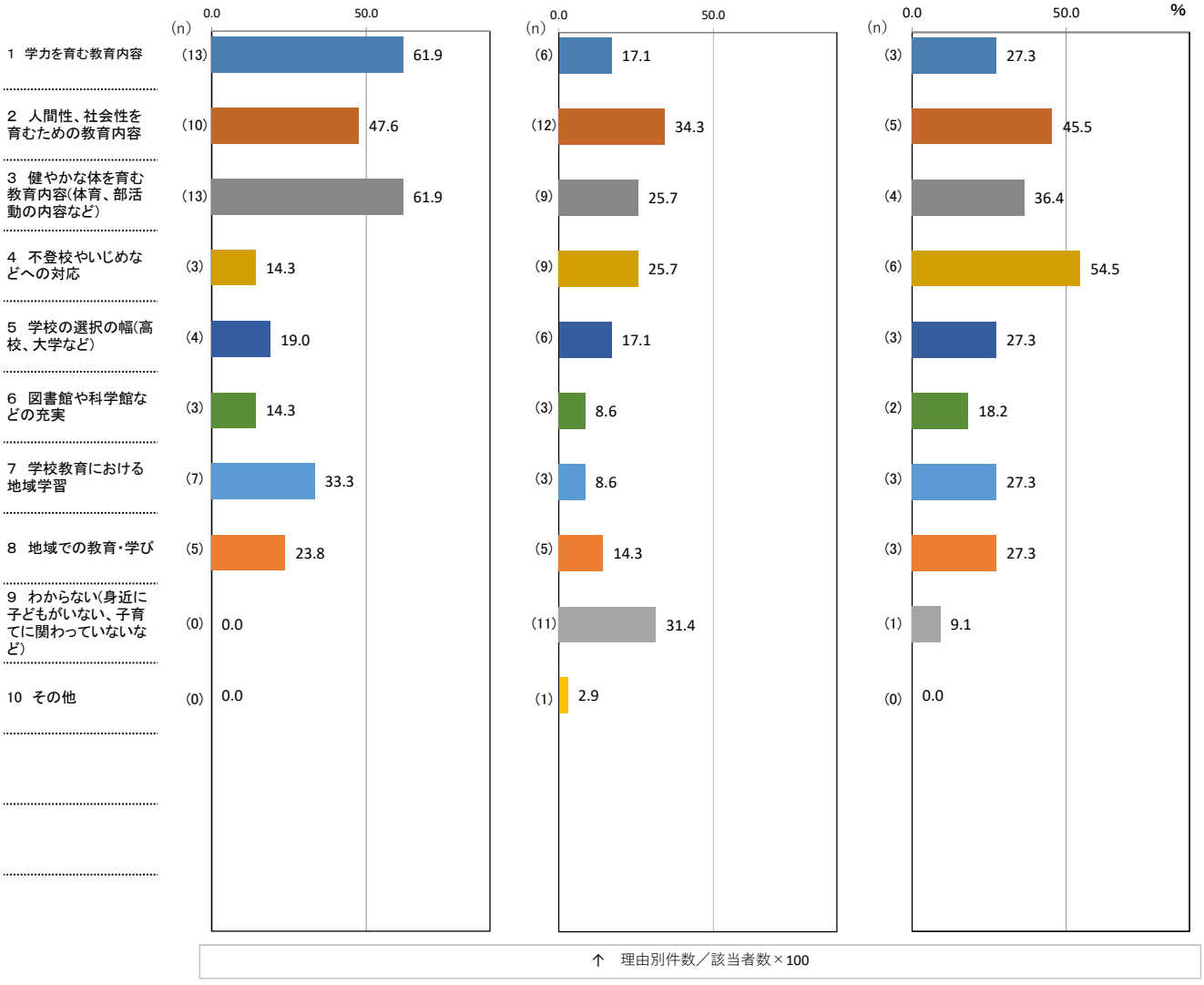
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝23人)	49	12	12	8	1	1	5	5	4	0	1
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝14人)	21	3	4	2	4	3	1	0	1	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝15人)	30	3	5	2	1	6	3	3	3	1	3

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜60～69歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (58) 21 人	②「どちらともいえない」の回答 (65) 35 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (30) 11 人
1	1 学力を育む教育内容 (13)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (12)	4 不登校やいじめなどへの対応 (6)
2	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (13)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (11)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (5)
3	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (10)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (9)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (4)
		4 不登校やいじめなどへの対応 (9) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜60～69歳＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		61.9	47.6	61.9	14.3	19.0	14.3	33.3	23.8	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		17.1	34.3	25.7	25.7	17.1	8.6	8.6	14.3	31.4	2.9
③「あまり感じない・感じない」		27.3	45.5	36.4	54.5	27.3	18.2	27.3	27.3	9.1	0.0

(件)

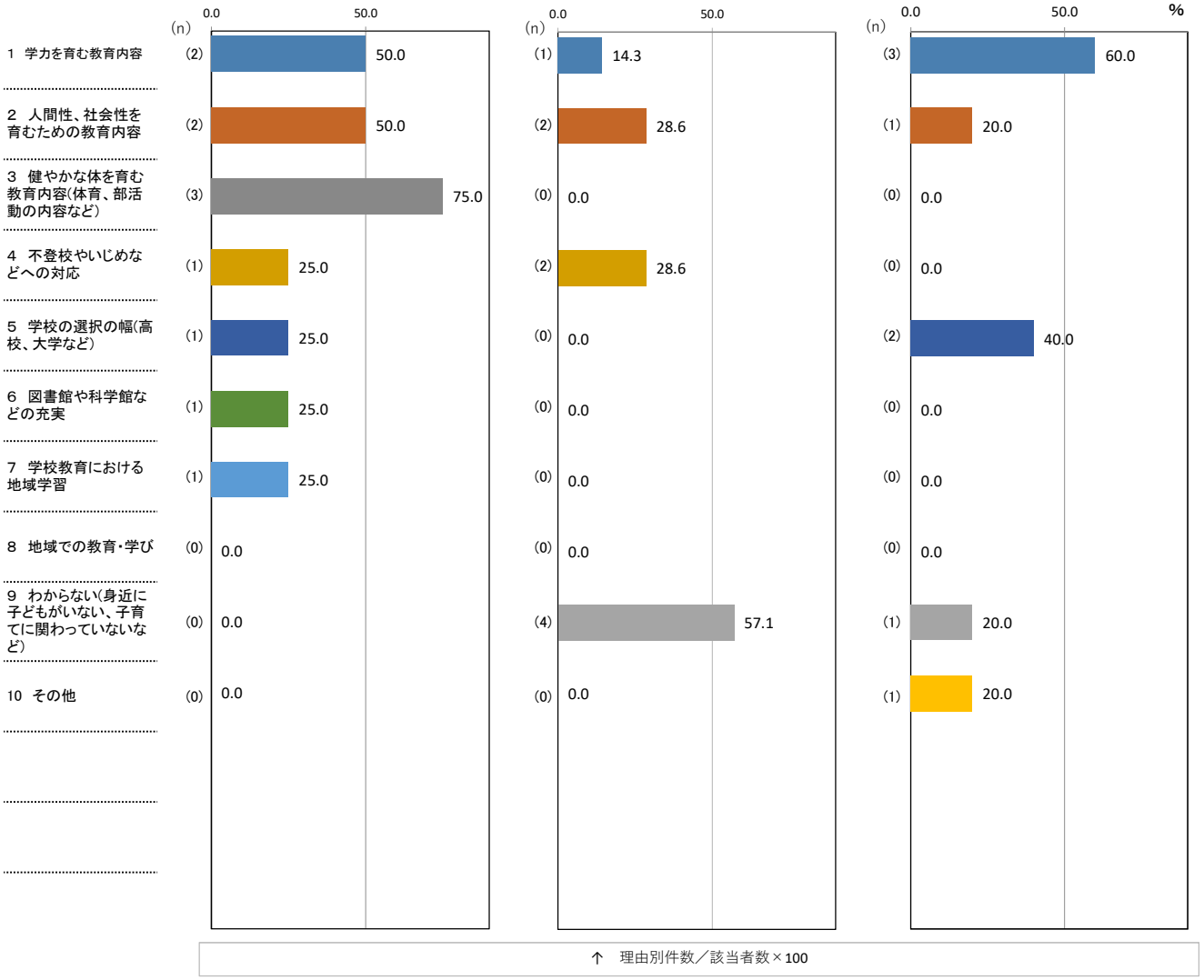
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝21人)	58	13	10	13	3	4	3	7	5	0	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝35人)	65	6	12	9	9	6	3	3	5	11	1
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝11人)	30	3	5	4	6	3	2	3	3	1	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜会社役員・団体役員＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (11) 4 人	②「どちらともいえない」の回答 (9) 7 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (8) 5 人
1	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (3)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (4)	1 学力を育む教育内容 (3)
2	1 学力を育む教育内容 (2)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (2)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (2)
3	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (2) 2位	4 不登校やいじめなどへの対応 (2) 2位	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (1)
			9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (1)
			10 その他 (1)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

<>

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	50.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		14.3	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		60.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0

(件)

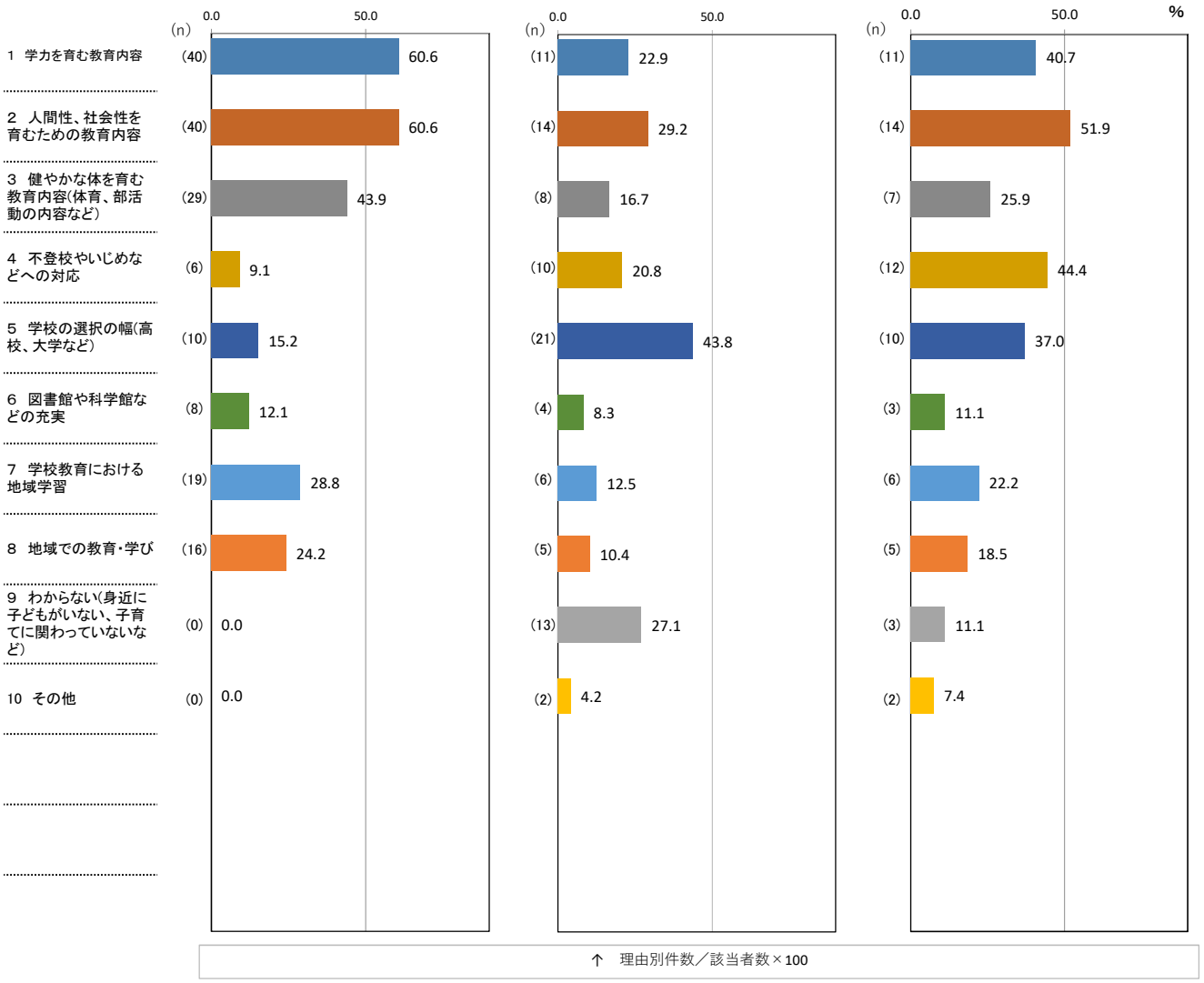
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数=4人)	11	2	2	3	1	1	1	1	0	0	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数=7人)	9	1	2	0	2	0	0	0	0	4	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数=5人)	8	3	1	0	0	2	0	0	0	1	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」<常用雇用者>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (168) 66 人	②「どちらともいえない」の回答 (94) 48 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (73) 27 人
1	1 学力を育む教育内容 (40)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (21)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (14)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (40) 1位	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (14)	4 不登校やいじめなどへの対応 (12)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (29)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (13)	1 学力を育む教育内容 (11)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜常用雇用者＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		60.6	60.6	43.9	9.1	15.2	12.1	28.8	24.2	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		22.9	29.2	16.7	20.8	43.8	8.3	12.5	10.4	27.1	4.2
③「あまり感じない・感じない」		40.7	51.9	25.9	44.4	37.0	11.1	22.2	18.5	11.1	7.4

(件)

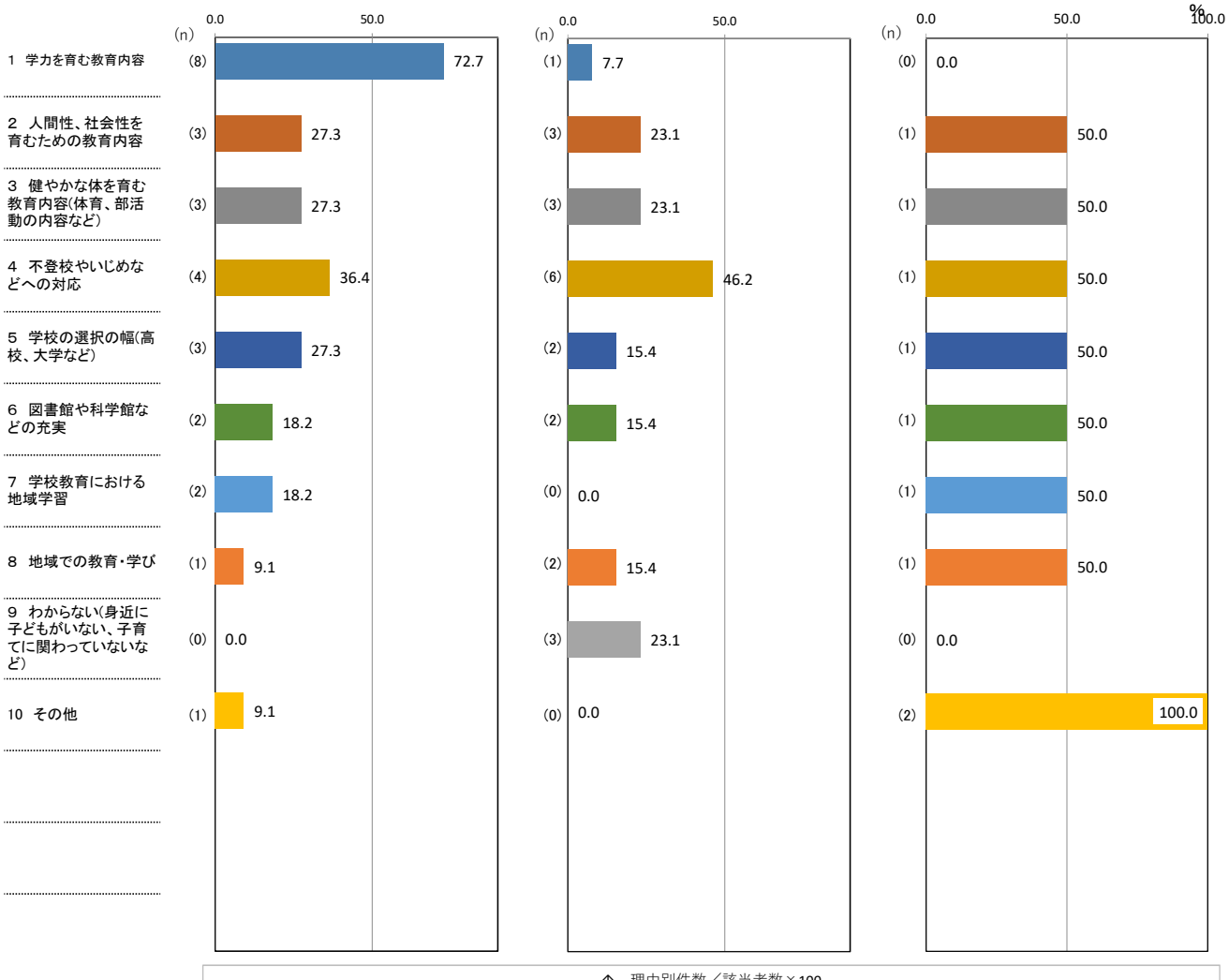
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝66人)	168	40	40	29	6	10	8	19	16	0	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝48人)	94	11	14	8	10	21	4	6	5	13	2
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝27人)	73	11	14	7	12	10	3	6	5	3	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜専業主婦・主夫＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (27) 11 人	②「どちらともいえない」の回答 (22) 13 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (9) 2 人
1	1 学力を育む教育内容 (8)	4 不登校やいじめなどへの対応 (6)	10 その他 (2)
2	4 不登校やいじめなどへの対応 (4)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (3)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (1) 2位
3	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (3)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (3)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (1) 2位
	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (3)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (3)	4 不登校やいじめなどへの対応 (1) 2位
	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (3)		5 学校の選択の幅(高校、大学など) (1) 2位
			6 図書館や科学館などの充実 (1) 2位
			7 学校教育における地域学習 (1) 2位
			8 地域での教育・学び (1) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜専業主婦・主夫＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		72.7	27.3	27.3	36.4	27.3	18.2	18.2	9.1	0.0	9.1
②「どちらともいえない」		7.7	23.1	23.1	46.2	15.4	15.4	0.0	15.4	23.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	100.0

(件)

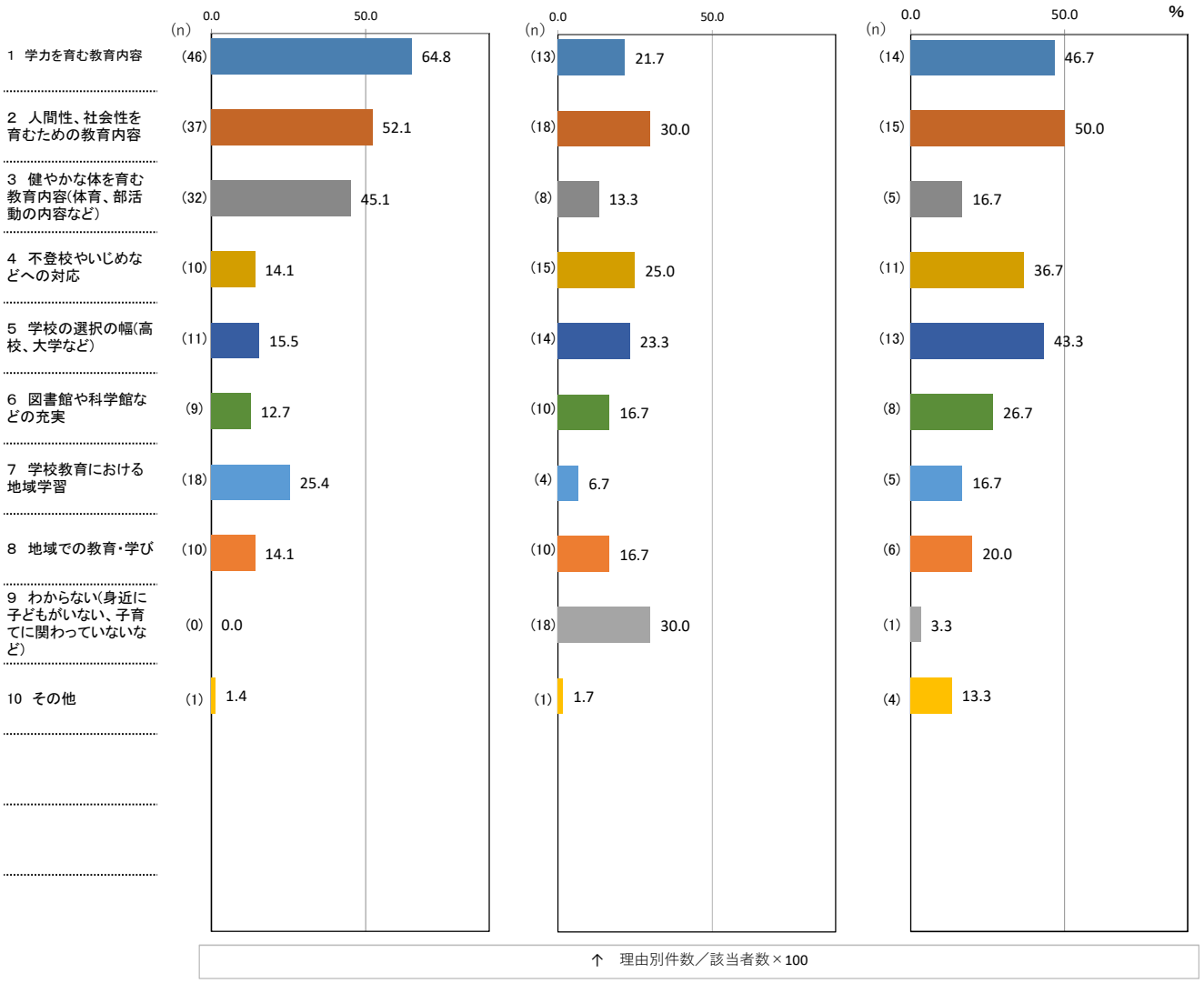
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝11人)	27	8	3	3	4	3	2	2	1	0	1
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝13人)	22	1	3	3	6	2	2	0	2	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝2人)	9	0	1	1	1	1	1	1	1	0	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜2世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (174) 71 人	②「どちらともいえない」の回答 (111) 60 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (82) 30 人
1	1 学力を育む教育内容 (46)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (18)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (15)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (37)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (18) 1位	1 学力を育む教育内容 (14)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (32)	4 不登校やいじめなどへの対応 (15)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (13)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜2世代世帯＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		64.8	52.1	45.1	14.1	15.5	12.7	25.4	14.1	0.0	1.4
②「どちらともいえない」		21.7	30.0	13.3	25.0	23.3	16.7	6.7	16.7	30.0	1.7
③「あまり感じない・感じない」		46.7	50.0	16.7	36.7	43.3	26.7	16.7	20.0	3.3	13.3

(件)

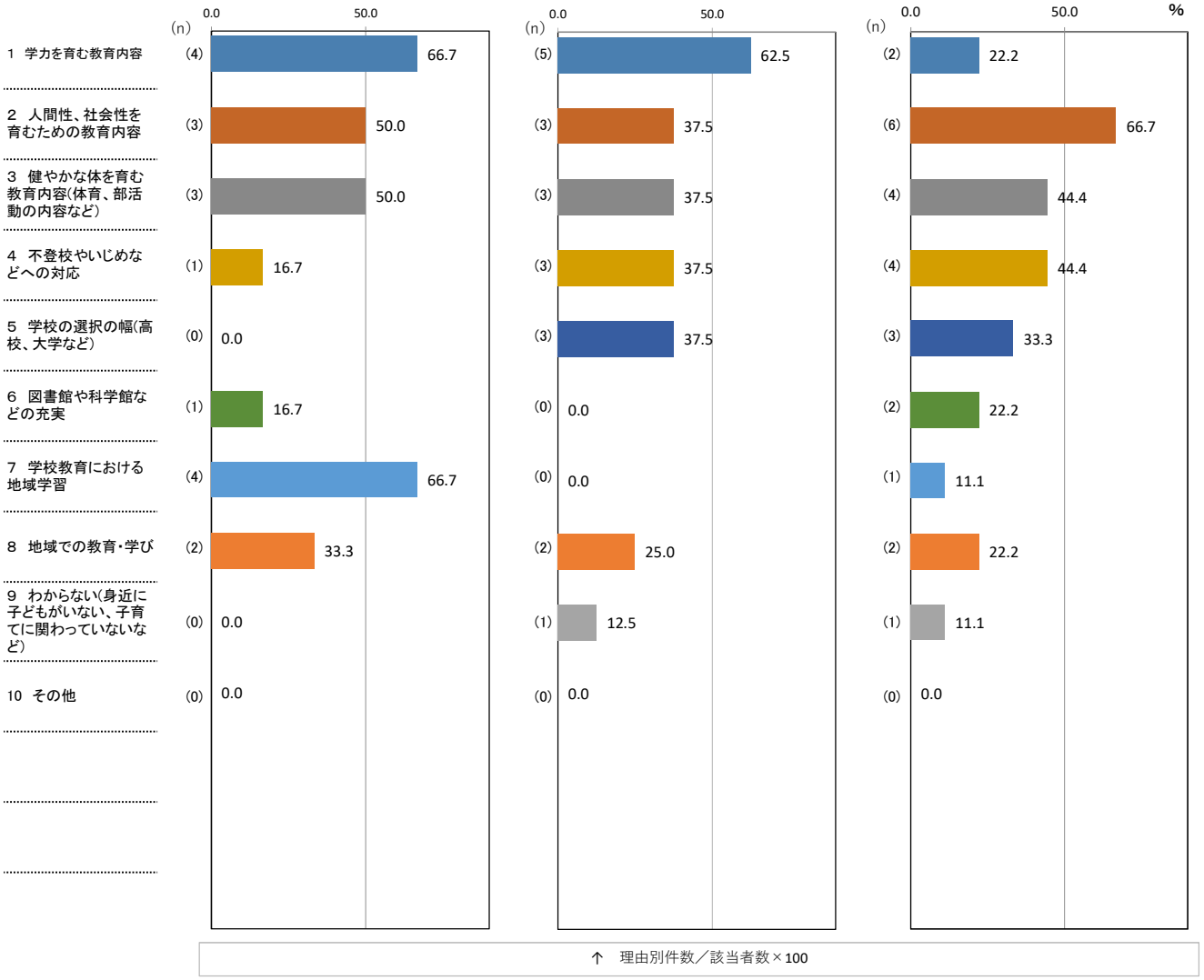
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝71人)	174	46	37	32	10	11	9	18	10	0	1
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝60人)	111	13	18	8	15	14	10	4	10	18	1
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝30人)	82	14	15	5	11	13	8	5	6	1	4

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」<その他世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (18) 6 人	②「どちらともいえない」の回答 (20) 8 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (25) 9 人
1	1 学力を育む教育内容 (4)	1 学力を育む教育内容 (5)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (6)
2	7 学校教育における地域学習 (4) 1位	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (3)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (4)
3	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (3)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (3) 2位	4 不登校やいじめなどへの対応 (4) 2位
	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (3) 3位	4 不登校やいじめなどへの対応 (3) 2位	
		5 学校の選択の幅(高校、大学など) (3) 2位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜その他世帯＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		66.7	50.0	50.0	16.7	0.0	16.7	66.7	33.3	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		62.5	37.5	37.5	37.5	37.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		22.2	66.7	44.4	44.4	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0

(件)

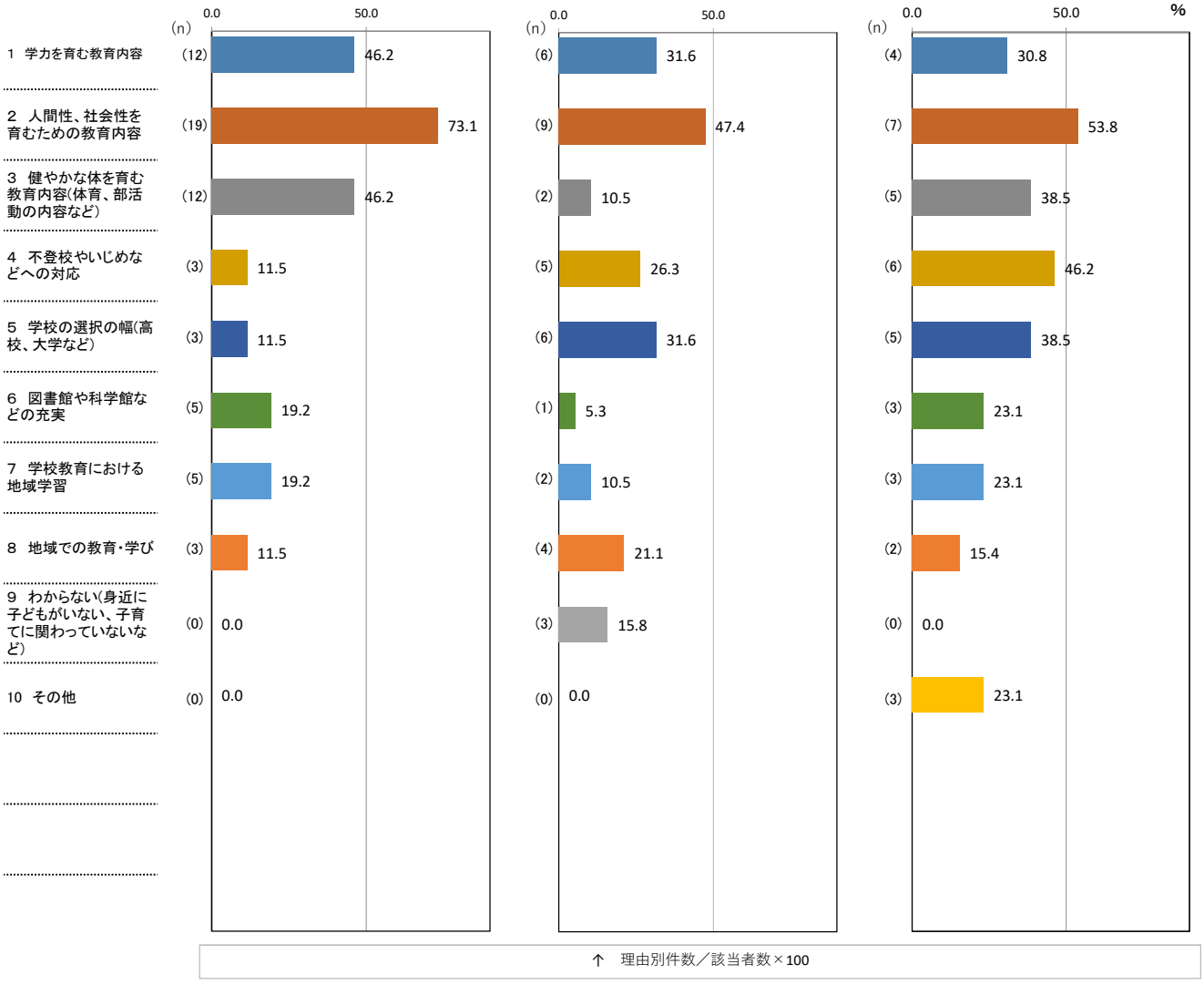
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝6人)	18	4	3	3	1	0	1	4	2	0	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝8人)	20	5	3	3	3	3	0	0	2	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝9人)	25	2	6	4	4	3	2	1	2	1	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜子の人数1人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (62) 26 人	②「どちらともいえない」の回答 (38) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (38) 13 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (19)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (9)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (7)
2	1 学力を育む教育内容 (12)	1 学力を育む教育内容 (6)	4 不登校やいじめなどへの対応 (6)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (12) 3位	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (6) 2位	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (5)
			5 学校の選択の幅(高校、大学など) (5) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子の人数1人＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		46.2	73.1	46.2	11.5	11.5	19.2	19.2	11.5	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		31.6	47.4	10.5	26.3	31.6	5.3	10.5	21.1	15.8	0.0
③「あまり感じない・感じない」		30.8	53.8	38.5	46.2	38.5	23.1	23.1	15.4	0.0	23.1

(件)

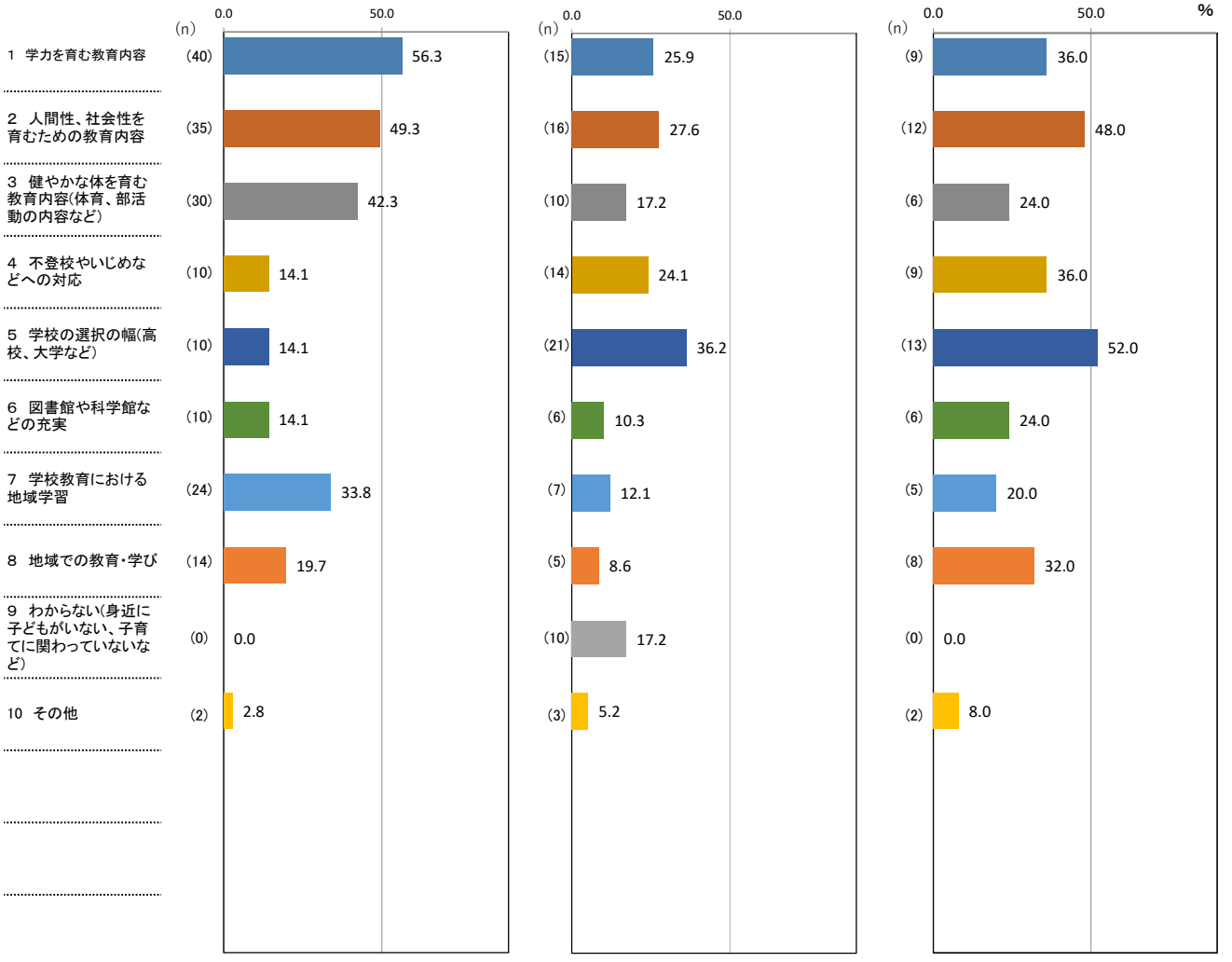
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝26人)	62	12	19	12	3	3	5	5	3	0	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝19人)	38	6	9	2	5	6	1	2	4	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝13人)	38	4	7	5	6	5	3	3	2	0	3

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜子の人数2人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (175) 71 人	②「どちらともいえない」の回答 (107) 58 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (70) 25 人
1	1 学力を育む教育内容 (40)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (21)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (13)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (35)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (16)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (12)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (30)	1 学力を育む教育内容 (15)	1 学力を育む教育内容 (9)
			4 不登校やいじめなどへの対応 (9) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子の人数2人＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		56.3	49.3	42.3	14.1	14.1	14.1	33.8	19.7	0.0	2.8
②「どちらともいえない」		25.9	27.6	17.2	24.1	36.2	10.3	12.1	8.6	17.2	5.2
③「あまり感じない・感じない」		36.0	48.0	24.0	36.0	52.0	24.0	20.0	32.0	0.0	8.0

(件)

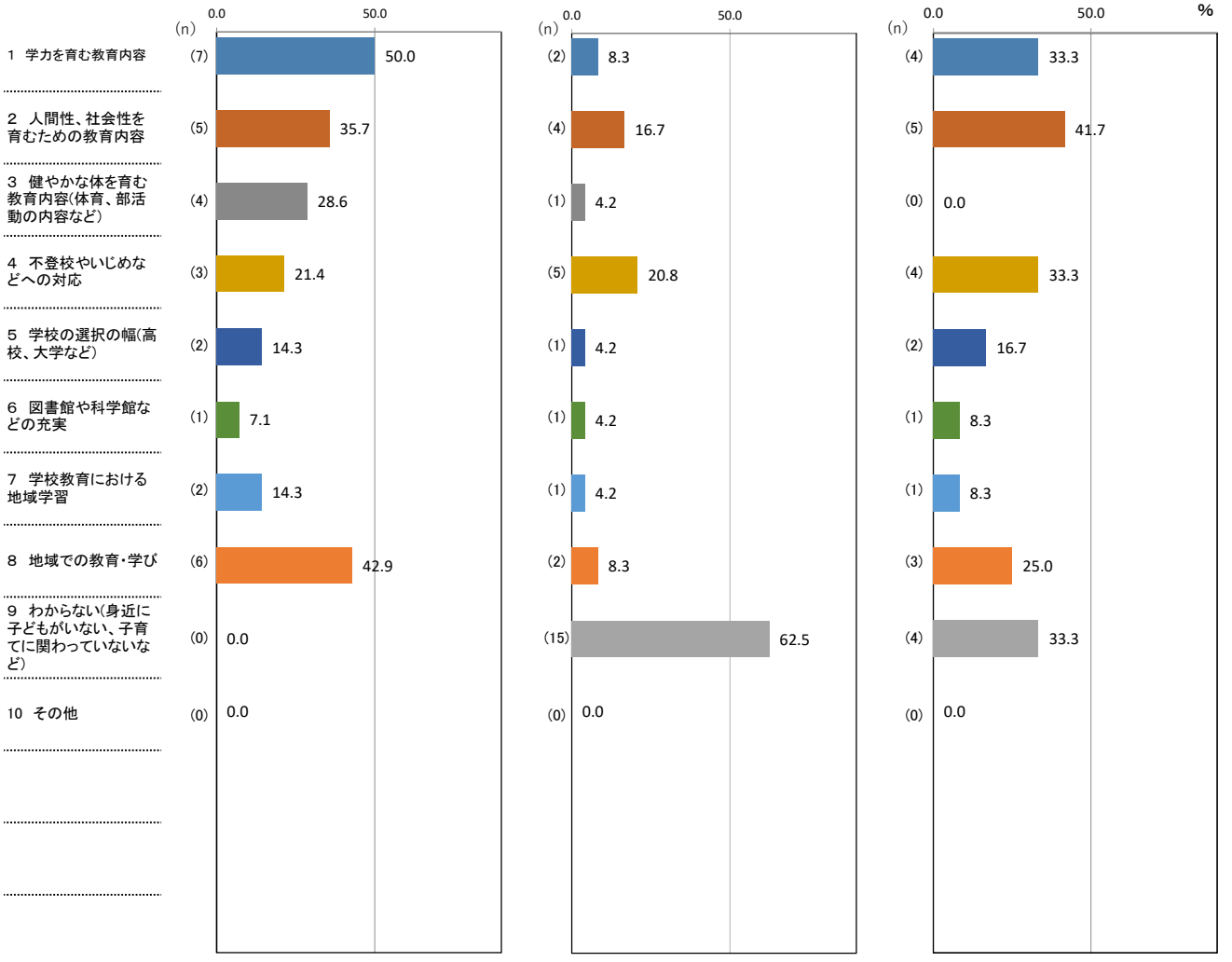
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝71人)	175	40	35	30	10	10	10	24	14	0	2
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝58人)	107	15	16	10	14	21	6	7	5	10	3
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝25人)	70	9	12	6	9	13	6	5	8	0	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜子どもはいない＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (30) 14 人	②「どちらともいえない」の回答 (32) 24 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (24) 12 人
1	1 学力を育む教育内容 (7)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (15)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (5)
2	8 地域での教育・学び (6)	4 不登校やいじめなどへの対応 (5)	1 学力を育む教育内容 (4)
3	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (5)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (4)	4 不登校やいじめなどへの対応 (4) 2位
			9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (4) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子どもはいない＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	35.7	28.6	21.4	14.3	7.1	14.3	42.9	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		8.3	16.7	4.2	20.8	4.2	4.2	4.2	8.3	62.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		33.3	41.7	0.0	33.3	16.7	8.3	8.3	25.0	33.3	0.0

(件)

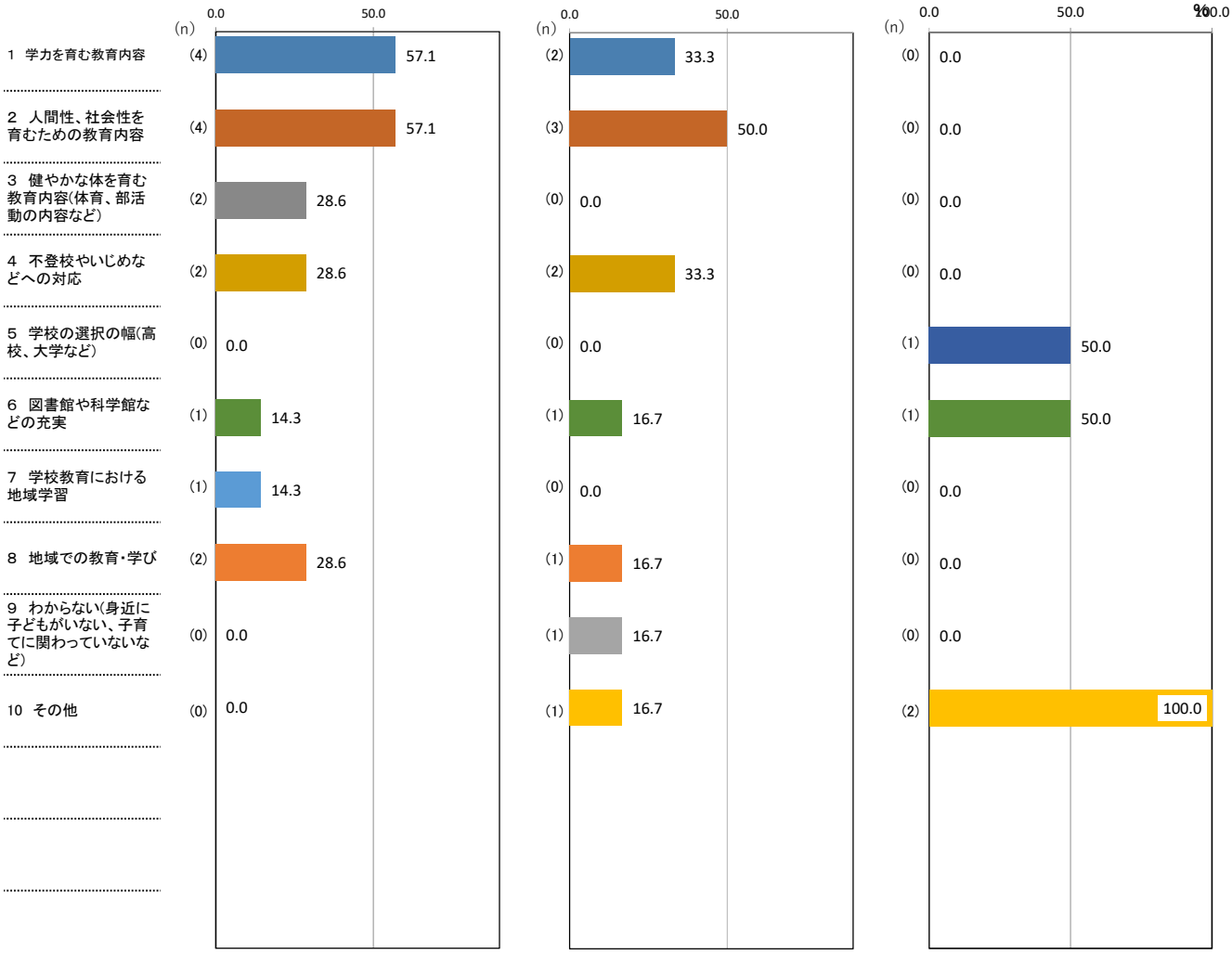
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝14人)	30	7	5	4	3	2	1	2	6	0	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝24人)	32	2	4	1	5	1	1	1	2	15	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝12人)	24	4	5	0	4	2	1	1	3	4	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜居住年数10年未満＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (16) 7 人	②「どちらともいえない」の回答 (11) 6 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (4) 2 人
1	1 学力を育む教育内容 (4)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (3)	10 その他 (2)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (4) 1位	1 学力を育む教育内容 (2)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (1)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (2)	4 不登校やいじめなどへの対応 (2) 2位	6 図書館や科学館などの充実 (1) 2位
	4 不登校やいじめなどへの対応 (2) 3位		
	8 地域での教育・学び (2) 3位		

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜居住年数10年未満＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		57.1	57.1	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		33.3	50.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7
③「あまり感じない・感じない」		0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(件)

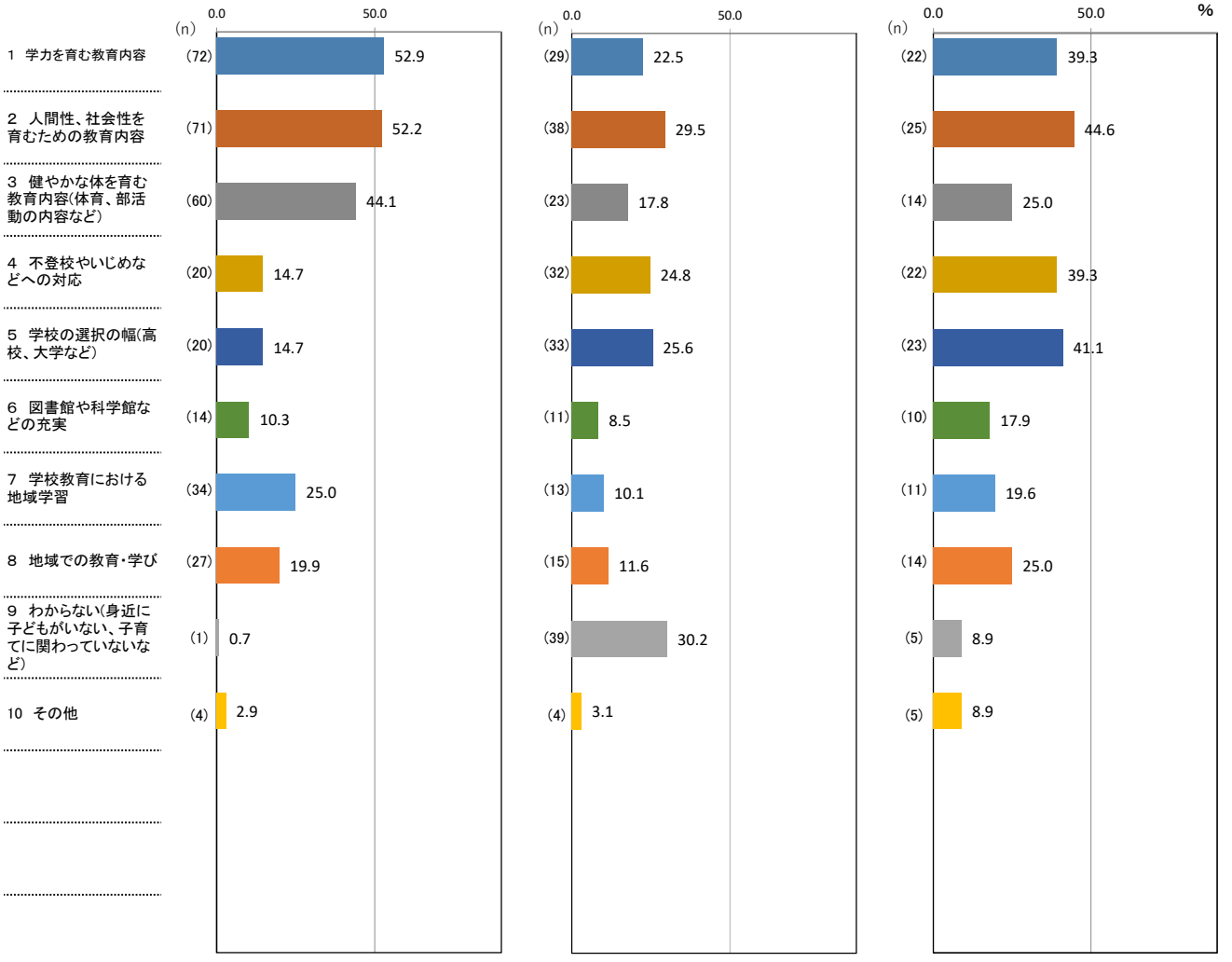
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝7人)	16	4	4	2	2	0	1	1	2	0	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝6人)	11	2	3	0	2	0	1	0	1	1	1
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝2人)	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (323) 136 人	②「どちらともいえない」の回答 (237) 129 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (151) 56 人
1	1 学力を育む教育内容 (72)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (39)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (25)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (71)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (38)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (23)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (60)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (33)	1 学力を育む教育内容 (22)
			4 不登校やいじめなどへの対応 (22) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜居住年数20年以上＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		52.9	52.2	44.1	14.7	14.7	10.3	25.0	19.9	0.7	2.9
②「どちらともいえない」		22.5	29.5	17.8	24.8	25.6	8.5	10.1	11.6	30.2	3.1
③「あまり感じない・感じない」		39.3	44.6	25.0	39.3	41.1	17.9	19.6	25.0	8.9	8.9

(件)

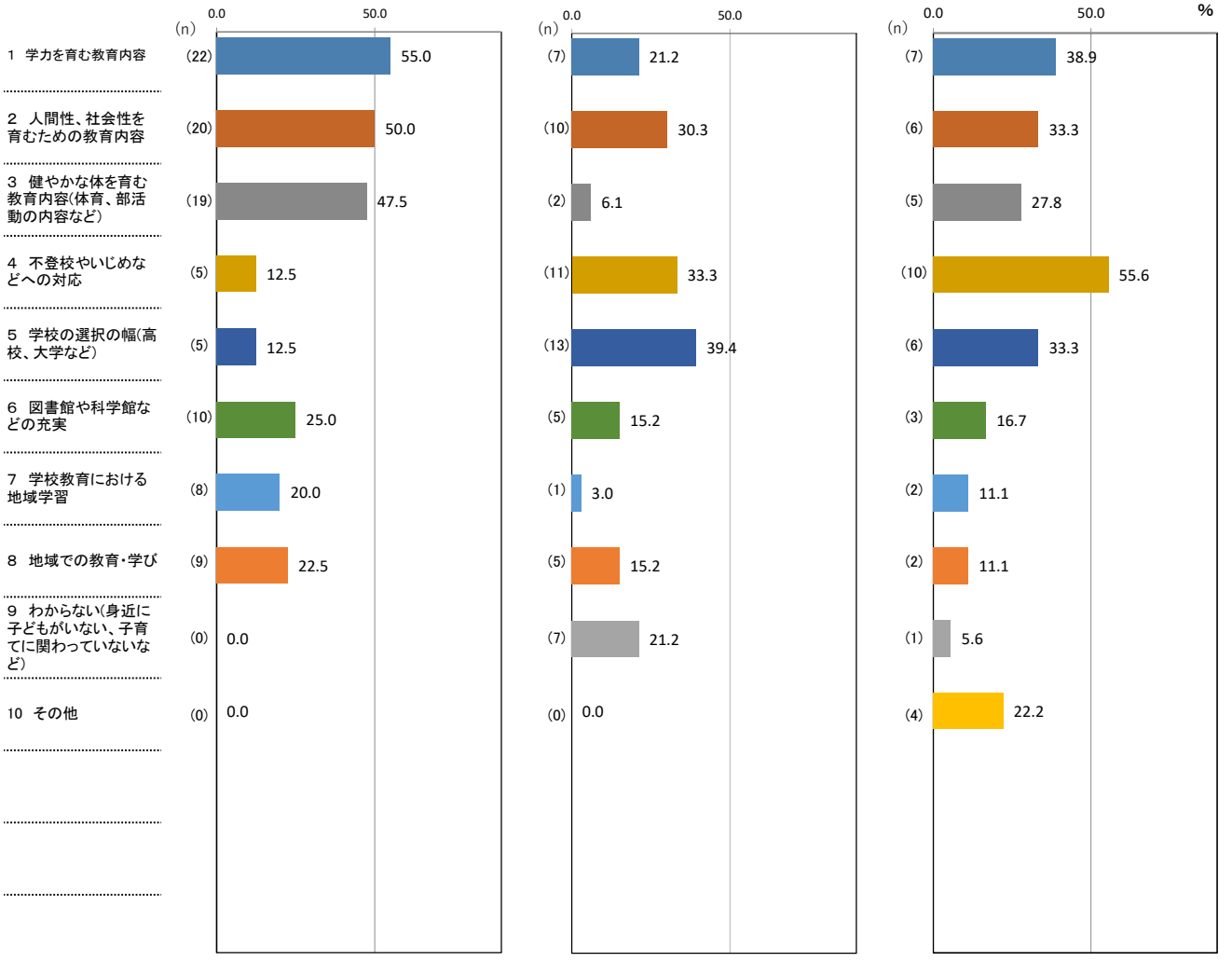
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝136人)	323	72	71	60	20	20	14	34	27	1	4
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝129人)	237	29	38	23	32	33	11	13	15	39	4
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝56人)	151	22	25	14	22	23	10	11	14	5	5

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (98) 40 人	②「どちらともいえない」の回答 (61) 33 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (46) 18 人
1	1 学力を育む教育内容 (22)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (13)	4 不登校やいじめなどへの対応 (10)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (20)	4 不登校やいじめなどへの対応 (11)	1 学力を育む教育内容 (7)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (19)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (10)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (6)
			5 学校の選択の幅(高校、大学など) (6) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜県央広域振興圏＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		55.0	50.0	47.5	12.5	12.5	25.0	20.0	22.5	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		21.2	30.3	6.1	33.3	39.4	15.2	3.0	15.2	21.2	0.0
③「あまり感じない・感じない」		38.9	33.3	27.8	55.6	33.3	16.7	11.1	11.1	5.6	22.2

(件)

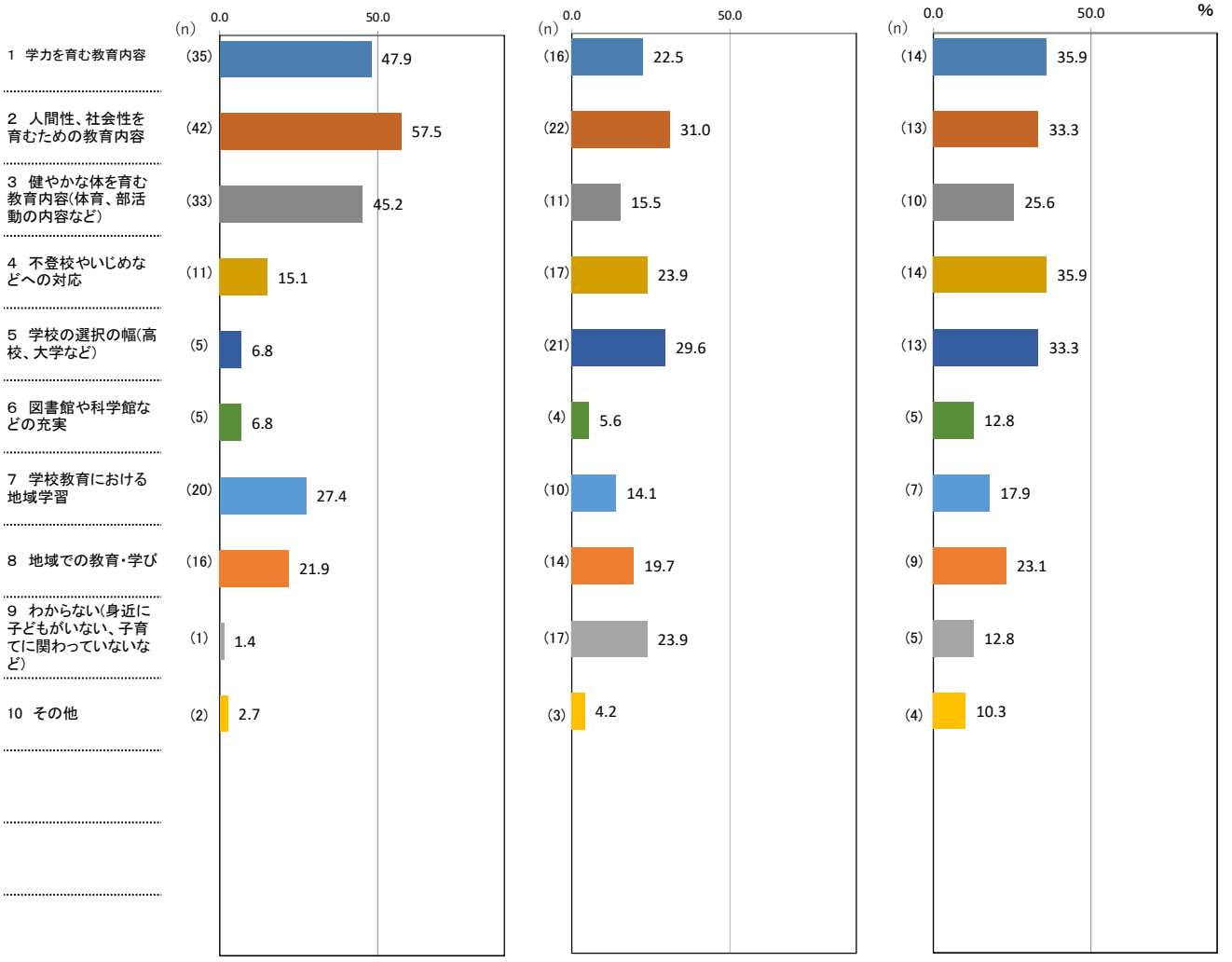
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝40人)	98	22	20	19	5	5	10	8	9	0	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝33人)	61	7	10	2	11	13	5	1	5	7	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝18人)	46	7	6	5	10	6	3	2	2	1	4

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「子どもの教育」＜男性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (170) 73 人	②「どちらともいえない」の回答 (135) 71 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (94) 39 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (42)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (22)	1 学力を育む教育内容 (14)
2	1 学力を育む教育内容 (35)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (21)	4 不登校やいじめなどへの対応 (14) 1位
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (33)	4 不登校やいじめなどへの対応 (17)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (13)
		9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (17) 3位	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (13) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜男性＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		47.9	57.5	45.2	15.1	6.8	6.8	27.4	21.9	1.4	2.7
②「どちらともいえない」		22.5	31.0	15.5	23.9	29.6	5.6	14.1	19.7	23.9	4.2
③「あまり感じない・感じない」		35.9	33.3	25.6	35.9	33.3	12.8	17.9	23.1	12.8	10.3

(件)

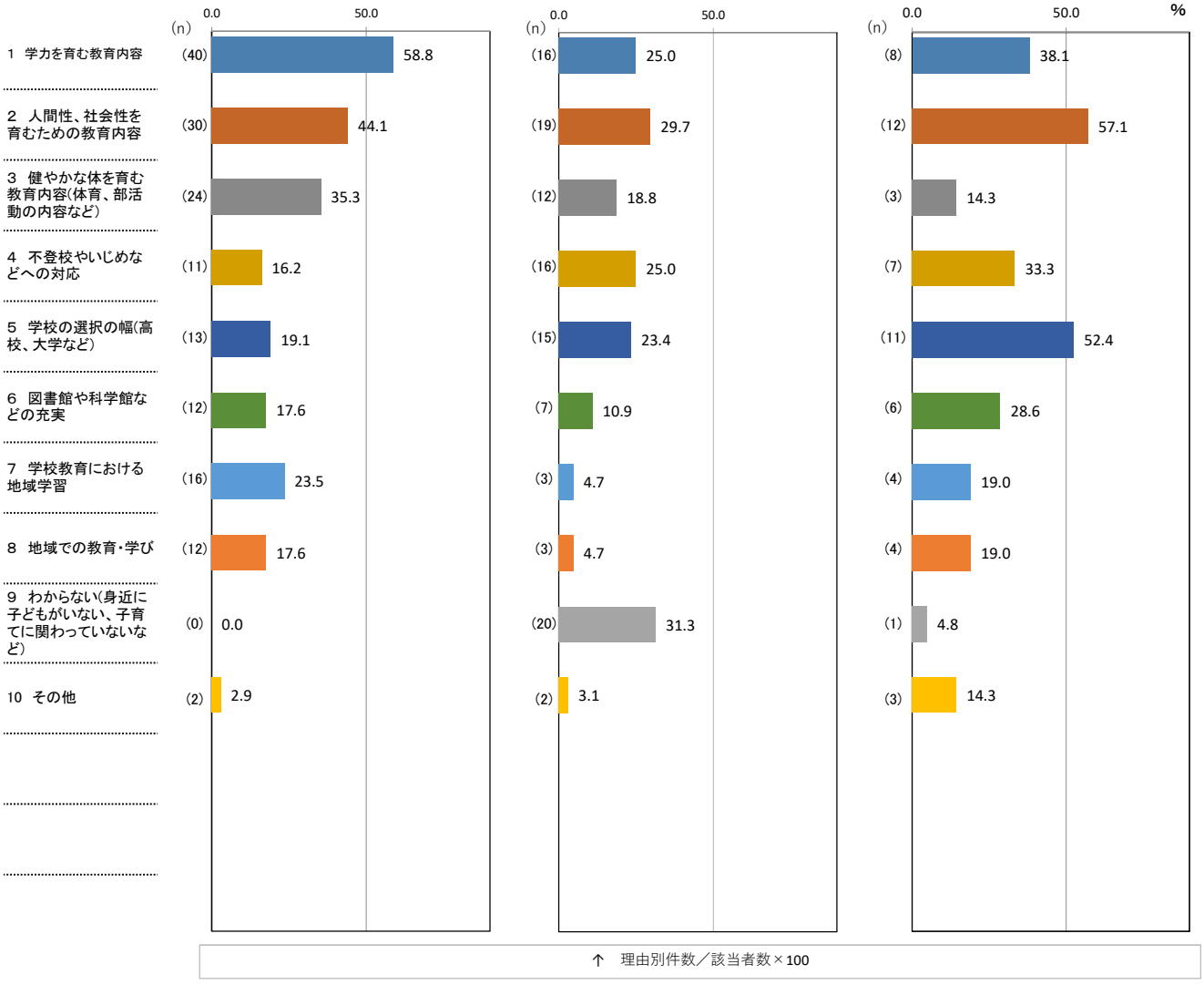
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝73人)	170	35	42	33	11	5	5	20	16	1	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝71人)	135	16	22	11	17	21	4	10	14	17	3
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数＝39人)	94	14	13	10	14	13	5	7	9	5	4

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (160) 68 人	②「どちらともいえない」の回答 (113) 64 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (59) 21 人
1	1 学力を育む教育内容 (40)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (20)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (12)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (30)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (19)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (11)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (24)	1 学力を育む教育内容 (16)	1 学力を育む教育内容 (8)
		4 不登校やいじめなどへの対応 (16) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜女性＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		58.8	44.1	35.3	16.2	19.1	17.6	23.5	17.6	0.0	2.9
②「どちらともいえない」		25.0	29.7	18.8	25.0	23.4	10.9	4.7	4.7	31.3	3.1
③「あまり感じない・感じない」		38.1	57.1	14.3	33.3	52.4	28.6	19.0	19.0	4.8	14.3

(件)

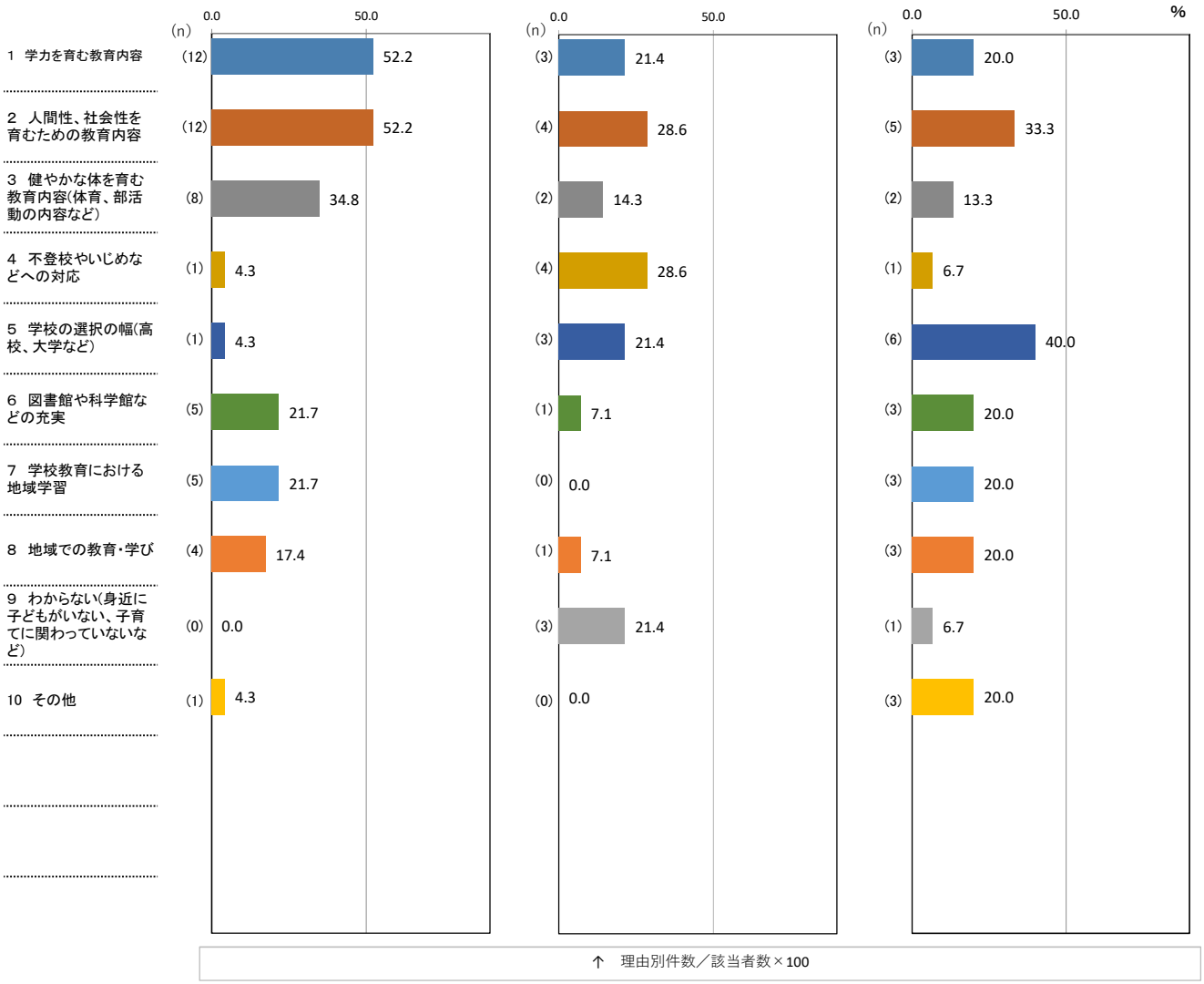
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人 (サンプル数＝68人)	160	40	30	24	11	13	12	16	12	0	2
②「どちらともいえない」の人 (サンプル数＝64人)	113	16	19	12	16	15	7	3	3	20	2
③「あまり感じない・感じない」の人 (サンプル数＝21人)	59	8	12	3	7	11	6	4	4	1	3

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜30～39歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (49) 23 人	②「どちらともいえない」の回答 (21) 14 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (30) 15 人
1	1 学力を育む教育内容 (12)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (4)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (6)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (12) 1位	4 不登校やいじめなどへの対応 (4) 1位	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (5)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (8)	1 学力を育む教育内容 (3)	1 学力を育む教育内容 (3)
		5 学校の選択の幅(高校、大学など) (3) 3位	6 図書館や科学館などの充実 (3) 3位
		9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (3) 3位	7 学校教育における地域学習 (3) 3位
			8 地域での教育・学び (3) 3位
			10 その他 (3) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜30～39歳＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		52.2	52.2	34.8	4.3	4.3	21.7	21.7	17.4	0.0	4.3
②「どちらともいえない」		21.4	28.6	14.3	28.6	21.4	7.1	0.0	7.1	21.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		20.0	33.3	13.3	6.7	40.0	20.0	20.0	20.0	6.7	20.0

(件)

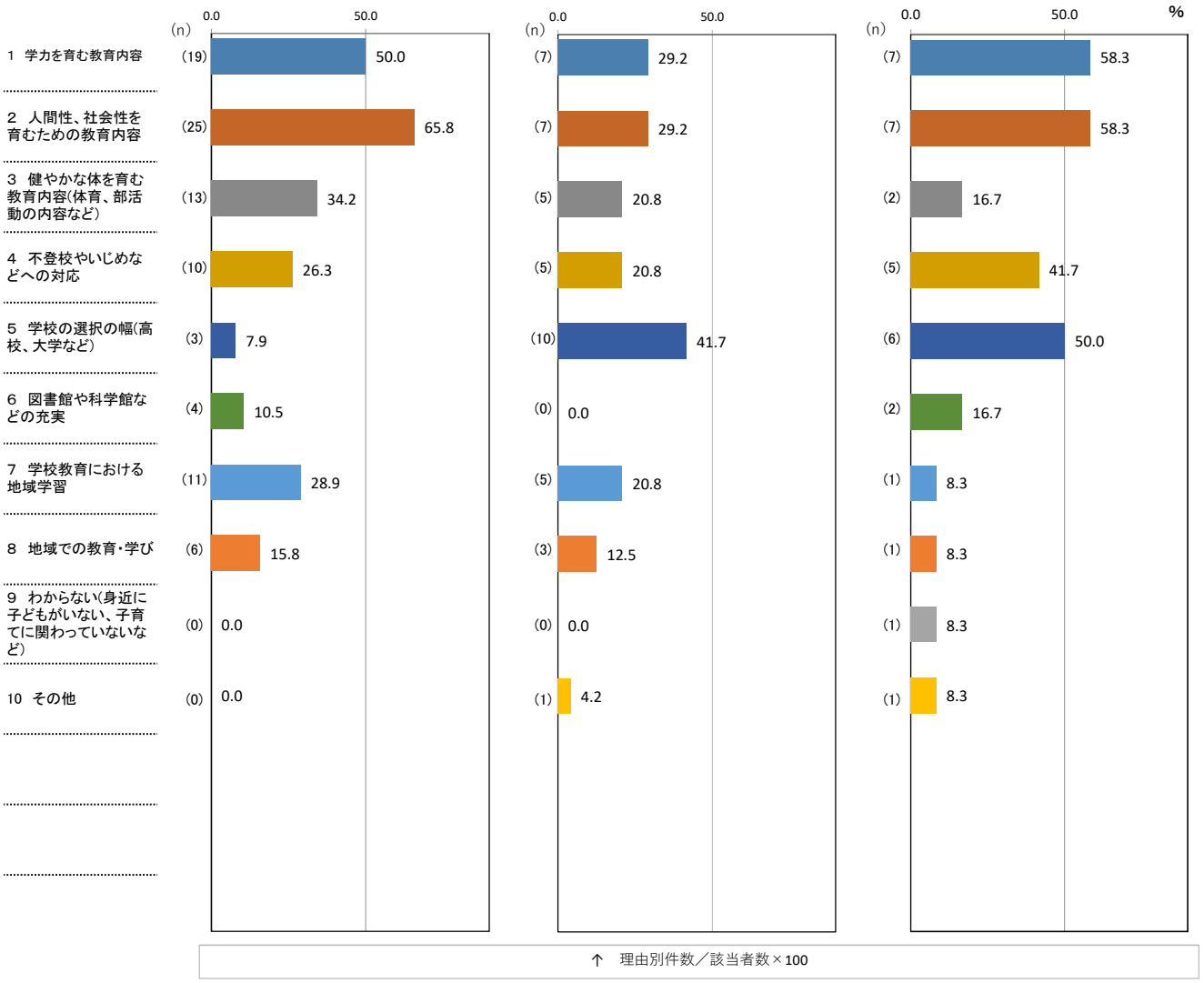
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝23人)	49	12	12	8	1	1	5	5	4	0	1
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝14人)	21	3	4	2	4	3	1	0	1	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝15人)	30	3	5	2	1	6	3	3	3	1	3

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜40～49歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (91) 38 人	②「どちらともいえない」の回答 (43) 24 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (33) 12 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (25)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (10)	1 学力を育む教育内容 (7)
2	1 学力を育む教育内容 (19)	1 学力を育む教育内容 (7)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (7) 1位
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (13)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (7) 2位	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (6)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜40～49歳＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	65.8	34.2	26.3	7.9	10.5	28.9	15.8	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		29.2	29.2	20.8	20.8	41.7	0.0	20.8	12.5	0.0	4.2
③「あまり感じない・感じない」		58.3	58.3	16.7	41.7	50.0	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3

(件)

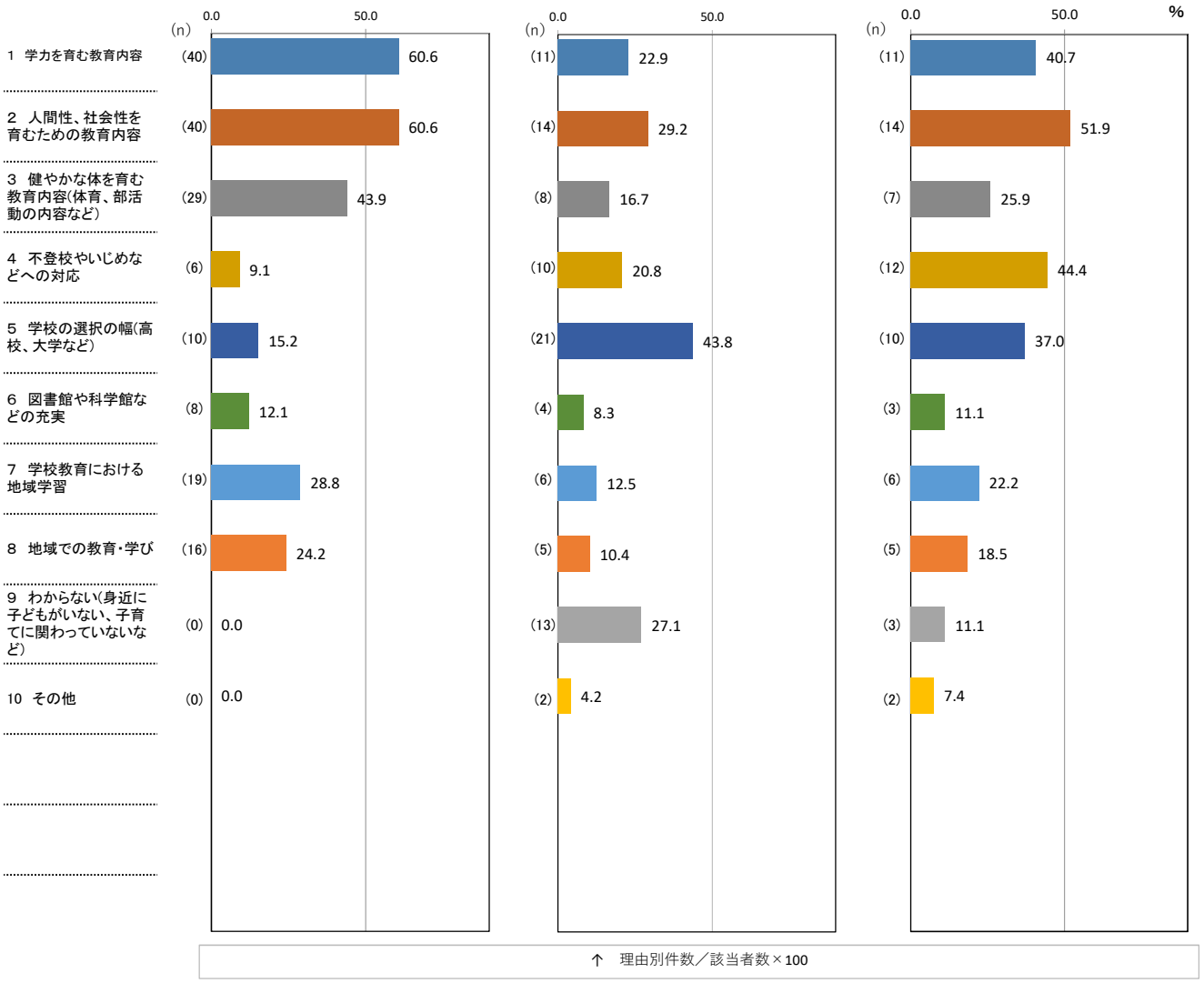
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝38人)	91	19	25	13	10	3	4	11	6	0	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝24人)	43	7	7	5	5	10	0	5	3	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝12人)	33	7	7	2	5	6	2	1	1	1	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」<常用雇用者>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (168) 66 人	②「どちらともいえない」の回答 (94) 48 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (73) 27 人
1	1 学力を育む教育内容 (40)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (21)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (14)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (40) 1位	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (14)	4 不登校やいじめなどへの対応 (12)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (29)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (13)	1 学力を育む教育内容 (11)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜常用雇用者＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		60.6	60.6	43.9	9.1	15.2	12.1	28.8	24.2	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		22.9	29.2	16.7	20.8	43.8	8.3	12.5	10.4	27.1	4.2
③「あまり感じない・感じない」		40.7	51.9	25.9	44.4	37.0	11.1	22.2	18.5	11.1	7.4

(件)

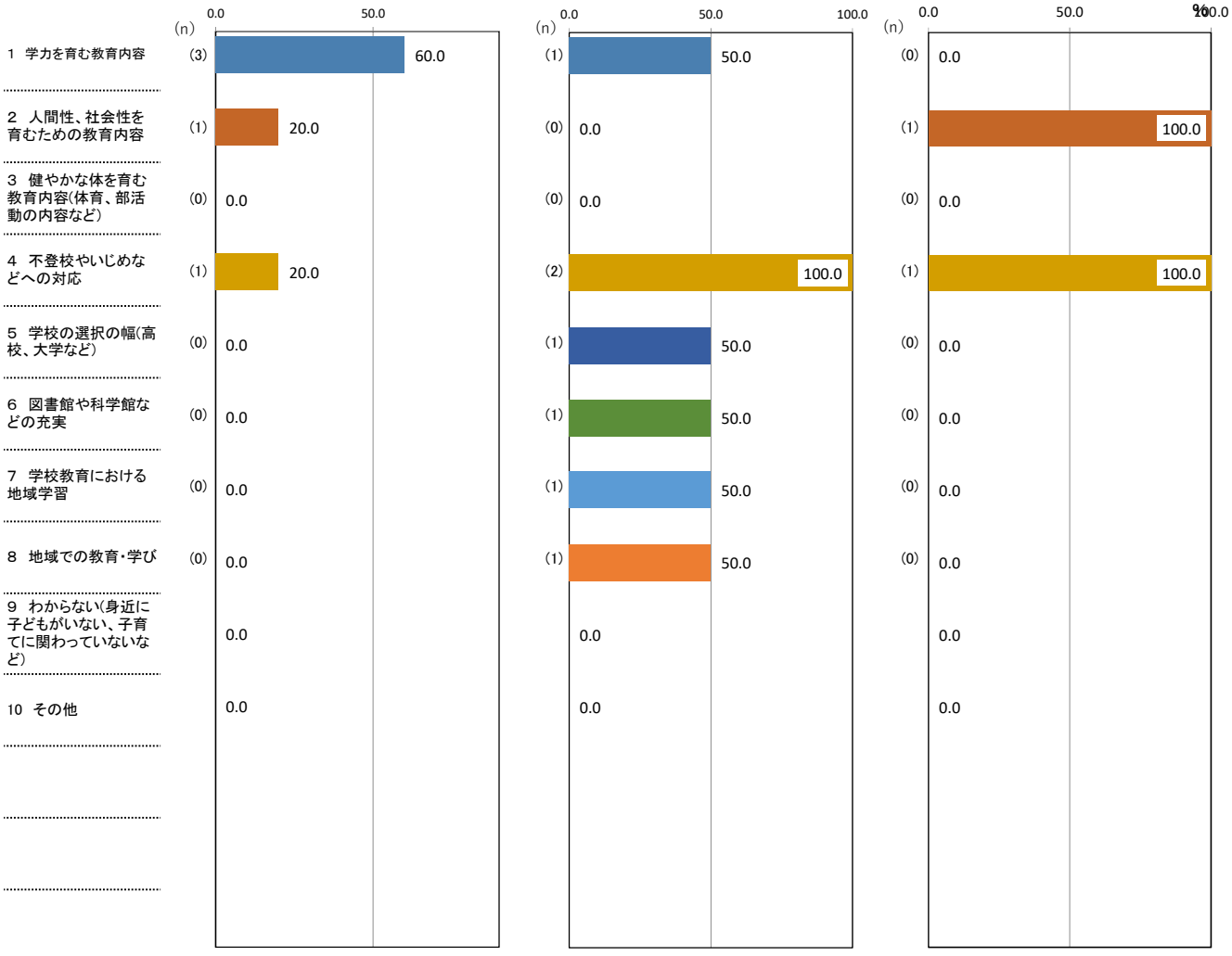
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝66人)	168	40	40	29	6	10	8	19	16	0	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝48人)	94	11	14	8	10	21	4	6	5	13	2
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝27人)	73	11	14	7	12	10	3	6	5	3	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜学生＋その他＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (5) 5 人	②「どちらともいえない」の回答 (7) 2 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (2) 1 人
1	1 学力を育む教育内容 (3)	4 不登校やいじめなどへの対応 (2)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (1)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (1)	1 学力を育む教育内容 (1)	4 不登校やいじめなどへの対応 (1) 1位
3	4 不登校やいじめなどへの対応 (1) 2位	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (1) 2位	#N/A #N/A
		6 図書館や科学館などの充実 (1) 2位	
		7 学校教育における地域学習 (1) 2位	
		8 地域での教育・学び (1) 2位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

（5） 子どもの教育についての回答理由（問1-1（5）①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜学生＋その他＞

（%）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（件）

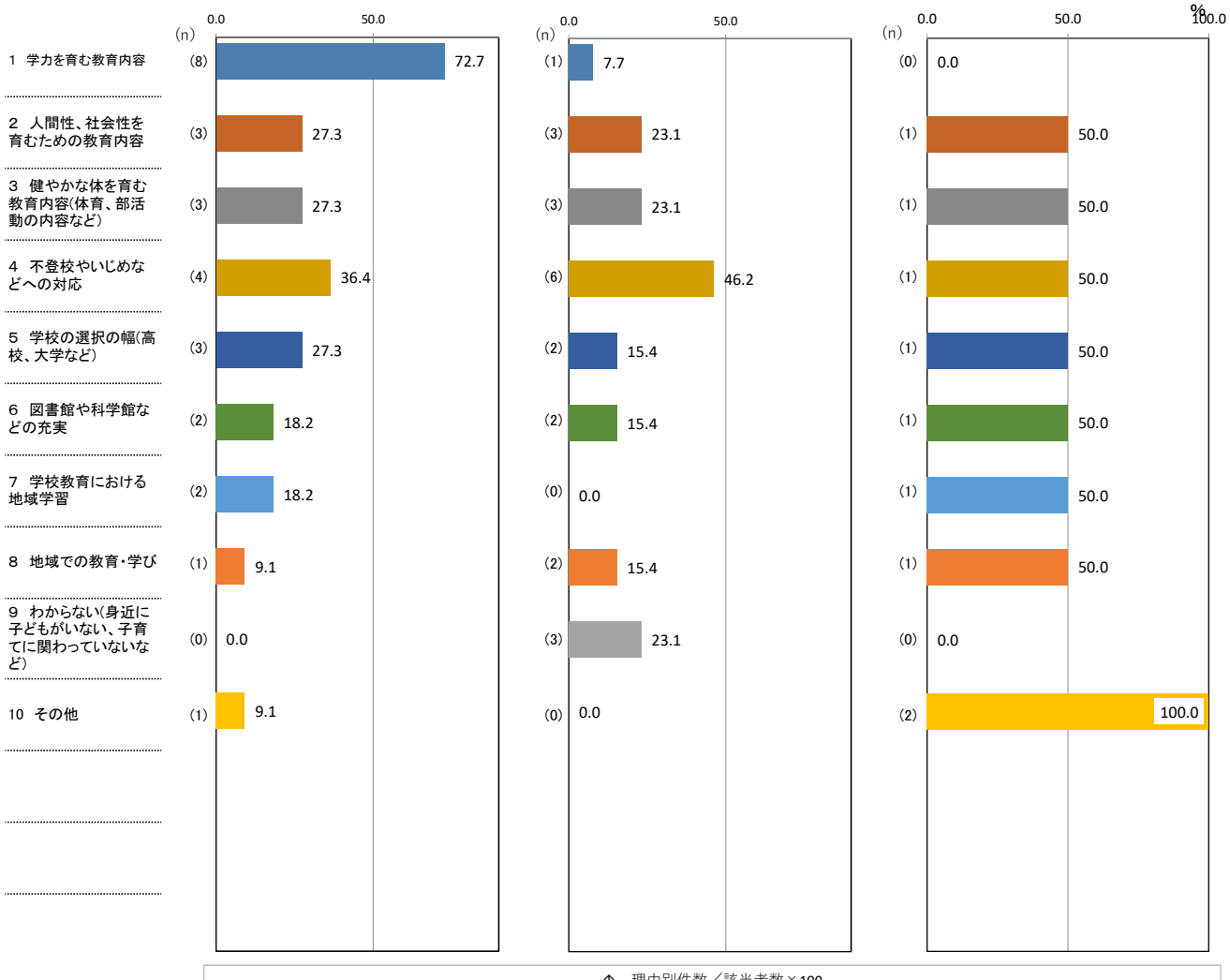
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝5人）	5	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝2人）	7	1	0	0	2	1	1	1	1	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝1人）	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜専業主婦・主夫＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (27) 11 人	②「どちらともいえない」の回答 (22) 13 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (9) 2 人
1	1 学力を育む教育内容 (8)	4 不登校やいじめなどへの対応 (6)	10 その他 (2)
2	4 不登校やいじめなどへの対応 (4)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (3)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (1) 2位
3	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (3)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (3)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (1) 2位
	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (3)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (3)	4 不登校やいじめなどへの対応 (1) 2位
	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (3)		5 学校の選択の幅(高校、大学など) (1) 2位
			6 図書館や科学館などの充実 (1) 2位
			7 学校教育における地域学習 (1) 2位
			8 地域での教育・学び (1) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜専業主婦・主夫＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		72.7	27.3	27.3	36.4	27.3	18.2	18.2	9.1	0.0	9.1
②「どちらともいえない」		7.7	23.1	23.1	46.2	15.4	15.4	0.0	15.4	23.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	100.0

(件)

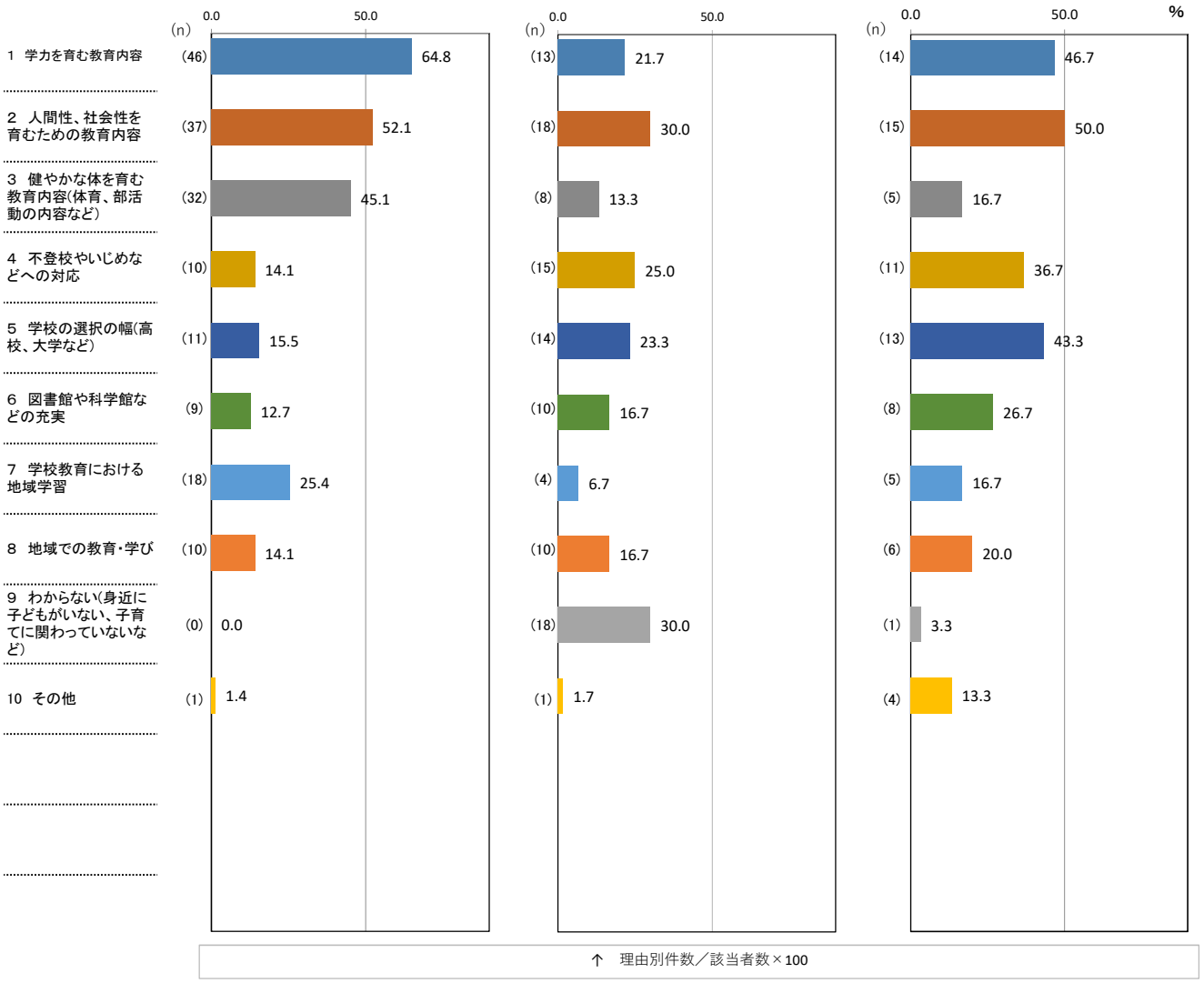
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝11人)	27	8	3	3	4	3	2	2	1	0	1
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝13人)	22	1	3	3	6	2	2	0	2	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝2人)	9	0	1	1	1	1	1	1	1	0	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜2世代世帯＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (174) 71 人	②「どちらともいえない」の回答 (111) 60 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (82) 30 人
1	1 学力を育む教育内容 (46)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (18)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (15)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (37)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (18) 1位	1 学力を育む教育内容 (14)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (32)	4 不登校やいじめなどへの対応 (15)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (13)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜2世代世帯＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		64.8	52.1	45.1	14.1	15.5	12.7	25.4	14.1	0.0	1.4
②「どちらともいえない」		21.7	30.0	13.3	25.0	23.3	16.7	6.7	16.7	30.0	1.7
③「あまり感じない・感じない」		46.7	50.0	16.7	36.7	43.3	26.7	16.7	20.0	3.3	13.3

(件)

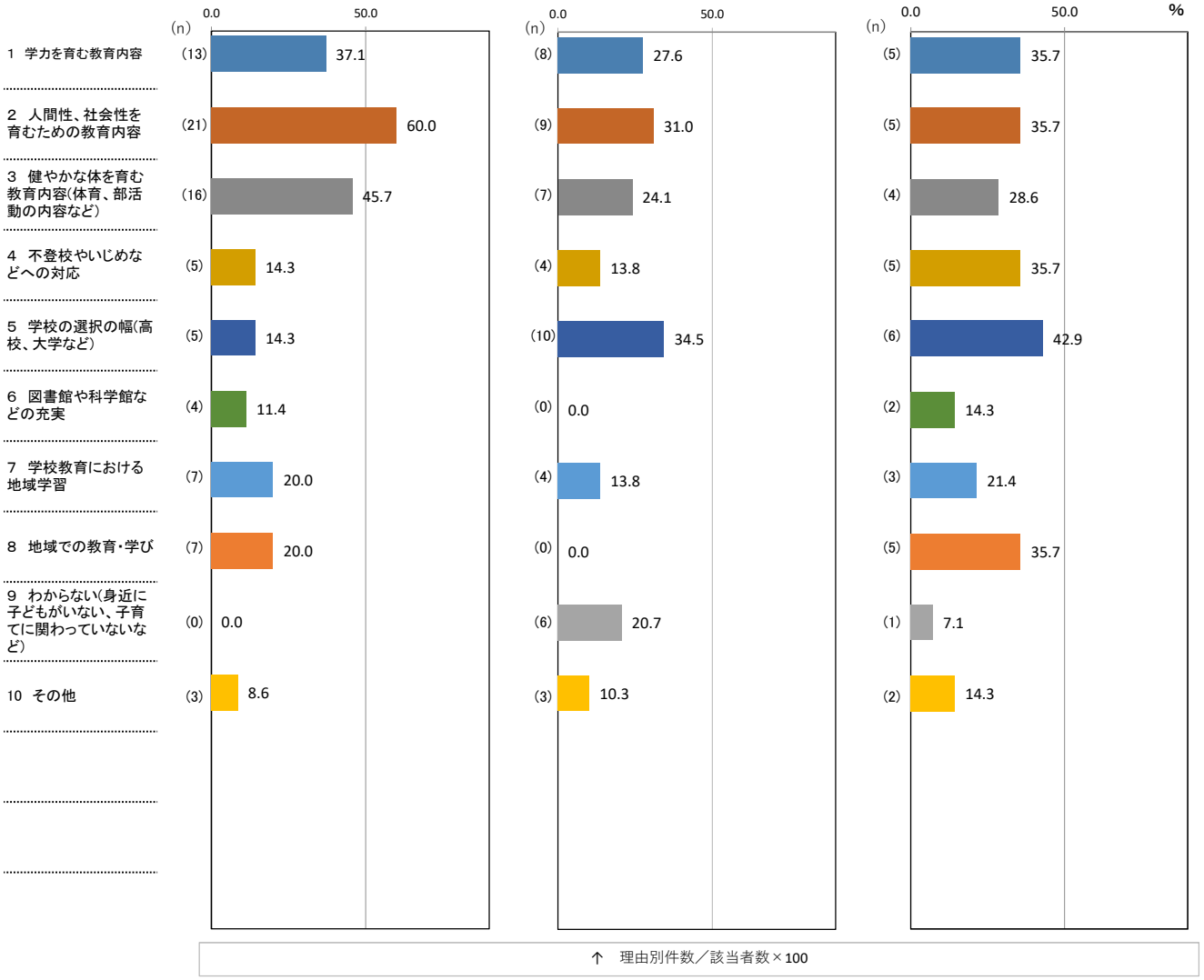
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝71人)	174	46	37	32	10	11	9	18	10	0	1
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝60人)	111	13	18	8	15	14	10	4	10	18	1
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝30人)	82	14	15	5	11	13	8	5	6	1	4

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」<3世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (81) 35 人	②「どちらともいえない」の回答 (51) 29 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (38) 14 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (21)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (10)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (6)
2	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (16)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (9)	1 学力を育む教育内容 (5)
3	1 学力を育む教育内容 (13)	1 学力を育む教育内容 (8)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 2位 (5)
			4 不登校やいじめなどへの対応 2位 (5)
			8 地域での教育・学び 2位 (5)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜3世代世帯＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		37.1	60.0	45.7	14.3	14.3	11.4	20.0	20.0	0.0	8.6
②「どちらともいえない」		27.6	31.0	24.1	13.8	34.5	0.0	13.8	0.0	20.7	10.3
③「あまり感じない・感じない」		35.7	35.7	28.6	35.7	42.9	14.3	21.4	35.7	7.1	14.3

(件)

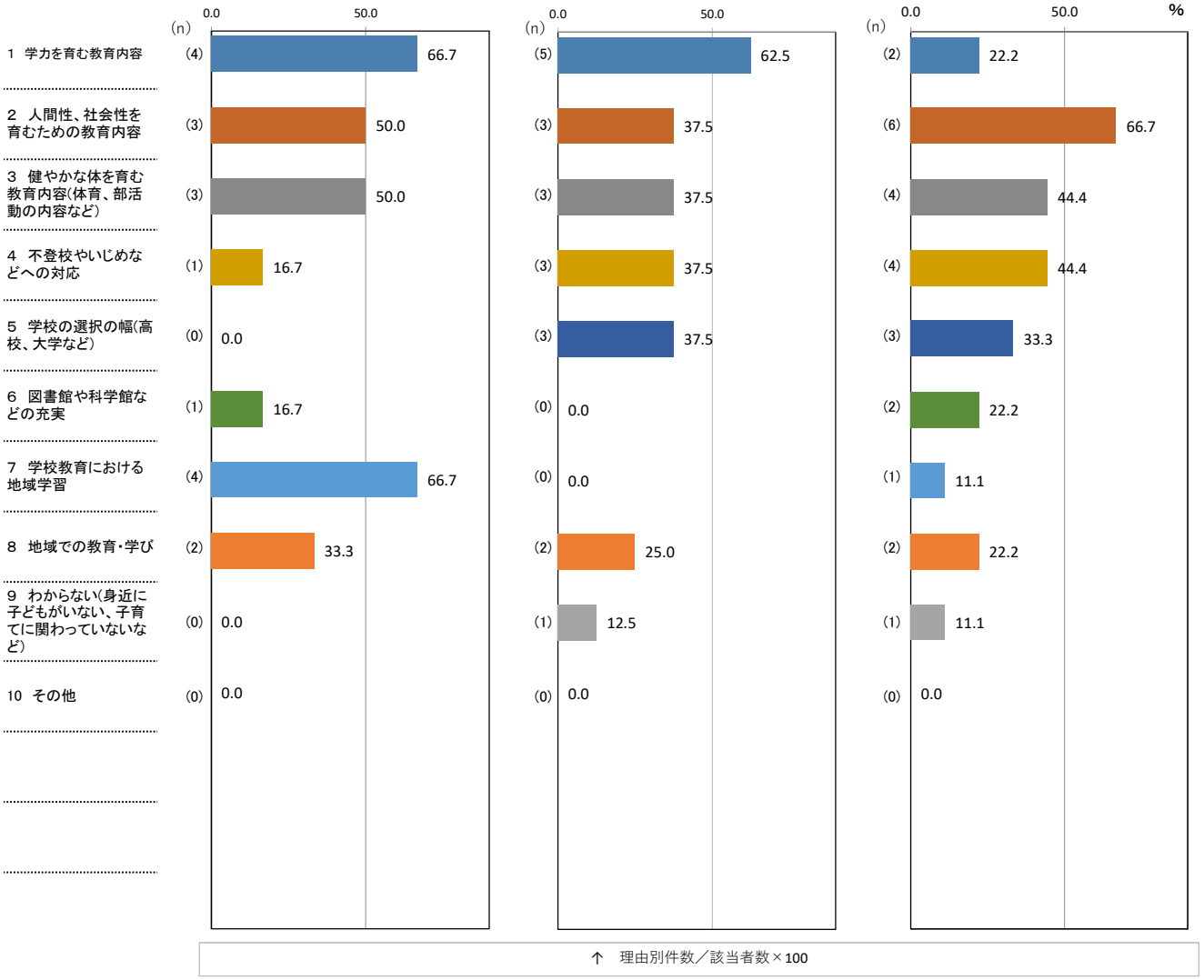
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝35人)	81	13	21	16	5	5	4	7	7	0	3
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝29人)	51	8	9	7	4	10	0	4	0	6	3
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝14人)	38	5	5	4	5	6	2	3	5	1	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」<その他世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (18) 6 人	②「どちらともいえない」の回答 (20) 8 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (25) 9 人
1	1 学力を育む教育内容 (4)	1 学力を育む教育内容 (5)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (6)
2	7 学校教育における地域学習 (4) 1位	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (3)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (4)
3	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (3)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (3) 2位	4 不登校やいじめなどへの対応 (4) 2位
	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (3) 3位	4 不登校やいじめなどへの対応 (3) 2位	
		5 学校の選択の幅(高校、大学など) (3) 2位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜その他世帯＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		66.7	50.0	50.0	16.7	0.0	16.7	66.7	33.3	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		62.5	37.5	37.5	37.5	37.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		22.2	66.7	44.4	44.4	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0

(件)

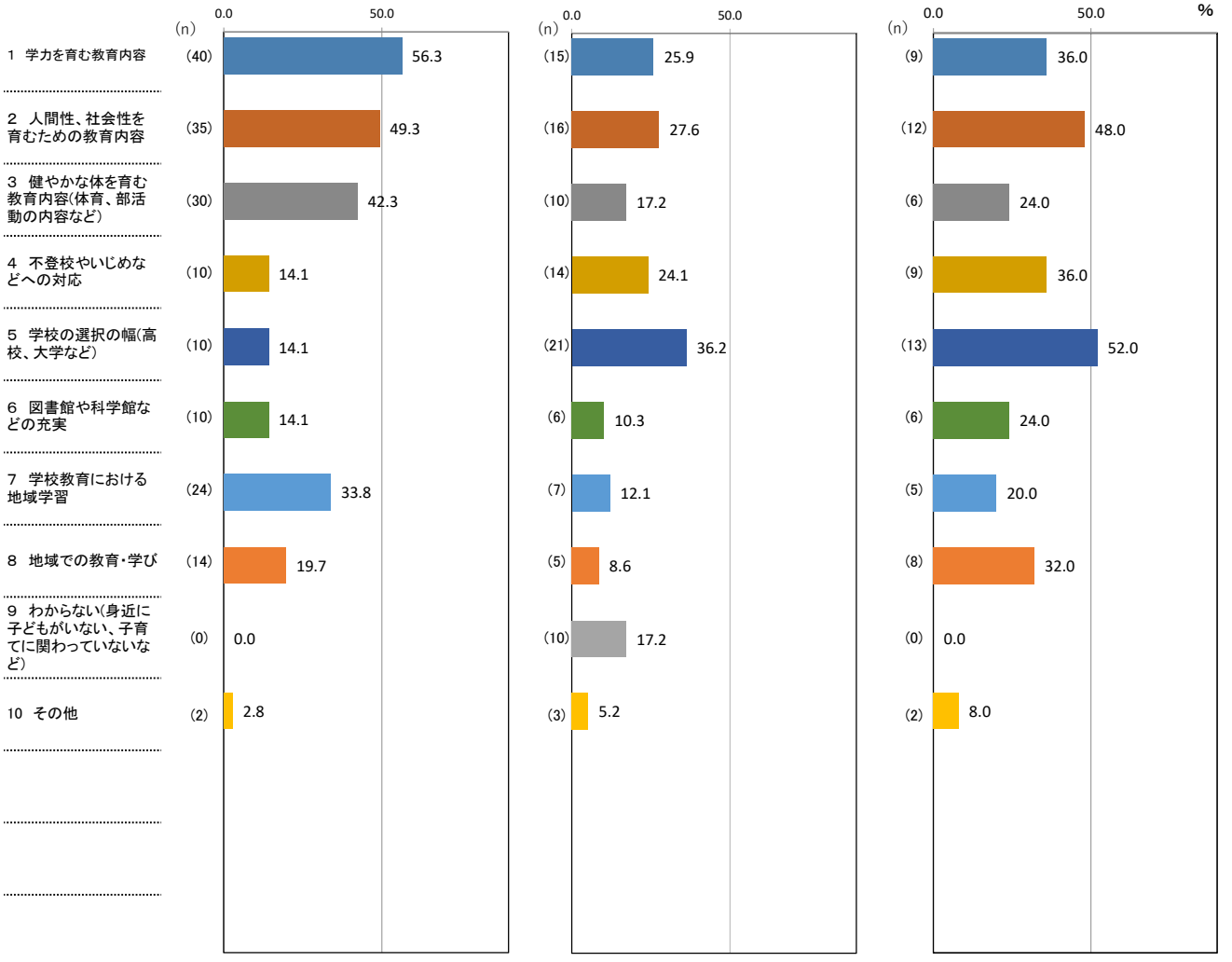
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝6人)	18	4	3	3	1	0	1	4	2	0	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝8人)	20	5	3	3	3	3	0	0	2	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝9人)	25	2	6	4	4	3	2	1	2	1	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」<子の人数2人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (175) 71 人	②「どちらともいえない」の回答 (107) 58 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (70) 25 人
1	1 学力を育む教育内容 (40)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (21)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (13)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (35)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (16)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (12)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (30)	1 学力を育む教育内容 (15)	1 学力を育む教育内容 (9)
			4 不登校やいじめなどへの対応 (9) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子の人数2人＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		56.3	49.3	42.3	14.1	14.1	14.1	33.8	19.7	0.0	2.8
②「どちらともいえない」		25.9	27.6	17.2	24.1	36.2	10.3	12.1	8.6	17.2	5.2
③「あまり感じない・感じない」		36.0	48.0	24.0	36.0	52.0	24.0	20.0	32.0	0.0	8.0

(件)

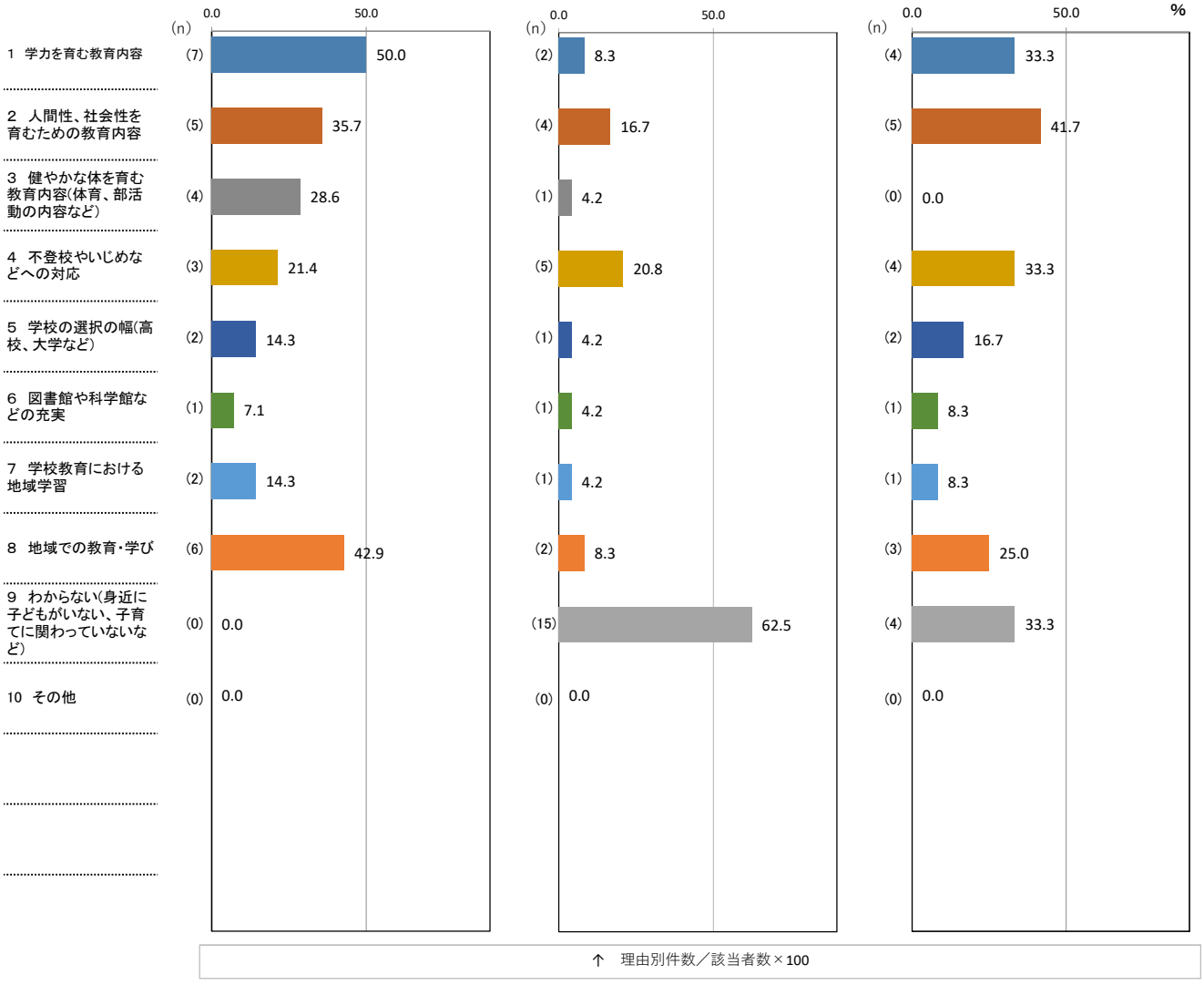
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝71人)	175	40	35	30	10	10	10	24	14	0	2
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝58人)	107	15	16	10	14	21	6	7	5	10	3
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝25人)	70	9	12	6	9	13	6	5	8	0	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜子どもはいない＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (30) 14 人	②「どちらともいえない」の回答 (32) 24 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (24) 12 人
1	1 学力を育む教育内容 (7)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (15)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (5)
2	8 地域での教育・学び (6)	4 不登校やいじめなどへの対応 (5)	1 学力を育む教育内容 (4)
3	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (5)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (4)	4 不登校やいじめなどへの対応 (4) 2位
			9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (4) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜子どもはいない＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	35.7	28.6	21.4	14.3	7.1	14.3	42.9	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		8.3	16.7	4.2	20.8	4.2	4.2	4.2	8.3	62.5	0.0
③「あまり感じない・感じない」		33.3	41.7	0.0	33.3	16.7	8.3	8.3	25.0	33.3	0.0

(件)

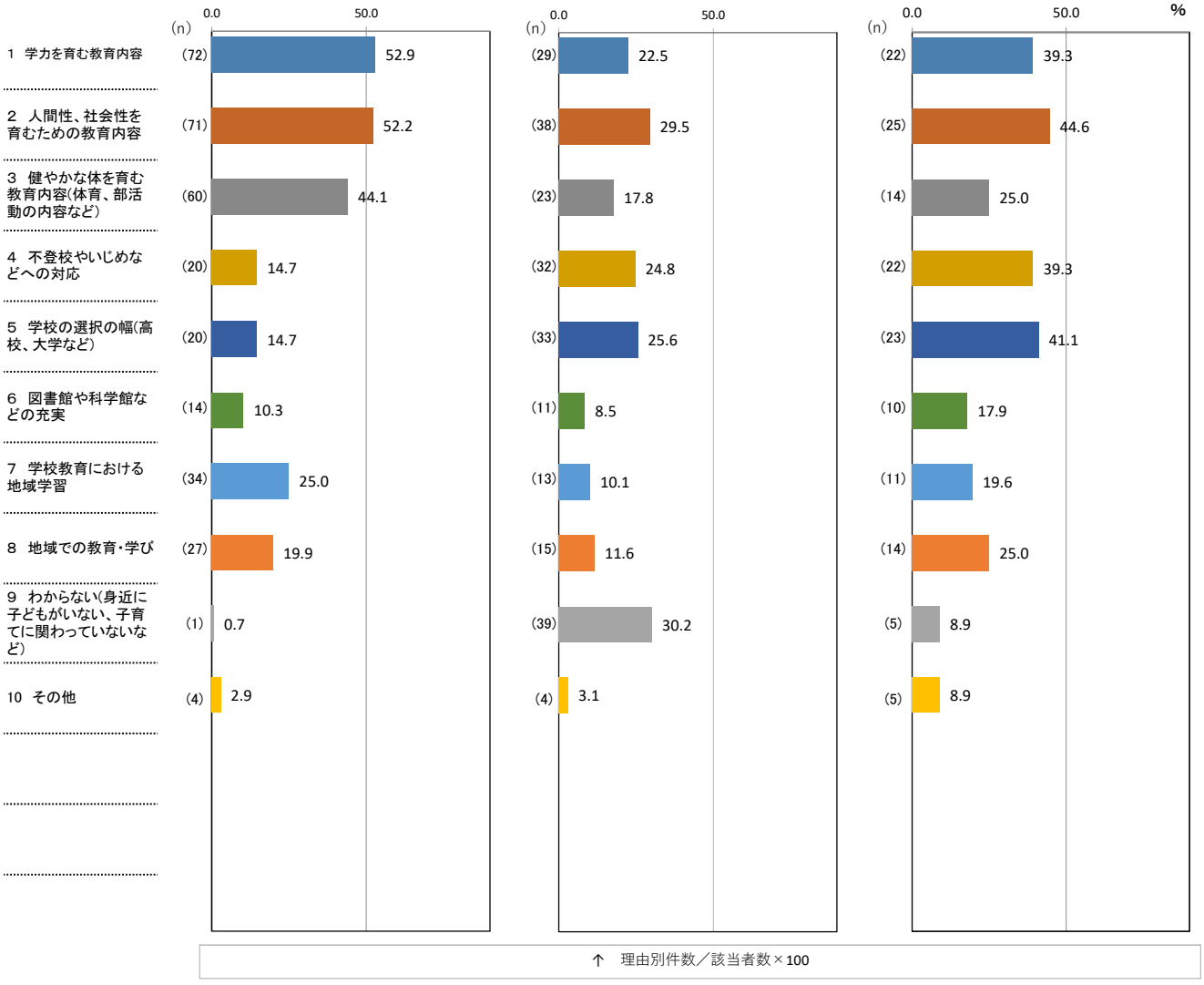
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝14人)	30	7	5	4	3	2	1	2	6	0	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝24人)	32	2	4	1	5	1	1	1	2	15	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝12人)	24	4	5	0	4	2	1	1	3	4	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (323) 136 人	②「どちらともいえない」の回答 (237) 129 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (151) 56 人
1	1 学力を育む教育内容 (72)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (39)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (25)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (71)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (38)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (23)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (60)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (33)	1 学力を育む教育内容 (22)
			4 不登校やいじめなどへの対応 (22) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜居住年数20年以上＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		52.9	52.2	44.1	14.7	14.7	10.3	25.0	19.9	0.7	2.9
②「どちらともいえない」		22.5	29.5	17.8	24.8	25.6	8.5	10.1	11.6	30.2	3.1
③「あまり感じない・感じない」		39.3	44.6	25.0	39.3	41.1	17.9	19.6	25.0	8.9	8.9

(件)

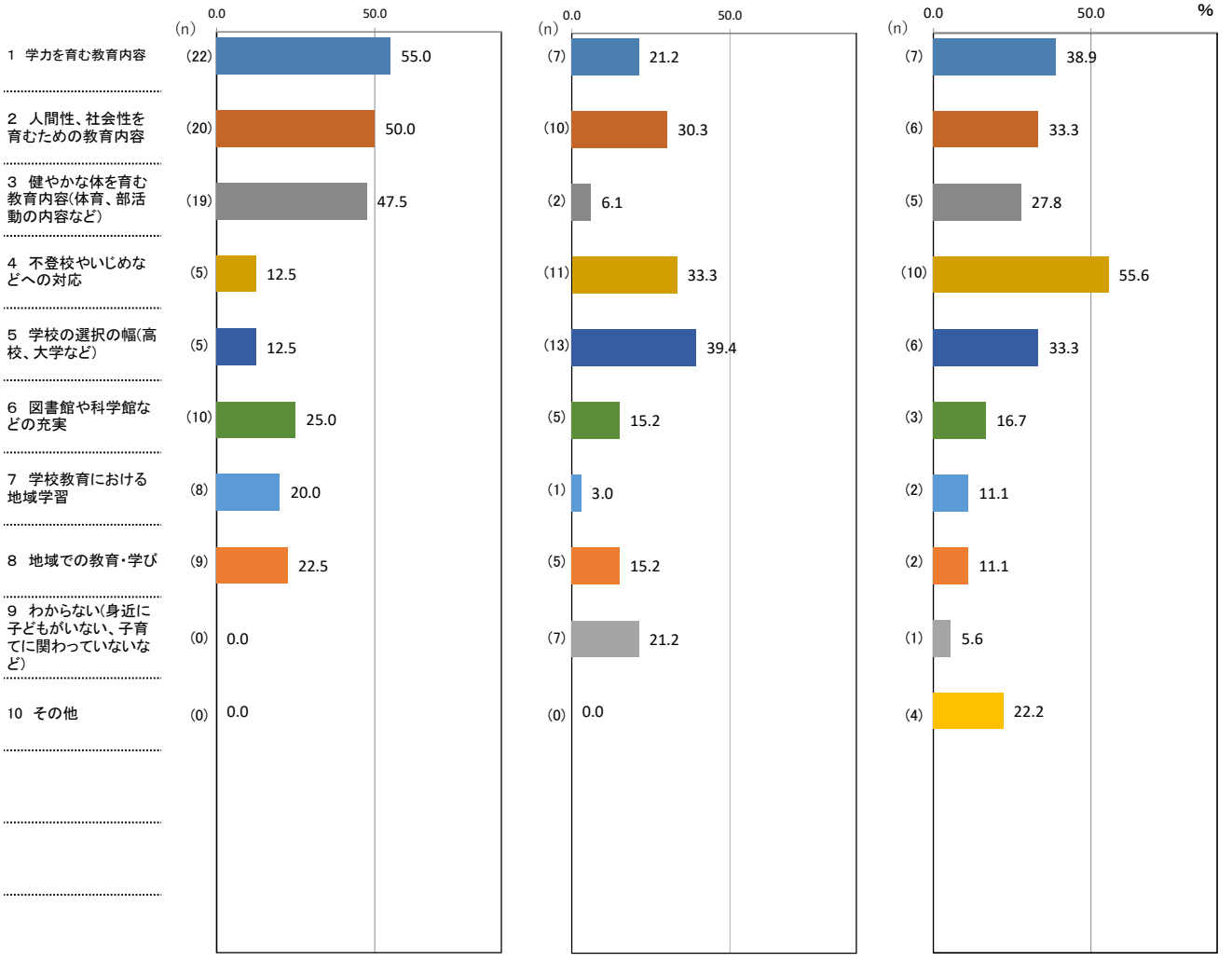
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝136人)	323	72	71	60	20	20	14	34	27	1	4
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝129人)	237	29	38	23	32	33	11	13	15	39	4
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝56人)	151	22	25	14	22	23	10	11	14	5	5

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (98) 40 人	②「どちらともいえない」の回答 (61) 33 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (46) 18 人
1	1 学力を育む教育内容 (22)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (13)	4 不登校やいじめなどへの対応 (10)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (20)	4 不登校やいじめなどへの対応 (11)	1 学力を育む教育内容 (7)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (19)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (10)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (6)
			5 学校の選択の幅(高校、大学など) (6) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜県央広域振興圏＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		55.0	50.0	47.5	12.5	12.5	25.0	20.0	22.5	0.0	0.0
②「どちらともいえない」		21.2	30.3	6.1	33.3	39.4	15.2	3.0	15.2	21.2	0.0
③「あまり感じない・感じない」		38.9	33.3	27.8	55.6	33.3	16.7	11.1	11.1	5.6	22.2

(件)

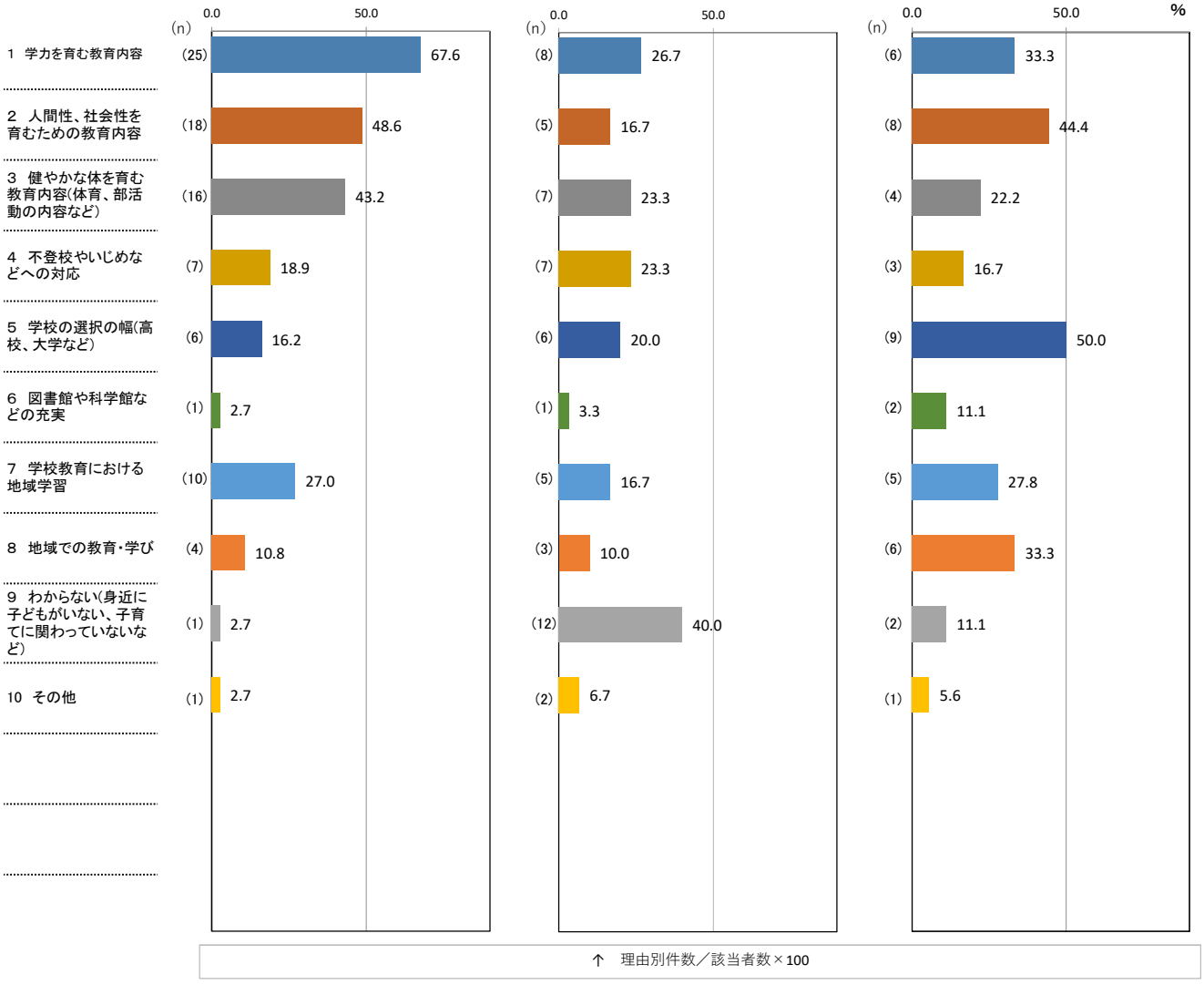
区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝40人)	98	22	20	19	5	5	10	8	9	0	0
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝33人)	61	7	10	2	11	13	5	1	5	7	0
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝18人)	46	7	6	5	10	6	3	2	2	1	4

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「子どもの教育」＜沿岸広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (89) 37 人	②「どちらともいえない」の回答 (56) 30 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (46) 18 人
1	1 学力を育む教育内容 (25)	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど) (12)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (9)
2	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (18)	1 学力を育む教育内容 (8)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (8)
3	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (16)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (7)	1 学力を育む教育内容 (6)
		4 不登校やいじめなどへの対応 (7) 3位	8 地域での教育・学び (6) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
(5) 子どもの教育についての回答理由(問1-1(5)①「あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

＜沿岸広域振興圏＞

(%)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「感じる・やや感じる」		67.6	48.6	43.2	18.9	16.2	2.7	27.0	10.8	2.7	2.7
②「どちらともいえない」		26.7	16.7	23.3	23.3	20.0	3.3	16.7	10.0	40.0	6.7
③「あまり感じない・感じない」		33.3	44.4	22.2	16.7	50.0	11.1	27.8	33.3	11.1	5.6

(件)

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人(サンプル数＝37人)	89	25	18	16	7	6	1	10	4	1	1
②「どちらともいえない」の人(サンプル数＝30人)	56	8	5	7	7	6	1	5	3	12	2
③「あまり感じない・感じない」の人(サンプル数＝18人)	46	6	8	4	3	9	2	5	6	2	1

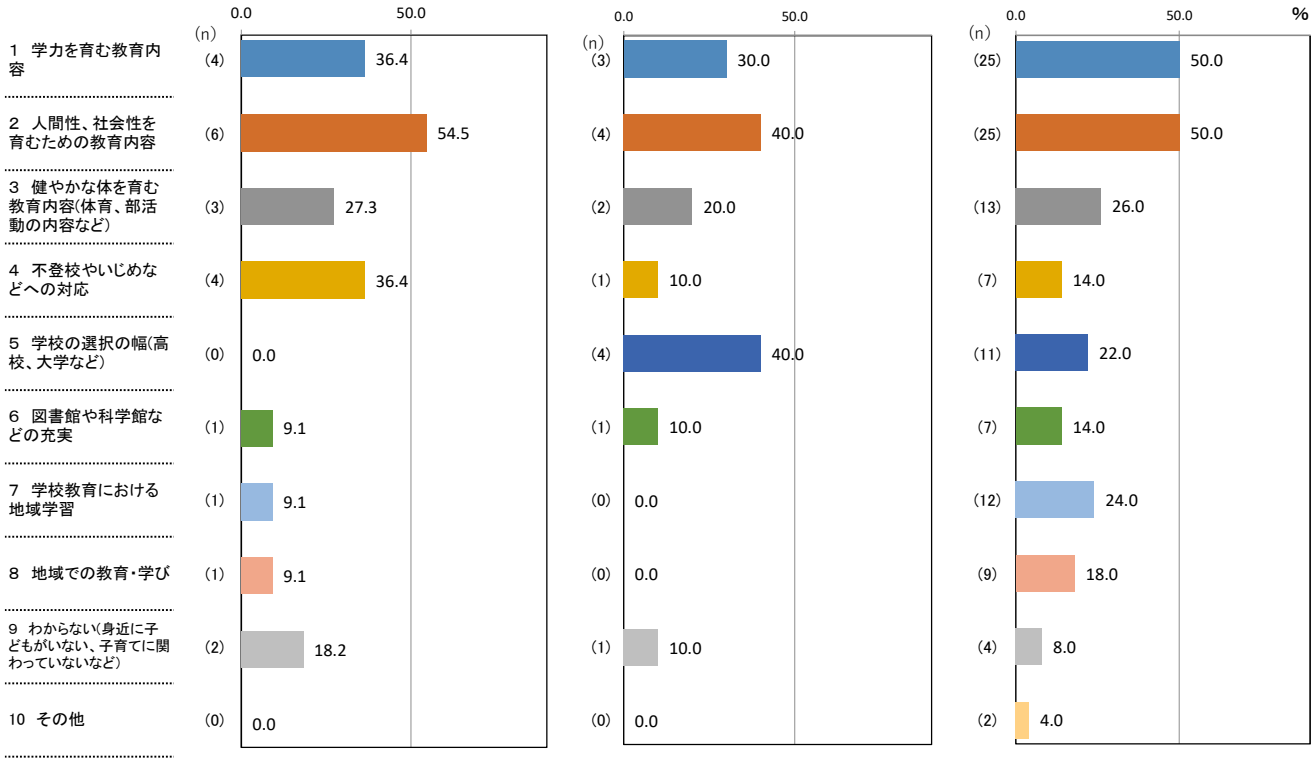
【補足調査】(実感変動とコロナ実感)

分野別実感の回答結果「子どもの教育」(実感上昇)

上位3項目	①「よい影響を感じる」の回答 (22) 11 人	②「どちらともいえない」の回答 (16) 10 人	③「よくない影響を感じる」の回答 (115) 50 人
1	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (6)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (4)	1 学力を育む教育内容 (25)
2	1 学力を育む教育内容 (4)	5 学校の選択の幅(高校、大学など) (4)	2 人間性、社会性を育むための教育内容 (25)
3	4 不登校やいじめなどへの対応 (4)	1 学力を育む教育内容 (3)	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など) (13)

2位　1位　1位

( )内の数字は件数。



↑　理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（5）「子どもの教育」において実感が上昇している人の新型コロナウイルス感染症の影響に係る回答理由

（%）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「よい影響を感じる」		36.4	54.5	27.3	36.4	0.0	9.1	9.1	9.1	18.2	0.0
②「どちらともいえない」		30.0	40.0	20.0	10.0	40.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0
③「よくない影響を感じる」		50.0	50.0	26.0	14.0	22.0	14.0	24.0	18.0	8.0	4.0

（件）

区分	計	1 学力を育む教育内容	2 人間性、社会性を育むための教育内容	3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)	4 不登校やいじめなどへの対応	5 学校の選択の幅(高校、大学など)	6 図書館や科学館などの充実	7 学校教育における地域学習	8 地域での教育・学び	9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	10 その他
①「よい影響を感じる」の人（サンプル数＝3人）	22	4	6	3	4	0	1	1	1	2	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝12人）	16	3	4	2	1	4	1	0	0	1	0
③「よくない影響を感じる」の人（サンプル数＝36人）	115	25	25	13	7	11	7	12	9	4	2

8　「必要な収入や所得」の実感

①　分野別実感の概況

ア　分野別実感に係る令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

実感平均値は 2.77 点であり、基準年調査より 0.13 点上昇しています。

ｔ検定を行った結果、基準年調査に比べて有意に上昇していることから、**当該分野の実感は上昇**していると考えられます。

イ　属性別の状況

○　令和３年県民意識調査と基準年調査との比較

基準年調査と比較して有意に変化した属性は表 15 のとおりでした。

表 15　「必要な収入や所得」の実感において有意な変化があった属性と基準年差

属性		H31	R３	R3-H31
県計		2.65	2.77	0.13
性別	女性	2.61	2.79	0.18
年代	60～69 歳	2.63	2.77	0.14
職業	常用雇用者	2.72	2.86	0.13
	専業主婦・主夫	2.46	2.89	0.43
世帯構成	夫婦のみ	2.76	2.92	0.15
子の数	２人	2.71	2.86	0.16
	４人以上	2.48	2.86	0.38
居住年数	10 年未満	2.55	2.99	0.43
	10～20 年未満	2.48	3.14	0.65
	20 年以上	2.66	2.75	0.09
広域振興圏	県央広域振興圏	2.73	2.87	0.14
	県南広域振興圏	2.54	2.70	0.16
	県北広域振興圏	2.60	2.76	0.16

ウ　新型コロナウイルス感染症の影響

当該分野別実感に係る新型コロナウイルス感染症の影響に対する県民の認識を令和３年県民意識調査において把握したところ、良い影響を感じた割合は５％、良くない影響を感じた割合は 47％となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響を検討する上で、影響を受ける前の令和２年調査と影響後の令和３年調査の実感を比較すると表 16 のとおりでした。

表 16　「必要な収入や所得」の実感において有意な変化があった属性と前年差

属性		R２	R３	R3-R2
県計		2.56	2.77	0.21
性別	男性	2.55	2.75	0.20
	女性	2.58	2.79	0.22
年代	30～39 歳	2.36	2.71	0.34
	40～49 歳	2.50	2.82	0.32
	50～59 歳	2.52	2.75	0.23
	60～69 歳	2.59	2.77	0.17
	70 歳以上	2.65	2.80	0.15
職業	自営業主	2.63	2.86	0.23

	会社役員・団体役員	2.85	3.27	0.42
	常用雇用者	2.60	2.86	0.25
	臨時雇用者	2.39	2.65	0.26
	学生＋その他	2.55	2.94	0.38
	専業主婦・主夫	2.67	2.89	0.22
世帯構成	夫婦のみ	2.68	2.92	0.24
	２世代世帯	2.54	2.71	0.17
	３世代世帯	2.55	2.82	0.27
	その他世帯	2.30	2.68	0.37
子の数	１人	2.53	2.78	0.25
	２人	2.62	2.86	0.24
	３人	2.59	2.83	0.23
	子どもはいない	2.42	2.59	0.17
居住年数	10～20 年未満	2.68	3.14	0.45
	20 年以上	2.54	2.75	0.21
広域振興圏	県央広域振興圏	2.62	2.87	0.25
	県南広域振興圏	2.58	2.70	0.12
	沿岸広域振興圏	2.53	2.76	0.22
	県北広域振興圏	2.48	2.76	0.28

② 分野別実感が上昇した要因

・ 県民意識調査の結果、実感が有意に上昇した属性は、表 15 及び表 16 のとおり幅広く存在しており、特徴的な属性は確認できませんでした。

・ 補足調査で把握している「分野別実感の回答理由」については、実感が上昇した人の回答理由は以下のとおりでした。

（ア） 自分の収入・所得額(年金を含む)
（イ） 家族の収入・所得額(年金を含む)
（ウ） 生活の程度

・ 以上を踏まえ、当該分野の実感が上昇した要因は、「自分の収入・所得額(年金を含む)」、「家族の収入・所得額(年金を含む)」、「生活の程度」であると推測されます。

・ なお、**新型コロナウイルス感染症の影響について、良くない影響を感じた人であって、前年調査に比べて実感が低下した人の主な回答理由は**以下のとおりであり、**「分野別実感の回答理由」と同じ理由**でした。

（ア） 自分の収入・所得額(年金を含む)
（イ） 家族の収入・所得額(年金を含む)
（ウ） 生活の程度

(1)県民意識調査の属性別平均点について

⑩必要な収入や所得が得られていると感じますか。　　参考

		H31（基準年）	R２	R3	R3−H31（対基準年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−H31（寄与度）	R3−R2（対前年差）	有意確率	差が有意（5%水準）	R3−R2（寄与度）
県計(3,549)		2.65	2.56	2.77	0.13	0.00	**	0.13	0.21	0.00	**	0.21
性別	男性(1,561)	2.68	2.55	2.75	0.08	0.12		0.03	0.20	0.00	**	0.09
	女性(1,949)	2.61	2.58	2.79	0.18	0.00	**	0.10	0.22	0.00	**	0.12
	その他(参考)(6)		1.40	2.20					0.80	0.29		0.00
年代	18～19歳(参考)(53)	2.25	3.09	3.32	1.07	0.02	**	0.02	0.23	0.55		0.00
	20～29歳(200)	2.66	2.49	2.68	0.02	0.89		0.00	0.19	0.22		0.01
	30～39歳(320)	2.51	2.36	2.71	0.20	0.07		0.02	0.34	0.00	**	0.03
	40～49歳(499)	2.66	2.50	2.82	0.16	0.08		0.02	0.32	0.00	**	0.05
	50～59歳(604)	2.60	2.52	2.75	0.15	0.07		0.02	0.23	0.00	**	0.04
	60～69歳(766)	2.63	2.59	2.77	0.14	0.05	**	0.03	0.17	0.01	**	0.04
	70歳以上(1,009)	2.75	2.65	2.80	0.04	0.50		0.01	0.15	0.01	**	0.04
職業	自営業主(282)	2.86	2.63	2.86	0.00	0.97		0.00	0.23	0.04	**	0.02
	家族従業者(119)	2.91	2.73	2.81	▲ 0.10	0.57		▲ 0.00	0.08	0.62		0.00
	会社役員・団体役員(240)	3.05	2.85	3.27	0.22	0.09		0.01	0.42	0.00	**	0.03
	常用雇用者(1,025)	2.72	2.60	2.86	0.13	0.03	**	0.04	0.25	0.00	**	0.07
	臨時雇用者(440)	2.56	2.39	2.65	0.09	0.31		0.01	0.26	0.00	**	0.03
	学生＋その他(119)	2.80	2.55	2.94	0.14	0.48		0.00	0.38	0.04	**	0.01
	専業主婦・主夫(403)	2.46	2.67	2.89	0.43	0.00	**	0.05	0.22	0.02	**	0.03
	60歳未満の無職(参考)(77)	1.81	1.71	1.84	0.03	0.88		0.00	0.13	0.52		0.00
	60歳以上の無職(697)	2.37	2.46	2.42	0.05	0.49		0.01	▲ 0.04	0.55		▲ 0.01
世帯構成	ひとり暮らし(431)	2.65	2.57	2.75	0.11	0.30		0.01	0.19	0.06		0.02
	夫婦のみ(718)	2.76	2.68	2.92	0.15	0.03	**	0.03	0.24	0.00	**	0.05
	2世代世帯(1,437)	2.62	2.54	2.71	0.09	0.09		0.04	0.17	0.00	**	0.07
	3世代世帯(548)	2.72	2.55	2.82	0.10	0.27		0.01	0.27	0.00	**	0.04
	その他(184)	2.47	2.30	2.68	0.21	0.10		0.01	0.37	0.00	**	0.02
子の数	1人(450)	2.70	2.53	2.78	0.08	0.38		0.01	0.25	0.01	**	0.03
	2人(1,270)	2.71	2.62	2.86	0.16	0.00	**	0.06	0.24	0.00	**	0.09
	3人(682)	2.69	2.59	2.83	0.13	0.08		0.03	0.23	0.00	**	0.04
	4人以上(159)	2.48	2.58	2.86	0.38	0.01	**	0.02	0.28	0.08		0.01
	子どもはいない(802)	2.53	2.42	2.59	0.06	0.40		0.01	0.17	0.02	**	0.04
居住年数	10年未満(100)	2.55	2.92	2.99	0.43	0.04	**	0.01	0.07	0.75		0.00
	10～20年未満(145)	2.48	2.68	3.14	0.65	0.00	**	0.03	0.45	0.02	**	0.02
	20年以上(3,174)	2.66	2.54	2.75	0.09	0.01	**	0.08	0.21	0.00	**	0.19
広域振興圏	県央(1,011)	2.73	2.62	2.87	0.14	0.03	**	0.04	0.25	0.00	**	0.07
	県南(1,080)	2.54	2.58	2.70	0.16	0.01	**	0.05	0.12	0.04	**	0.04
	沿岸(833)	2.71	2.53	2.76	0.05	0.51		0.01	0.22	0.00	**	0.05
	県北(625)	2.60	2.48	2.76	0.16	0.05	**	0.03	0.28	0.00	**	0.05

（　）は、R３調査のサンプル数

(2)分野別実感の回答理由(実感変化別)

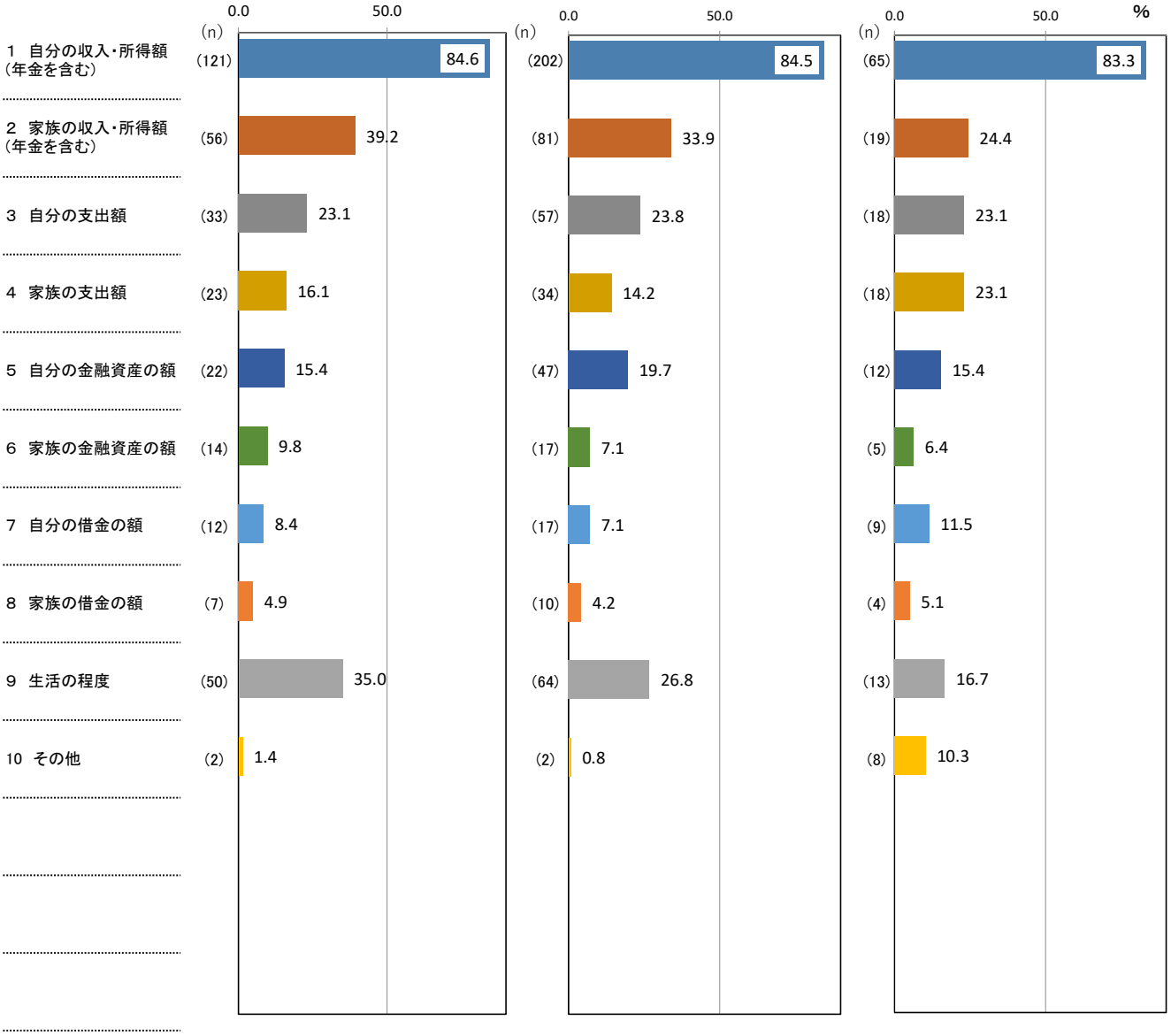
【補足調査】

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」(H31-R3)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (340) 143 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (531) 239 人	③ 実感が低下した人 の回答 (171) 78 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (121)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (202)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (65)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (56)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (81)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (19)
3	9 生活の程度 (50)	9 生活の程度 (64)	3 自分の支出額 (18)
			4 家族の支出額 (18)

3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10）「必要な収入や所得」についての回答理由（問1-1（10）①「あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人		84.6	39.2	23.1	16.1	15.4	9.8	8.4	4.9	35.0	1.4
② 実感が横ばいの人		84.5	33.9	23.8	14.2	19.7	7.1	7.1	4.2	26.8	0.8
③ 実感が低下した人		83.3	24.4	23.1	23.1	15.4	6.4	11.5	5.1	16.7	10.3

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝143人）	340	121	56	33	23	22	14	12	7	50	2
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝239人）	531	202	81	57	34	47	17	17	10	64	2
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝78人）	171	65	19	18	18	12	5	9	4	13	8

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（2名中1名記載）
・育休手当金

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（2名中2名記載）
・求職中
・パートなので少ない

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（8名中8名記載）
・子供の学費
・子供3人の学費への支出
・物価上昇、増税に生活が追いつかない
・コロナの状況では今後が不安は感じる
・パート職員
・収入と生活費（アパート代金）とのバランスが合わない

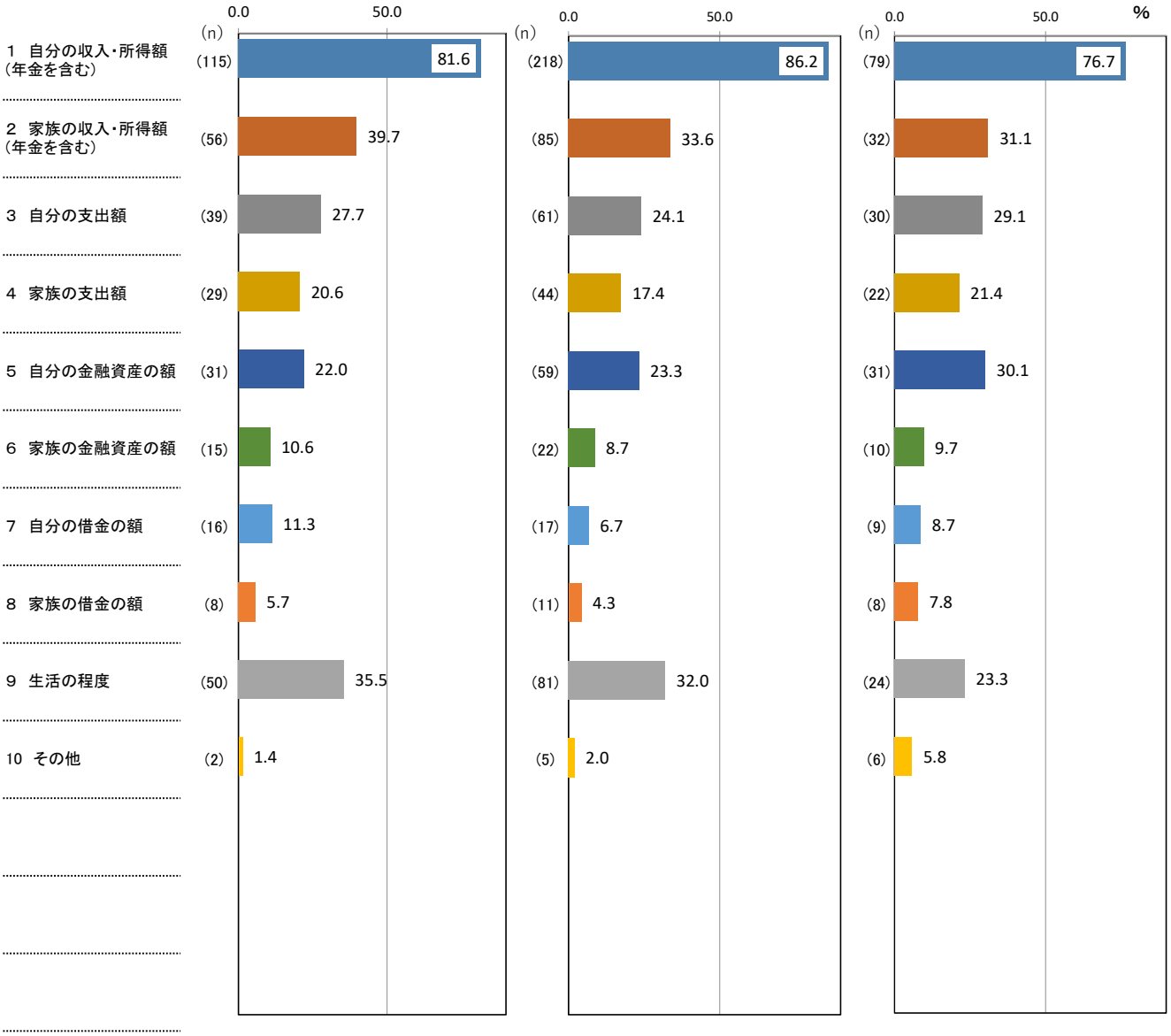
【参考】

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」(R2-H31)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (361) 141 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (603) 253 人	③ 実感が低下した人 の回答 (251) 103 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (115)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (218)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (79)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (56)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (85)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (32)
3	9 生活の程度 (50)	9 生活の程度 (81)	5 自分の金融資産の額 (31)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（9）「必要な収入や所得」についての回答理由（問1-1（2）「あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人		81.6	39.7	27.7	20.6	22.0	10.6	11.3	5.7	35.5	1.4
② 実感が横ばいの人		86.2	33.6	24.1	17.4	23.3	8.7	6.7	4.3	32.0	2.0
③ 実感が低下した人		76.7	31.1	29.1	21.4	30.1	9.7	8.7	7.8	23.3	5.8

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① ③ 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R2[2」は除く。 （サンプル数＝141人）	361	115	56	39	29	31	15	16	8	50	2
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝253人）	603	218	85	61	44	59	22	17	11	81	5
実感が低下した人 ただし、H31「5」→R2[4」は除く。 (サンプル数＝103)	251	79	32	30	22	31	10	9	8	24	6

① 実感が上昇した人の「その他」コメント（2名中2名記載）
・アルバイトでの収入。
・年金生活なので細々暮らしていかなければと思いますが年金が毎年下がっているので、なるべく年金を下げないで、老後安定した生活ができれば良いと思います。
年々、貧困の落差がでてきているのようで不安です。

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（5名中5名記載）
・岩手県の賃金の安さ、支出がそれに比例しない。
・借金がなく、当たり前の生活が出来ているので今は幸せです。
・生活が保障されている額でない。

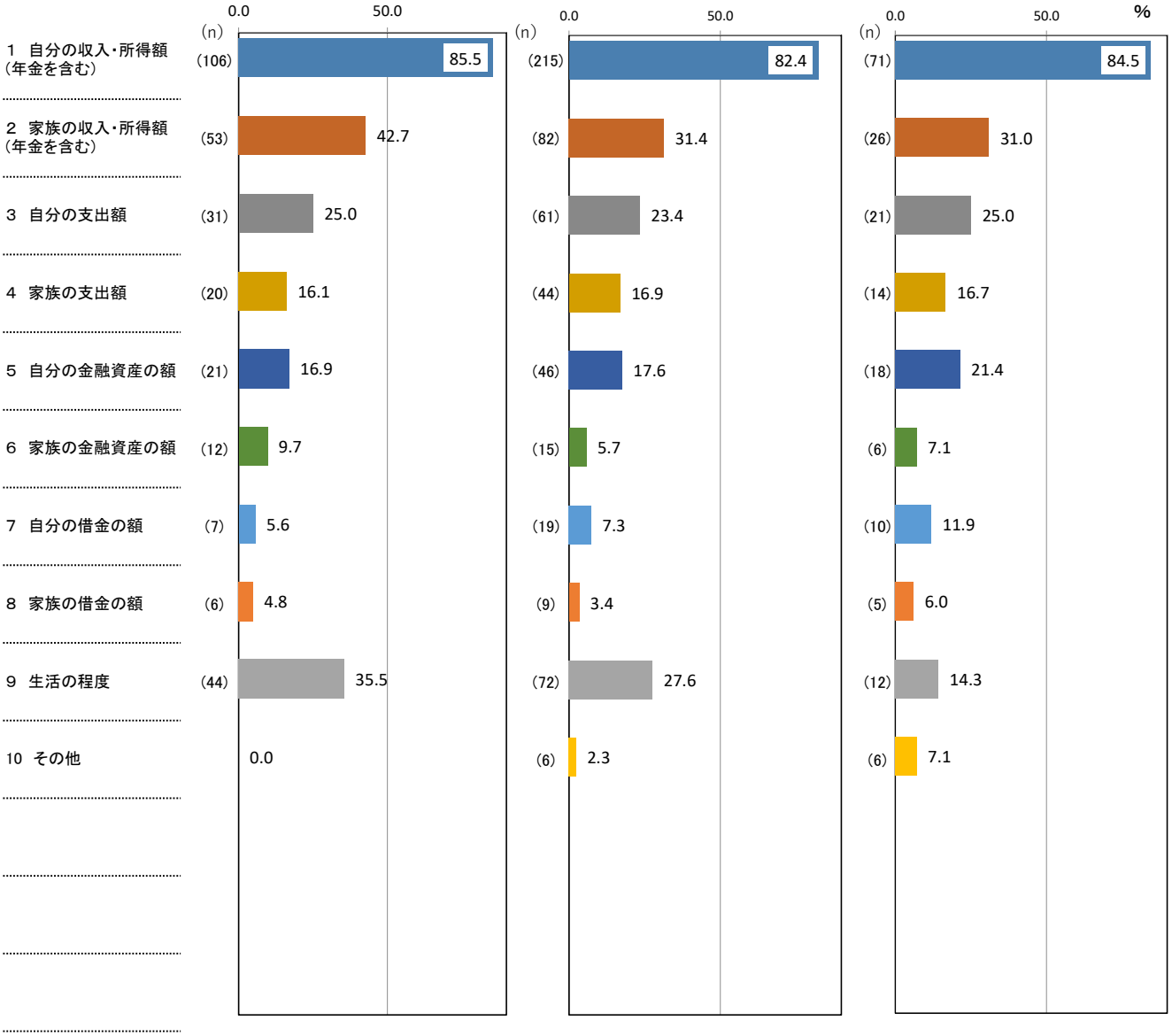
③ 実感が低下した人の「その他」コメント（6名中6名記載）
・年金65歳からもらうのを60歳に詰めたため少ない国民年金。
・収入に合った生活が大事と思っている
・パート職員
・仕事を退職したので、今の収入は障害者年金のみです。
・給料が上がるにつれ県営アパート家賃が2倍以上も上がり困る。

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」(R2-R3)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (300) 124 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (569) 261 人	③ 実感が低下した人 の回答 (189) 84 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (106)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (215)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (71)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (53)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (82)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (26)
3	9 生活の程度 (44)	9 生活の程度 (72)	3 自分の支出額 (21)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10）「必要な収入や所得」についての回答理由（問1-1（10）①「あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人		85.5	42.7	25.0	16.1	16.9	9.7	5.6	4.8	35.5	0.0
② 実感が横ばいの人		82.4	31.4	23.4	16.9	17.6	5.7	7.3	3.4	27.6	2.3
③ 実感が低下した人		84.5	31.0	25.0	16.7	21.4	7.1	11.9	6.0	14.3	7.1

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、R2「1」→R3[2」は除く。 （サンプル数＝124人）	300	106	53	31	20	21	12	7	6	44	0
② 実感が横ばいの人 （サンプル数＝261人）	569	215	82	61	44	46	15	19	9	72	6
③ 実感が低下した人 ただし、R2「5」→R3[4」は除く。 （サンプル数＝84人）	189	71	26	21	14	18	6	10	5	12	6

② 実感が横ばいの人の「その他」コメント（6名中5名記載）
・物価上昇、増税に生活が追いつかない
・パート職員
・コロナの状況では今後が不安は感じる
・パートなので少ない
・三食で大丈夫

③ 実感が低下した人の「その他」コメント（6名中5名記載）
・子供の学費
・求職中
・子供3人の学費への支出
・収入と生活費（アパート代金）とのバランスが合わない
・年金生活

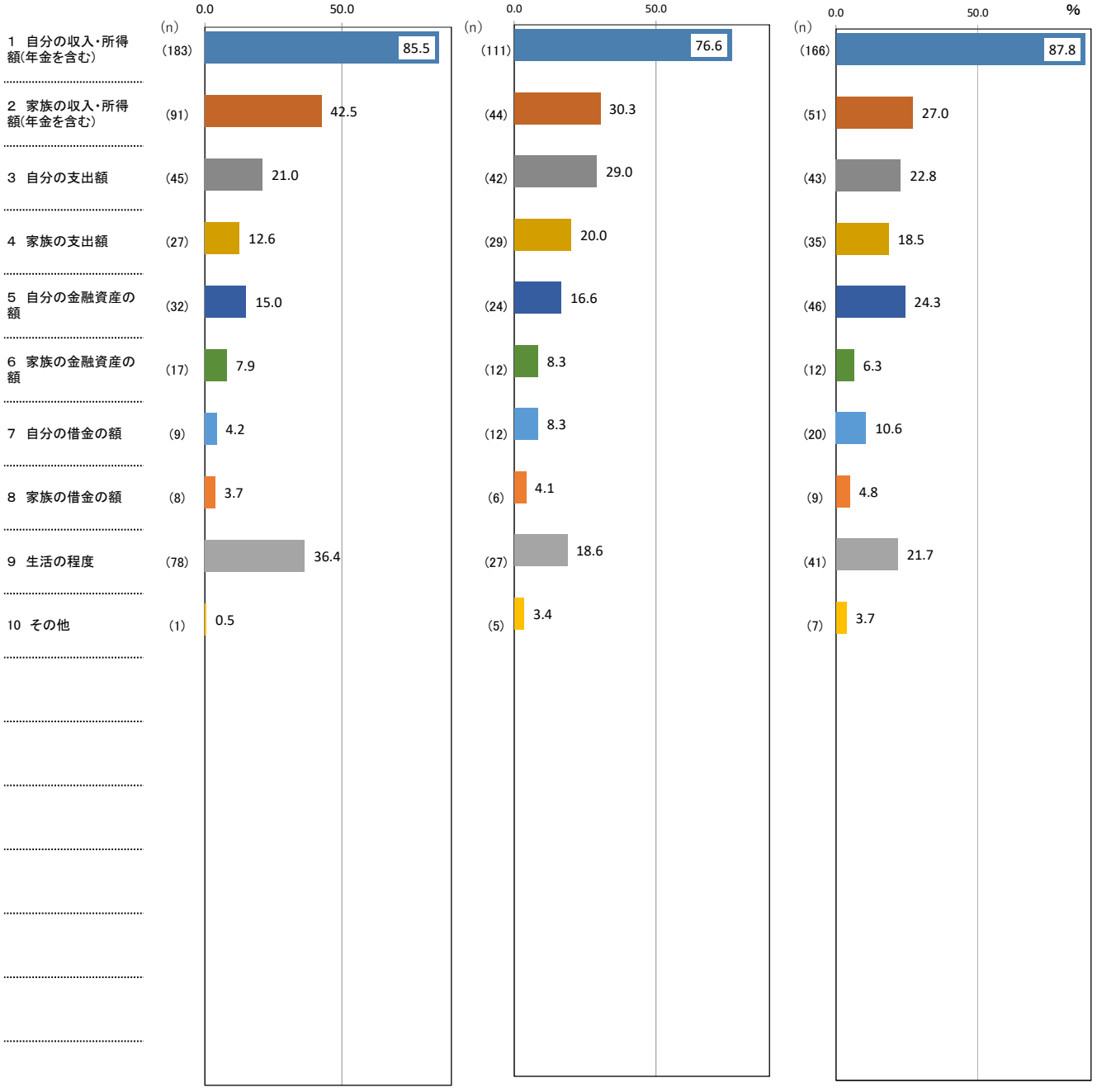
(3)分野別実感の回答結果(単純集計)

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (491) 214 人	②「どちらともいえない」の回答 (312) 145 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (430) 189 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (183)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (111)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (166)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (91)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (44)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (51)
3	9 生活の程度 (78)	3 自分の支出額 (42)	5 自分の金融資産の額 (46)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10）「必要な収入や所得」についての回答理由（問1-1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		85.5	42.5	21.0	12.6	15.0	7.9	4.2	3.7	36.4	0.5
②「どちらともいえない」		76.6	30.3	29.0	20.0	16.6	8.3	8.3	4.1	18.6	3.4
③「あまり感じない・感じない」		87.8	27.0	22.8	18.5	24.3	6.3	10.6	4.8	21.7	3.7

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝人）	491	183	91	45	27	32	17	9	8	78	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝人）	312	111	44	42	29	24	12	12	6	27	5
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝人）	430	166	51	43	35	46	12	20	9	41	7

①「感じる・やや感じる」の人の「その他」コメント（214名中1名記載）
・育休手当金

②「どちらともいえない」の人の「その他」コメント（145名中4名記載）
・子供の学費
・物価上昇、増税に生活が追いつかない
・パート職員
・コロナの状況では今後が不安は感じる

③「あまり感じない・感じない」の人の「その他」コメント（189名中7名記載）
・求職中
・仕事の内容に見合った給与額ではないと感じる。
・子供3人の学費への支出
・パートなので少ない
・収入と生活費（アパート代金）とのバランスが合わない
・年金生活
・三食で大丈夫

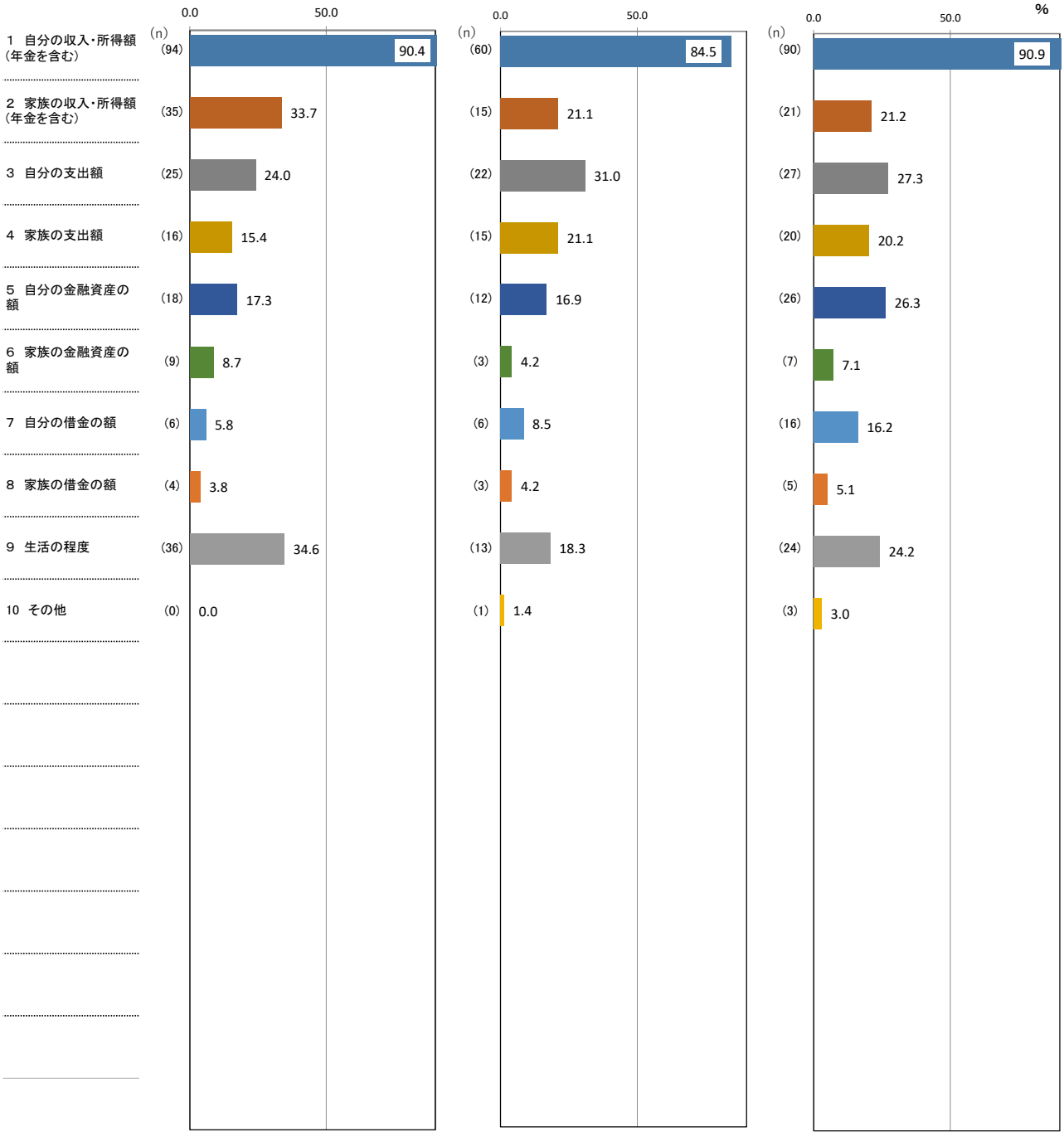
(4)分野別実感の属性別回答結果(単純集計)

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜男性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (243) 104 人	②「どちらともいえない」の回答 (150) 71 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (239) 99 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (94)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (60)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (90)
2	9 生活の程度 (36)	3 自分の支出額 (22)	3 自分の支出額 (27)
3	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (35)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (15)	5 自分の金融資産の額 (26)
		4 家族の支出額 (15)	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜男性＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		90.4	33.7	24.0	15.4	17.3	8.7	5.8	3.8	34.6	0.0
②「どちらともいえない」		84.5	21.1	31.0	21.1	16.9	4.2	8.5	4.2	18.3	1.4
③「あまり感じない・感じない」		90.9	21.2	27.3	20.2	26.3	7.1	16.2	5.1	24.2	3.0

（件）

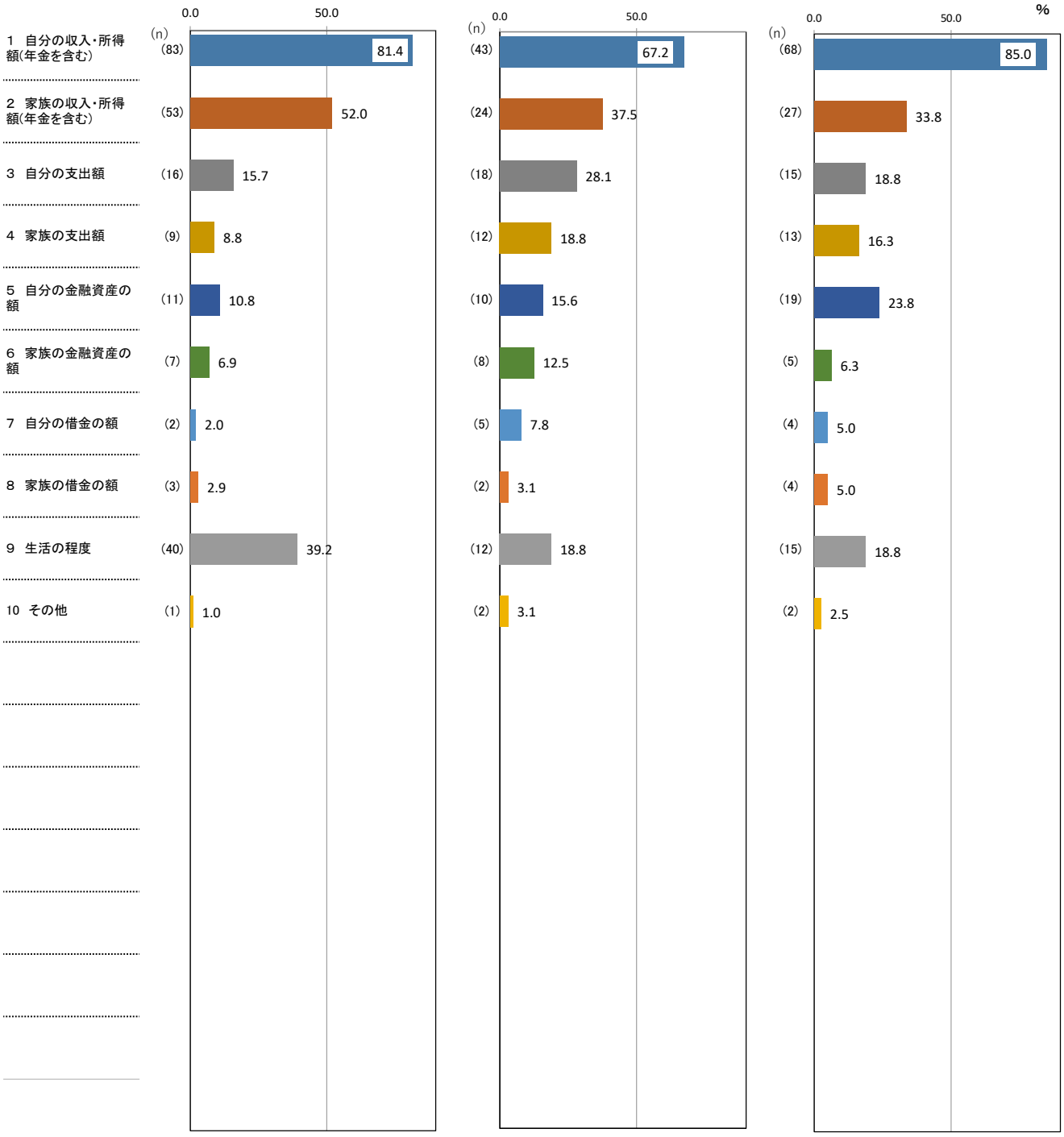
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝104人）	243	94	35	25	16	18	9	6	4	36	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝71人）	150	60	15	22	15	12	3	6	3	13	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝99人）	239	90	21	27	20	26	7	16	5	24	3

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜女性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (225) 102 人	②「どちらともいえない」の回答 (136) 64 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (172) 80 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (83)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (43)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (68)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (53)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (24)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (27)
3	9 生活の程度 (40)	3 自分の支出額 (18)	5 自分の金融資産の額 (19)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜女性＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		81.4	52.0	15.7	8.8	10.8	6.9	2.0	2.9	39.2	1.0
②「どちらともいえない」		67.2	37.5	28.1	18.8	15.6	12.5	7.8	3.1	18.8	3.1
③「あまり感じない・感じない」		85.0	33.8	18.8	16.3	23.8	6.3	5.0	5.0	18.8	2.5

（件）

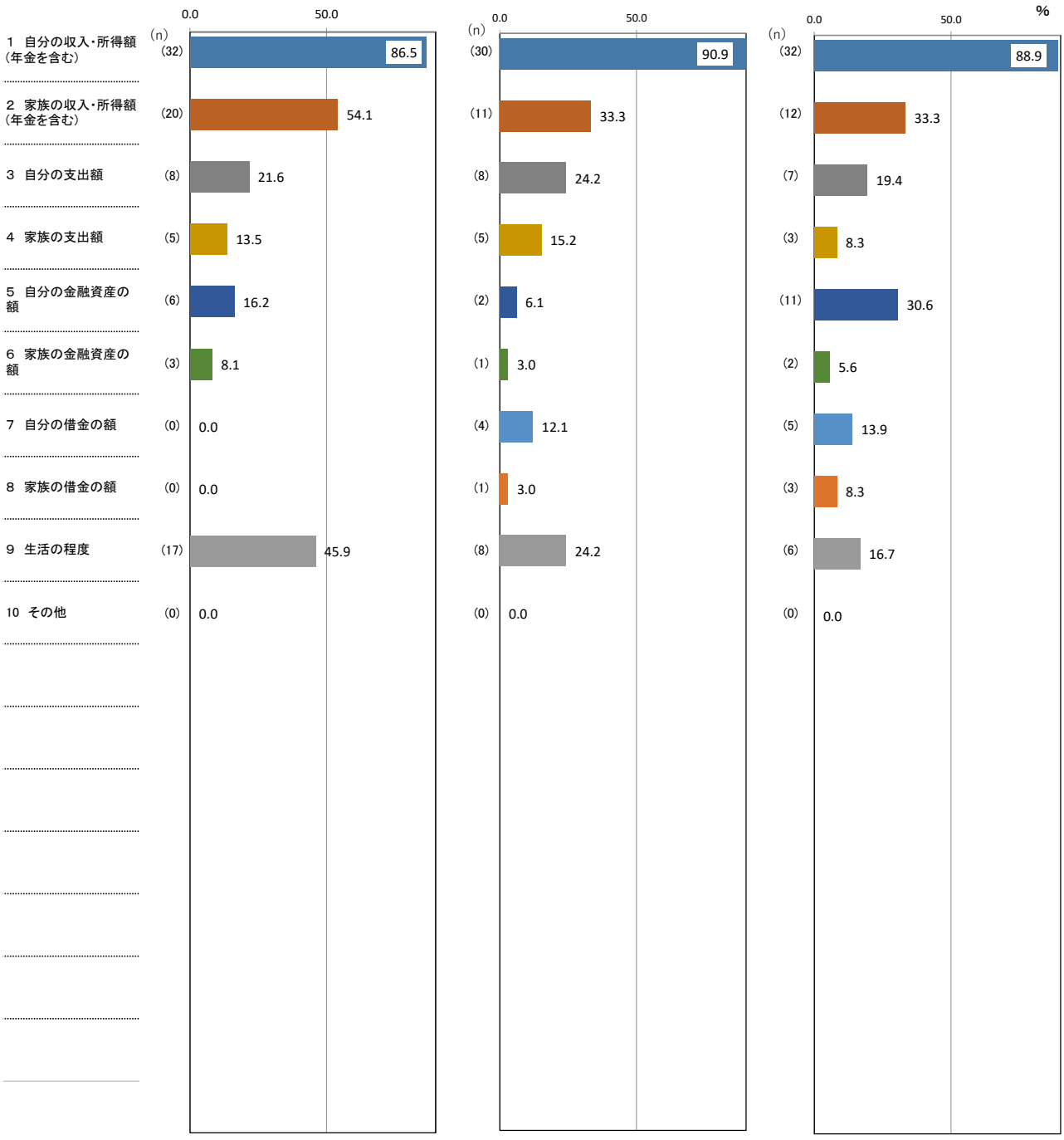
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝102人）	225	83	53	16	9	11	7	2	3	40	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝64人）	136	43	24	18	12	10	8	5	2	12	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝80人）	172	68	27	15	13	19	5	4	4	15	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜60～69歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (91) 37 人	②「どちらともいえない」の回答 (70) 33 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (81) 36 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (32)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (32)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (20)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (11)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	9 生活の程度 (17)	3 自分の支出額 (8)	5 自分の金融資産の額 (11)
		9 生活の程度 (8) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60～69歳＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		86.5	54.1	21.6	13.5	16.2	8.1	0.0	0.0	45.9	0.0
②「どちらともいえない」		90.9	33.3	24.2	15.2	6.1	3.0	12.1	3.0	24.2	0.0
③「あまり感じない・感じない」		88.9	33.3	19.4	8.3	30.6	5.6	13.9	8.3	16.7	0.0

（件）

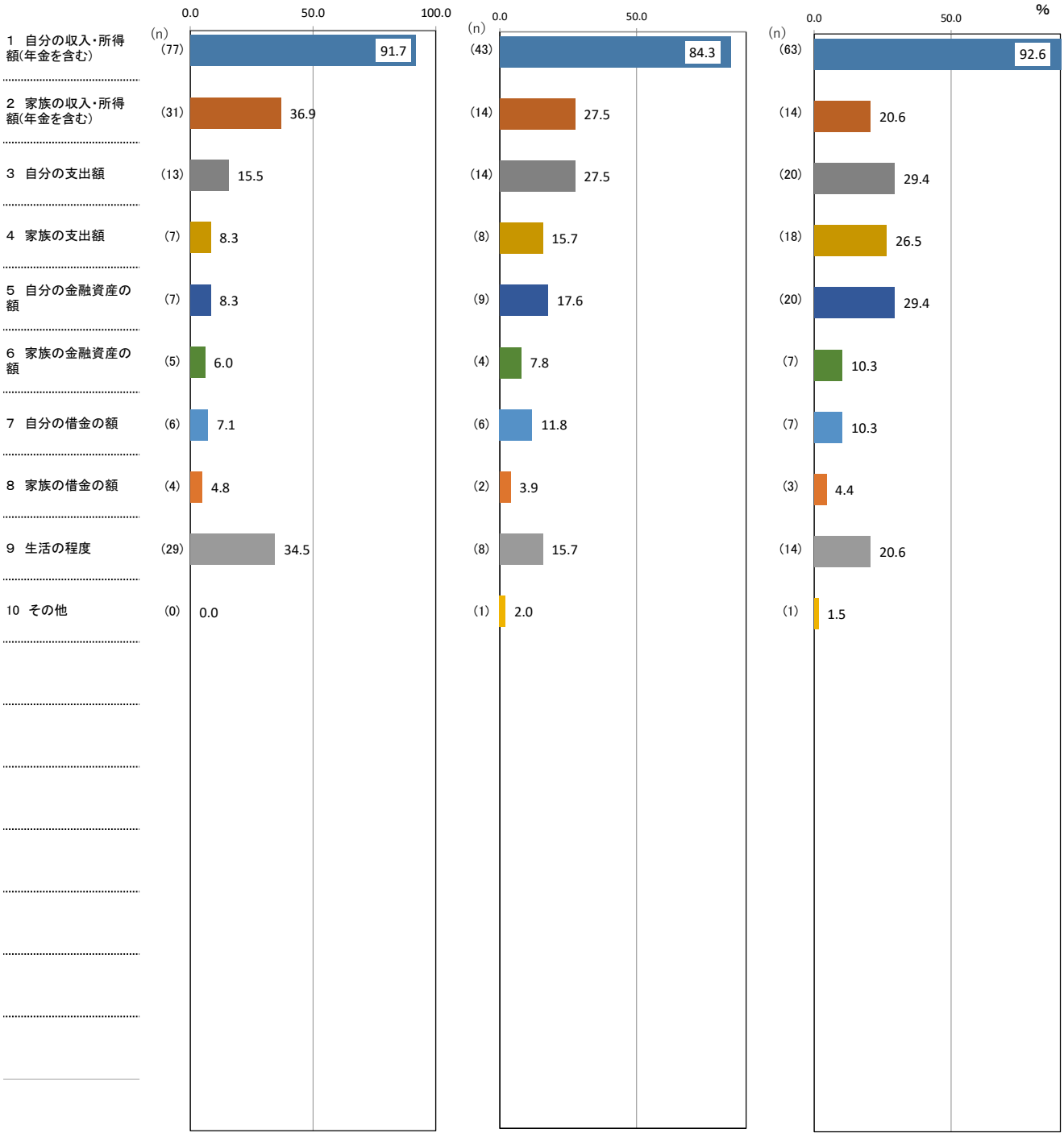
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝37人）	91	32	20	8	5	6	3	0	0	17	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝33人）	70	30	11	8	5	2	1	4	1	8	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝36人）	81	32	12	7	3	11	2	5	3	6	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜常用雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (179) 84 人	②「どちらともいえない」の回答 (109) 51 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (167) 68 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (77)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (43)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (63)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (31)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (14)	3 自分の支出額 (20)
3	9 生活の程度 (29)	3 自分の支出額 (14) 2位	5 自分の金融資産の額 (20) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜常用雇用者＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		91.7	36.9	15.5	8.3	8.3	6.0	7.1	4.8	34.5	0.0
②「どちらともいえない」		84.3	27.5	27.5	15.7	17.6	7.8	11.8	3.9	15.7	2.0
③「あまり感じない・感じない」		92.6	20.6	29.4	26.5	29.4	10.3	10.3	4.4	20.6	1.5

（件）

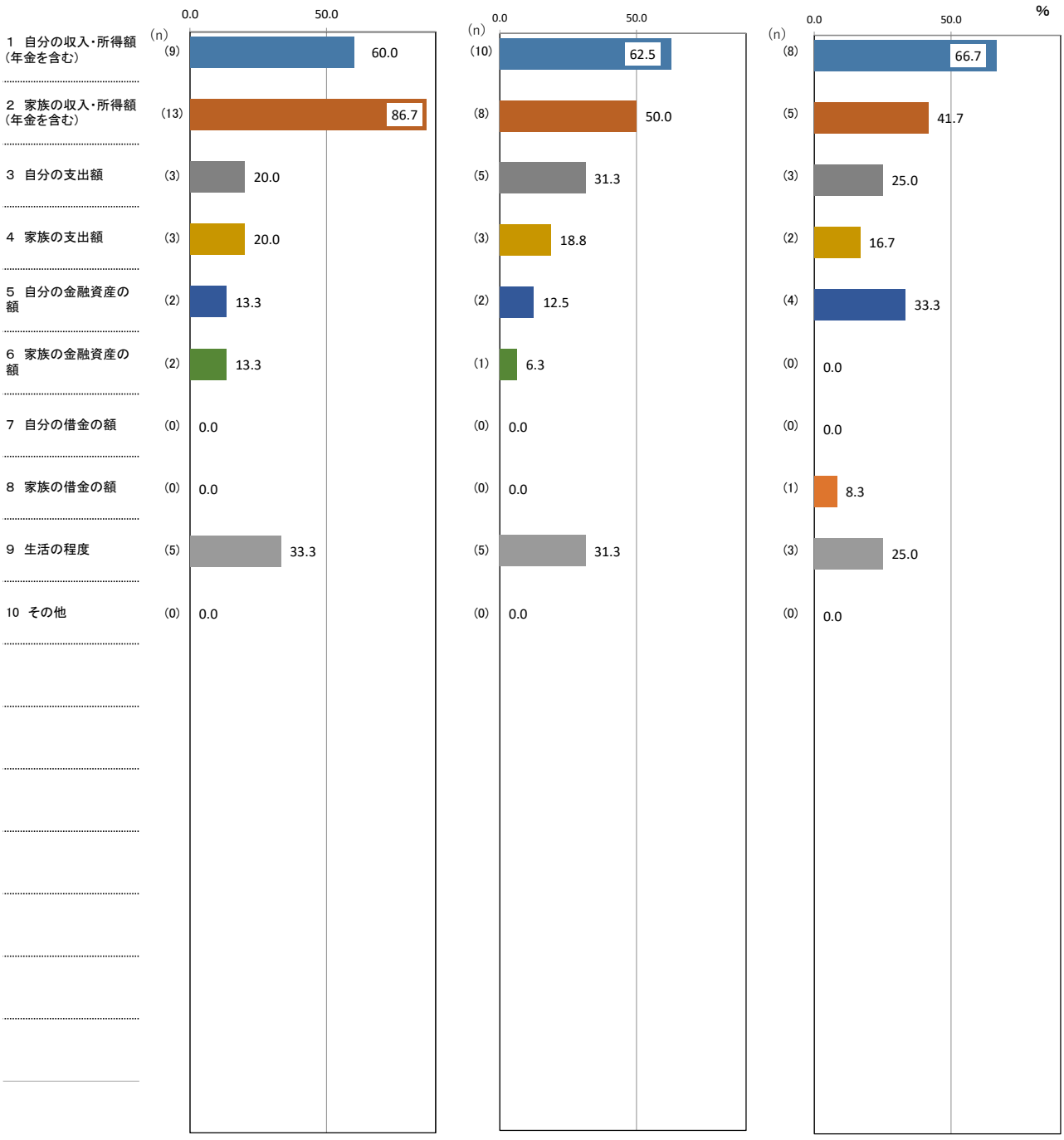
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝84人）	179	77	31	13	7	7	5	6	4	29	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝51人）	109	43	14	14	8	9	4	6	2	8	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝68人）	167	63	14	20	18	20	7	7	3	14	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜専業主婦・主夫＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (37) 15 人	②「どちらともいえない」の回答 (34) 16 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (26) 12 人
1	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (13)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (10)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (8)
2	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (9)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (8)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (5)
3	9 生活の程度 (5)	3 自分の支出額 (5)	5 自分の金融資産の額 (4)
		9 生活の程度 (5) ※3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜専業主婦・主夫＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		60.0	86.7	20.0	20.0	13.3	13.3	0.0	0.0	33.3	0.0
②「どちらともいえない」		62.5	50.0	31.3	18.8	12.5	6.3	0.0	0.0	31.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		66.7	41.7	25.0	16.7	33.3	0.0	0.0	8.3	25.0	0.0

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝15人）	37	9	13	3	3	2	2	0	0	5	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝16人）	34	10	8	5	3	2	1	0	0	5	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝12人）	26	8	5	3	2	4	0	0	1	3	0

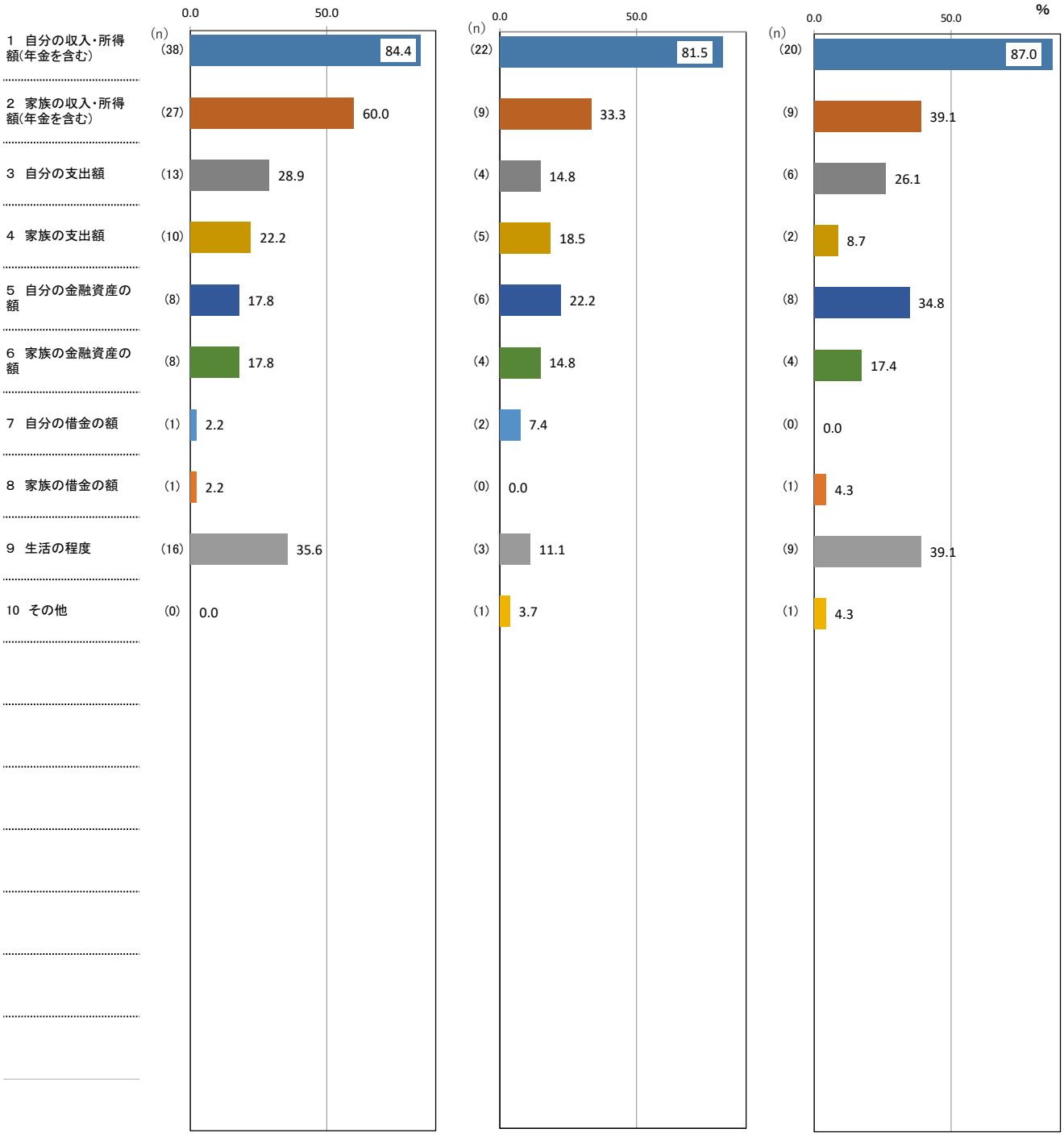
【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (122) 45 人	②「どちらともいえない」の回答 (56) 27 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (60) 23 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (38)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (22)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (20)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (27)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)
3	9 生活の程度 (16)	5 自分の金融資産の額 (6)	9 生活の程度 (9)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜夫婦のみ＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		84.4	60.0	28.9	22.2	17.8	17.8	2.2	2.2	35.6	0.0
②「どちらともいえない」		81.5	33.3	14.8	18.5	22.2	14.8	7.4	0.0	11.1	3.7
③「あまり感じない・感じない」		87.0	39.1	26.1	8.7	34.8	17.4	0.0	4.3	39.1	4.3

（件）

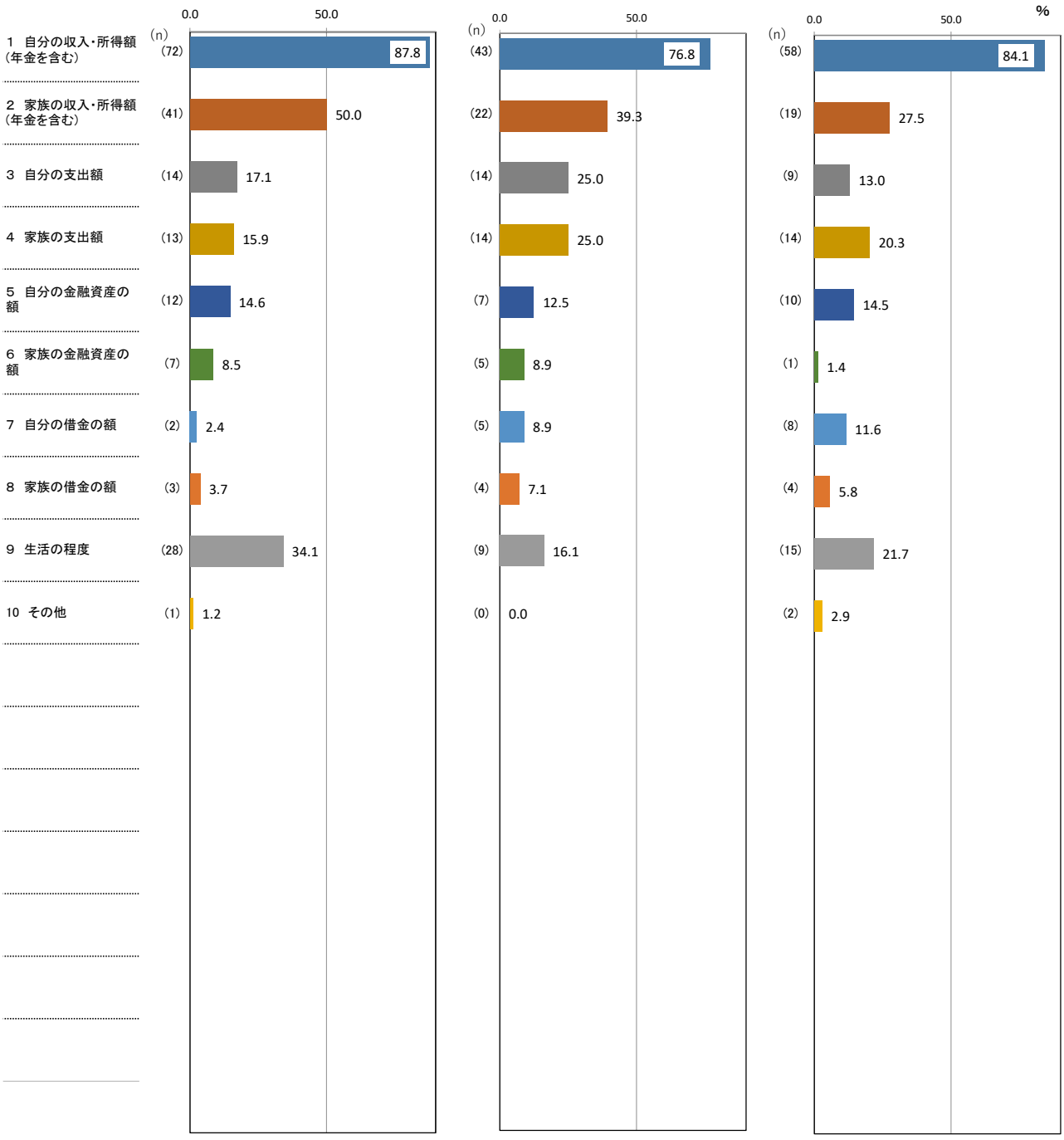
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝45人）	122	38	27	13	10	8	8	1	1	16	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝27人）	56	22	9	4	5	6	4	2	0	3	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝23人）	60	20	9	6	2	8	4	0	1	9	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜子の人数2人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (193) 82 人	②「どちらともいえない」の回答 (123) 56 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (140) 69 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (72)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (43)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (58)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (41)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (22)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (19)
3	9 生活の程度 (28)	3 自分の支出額 (14)	9 生活の程度 (15)
		4 家族の支出額 (14) ← 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数2人＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		87.8	50.0	17.1	15.9	14.6	8.5	2.4	3.7	34.1	1.2
②「どちらともいえない」		76.8	39.3	25.0	25.0	12.5	8.9	8.9	7.1	16.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		84.1	27.5	13.0	20.3	14.5	1.4	11.6	5.8	21.7	2.9

（件）

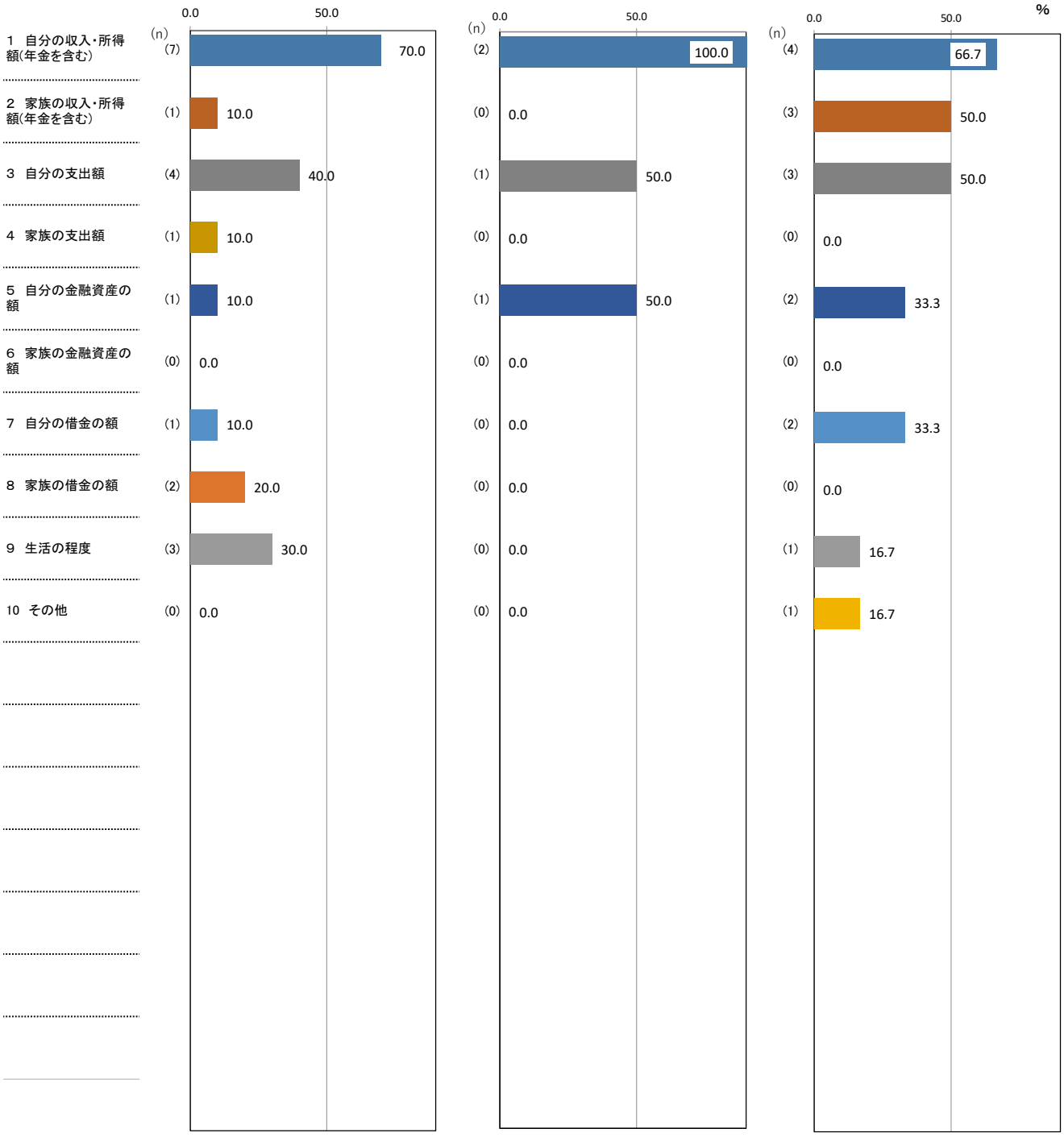
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝82人）	193	72	41	14	13	12	7	2	3	28	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝56人）	123	43	22	14	14	7	5	5	4	9	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝69人）	140	58	19	9	14	10	1	8	4	15	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜子の人数4人以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (20) 10 人	②「どちらともいえない」の回答 (4) 2 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (16) 6 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (7)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (2)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (4)
2	3 自分の支出額 (4)	3 自分の支出額 (1)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (3)
3	9 生活の程度 (3)	5 自分の金融資産の額 (1) 2位	3 自分の支出額 (3) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数4人以上＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		70.0	10.0	40.0	10.0	10.0	0.0	10.0	20.0	30.0	0.0
②「どちらともいえない」		100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		66.7	50.0	50.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7

（件）

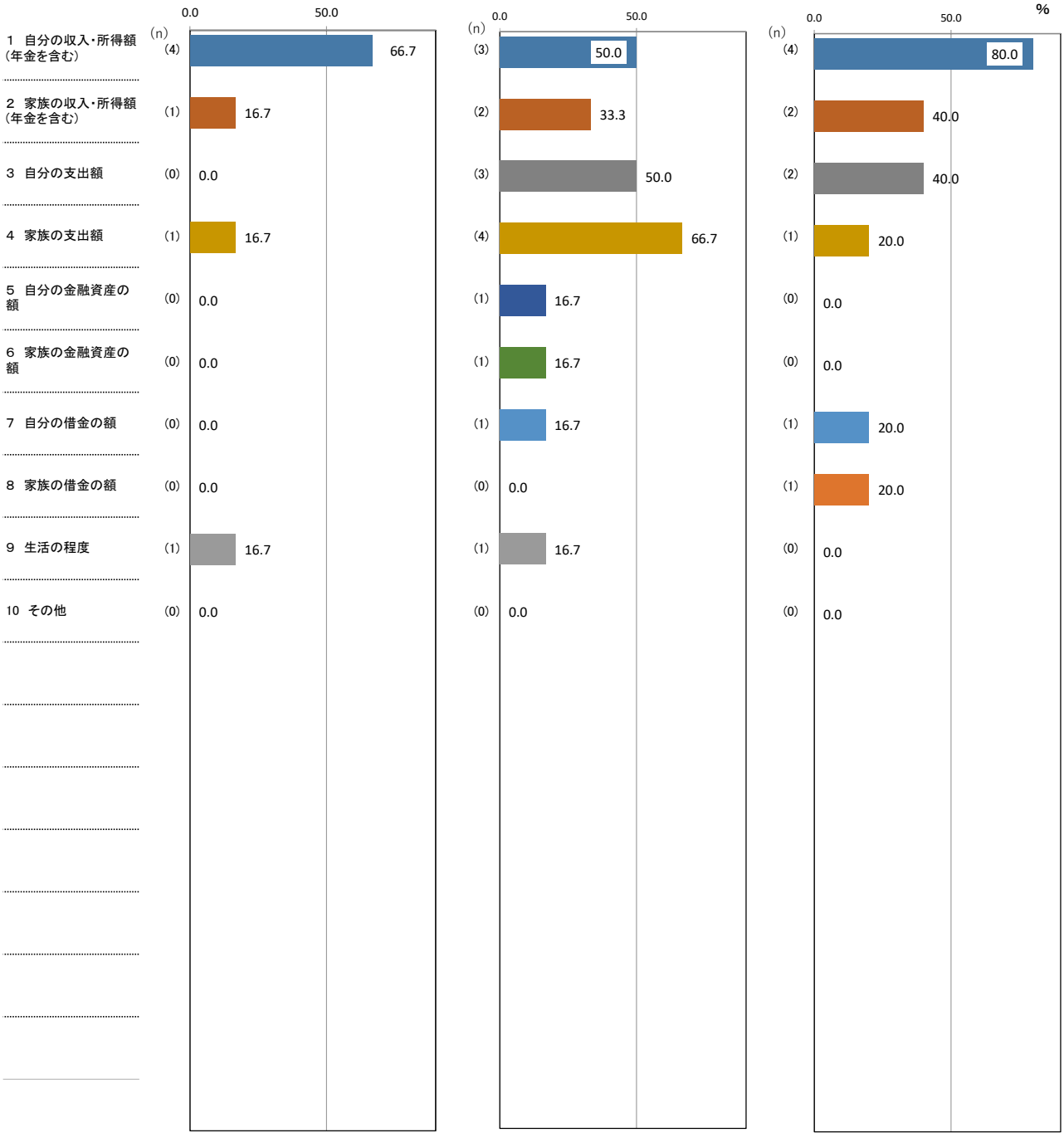
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝10人）	20	7	1	4	1	1	0	1	2	3	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝2人）	4	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝6人）	16	4	3	3	0	2	0	2	0	1	1

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜居住年数10年未満＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (7) 6 人	②「どちらともいえない」の回答 (16) 6 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (11) 5 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (4)	4 家族の支出額 (4)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (4)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (1)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (3)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (2)
3	4 家族の支出額 (1) 2位	3 自分の支出額 (3) 2位	3 自分の支出額 (2) 2位
	9 生活の程度 (1) 2位		

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数10年未満＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		66.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
②「どちらともいえない」		50.0	33.3	50.0	66.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0
③「あまり感じない・感じない」		80.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0

（件）

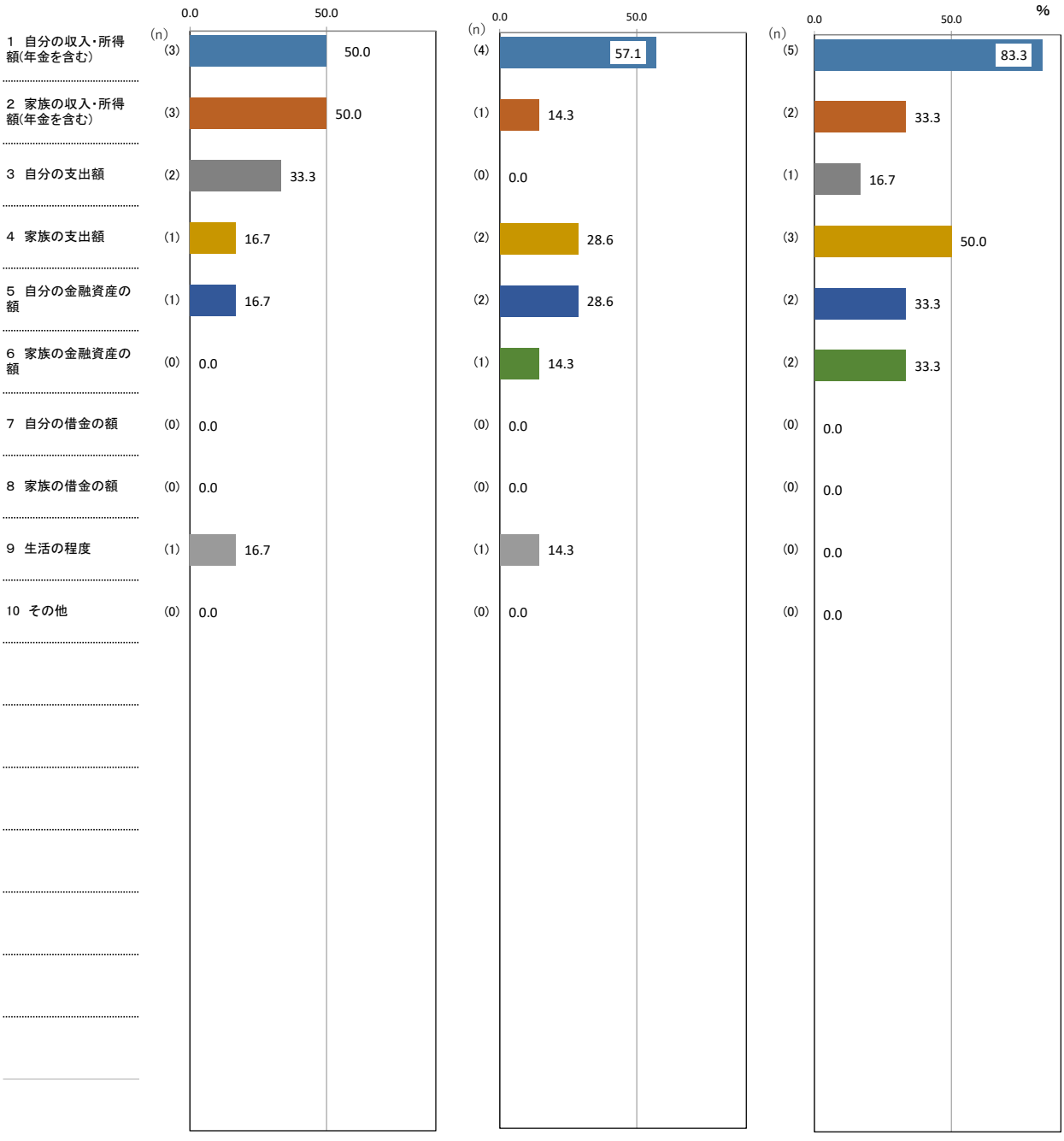
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝6人）	7	4	1	0	1	0	0	0	0	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝6人）	16	3	2	3	4	1	1	1	0	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝5人）	11	4	2	2	1	0	0	1	1	0	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜居住年数10～20年未満＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (11) 6 人	②「どちらともいえない」の回答 (11) 7 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (15) 6 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (3) 1位	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (4)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (5)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (3)	4 家族の支出額 (2)	4 家族の支出額 (3)
3	3 自分の支出額 (2)	5 自分の金融資産の額 (2) 2位	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (2)
			5 自分の金融資産の額 (2) 3位
			6 家族の金融資産の額 (2) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数10～20年未満＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	50.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
②「どちらともいえない」		57.1	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		83.3	33.3	16.7	50.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

（件）

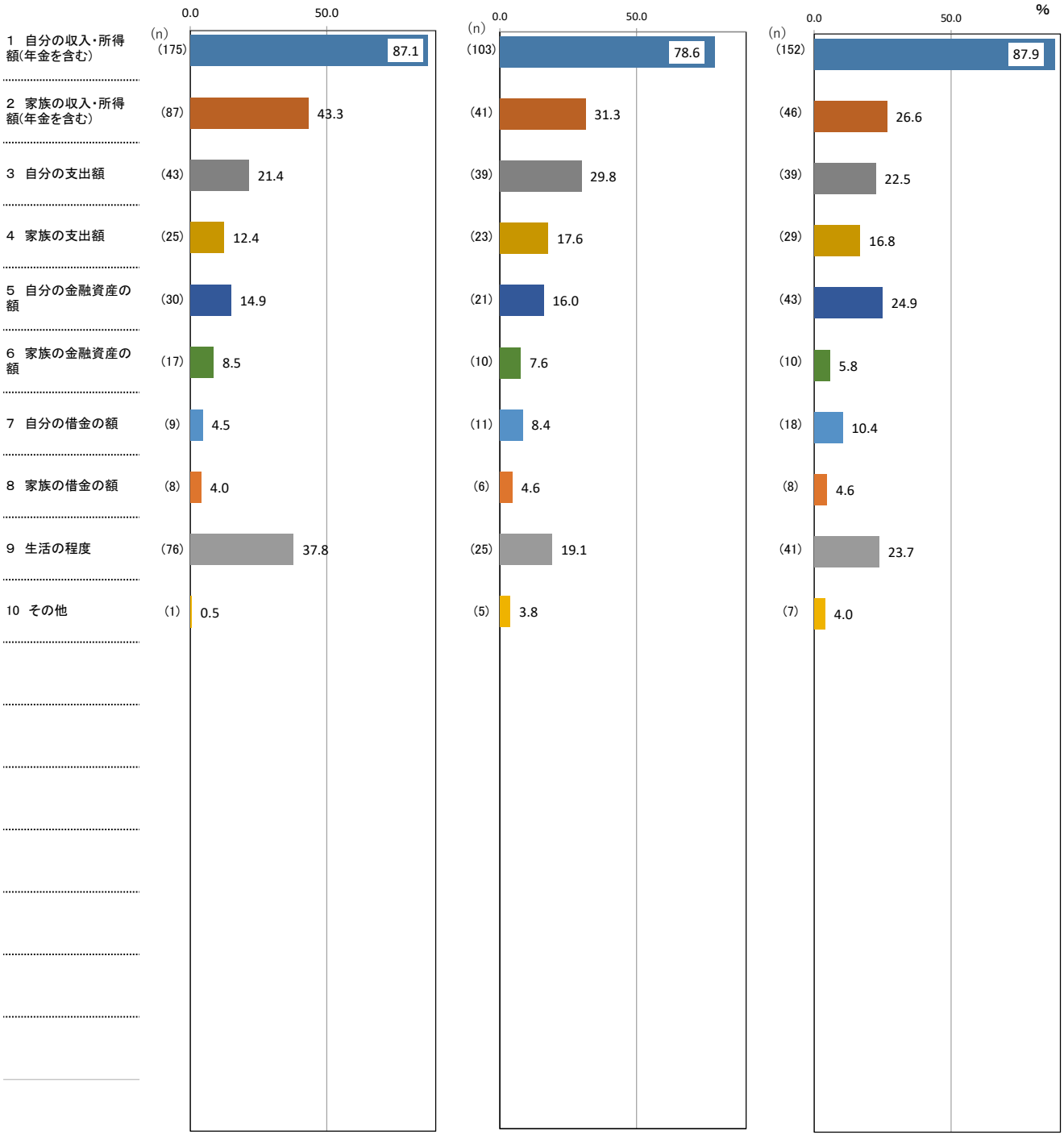
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝6人）	11	3	3	2	1	1	0	0	0	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝7人）	11	4	1	0	2	2	1	0	0	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝6人）	15	5	2	1	3	2	2	0	0	0	0

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜居住年数20年以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (471) 201 人	②「どちらともいえない」の回答 (284) 131 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (393) 173 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (175)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (103)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (152)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (87)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (41)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (46)
3	9 生活の程度 (76)	3 自分の支出額 (39)	5 自分の金融資産の額 (43)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		87.1	43.3	21.4	12.4	14.9	8.5	4.5	4.0	37.8	0.5
②「どちらともいえない」		78.6	31.3	29.8	17.6	16.0	7.6	8.4	4.6	19.1	3.8
③「あまり感じない・感じない」		87.9	26.6	22.5	16.8	24.9	5.8	10.4	4.6	23.7	4.0

（件）

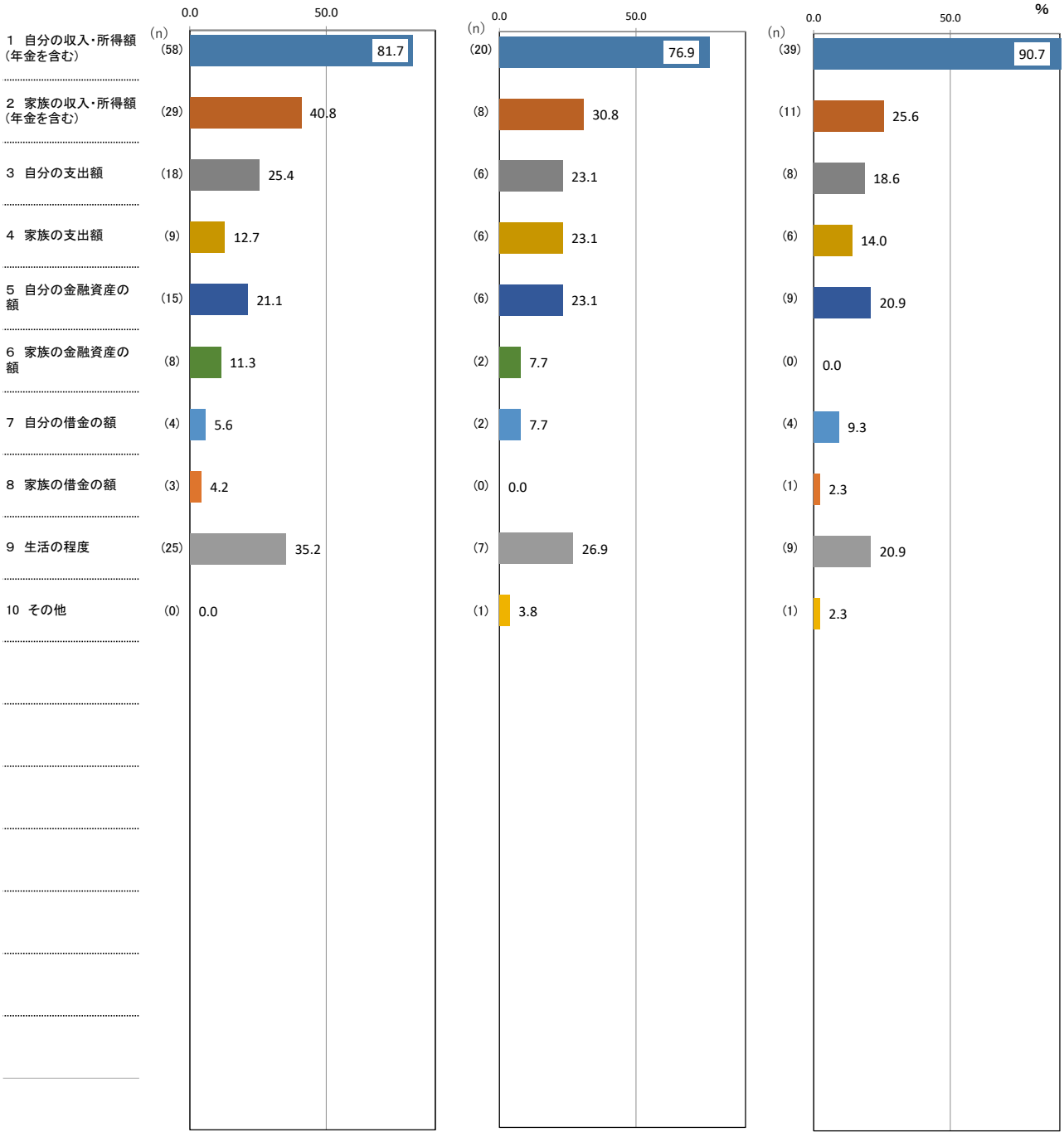
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝201人）	471	175	87	43	25	30	17	9	8	76	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝131人）	284	103	41	39	23	21	10	11	6	25	5
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝173人）	393	152	46	39	29	43	10	18	8	41	7

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (169) 71 人	②「どちらともいえない」の回答 (58) 26 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (88) 43 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (58)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (20)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (39)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (29)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (8)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (11)
3	9 生活の程度 (25)	9 生活の程度 (7)	5 自分の金融資産の額 (9)
			9 生活の程度 (9) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県央広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		81.7	40.8	25.4	12.7	21.1	11.3	5.6	4.2	35.2	0.0
②「どちらともいえない」		76.9	30.8	23.1	23.1	23.1	7.7	7.7	0.0	26.9	3.8
③「あまり感じない・感じない」		90.7	25.6	18.6	14.0	20.9	0.0	9.3	2.3	20.9	2.3

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝71人）	169	58	29	18	9	15	8	4	3	25	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝26人）	58	20	8	6	6	6	2	2	0	7	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝43人）	88	39	11	8	6	9	0	4	1	9	1

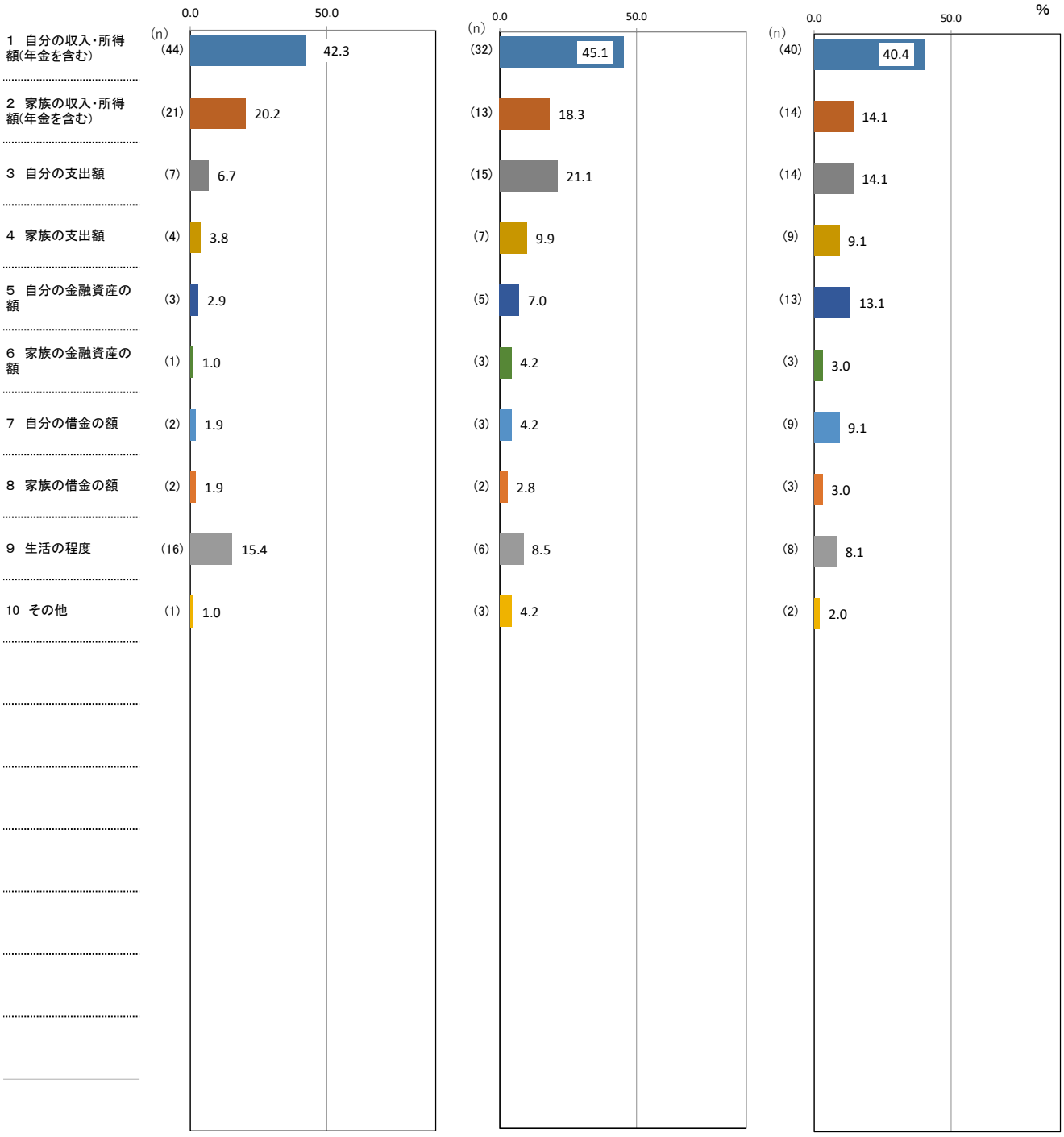
【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜県南広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (101) 104 人	②「どちらともいえない」の回答 (89) 71 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (115) 99 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (44)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (32)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (40)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (21)	3 自分の支出額 (15)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (14)
3	9 生活の程度 (16)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (13)	3 自分の支出額 (14)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県南広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		42.3	20.2	6.7	3.8	2.9	1.0	1.9	1.9	15.4	1.0
②「どちらともいえない」		45.1	18.3	21.1	9.9	7.0	4.2	4.2	2.8	8.5	4.2
③「あまり感じない・感じない」		40.4	14.1	14.1	9.1	13.1	3.0	9.1	3.0	8.1	2.0

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝104人）	101	44	21	7	4	3	1	2	2	16	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝71人）	89	32	13	15	7	5	3	3	2	6	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝99人）	115	40	14	14	9	13	3	9	3	8	2

【補足調査】(H31と比較して有意な属性)

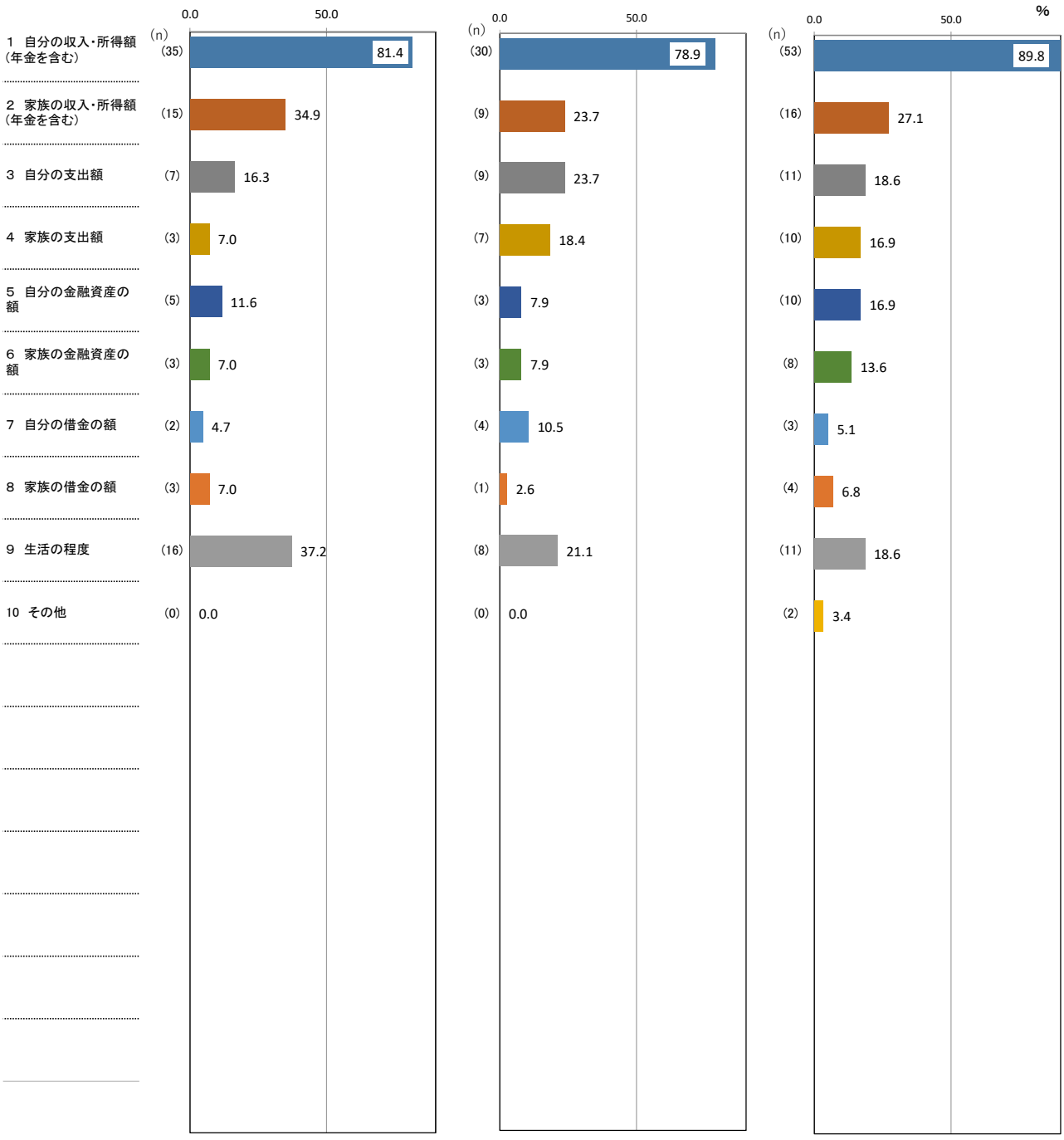
分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」＜県北広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (89) 43 人	②「どちらともいえない」の回答 (74) 38 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (128) 59 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (35)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (53)
2	9 生活の程度 (16)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (16)
3	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (15)	3 自分の支出額 (9)	3 自分の支出額 (11)
			9 生活の程度 (11)

2位

3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県北広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		81.4	34.9	16.3	7.0	11.6	7.0	4.7	7.0	37.2	0.0
②「どちらともいえない」		78.9	23.7	23.7	18.4	7.9	7.9	10.5	2.6	21.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		89.8	27.1	18.6	16.9	16.9	13.6	5.1	6.8	18.6	3.4

（件）

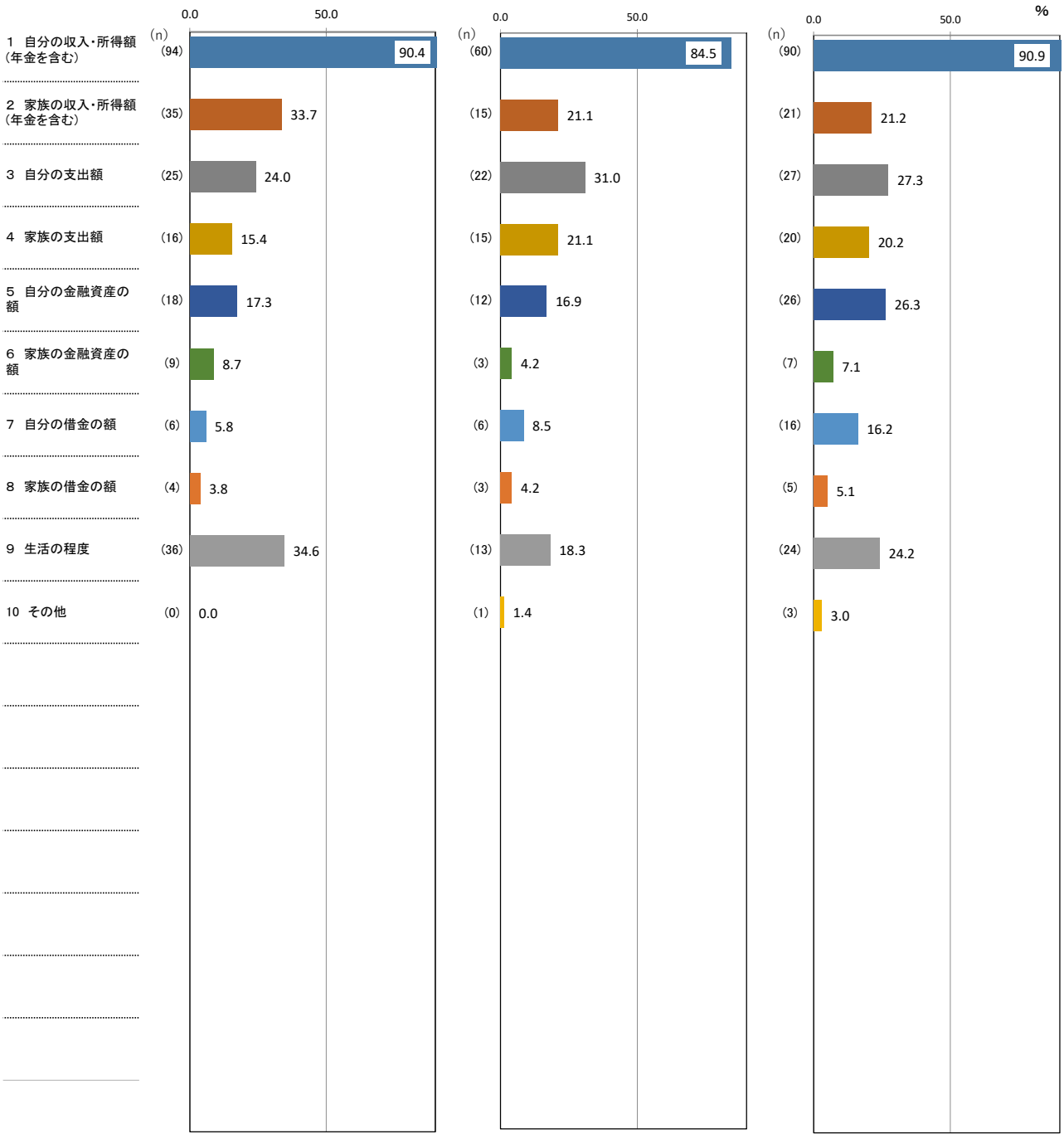
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝43人）	89	35	15	7	3	5	3	2	3	16	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝38人）	74	30	9	9	7	3	3	4	1	8	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝59人）	128	53	16	11	10	10	8	3	4	11	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜男性＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (243) 104 人	②「どちらともいえない」の回答 (150) 71 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (239) 99 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (94)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (60)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (90)
2	9 生活の程度 (36)	3 自分の支出額 (22)	3 自分の支出額 (27)
3	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (35)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (15)	5 自分の金融資産の額 (26)
		4 家族の支出額 (15)	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜男性＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		90.4	33.7	24.0	15.4	17.3	8.7	5.8	3.8	34.6	0.0
②「どちらともいえない」		84.5	21.1	31.0	21.1	16.9	4.2	8.5	4.2	18.3	1.4
③「あまり感じない・感じない」		90.9	21.2	27.3	20.2	26.3	7.1	16.2	5.1	24.2	3.0

（件）

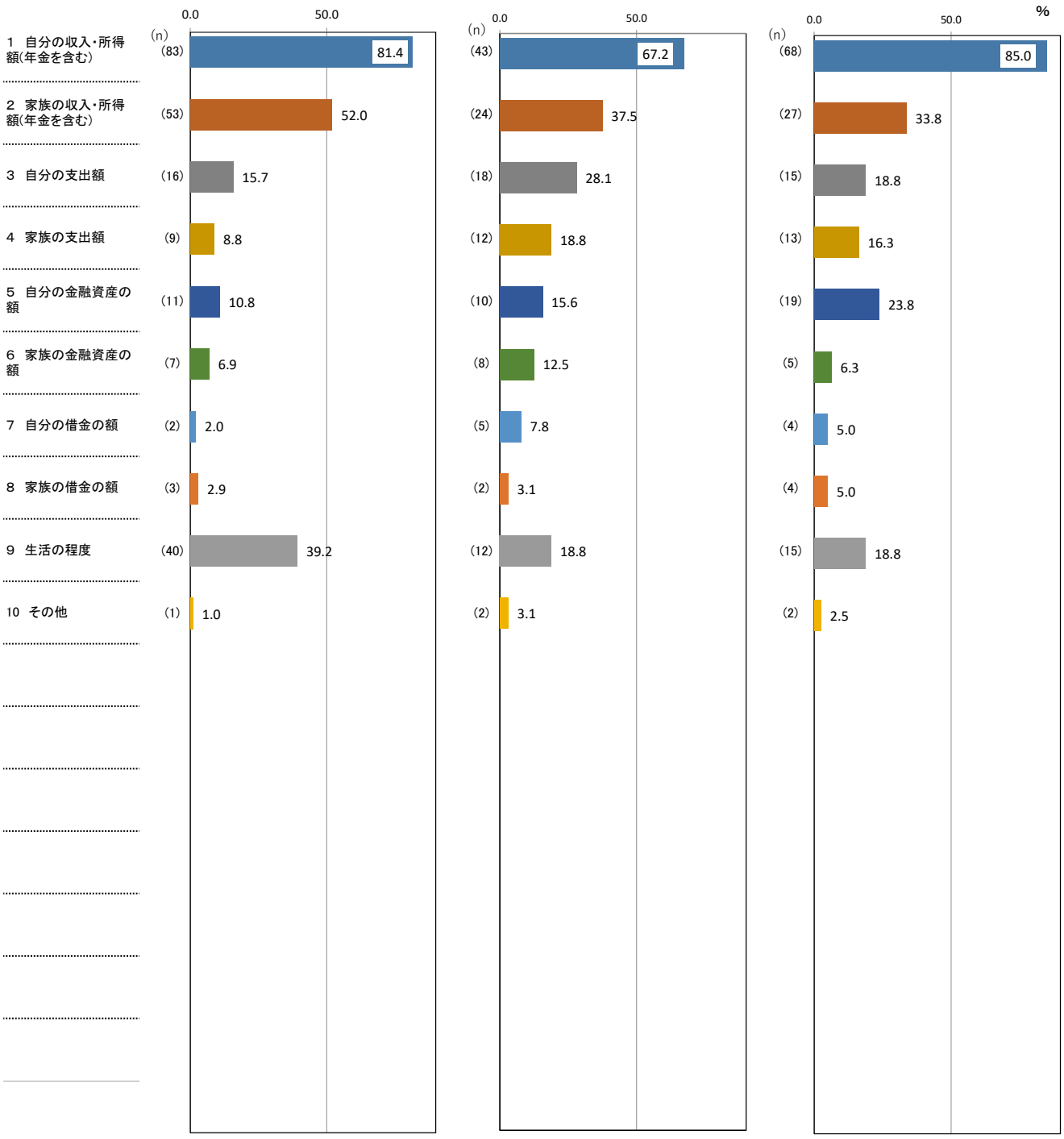
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝104人）	243	94	35	25	16	18	9	6	4	36	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝71人）	150	60	15	22	15	12	3	6	3	13	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝99人）	239	90	21	27	20	26	7	16	5	24	3

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<女性>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (225) 102 人	②「どちらともいえない」の回答 (136) 64 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (172) 80 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (83)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (43)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (68)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (53)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (24)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (27)
3	9 生活の程度 (40)	3 自分の支出額 (18)	5 自分の金融資産の額 (19)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜女性＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		81.4	52.0	15.7	8.8	10.8	6.9	2.0	2.9	39.2	1.0
②「どちらともいえない」		67.2	37.5	28.1	18.8	15.6	12.5	7.8	3.1	18.8	3.1
③「あまり感じない・感じない」		85.0	33.8	18.8	16.3	23.8	6.3	5.0	5.0	18.8	2.5

（件）

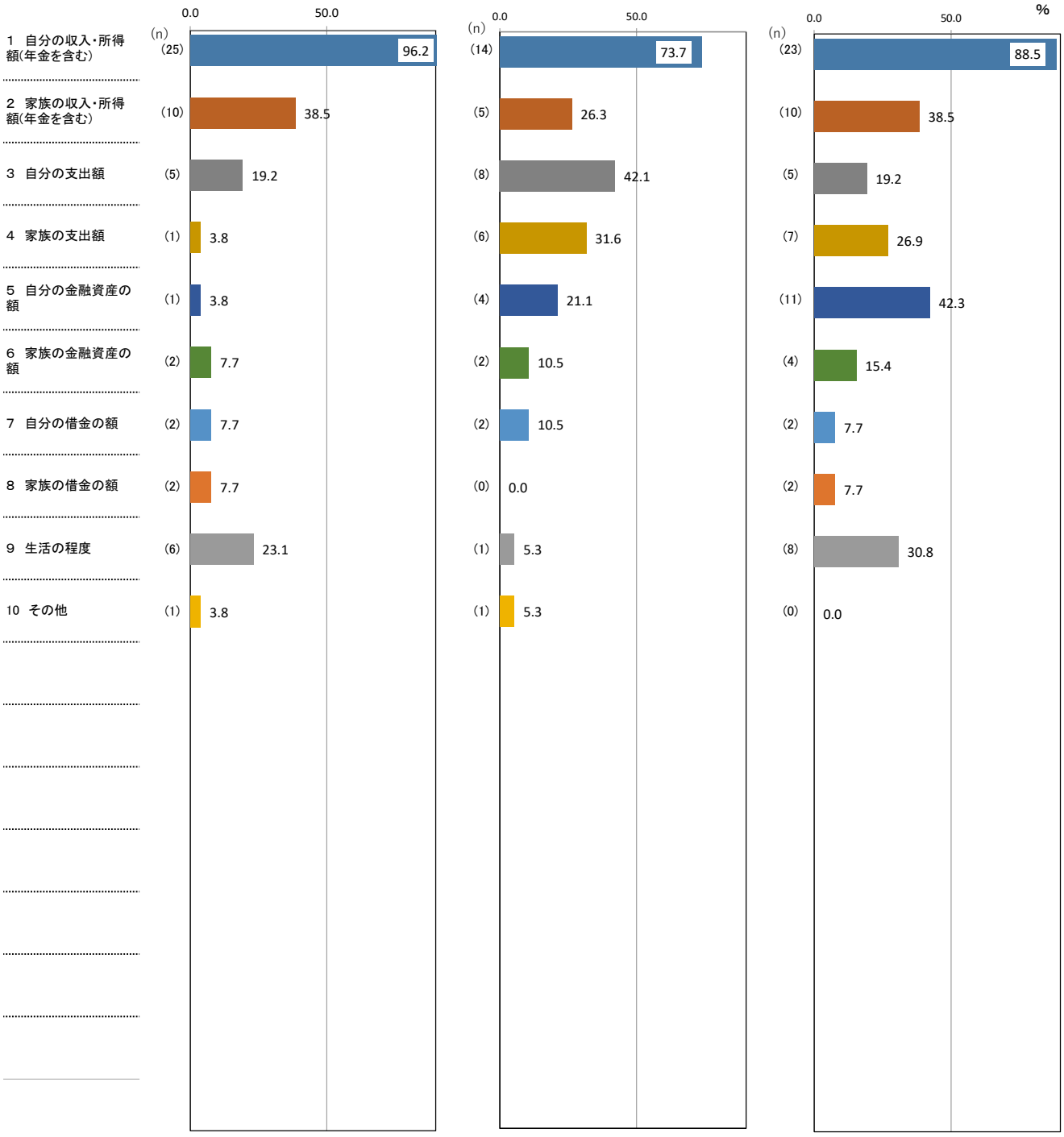
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝102人）	225	83	53	16	9	11	7	2	3	40	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝64人）	136	43	24	18	12	10	8	5	2	12	2
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝80人）	172	68	27	15	13	19	5	4	4	15	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<30～39歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (55) 26 人	②「どちらともいえない」の回答 (43) 19 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (72) 26 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (25)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (14)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (23)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (10)	3 自分の支出額 (8)	5 自分の金融資産の額 (11)
3	9 生活の程度 (6)	4 家族の支出額 (6)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (10)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜30～39歳＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		96.2	38.5	19.2	3.8	3.8	7.7	7.7	7.7	23.1	3.8
②「どちらともいえない」		73.7	26.3	42.1	31.6	21.1	10.5	10.5	0.0	5.3	5.3
③「あまり感じない・感じない」		88.5	38.5	19.2	26.9	42.3	15.4	7.7	7.7	30.8	0.0

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝26人）	55	25	10	5	1	1	2	2	2	6	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝19人）	43	14	5	8	6	4	2	2	0	1	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝26人）	72	23	10	5	7	11	4	2	2	8	0

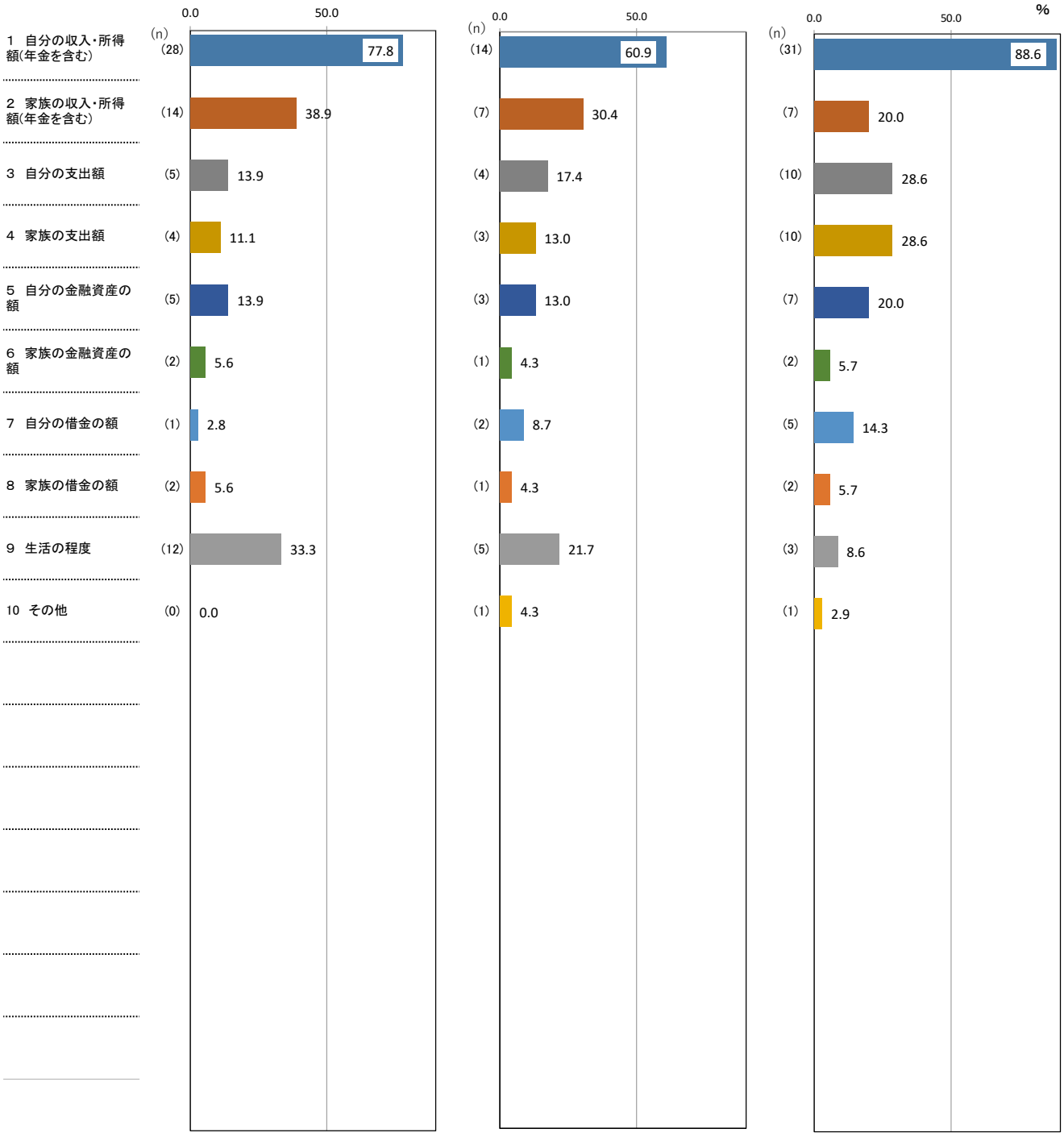
【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<40～49歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (73) 36 人	②「どちらともいえない」の回答 (41) 23 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (78) 35 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (28)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (14)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (31)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (14)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (7)	3 自分の支出額 (10)
3	9 生活の程度 (12)	9 生活の程度 (5)	4 家族の支出額 (10)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜40～49歳＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		77.8	38.9	13.9	11.1	13.9	5.6	2.8	5.6	33.3	0.0
②「どちらともいえない」		60.9	30.4	17.4	13.0	13.0	4.3	8.7	4.3	21.7	4.3
③「あまり感じない・感じない」		88.6	20.0	28.6	28.6	20.0	5.7	14.3	5.7	8.6	2.9

（件）

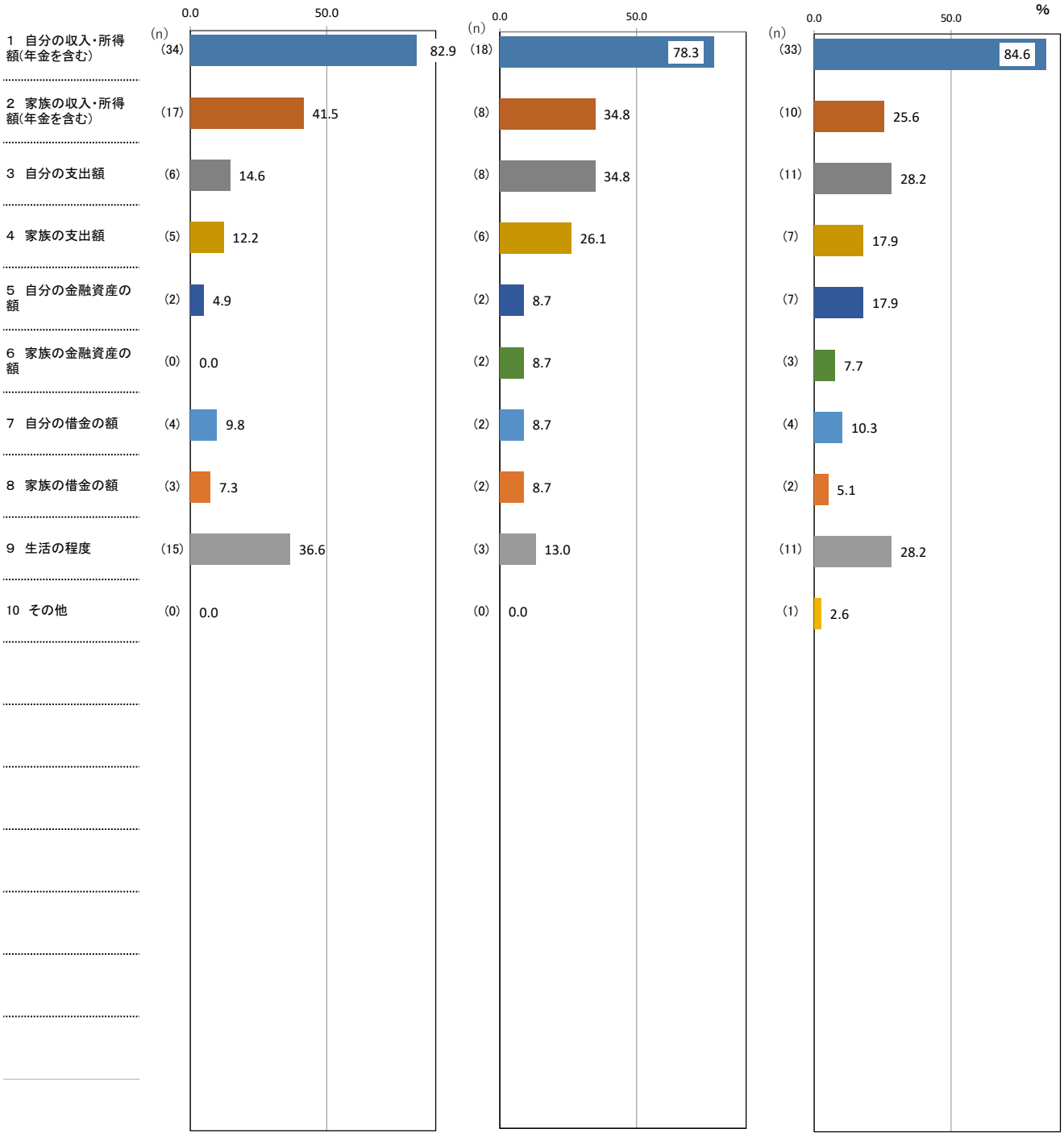
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝36人）	73	28	14	5	4	5	2	1	2	12	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝23人）	41	14	7	4	3	3	1	2	1	5	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝35人）	78	31	7	10	10	7	2	5	2	3	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<50～59歳>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (86) 41 人	②「どちらともいえない」の回答 (51) 23 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (89) 39 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (34)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (18)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (33)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (17)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (8)	3 自分の支出額 (11)
3	9 生活の程度 (15)	3 自分の支出額 (8) 2位	9 生活の程度 (11) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜50～59歳＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		82.9	41.5	14.6	12.2	4.9	0.0	9.8	7.3	36.6	0.0
②「どちらともいえない」		78.3	34.8	34.8	26.1	8.7	8.7	8.7	8.7	13.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		84.6	25.6	28.2	17.9	17.9	7.7	10.3	5.1	28.2	2.6

（件）

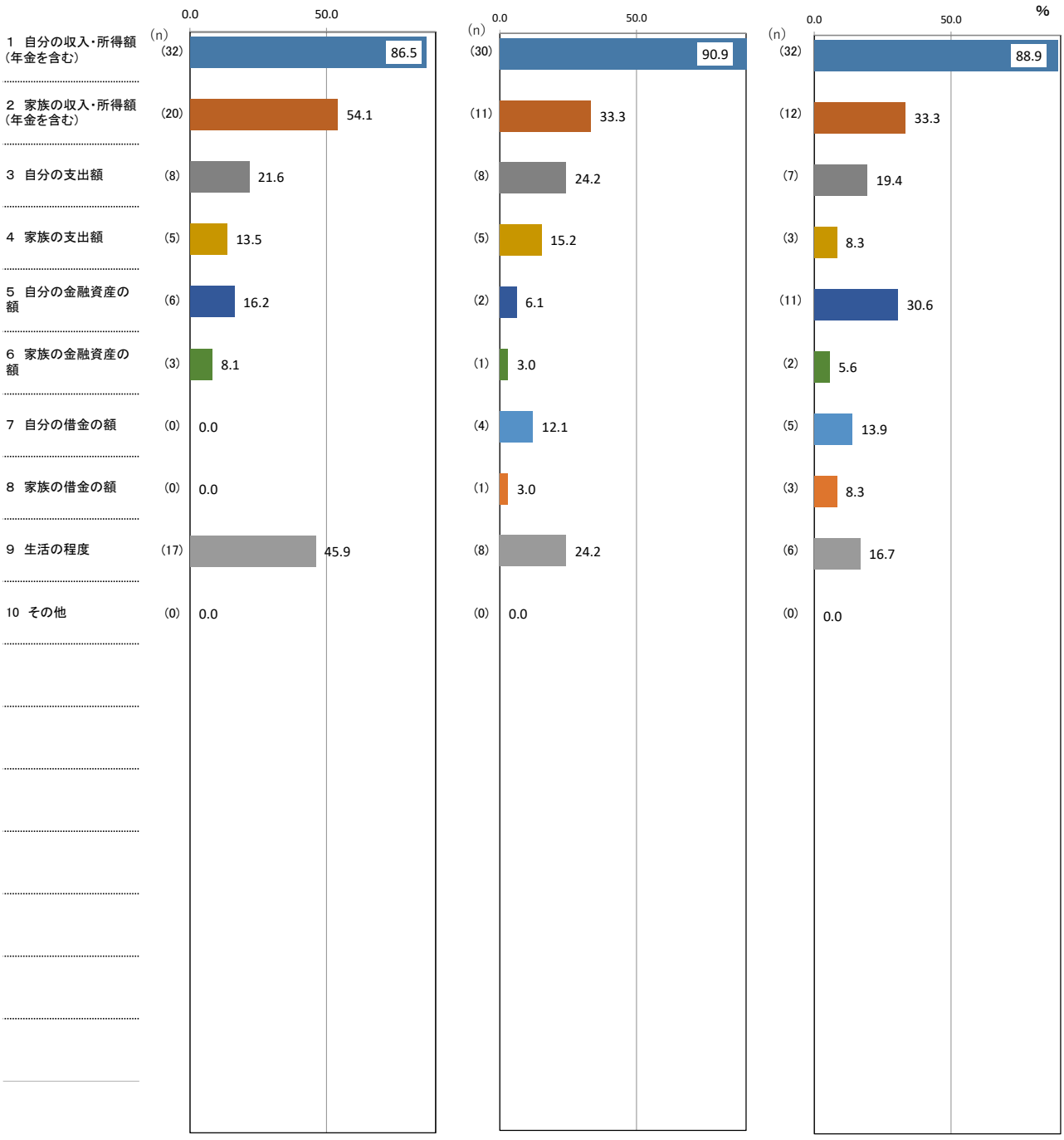
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝41人）	86	34	17	6	5	2	0	4	3	15	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝23人）	51	18	8	8	6	2	2	2	2	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝39人）	89	33	10	11	7	7	3	4	2	11	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜60～69歳＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (91) 37 人	②「どちらともいえない」の回答 (70) 33 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (81) 36 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (32)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (32)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (20)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (11)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	9 生活の程度 (17)	3 自分の支出額 (8)	5 自分の金融資産の額 (11)
		9 生活の程度 (8) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜60～69歳＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		86.5	54.1	21.6	13.5	16.2	8.1	0.0	0.0	45.9	0.0
②「どちらともいえない」		90.9	33.3	24.2	15.2	6.1	3.0	12.1	3.0	24.2	0.0
③「あまり感じない・感じない」		88.9	33.3	19.4	8.3	30.6	5.6	13.9	8.3	16.7	0.0

（件）

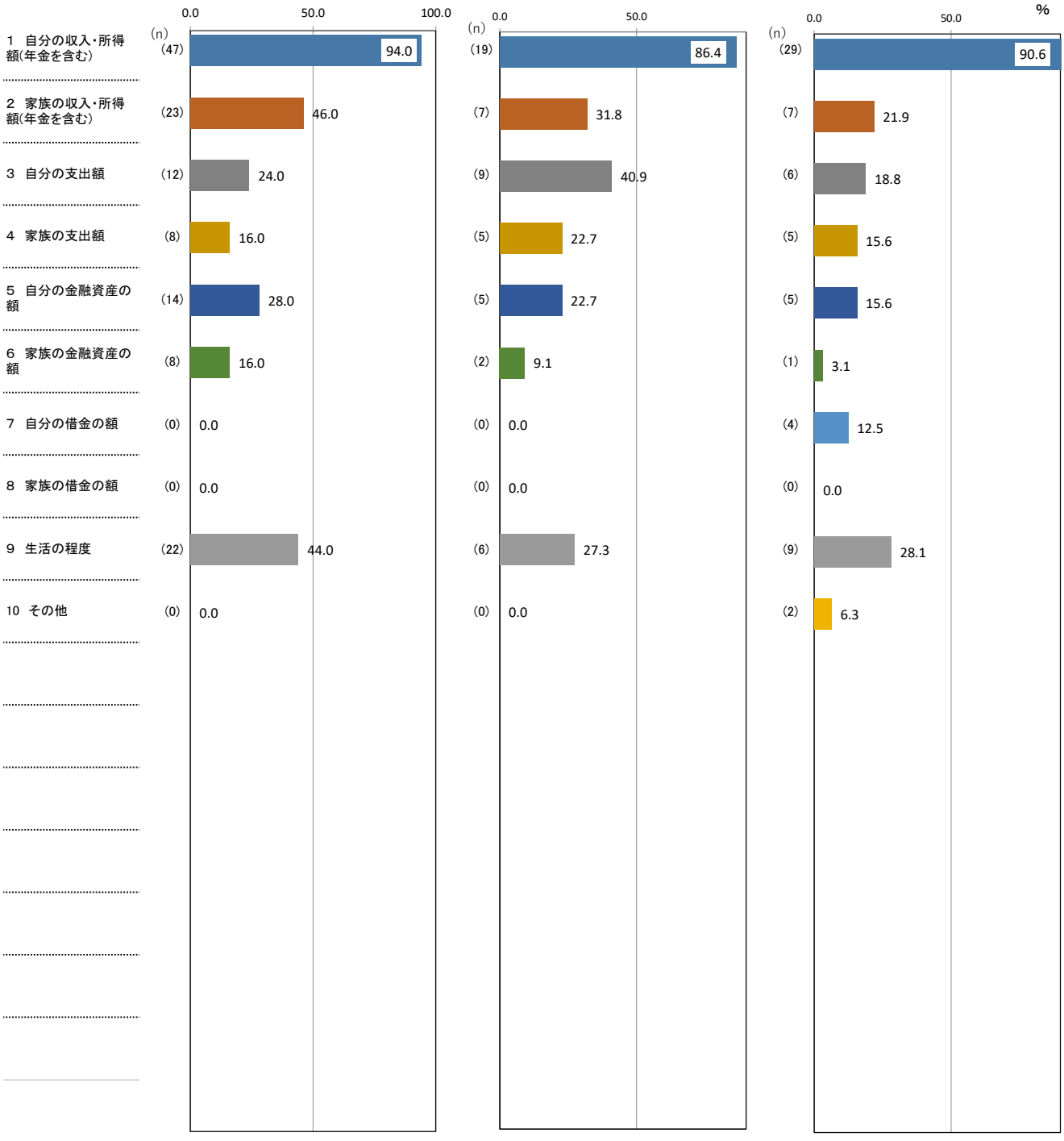
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝37人）	91	32	20	8	5	6	3	0	0	17	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝33人）	70	30	11	8	5	2	1	4	1	8	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝36人）	81	32	12	7	3	11	2	5	3	6	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜70歳以上＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (134) 50 人	②「どちらともいえない」の回答 (53) 22 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (68) 32 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (47)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (19)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (29)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (23)	3 自分の支出額 (9)	9 生活の程度 (9)
3	9 生活の程度 (22)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (7)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (7)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜70歳以上＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		94.0	46.0	24.0	16.0	28.0	16.0	0.0	0.0	44.0	0.0
②「どちらともいえない」		86.4	31.8	40.9	22.7	22.7	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		90.6	21.9	18.8	15.6	15.6	3.1	12.5	0.0	28.1	6.3

（件）

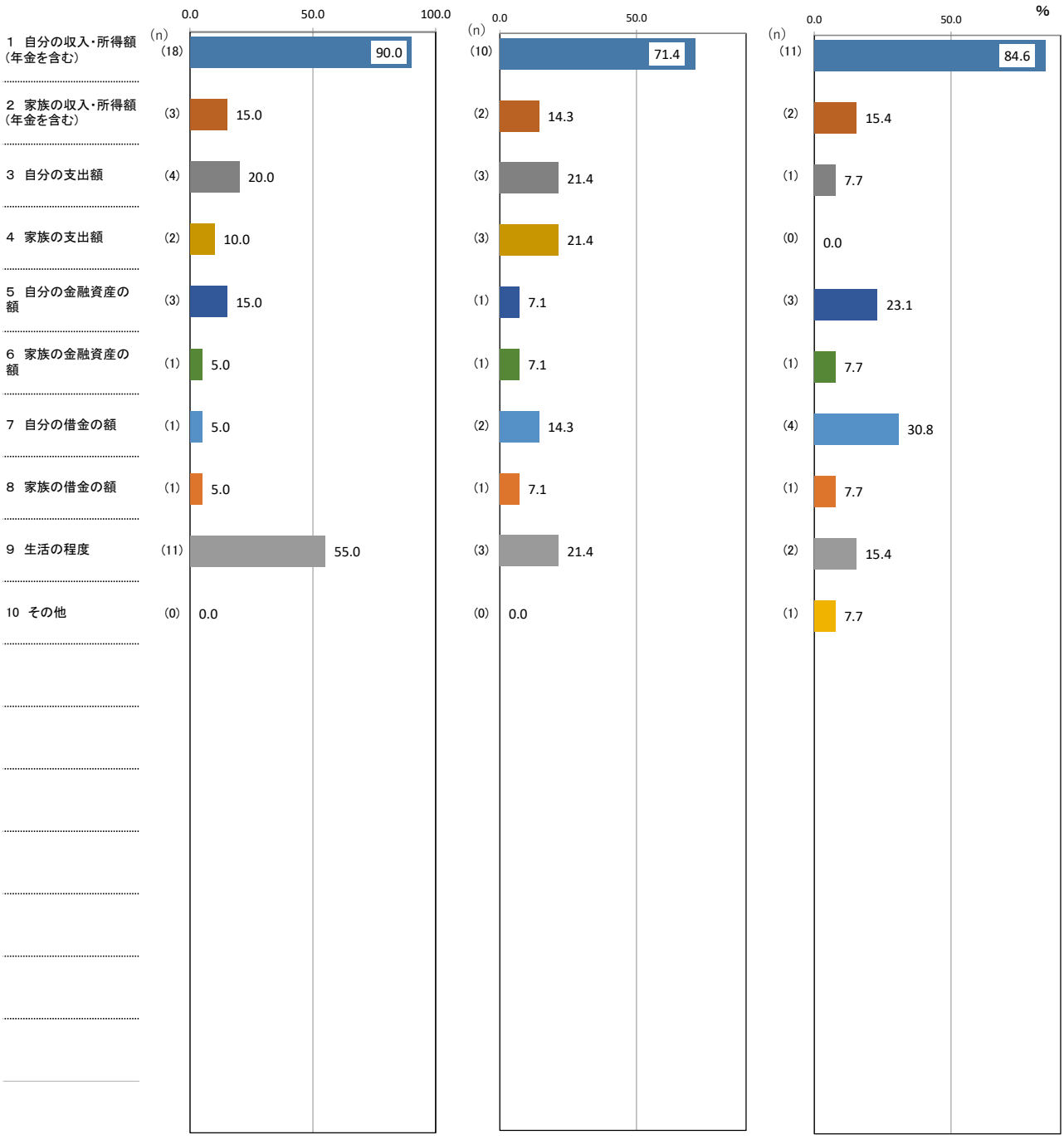
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝50人）	134	47	23	12	8	14	8	0	0	22	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝22人）	53	19	7	9	5	5	2	0	0	6	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝32人）	68	29	7	6	5	5	1	4	0	9	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜自営業主＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (44) 20 人	②「どちらともいえない」の回答 (26) 14 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (26) 13 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (18)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (10)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (11)
2	9 生活の程度 (11)	3 自分の支出額 (3)	7 自分の借金の額 (4)
3	3 自分の支出額 (4)	4 家族の支出額 (3) 2位	5 自分の金融資産の額 (3)
		9 生活の程度 (3) 2位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜自営業主＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		90.0	15.0	20.0	10.0	15.0	5.0	5.0	5.0	55.0	0.0
②「どちらともいえない」		71.4	14.3	21.4	21.4	7.1	7.1	14.3	7.1	21.4	0.0
③「あまり感じない・感じない」		84.6	15.4	7.7	0.0	23.1	7.7	30.8	7.7	15.4	7.7

（件）

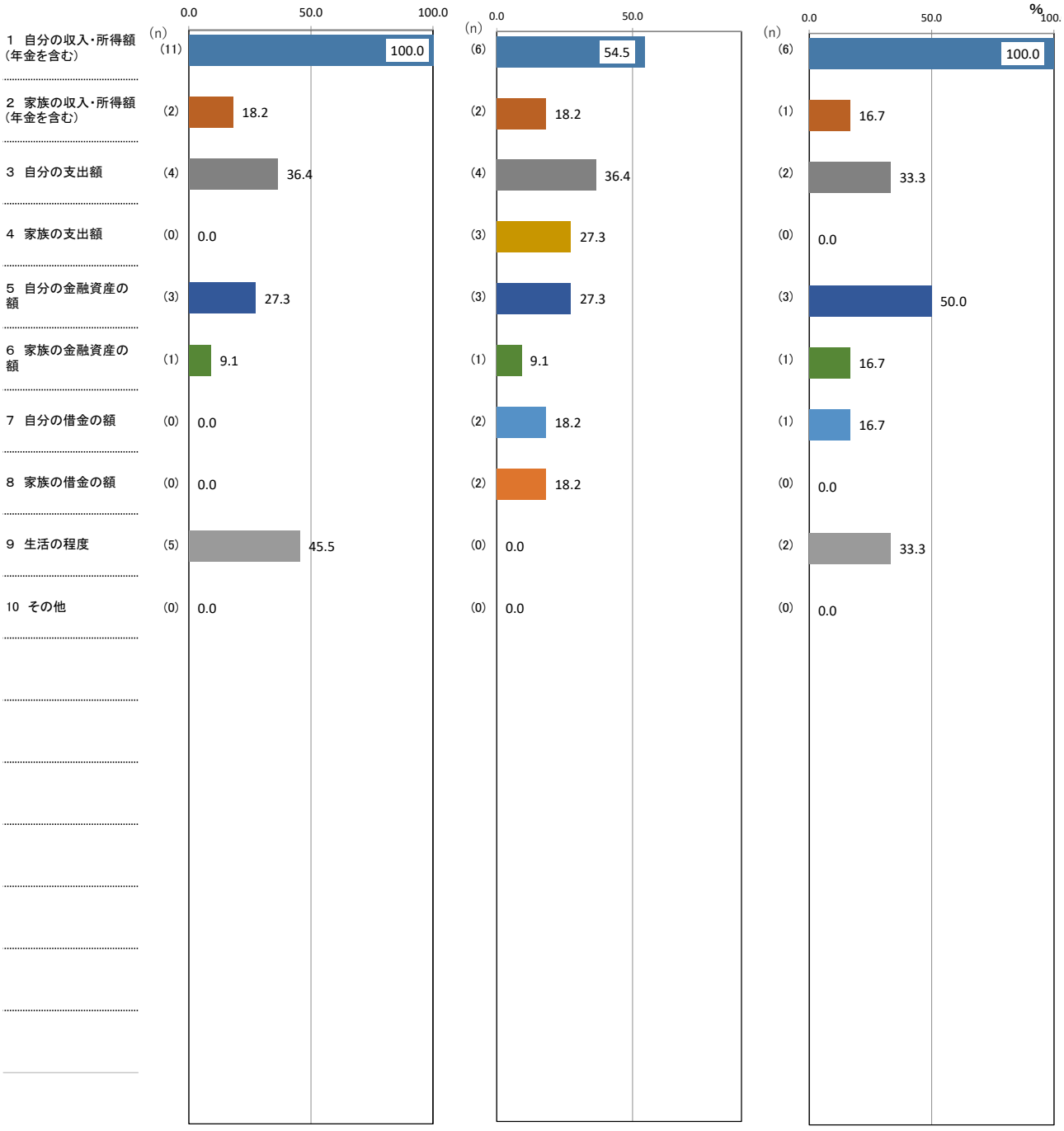
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝20人）	44	18	3	4	2	3	1	1	1	11	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝14人）	26	10	2	3	3	1	1	2	1	3	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝13人）	26	11	2	1	0	3	1	4	1	2	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜会社役員・団体役員＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (26) 11 人	②「どちらともいえない」の回答 (23) 11 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (16) 6 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (11)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (6)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (6)
2	9 生活の程度 (5)	3 自分の支出額 (4)	5 自分の金融資産の額 (3)
3	3 自分の支出額 (4)	4 家族の支出額 (3)	3 自分の支出額 (2)
		5 自分の金融資産の額 (3) 3位	9 生活の程度 (2) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜会社役員・団体役員＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		100.0	18.2	36.4	0.0	27.3	9.1	0.0	0.0	45.5	0.0
②「どちらともいえない」		54.5	18.2	36.4	27.3	27.3	9.1	18.2	18.2	0.0	0.0
③「あまり感じない・感じない」		100.0	16.7	33.3	0.0	50.0	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0

（件）

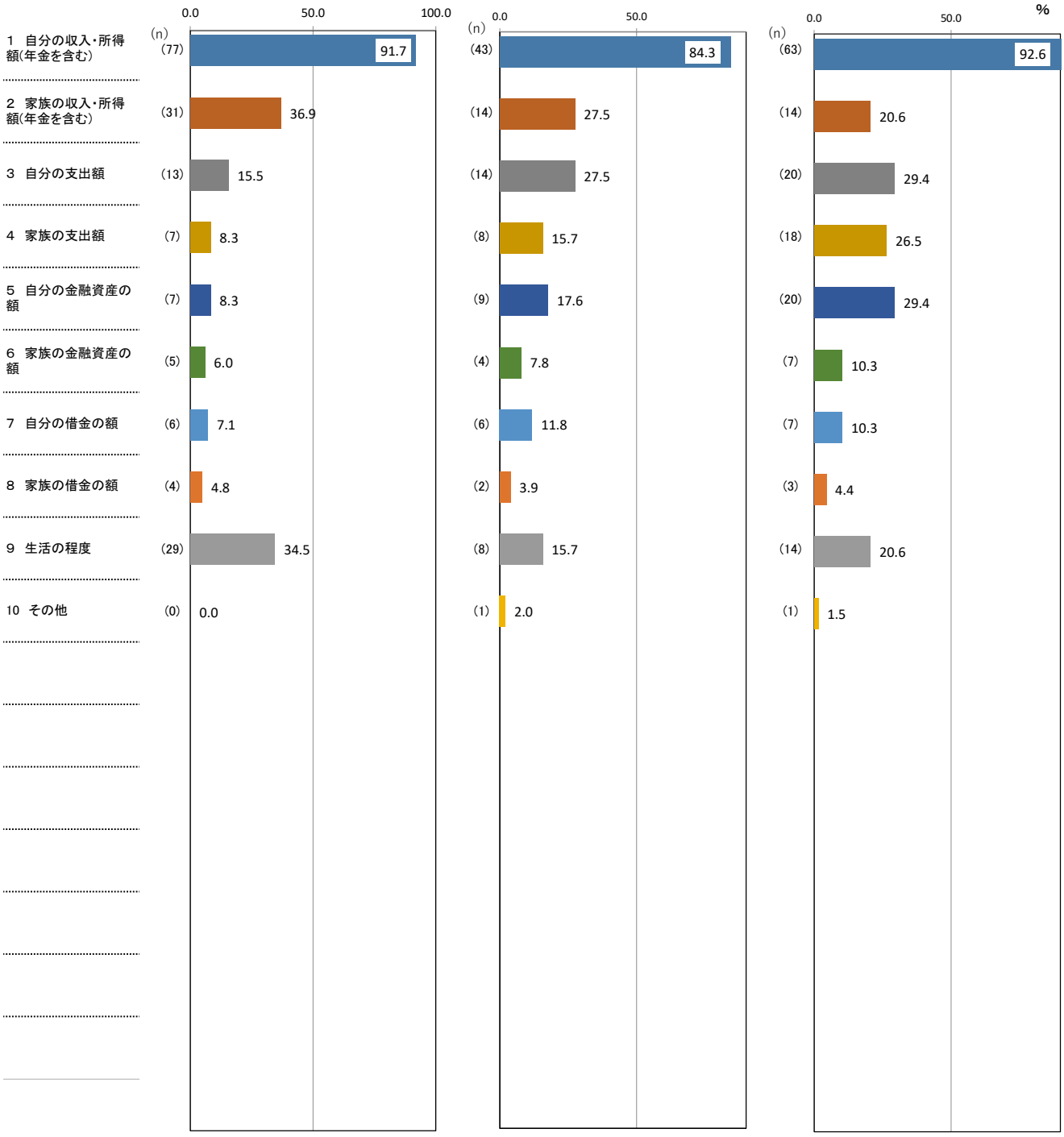
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝11人）	26	11	2	4	0	3	1	0	0	5	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝11人）	23	6	2	4	3	3	1	2	2	0	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝6人）	16	6	1	2	0	3	1	1	0	2	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<常用雇用者>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (179) 84 人	②「どちらともいえない」の回答 (109) 51 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (167) 68 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (77)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (43)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (63)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (31)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (14)	3 自分の支出額 (20)
3	9 生活の程度 (29)	3 自分の支出額 (14) 2位	5 自分の金融資産の額 (20) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜常用雇用者＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		91.7	36.9	15.5	8.3	8.3	6.0	7.1	4.8	34.5	0.0
②「どちらともいえない」		84.3	27.5	27.5	15.7	17.6	7.8	11.8	3.9	15.7	2.0
③「あまり感じない・感じない」		92.6	20.6	29.4	26.5	29.4	10.3	10.3	4.4	20.6	1.5

（件）

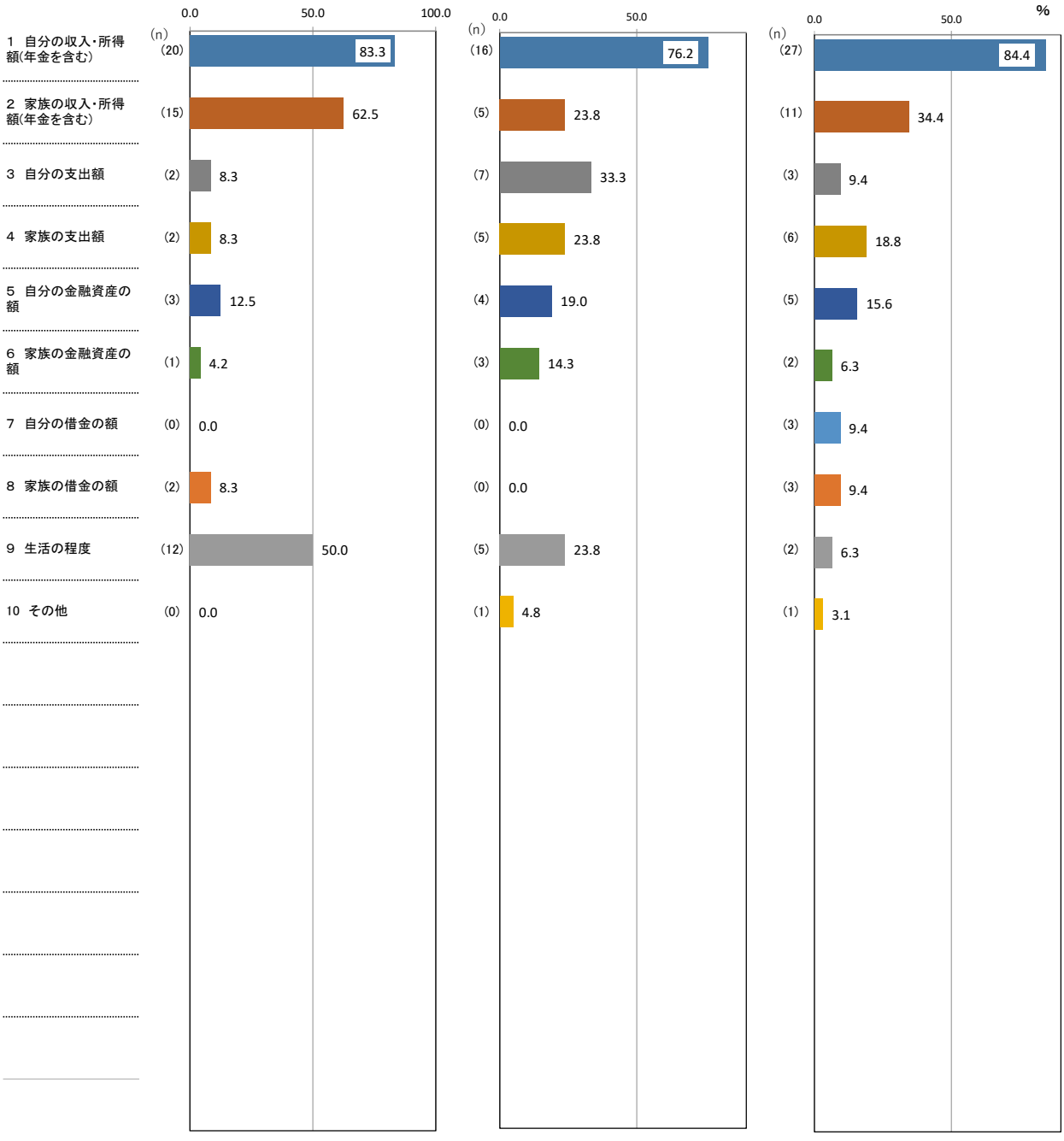
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝84人）	179	77	31	13	7	7	5	6	4	29	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝51人）	109	43	14	14	8	9	4	6	2	8	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝68人）	167	63	14	20	18	20	7	7	3	14	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜臨時雇用者＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (57) 24 人	②「どちらともいえない」の回答 (46) 21 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (63) 32 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (20)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (16)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (27)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (15)	3 自分の支出額 (7)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (11)
3	9 生活の程度 (12)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (5)	4 家族の支出額 (6)
		4 家族の支出額 (5) 3位	
		9 生活の程度 (5) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜臨時雇用者＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		83.3	62.5	8.3	8.3	12.5	4.2	0.0	8.3	50.0	0.0
②「どちらともいえない」		76.2	23.8	33.3	23.8	19.0	14.3	0.0	0.0	23.8	4.8
③「あまり感じない・感じない」		84.4	34.4	9.4	18.8	15.6	6.3	9.4	9.4	6.3	3.1

（件）

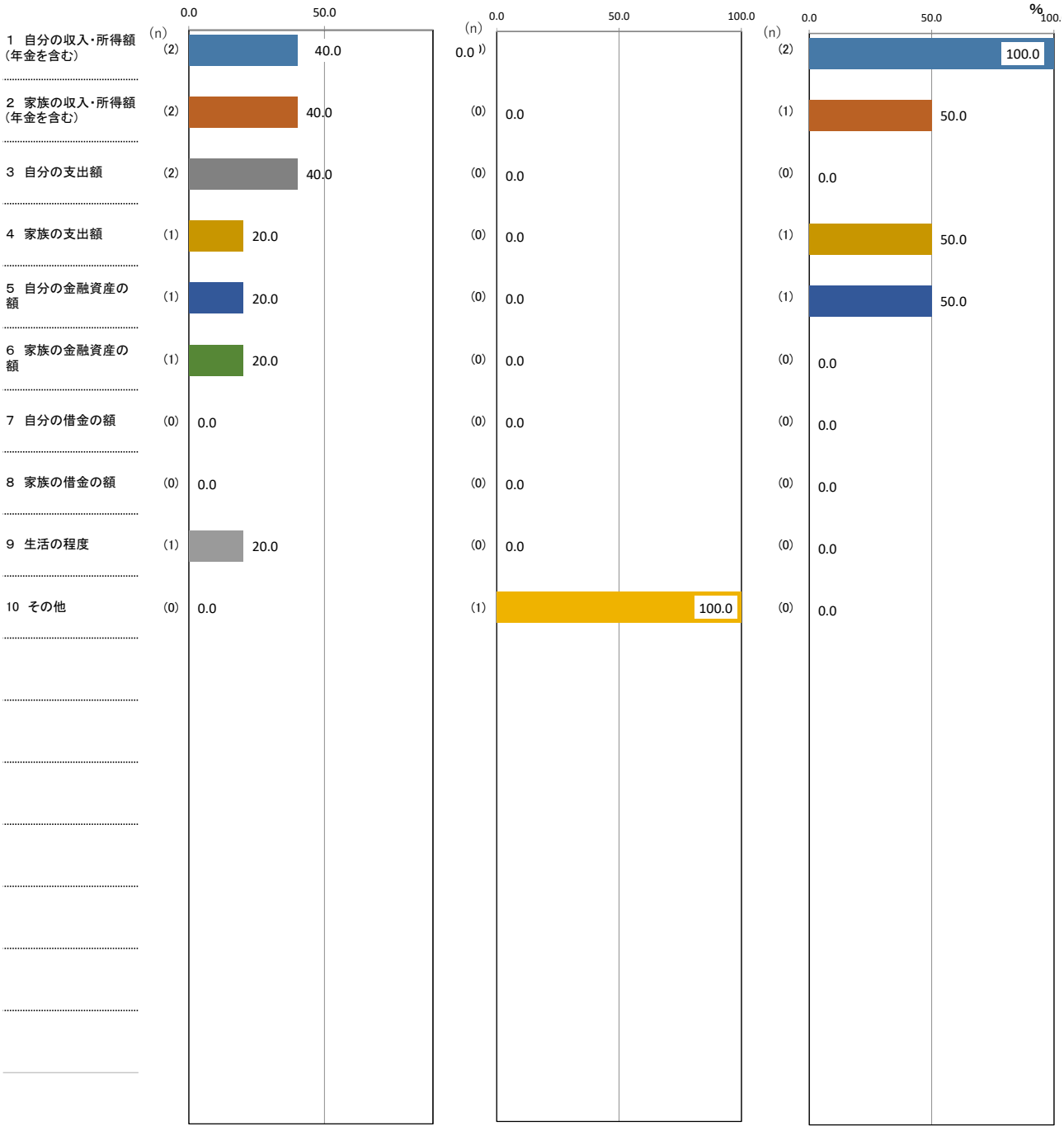
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝24人）	57	20	15	2	2	3	1	0	2	12	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝21人）	46	16	5	7	5	4	3	0	0	5	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝32人）	63	27	11	3	6	5	2	3	3	2	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜学生＋その他＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (10) 5 人	②「どちらともいえない」の回答 (1) 1 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (5) 2 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (2)	10 その他 (1)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (2)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (2) 1位	#N/A #N/A	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (1)
3	3 自分の支出額 (2) 1位	#N/A #N/A	4 家族の支出額 (1) 2位
			5 自分の金融資産の額 (1) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜学生＋その他＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
②「どちらともいえない」		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
③「あまり感じない・感じない」		100.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（件）

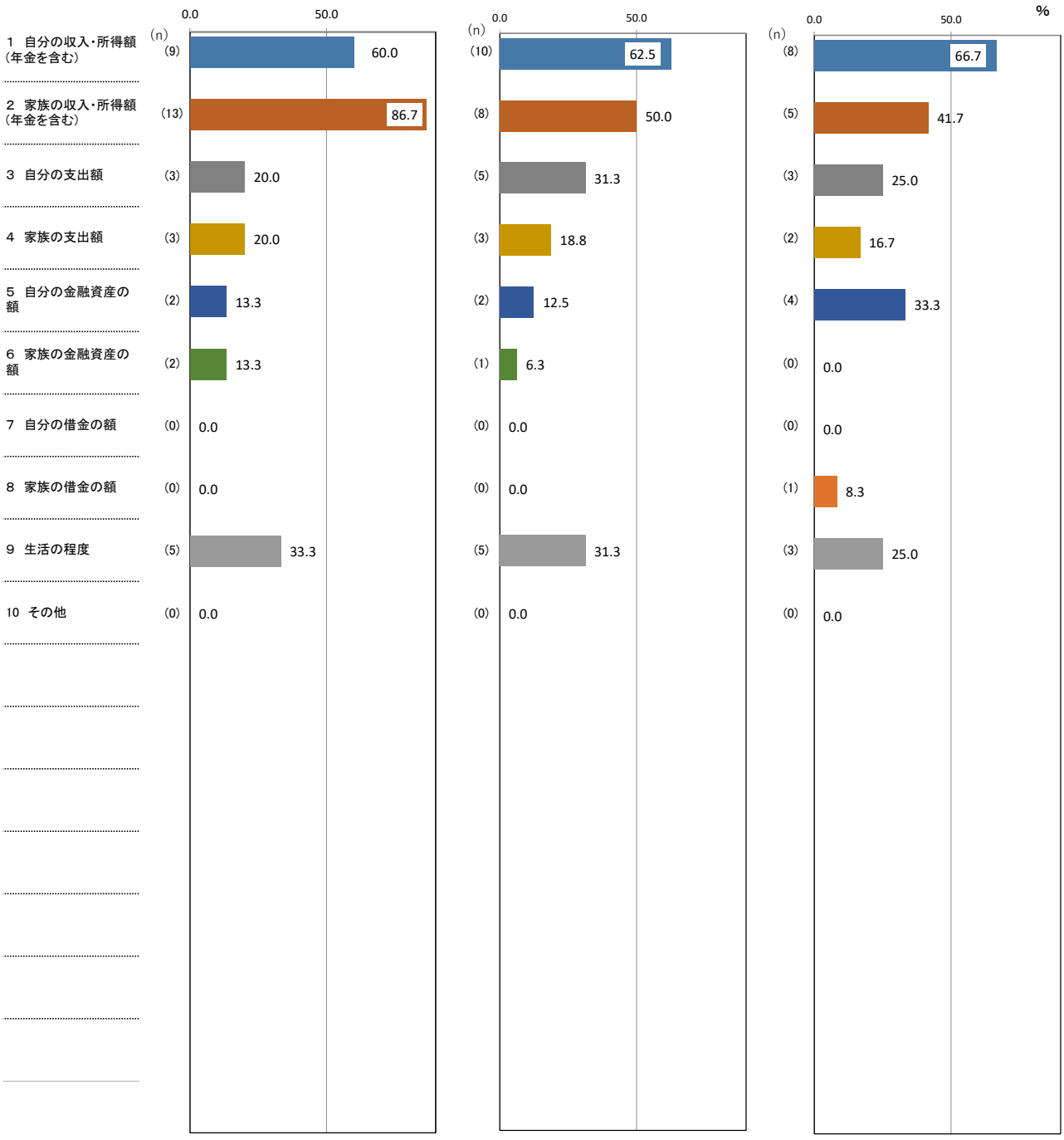
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝5人）	10	2	2	2	1	1	1	0	0	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝1人）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝2人）	5	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜専業主婦・主夫＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (37) 15 人	②「どちらともいえない」の回答 (34) 16 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (26) 12 人
1	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (13)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (10)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (8)
2	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (9)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (8)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (5)
3	9 生活の程度 (5)	3 自分の支出額 (5)	5 自分の金融資産の額 (4)
		9 生活の程度 (5) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜専業主婦・主夫＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		60.0	86.7	20.0	20.0	13.3	13.3	0.0	0.0	33.3	0.0
②「どちらともいえない」		62.5	50.0	31.3	18.8	12.5	6.3	0.0	0.0	31.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		66.7	41.7	25.0	16.7	33.3	0.0	0.0	8.3	25.0	0.0

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝15人）	37	9	13	3	3	2	2	0	0	5	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝16人）	34	10	8	5	3	2	1	0	0	5	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝12人）	26	8	5	3	2	4	0	0	1	3	0

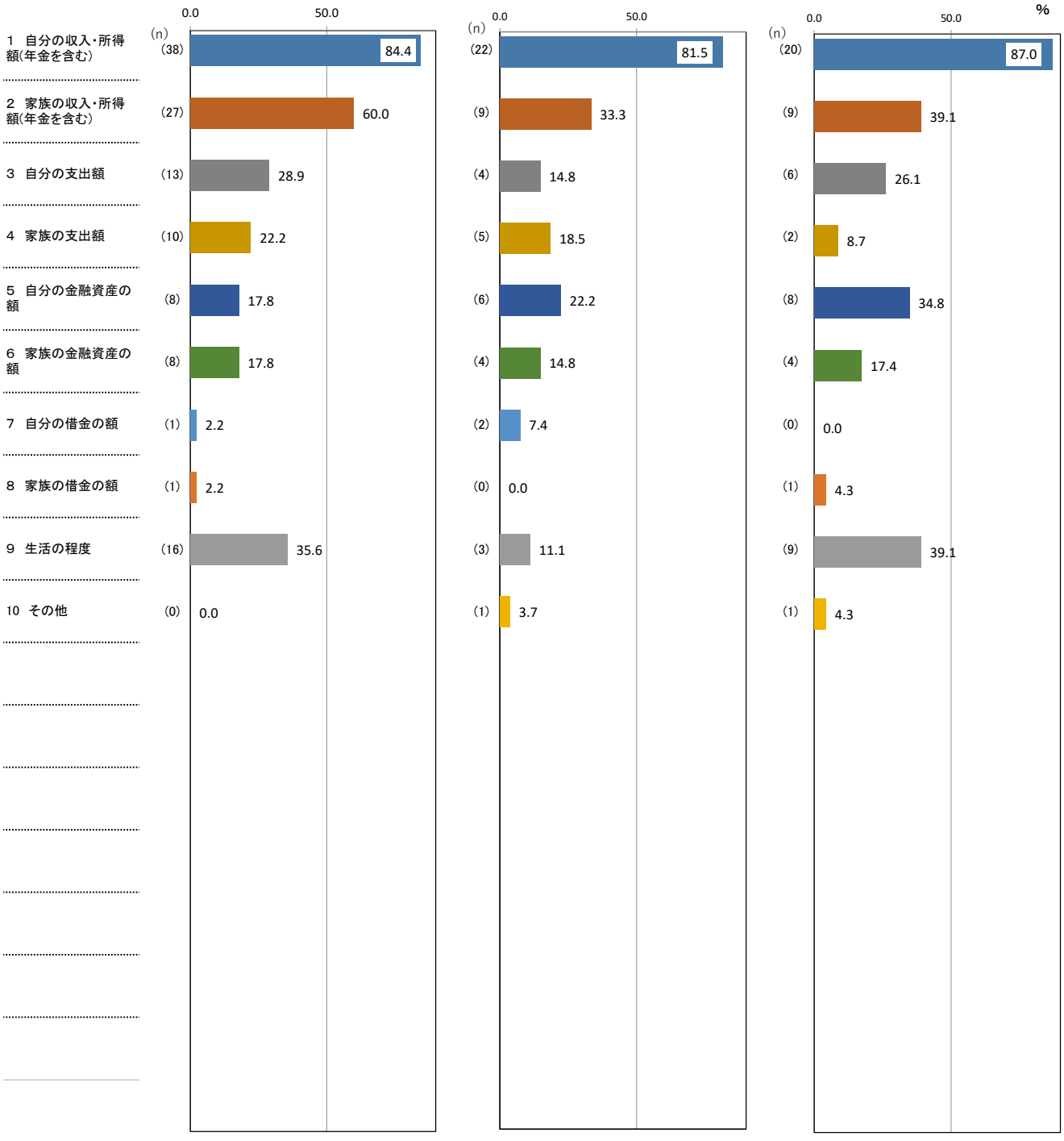
【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜夫婦のみ＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (122) 45 人	②「どちらともいえない」の回答 (56) 27 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (60) 23 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (38)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (22)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (20)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (27)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)
3	9 生活の程度 (16)	5 自分の金融資産の額 (6)	9 生活の程度 (9)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜夫婦のみ＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		84.4	60.0	28.9	22.2	17.8	17.8	2.2	2.2	35.6	0.0
②「どちらともいえない」		81.5	33.3	14.8	18.5	22.2	14.8	7.4	0.0	11.1	3.7
③「あまり感じない・感じない」		87.0	39.1	26.1	8.7	34.8	17.4	0.0	4.3	39.1	4.3

（件）

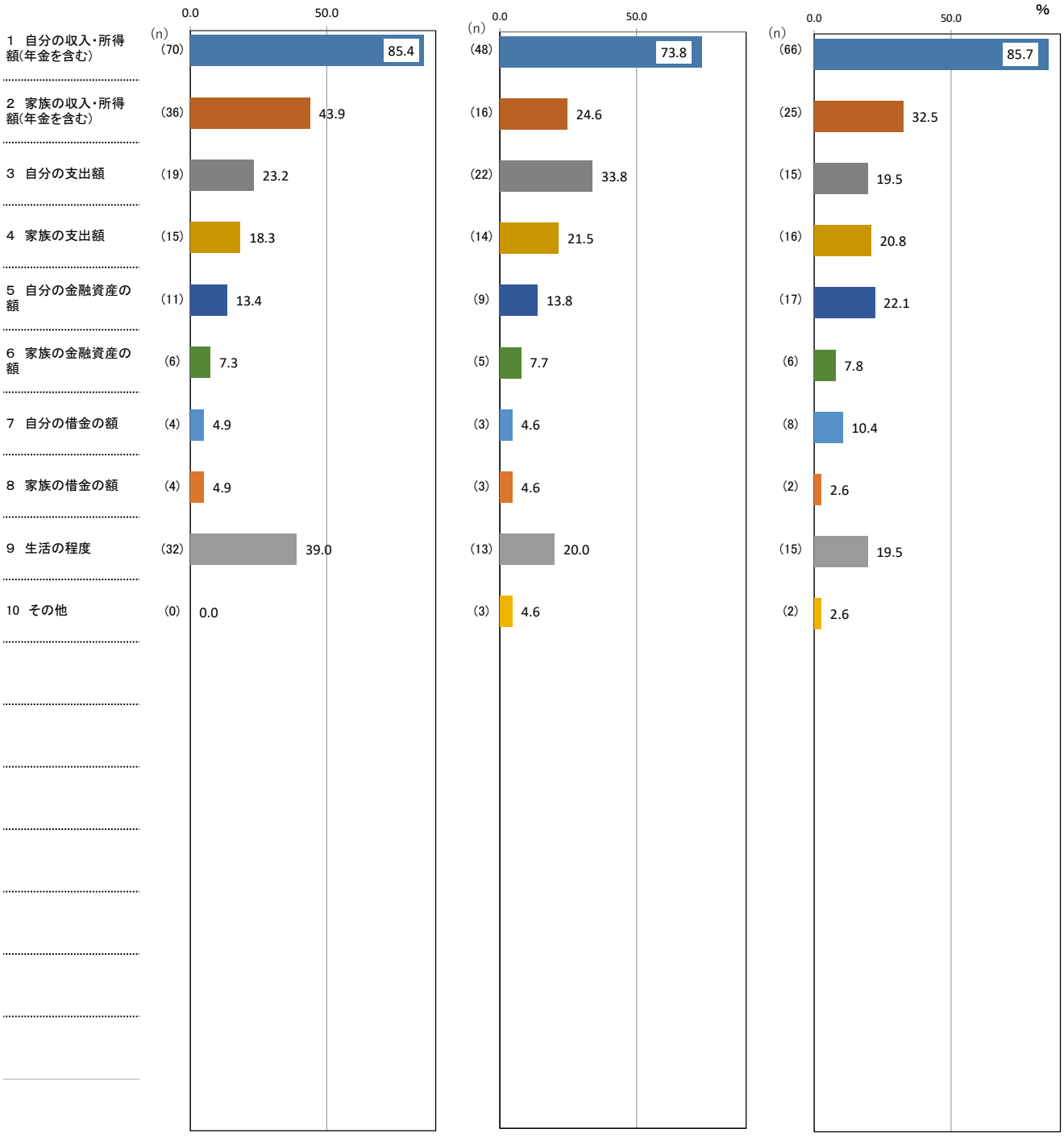
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝45人）	122	38	27	13	10	8	8	1	1	16	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝27人）	56	22	9	4	5	6	4	2	0	3	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝23人）	60	20	9	6	2	8	4	0	1	9	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<2世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (197) 82 人	②「どちらともいえない」の回答 (136) 65 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (172) 77 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (70)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (48)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (66)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (36)	3 自分の支出額 (22)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (25)
3	9 生活の程度 (32)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (16)	5 自分の金融資産の額 (17)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜2世代世帯＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		85.4	43.9	23.2	18.3	13.4	7.3	4.9	4.9	39.0	0.0
②「どちらともいえない」		73.8	24.6	33.8	21.5	13.8	7.7	4.6	4.6	20.0	4.6
③「あまり感じない・感じない」		85.7	32.5	19.5	20.8	22.1	7.8	10.4	2.6	19.5	2.6

（件）

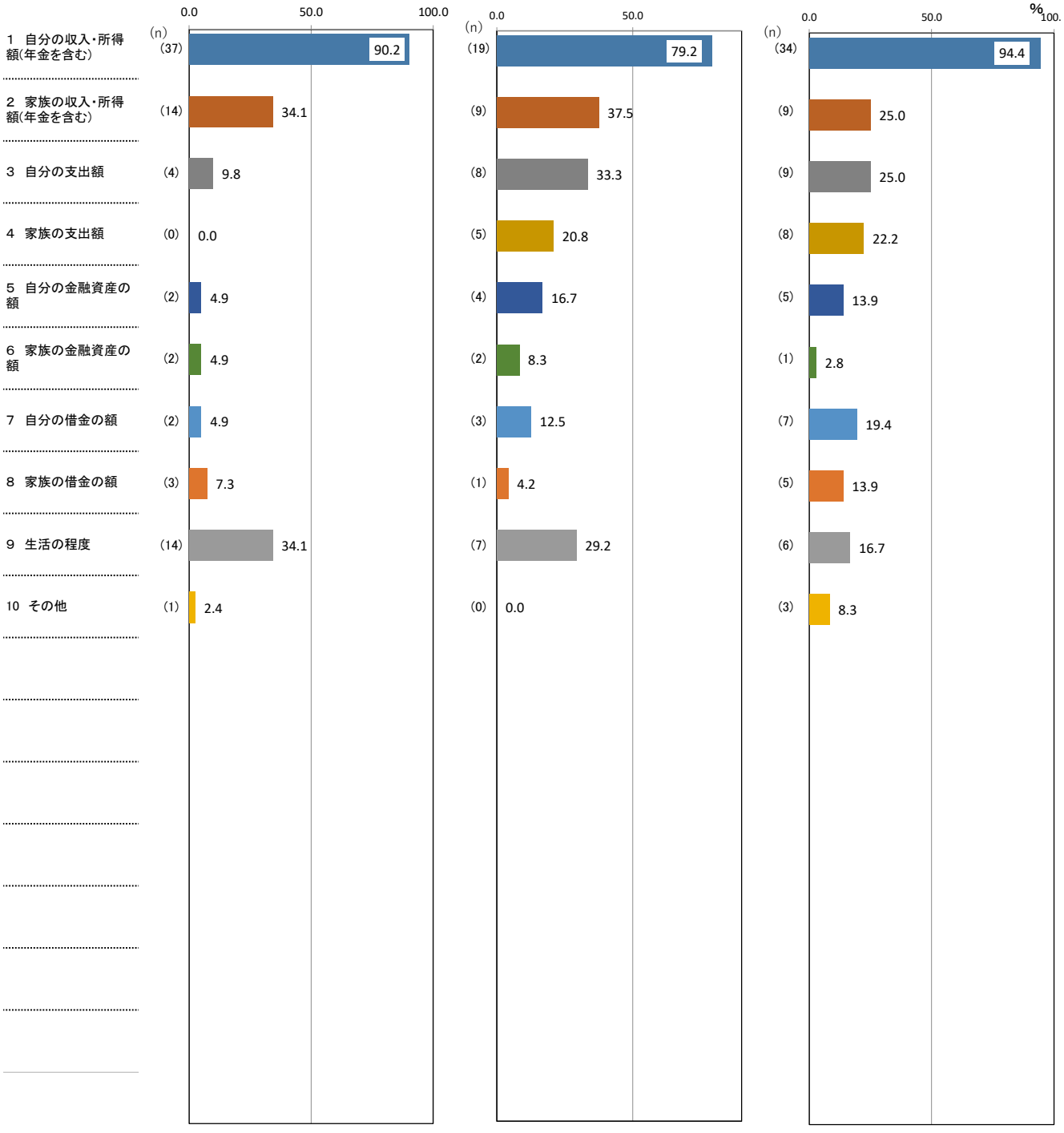
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝82人）	197	70	36	19	15	11	6	4	4	32	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝65人）	136	48	16	22	14	9	5	3	3	13	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝77人）	172	66	25	15	16	17	6	8	2	15	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<3世代世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (79) 41 人	②「どちらともいえない」の回答 (58) 24 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (87) 36 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (37)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (19)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (34)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (14)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)
3	9 生活の程度 (14) 2位	3 自分の支出額 (8)	3 自分の支出額 (9) 2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜3世代世帯＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		90.2	34.1	9.8	0.0	4.9	4.9	4.9	7.3	34.1	2.4
②「どちらともいえない」		79.2	37.5	33.3	20.8	16.7	8.3	12.5	4.2	29.2	0.0
③「あまり感じない・感じない」		94.4	25.0	25.0	22.2	13.9	2.8	19.4	13.9	16.7	8.3

（件）

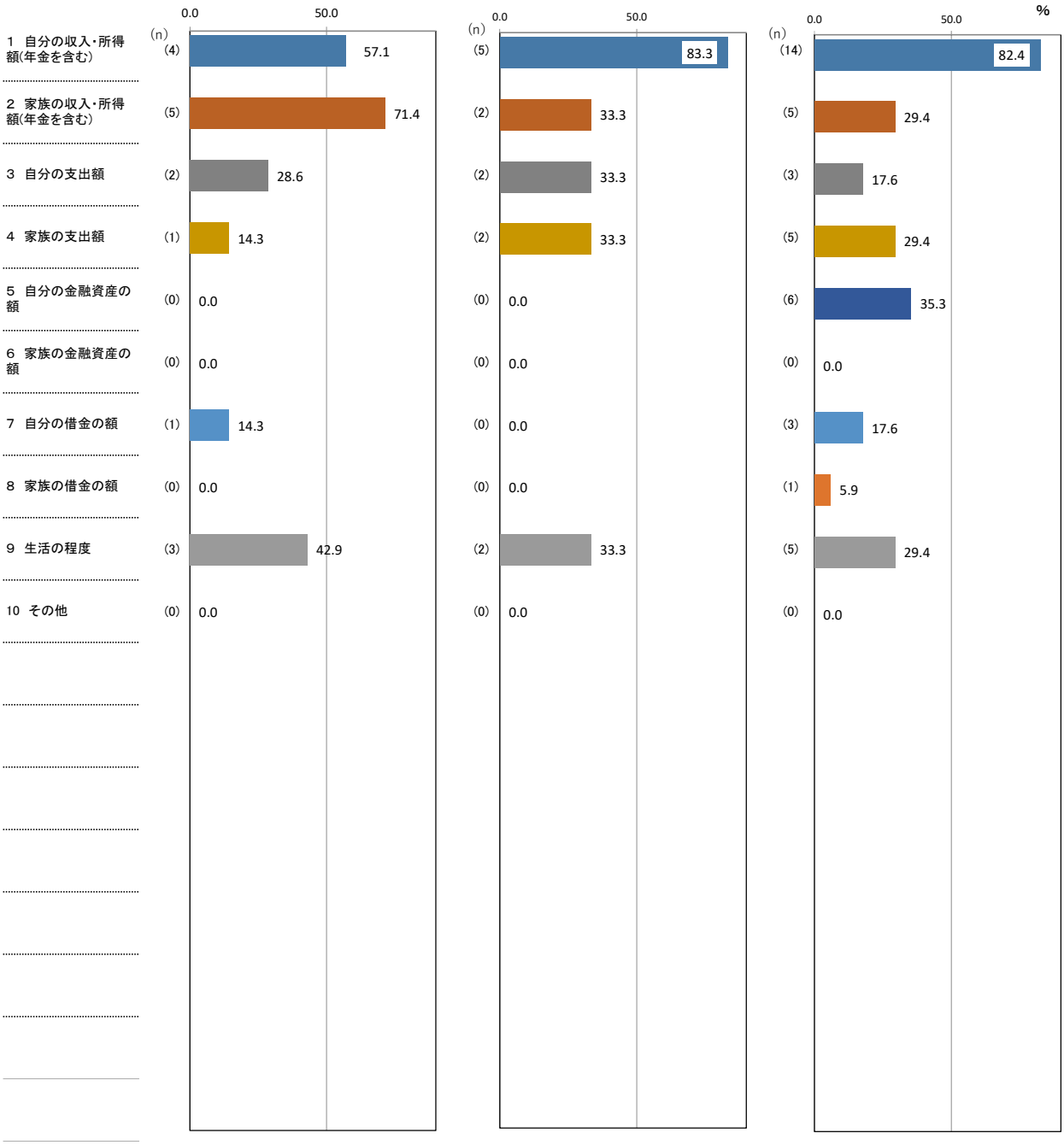
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝41人）	79	37	14	4	0	2	2	2	3	14	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝24人）	58	19	9	8	5	4	2	3	1	7	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝36人）	87	34	9	9	8	5	1	7	5	6	3

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<その他世帯>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (16) 7 人	②「どちらともいえない」の回答 (13) 6 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (42) 17 人
1	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (5)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (5)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (14)
2	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (4)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (2)	5 自分の金融資産の額 (6)
3	9 生活の程度 (3)	3 自分の支出額 (2) 2位	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (5)
		4 家族の支出額 (2) 2位	9 生活の程度 (5) 3位
		9 生活の程度 (2) 2位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜その他世帯＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		57.1	71.4	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0
②「どちらともいえない」		83.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		82.4	29.4	17.6	29.4	35.3	0.0	17.6	5.9	29.4	0.0

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝7人）	16	4	5	2	1	0	0	1	0	3	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝6人）	13	5	2	2	2	0	0	0	0	2	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝17人）	42	14	5	3	5	6	0	3	1	5	0

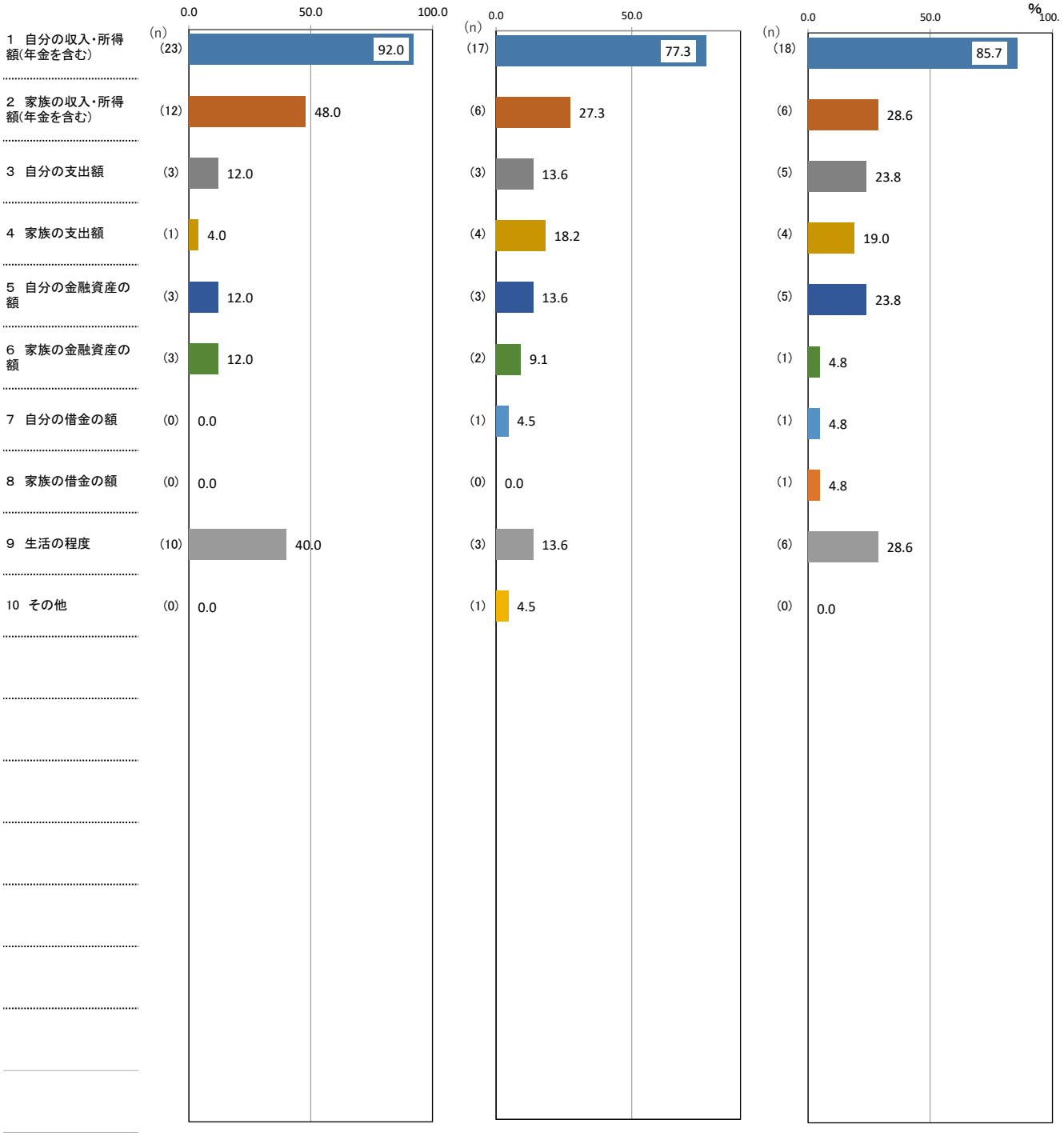
【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<子の人数1人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (55) 25 人	②「どちらともいえない」の回答 (40) 22 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (47) 21 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (23)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (17)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (18)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (6)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (6)
3	9 生活の程度 (10)	4 家族の支出額 (4)	9 生活の程度 (6)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数1人＞ （%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		92.0	48.0	12.0	4.0	12.0	12.0	0.0	0.0	40.0	0.0
②「どちらともいえない」		77.3	27.3	13.6	18.2	13.6	9.1	4.5	0.0	13.6	4.5
③「あまり感じない・感じない」		85.7	28.6	23.8	19.0	23.8	4.8	4.8	4.8	28.6	0.0

（件）

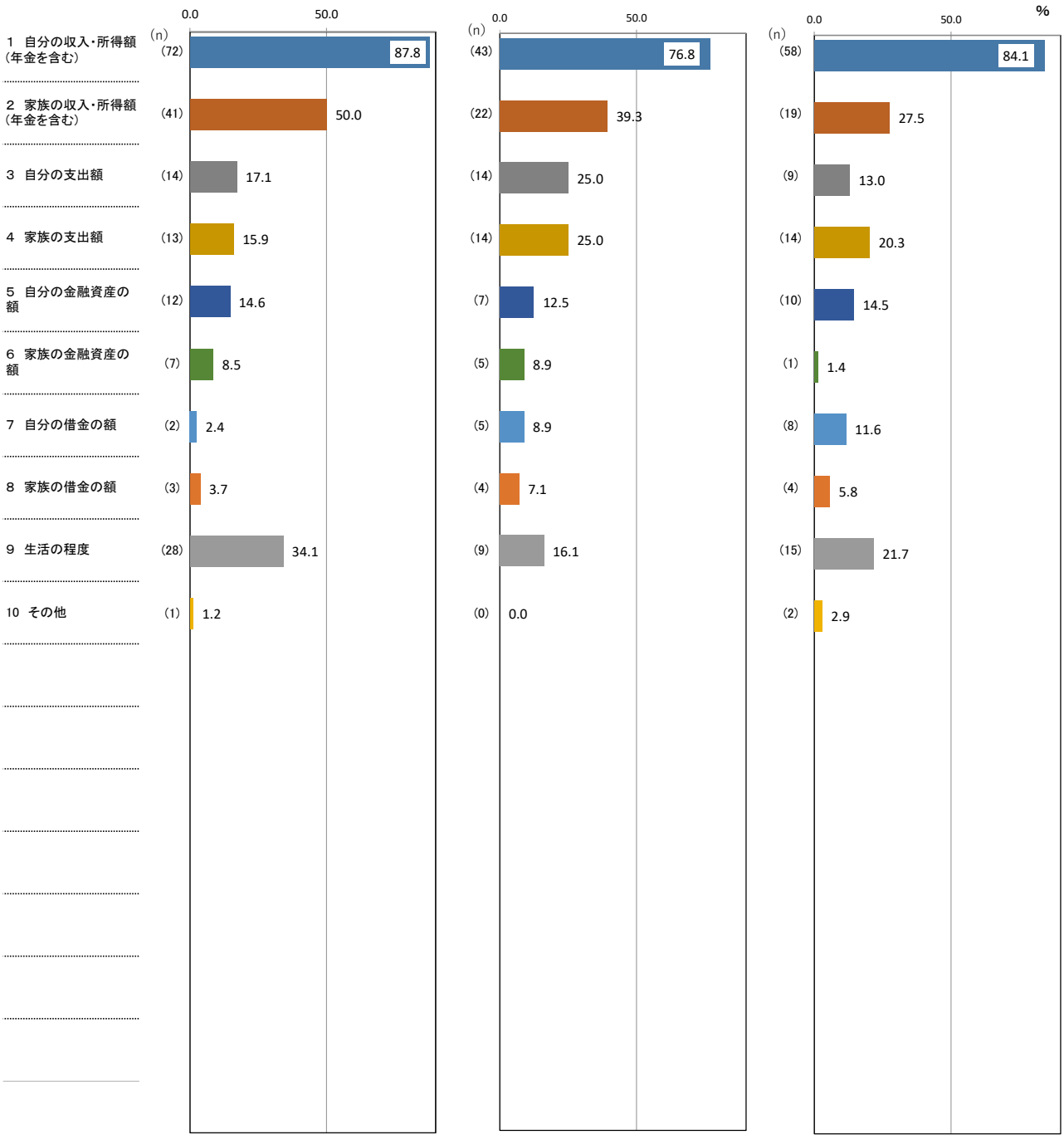
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝25人）	55	23	12	3	1	3	3	0	0	10	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝22人）	40	17	6	3	4	3	2	1	0	3	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝21人）	47	18	6	5	4	5	1	1	1	6	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜子の人数2人＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (193) 82 人	②「どちらともいえない」の回答 (123) 56 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (140) 69 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (72)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (43)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (58)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (41)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (22)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (19)
3	9 生活の程度 (28)	3 自分の支出額 (14)	9 生活の程度 (15)
		4 家族の支出額 (14) 3位	

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数2人＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		87.8	50.0	17.1	15.9	14.6	8.5	2.4	3.7	34.1	1.2
②「どちらともいえない」		76.8	39.3	25.0	25.0	12.5	8.9	8.9	7.1	16.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		84.1	27.5	13.0	20.3	14.5	1.4	11.6	5.8	21.7	2.9

（件）

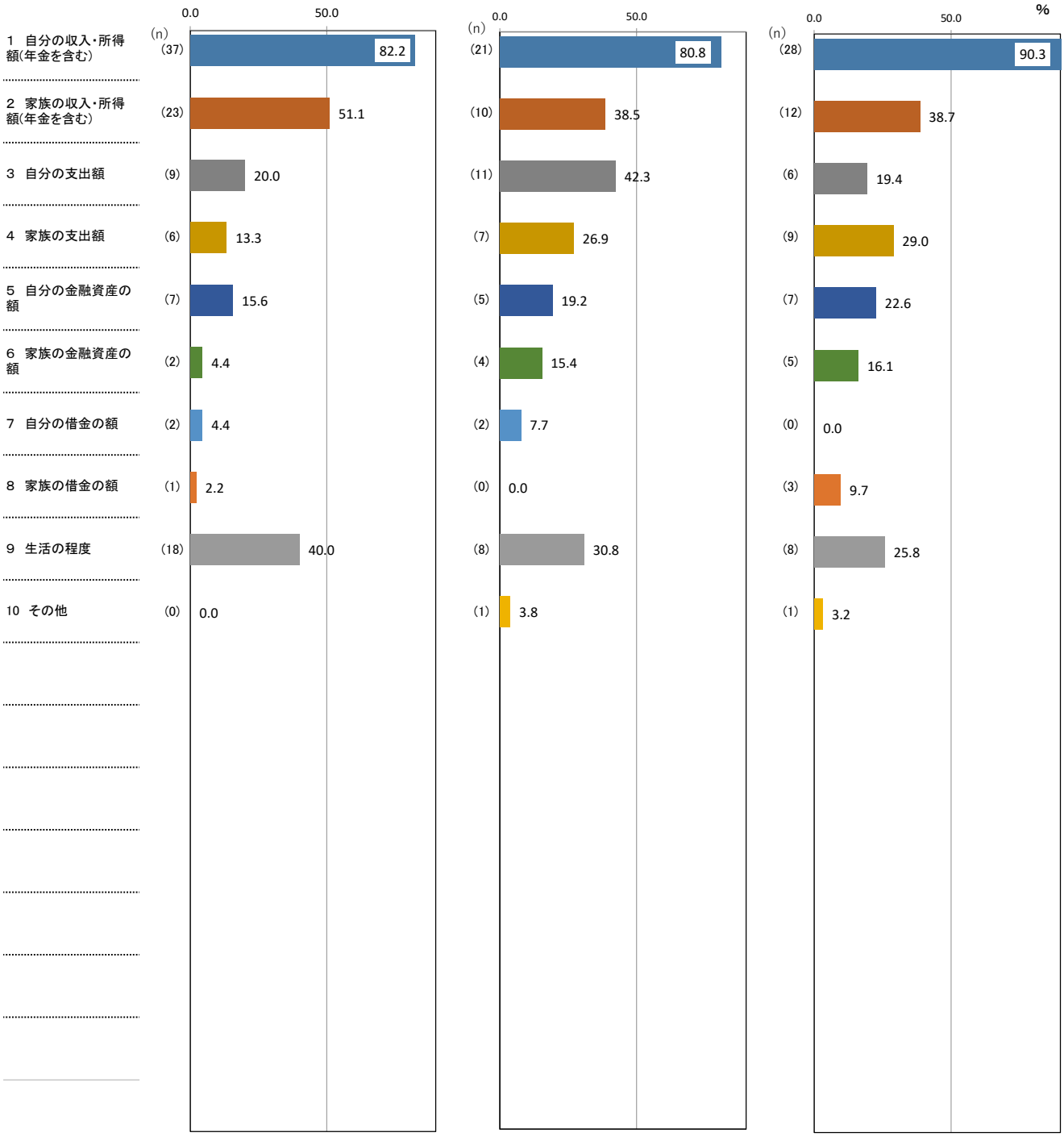
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝82人）	193	72	41	14	13	12	7	2	3	28	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝56人）	123	43	22	14	14	7	5	5	4	9	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝69人）	140	58	19	9	14	10	1	8	4	15	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<子の人数3人>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (105) 45 人	②「どちらともいえない」の回答 (69) 26 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (79) 31 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (37)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (21)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (28)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (23)	3 自分の支出額 (11)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (12)
3	9 生活の程度 (18)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (10)	4 家族の支出額 (9)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子の人数3人＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		82.2	51.1	20.0	13.3	15.6	4.4	4.4	2.2	40.0	0.0
②「どちらともいえない」		80.8	38.5	42.3	26.9	19.2	15.4	7.7	0.0	30.8	3.8
③「あまり感じない・感じない」		90.3	38.7	19.4	29.0	22.6	16.1	0.0	9.7	25.8	3.2

（件）

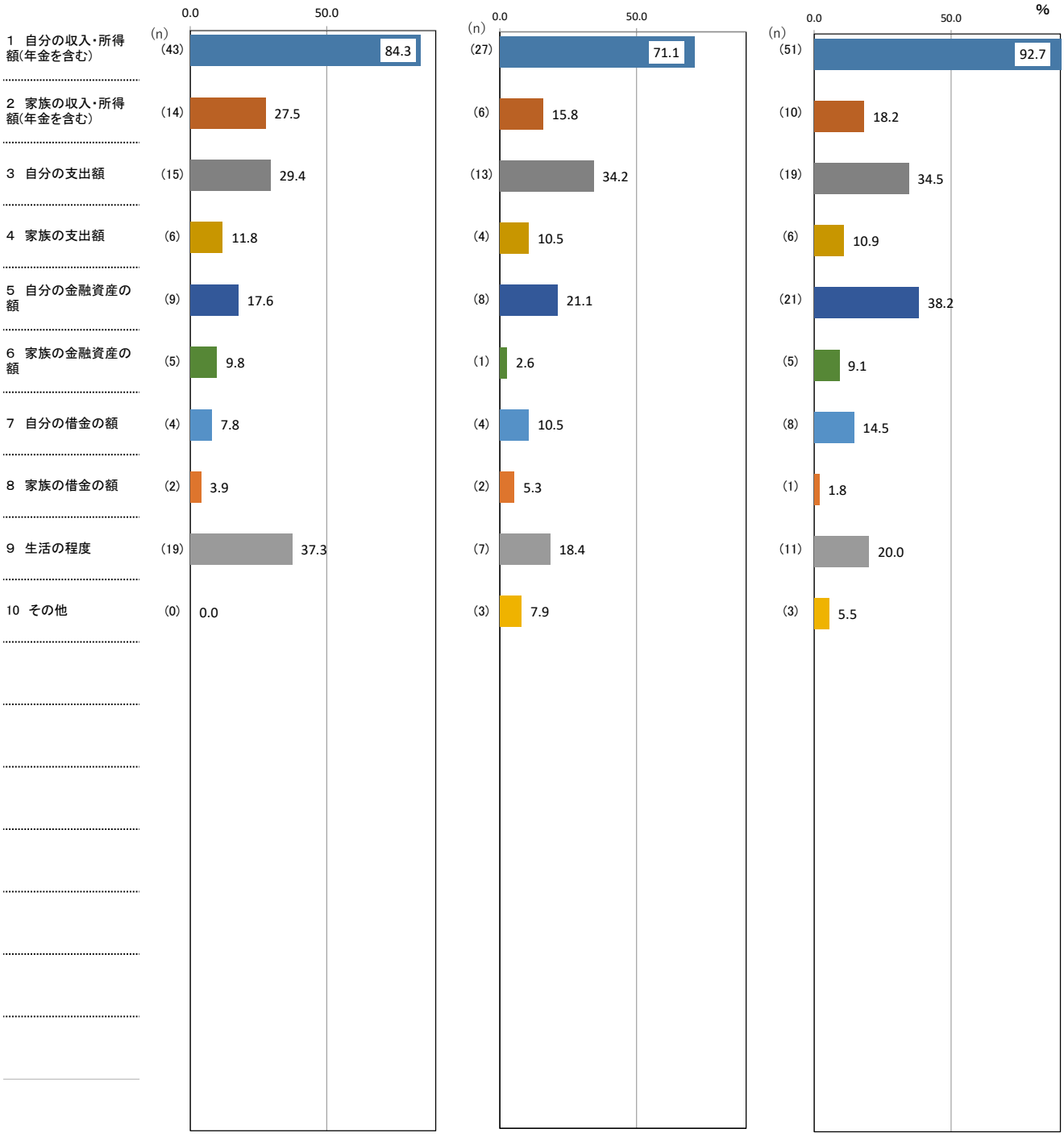
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝45人）	105	37	23	9	6	7	2	2	1	18	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝26人）	69	21	10	11	7	5	4	2	0	8	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝31人）	79	28	12	6	9	7	5	0	3	8	1

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<子どもはいない>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (117) 51 人	②「どちらともいえない」の回答 (75) 38 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (135) 55 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (43)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (27)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (51)
2	9 生活の程度 (19)	3 自分の支出額 (13)	5 自分の金融資産の額 (21)
3	3 自分の支出額 (15)	5 自分の金融資産の額 (8)	3 自分の支出額 (19)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜子どもはいない＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		84.3	27.5	29.4	11.8	17.6	9.8	7.8	3.9	37.3	0.0
②「どちらともいえない」		71.1	15.8	34.2	10.5	21.1	2.6	10.5	5.3	18.4	7.9
③「あまり感じない・感じない」		92.7	18.2	34.5	10.9	38.2	9.1	14.5	1.8	20.0	5.5

（件）

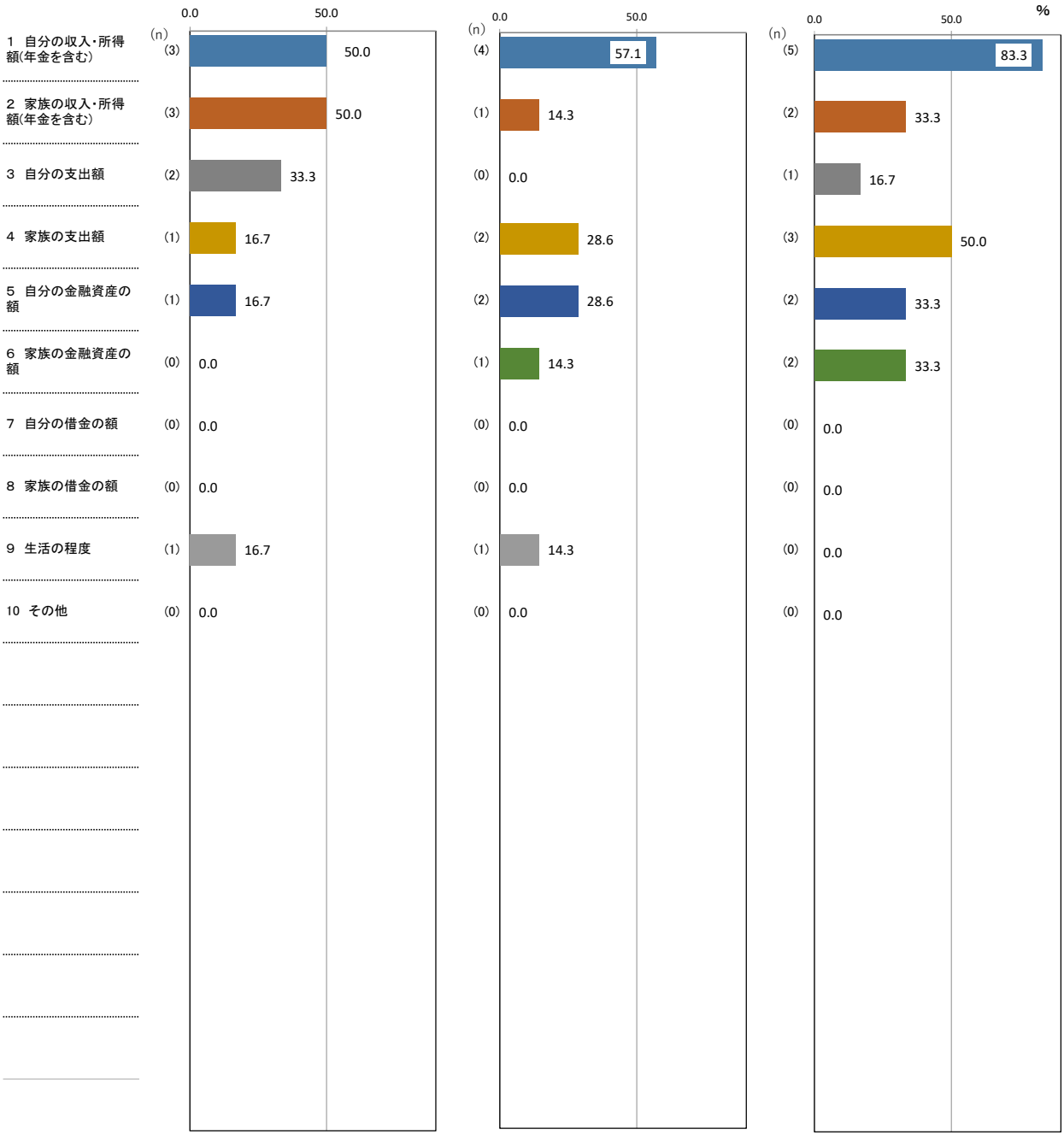
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝51人）	117	43	14	15	6	9	5	4	2	19	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝38人）	75	27	6	13	4	8	1	4	2	7	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝55人）	135	51	10	19	6	21	5	8	1	11	3

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜居住年数10～20年未満＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (11) 6 人	②「どちらともいえない」の回答 (11) 7 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (15) 6 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (3) 1位	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (4)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (5)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (3)	4 家族の支出額 (2) 2位	4 家族の支出額 (3)
3	3 自分の支出額 (2)	5 自分の金融資産の額 (2)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (2)
			5 自分の金融資産の額 (2) 3位
			6 家族の金融資産の額 (2) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数10～20年未満＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		50.0	50.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
②「どちらともいえない」		57.1	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
③「あまり感じない・感じない」		83.3	33.3	16.7	50.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

（件）

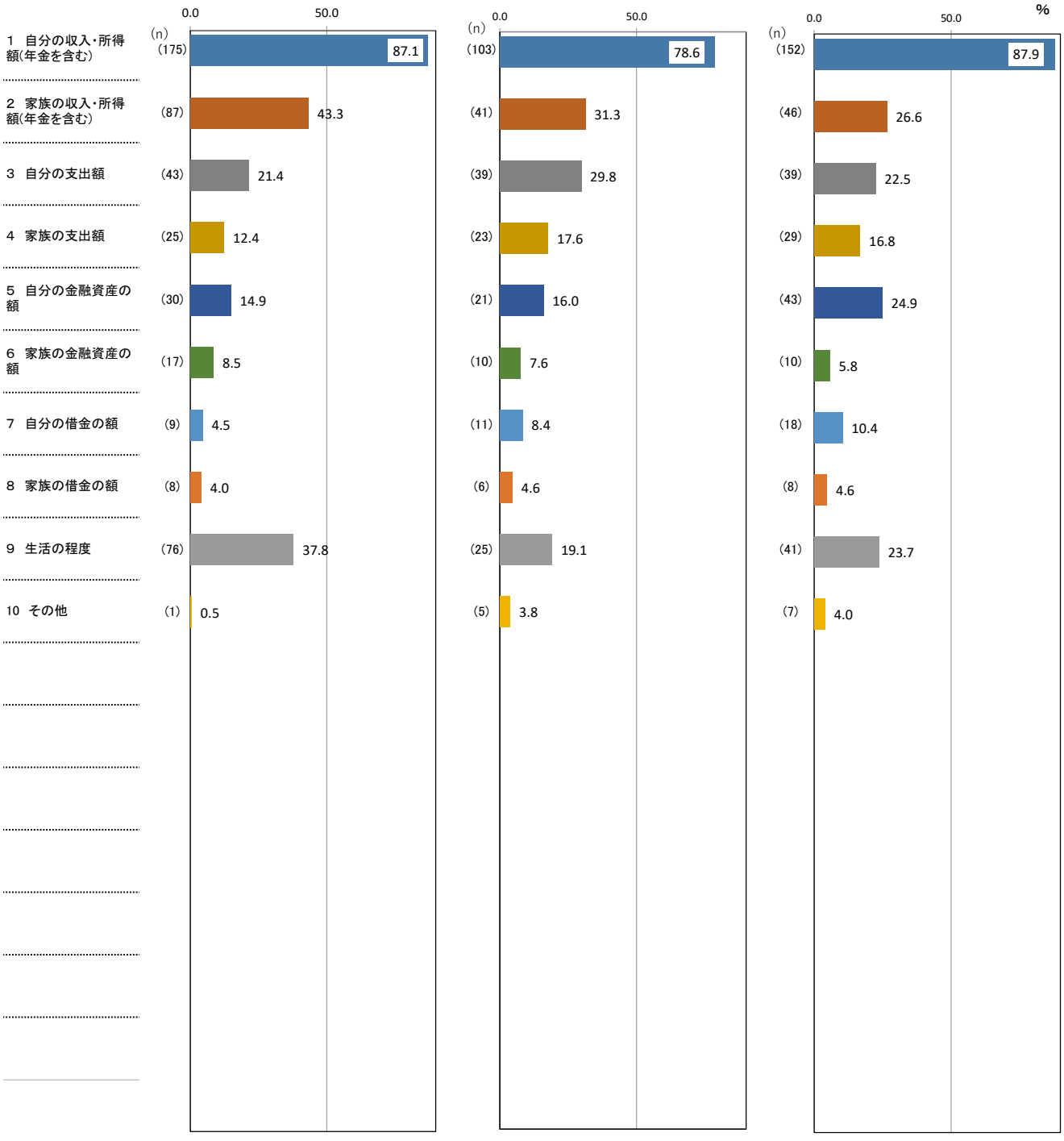
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝6人）	11	3	3	2	1	1	0	0	0	1	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝7人）	11	4	1	0	2	2	1	0	0	1	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝6人）	15	5	2	1	3	2	2	0	0	0	0

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<居住年数20年以上>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (471) 201 人	②「どちらともいえない」の回答 (284) 131 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (393) 173 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (175)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (103)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (152)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (87)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (41)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (46)
3	9 生活の程度 (76)	3 自分の支出額 (39)	5 自分の金融資産の額 (43)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜居住年数20年以上＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		87.1	43.3	21.4	12.4	14.9	8.5	4.5	4.0	37.8	0.5
②「どちらともいえない」		78.6	31.3	29.8	17.6	16.0	7.6	8.4	4.6	19.1	3.8
③「あまり感じない・感じない」		87.9	26.6	22.5	16.8	24.9	5.8	10.4	4.6	23.7	4.0

（件）

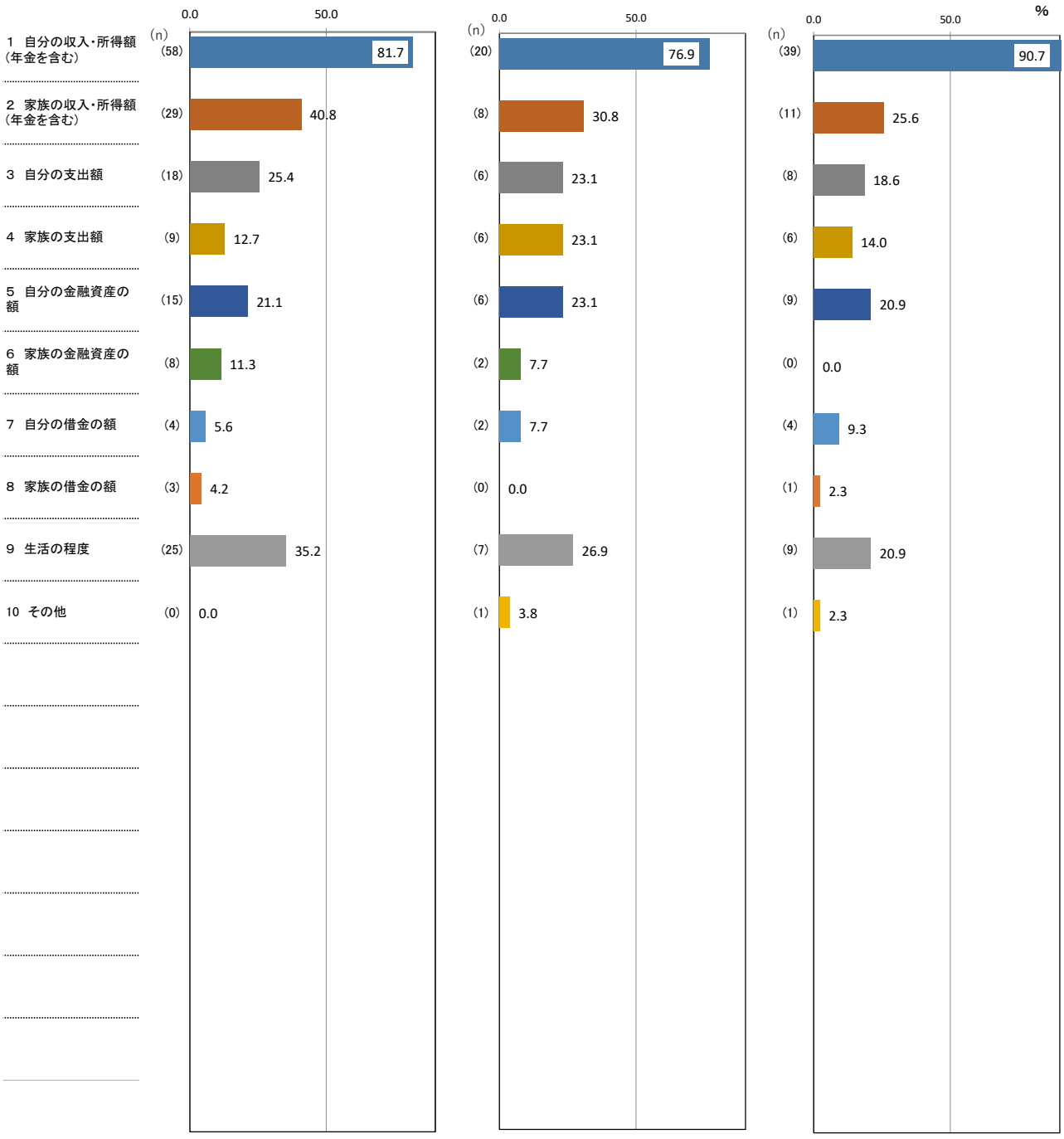
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝201人）	471	175	87	43	25	30	17	9	8	76	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝131人）	284	103	41	39	23	21	10	11	6	25	5
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝173人）	393	152	46	39	29	43	10	18	8	41	7

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜県央広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (169) 71 人	②「どちらともいえない」の回答 (58) 26 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (88) 43 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (58)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (20)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (39)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (29)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (8)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (11)
3	9 生活の程度 (25)	9 生活の程度 (7)	5 自分の金融資産の額 (9)
			9 生活の程度 (9) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県央広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		81.7	40.8	25.4	12.7	21.1	11.3	5.6	4.2	35.2	0.0
②「どちらともいえない」		76.9	30.8	23.1	23.1	23.1	7.7	7.7	0.0	26.9	3.8
③「あまり感じない・感じない」		90.7	25.6	18.6	14.0	20.9	0.0	9.3	2.3	20.9	2.3

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝71人）	169	58	29	18	9	15	8	4	3	25	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝26人）	58	20	8	6	6	6	2	2	0	7	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝43人）	88	39	11	8	6	9	0	4	1	9	1

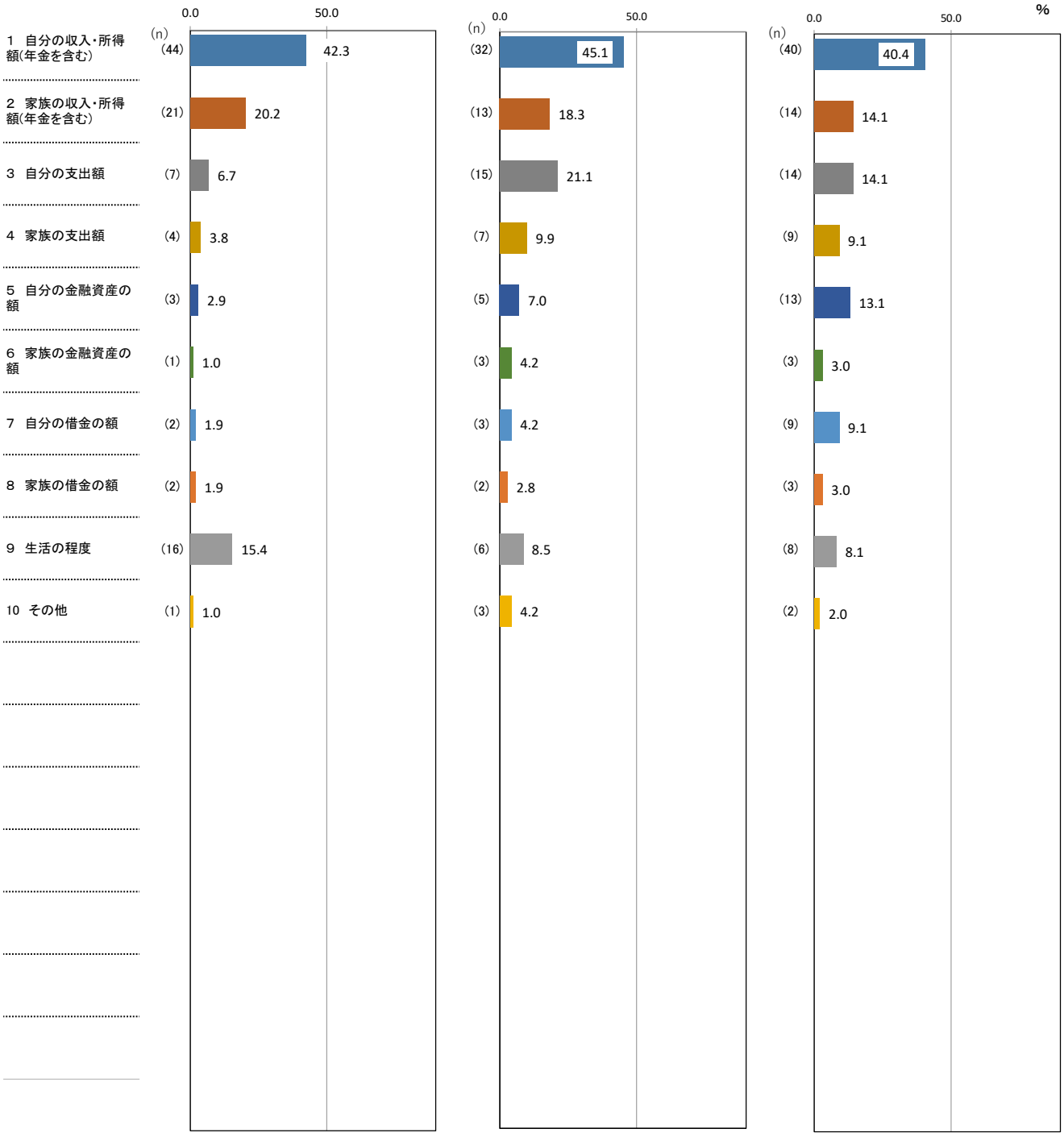
【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<県南広域振興圏>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (101) 104 人	②「どちらともいえない」の回答 (89) 71 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (115) 99 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (44)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (32)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (40)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (21)	3 自分の支出額 (15)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (14)
3	9 生活の程度 (16)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (13)	3 自分の支出額 (14)

2位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県南広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		42.3	20.2	6.7	3.8	2.9	1.0	1.9	1.9	15.4	1.0
②「どちらともいえない」		45.1	18.3	21.1	9.9	7.0	4.2	4.2	2.8	8.5	4.2
③「あまり感じない・感じない」		40.4	14.1	14.1	9.1	13.1	3.0	9.1	3.0	8.1	2.0

（件）

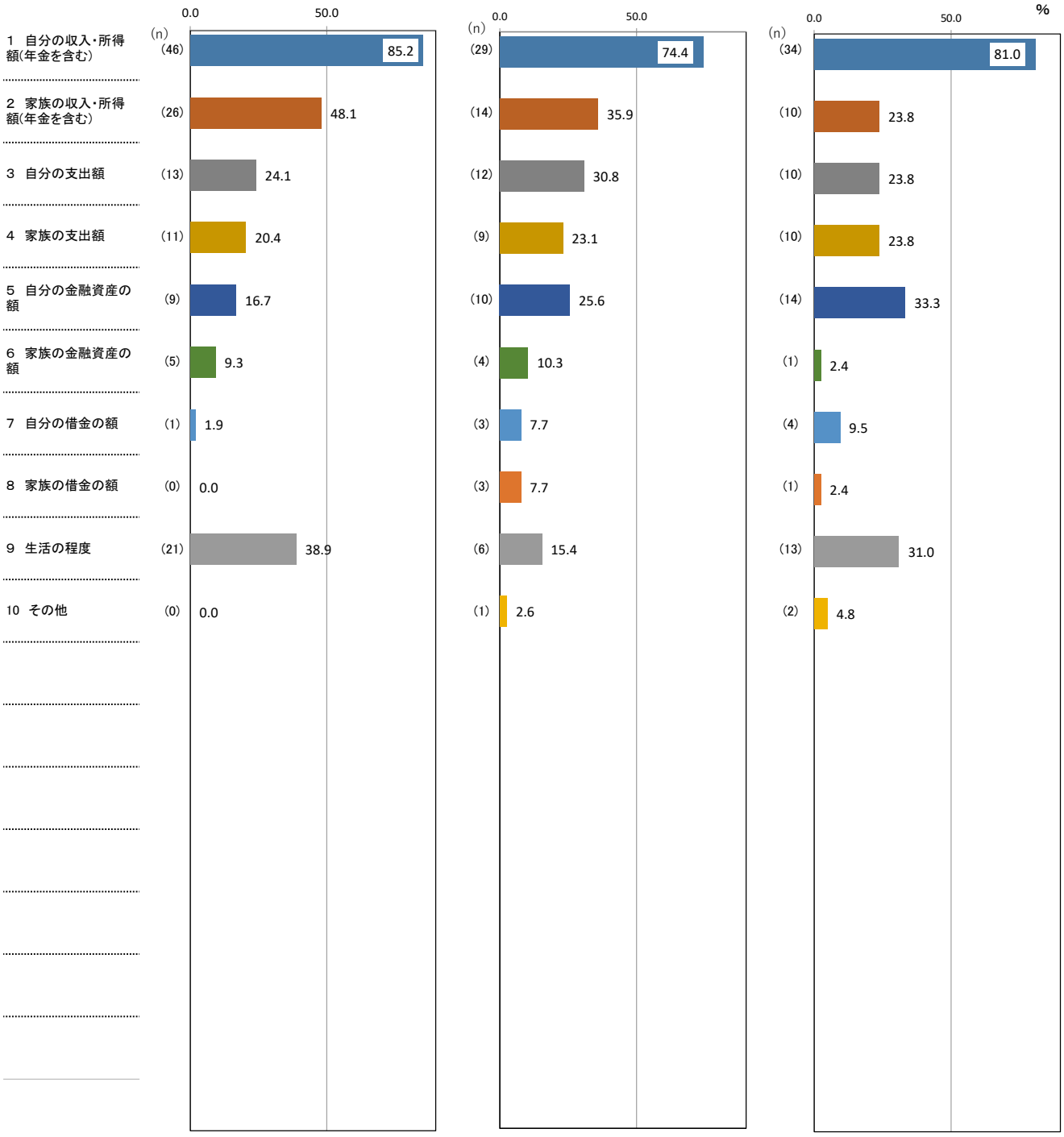
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝104人）	101	44	21	7	4	3	1	2	2	16	1
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝71人）	89	32	13	15	7	5	3	3	2	6	3
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝99人）	115	40	14	14	9	13	3	9	3	8	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」<沿岸広域振興圏>

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (132) 54 人	②「どちらともいえない」の回答 (91) 39 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (99) 42 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (46)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (29)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (34)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (26)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (14)	5 自分の金融資産の額 (14)
3	9 生活の程度 (21)	3 自分の支出額 (12)	9 生活の程度 (13)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜沿岸広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		85.2	48.1	24.1	20.4	16.7	9.3	1.9	0.0	38.9	0.0
②「どちらともいえない」		74.4	35.9	30.8	23.1	25.6	10.3	7.7	7.7	15.4	2.6
③「あまり感じない・感じない」		81.0	23.8	23.8	23.8	33.3	2.4	9.5	2.4	31.0	4.8

（件）

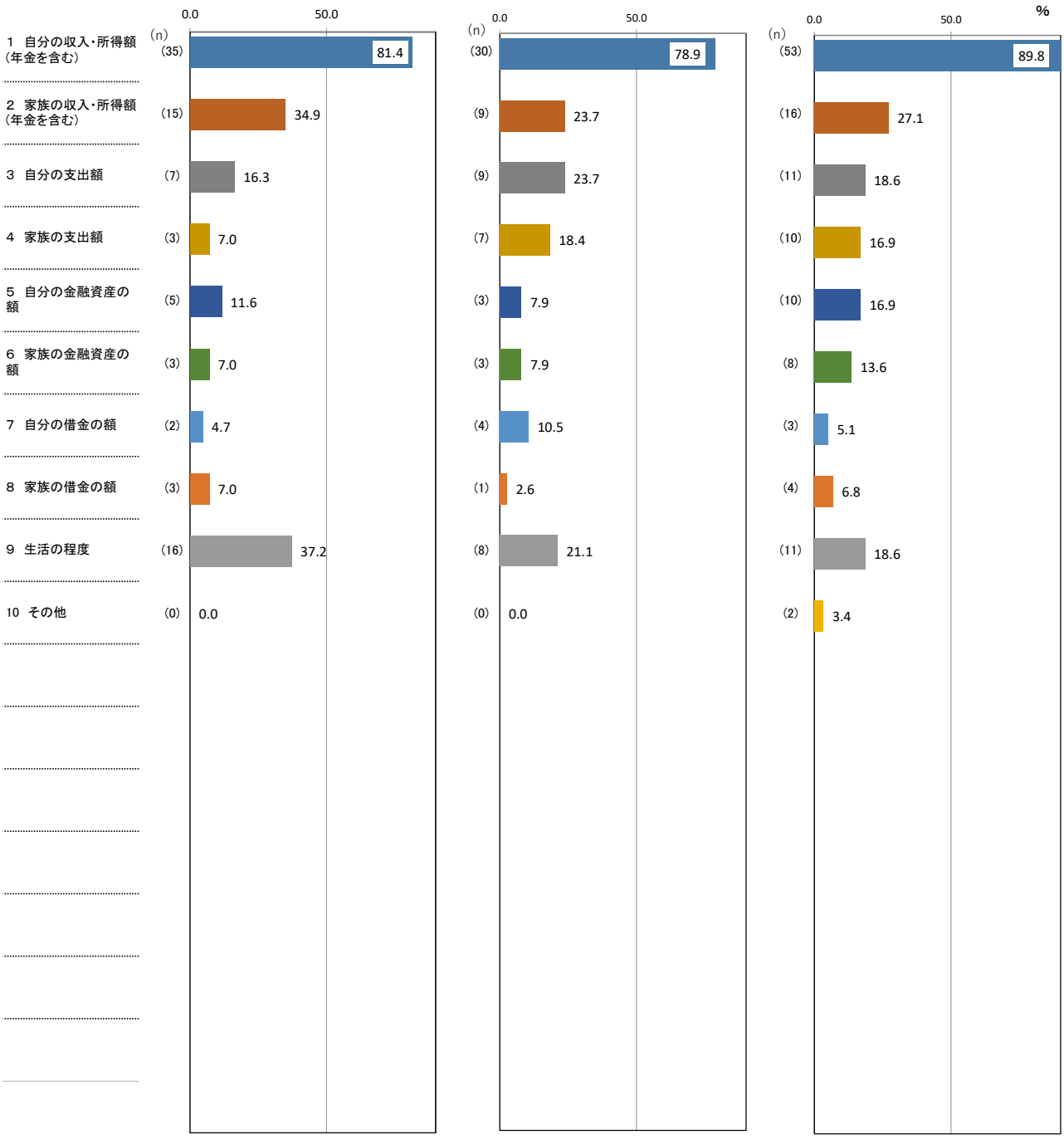
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝54人）	132	46	26	13	11	9	5	1	0	21	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝39人）	91	29	14	12	9	10	4	3	3	6	1
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝42人）	99	34	10	10	10	14	1	4	1	13	2

【補足調査】(R2と比較して有意な属性)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」＜県北広域振興圏＞

上位3項目	①「感じる・やや感じる」の回答 (89) 43 人	②「どちらともいえない」の回答 (74) 38 人	③「あまり感じない・感じない」の回答 (128) 59 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (35)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (30)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (53)
2	9 生活の程度 (16)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (9)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (16)
3	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (15)	3 自分の支出額 (9) 2位	3 自分の支出額 (11)
			9 生活の程度 (11) 3位

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10） 必要な収入や所得についての回答理由（問1（10）「①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答（複数回答可）

＜県北広域振興圏＞

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」		81.4	34.9	16.3	7.0	11.6	7.0	4.7	7.0	37.2	0.0
②「どちらともいえない」		78.9	23.7	23.7	18.4	7.9	7.9	10.5	2.6	21.1	0.0
③「あまり感じない・感じない」		89.8	27.1	18.6	16.9	16.9	13.6	5.1	6.8	18.6	3.4

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「感じる・やや感じる」の人（サンプル数＝43人）	89	35	15	7	3	5	3	2	3	16	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝38人）	74	30	9	9	7	3	3	4	1	8	0
③「あまり感じない・感じない」の人（サンプル数＝59人）	128	53	16	11	10	10	8	3	4	11	2

【補足調査】(実感変動とコロナ実感)

分野別実感の回答結果「必要な収入や所得」(実感上昇)

上位3項目	①「よい影響を感じる」の回答 (18) 11 人	②「どちらともいえない」の回答 (54) 23 人	③「よくない影響を感じる」の回答 (150) 58 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (9)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (19)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (51)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (3)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (10)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (26)
3	9 生活の程度 (3) 2位	9 生活の程度 (8)	9 生活の程度 (23)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】
（10）「必要な収入や所得」において実感が上昇している人の新型コロナウイルス感染症の影響に係る回答理由

（%）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「よい影響を感じる」		81.8	27.3	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0
②「どちらともいえない」		82.6	43.5	26.1	8.7	13.0	13.0	13.0	0.0	34.8	0.0
③「よくない影響を感じる」		87.9	44.8	25.9	19.0	20.7	10.3	3.4	6.9	39.7	0.0

（件）

区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
①「よい影響を感じる」の人（サンプル数＝11人）	18	9	3	1	2	0	0	0	0	3	0
②「どちらともいえない」の人（サンプル数＝23人）	54	19	10	6	2	3	3	3	0	8	0
③「よくない影響を感じる」の人（サンプル数＝58人）	150	51	26	15	11	12	6	2	4	23	0

参考資料１

県民の幸福感に関する分析部会運営要領

（設置）

第１条　岩手県総合計画審議会条例（昭和 54 年岩手県条例第 29 号）第７条の規定に基づき、岩手県総合計画審議会に県民の幸福感に関する分析部会（以下「部会」という。）を置く。

（所掌）

第２条　部会の所掌事項は、次のとおりとする。

（１）　「県の施策に関する県民意識調査」等で把握した、県民の幸福に対する実感の分析に関すること。

（２）　その他いわて県民計画の推進に当たって必要な事項に関すること。

（組織）

第３条　部会は、岩手県総合計画審議会委員及び外部委員をもって組織する。

２　外部委員は、当該部会の所掌事項に関して十分な知識又は経験を有する者のうちから、知事が任命する。

（部会長及び副部会長）

第４条　部会に、部会長及び副部会長を各１名置く。

２　部会長は、委員の互選によって定める。

３　副部会長は、委員のうちから部会長が指名する。

４　部会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

５　副部会長は部会長を補佐し、部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（オブザーバー）

第５条　部会にオブザーバーを置くことができる。

２　オブザーバーは、知事が任命する。

３　オブザーバーは、必要に応じて会議に出席し、意見を述べることができる。

（会議）

第６条　部会は、知事が招集する。

２　部会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

３　部会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（意見の聴取）

第７条　部会は、必要に応じて専門的知識を有する者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

（庶務）

第８条　部会の庶務は、政策企画部政策企画課において処理する。

（補則）

第９条　この要領に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附　則

この要領は、令和元年６月６日から施行する。

附　則

この要領は、令和２年４月１日から施行する。

令和３年県の施策に関する県民意識調査

岩手県が実施する「県の施策に関する県民意識調査」は、県民の皆様が、身の回りの暮らしの事柄について、どの程度重要だと感じ、どの程度満足しているかなどについての御意見を伺うものです。

県では、県民の皆様の御意見を取り入れながら、次の施策を展開していきたいと考えておりますので、調査への御協力をお願いいたします。

なお、この調査の結果につきましては、本年５月頃に公表する予定としており、岩手県調査統計課のホームページで御覧になれます。

「いわての統計情報～イーハトーブ・データ館～」

http://www2.pref.iwate.jp/~stat/

ご記入にあたってのお願い

◆　この調査は、無記名式であり、回答はすべて統計的に処理され、調査票は、集計後、焼却します。**秘密の保護には万全を期していますので、ありのままをお答えください。**※

◆　このアンケート調査には、調査票をお送りした封筒に書かれた**あて名の御本人様**がお答えください（ただし、御本人様が長期不在などでお答えできない御事情がある場合には、御本人様に代わって、御家族の方などが御自身の立場でお答えください)。

◆　お答えは、できる限り黒または青色の鉛筆・ペン・ボールペンでお願いします。

◆　お答えは、直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**２月１日（月）**までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。

※　同封の返信用封筒に記載の整理番号は、回答数が少なく調査の信頼性を確保できない場合に、未回答の方に改めて調査への御協力をお願いする場合等に使用するもので、回答者個人の回答内容を把握する趣旨のものではありません。

【お問合せ先】

この調査について、御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

岩手県ふるさと振興部調査統計課　調査分析担当
〒020-8570　盛岡市内丸 10 番１号
TEL:019-629-5301、5307（直通）　FAX:019-629-5309
E-mail: stat@pref.iwate.jp
（電話受付時間：平日８時 30 分から 17 時 15 分まで）

1　調査の目的

岩手県では、**「いわて県民計画（2019～2028）」**を策定し、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわての実現に向けて、計画を推進しています。

この調査は、**「いわて県民計画（2019～2028）」**に掲げる「10の政策分野」に基づく取組を推進していくために、**県民の皆様の御意見**をお伺いし、**次の施策に生かしていく**ために行うものです。

「いわて県民計画（2019～2028）」　10の政策分野

①健康・余暇	健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手
②家族・子育て	家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手
③教育	学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手
④居住環境・コミュニティ	不便を感じないで日常生活を送ることができ、また、人や地域の結び付きの中で、助け合って暮らすことができる岩手
⑤安全	災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手
⑥仕事・収入	農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手
⑦歴史・文化	豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手
⑧自然環境	一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手
⑨社会基盤	防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手
⑩参画	男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手

2　調査結果の活用方法

県では、平成 13 年度から**政策評価を本格導入**し、県の仕事が目標に向かってうまく機能しているかどうかをチェックし、その結果を次の施策に反映していくことにしています。

今回の**調査結果は、県民の皆様に、より満足していただけるサービスを提供していくための重要な情報として、政策評価や施策の立案などに活用**することにしています。

3　調査の構成と記入の方法

(1) **１ページから３ページ**までは、**調査についての説明**です。
４ページから 32 ページまでが、質問になっています。

(2) 質問は、**問１～問７まで**あります（問２から問７までは、さらにいくつかの小問に分かれています)。

(3) 回答は、この調査票の所定の欄に直接御記入ください。

(4) 回答は、**全ての項目**についてお願いいたします。

記入例

ここでは、問2（P5～17）の場合を例示しています。

問2　次に、１ページで御説明いたしました「10 の政策分野」に関連する次の１から 57 までの調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

「あなたの重要度」では、あなたの現在の暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。

「あなたの満足度」では、あなたの現在の暮らしから見て、調査項目の状態にどれくらい満足しているかをお答えください。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
30　犯罪に対する不安が少ない社会であること。	5	4	3	2	(1)	0	5	4	3	(2)	1	0
31　交通事故が少ない社会であること。	(5)	4	3	2	1	0	5	(4)	3	2	1	0

※　「あなたの重要度」の記入例

あなたの現在の暮らしにとって、「30　犯罪に対する不安が少ない社会であること。」という状態を実現することが、どれくらい重要かをお答えいただくものです。

この例では、「重要ではない」と思う場合を例示していますので、数字の「１」に○をつけます。

※　「あなたの満足度」の記入例

あなたの現在の暮らしから見て、「30　犯罪に対する不安が少ない社会であること。」は、どれくらい満足できる状態にあるかをお答えいただくものです。

この例では、「やや不満な状態にある」と思う場合を例示していますので、数字の「２」に○をつけます。

このページから調査票になります。

問1　まず最初にお伺いします。

あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

あなたの気持ちに近いものを１つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの満足度 （１つ選び、番号に○をつけてください）					
満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
5	4	3	2	1	0

問2　次に、１ページで御説明いたしました「10 の政策分野」に関連する次の１から 57 の調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

「あなたの重要度」では、あなたの現在の暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。

「あなたの満足度」では、あなたの現在の暮らしから見て、調査項目の状態にどれくらい満足しているかをお答えください。

(1) まず、**「健康・余暇」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
１　体の健康づくりについての相談、指導を受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
２　心の健康づくりについての相談、支援を受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
３　必要な医療を適切に受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
４　介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
５　日常的に文化芸術に親しむ機会があること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
６　身近な地域でスポーツを楽しむ機会が充実していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 （１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度 （１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
7　学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(2) 次に、**「家族・子育て」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	**あなたの重要度** （１つ選び、番号に○をつけてください）						**あなたの満足度** （１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
8　安心して子どもを生み育てられ､子育てがしやすい環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
9　学校・家庭・地域が連携し､子どもの育ちと学びに取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
10　地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
11　仕事と生活を両立できる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
12　ペットなど動物のいのちを大切にする社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(3) 次に、**「教育」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
13　子どもたちの学力が向上する教育がされていること。〔子どもは、小学生から高校生までをお考えください。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
14　子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
15　子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
16　学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
17　学校が、いじめや不登校に適切に対処していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
18　学校施設や登下校時において、子どもたちが安全・安心に学ぶことができる環境となっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
19　特色ある私学教育の充実が図られていること。〔私学教育とは、私学の幼児教育から高等教育までをお考えください。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
20　岩手の復興・発展を支える人材が育成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
21　文化芸術やスポーツの分野において、本県ゆかりの芸術家や選手が国内外で活躍していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
22　県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(4) 次に、**「居住環境・コミュニティ」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
23　道路や上下水道などの生活基盤の整備、歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化や冬は暖かく夏は涼しいなど良質な住宅の普及等が進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
24　鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
25　つながりや活力を感じられる地域コミュニティであること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
26　岩手への移住・定住を増やすための取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
27　外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
28　文化芸術・スポーツを生かした地域づくりが行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(5) 次に、**「安全」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
29　地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
30　犯罪に対する不安が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
31　交通事故が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
32　悪質商法、架空請求､多重債務などの消費者トラブルについて､適切な相談や支援を受けられる社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
33　購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
34　感染症に対する備えが整っている社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(6) 次に、**「仕事・収入」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
35　県内に職を求める人が希望どおりに就職できる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
36　身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
37　中小企業が、より魅力のある商品・サービス等の提供や経営人材の確保等に取り組み、事業活動を活発に展開していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
38　工場や事業所の新設・増設により、県内経済が活性化していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
39　地域の資源を生かした加工食品や工芸品などが開発され、販売されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
40　海外における県産品の販路の拡大が図られること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
41　魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
42　地域の農林水産業の担い手が確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
43　消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
44　本県農林水産物が評価され､販路が拡大していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
45　生産者や地域住民などとの地域活動や都市との交流により活力ある農山漁村が形成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(7) 次に、**「歴史・文化」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	**あなたの重要度** （１つ選び、番号に○をつけてください）						**あなたの満足度** （１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
46　世界遺産を守り将来に伝えていくための取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
47　豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(8) 次に、**「自然環境」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 （１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度 （１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
48　大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
49　ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル（資源ごみの分別など）が定着していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
50　地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量削減の取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(9) 次に、**「社会基盤」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
51　国際リニアコライダー（ＩＬＣ）(注)などの国際研究拠点の形成を見据えた、外国人研究者等の受入環境等の整備や新たな産業振興の取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
52　インターネットや携帯電話・スマートフォンなどの利用により、情報通信技術が暮らしや仕事に生かされていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
53　防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
54　高速道路や、インターチェンジ、新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
55　道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(注) 国際リニアコライダー（ＩＬＣ）とは、全長 20～50㎞の地下トンネルに建設される、電子と陽電子を加速、衝突させ質量の起源や時空構造、宇宙誕生の謎の解明を目指す大規模施設のことをさします。

（10）次に、**「参画」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	**あなたの重要度** （１つ選び、番号に○をつけてください）						**あなたの満足度** （１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
56　性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
57　だれもが市民活動（注１）**や県民運動**（注２）**に参加できる社会であること。**	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

（注１）市民活動とは、ＮＰＯ、ボランティア、自治会・町内会（子供会行事への参加、清掃や美化活動等を含む）などの活動をさします。

（注２）県民運動とは、地域医療体制づくりや地球温暖化防止、交通事故防止など、全県的な目標・課題に関し多様な主体が連携して取り組むことをさします。

ここからは、あなたの行動についてお伺いします。

問３－１　生涯学習についてお伺いします。

（注）生涯学習とは
いつでも、どこでも自由に行う学習のこと。上手になりたい、もっと知りたい、職業上で必要だからなど、知識・技能を高めるために自発的に取り組み、個人で本を読んだり、インターネットで調べたりする方法も含めた学習活動をいいます。

（１）あなたは、生涯学習に取り組んでいますか。

（あてはまるもの1つに○印）

１．取り組んでいる　　２．取り組んでいない

※「１．取り組んでいる」方は（２）へ

「２．取り組んでいない」方は問３－２へ

（２）（１）で「１．取り組んでいる」と回答した方にお聞きします。

以下のそれぞれの内容と取組の頻度についてお答えください。

取組の頻度 ＼ 生涯学習の内容	取組の頻度は			
	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	取り組んでいない
（回答例）「②趣味や教養」について、「１．週に数回程度」取り組んでいる場合、１に○印をつける。	①1	2	3	4
①文化・芸術（音楽・合唱、美術、舞踊、郷土史、伝統芸能など）	1	2	3	4
②趣味や教養（パソコン、囲碁・将棋、語学、茶道・華道・着付けなど）	1	2	3	4
③スポーツ・レクリエーションや健康の維持・増進（ヨガ・山歩き・自然食など）	1	2	3	4
④職業上必要な知識・技能（パソコン技能や資格取得など）	1	2	3	4
⑤家庭生活に役立つ技能（料理、手芸など）	1	2	3	4
⑥子育て、しつけや家庭教育、読み聞かせ	1	2	3	4
⑦社会問題（時事、政治、経済、環境など）	1	2	3	4
⑧ボランティア活動に必要な知識・技能	1	2	3	4
⑨その他（　　）	1	2	3	4

問３－２　大きな病院と診療所（開業医）の役割分担についてお伺いします。

あなたは、大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っていますか。

(あてはまるもの1つに○印)

１．知っている　　２．知らない

問３－３　生活時間についてお伺いします。

夫婦世帯の方は（１）～（３）に記入してください。夫婦世帯以外の方は（４）にお進みください。

（１）お二人とも職業をお持ちですか。

(あてはまるもの1つに○印)

１．夫婦二人とも仕事をもっている　　２．夫のみ持っている

３．妻のみ持っている　　４．どちらも持っていない

（２）あなたとあなたの夫（妻）は、普段、どれぐらい家事を行っていますか。

以下の家事の種類ごとに、夫と妻を別に、１日当たりの家事労働従事時間を記入してください。**（1週間の平均時間を目安にお答えください。）**

（□内に数字を記入してください）

家　事　の　種　類	あ　な　た（調査対象者）					あなたの夫（妻）				
①食事の用意・後片付け	約		時間		分	約		時間		分
②掃除・洗濯	約		時間		分	約		時間		分
③育児	約		時間		分	約		時間		分
④介護・看護	約		時間		分	約		時間		分
⑤買い物	約		時間		分	約		時間		分
⑥その他（　　）	約		時間		分	約		時間		分

（３）あなた（調査対象者）は、普段の生活で、（２）のほか、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

以下の行動の種類ごとに、あなた（調査対象者）の１日当たりの行動の時間を記入してください。**（1週間の平均時間を目安にお答えください。）**

（□内に数字を記入してください）

行　動　の　種　類	行　動　の　時　間				
①睡眠	約		時間		分
②身の回りの用事	約		時間		分
③食事（注１）	約		時間		分
④通勤・通学	約		時間		分
⑤仕事（収入を伴う仕事）	約		時間		分
⑥学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）	約		時間		分

（注１）仕事や学業の昼休みに食事をした場合、「③食事」には食事の時間だけを記入してください。食事後に休憩した時間は「③食事」には含めないでください。

（注２）行動の種類には（２）、（３）のほかに移動（通勤・通学を除く）、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養といったものもあるので、（２）と（３）の行動の時間の合計が 24 時間より小さくても構いません。

夫婦世帯以外の方は（４）に記入してください。
夫婦世帯の方は次の問３－４にお進みください。

（４）あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。
以下の行動の種類ごとに、あなた（調査対象者）の１日当たりの行動の時間を記入してください。**（1週間の平均時間を目安にお答えください。）**

（□内に数字を記入してください）

行　動　の　種　類	行　動　の　時　間				
①睡眠	約		時間		分
②身の回りの用事	約		時間		分
③食事（注１）	約		時間		分
④通勤・通学	約		時間		分
⑤仕事（収入を伴う仕事）	約		時間		分
⑥学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）	約		時間		分
⑦食事の用意・後片付け	約		時間		分
⑧掃除・洗濯	約		時間		分
⑨育児	約		時間		分
⑩介護・看護	約		時間		分
⑪買い物	約		時間		分
⑫その他（⑦～⑪以外の家事）	約		時間		分

（注１）仕事や学業の昼休みに食事をした場合、「③食事」には食事の時間だけを記入してください。食事後に休憩した時間は「③食事」には含めないでください。

（注２）行動の種類には①～⑫のほかに移動（通勤・通学を除く）、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養といったものもあるので、①～⑫の行動の時間の合計が 24 時間より小さくても構いません。

問３－４　地球温暖化防止への対応についてお伺いします。

あなたは、地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか。

以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

行動の内容＼行動の状況	行動の状況は			
	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない	運転しない
（回答例）「①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している」について、「ときどき実行している」場合、２に○印をつける。	1	(2)	3	
①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している（冷房時 28℃以上、暖房時 20℃以下）	1	2	3	
②不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る	1	2	3	
③食事は残さず食べるなど生ごみを減らす	1	2	3	
④火力調節を行うなど省エネを心がけて調理する	1	2	3	
⑤詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する	1	2	3	
⑥洗顔や食器洗いのときに水を流したままにしない	1	2	3	
⑦外出はできるだけ自動車の利用を控え、自転車や公共交通機関を利用する	1	2	3	
⑧自動車を運転するときに、少しゆるやかな発進や、加減速の少ない運転など燃費向上を心がけている（注）	1	2	3	4

（注）自動車を運転しない人は「４．運転しない」を選択してください。

問３－５　市民活動についてお伺いします。

（注）市民活動とは

ＮＰＯ、ボランティア、自治会・町内会（子供会行事への参加、清掃や美化活動等を含む）などの活動をいいます。

（１）あなたの年齢（満年齢）をお答えください。

（あてはまるもの1つに○印）

１．65 歳未満　　２．65 歳以上

（２）あなたは、過去１年間にどのような市民活動に参加しましたか。

以下のそれぞれの活動の参加の状況についてお答えください。

参加の程度 ＼ 活動の内容	参加の程度は			
	企画段階から自主的に参加	興味ある活動に誘われた場合に参加	義務的に参加	参加していない
（回答例）「①青少年の健全育成を目的とした活動」について、「企画段階から自主的に参加」の場合、１に○印をつける。	(1)	2	3	4
①青少年の健全育成を目的とした活動	1	2	3	4
②自然や環境を守る活動	1	2	3	4
③健康、医療、福祉に関係した活動	1	2	3	4
④地域づくりのための活動	1	2	3	4
⑤防災、防犯、交通安全の活動	1	2	3	4
⑥学術、文化、芸術、スポーツに関係した活動	1	2	3	4
⑦その他（　　）	1	2	3	4

問4 県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問4-1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。①～⑫の各項目について、あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください（該当しない調査項目は、「わからない」を選択してください）					
	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
① こころやからだが健康だと感じますか	5	4	3	2	1	0
② 余暇が充実していると感じますか	5	4	3	2	1	0
③ 家族と良い関係がとれていると感じますか	5	4	3	2	1	0
④ 子育てがしやすいと感じますか	5	4	3	2	1	0
⑤ 子どものためになる教育が行われていると感じますか	5	4	3	2	1	0
⑥ 住まいに快適さを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑦ 地域社会とのつながりを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑧ お住まいの地域は安全だと感じますか	5	4	3	2	1	0
⑨ 仕事にやりがいを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑩ 必要な収入や所得が得られていると感じますか	5	4	3	2	1	0
⑪ 地域の歴史や文化に誇りを感じますか	5	4	3	2	1	0
⑫ 自然に恵まれていると感じますか	5	4	3	2	1	0

問4-2　あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。
最も近いものを１つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの現在の幸福感 （１つ選び、番号に○をつけてください）					
幸福だと感じている	やや幸福だと感じている	どちらともいえない	あまり幸福だと感じていない	幸福だと感じていない	わからない
5	4	3	2	1	0

問4-3　あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。該当する全ての番号に○をつけてください

1　健康状況

2　自由な時間・充実した余暇

3　家族関係

4　友人関係

5　職場の人間関係

6　子育て環境

7　教育環境

8　居住環境

9　社会貢献

10　地域コミュニティとの関係

11　治安・防災体制

12　仕事のやりがい

13　就業状況

14　家計の状況

15　地域の歴史・文化

16　自然環境

17　その他（　具体的に：　　）

問4-4 ①～⑥の各項目について、あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください				
	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない
① 身近な周りの人が幸福であると感じますか	5	4	3	2	1
② 周りの人に認められていると感じますか	5	4	3	2	1
③ 大切な人を幸福にしていると感じますか	5	4	3	2	1
④ 安定した日々を過ごしていると感じますか	5	4	3	2	1
⑤ 人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていると感じますか	5	4	3	2	1
⑥ 周りの人たちと同じくらい幸福だと感じますか	5	4	3	2	1

問5 県では、幸福に関連する項目として、「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」といった「つながり」に注目しており、ここからはあなたの「つながり」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問5-1 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。つきあいの程度について、次のうちから当てはまるものを１つだけ選び、番号に○をつけてください。

1　互いに相談したり日用品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人もいる

2　日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている

3　あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない

4　つきあいは全くしていない

問5-2 つきあっているご近所の方の数について、次のうちから当てはまるものを１つだけ選び、番号に○をつけてください。

1　近所のかなり多くの人と面識・交流がある（概ね２０人以上）

2　ある程度の人との面識・交流がある（概ね５～１９人）

3　近所のごく少数の人とだけと面識・交流がある（概ね４人以下）

4　隣の人がだれかも知らない

問5-3 あなたは、①友人・知人、②親戚・親類とどのようなおつきあいをされていますか。次のうちから当てはまるものを１つずつ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	該当するものを１つ選び、番号に○をつけてください					
	日常的にある（毎日から週に数回程度）	ある程度頻繁にある（週に１回～月に数回程度）	ときどきある（月に１回～年に数回程度）	めったにない（年に１回～数年に１回程度）	全くない	該当する人はいない
① 友人・知人とのつきあい（学校や職場以外で）	5	4	3	2	1	0
② 親戚・親類とのつきあい（同居している方を除く）	5	4	3	2	1	0

問5-4　あなたは現在、①地縁的な活動、②スポーツ・趣味・娯楽活動、③ボランティア・ＮＰＯ・市民活動をされていますか。次のうちから当てはまるものを１つずつ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	活動している	活動していない
①　地縁的な活動 （自治会、町内会、婦人会、老人会、青年団、子ども会など）	2	1
②　スポーツ・趣味・娯楽活動 （各種スポーツ、芸術文化活動、生涯学習など）	2	1
③　ボランティア・ＮＰＯ・市民活動 （まちづくり、高齢者・障がい者福祉や子育て、スポーツ指導、美化、防犯・防災、環境、国際協力活動など）	2	1

問5-5　あなたのお住まいの地域（小・中学校区から市町村の範囲）に対する実感をおたずねします。①～④の各項目について、あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

調査項目	最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください				
	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない
①　地域への愛着を感じていますか	5	4	3	2	1
②　ご近所とのつきあいはよいと感じますか	5	4	3	2	1
③　信頼できる人が身近にいると感じますか	5	4	3	2	1
④　地域での活動や社会貢献活動に参加できていると感じますか	5	4	3	2	1

問6　次に、あなたは新型コロナウイルス感染症の影響についてどのように感じていますか。

調査項目	あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください （該当しない調査項目は、「影響を感じない」を選択してください）					
	よい影響を感じる	ややよい影響を感じる	どちらともいえない	あまりよくない影響を感じる	よくない影響を感じる	影響を感じない
①-1　からだの健康への影響	5	4	3	2	1	0
①-2　こころの健康への影響	5	4	3	2	1	0
②　余暇の充実への影響	5	4	3	2	1	0
③　家族関係への影響	5	4	3	2	1	0
④　子育てへの影響	5	4	3	2	1	0
⑤　子どもの教育への影響	5	4	3	2	1	0
⑥　住まいの快適さへの影響	5	4	3	2	1	0
⑦　地域社会とのつながりへの影響	5	4	3	2	1	0
⑧　お住まいの地域の安全への影響	5	4	3	2	1	0
⑨　仕事のやりがいへの影響	5	4	3	2	1	0
⑩　必要な収入や所得への影響	5	4	3	2	1	0
⑪　歴史や文化に触れる機会や場所への影響	5	4	3	2	1	0
⑫　自然の恵みを感じる機会への影響	5	4	3	2	1	0

アンケートに回答した方（あなた）について伺います。

問7　最後に、お答えいただいた「あなた」御自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、該当する番号に○をつけてください。

(1) 性別（○は１つ）

1　男性	2　女性	3　その他

(2) 年齢（満年齢）（○は１つ）

1　18～19 歳	2　20～29 歳	3　30～39 歳	4　40～49 歳
5　50～59 歳	6　60～69 歳	7　70 歳以上	

(3) あなたの主な御職業は何ですか（○は１つ）。

1　自営業主
2　家族従業者
3　会社役員・団体役員
4　常用雇用者　※期間を定めずに又は１年を超える期間を定めて雇われる人
5　臨時雇用者（パート、アルバイトなど）　※日々又は１年以内の期間を定めて雇われる人
6　学生
7　専業主婦（主夫）
8　無職
9　その他（具体的に：　　）

※　(3)で１～５に○をつけられた方のみお答えください。
その業種は何ですか（○は１つ）。

1　農業、林業
2　漁業
3　鉱業、採石業、砂利採取業
4　建設業
5　製造業
6　電気・ガス・熱供給・水道業
7　情報通信業
8　運輸業、郵便業
9　卸売・小売業
10　金融業、保険業
11　不動産業、物品賃貸業
12　学術研究、専門・技術サービス業
13　宿泊業、飲食サービス業
14　その他のサービス業
15　公務
16　その他（具体的に：　　）

(4) あなたの世帯についてお伺いします。次のどれに当たりますか（○は１つ）。

1	ひとり暮らしである（単身赴任を含む）
2	一緒に暮らしている人がいる
3	寮、寄宿舎、老人ホームその他の施設にいる
4	その他（　　）

※ (4)で２又は４に○をつけられた方のみお答えください。

あなたの世帯に含まれる方は次のどれにあてはまりますか。該当する番号全てに○をつけてください。（あなたとの続柄でお答えください。）

1	祖父又は祖母（配偶者の祖父（祖母）を含む）	2	父母(配偶者の父（母）を含む)
3	配偶者	4	兄弟・姉妹(配偶者の兄弟・姉妹含む)
5	子ども	6	子どもの配偶者
7	孫	8	その他（　　）（　　）

(5) あなたのお子さんは、何人いますか（同居・別居は問いません）。

1	１人	2	２人	3	３人
4	４人	5	５人以上	6	子どもはいない

※ (5)で１～５に○をつけられた方のみお答えください。

あなたのお子さんは、次のどこにあてはまりますか（該当する番号すべてに○をつけてください）。

1	小学校入学前（乳幼児を含む。）
2	小学生
3	中学生
4	高校生
5	高校を卒業し専門学校、短大、大学、大学院に在学
6	学校教育終了で同居
7	学校教育終了で別居
8	その他（具体的に：　　）

(6) あなたは岩手県に住んで通算何年になりますか（○は１つ）。

1	１年未満	2	１～５年未満	3	５～10 年未満
4	10～20 年未満	5	20 年以上		

(7) あなたが現在お住まいの市町村はどこですか（○は１つ）。

県央地域	1 盛岡市	2 八幡平市	3 滝沢市	4 雫石町	5 葛巻町
	6 岩手町	7 紫波町	8 矢巾町		
県南地域	9 花巻市	10 北上市	11 遠野市	12 一関市	13 奥州市
	14 西和賀町	15 金ケ崎町	16 平泉町		
沿岸地域	17 宮古市	18 大船渡市	19 陸前高田市	20 釜石市	21 住田町
	22 大槌町	23 山田町	24 岩泉町	25 田野畑村	
県北地域	26 久慈市	27 二戸市	28 普代村	29 軽米町	30 野田村
	31 九戸村	32 洋野町	33 一戸町		

御協力ありがとうございました。

お手数でも２月１日（月）までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。

【令和3年県民意識調査結果（統計表）】

参考資料３

問４－１　①こころやからだが健康だと感じますか

	合計	感じる（５点）	やや感じる（４点）	どちらともいえない（３点）	あまり感じない（２点）	感じない（１点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,549	430	954	819	707	430	52	157	3.07
男性	1,561	176	403	381	315	200	27	59	3.03
女性	1,949	251	541	433	388	224	23	89	3.11
その他	6	0	2	2	0	2	0	0	2.67
18～19歳	53	18	20	6	4	4	0	1	3.85
20～29歳	200	24	50	49	50	23	1	3	3.01
30～39歳	320	30	95	68	70	43	6	8	3.00
40～49歳	499	53	139	99	130	60	7	11	2.99
50～59歳	604	47	144	151	143	101	3	15	2.82
60～69歳	766	103	227	183	143	71	12	27	3.20
70歳以上	1,009	144	262	249	154	113	21	66	3.18
自営業主	282	42	83	58	47	34	6	12	3.20
家族従業員	119	9	36	28	29	13	1	3	2.99
会社役員・団体役員	240	36	77	47	45	26	2	7	3.23
常用雇用者	1,025	106	286	226	261	117	9	20	3.00
臨時雇用者	440	40	120	118	92	49	6	15	3.02
学生＋その他	119	28	37	24	13	15	2	0	3.43
専業主婦・主夫	403	62	115	90	72	43	3	18	3.21
60歳未満の無職(参考)	77	5	5	19	17	26	2	3	2.25
60歳以上の無職	697	82	167	183	112	88	18	47	3.07
ひとり暮らし	431	46	106	102	97	53	9	18	2.99
夫婦のみ	718	105	206	182	130	63	8	24	3.23
2世代世帯	1,437	159	394	326	306	191	18	43	3.02
3世代世帯	548	68	156	126	107	72	6	13	3.08
その他	184	26	45	46	35	18	4	10	3.15
1人	450	49	109	121	97	53	4	17	3.01
2人	1,270	182	374	299	217	135	14	49	3.21
3人	682	82	206	151	117	87	8	31	3.12
4人以上	159	22	36	38	31	23	3	6	3.02
子どもはいない	802	71	198	172	218	104	18	21	2.89
10年未満	100	20	21	27	23	6	1	2	3.27
10～20年未満	145	32	50	22	22	12	0	7	3.49
20年以上	3,174	362	858	750	647	392	50	115	3.05
県央広域振興圏	1,011	149	274	211	210	113	14	40	3.14
県南広域振興圏	1,080	124	300	244	218	132	15	47	3.06
沿岸広域振興圏	833	89	223	196	169	109	9	38	3.02
県北広域振興圏	625	68	157	168	110	76	14	32	3.05

問４－１　②余暇が充実していると感じますか

	合計	感じる（５点）	やや感じる（４点）	どちらともいえない（３点）	あまり感じない（２点）	感じない（１点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位：人)	3,549	337	854	909	727	453	85	184	2.97
男性	1,561	140	370	420	326	196	38	71	2.95
女性	1,949	194	476	480	398	253	45	103	2.98
その他	6	1	3	2	0	0	0	0	3.83
18～19歳	53	19	19	5	6	1	2	1	3.98
20～29歳	200	33	60	38	42	22	2	3	3.21
30～39歳	320	26	77	77	87	42	4	7	2.86
40～49歳	499	37	131	119	101	92	9	10	2.83
50～59歳	604	43	119	156	143	119	6	18	2.70
60～69歳	766	56	188	242	159	76	15	30	2.98
70歳以上	1,009	121	245	246	174	90	44	89	3.15
自営業主	282	32	68	74	51	37	7	13	3.03
家族従業員	119	7	23	31	33	18	1	6	2.71
会社役員・団体役員	240	28	62	56	46	35	5	8	3.01
常用雇用者	1,025	78	259	256	249	154	7	22	2.86
臨時雇用者	440	32	101	128	97	61	6	15	2.87
学生＋その他	119	24	40	23	17	13	2	0	3.38
専業主婦・主夫	403	48	116	95	76	41	5	22	3.14
60歳未満の無職(参考)	77	5	9	20	18	16	5	4	2.54
60歳以上の無職	697	78	149	186	117	66	41	60	3.09
ひとり暮らし	431	49	82	107	97	57	17	22	2.92
夫婦のみ	718	80	194	195	144	60	14	31	3.13
2世代世帯	1,437	130	353	361	307	209	28	49	2.92
3世代世帯	548	50	138	147	108	81	9	15	2.94
その他	184	17	47	41	34	25	8	12	2.98
1人	450	35	110	109	101	70	7	18	2.86
2人	1,270	131	345	333	234	146	27	54	3.07
3人	682	63	167	178	129	89	14	42	2.98
4人以上	159	13	34	47	28	23	8	6	2.90
子どもはいない	802	87	172	193	199	106	19	26	2.91
10年未満	100	16	28	23	22	8	1	2	3.23
10～20年未満	145	23	46	30	22	14	3	7	3.31
20年以上	3,174	292	761	823	663	419	75	141	2.95
県央広域振興圏	1,011	122	259	250	193	122	21	44	3.07
県南広域振興圏	1,080	87	250	281	241	139	25	57	2.90
沿岸広域振興圏	833	75	208	210	166	113	20	41	2.96
県北広域振興圏	625	53	137	168	127	79	19	42	2.93

問4－1 ③家族と良い関係がとれていると感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位:人)	3,549	1,008	1,238	659	223	131	110	180	3.85
男性	1,561	434	542	299	90	53	69	74	3.86
女性	1,949	567	687	357	131	75	39	93	3.85
その他	6	3	1	0	1	0	1	0	4.20
18～19歳	53	24	16	7	5	0	0	1	4.13
20～29歳	200	68	76	34	10	6	3	3	3.98
30～39歳	320	103	121	54	16	12	7	7	3.94
40～49歳	499	154	171	91	41	25	7	10	3.80
50～59歳	604	156	210	125	47	35	15	16	3.71
60～69歳	766	213	270	146	52	26	25	34	3.84
70歳以上	1,009	274	343	189	47	24	52	80	3.91
自営業主	282	87	92	47	22	11	8	15	3.86
家族従業員	119	28	45	28	12	2	1	3	3.74
会社役員・団体役員	240	82	95	30	13	10	4	6	3.98
常用雇用者	1,025	304	378	192	67	40	22	22	3.86
臨時雇用者	440	110	158	92	28	22	12	18	3.75
学生＋その他	119	50	43	16	7		3		4.17
専業主婦・主夫	403	138	152	57	20	9	11	16	4.04
60歳未満の無職(参考)	77	11	18	21	9	10	4	4	3.16
60歳以上の無職	697	170	215	156	36	23	38	59	3.79
ひとり暮らし	431	85	109	104	21	19	59	34	3.65
夫婦のみ	718	247	283	106	32	21	6	23	4.02
2世代世帯	1,437	439	497	274	104	55	22	46	3.85
3世代世帯	548	146	216	112	38	19	4	13	3.81
その他	184	47	56	36	16	6	12	11	3.76
1人	450	127	167	79	33	20	9	15	3.82
2人	1,270	421	433	237	68	36	23	52	3.95
3人	682	176	286	113	39	25	11	32	3.86
4人以上	159	43	47	42	13	8	1	5	3.68
子どもはいない	802	204	259	162	61	36	49	31	3.74
10年未満	100	31	33	20	6	4	4	2	3.86
10～20年未満	145	65	40	19	9	3	3	6	4.14
20年以上	3,174	884	1,126	604	201	121	100	138	3.83
県央広域振興圏	1,011	304	377	172	49	29	29	51	3.94
県南広域振興圏	1,080	301	375	194	76	47	35	52	3.81
沿岸広域振興圏	833	243	280	163	47	30	27	43	3.86
県北広域振興圏	625	160	206	130	51	25	19	34	3.74

問4－1 ④子育てがしやすいと感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位:人)	3,549	210	573	903	284	178	1,007	394	3.16
男性	1,561	79	237	405	131	81	471	157	3.11
女性	1,949	131	332	491	153	97	525	220	3.21
その他	6	0	1	1	0	0	4	0	3.50
18～19歳	53	3	5	6	4	4	27	4	2.95
20～29歳	200	11	17	45	18	11	95	3	2.99
30～39歳	320	26	73	71	35	20	83	12	3.22
40～49歳	499	50	114	132	51	29	106	17	3.28
50～59歳	604	23	105	185	63	39	153	36	3.02
60～69歳	766	31	123	231	62	35	204	80	3.11
70歳以上	1,009	65	127	209	48	39	318	203	3.27
自営業主	282	27	42	64	26	13	70	40	3.26
家族従業員	119	6	23	35	17	3	21	14	3.14
会社役員・団体役員	240	22	57	67	20	14	45	15	3.29
常用雇用者	1,025	60	193	278	103	59	282	50	3.13
臨時雇用者	440	21	74	127	34	25	128	31	3.11
学生＋その他	119	7	15	26	8	9	52	2	3.05
専業主婦・主夫	403	31	68	94	31	17	107	55	3.27
60歳未満の無職(参考)	77	2	5	21	3	3	35	8	3.00
60歳以上の無職	697	29	79	159	37	33	237	123	3.10
ひとり暮らし	431	11	39	101	24	21	187	48	2.97
夫婦のみ	718	33	96	185	48	32	223	101	3.13
2世代世帯	1,437	98	256	361	136	75	400	111	3.18
3世代世帯	548	49	123	166	50	36	88	36	3.23
その他	184	14	31	37	13	7	63	19	3.31
1人	450	43	76	135	43	25	90	38	3.21
2人	1,270	96	267	342	121	58	255	131	3.25
3人	682	42	147	190	57	39	121	86	3.20
4人以上	159	13	25	48	16	11	35	11	3.12
子どもはいない	802	13	45	148	41	40	457	58	2.83
10年未満	100	5	15	28	10	4	31	7	3.11
10～20年未満	145	9	25	23	16	6	56	10	3.19
20年以上	3,174	192	522	824	255	167	892	322	3.16
県央広域振興圏	1,011	63	189	259	70	35	293	102	3.28
県南広域振興圏	1,080	64	169	287	92	64	287	117	3.11
沿岸広域振興圏	833	45	122	201	65	48	244	108	3.11
県北広域振興圏	625	38	93	156	57	31	183	67	3.13

問4－1 ⑤子どものためになる教育が行われていると感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位:人)	3,549	168	645	980	294	122	972	368	3.20
男性	1,561	66	274	460	130	55	427	149	3.17
女性	1,949	101	366	515	162	66	534	205	3.23
その他	6	1	1	1	0	0	3	0	4.00
18～19歳	53	8	13	11	2	1	15	3	3.71
20～29歳	200	8	31	58	20	10	70	3	3.06
30～39歳	320	20	75	83	29	12	88	13	3.28
40～49歳	499	35	121	153	55	18	107	10	3.26
50～59歳	604	18	98	203	65	31	156	33	3.02
60～69歳	766	25	126	244	65	22	206	78	3.14
70歳以上	1,009	53	172	208	52	25	307	192	3.35
自営業主	282	23	45	74	24	11	68	37	3.25
家族従業員	119	7	26	37	15	1	22	11	3.27
会社役員・団体役員	240	17	57	66	26	10	48	16	3.26
常用雇用者	1,025	47	205	311	99	42	277	44	3.16
臨時雇用者	440	14	73	147	39	20	119	28	3.08
学生＋その他	119	9	25	36	10	5	33	1	3.27
専業主婦・主夫	403	27	78	95	27	10	118	48	3.36
60歳未満の無職(参考)	77	1	6	24	4	1	34	7	3.06
60歳以上の無職	697	18	112	162	41	18	223	123	3.20
ひとり暮らし	431	8	46	106	34	13	174	50	3.01
夫婦のみ	718	33	111	178	49	25	225	97	3.20
2世代世帯	1,437	74	268	422	136	48	386	103	3.19
3世代世帯	548	37	155	173	47	24	81	31	3.31
その他	184	11	37	46	9	5	60	16	3.37
1人	450	27	96	130	44	15	101	37	3.24
2人	1,270	80	289	352	113	43	272	121	3.29
3人	682	33	146	224	56	23	119	81	3.23
4人以上	159	7	31	55	19	5	31	11	3.14
子どもはいない	802	17	70	182	51	30	399	53	2.98
10年未満	100	6	12	32	10	2	32	6	3.16
10～20年未満	145	13	31	35	12	7	37	10	3.32
20年以上	3,174	143	591	890	264	110	874	302	3.20
県央広域振興圏	1,011	47	206	273	73	27	291	94	3.28
県南広域振興圏	1,080	63	179	308	107	43	278	102	3.16
沿岸広域振興圏	833	30	152	223	62	32	226	108	3.17
県北広域振興圏	625	28	108	176	52	20	177	64	3.19

問4－1 ⑥住まいに快適さを感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位:人)	3,549	513	1,107	885	508	297	60	179	3.31
男性	1,561	208	484	431	225	117	28	68	3.30
女性	1,949	301	615	448	280	174	31	100	3.32
その他	6	0	2	0	1	2	1	0	2.40
18～19歳	53	18	12	9	9	2	2	1	3.70
20～29歳	200	28	69	49	34	14	3	3	3.32
30～39歳	320	41	106	73	50	34	8	8	3.23
40～49歳	499	74	167	117	78	47	7	9	3.30
50～59歳	604	67	186	144	108	73	9	17	3.11
60～69歳	766	103	230	225	115	58	7	28	3.28
70歳以上	1,009	172	319	248	103	60	22	85	3.49
自営業主	282	41	94	75	35	21	3	13	3.37
家族従業員	119	15	32	29	20	18	2	3	3.05
会社役員・団体役員	240	49	81	50	32	16	4	8	3.50
常用雇用者	1,025	133	333	256	176	89	14	24	3.25
臨時雇用者	440	45	137	109	79	49	7	14	3.12
学生＋その他	119	30	34	26	20	7	2	0	3.51
専業主婦・主夫	403	79	134	98	39	28	5	20	3.52
60歳未満の無職(参考)	77	2	23	20	11	15	2	4	2.80
60歳以上の無職	697	99	210	192	85	38	16	57	3.40
ひとり暮らし	431	40	112	132	69	44	11	23	3.09
夫婦のみ	718	103	263	181	92	46	7	26	3.42
2世代世帯	1,437	214	444	357	222	131	21	48	3.28
3世代世帯	548	105	167	138	72	46	5	15	3.40
その他	184	22	69	38	22	12	11	10	3.41
1人	450	63	134	106	83	45	5	14	3.20
2人	1,270	218	441	305	154	84	18	50	3.46
3人	682	102	223	167	92	56	2	40	3.35
4人以上	159	25	40	46	20	17	5	6	3.24
子どもはいない	802	89	237	212	139	80	21	24	3.15
10年未満	100	15	34	21	22	5	1	2	3.33
10～20年未満	145	37	47	27	11	14	3	6	3.60
20年以上	3,174	447	1,000	811	463	269	52	132	3.30
県央広域振興圏	1,011	158	350	247	134	61	16	45	3.43
県南広域振興圏	1,080	152	321	267	178	92	17	53	3.26
沿岸広域振興圏	833	128	257	210	110	73	11	44	3.33
県北広域振興圏	625	75	179	161	86	71	16	37	3.18

問4－1 ⑦地域社会とのつながりを感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位:人)	3,549	293	955	1,026	618	310	160	187	3.09
男性	1,561	138	406	452	293	129	73	70	3.09
女性	1,949	150	541	565	322	178	87	106	3.09
その他	6	1	3	2	0	0	0	0	3.83
18～19歳	53	8	16	11	7	2	8	1	3.48
20～29歳	200	13	34	56	49	26	19	3	2.77
30～39歳	320	23	60	93	75	41	20	8	2.83
40～49歳	499	29	124	158	108	51	19	10	2.94
50～59歳	604	29	159	189	122	72	16	17	2.91
60～69歳	766	66	220	240	127	58	23	32	3.15
70歳以上	1,009	119	321	256	117	56	53	87	3.38
自営業主	282	36	96	71	41	20	6	12	3.33
家族従業員	119	11	37	43	16	7	2	3	3.25
会社役員・団体役員	240	33	60	66	44	19	11	7	3.20
常用雇用者	1,025	60	251	308	235	106	41	24	2.92
臨時雇用者	440	26	109	130	91	46	22	16	2.95
学生＋その他	119	14	38	29	14	16	8	0	3.18
専業主婦・主夫	403	44	116	122	59	28	13	21	3.24
60歳未満の無職(参考)	77	1	13	22	12	16	9	4	2.55
60歳以上の無職	697	57	202	203	88	44	42	61	3.24
ひとり暮らし	431	27	89	122	84	61	28	20	2.84
夫婦のみ	718	66	223	197	135	47	24	26	3.19
2世代世帯	1,437	103	366	437	264	148	66	53	3.01
3世代世帯	548	66	175	151	89	28	21	18	3.32
その他	184	13	54	56	21	16	11	13	3.17
1人	450	25	124	130	96	41	16	18	2.99
2人	1,270	129	384	365	202	90	43	57	3.22
3人	682	66	216	193	105	46	16	40	3.24
4人以上	159	13	50	51	12	17	10	6	3.21
子どもはいない	802	48	144	240	183	102	62	23	2.79
10年未満	100	4	21	27	22	19	4	3	2.67
10～20年未満	145	17	38	44	22	10	8	6	3.23
20年以上	3,174	262	865	927	561	276	144	139	3.10
県央広域振興圏	1,011	62	263	298	202	91	48	47	3.00
県南広域振興圏	1,080	107	300	287	186	93	53	54	3.15
沿岸広域振興圏	833	76	230	254	137	62	24	50	3.16
県北広域振興圏	625	48	162	187	93	64	35	36	3.07

問4－1 ⑧お住まいの地域は安全だと感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位:人)	3,549	712	1,492	783	199	102	88	173	3.76
男性	1,561	347	640	334	96	43	34	67	3.79
女性	1,949	363	836	443	102	57	52	96	3.75
その他	6	0	4	1	0	1	0	0	3.33
18～19歳	53	18	17	8	6	2	1	1	3.84
20～29歳	200	37	87	44	13	8	8	3	3.70
30～39歳	320	66	125	79	24	11	6	9	3.69
40～49歳	499	96	233	111	29	9	12	9	3.79
50～59歳	604	95	277	158	31	19	8	16	3.69
60～69歳	766	154	329	178	40	20	16	29	3.77
70歳以上	1,009	231	397	187	51	32	34	77	3.83
自営業主	282	70	115	52	18	9	5	13	3.83
家族従業員	119	23	57	24	7	3	1	4	3.79
会社役員・団体役員	240	61	94	55	10	8	4	8	3.83
常用雇用者	1,025	184	478	234	63	27	17	22	3.74
臨時雇用者	440	70	186	118	27	11	13	15	3.67
学生＋その他	119	38	45	19	9	5	2	1	3.88
専業主婦・主夫	403	86	184	85	16	7	7	18	3.86
60歳未満の無職(参考)	77	13	25	17	8	3	8	3	3.56
60歳以上の無職	697	134	273	152	34	25	26	53	3.74
ひとり暮らし	431	81	160	118	16	15	19	22	3.71
夫婦のみ	718	155	332	146	38	14	8	25	3.84
2世代世帯	1,437	273	611	326	95	53	35	44	3.70
3世代世帯	548	128	240	119	25	13	7	16	3.85
その他	184	37	75	35	11	5	11	10	3.79
1人	450	79	203	101	27	15	13	12	3.72
2人	1,270	273	552	277	66	25	28	49	3.82
3人	682	143	301	137	37	20	7	37	3.80
4人以上	159	32	58	37	14	6	4	8	3.65
子どもはいない	802	158	332	188	46	28	26	24	3.73
10年未満	100	17	38	33	6	2	2	2	3.65
10～20年未満	145	41	61	22	10	4	1	6	3.91
20年以上	3,174	631	1,361	705	177	94	80	126	3.76
県央広域振興圏	1,011	180	451	242	41	27	27	43	3.76
県南広域振興圏	1,080	227	446	233	66	29	26	53	3.78
沿岸広域振興圏	833	181	322	185	50	31	21	43	3.74
県北広域振興圏	625	124	273	123	42	15	14	34	3.78

問4－1 ⑨仕事にやりがいを感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位:人)	3,549	520	903	762	262	197	584	321	3.49
男性	1,561	263	395	354	126	99	200	124	3.48
女性	1,949	254	504	401	132	95	378	185	3.50
その他	6	1	1	0	1	0	3	0	3.67
18～19歳	53	7	8	8	1	2	26	1	3.65
20～29歳	200	38	49	38	17	14	41	3	3.51
30～39歳	320	52	98	79	34	25	21	11	3.41
40～49歳	499	93	160	114	49	41	31	11	3.47
50～59歳	604	86	185	155	69	37	48	24	3.40
60～69歳	766	116	219	179	41	28	118	65	3.61
70歳以上	1,009	120	168	169	46	45	286	175	3.50
自営業主	282	92	80	62	14	11	9	14	3.88
家族従業員	119	14	37	42	12	4	5	5	3.41
会社役員・団体役員	240	77	86	27	24	14	5	7	3.82
常用雇用者	1,025	178	370	262	104	79	10	22	3.47
臨時雇用者	440	77	162	112	43	24	6	16	3.54
学生＋その他	119	22	24	14	2	6	51	0	3.79
専業主婦・主夫	403	17	53	80	19	13	153	68	3.23
60歳未満の無職(参考)	77	0	3	15	6	6	41	6	2.50
60歳以上の無職	697	25	64	121	28	33	285	141	3.07
ひとり暮らし	431	46	99	93	32	23	99	39	3.39
夫婦のみ	718	103	188	154	40	32	118	83	3.56
2世代世帯	1,437	227	380	316	118	95	214	87	3.46
3世代世帯	548	100	155	117	44	20	80	32	3.62
その他	184	21	41	44	14	10	38	16	3.38
1人	450	72	122	85	32	25	83	31	3.55
2人	1,270	187	352	241	72	55	225	138	3.60
3人	682	117	170	165	49	29	89	63	3.56
4人以上	159	34	43	35	10	11	20	6	3.59
子どもはいない	802	92	184	198	90	70	137	31	3.22
10年未満	100	17	30	14	13	3	17	6	3.58
10～20年未満	145	32	27	22	8	4	42	10	3.81
20年以上	3,174	456	827	704	235	185	508	259	3.47
県央広域振興圏	1,011	142	247	218	61	54	191	98	3.50
県南広域振興圏	1,080	167	288	236	90	60	157	82	3.49
沿岸広域振興圏	833	115	195	167	69	52	142	93	3.42
県北広域振興圏	625	96	173	141	42	31	94	48	3.54

問4－1 ⑩必要な収入や所得が得られていると感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位:人)	3,549	319	687	804	577	730	227	205	2.77
男性	1,561	138	308	359	285	325	73	73	2.75
女性	1,949	179	376	434	289	397	152	122	2.79
その他	6	0	1	1	1	2	1	0	2.20
18～19歳	53	7	6	7	5	3	24	1	3.32
20～29歳	200	18	37	36	39	45	21	4	2.68
30～39歳	320	31	69	58	68	76	9	9	2.71
40～49歳	499	58	104	116	81	111	20	9	2.82
50～59歳	604	61	123	129	119	134	19	19	2.75
60～69歳	766	61	153	198	144	148	27	35	2.77
70歳以上	1,009	77	186	239	112	196	99	100	2.80
自営業主	282	33	62	63	47	59	5	13	2.86
家族従業員	119	8	26	38	17	23	2	5	2.81
会社役員・団体役員	240	44	72	53	29	34	2	6	3.27
常用雇用者	1,025	113	255	208	215	205	9	20	2.86
臨時雇用者	440	33	80	117	87	103	5	15	2.65
学生＋その他	119	15	15	17	12	19	40	1	2.94
専業主婦・主夫	403	38	75	94	52	68	42	34	2.89
60歳未満の無職(参考)	77	1	0	14	10	25	23	4	1.84
60歳以上の無職	697	22	84	164	98	171	87	71	2.42
ひとり暮らし	431	33	83	99	63	88	40	25	2.75
夫婦のみ	718	70	175	172	93	138	32	38	2.92
2世代世帯	1,437	131	259	318	276	310	88	55	2.71
3世代世帯	548	58	117	124	90	117	25	17	2.82
その他	184	16	25	41	27	39	22	14	2.68
1人	450	42	94	96	84	91	25	18	2.78
2人	1,270	125	262	312	197	234	72	68	2.86
3人	682	59	153	160	110	134	25	41	2.83
4人以上	159	19	31	39	23	33	7	7	2.86
子どもはいない	802	64	130	161	142	203	76	26	2.59
10年未満	100	18	17	19	12	21	9	4	2.99
10～20年未満	145	27	20	24	19	20	28	7	3.14
20年以上	3,174	266	635	737	536	667	181	152	2.75
県央広域振興圏	1,011	99	214	230	167	180	64	57	2.87
県南広域振興圏	1,080	95	202	230	190	246	59	58	2.70
沿岸広域振興圏	833	67	161	189	133	169	62	52	2.76
県北広域振興圏	625	58	110	155	87	135	42	38	2.76

問4－1 ⑪地域の歴史や文化に誇りを感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位:人)	3,549	320	799	1,137	446	238	421	188	3.18
男性	1,561	141	351	495	223	121	157	73	3.13
女性	1,949	179	442	631	222	113	257	105	3.22
その他	6	0	2	1	0	1	2	0	3.00
18～19歳	53	11	13	12	7	0	9	1	3.65
20～29歳	200	29	43	54	27	16	28	3	3.25
30～39歳	320	31	68	103	52	33	25	8	3.04
40～49歳	499	45	130	174	57	38	46	9	3.20
50～59歳	604	44	134	229	75	44	59	19	3.11
60～69歳	766	53	166	293	104	42	79	29	3.13
70歳以上	1,009	104	235	245	116	56	160	93	3.28
自営業主	282	33	74	91	31	24	12	17	3.24
家族従業員	119	10	31	36	22	5	11	4	3.18
会社役員・団体役員	240	34	64	74	27	16	19	6	3.34
常用雇用者	1,025	91	252	374	131	66	91	20	3.19
臨時雇用者	440	30	88	169	62	30	45	16	3.07
学生＋その他	119	21	30	29	17	5	16	1	3.44
専業主婦・主夫	403	41	83	127	48	22	61	21	3.23
60歳未満の無職(参考)	77	4	12	24	9	13	12	3	2.76
60歳以上の無職	697	48	147	174	87	46	131	64	3.13
ひとり暮らし	431	34	85	137	49	33	73	20	3.11
夫婦のみ	718	62	170	248	91	38	76	33	3.21
2世代世帯	1,437	138	318	468	201	102	159	51	3.15
3世代世帯	548	61	140	177	68	34	52	16	3.26
その他	184	12	48	52	17	14	31	10	3.19
1人	450	43	108	141	55	37	47	19	3.17
2人	1,270	125	295	420	159	61	149	61	3.25
3人	682	53	152	233	89	54	62	39	3.10
4人以上	159	14	42	54	17	10	17	5	3.24
子どもはいない	802	76	180	241	108	63	111	23	3.15
10年未満	100	11	17	35	14	8	13	2	3.11
10～20年未満	145	16	45	40	20	4	13	7	3.39
20年以上	3,174	287	718	1,034	400	216	378	141	3.17
県央広域振興圏	1,011	96	252	344	111	54	102	52	3.26
県南広域振興圏	1,080	112	258	312	140	77	127	54	3.21
沿岸広域振興圏	833	69	153	286	107	58	113	47	3.10
県北広域振興圏	625	43	136	195	88	49	79	35	3.07

問4－1 ⑫自然に恵まれていると感じますか

	合計	感じる（5点）	やや感じる（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり感じない（2点）	感じない（1点）	わからない	不明	分野別実感平均値
全体(単位:人)	3,549	1,384	1,352	403	120	50	76	164	4.18
男性	1,561	604	600	178	59	25	31	64	4.16
女性	1,949	773	738	220	59	24	45	90	4.20
その他	6	1	4	1	0	0	0	0	4.00
18～19歳	53	31	11	7	1	1	1	1	4.37
20～29歳	200	83	80	19	9	2	4	3	4.21
30～39歳	320	136	128	29	12	3	4	8	4.24
40～49歳	499	211	193	58	18	3	7	9	4.22
50～59歳	604	262	235	58	13	12	9	15	4.24
60～69歳	766	300	309	99	20	7	8	23	4.19
70歳以上	1,009	337	367	123	43	19	42	78	4.08
自営業主	282	119	105	25	13	6	0	14	4.19
家族従業員	119	45	51	11	7	1	1	3	4.15
会社役員・団体役員	240	113	83	23	9	1	5	6	4.30
常用雇用者	1,025	436	415	101	33	10	11	19	4.24
臨時雇用者	440	157	186	63	8	4	8	14	4.16
学生＋その他	119	62	39	10	2	3	3	0	4.34
専業主婦・主夫	403	165	151	50	11	4	4	18	4.21
60歳未満の無職(参考)	77	24	23	11	5	5	6	3	3.82
60歳以上の無職	697	224	259	90	27	12	34	51	4.07
ひとり暮らし	431	149	162	53	20	9	19	19	4.07
夫婦のみ	718	282	301	72	22	7	9	25	4.21
2世代世帯	1,437	557	562	179	49	21	27	42	4.16
3世代世帯	548	254	192	60	14	5	9	14	4.29
その他	184	80	66	15	3	3	7	10	4.30
1人	450	194	164	51	15	3	9	14	4.24
2人	1,270	493	501	140	45	13	29	49	4.19
3人	682	265	265	78	19	11	9	35	4.18
4人以上	159	67	56	21	5	3	2	5	4.18
子どもはいない	802	322	311	88	28	14	18	21	4.18
10年未満	100	47	31	13	4	1	2	2	4.24
10～20年未満	145	69	49	15	2	1	3	6	4.35
20年以上	3,174	1,233	1,238	362	109	44	69	119	4.17
県央広域振興圏	1,011	387	396	107	39	18	21	43	4.16
県南広域振興圏	1,080	411	403	139	45	10	23	49	4.15
沿岸広域振興圏	833	339	314	86	24	13	17	40	4.21
県北広域振興圏	625	247	239	71	12	9	15	32	4.22

問4－2　あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

	合計	幸福だと感じている（5点）	やや幸福だと感じている（4点）	どちらともいえない（3点）	あまり幸福だと感じていない（2点）	幸福だと感じていない（1点）	わからない	不明	主観的幸福感平均値
全体(単位：人)	3,549	518	1,433	773	398	182	86	159	3.52
男性	1,561	197	598	376	190	98	38	64	3.42
女性	1,949	320	823	392	205	79	45	85	3.60
その他	6	0	2	2	1	0	1	0	3.20
18～19歳	53	21	19	8	3	0	1	1	4.14
20～29歳	200	24	82	49	27	10	3	5	3.43
30～39歳	320	48	125	52	54	23	6	12	3.40
40～49歳	499	79	203	83	67	40	16	11	3.45
50～59歳	604	75	236	141	81	39	14	18	3.40
60～69歳	766	120	330	175	76	27	15	23	3.60
70歳以上	1,009	146	410	241	87	35	26	64	3.59
自営業主	282	52	111	57	28	24	2	8	3.51
家族従業員	119	14	59	28	10	3	1	4	3.62
会社役員・団体役員	240	50	96	43	30	7	5	9	3.67
常用雇用者	1,025	129	438	217	136	58	22	25	3.45
臨時雇用者	440	50	181	89	59	29	16	16	3.40
学生＋その他	119	28	56	18	9	5	2	1	3.80
専業主婦・主夫	403	93	165	82	31	10	5	17	3.79
60歳未満の無職(参考)	77	5	11	21	17	13	6	4	2.67
60歳以上の無職	697	85	268	185	70	25	20	44	3.50
ひとり暮らし	431	38	132	123	71	31	14	22	3.19
夫婦のみ	718	136	334	147	47	21	8	25	3.75
2世代世帯	1,437	214	557	316	189	85	32	44	3.46
3世代世帯	548	90	261	100	52	20	13	12	3.67
その他	184	21	75	38	18	13	9	10	3.44
1人	450	75	183	95	45	28	10	14	3.54
2人	1,270	215	575	259	113	40	23	45	3.68
3人	682	107	306	146	60	26	7	30	3.63
4人以上	159	23	58	45	14	6	7	6	3.53
子どもはいない	802	84	259	186	153	68	25	27	3.18
10年未満	100	21	39	20	11	4	1	4	3.65
10～20年未満	145	40	59	25	7	7	1	6	3.86
20年以上	3,174	447	1,294	697	375	165	80	116	3.50
県央広域振興圏	1,011	167	419	222	101	43	14	45	3.59
県南広域振興圏	1,080	156	422	225	133	62	33	49	3.48
沿岸広域振興圏	833	124	336	189	80	40	27	37	3.55
県北広域振興圏	625	71	256	137	84	37	12	28	3.41

参考資料４

令和３年
県の施策に関する県民意識調査（補足調査）
調査票

お　願　い

◆　このアンケート調査には、調査票をお送りした封筒に書かれた**あて名の御本人様**がお答えください。

◆　お答えは、できる限り黒または青色の鉛筆・ペン・ボールペンでお願いします。

◆　お答えは、直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**２月１日（月）**までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。

※　この調査について、御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

岩手県政策企画部政策企画課　評価担当　照井
TEL　019-629-5181（直通）
FAX　019-629-6229
E-mail　AA0010@pref.iwate.jp

問 1-1　現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

(1)－1 からだの健康

①　あなたはからだが健康だと感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

②　そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。

1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス)
2 スポーツの習慣の有無
3 歩行などの行動の制限の有無
4 食事の制限の有無
5 健康診断の結果
6 持病の有無
7 こころの健康状態
8 その他(　　)

(1)－2 こころの健康

①　あなたはこころが健康だと感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

②　そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。

1 睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分(ワークライフバランス)
2 仕事・学業におけるストレスの有無
3 仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無
4 充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など)
5 相談相手の有無
6 からだの健康状態
7 その他(　　)

(2) 余暇の充実

① あなたは余暇が充実していると感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に〇をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に〇をつけてください。

1 自由な時間の確保　2 運動や行動の制限の有無
3 文化・芸術の鑑賞　4 スポーツ観戦
5 文化・芸術活動の場所・機会　6 スポーツの場所・機会
7 自然(山・海など)と触れ合う場所・機会　8 学習活動の場所・機会(生涯学習など)
9 地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)
10 趣味・娯楽活動の場所・機会　11 家族との交流
12 知人・友人との交流
13 その他(　　)

(3) 家族関係

① あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に〇をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に〇をつけてください。

1 同居の有無
2 会話の頻度(多い・少ない)
3 一緒にいる時間(長い・短い)
4 家事分担のバランス
5 ペットの存在
6 自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）
7 自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）
8 家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）
9 家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）
10 困った時に助け合えるかどうか
11 家族はいない
12 その他(　　)

(4) 子育て

① あなたは子育てがしやすいと感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。

1 子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)
2 子どもを預けられる場所の有無(保育所など)
3 配偶者の家事への参加
4 子育て支援サービスの内容
5 子どもの教育にかかる費用
6 子育てにかかる費用
7 自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)
8 配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)
9 自分の勤め先の子育てに対する理解
10 配偶者の勤め先の子育てに対する理解
11 子どもに関する医療機関(小児科など)の充実
12 子どもの遊び場(公園など)の充実
13 子どもの習い事の選択の幅
14 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)
15 その他(　　)

(5) 子どもの教育

① あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。

1 学力を育む教育内容
2 人間性、社会性を育むための教育内容
3 健やかな体を育む教育内容(体育、部活動の内容など)
4 不登校やいじめなどへの対応
5 学校の選択の幅(高校、大学など)
6 図書館や科学館などの充実
7 学校教育における地域学習
8 地域での教育・学び
9 わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)
10 その他(　　)

(6) 住まいの快適さ

① あなたはお住まいに快適さを感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。

1 住宅の延床面積(広さ・狭さ)
2 居住形態(持ち家か借家か)
3 住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)
4 住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)
5 立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)
6 公共交通機関の利便性
7 公園・緑地、水辺などの周辺環境
8 周辺地域の街並み
9 周辺地域の治安
10 近隣の生活音
11 近隣の生活臭
12 周辺施設の機能性(バリアフリーなど)
13 その他(　　)

(7) 地域社会とのつながり

① あなたは地域社会とのつながりを感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。

1 その地域で過ごした年数
2 自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)
3 地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)
4 学校・子ども会の活動への参加
5 隣近所との面識・交流
6 その他(　　)

(8) 地域の安全

① あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。

1 犯罪の発生状況
2 地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)
3 交通事故の発生状況
4 交通事故の防止(歩道の整備など)
5 火災の発生状況
6 火災に対する予防(消火栓の設置など)
7 地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動、消防団など)
8 自然災害の発生状況
9 自然災害に対する予防(堤防の建設、避難経路の確保など)
10 災害に対する行政の防災体制（情報発信、避難所支援、復興対策など)
11 食の安全に関する行政の情報発信
（食中毒の発生状況、食品添加物に関する情報など)
12 感染症の予防に関する行政の情報発信
（感染症の発生状況、予防対策に関する知識の普及啓発など)
13 社会インフラの老朽化(橋、下水道など)
14 地域の安全に関心がない
15 その他(　　)

(9) 仕事のやりがい

① あなたは仕事にやりがいを感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。

1 現在の職種・業務の内容
2 業種・業務の将来性
3 就業形態(正規・非正規など)
4 業務の量
5 現在の収入・給料の額
6 将来の収入・給料の額の見込み
7 収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)
8 現在の役職(職場での地位)
9 将来の役職の見込み
10 職場の人間関係
11 職場環境(オフィスの立地など)
12 職種・業務に対する周囲の評価
13 失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)
14 専業主婦(主夫)・家事手伝いである
15 元々仕事をしていない(学生など)
16 以前仕事をしていたが、今はしていない
17 その他(　　)

(10) 必要な収入や所得

① あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。

1 自分の収入・所得額(年金を含む)
2 家族の収入・所得額(年金を含む)
3 自分の支出額
4 家族の支出額
5 自分の金融資産(注)の額
6 家族の金融資産(注)の額
7 自分の借金の額
8 家族の借金の額
9 生活の程度
10 その他(　　)

(注)金融資産…預貯金や有価証券等

(11) 歴史・文化への誇り

① あなたは地域の歴史や文化に誇りを感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。

1 その地域で過ごした年数
2 世界遺産があること
3 地域のお祭り・伝統芸能
4 地域の文化遺産・街並み
5 郷土の歴史的偉人
6 地域の文化・芸術分野の著名人
7 地域の食文化
8 地域での文化継承・保存活動
9 地域の歴史についての教育機会
10 地域に対する周囲の評判
11 誇りを感じる歴史や文化が見当たらない
12 地域の歴史や文化に関心がない
13 その他(　　)

(12) 自然のゆたかさ

① あなたは自然に恵まれていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。

感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)
5	4	3	2	1	0

② そのように回答した理由として、関連の強い要因全ての番号に○をつけてください。

1 緑の量(豊か・少ない)
2 空気の状態(綺麗・汚い)
3 水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)
4 海の状態(綺麗・汚い)
5 多様な動植物の生息
6 公園・緑地、水辺などの周辺環境
7 自然(山・海など)と触れ合う機会
8 地域での自然保護活動
9 自然に関心がない
10 その他(　　)

問1-2　あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

最も近いものを１つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの現在の幸福感 （１つ選び、番号に○をつけてください）					
幸福だと感じている	やや幸福だと感じている	どちらともいえない	あまり幸福だと感じていない	幸福だと感じていない	わからない
5	4	3	2	1	0

問1-3

① あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。該当する全ての番号に○をつけてください。

1 健康状況

2 自由な時間・充実した余暇

3 家族関係

4 友人関係

5 職場の人間関係

6 子育て環境

7 教育環境

8 居住環境

9 社会貢献

10 地域コミュニティとの関係

11 治安・防災体制

12 仕事のやりがい

13 就業状況

14 家計の状況

15 地域の歴史・文化

16 自然環境

17 その他（ 具体的に： ）

② ①で○をつけたものの中から、最も重視するものの番号を１つご記入ください。

問2　あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

あなたの気持ちに近いものを１つだけ選び、その番号に○をつけてください。

あなたの満足度 （１つ選び、番号に○をつけてください）					
満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
5	4	3	2	1	0

問3　次に、岩手県の政策に関連する次の１から 57 までの調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

「あなたの重要度」では、あなたの現在の暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。

「あなたの満足度」では、あなたの現在の暮らしから見て、調査項目の状態にどれくらい満足しているかをお答えください。

(1) まず、**「健康・余暇」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
１　体の健康づくりについての相談、指導を受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
２　心の健康づくりについての相談、支援を受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
３　必要な医療を適切に受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
４　介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
５　日常的に文化芸術に親しむ機会があること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
６　身近な地域でスポーツを楽しむ機会が充実していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
７　学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(2) 次に、**「家族・子育て」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
8　安心して子どもを生み育てられ、子育てがしやすい環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
9　学校・家庭・地域が連携し、子どもの育ちと学びに取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
10　地域全体が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
11　仕事と生活を両立できる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
12　ペットなど動物のいのちを大切にする社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(3) 次に、**「教育」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
13　子どもたちの学力が向上する教育がされていること。〔子どもは、小学生から高校生までをお考えください。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
14　子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
15　子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
16　学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
17　学校が、いじめや不登校に適切に対処していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
18　学校施設や登下校時において、子どもたちが安全・安心に学ぶことができる環境となっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
19　特色ある私学教育の充実が図られていること。〔私学教育とは、私学の幼児教育から高等教育までをお考えください。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
20　岩手の復興・発展を支える人材が育成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
21　文化芸術やスポーツの分野において、本県ゆかりの芸術家や選手が国内外で活躍していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
22　県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(4) 次に、**「居住環境・コミュニティ」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
23　道路や上下水道などの生活の基盤、歩道の段差解消等の地域のバリアフリー化や冬は暖かく夏は涼しいなど良質な住宅の普及等が進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
24　鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
25　つながりや活力を感じられる地域コミュニティであること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
26　岩手への移住・定住を増やすための取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
27　外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
28　文化芸術・スポーツを生かした地域づくりが行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(5) 次に、**「安全」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
29　地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
30　犯罪に対する不安が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
31　交通事故が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
32　悪質商法、架空請求､多重債務などの消費者トラブルについて､適切な相談や支援を受けられる社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
33　購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
34　感染症に対する備えが整っている社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(6) 次に、**「仕事・収入」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
35　県内に職を求める人が希望どおりに就職できる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
36　身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
37　中小企業が、より魅力のある商品・サービス等の提供や経営人材の確保に取り組み、事業活動を活発に展開していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
38　工場や事業所の新設・増設により、県内経済が活性化していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
39　地域の資源を生かした加工食品や工芸品などが開発され、販売されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
40　海外における県産品の販路の拡大が図られること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
41　魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
42　地域の農林水産業の担い手が確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
43　消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
44　本県農林水産物が評価され､販路が拡大していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
45　生産者や地域住民などとの地域活動や都市との交流により活力ある農山漁村が形成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(7) 次に、**「歴史・文化」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	**あなたの重要度** （１つ選び、番号に○をつけてください）						**あなたの満足度** （１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
46　世界遺産を守り将来に伝えていくための取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
47　豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(8) 次に、**「自然環境」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（1つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（1つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
48　大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
49　ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル(資源ごみの分別など)が定着していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
50　地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量削減の取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(9) 次に、**「社会基盤」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
51　国際リニアコライダー（ＩＬＣ）(注)などの国際研究拠点の形成を見据えた、外国人研究者等の受入環境等の整備や新たな産業振興の取組が行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
52　インターネットや携帯電話・スマートフォンなどの利用により、情報通信技術が暮らしや仕事に生かされていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
53　防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
54　高速道路や、インターチェンジ、新幹線駅、港湾、空港などの交通や物流の拠点に通じる道路が整備されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
55　道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(注) 国際リニアコライダー（ILC）とは、全長 20～50㎞の地下トンネルに建設される、電子と陽電子を加速、衝突させ質量の起源や時空構造、宇宙誕生の謎の解明を目指す大規模施設のことをさします。

（10）次に、**「参画」**に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度（１つ選び、番号に○をつけてください）						あなたの満足度（１つ選び、番号に○をつけてください）					
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
56　性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
57　だれもが市民活動(注1)や県民運動(注2)に参加できる社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

（注１）市民活動とは、NPO、ボランティア、自治会・町内会（子供会行事への参加、清掃や美化活動等を含む）などの活動をさします。
（注２）県民運動とは、地域医療体制づくりや地球温暖化防止、交通事故防止など、全県的な目標・課題に関し多様な主体が連携して取り組むことをさします。

問4　次に、あなたは新型コロナウイルス感染症の影響についてどのように感じていますか。

調査項目	あなたの実感に最も近いものを１つ選び、番号に○をつけてください。(該当しない調査項目は、「影響を感じない」を選択してください)					
	よい影響を感じる	ややよい影響を感じる	どちらともいえない	あまりよくない影響を感じる	よくない影響を感じる	影響を感じない
①-1　からだの健康への影響	5	4	3	2	1	0
①-2　こころの健康への影響	5	4	3	2	1	0
②　余暇の充実への影響	5	4	3	2	1	0
③　家族関係への影響	5	4	3	2	1	0
④　子育てへの影響	5	4	3	2	1	0
⑤　子どもの教育への影響	5	4	3	2	1	0
⑥　住まいの快適さへの影響	5	4	3	2	1	0
⑦　地域社会とのつながりへの影響	5	4	3	2	1	0
⑧　お住まいの地域の安全への影響	5	4	3	2	1	0
⑨　仕事のやりがいへの影響	5	4	3	2	1	0
⑩　必要な収入や所得への影響	5	4	3	2	1	0
⑪　歴史や文化に触れる機会や場所への影響	5	4	3	2	1	0
⑫　自然の恵みを感じる機会への影響	5	4	3	2	1	0

回答の理由となった、新型コロナウイルス感染症の影響の具体的な内容があれば記載してください。

問５　あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

以下の行動の種類ごとに、あなた（調査対象者）の１日当たりの行動の時間を記入してください**（1週間の平均時間を目安にお答えください。）**。

（□内に数字を記入してください）

行　動　の　種　類	行　動　の　時　間				
①睡眠	約		時間		分
②身の回りの用事	約		時間		分
③食事（注１）	約		時間		分
④通勤・通学	約		時間		分
⑤仕事（収入を伴う仕事）	約		時間		分
⑥学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）	約		時間		分
⑦食事の用意・後片付け	約		時間		分
⑧掃除・洗濯	約		時間		分
⑨介護・看護	約		時間		分
⑩育児	約		時間		分
⑪買い物	約		時間		分
⑫その他（⑦～⑪以外の家事）	約		時間		分

（注１）仕事や学業の昼休みに食事をした場合、「③食事」には食事の時間だけを記入してください。食事後に休憩した時間は「③食事」には含めないでください。

（注２）行動の種類には①～⑫のほかに移動（通勤・通学を除く）、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養といったものもあるので、①～⑫の行動の時間の合計が 24 時間より小さくても構いません。

問6　あなたが、この１年間で経験したことについて、あてはまる番号全てに○をつけてください。

1　結婚	2　離婚	3　子ども・孫の誕生
4　家族との死別	5　家族との別居	6　就職・転職・開業
7　昇進、昇給	8　失業・廃業	9　定年退職
10　住宅取得	11　引越し	12　大きな病気、けが
13　病気の克服	14　進学	15　学校の卒業
16　ペットの取得	17　ペットとの死別	18　事故・火災・自然災害による被害
19　交際の開始	20　交際の終了	21　要介護者・障がい者としての認定
22　その他（　　）		

問7　最後に、お答えいただいた「あなた」御自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 性別（○は１つ）

1　男性	2　女性	3　その他

(2) 年齢（満年齢）（○は１つ）

1　18～19 歳	2　20～29 歳	3　30～39 歳	4　40～49 歳
5　50～59 歳	6　60～69 歳	7　70 歳以上	

(3) あなたの年間の可処分所得（手取り）はおよそどのくらいですか（○は１つ）。

1　100 万円未満
2　100 万円以上 300 万円未満
3　300 万円以上 500 万円未満
4　500 万円以上 700 万円未満
5　700 万円以上 1,000 万円未満
6　1,000 万円以上 1,500 万円未満
7　1,500 万円以上

(4) あなたの主なご職業は何ですか（○は１つ）。

1　自営業主
2　家族従業者
3　会社役員・団体役員
4　常用雇用者　※期間を定めずに又は１年を超える期間を定めて雇われる人
5　臨時雇用者（パート、アルバイトなど）　※日々又は１年以内の期間を定めて雇われる人
6　学生
7　専業主婦（主夫）
8　無職
9　その他（具体的に：　　）

※　(4)で１～５に○をつけられた方のみお答えください。
その業種は何ですか（○は１つ）。

1　農業、林業	2　漁業	3　鉱業、採石業、砂利採取業
4　建設業	5　製造業	6　電気・ガス・熱供給・水道業
7　情報通信業	8　運輸業、郵便業	9　卸売・小売業
10　金融業、保険業	11　不動産業、物品賃貸業	
12　学術研究、専門・技術サービス業		13　宿泊業、飲食サービス業
14　その他のサービス業	15　公務	
16　その他（具体的に：　　）		

(5) あなたのお子さんは、何人いますか（同居・別居は問いません）。

1　1人	2　2人	3　3人
4　4人	5　5人以上	6　子どもはいない

※　(5)で１～５に○をつけられた方のみお答えください。

あなたのお子さんは、次のどこにあてはまりますか（該当する番号すべてに○をつけてください）。

1　小学校入学前（乳幼児を含む。）	2　小学生
3　中学生	4　高校生（高校受験浪人を含む。）
5　高校を卒業し専門学校、短大、大学、大学院に在学（大学受験浪人を含む。）	
6　学校教育終了で同居	7　学校教育終了で別居
8　その他（具体的に：　　）	

(6) あなたの世帯についてお伺いします。次のどれに当たりますか（○は１つ）。

1　ひとり暮らしである	2　一緒に暮らしている人がいる
3　単身赴任である	4　寮、寄宿舎、老人ホームその他の施設にいる
5　その他(　　)	

※　(6)で２～５に○をつけられた方のみお答えください。

あなたの世帯に含まれる方の人数をご記入ください。また、そのうち就労されている方の人数をご記入ください。（あなたとの続柄でお答えください。）

	人数	うち、就労人数
1　祖父母(配偶者の祖父母含む)	(　　)人	(　　)人
2　父母(配偶者の父母含む)	(　　)人	(　　)人
3　配偶者	(　　)人	(　　)人
4　兄弟・姉妹(配偶者の兄弟・姉妹含む)	(　　)人	(　　)人
5　子ども	(　　)人	(　　)人
6　子どもの配偶者	(　　)人	(　　)人
7　孫	(　　)人	(　　)人
8　その他（　　）	(　　)人	(　　)人
(　　)	(　　)人	(　　)人

(7) あなたのお住まいは次のどれに当たりますか（○は１つ）。

1　持家（一戸建て）	2　持家（集合住宅(マンション等)）
3　借家（一戸建て）	4　借家（集合住宅(アパート等)）
5　その他（社宅、寮、下宿など）	

(8) あなたは岩手県に住んで通算何年になりますか（○は１つ）。

1　1年未満	2　1～5年未満	3　5～10年未満
4　10～20年未満	5　20年以上	

【 お 願 い 】

今回調査をお願いした皆様には、来年も本調査を継続してお願いする予定です。

ご住所・お名前が変わられた場合（予定がある場合）には、お手数ですが、以下にご記入ください。

【新しいご住所】

〒

【新しいお名前】

※　岩手県では、県外へお引越しされる方の理由を把握することで、今後の施策に反映させていきたいと考えています。

差し支えなければ、お引越しの理由を以下にご記入ください。

（例）進学、就職、転職のため、等

御協力ありがとうございました。

お手数でも２月１日（月）までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。

参考資料５

令和３年県の施策に関する県民意識調査（補足調査）結果

(1) 問1-1(1)-1①あなたはからだが健康だと感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	571	90	224	121	96	39	0	1
%	100.0	15.76%	39.23%	21.19%	16.81%	6.83%	0.0%	0.2%

得点
3.40

(2) 問1-1(1)-1②からだの健康への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分	スポーツの習慣の有無	歩行などの行動の制限の有無	食事の制限の有無	健康診断の結果	持病の有無	こころの健康状態	その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	570	284	117	112	119	249	231	184	21	3	1317
%	100.0	49.82%	20.53%	19.65%	20.88%	43.68%	40.53%	32.28%	3.68%	0.53%	

(3) 問1-1(1)-2①あなたはこころが健康だと感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	571	127	206	125	76	35	0	2
%	100.0	22.24%	36.08%	21.89%	13.31%	6.13%	0.00%	0.35%

得点
3.55

(4) 問1-1(1)-2②こころの健康への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	睡眠・休養・仕事・学業・運動などの暮らしの時間配分	仕事・学業におけるストレスの有無	仕事・学業以外の私生活におけるストレスの有無	充実した余暇の有無(仕事・学業以外の趣味など)	相談相手の有無	からだの健康状態	その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	569	277	229	228	182	153	221	28	3	1319
%	100.0	48.68%	40.25%	40.07%	31.99%	26.89%	38.84%	4.92%	0.53%	

(5) 問1-1(2)①あなたは余暇が充実していると感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	571	87	196	130	109	39	2	8
%	100.0	15.24%	34.33%	22.77%	19.09%	6.83%	0.35%	1.40%

得点
3.33

(6) 問1-1(2)②余暇の充実への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	自由な時間の確保	運動や行動の制限の有無	文化・芸術の鑑賞	スポーツ観戦	文化・芸術活動の場所・機会	スポーツの場所・機会	自然(山・海など)と触れ合う場所・機会	学習活動の場所・機会(生涯学習など)	地域や社会のための活動の機会(ボランティアなど)	趣味・娯楽活動の場所・機会
n	563	353	97	62	36	47	60	122	32	63	210
%	100.0	62.70%	17.23%	11.01%	6.39%	8.35%	10.66%	21.67%	5.68%	11.19%	37.30%

	家族との交流	知人・友人との交流	その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	191	219	33	8	1525
%	33.93%	38.90%	5.86%	1.42%	

令和３年県の施策に関する県民意識調査（補足調査）結果

(7) 問1-1(3)①あなたは家族と良い関係が取れていると感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	571	201	210	87	36	17	10	10
%	100.0	35.20%	36.78%	15.24%	6.30%	2.98%	1.75%	1.75%

得点
3.98

(8) 問1-1(3)②家族関係への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	同居の有無	会話の頻度(多い・少ない)	一緒にいる時間(長い・短い)	家事分担のバランス	ペットの存在	自分が家族にもたらす精神的影響（貢献・負担）	自分が家族にもたらす経済的影響（貢献・負担）	家族が自分にもたらす精神的影響（貢献・負担）	家族が自分にもたらす経済的影響（貢献・負担）	困った時に助け合えるかどうか
n	561	261	290	210	146	64	169	138	236	116	236
%	100.0	46.52%	51.69%	37.43%	26.02%	11.41%	30.12%	24.60%	42.07%	20.68%	42.07%

	家族はいない	その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	24	8	3	1898
%	4.28%	1.43%	0.53%	

(9) 問1-1(4)①あなたは子育てがしやすいと感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	571	45	103	124	53	17	197	32
%	100.0	7.88%	18.04%	21.72%	9.28%	2.98%	34.5%	5.60%

得点
3.31

(10) 問1-1(4)②子育てへの回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	子どもを預けられる人の有無(親、親戚など)	子どもを預けられる場所の有無(保育所など)	配偶者の家事への参加	子育て支援サービスの内容	子どもの教育にかかる費用	子育てにかかる費用	自分の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	配偶者の就業状況(労働時間、休業・休暇など)	自分の勤め先の子育てに対する理解	配偶者の勤め先の子育てに対する理解
n	539	104	105	73	34	93	81	76	51	54	17
%	100.0	19.29%	19.48%	13.54%	6.31%	17.25%	15.03%	14.10%	9.46%	10.02%	3.15%

	子どもに関する医療機関(小児科など)の充実	子どもの遊び場(公園など)の充実	子どもの習い事の選択の幅	わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	62	59	43	194	34	45	1080
%	11.50%	10.95%	7.98%	35.99%	6.31%	8.35%	

令和３年県の施策に関する県民意識調査（補足調査）結果

(11) 問1-1(5)①あなたは子どものためになる教育が行われていると感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	571	31	120	142	49	16	184	29
%	100.0	5.43%	21.02%	24.87%	8.58%	2.80%	32.22%	5.08%

得点
3.28

(12) 問1-1(5)②子どもの教育への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	学力を育む教育内容	人間性、社会性を育むための教育内容	健やかな体を育む教育内容（体育、部活動の内容など）	不登校やいじめなどへの対応	学校の選択の幅(高校、大学など)	図書館や科学館などの充実	学校教育における地域学習	地域での教育・学び	わからない(身近に子どもがいない、子育てに関わっていないなど)	その他
n	542	137	150	103	83	84	44	67	64	181	27
%	100.0	25.28%	27.68%	19.00%	15.31%	15.50%	8.12%	12.36%	11.81%	33.39%	4.98%

	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	51	940
%	9.41%	

(13) 問1-1(6)①あなたはお住まいに快適さを感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	571	123	205	117	76	38	0	12
%	100.0	21.54%	35.90%	20.49%	13.31%	6.65%	0.00%	2.10%

得点
3.53

(14) 問1-1(6)②住まいの快適さへの回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	住宅の延床面積(広さ・狭さ)	居住形態（持ち家か借家か）	住宅の安全性(耐震、耐火、浸水対策など)	住宅の機能性(バリアフリー、室内の温熱環境など)	立地の利便性(スーパー、コンビニ、公共施設、医療機関などとの距離など)	公共交通機関の利便性	公園・緑地、水辺などの周辺環境	周辺地域の街並み	周辺地域の治安	近隣の生活音
n	559	250	270	172	190	277	174	95	76	156	91
%	100.0	44.72%	48.30%	30.77%	33.99%	49.55%	31.13%	16.99%	13.60%	27.91%	16.28%

	近隣の生活臭	周辺施設の機能性（バリアフリーなど）	その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	41	15	18	2	1825
%	7.33%	2.68%	3.22%	0.36%	

令和３年県の施策に関する県民意識調査（補足調査）結果

(15) 問1-1(7)①あなたは地域社会とのつながりを感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	571	93	199	115	113	36	8	7
%	100.0	16.29%	34.85%	20.14%	19.79%	6.30%	1.40%	1.23%

得点
3.36

(16) 問1-1(7)②地域社会とのつながりへの回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	その地域で過ごした年数	自治会・町内会活動への参加(環境美化、防犯・防災活動など)	地域の行事への参加(お祭り、スポーツ大会など)	学校・子ども会の活動への参加	隣近所との面識・交流	その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	564	279	276	202	80	332	21	9	1190
%	100.0	49.47%	48.94%	35.82%	14.18%	58.87%	3.72%	1.60%	

(17) 問1-1(8)①あなたはお住まいの地域が安全だと感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	571	155	252	98	38	9	10	9
%	100.0	27.15%	44.13%	17.16%	6.65%	1.58%	1.75%	1.58%

得点
3.92

(18) 問1-1(8)②地域の安全への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	犯罪の発生状況	地域の防犯体制(防犯パトロール、街頭防犯カメラなど)	交通事故の発生状況	交通事故の防止(歩道の整備など)	火災の発生状況	火災に対する予防(消火栓の設置など)	地域の防災体制(自治会・町内会の防災活動など)	自然災害の発生状況	自然災害に対する予防(堤防の建設など)	災害に対する行政の防災体制(情報発信、避難所支援など)
n	562	345	124	181	112	133	93	140	224	94	117
%	100.0	61.39%	22.06%	32.21%	19.93%	23.67%	16.55%	24.91%	39.86%	16.73%	20.82%

	食の安全に関する行政の情報発信(食中毒の発生状況など)	感染症の予防に関する行政の情報発信(感染症の発生状況など)	社会インフラの老朽化(橋、下水道など)	地域の安全に関心がない	その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	31	87	66	7	25	6	1779
%	5.52%	15.48%	11.74%	1.25%	4.45%	1.07%	

(19) 問1-1(9)①あなたは仕事にやりがいを感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	571	110	163	117	47	21	92	21
%	100.0	19.26%	28.55%	20.49%	8.23%	3.68%	16.11%	3.68%

得点
3.64

(20) 問1-1(9)②仕事のやりがいへの回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	現在の職種・業務の内容	業種・業務の将来性	就業形態（正規・非正規など）	業務の量	現在の収入・給料の額	将来の収入・給料の額の見込み	収入・給料以外の待遇・処遇(休暇・手当など)	現在の役職(職場での地位)	将来の役職の見込み	職場の人間関係
n	550	287	83	103	81	167	68	94	46	10	130
%	100.0	52.18%	15.09%	18.73%	14.73%	30.36%	12.36%	17.09%	8.36%	1.82%	23.64%

	職場環境（オフィスの立地など）	職種・業務に対する周囲の評価	失業・倒産・廃業等のリスク(安定性)	専業主婦（主夫）・家事手伝いである	元々仕事をしていない(学生など)	以前仕事をしていたが、今はしていない	その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	24	51	54	37	7	106	18	16	1366
%	4.36%	9.27%	9.82%	6.73%	1.27%	19.27%	3.27%	2.91%	

(21) 問1-1(10)①あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	571	59	155	145	115	74	13	10
%	100.0	10.33%	27.15%	25.39%	20.14%	12.96%	2.28%	1.75%

得点
3.02

(22) 問1-1(10)②必要な収入や所得への回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	自分の収入・所得額(年金を含む)	家族の収入・所得額(年金を含む)	自分の支出額	家族の支出額	自分の金融資産(注)の額	家族の金融資産(注)の額	自分の借金の額	家族の借金の額	生活の程度	その他
n	561	462	186	132	91	102	41	41	23	148	15
%	100.0	82.35%	33.16%	23.53%	16.22%	18.18%	7.31%	7.31%	4.10%	26.38%	2.67%

	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	9	1241
%	1.60%	

(23) 問1-1(11)①あなたは地域の歴史・文化に誇りを感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	571	56	217	145	93	33	22	5
%	100.0	9.81%	38.00%	25.39%	16.29%	5.78%	3.85%	0.88%

得点
3.31

(24) 問1-1(11)②歴史・文化への誇りへの回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	その地域で過ごした年数	世界遺産があること	地域のお祭り・伝統芸能	地域の文化遺産・街並み	郷土の歴史的偉人	地域の文化・芸術分野の著名人	地域の食文化	地域での文化継承・保存活動	地域の歴史についての教育機会	地域に対する周囲の評判
n	566	209	40	229	70	100	42	99	108	48	29
%	100.0	36.93%	7.07%	40.46%	12.37%	17.67%	7.42%	17.49%	19.08%	8.48%	5.12%

	誇りを感じる歴史や文化が見当たらない	地域の歴史や文化に関心がない	その他	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	98	54	11	11	1137
%	17.31%	9.54%	1.94%	1.94%	

(25) 問1-1(12)①あなたは自然に恵まれていると感じますか。

	全体	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない(該当しない)	不明（無回答等）
n	571	271	242	36	12	6	1	3
%	100.0	47.46%	42.38%	6.30%	2.10%	1.05%	0.18%	0.53%

得点
4.34

(26) 問1-1(12)②自然のゆたかさへの回答理由

	全体（①で不明となった人を除いた回答者数）	緑の量(豊か・少ない)	空気の状態(綺麗・汚い)	水(河川、池、地下水など)の状態(綺麗・汚い)	海の状態(綺麗・汚い)	多様な動植物の生息	公園・緑地、水辺などの周辺環境	自然(山・海など)と触れ合う機会	地域での自然保護活動	自然に関心がない	その他
n	568	464	386	271	113	136	103	205	42	6	5
%	100.0	81.69%	67.96%	47.71%	19.89%	23.94%	18.13%	36.09%	7.39%	1.06%	0.88%

	不明（①で回答したが、回答理由は無回答等）	累計
n	4	1731
%	0.70%	